耐震診断報告書

物件名　名古屋城大天守閣

平成２３年２月２８日

名古屋城大天守閣
耐震診断報告書　目次

（1/2）

0．耐震調査総括表　・・・

5．その他の検討
5－1　ケーソン基礎の検討 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.416
5－2　跳ね出し部（吊り材等）の検討 ・・・・・・・・・・・・・・ P.425
5－3　7階代替案（ケース2）に対する検討 ・・・・・・・・・・ P.451
5－4　エレベーター延長の検討 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.457
5－5　増設壁補強の代替案 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.472
5－6　二次診断の結果 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.483
5－7　柱の鉄骨ラチス部の追加検討 ・・・・・・・・・・・・・・ P.496

6．建築非構造部材の耐震診断 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.519

7．建築設備の耐震診断 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.535

8．参考資料 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.593

9．構造体劣化調査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.624

10．工事仮設計画及び搬入経路等の仮設計画検討 ・・・・・・・・・・ P.657

11．既存建物現況写真 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.663

12．概算工事費、概算工程表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.669

付　電気・機械設備耐震改修工事に関する資料

付　電算出力

耐震調査総括表

施設概要

建物名称	名古屋城天守閣（大天守閣）	
所在地	愛知県名古屋市中区本丸１番１号	
主体構造	鉄骨鉄筋コンクリート造	
規模	地上７階、地下１階	
延床面積	5431.73 ㎡	
建築年	昭和 34 年	
類別	構造体	Ⅲ類
	建築非構造部材	Ｂ類
	建築設備	乙類

判定一覧

種別		判定	総合所見
構造体		耐震診断報告書参照	X（南北）方向、Y（東西）方向とも地下１階～7 階で目標耐震指標を満たしていないため、補強が必要である。 基礎（ケーソン基礎）については、確認できる資料の範囲では、建物重量、建物に作用する地震力に対して、十分安全であるが、地盤の水平力に対する地盤の性状、地震時の液状化等に対するより資料が不十分である。
建築非構造部材		a	家具等の転倒に対する耐震措置が不十分である。 外装材落下に対する二次災害防止のための建築計画上の有効な措置がとられていないが、歴史的建造物の復元のためやむを得ないと判断される。
建築設備	電気設備	b	受変電設備において支持不足、ストッパーの不備がある。 電力幹線設備の配管支持が不足している。 自火報設備のガイダンスが不十分である。 自動放送の機能がない。 照明器具の落下防止措置がとられていない。
	機械設備		給水設備の建物導入部で可とう性のある施工がされていない。 空調ダクトの振れ止め施工がされていない。

総合的な耐震安全性の評価

総合所見	上部構造が目標とする耐震性能を満たしていないため、補強が必要である。また、基礎（ケーソン基礎）については、確認できる資料の範囲では、十分な耐震性能があるが、耐震補強の詳細検討に際しては、水平力に対する地盤特性、地震時の液状化等に対する詳細な調査が必要である。 地震時における家具等の転倒防止、外装材の落下に対する二次災害防止のための建築計画上の有効な措置が必要である。 受変電設備、電力幹線設備、自火報設備、放送設備、照明設備の支持、機能不備等に対する耐震対策が必要である。また給水設備の建物導入部での可とう性確保、空調ダクトの振れ止め対策が必要である。

１．一般事項

１－１　耐震診断対象建物概要

・施設名称　　名古屋城大天守閣

・構造設計年月及び設計事務所名

昭和３２年５月

名古屋城建築工事事務所

・建築規模

構造	鉄骨鉄筋コンクリート造	
地業	ケーソン直接基礎	
使用材料	コンクリート	Fc＝150kg／cm^2（14.7N/mm^2）
	鉄筋	SR24（R6～R25）
	鉄骨	SS41
階数	地下1階、地上7階	
延床面積	5,431.73m^2	

・設計図書等の有無

意匠図	㊒・無
構造図	㊒・無
構造計算書	㊒・無
地質調査資料	有・㊠

１－２　耐震診断の方針

・本診断は、「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準（2009年改訂版）」（（財）日本建築防災協会）に準拠し、3次診断を行う。

・耐震判定指標は、0.6とする。

・使用プログラムは、Super　Build／耐震診断（ユニオンシステム（株））を使用する。

・部材の破壊形式は、ラーメン架構部分については節点振り分け法により、耐震壁部分については、架構全体のモデル化に対し荷重増分計算により求められる各壁の耐力から、それぞれ確認する。

・B1階を１層と見なして、8層として診断を行う。

・大屋根部分はPH階と見なし、その部分の重量を考慮して診断計算を行う。

・天守閣外周部の片持ち部の柱は、斜材により支持されており、水平力に対し有効であると判断し、耐力をそのまま評価する。但し、診断方向と直交方向の柱及び壁の耐力は評価しない。

・構面外の雑壁については、重量は積載荷重で考慮し、剛性・耐力ともに評価しない。

・ 補強計画に対する耐震目標性能は、Ｉｓ≧0.60、及び、Ｉｓ≧0.75とし、それぞれに対する補強案を策定する。

・本診断は、平成9年に実施した耐震診断に対して、診断諸基準の改定をうけて、再診断及び補強計画の見直しを行い、補強実施設計に向けての詳細検討を行うものである。

１－３　仮定荷重

（１）固定荷重

屋根	鋼板	100
破風	下地ﾓﾙﾀﾙ ｱ35	700
	ｽﾗﾌﾞ ｱ120　γ=24	2900
	天井	150
		3850 N/m²*1.2＝4700 N/m²

庇	鋼板	100
	下地ﾓﾙﾀﾙ ｱ35	700
	ｽﾗﾌﾞ ｱ120　γ=24	2900
	天井	150
		3850 N/m²*1.2＝4700 N/m²

一般床	仕上げ	680
	ｽﾗﾌﾞ ｱ120　γ=24	2900
	天井	150
		3800 N/m²

階段	仕上げ	680
	ｽﾗﾌﾞ ｱ193　γ=24	4632
		5400 N/m²

ＥＶ機械室	仕上げ	4600
	ｽﾗﾌﾞ ｱ120　γ=24	2900
	天井	150
		7700 N/m²

壁荷重

- ・仕上げ　1000 N/m²
- ・Ｗ　９　24 × 90 ＋1000 ＝ 3160 → 3200 N/m²
- ・Ｗ１２　24 ×120 ＋1000 ＝ 3880 → 3900 N/m²
- ・Ｗ１５　24 ×150 ＋1000 ＝ 4600 → 4600 N/m²
- ・Ｗ２０　24 ×200 ＋1000 ＝ 5800 → 5800 N/m²
- ・Ｗ２４　24 ×240 ＋1000 ＝ 6760 → 6800 N/m²

（2）荷重表

場　所		床　用	小梁用	架構用	地震用	備　考
屋　根	D　L	4700	4700	4700	4700	
破風	L　L	1000	1000	600	400	
	T　L	5700	5700	5300	5100	
庇	D　L	4700	4700	4700	4700	
	L　L	1800	1800	1300	600	
	T　L	6500	6500	6000	5300	
一般床	D　L	3800	3800	3800	3800	
	L　L	3500	3500	3200	2100	
	T　L	7300	7300	7000	5900	
階　段	D　L	5400	5400	5400	5400	
	L　L	3500	3500	3200	2100	
	T　L	8900	8900	8600	7500	
ＥＶ機械室	D　L	7700	7700	7700	7700	ＥＶ荷重を
	L　L	3500	3500	3200	2100	見込む
	設　備	27000	27000	27000	27000	
	T　L	38200	38200	37900	36800	
ＰＨ床	D　L	3800	3800	3800	3800	
	L　L	1000	1000	0	0	
	T　L	4800	4800	3800	3800	
	D　L					
	L　L					
	T　L					

（３）その他

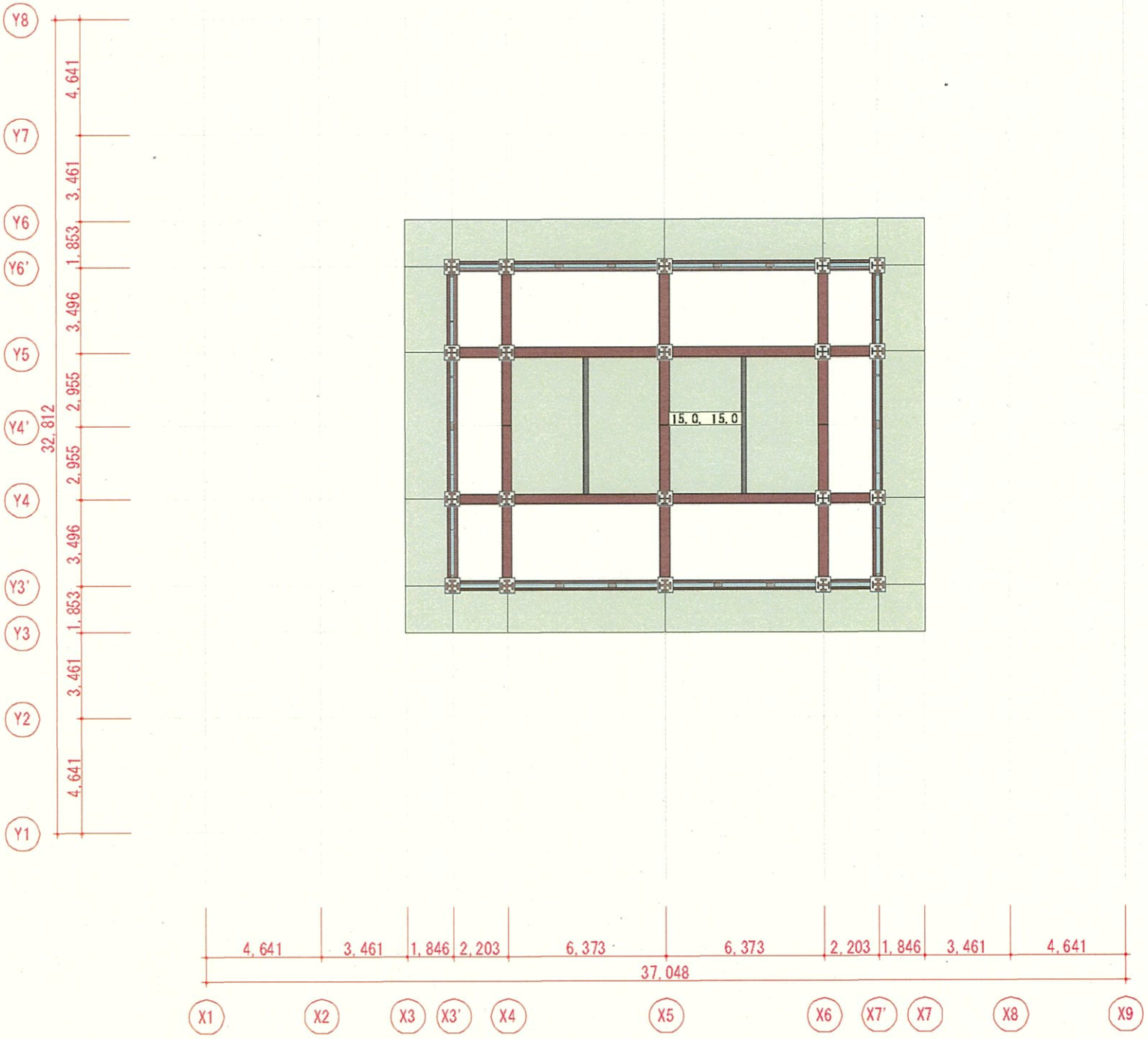
・ＥＶ　250kN×2基＝500kN

（積載荷重としてＬＬへ500000/3.1865/5.909＝27000N/㎡を見込む）

・ 水槽（ＰＨ床）　15.0kN

・破風屋根荷重（別途算出）

*** Super Build／SS3 *** [大天守閣（現状）] 【平面図】(RFL 層[7　階])



破風屋根荷重について

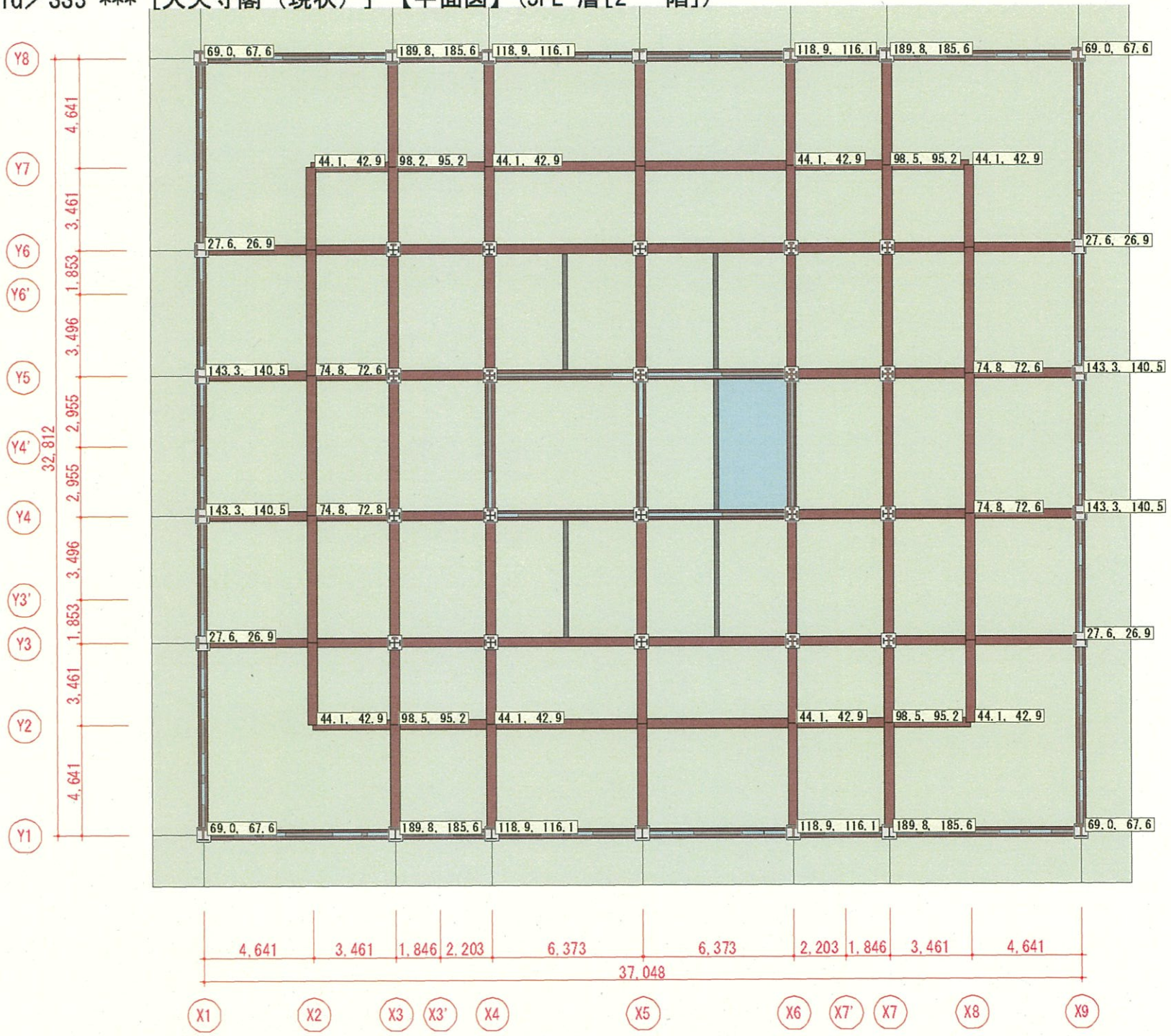
構造上2・3階の破風屋根については、下記理由により
全体架構モデルには加えない。

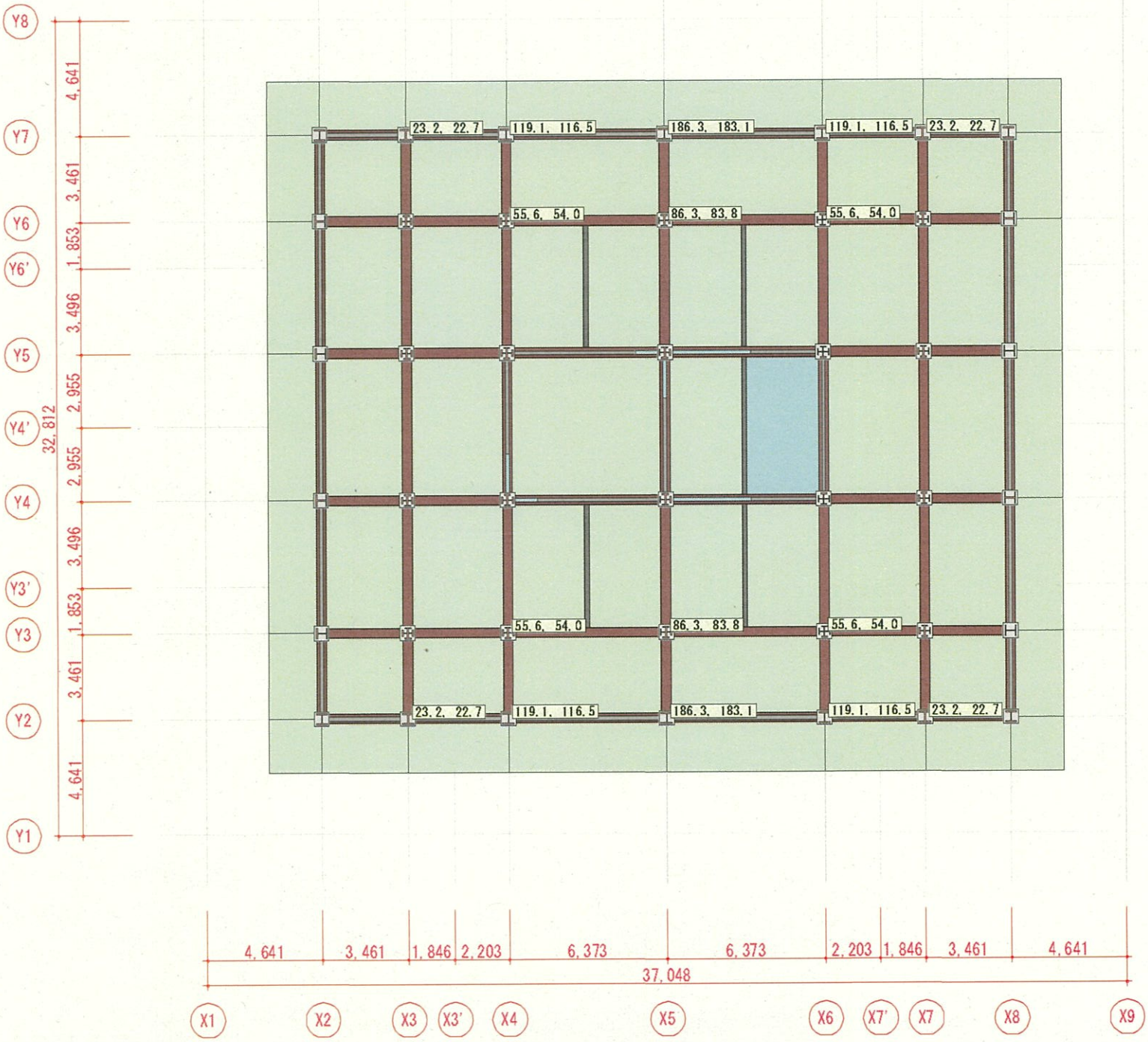
1) 建物側への取り付けレベルが変化し、外周壁・ポスト柱を介して
伝達されるため、剛床仮定が成り立たない。

重量のみ与える。

- 破風屋根　架構用＝ 5.3 kN/㎡　地震用＝ 5.1 kN/㎡
- 小梁　24 ＊ 0.3 ＊ 0.3 ＝ 2.2 kN/m
- 外壁 (W9)　3.2 kN/㎡

No		屋根 (㎡)		小梁 (m)		外壁 (㎡)		P (kN)	
								架構	地震
(3FL)									
1	Y1-Y8通	6.0 ＊ 3.5	21.0	6.0 ＋ 3.5	9.5	6.0 ＊ 3.0	18.0	189.8	185.6
2	Y1-Y8通	4.0 ＊ 3.5	14.0	4.0 ＋ 3.5 /2	5.8	4.0 ＊ 2.5	10.0	118.9	116.1
3	Y1-Y8通	4.0 ＊ 3.5 /2	7.0	4.0 ＋ 3.5 /2	5.8	4.0 ＊ 1.5	6.0	69.0	67.6
4	Y2-Y7通	6.0 ＊ 2.5	15.0	6.0 ＋ 2.5	8.5			98.2	95.2
5	Y2-Y7通	2.5 ＊ 2.5	6.3	2.5 ＋ 2.5	5.0			44.1	42.9
6	X1-X9通	5.5 ＊ 2.5	13.8	5.5 ＋ 2.5	8.0	5.5 ＊ 3.0	16.5	143.3	140.5
7	X1-X9通	2.5 ＊ 2.5 /2	3.1	2.5 ＋ 2.5	5.0			27.6	26.9
8	X2-X8通	5.5 ＊ 2.0	11.0	5.5 ＋ 2.0	7.5			74.8	72.6
(5FL)									
9	Y2-Y7通	6.4 ＊ 2.5	16.0	6.4 ＋ 2.5	8.9	6.4 ＊ 4.0	25.6	186.3	183.1
10	Y2-Y7通	5.2 ＊ 2.5	13.0	5.2 ＋ 2.5	7.7	5.2 ＊ 2.0	10.4	119.1	116.5
11	Y2-Y7通	2.0 ＊ 2.5 /2	2.5	2.0 ＋ 2.5	4.5			23.2	22.7
12	Y3-Y6通	6.4 ＊ 2.0	12.8	6.4 ＋ 2.0	8.4			86.3	83.8
13	Y3-Y6通	4.0 ＊ 2.0	8.0	4.0 ＋ 2.0	6.0			55.6	54.0

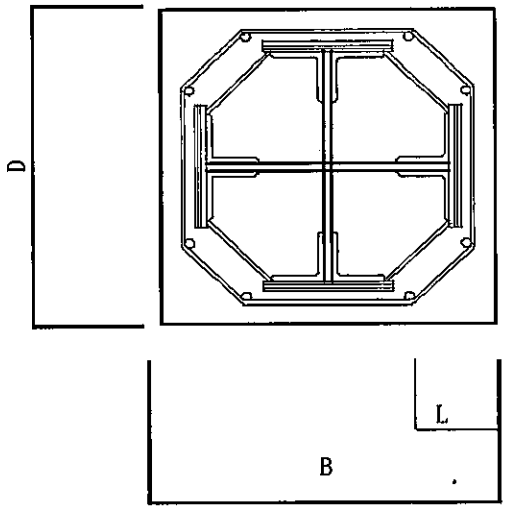

Y8
Y7
Y6
Y6'
Y5
Y4'
Y4
Y3'
Y3
Y2
Y1
4,641
3,461
1,853
3,496
2,955
2,955
3,496
1,853
3,461
4,641
32,812
69.0, 67.6
189.8, 185.6
118.9, 116.1
118.9, 116.1
189.8, 185.6
69.0, 67.6
44.1, 42.9
98.2, 95.2
44.1, 42.9
44.1, 42.9
98.5, 95.2
44.1, 42.9
27.6, 26.9
27.6, 26.9
143.3, 140.5
74.8, 72.6
74.8, 72.6
143.3, 140.5
143.3, 140.5
74.8, 72.8
74.8, 72.6
143.3, 140.5
27.6, 26.9
27.6, 26.9
44.1, 42.9
98.5, 95.2
44.1, 42.9
44.1, 42.9
98.5, 95.2
44.1, 42.9
69.0, 67.6
189.8, 185.6
118.9, 116.1
118.9, 116.1
189.8, 185.6
69.0, 67.6
4,641
3,461
1,846
2,203
6,373
6,373
2,203
1,846
3,461
4,641
37,048
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9


Y8
Y7
Y6
Y6'
Y5
Y4'
Y4
Y3'
Y3
Y2
Y1
4,641
3,461
1,853
3,496
2,955
2,955
3,496
1,853
3,461
4,641
32,812
23.2, 22.7
119.1, 116.5
186.3, 183.1
119.1, 116.5
23.2, 22.7
55.6, 54.0
86.3, 83.8
55.6, 54.0
55.6, 54.0
86.3, 83.8
55.6, 54.0
23.2, 22.7
119.1, 116.5
186.3, 183.1
119.1, 116.5
23.2, 22.7
4,641
3,461
1,846
2,203
6,373
6,373
2,203
1,846
3,461
4,641
37,048
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

柱　コーナー部分の低減

前回の報告書による低減を採用する。
ただし、コーナー部を無視した場合の断面積と等値になるような
b＊dを入力する。
準備計算では、リスト通り入力し、耐力計算には、下記ｂ＊ｄを入力する。

	B	D	ｺｰﾅｰL	A	Ae	b	d
B1階	82	82	20	6724	5924	77	77
1階	82	82	20	6724	5924	77	77
2階	82	82	20	6724	5924	77	77
3階	70	70	17	4900	4322	66	66
4階	70	70	17	4900	4322	66	66
5階	60	60	14	3600	3208	57	57
6階	60	60	14	3600	3208	57	57
7C4, 7C6	50	50	12	2500	2212	48	48
7C1'	35	35	8	1225	1097	34	34
7C2'	50	35	8	1750	1622	47.9	33.8
7C3', 7C5'	35	50	8	1750	1622	33.8	47.9



梁　剛域端の算定

耐力計算時の剛域端は、ハンチ長－中央成1/4＋柱1/2とする。
ハンチの無い梁は、通常通りで、自動計算値を採用する。

	ハンチ長	中央D	柱D	剛域長
7FL	60	65	60	74
5FL	70	70	70	87.5
4FL	70	70	70	87.5
3FL	85	70	82	108.5
2FL	85	70	82	108.5
1FL	90	75	82	113

柱　剛域端の算定

耐力計算時の剛域端は、
（梁ハンチ成－梁中央成1/2）　－柱成1/4＋梁中央成1/2とする。
柱脚は、通常通りで、自動計算値を採用する。

	ハンチD	中央D	柱D	剛域長
7FL	115	65	60	100
	105	65	60	90
5FL	125	70	60	110
	115	70	60	100
4FL	125	70	70	108
	115	70	70	98
3FL	135	70	70	118
	125	70	70	108
2FL	135	70	82	115
	125	70	82	105
1FL	155	75	82	135
	135	75	82	115
7FL	105	65	60	90
	115	65	60	100
5FL	125	70	60	110
	115	70	60	100
4FL	125	70	70	108
	125	70	70	108
3FL	135	70	70	118
	135	70	70	118
2FL	135	70	82	115
	135	70	82	115
1FL	145	75	82	125
	145	75	82	125

１－４　形状指標

項目の分類及びG，Ｒ一覧表

項目			G_i（グレード）			G_i	R_i	q_i
			1.0	0.9	0.8			
平面形状	a	整形性	整形 a_1	ほぼ整形 a_2	不整形 a_3	1.00	0.50	1.000
	b	辺長比	b≦5	5＜b≦8	8＜b	1.00	0.25	1.000
	c	くびれ	0.8≦c	0.5≦c＜0.8	c＜0.5	1.00	0.25	1.000
	d	エキスパンションジョイント	1/100≦d	1/200≦d＜1/100	d＜1/200	1.00	0.25	1.000
	e	吹き抜け	e≦0.1	0.1＜e≦0.3	0.3＜e	1.00	0.25	1.000
	f	吹抜の偏在	f_1≦0.4かつ f_2≦0.1	f_1≦0.4かつ 0.1＜f_2≦0.3	0.4＜f_1または 0.3＜f_2	1.00	0.00	1.000
	g							
断面形状	h	地下室の有無	1.0≦h	0.5≦h＜1.0	h＜0.5	0.80	1.00	1.000
	i	層高の均等性	0.8≦i	0.7≦i＜0.8	i＜0.7	1.00	0.25	1.000
	j	ピロティの有無	ピロティなし	全てピロティ	ピロティが偏在	1.00	1.00	1.000
	k							

注）ただし、q_i＝〔1－(1－G_i)×R_i〕；［i＝a～g，i～o］

q_i＝〔1.2－(1－G_i)×R_i〕；［i＝h］

計算値　a：整形性　　なし

・第２次診断用形状指標：ＳＤ２

ＳＤ２（a～k）＝1.00

b：辺長比　　Lx＝37.048m　Ly＝32.811m　b＝1.13

c：くびれ　　なし

d：Exp.j　　なし

e：吹き抜け　　なし

f：吹抜の偏在　なし

h：地下室　　なし

i：層高　　なし

j：ピロティ　　なし

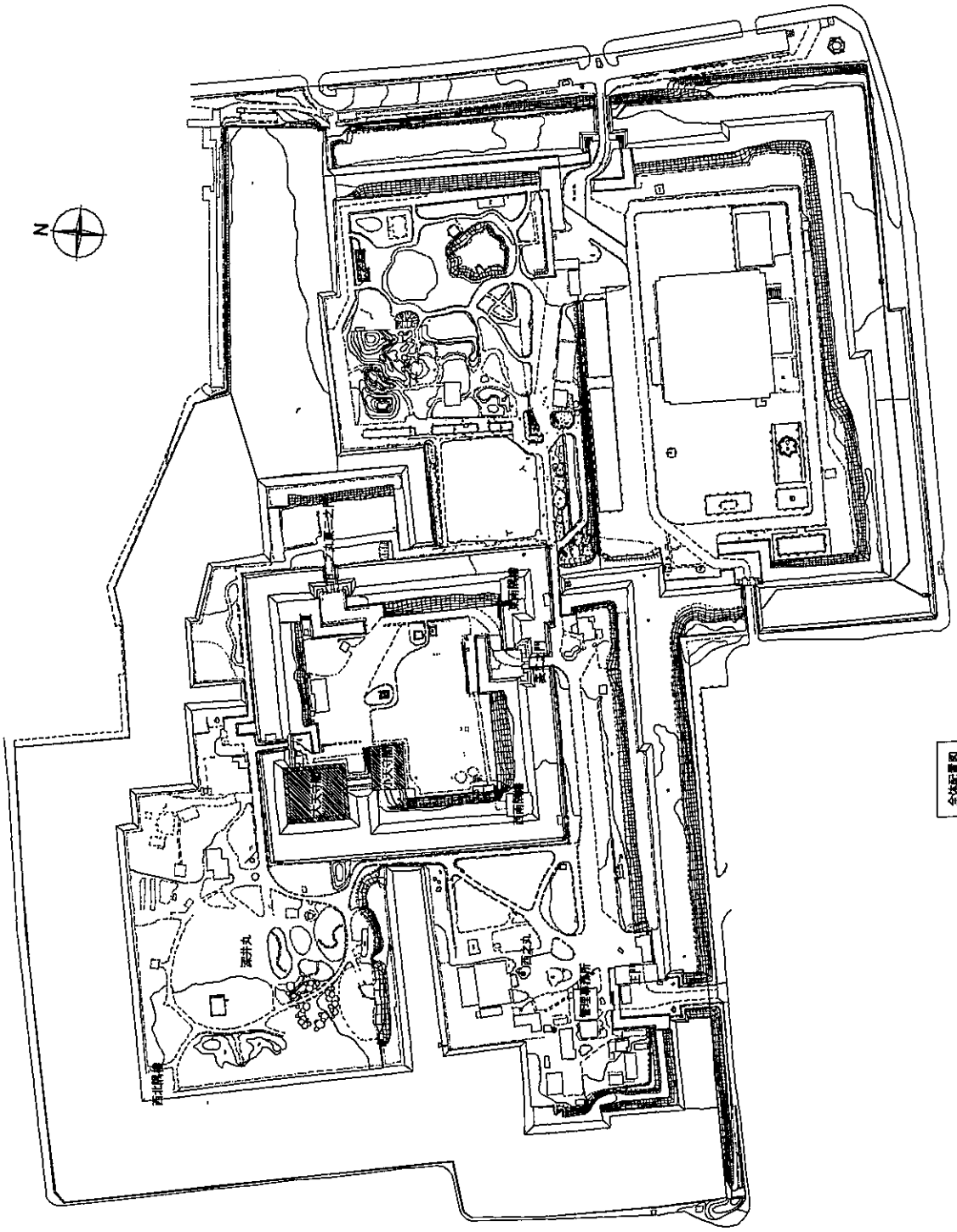
１－５　経年指標

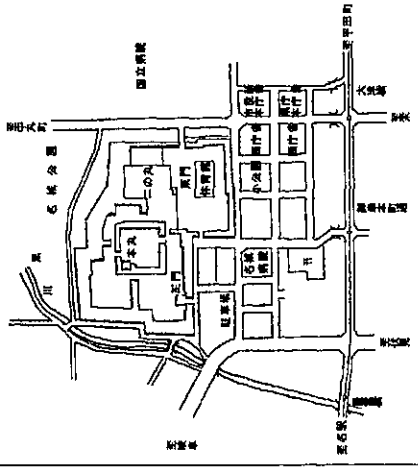
２次調査の減点数集計表（　全　階）　：第３次診断

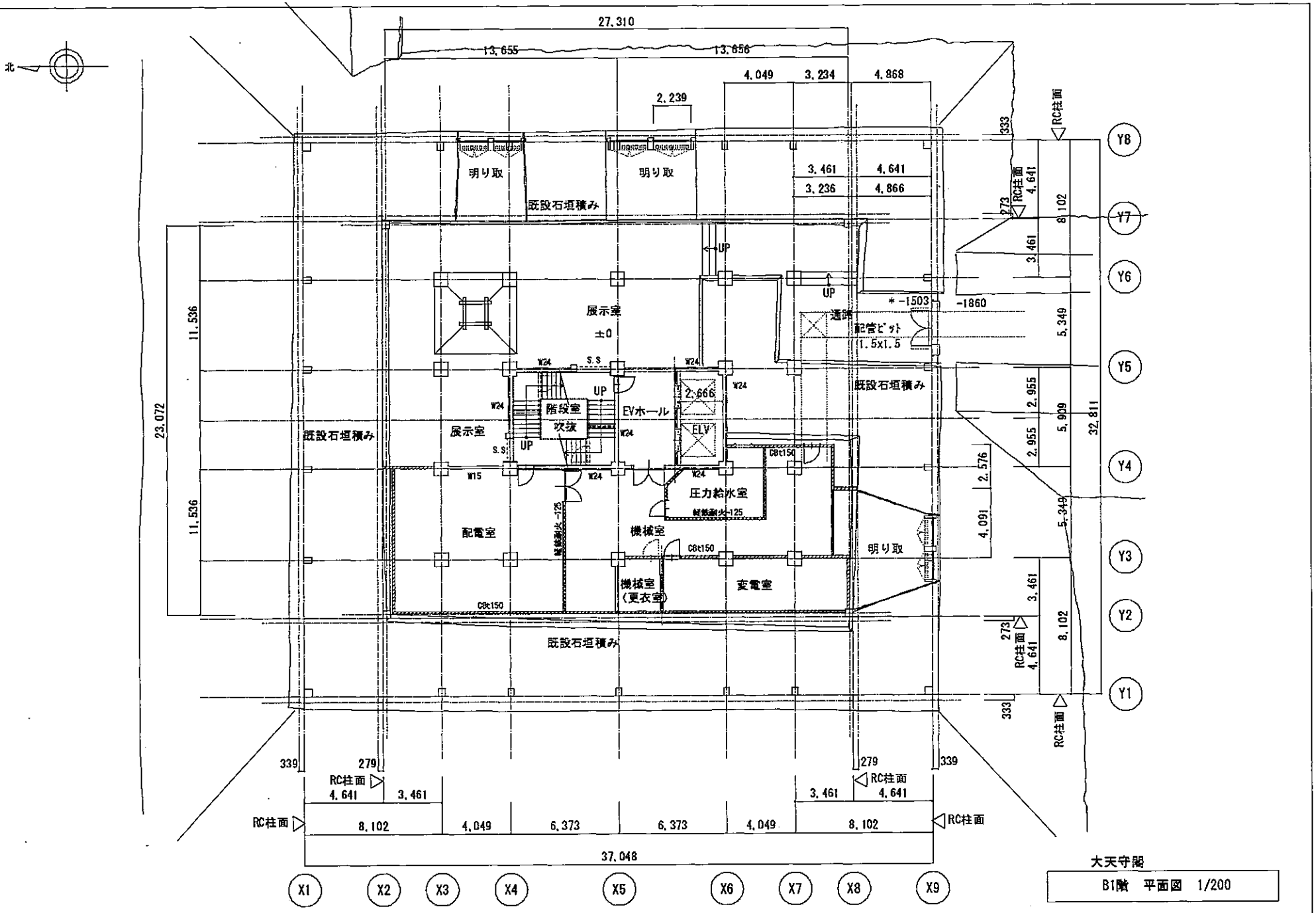
部位	項目 / 範囲	構造ひび割れ・変形 a	構造ひび割れ・変形 b	構造ひび割れ・変形 c	変質・老朽化 a	変質・老朽化 b	変質・老朽化 c
	程度	1．不同沈下に関連するひび割れ 2．誰でも肉眼で認められる梁、柱、壁のせん断ひび割れ、または斜めひび割れ	1．２次部材に支障をきたしているスラブ、梁の変形 2．離れると肉眼で認められない梁、壁、柱せん断ひび割れ、または斜めひび割れ 3．離れても肉眼で認められる梁、柱の曲げひび割れ、または垂直ひび割れ	1．a,b には該当しない軽微な構造ひび割れ 2．a,b には該当しないスラブ、梁のたわみ	1．鉄筋さびによるコンクリートの膨張ひび割れ 2．鉄筋の腐食 3．火災によるコンクリートのはだわれ 4．化学薬品等によるコンクリートの変質	1．雨水・漏水による鉄筋さびの溶け出し 2．コンクリートの鉄筋位置までの中性化または同等の材令 3．仕上げ材の著しい剥落	1．雨水・漏水、化学薬品等によるコンクリートの著しい汚れ、またはしみ 2．仕上げ材の軽微な剥落または老朽化
Ⅰ 床小梁を含む	① 総床数の 1/3以上	0.017	0.005	0.001	0.017	0.005	0.001
	② 同上　1/3～1/9	0.006	0.002	0.000	0.006	0.002	0.000
	③ 同上　1/9未満	0.002	0.001	0.000	0.002	0.001	0.000
	④ 同上　注）0	0	0	0	0	0	0
Ⅱ 大梁	① 建物１方向につき総部材数の1/3以上	0.050	0.015	0.004	0.050	0.015	0.004
	② 同上　1/3～1/9	0.017	0.005	0.001	0.017	0.005	0.001
	③ 同上　1/9未満	0.006	0.002	0.000	0.006	0.002	0.000
	④ 同上　注）0	0	0	0	0	0	0
Ⅲ 壁・柱	① 総部材数の 1/3以上	0.150	0.046	0.011	0.150	0.046	0.011
	② 同上　1/3～1/9	0.050	0.015	0.004	0.050	0.015	0.004
	③ 同上　1/9未満	0.017	0.005	0.001	0.017	0.005	0.001
	④ 同上　注）0	0	0	0	0	0	0
減点数集計欄	小計	0.000	0.017	0.000	0.000	0.017	0.000
	合計	0.017			0.017		
	T	計算値= 0.966		→	診断採用値= 0.97		

注）　④は面積・総部材が０のもので、建物の保全状態がきわめて良好と認められるもの

2．既存建物設計図面

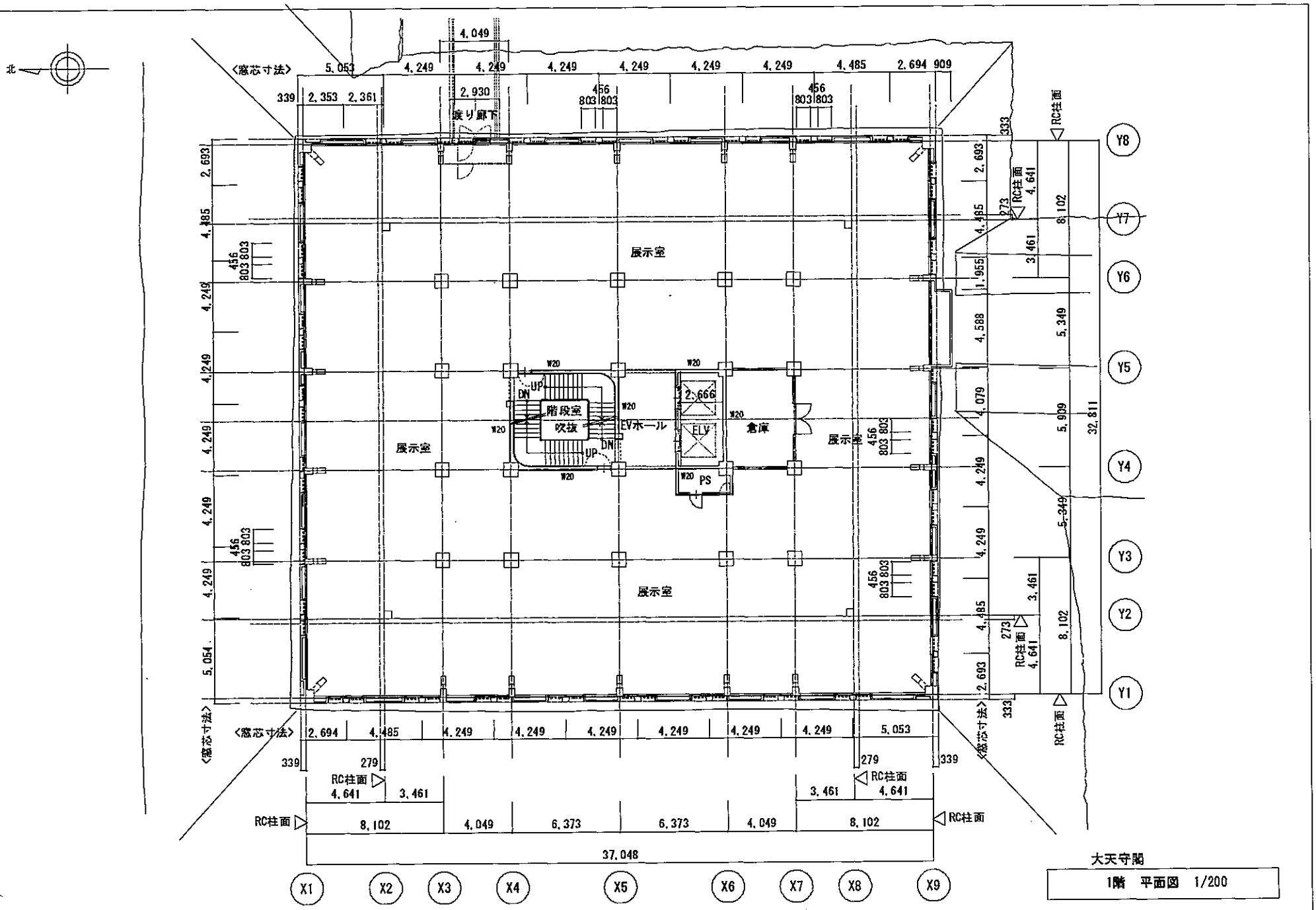

N
深井丸
全体配置図


周辺見取図



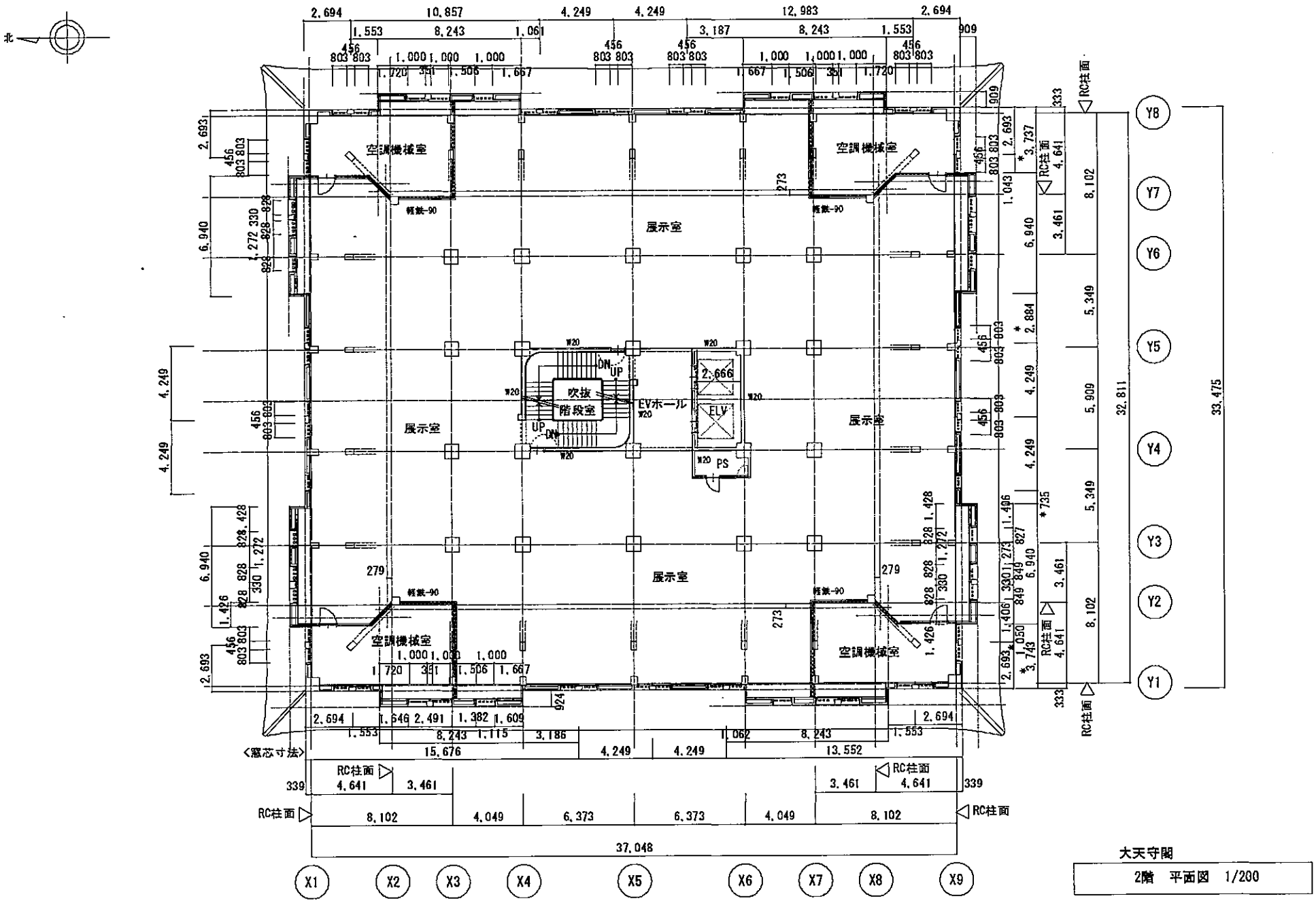
大天守閣

B1階　平面図　1/200



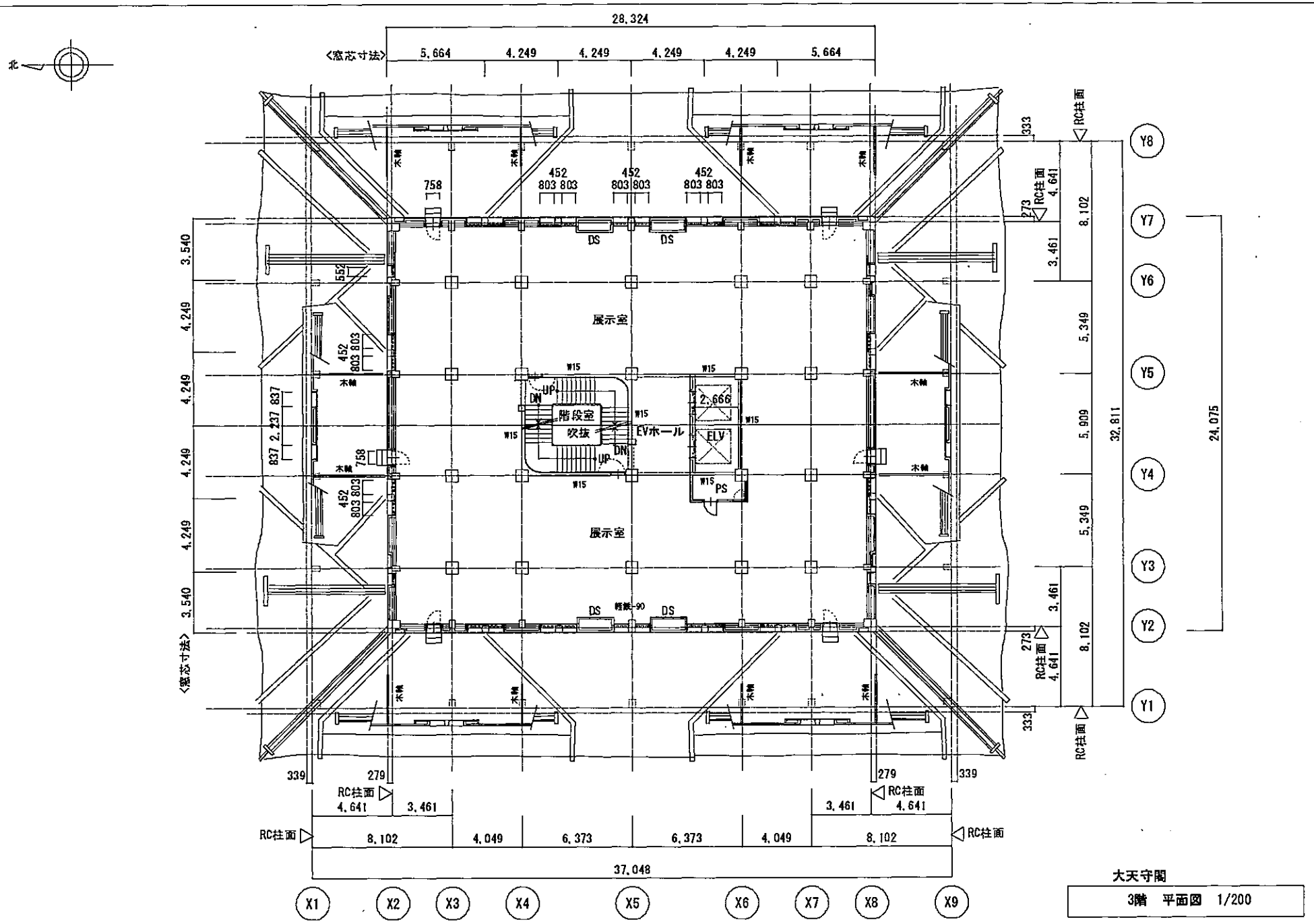
大天守閣

1階　平面図　1/200



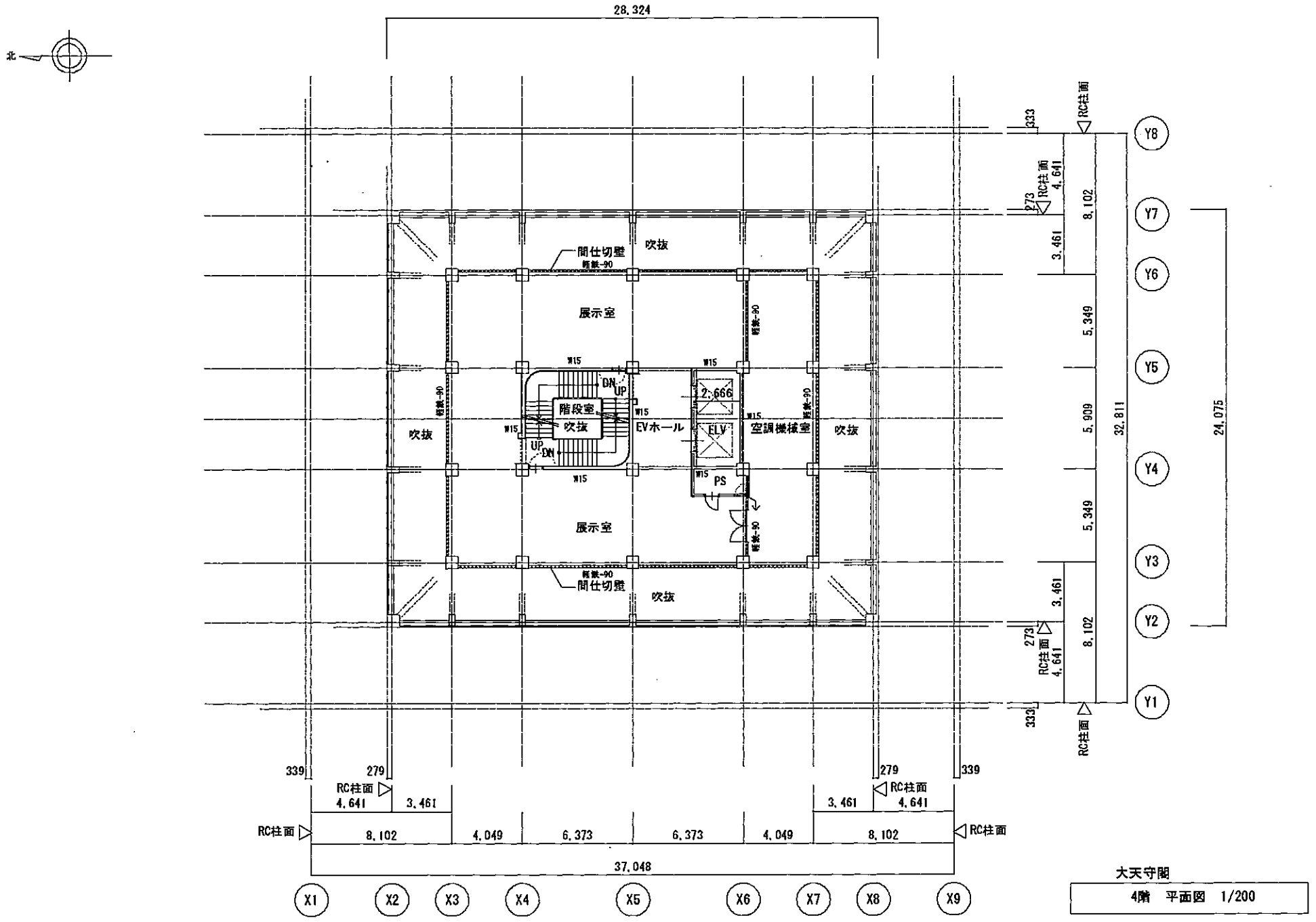
大天守閣

2階　平面図　1/200



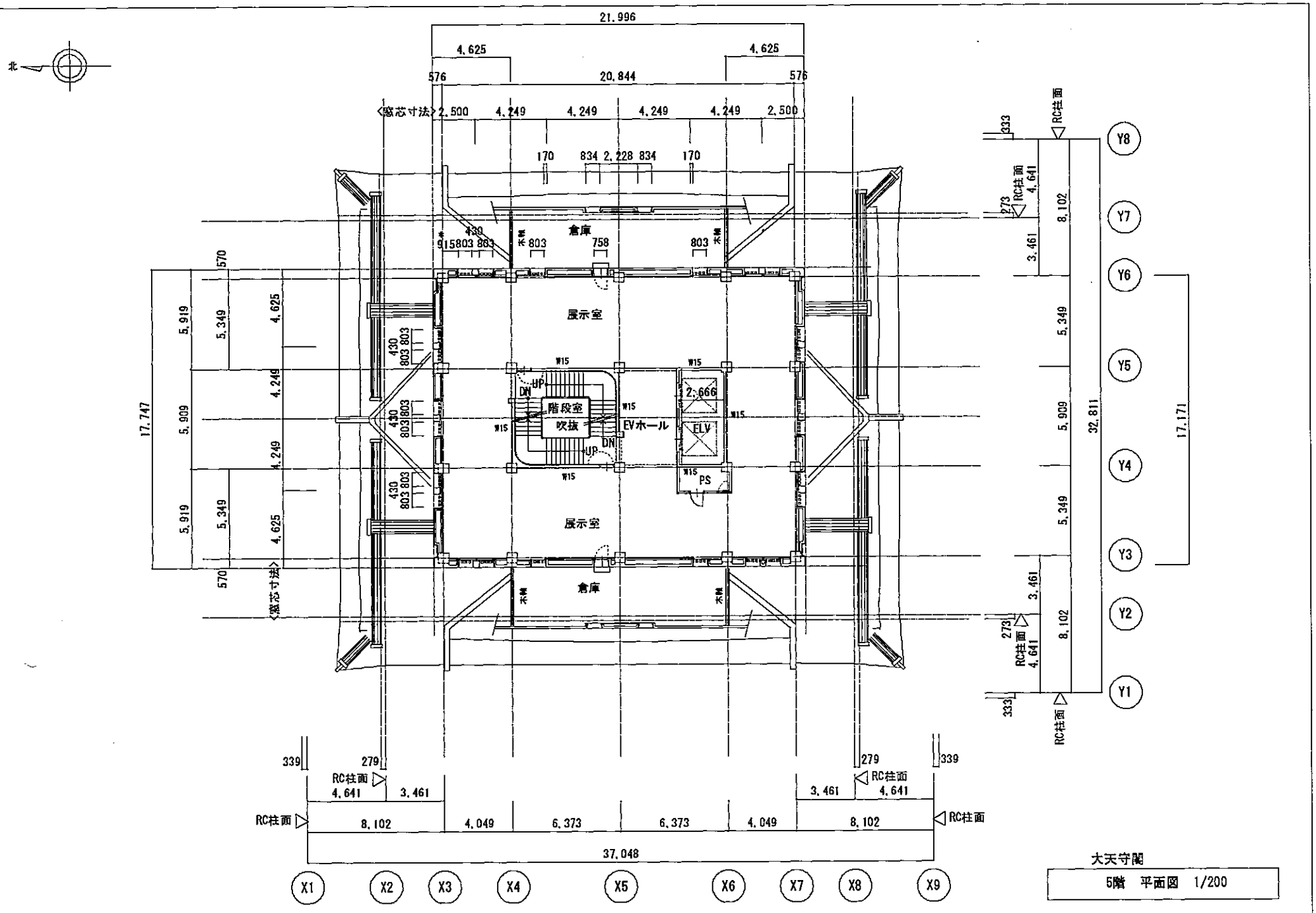
大天守閣

3階　平面図　1/200



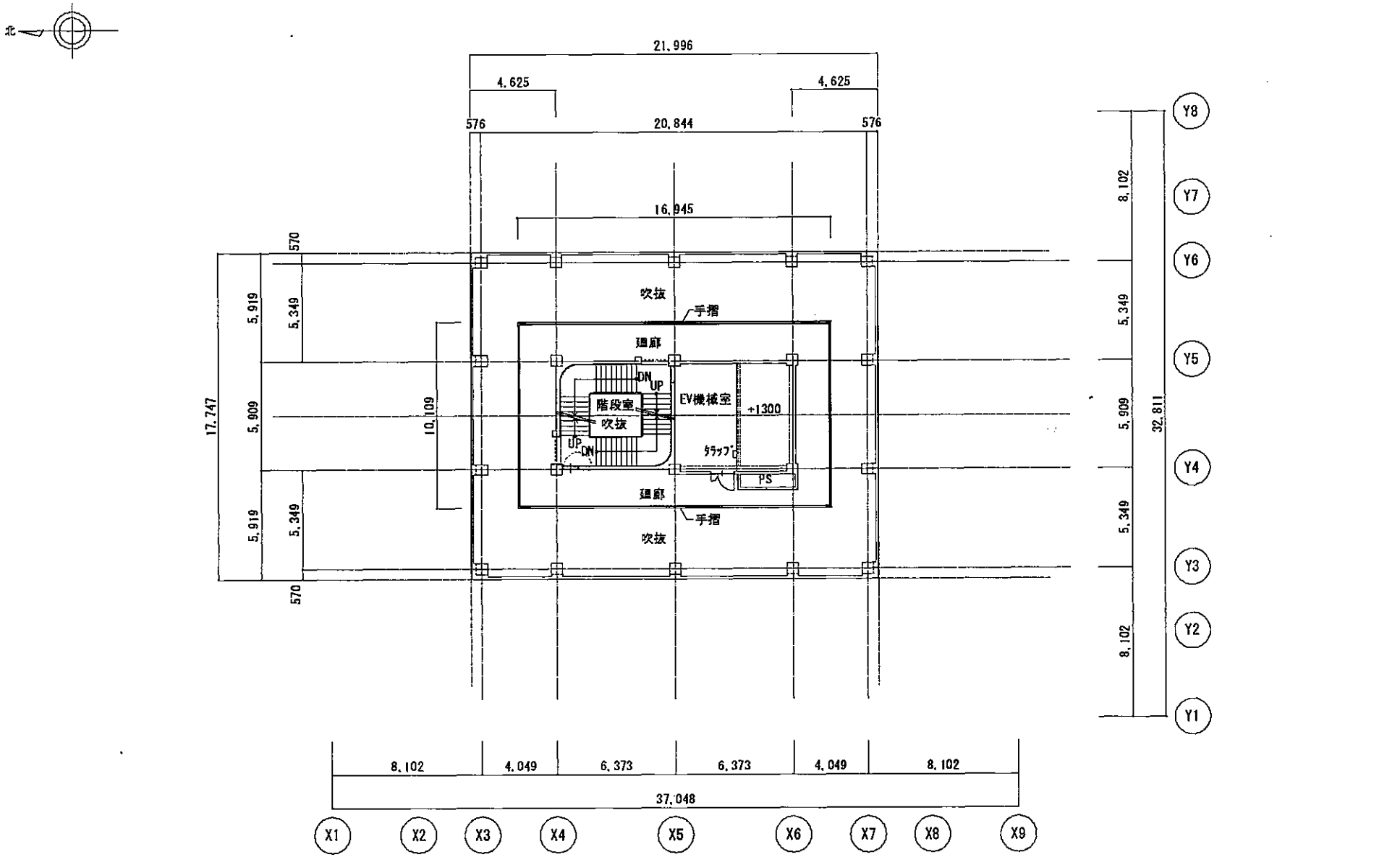
大天守閣

4階　平面図　1/200



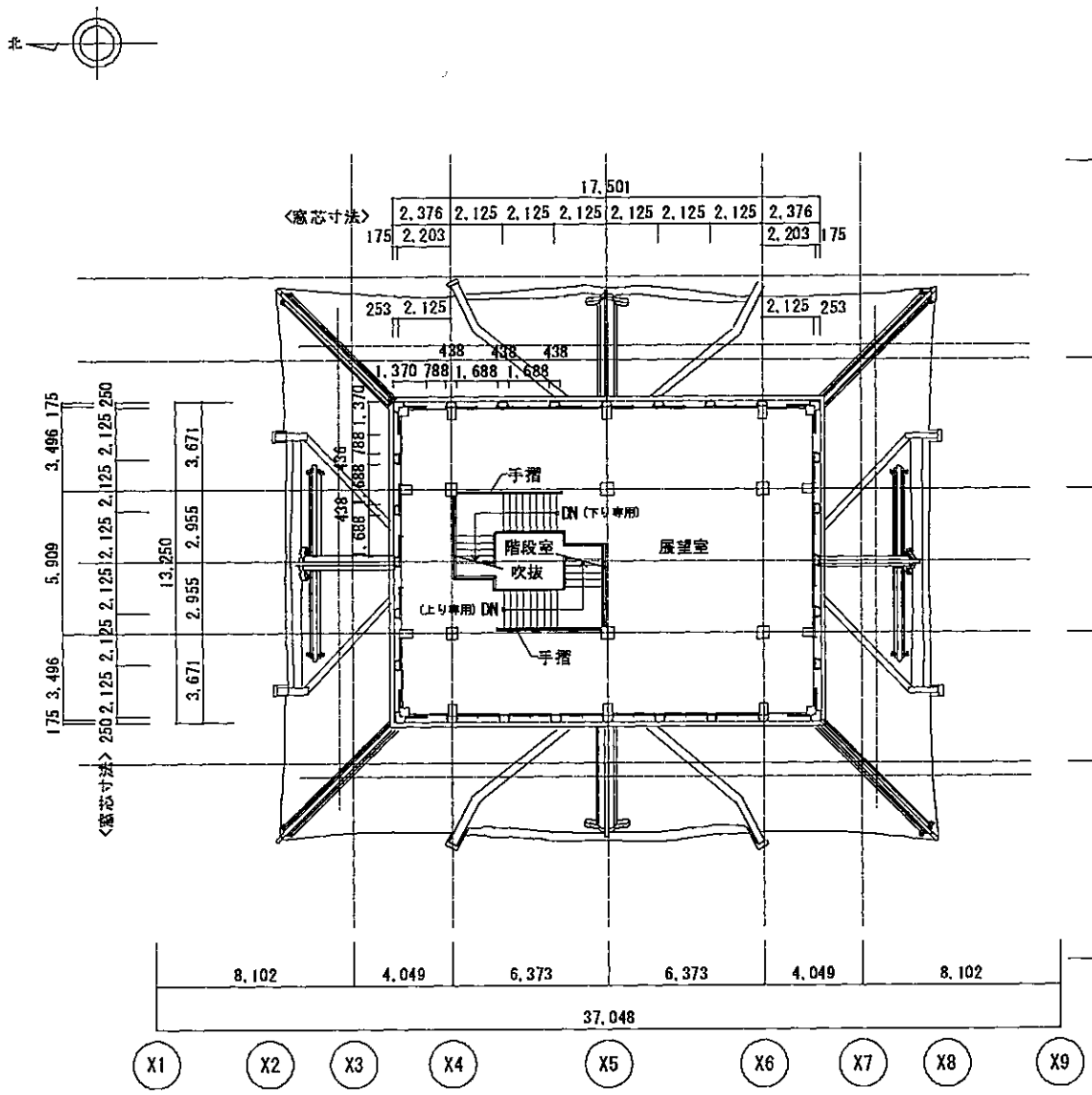
大天守閣

5階　平面図　1/200



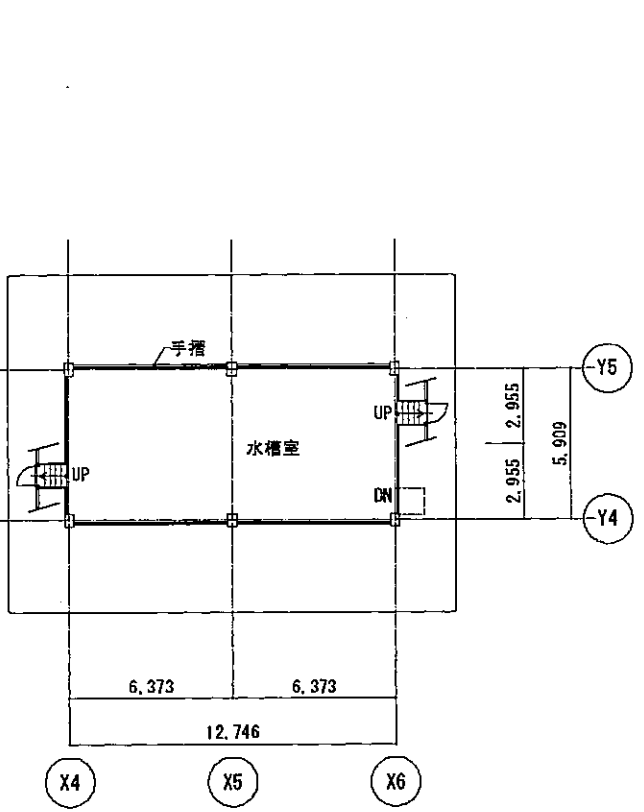
大天守閣

6階　平面図　1/200



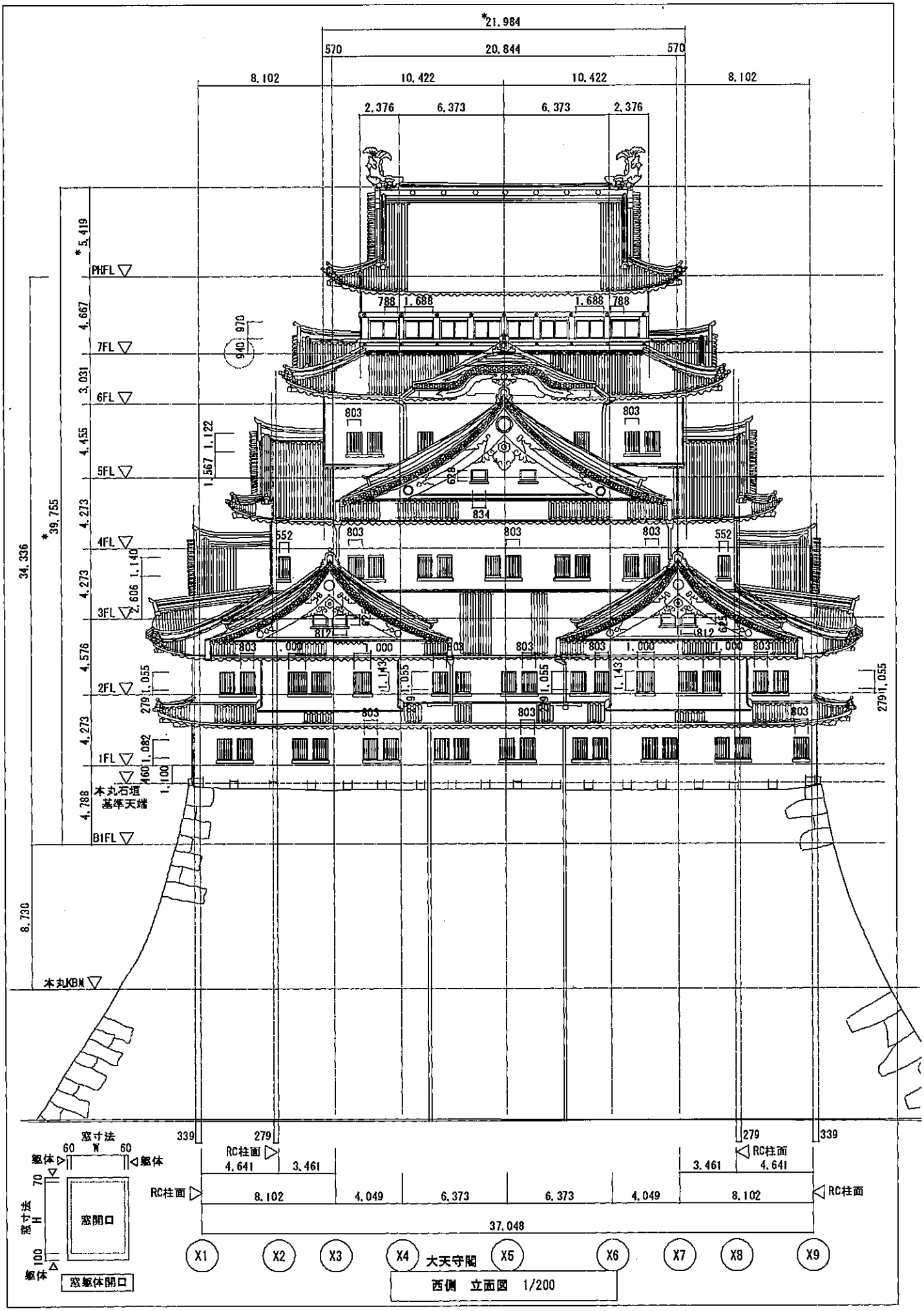
大天守閣

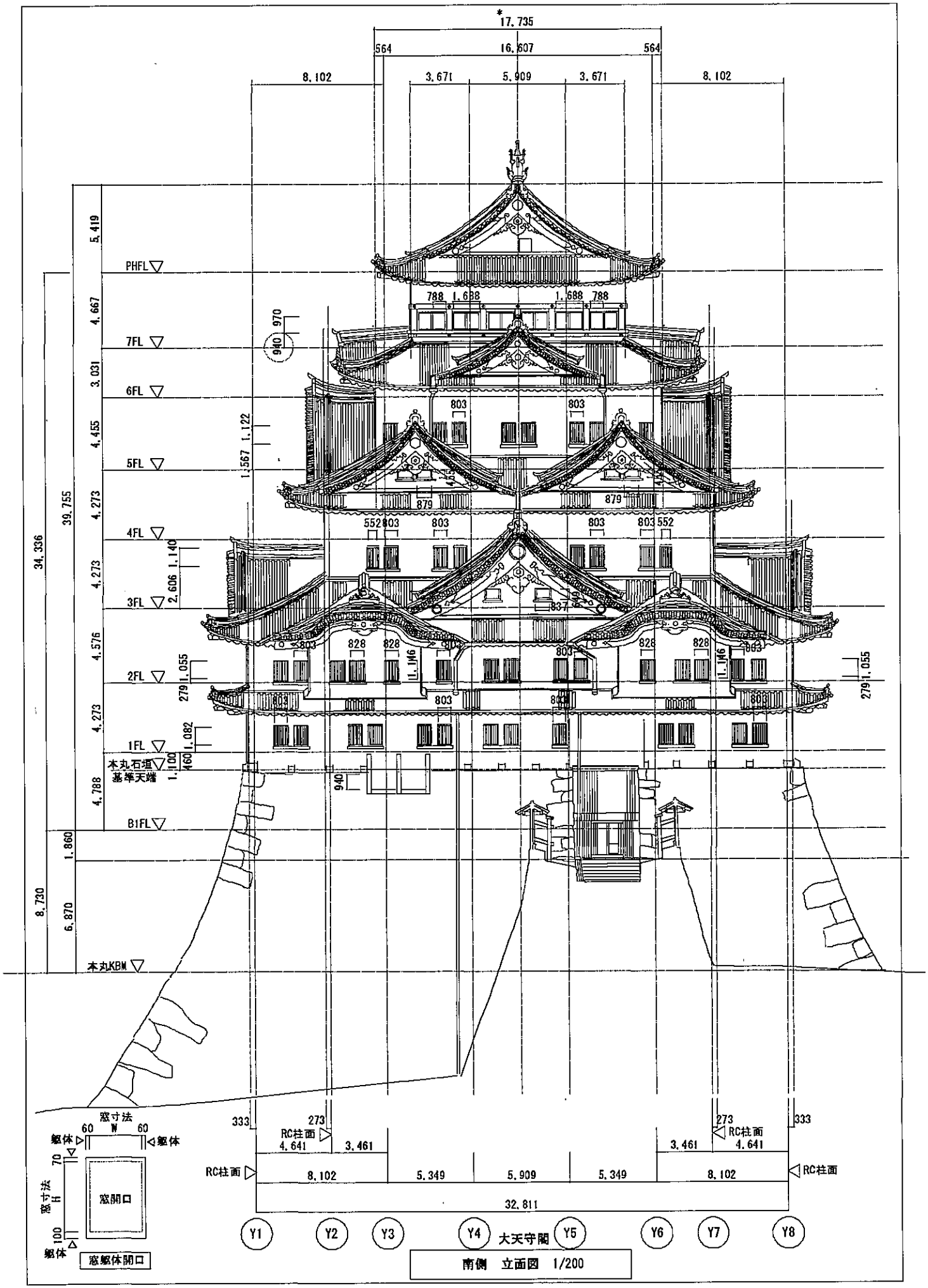
7階　平面図　1/200



大天守閣

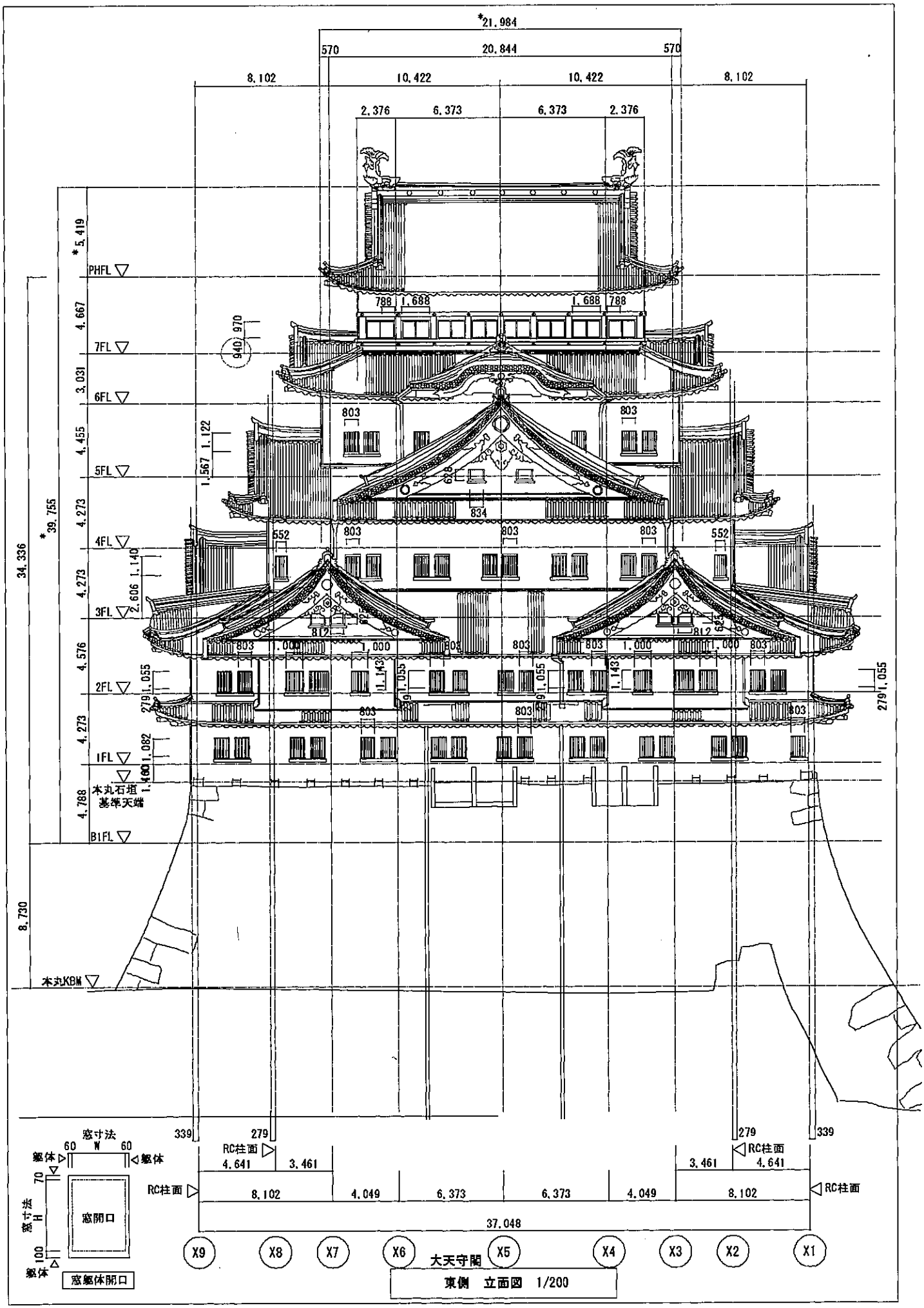
PH階　平面図　1/200

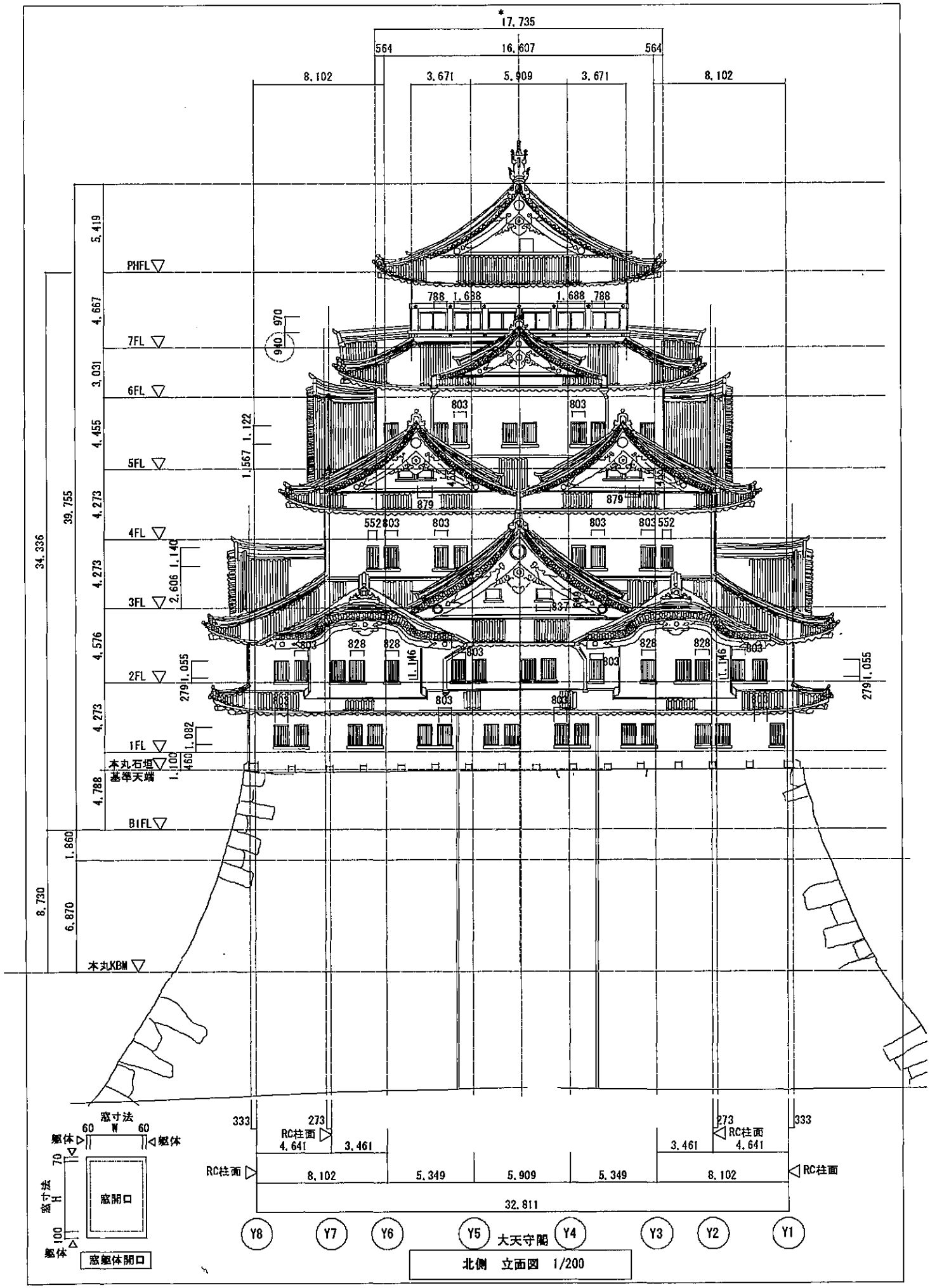

*21,984
570
20,844
570
8,102
10,422
10,422
8,102
2,376
6,373
6,373
2,376
PHFL
7FL
6FL
5FL
4FL
3FL
2FL
1FL
B1FL
本丸石垣
基準天端
本丸KBM
*5,419
4,667
3,031
4,455
4,273
4,273
4,576
4,273
4,788
*39,755
34,336
8,730
788
1,688
1,688
788
940
970
803
1,567
1,122
834
552
1,140
2,606
817
812
1,000
1,143
1,055
279
1,082
460
1,100
339
279
279
339
RC柱面
4,641
3,461
3,461
4,641
8,102
4,049
6,373
6,373
4,049
8,102
37,048
X1
X2
X3
X4
X5
X6
X7
X8
X9
大天守閣
西側 立面図 1/200
窓寸法
60
W
60
躯体
躯体
70
窓寸法
H
窓開口
100
躯体
窓躯体開口



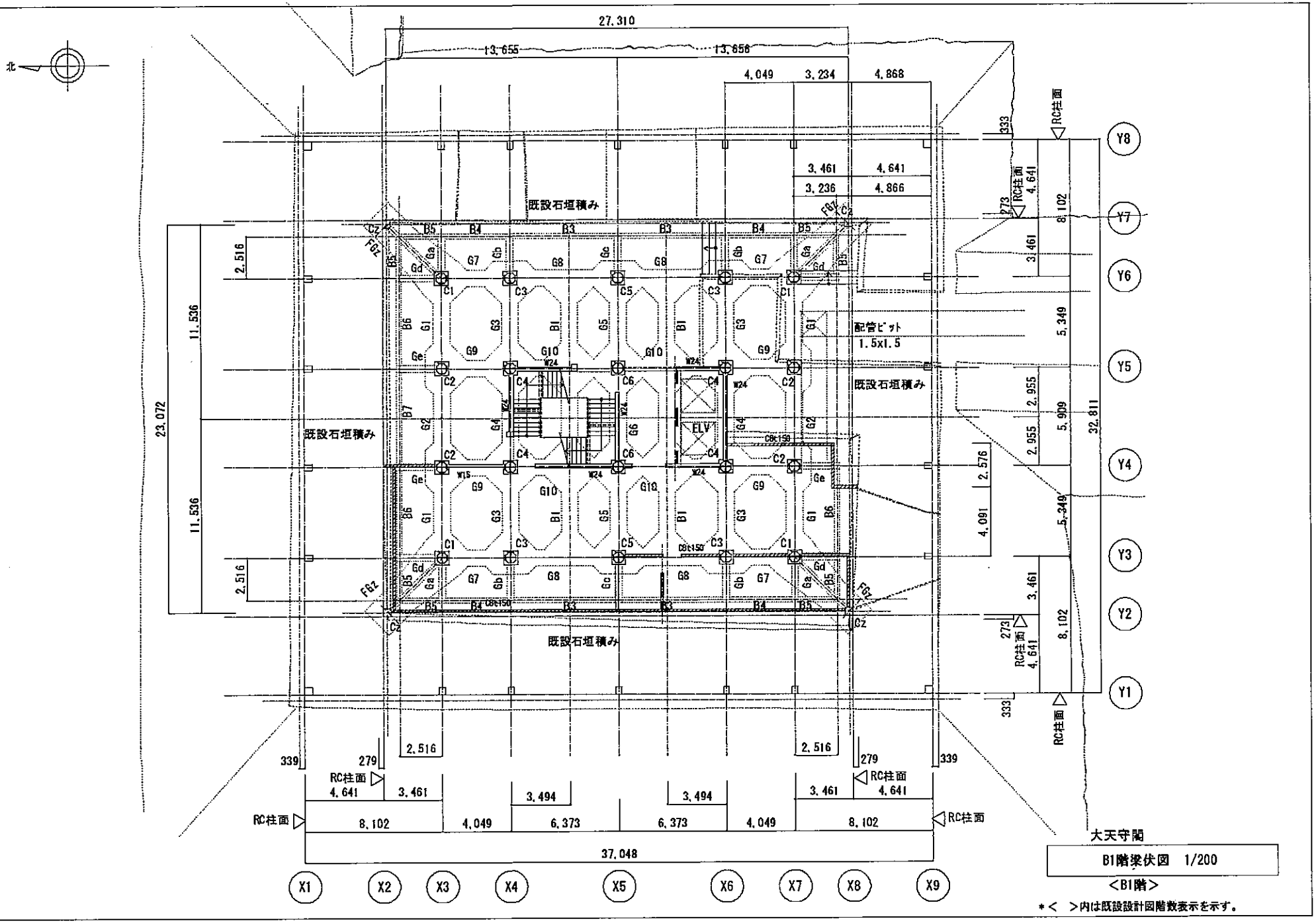
17,735
564
16,607
564
8,102
3,671
5,909
3,671
8,102
PHFL
7FL
6FL
5FL
4FL
3FL
2FL
1FL
本丸石垣
基準天端
B1FL
本丸KBM
5,419
4,667
3,031
4,455
4,273
4,273
4,576
4,273
4,788
1,860
6,870
8,730
34,336
39,755
788
1,688
1,688
788
970
940
803
1,122
1,567
879
552
803
803
803
552
1,140
2,606
837
828
828
1,146
1,055
279
1,082
1,100
460
940
333
273
RC柱面
4,641
3,461
3,461
4,641
8,102
5,349
5,909
5,349
8,102
32,811
Y1
Y2
Y3
Y4
大天守閣
Y5
Y6
Y7
Y8
窓寸法
W
60
60
躯体
躯体
70
窓寸法
H
100
躯体
窓開口
窓躯体開口

南側　立面図　1/200


*21,984
570
20,844
570
8,102
10,422
10,422
8,102
2,376
6,373
6,373
2,376
*5,419
PHFL
4,667
7FL
3,031
6FL
4,455
5FL
4,273
4FL
4,273
3FL
4,576
2FL
4,273
1FL
4,788
B1FL
*39,755
34,336
8,730
本丸KBM
本丸石垣
基準天端
788
1,688
1,688
788
940
970
803
1,567
1,122
834
552
803
803
803
552
1,140
2,606
812
1,000
1,000
803
803
803
1,000
1,000
803
1,143
1,055
279
1,055
279
1,055
803
803
803
1,082
1,460
窓寸法
60
W
60
躯体
躯体
70
窓寸法
H
100
躯体
窓開口
窓躯体開口
339
279
RC柱面
4,641
3,461
279
339
RC柱面
3,461
4,641
RC柱面
8,102
4,049
6,373
6,373
4,049
8,102
RC柱面
37,048
X9
X8
X7
X6
X5
X4
X3
X2
X1
大天守閣
東側　立面図　1/200


17,735
564
16,607
564
8,102
3,671
5,909
3,671
8,102
PHFL
7FL
6FL
5FL
4FL
3FL
2FL
1FL
本丸石垣
基準天端
B1FL
本丸KBM
5,419
4,667
3,031
4,455
4,273
4,273
4,576
4,273
4,788
1,860
6,870
8,730
39,755
34,336
788
1,688
1,688
788
970
940
803
1,567
1,122
879
552
828
837
2,606
1,140
1,055
279
1,082
460
1,100
333
273
RC柱面
4,641
3,461
8,102
5,349
5,909
32,811
Y8
Y7
Y6
Y5
Y4
Y3
Y2
Y1
大天守閣
窓寸法
W
60
躯体
70
窓寸法
H
窓開口
100
窓躯体開口

北側　立面図　1/200

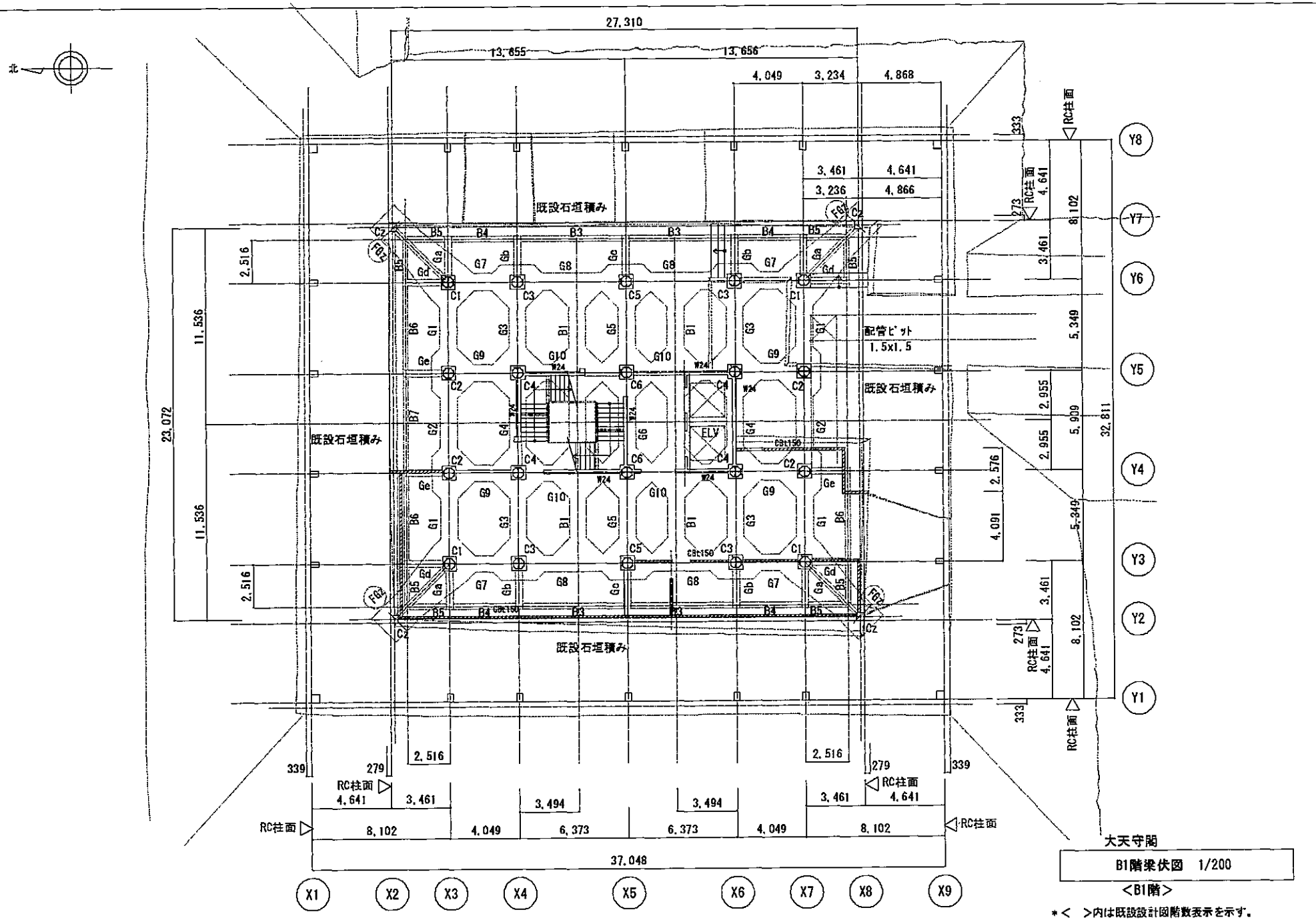


大天守閣

B1階梁伏図　1/200

<B1階>

＊<　>内は既設設計図階数表示を示す。

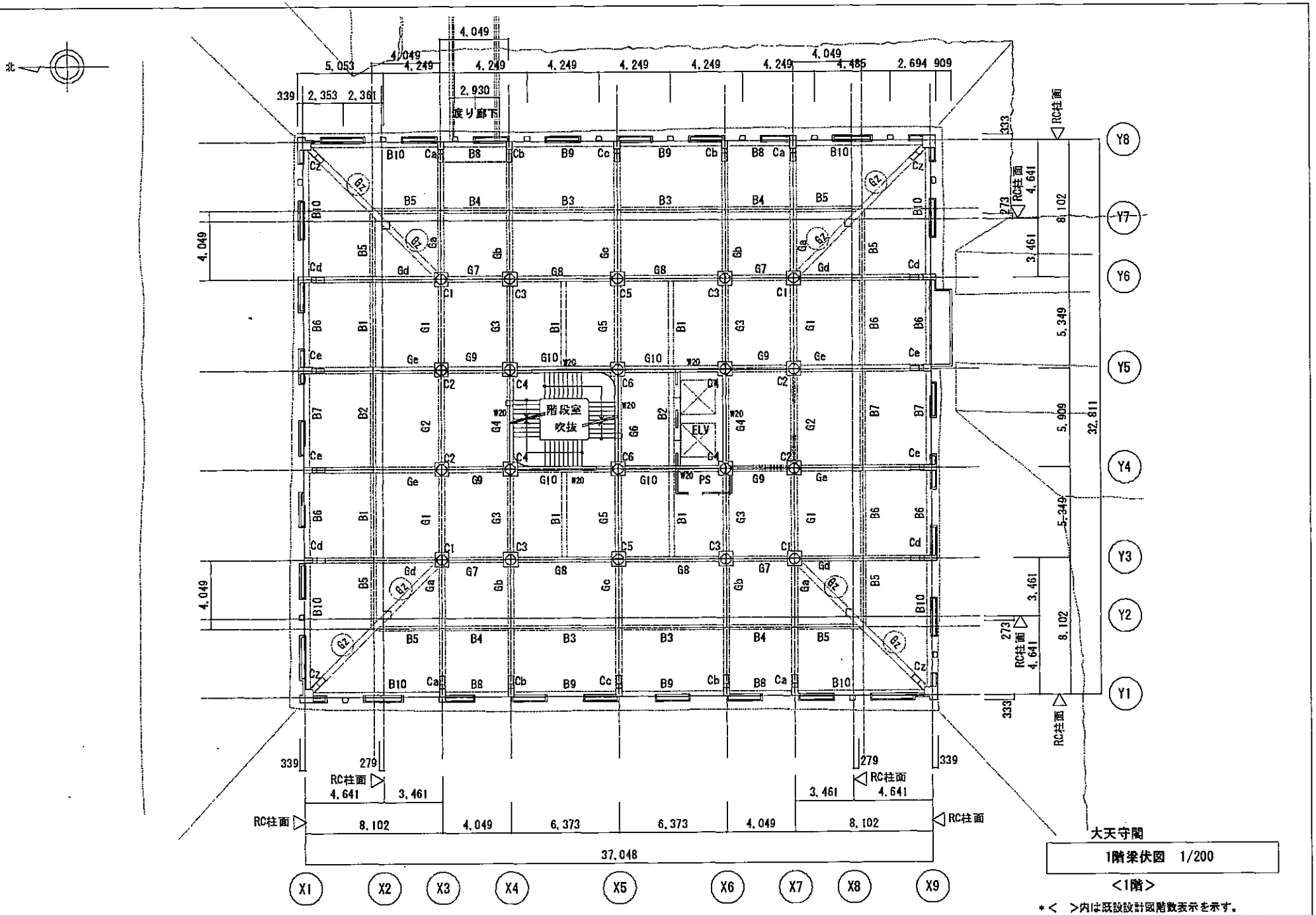


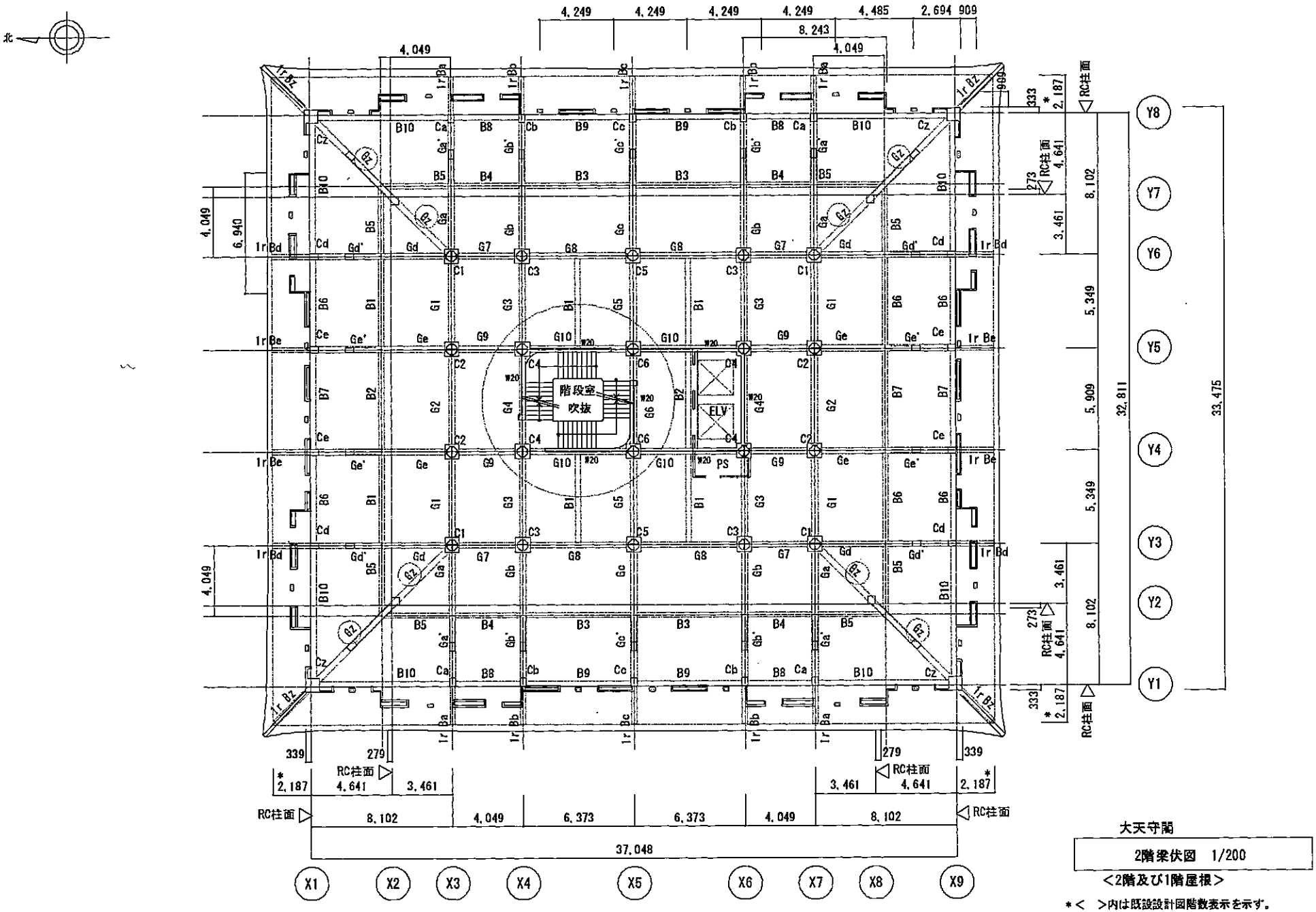
大天守閣

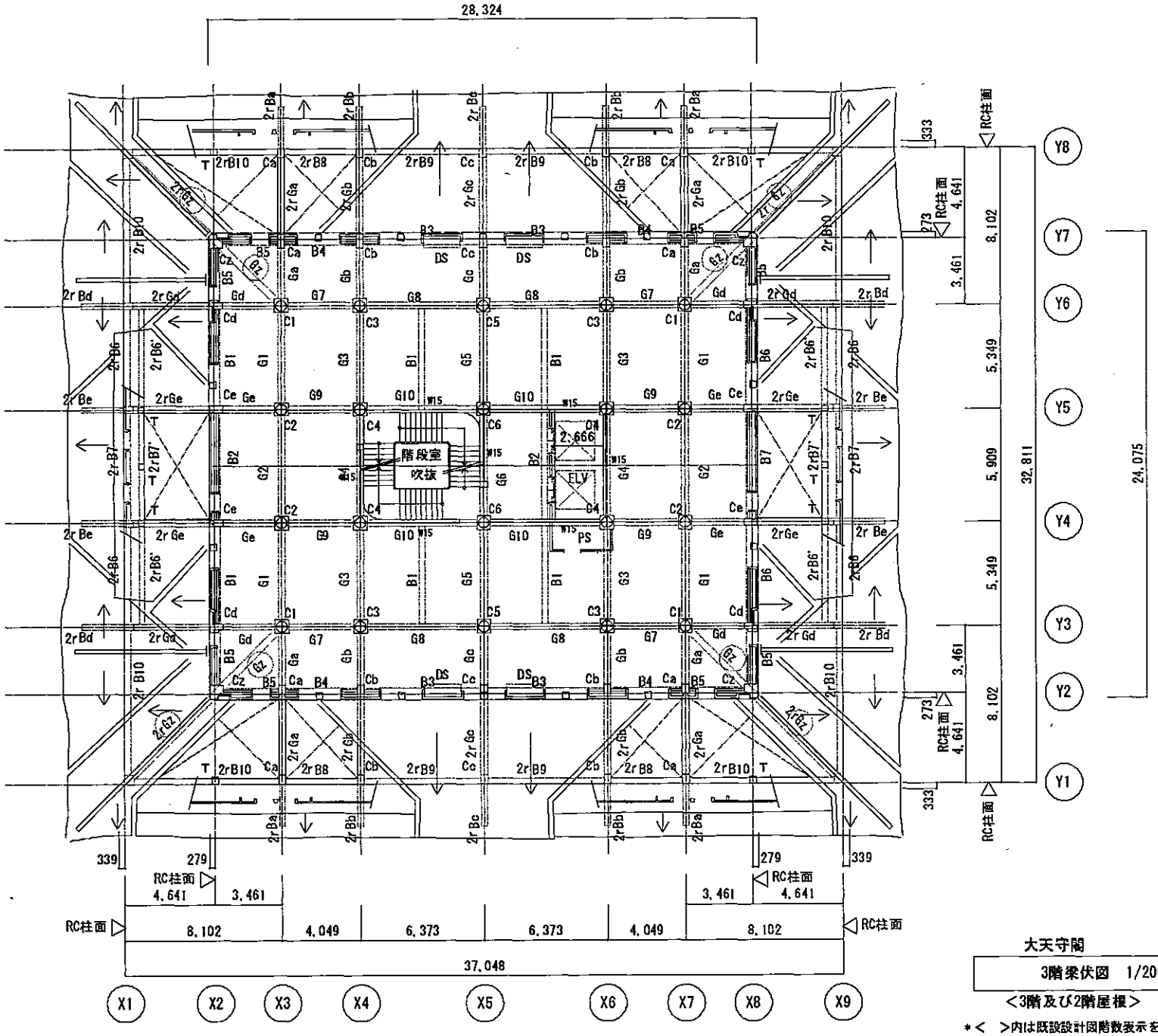
B1階梁伏図 1/200

<B1階>

＊< >内は既設設計図階数表示を示す。


北
渡り廊下
階段室
吹抜
ELV
PS
RC柱面
大天守閣
1階梁伏図 1/200
<1階>
＊< >内は既設設計図階数表示を示す。


北
階段室
吹抜
ELV
PS
大天守閣
2階梁伏図 1/200
＜2階及び1階屋根＞
＊＜ ＞内は既設設計図階数表示を示す。

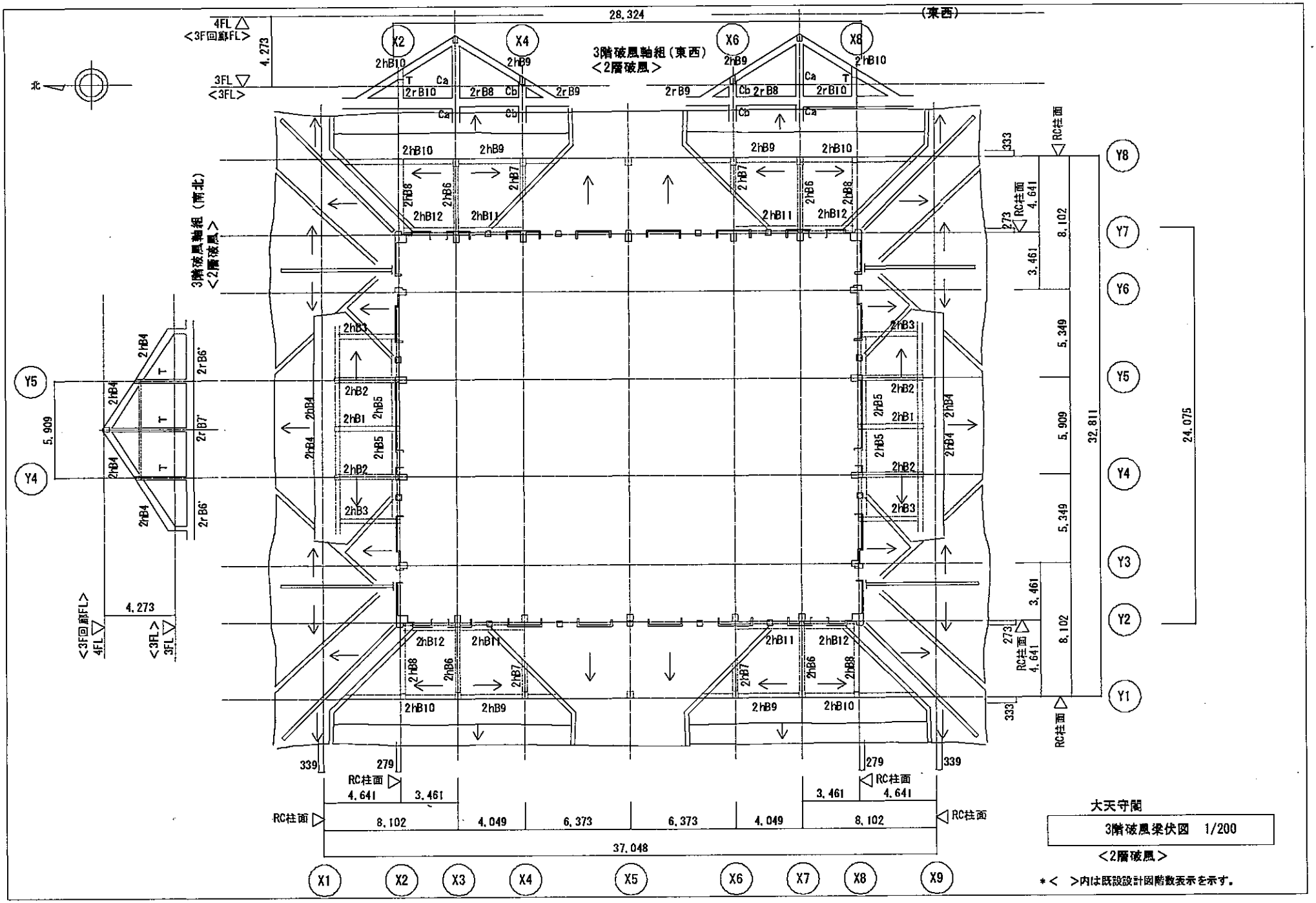


大天守閣

3階梁伏図　1/200

<3階及び2階屋根>

*< >内は既設設計図階数表示を示す。

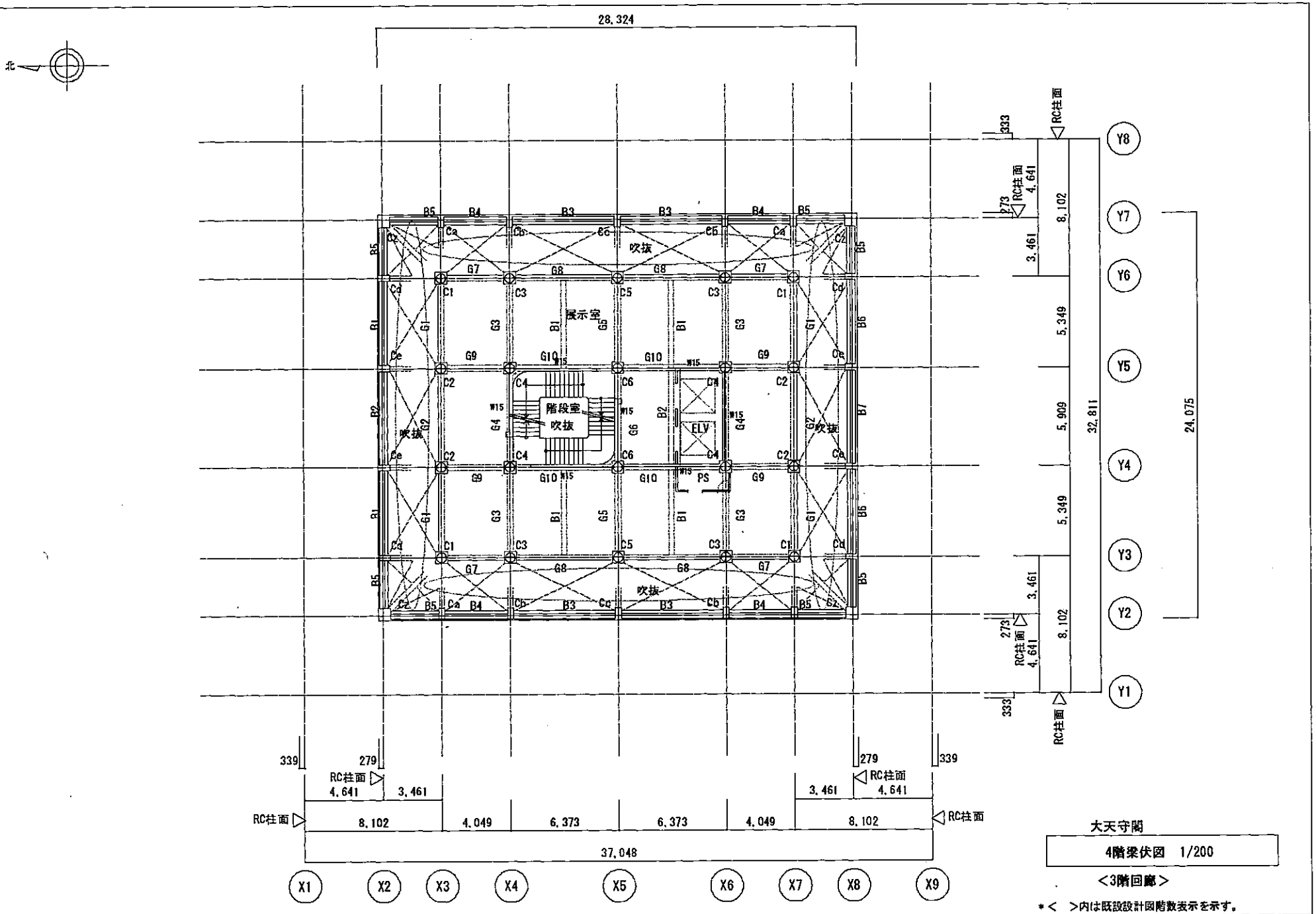


大天守閣

3階破風梁伏図 1/200

<2層破風>

*< >内は既設設計図階数表示を示す。

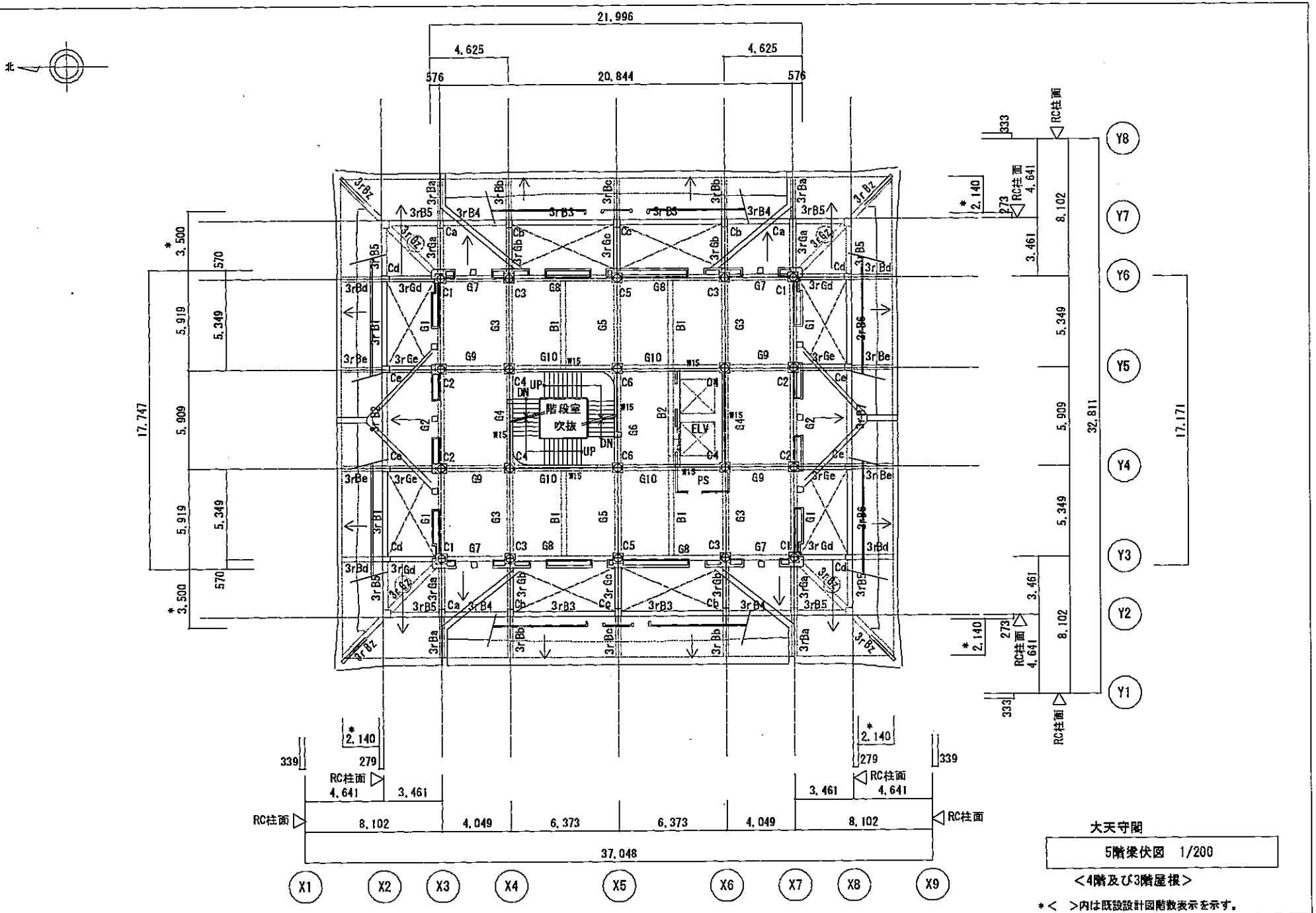


大天守閣

4階梁伏図　1/200

＜3階回廊＞

＊＜　＞内は既設設計図階数表示を示す。

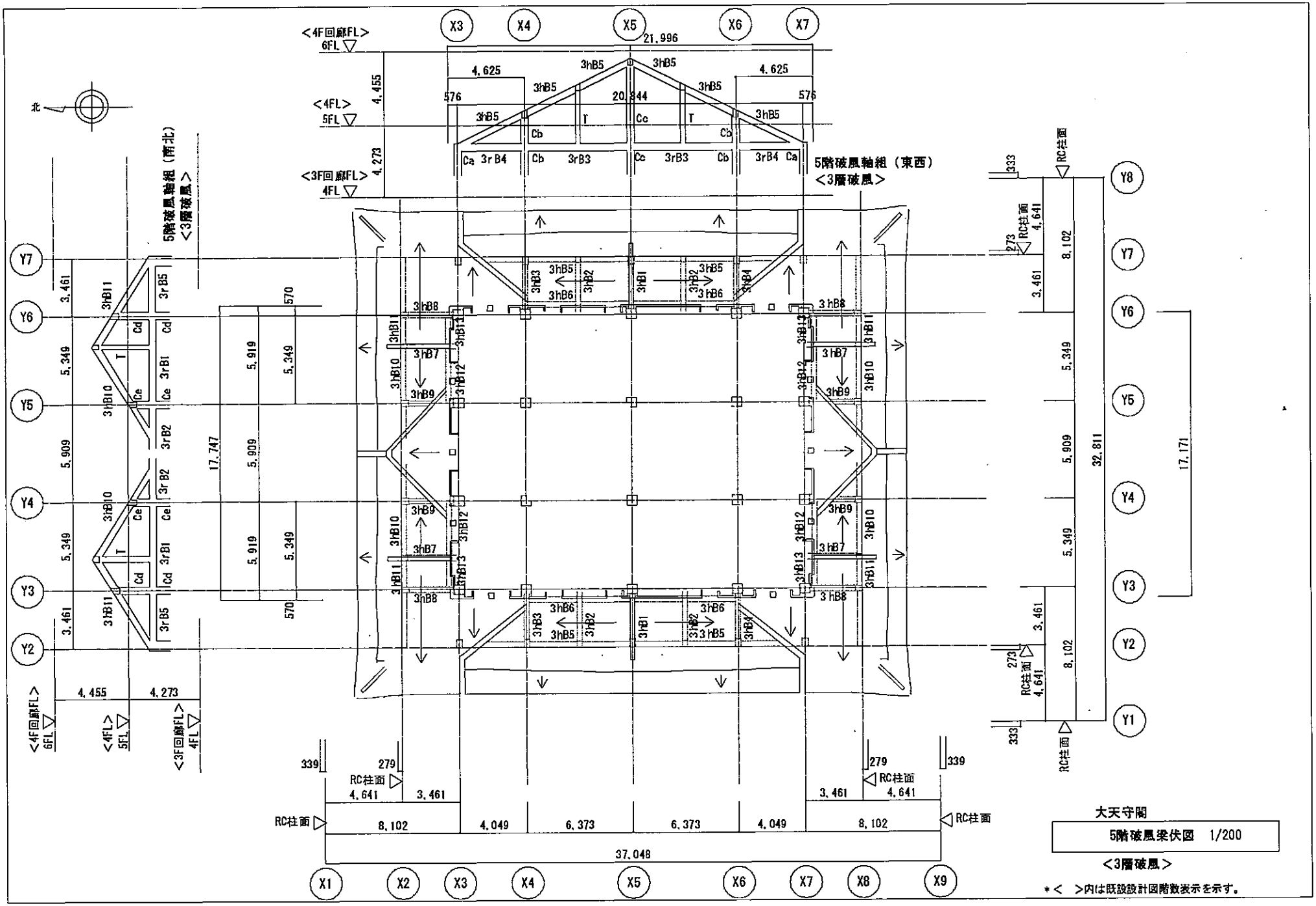


大天守閣

5階梁伏図　1/200

＜4階及び3階屋根＞

＊＜　＞内は既設設計図階数表示を示す。

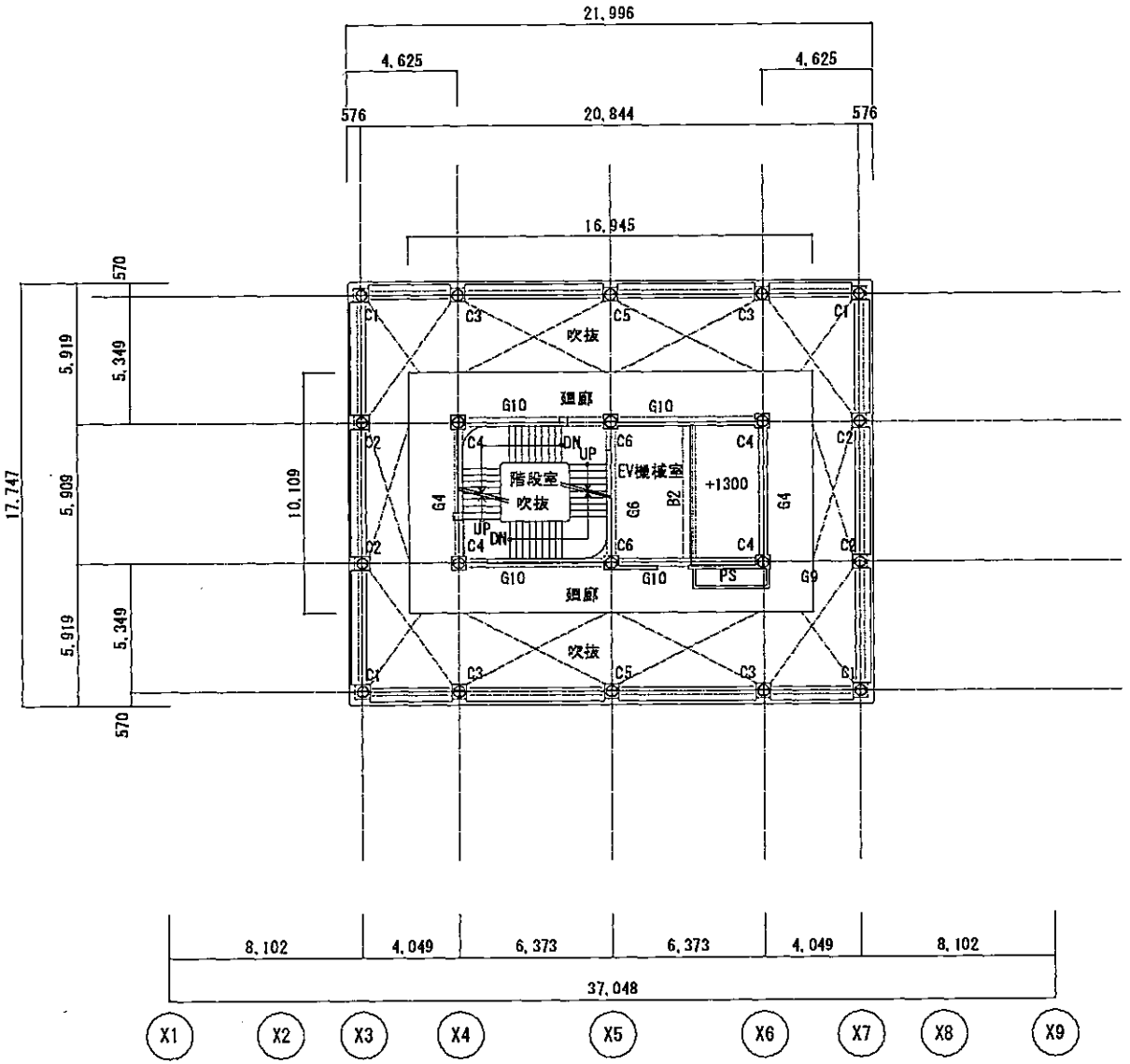


大天守閣

5階破風梁伏図　1/200

<3層破風>

＊< >内は既設設計図階数表示を示す。

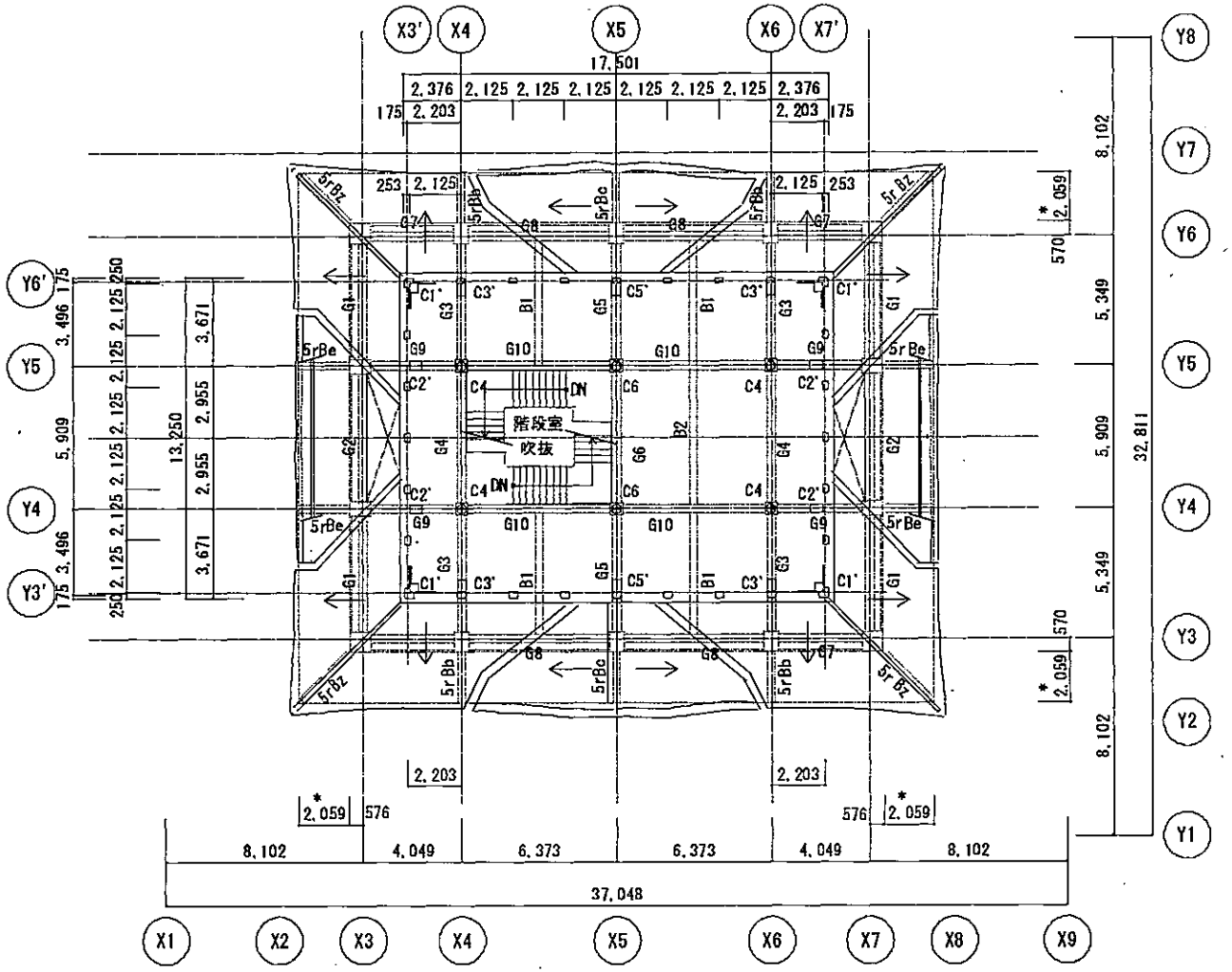


大天守閣

6階梁伏図　1/200

＜4階回廊＞

＊＜　＞内は既設設計図階数表示を示す。

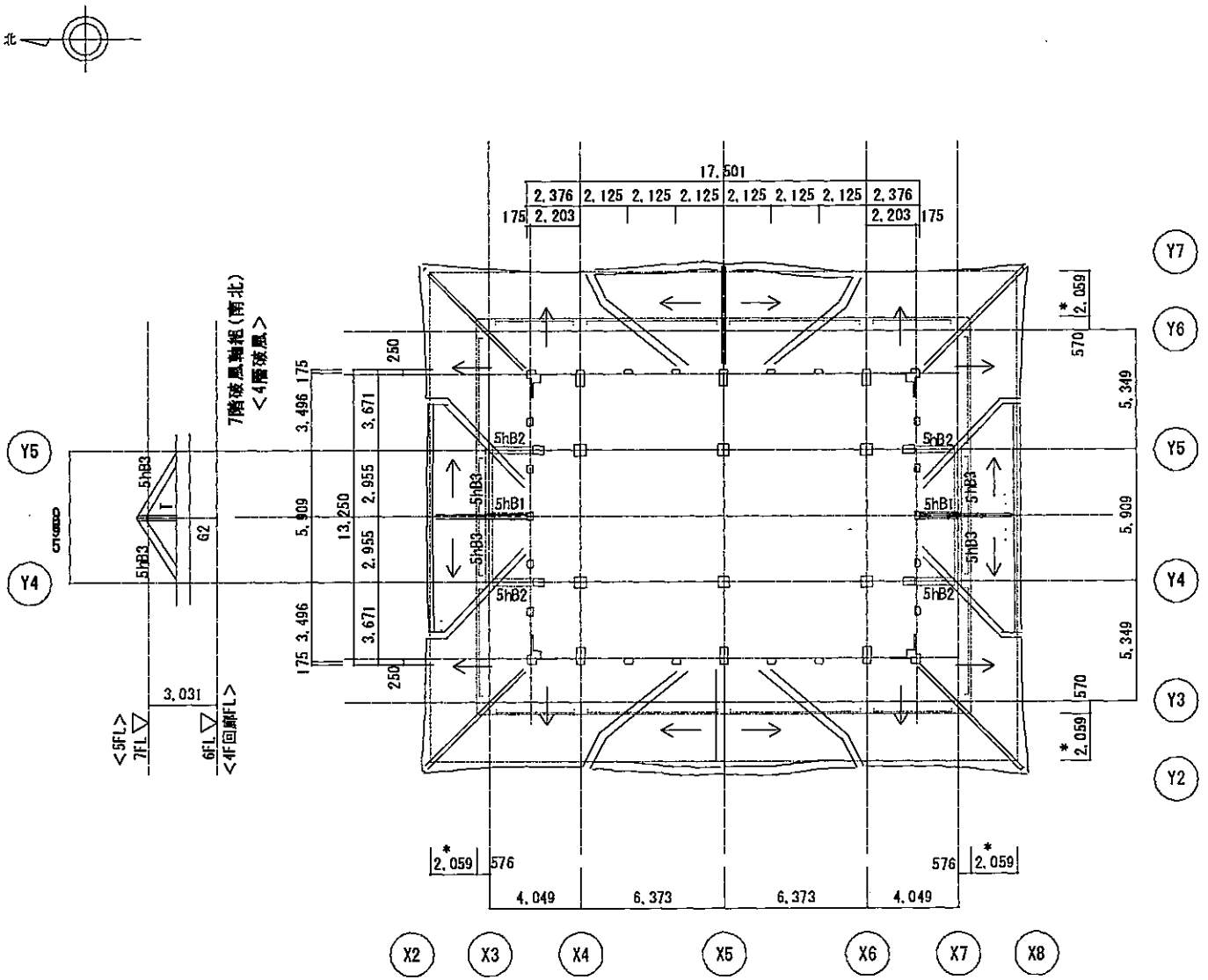


大天守閣

7階梁・5階屋根伏図　1/200

<5階及び4層屋根>

＊< >内は既設設計図階数表示を示す。

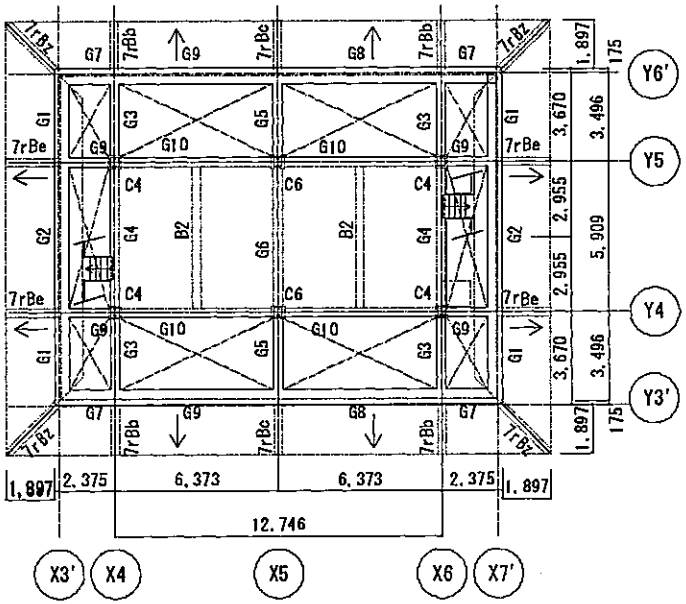


大天守閣

7階破風梁伏図　1/200

<4層破風>

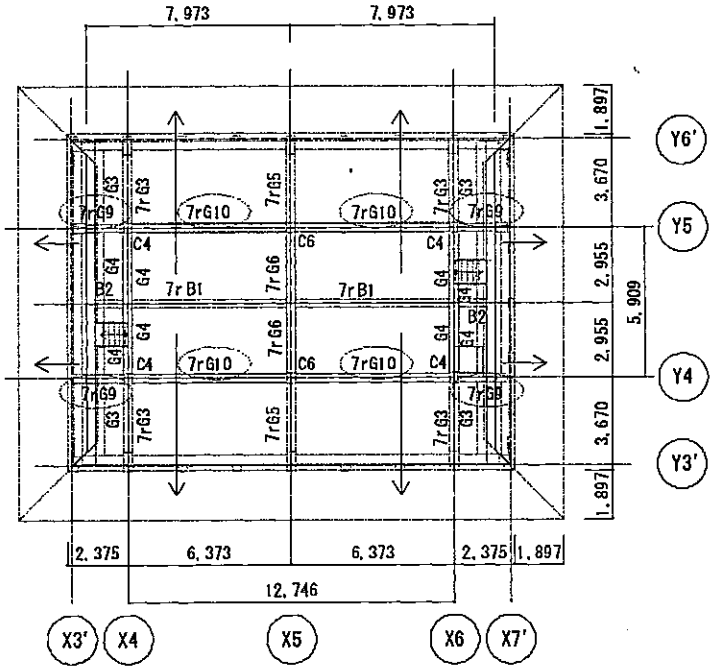
＊<　>内は既設設計図階数表示を示す。



大天守閣

PH階梁・7階屋根伏図　1/200

<6階及び5層屋根>

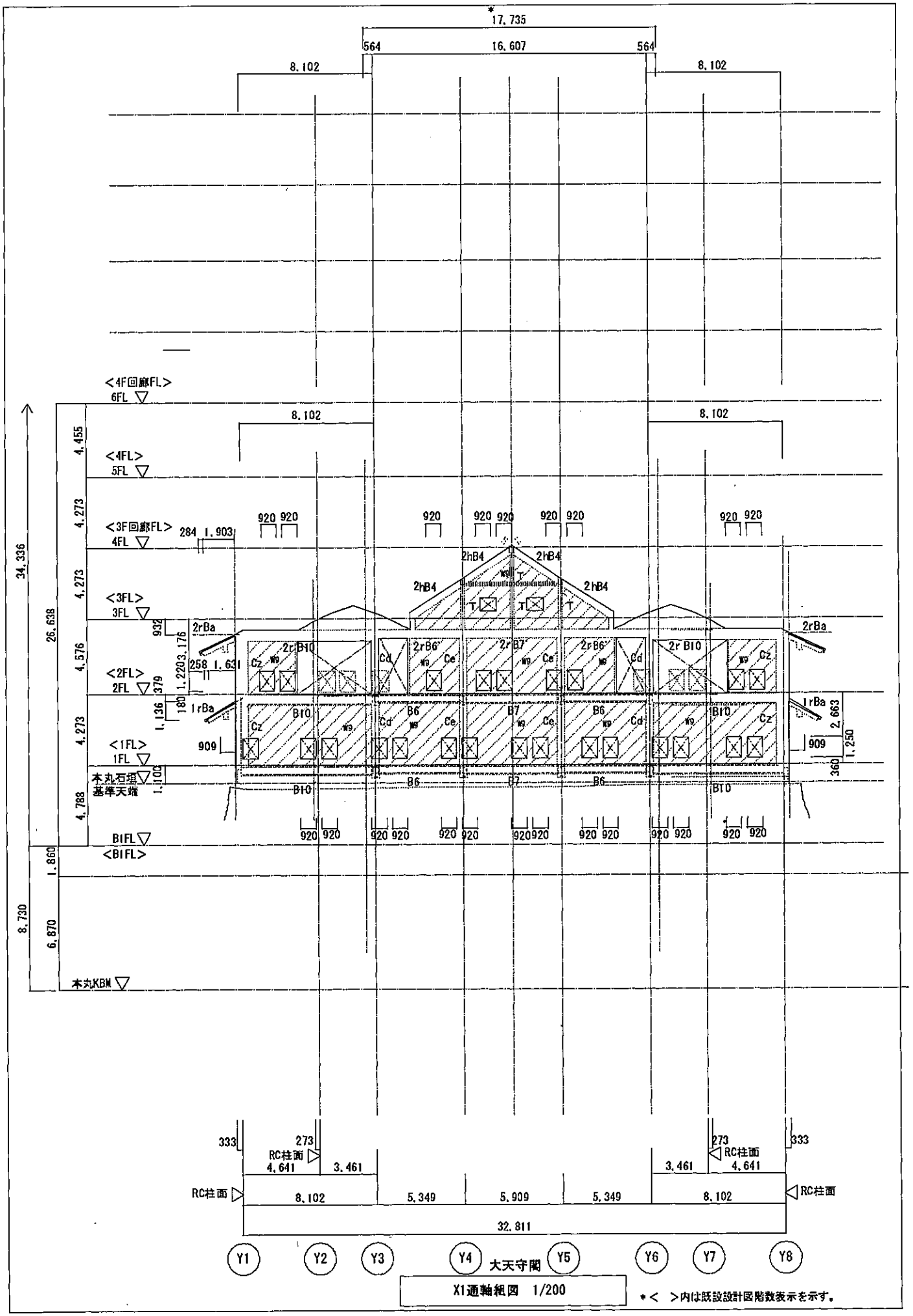


大天守閣

PH階屋根伏図　1/200

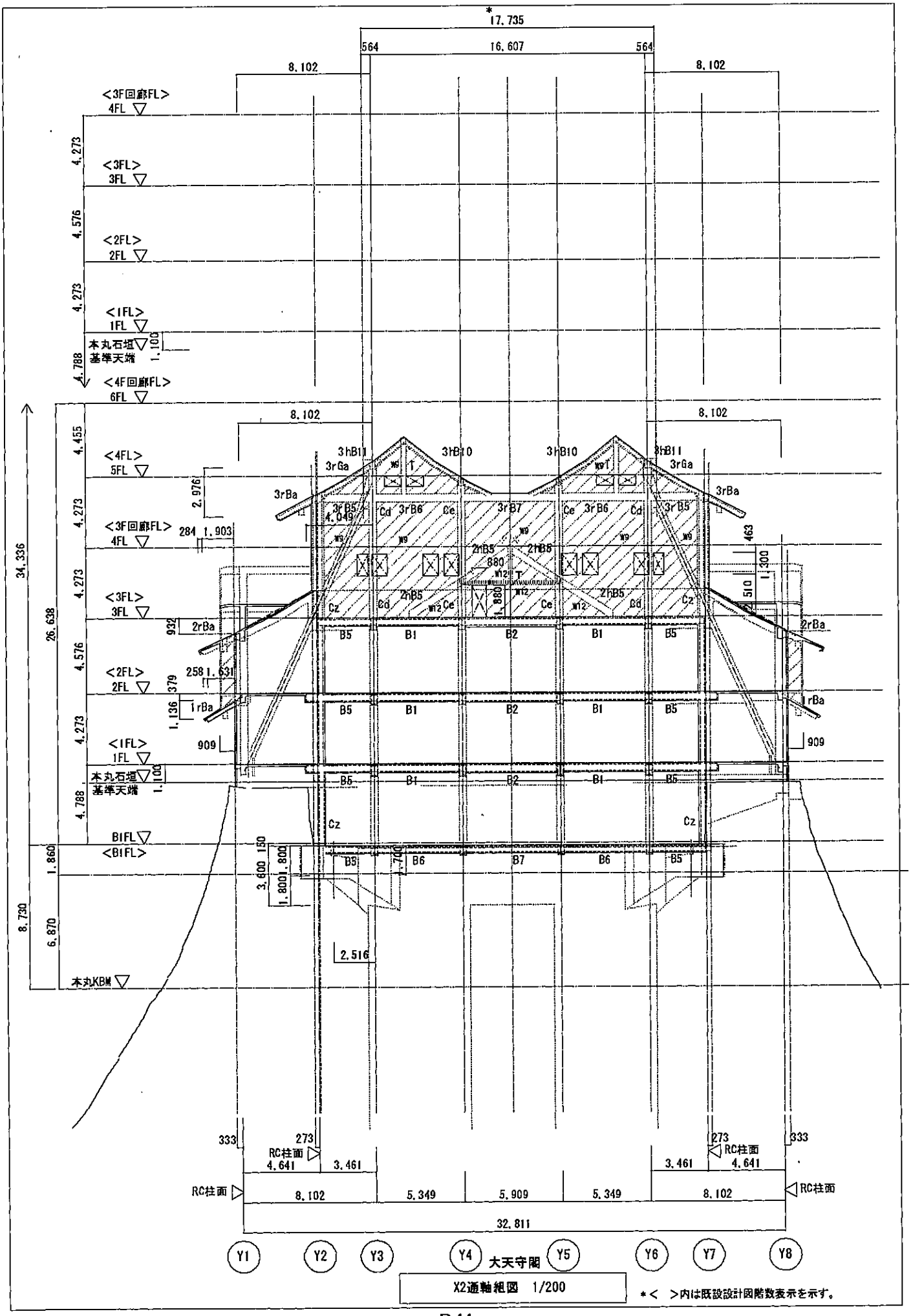
<5層屋根>

＊<　>内は既設設計図階数表示を示す。



X1通軸組図 1/200

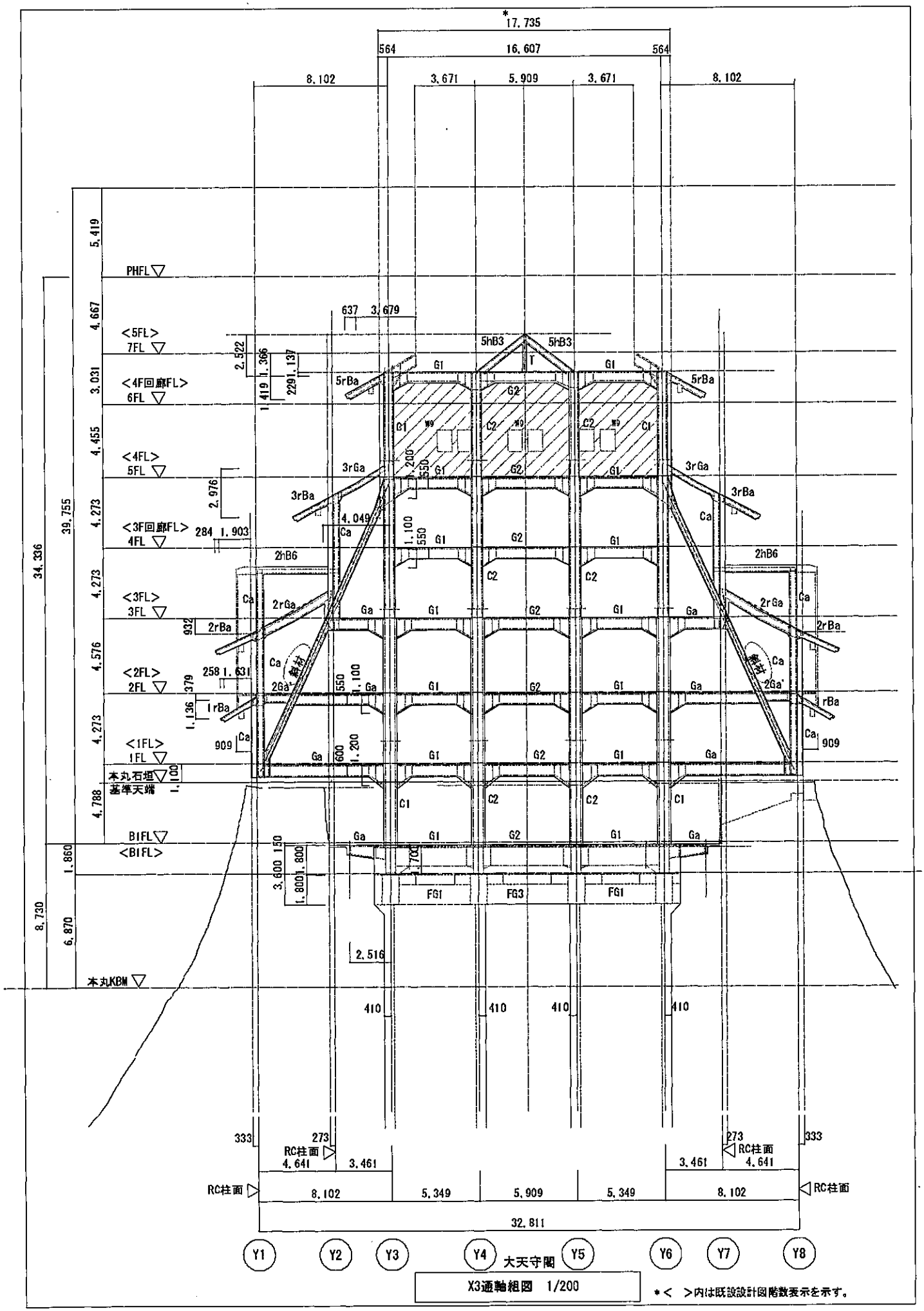
＊< >内は既設設計図階数表示を示す。

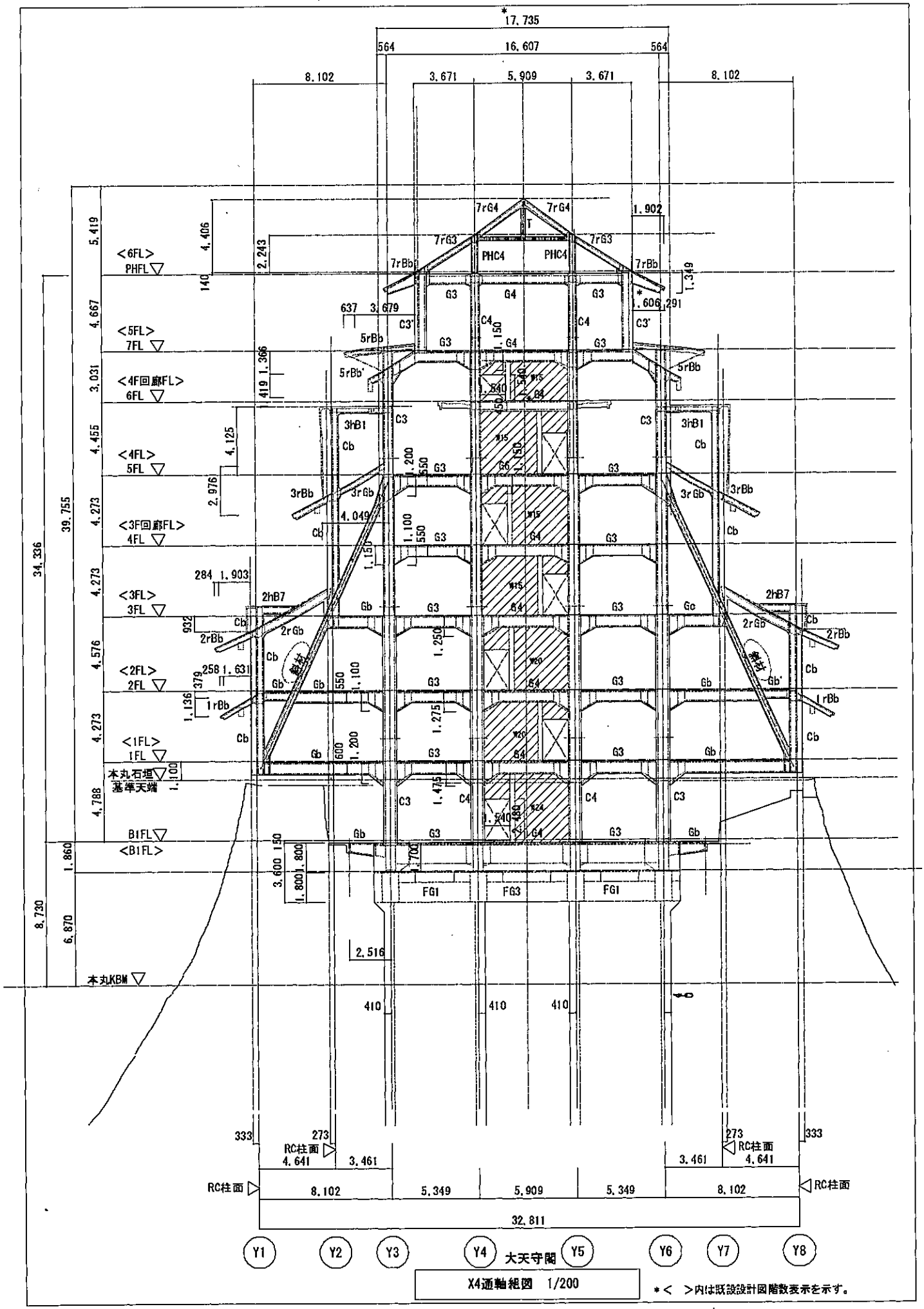


大天守閣

X2通軸組図 1/200

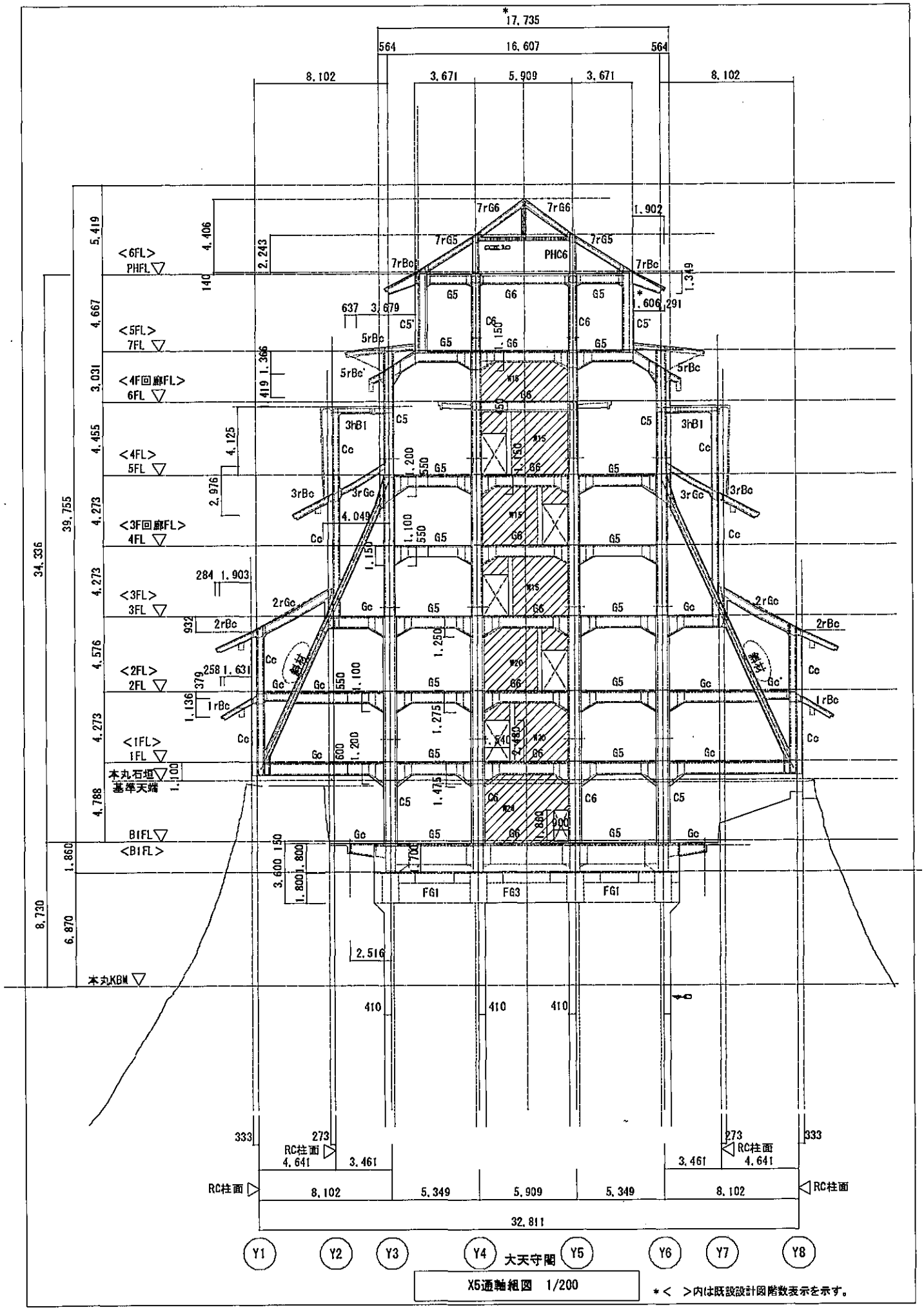
*< >内は既設設計図階数表示を示す。


*17,735
564
16,607
564
8,102
3,671
5,909
3,671
8,102
PHFL
<5FL>
7FL
<4F回廊FL>
6FL
<4FL>
5FL
<3F回廊FL>
4FL
<3FL>
3FL
<2FL>
2FL
<1FL>
1FL
本丸石垣
基準天端
B1FL
<B1FL>
本丸KBM
5,419
4,667
3,031
4,455
4,273
4,273
4,576
4,273
4,788
1,860
8,730
6,870
34,336
39,755
637
3,679
5hB3
5hB3
G1
G2
C1
C2
5rBa
3rGa
3rBa
4,049
2hB6
2rGa
2rBa
2Ga'
1rBa
Ga
Ca
斜材
FG1
FG3
2,516
410
333
273
RC柱面
4,641
3,461
5,349
32,811
Y1
Y2
Y3
Y4
Y5
Y6
Y7
Y8
大天守閣
X3通軸組図 1/200
*< >内は既設設計図階数表示を示す。



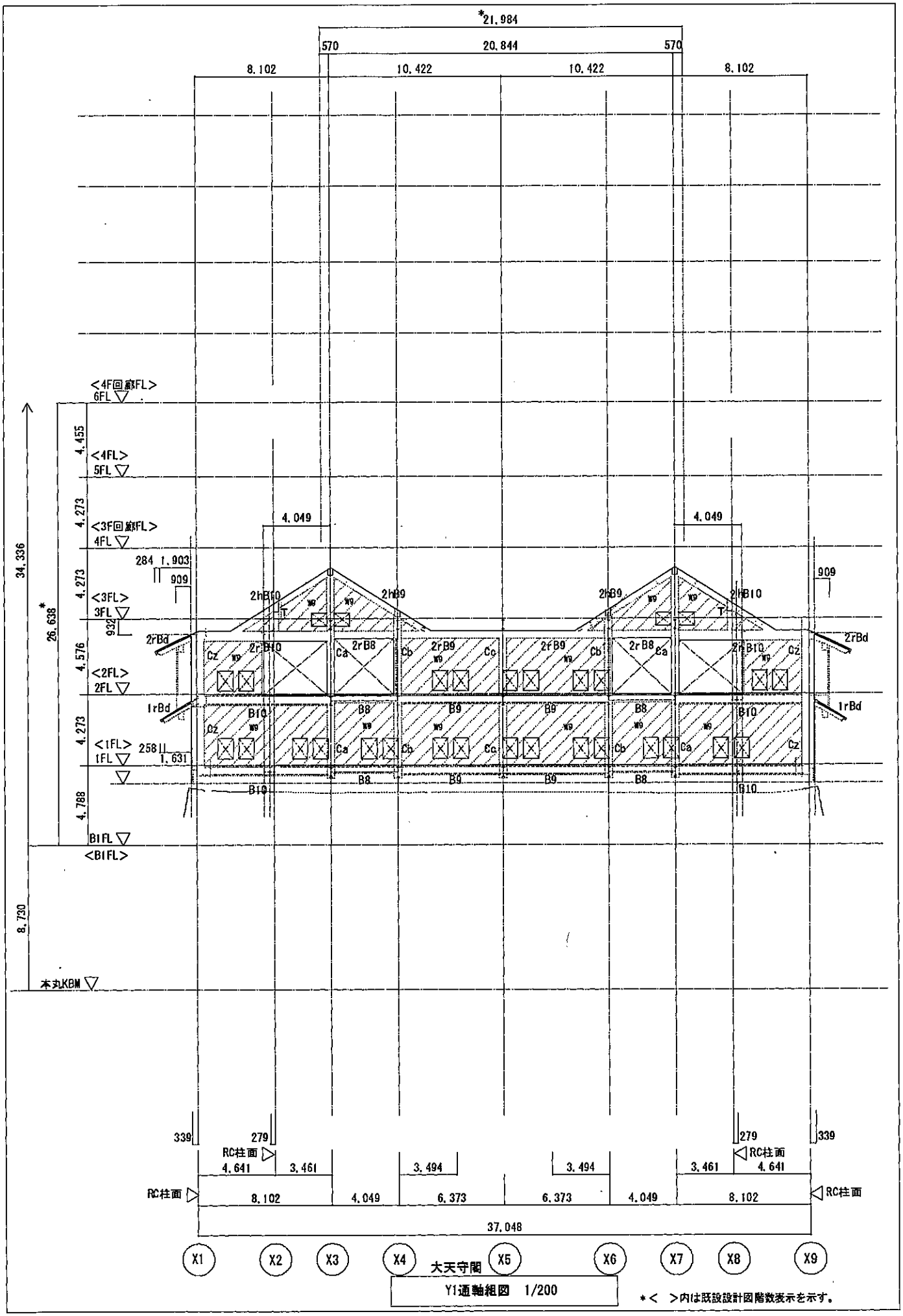
X4通軸組図 1/200

＊< >内は既設設計図階数表示を示す。



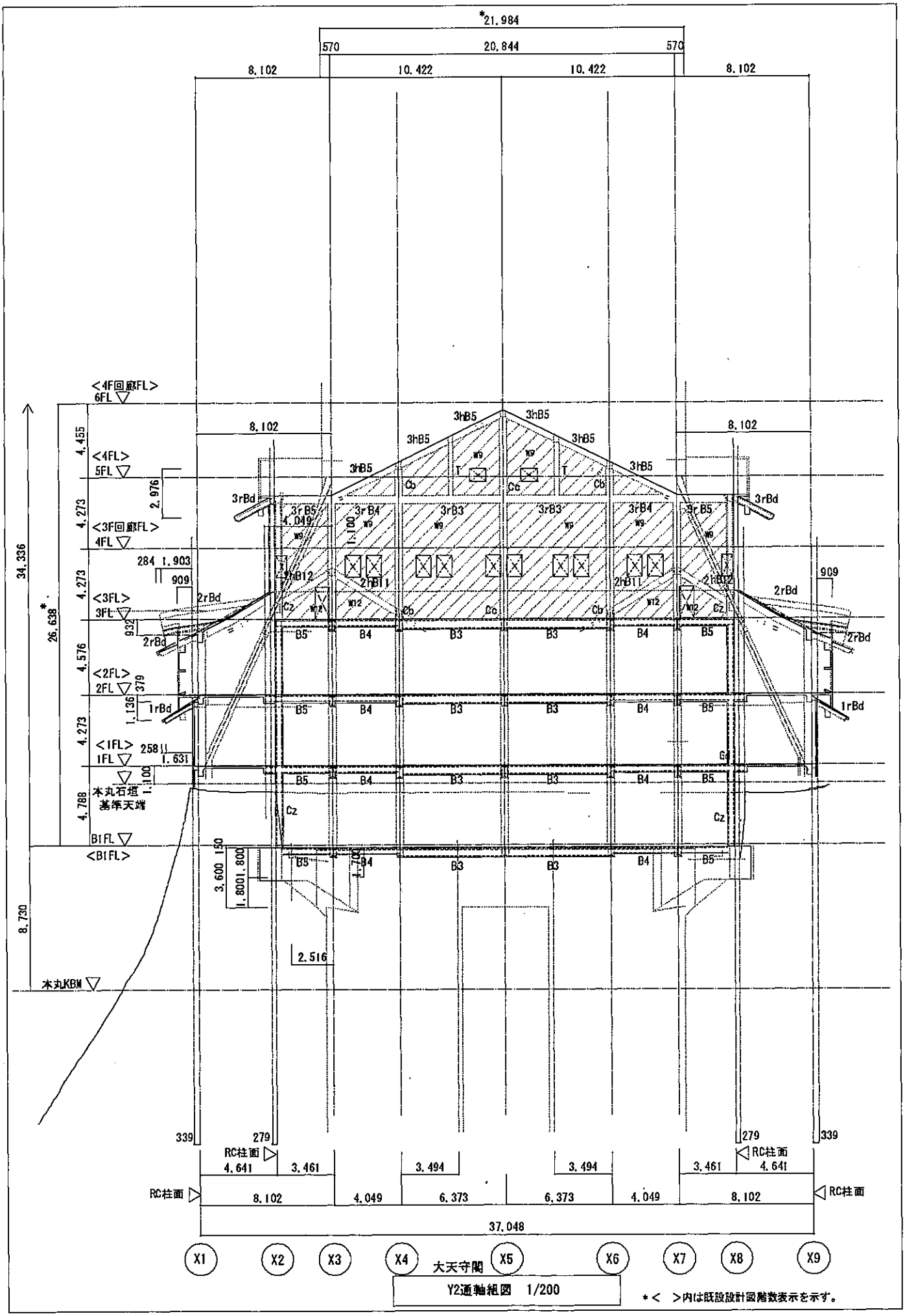
X5通軸組図 1/200

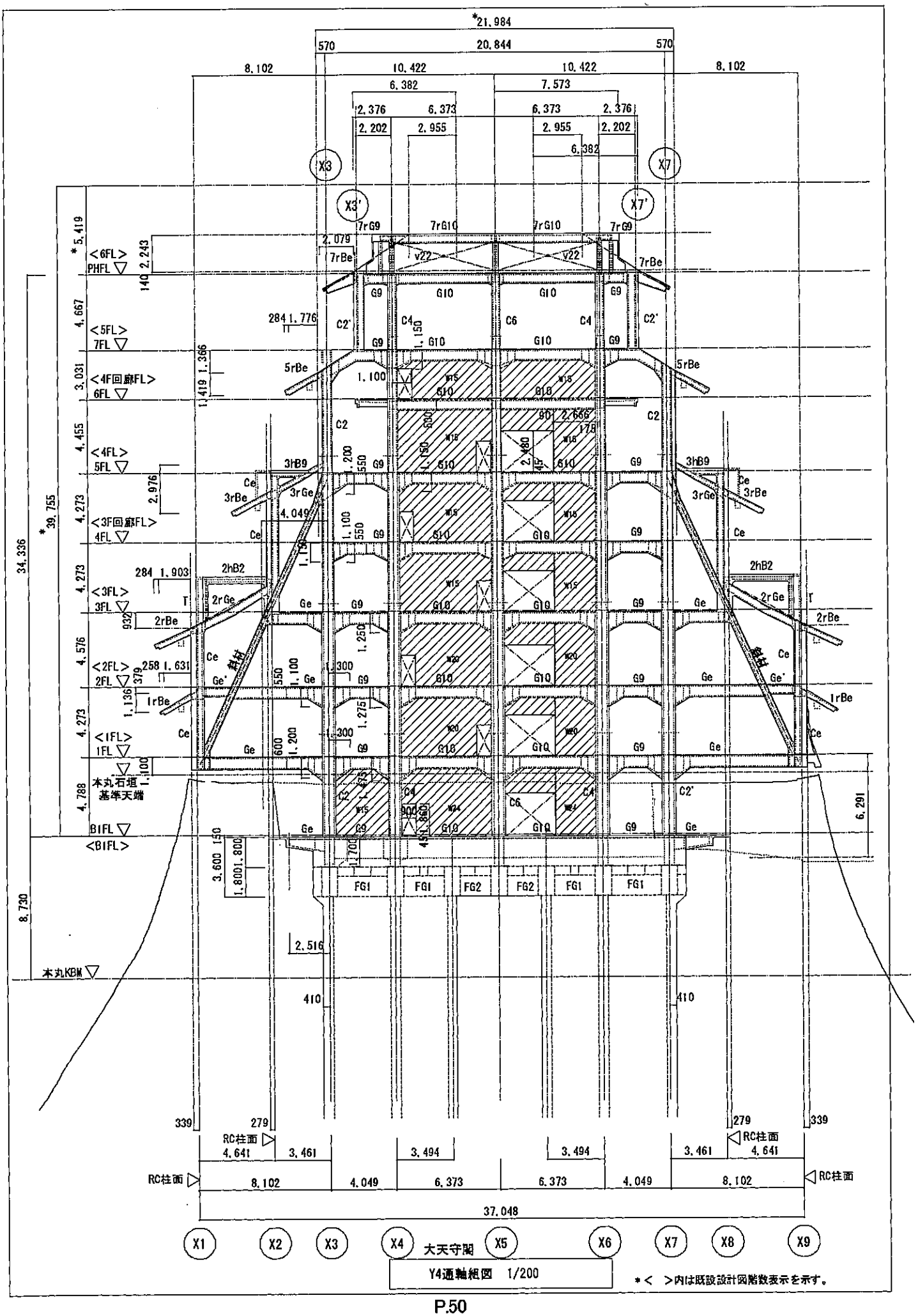
*< >内は既設設計図階数表示を示す。



Y1通軸組図 1/200

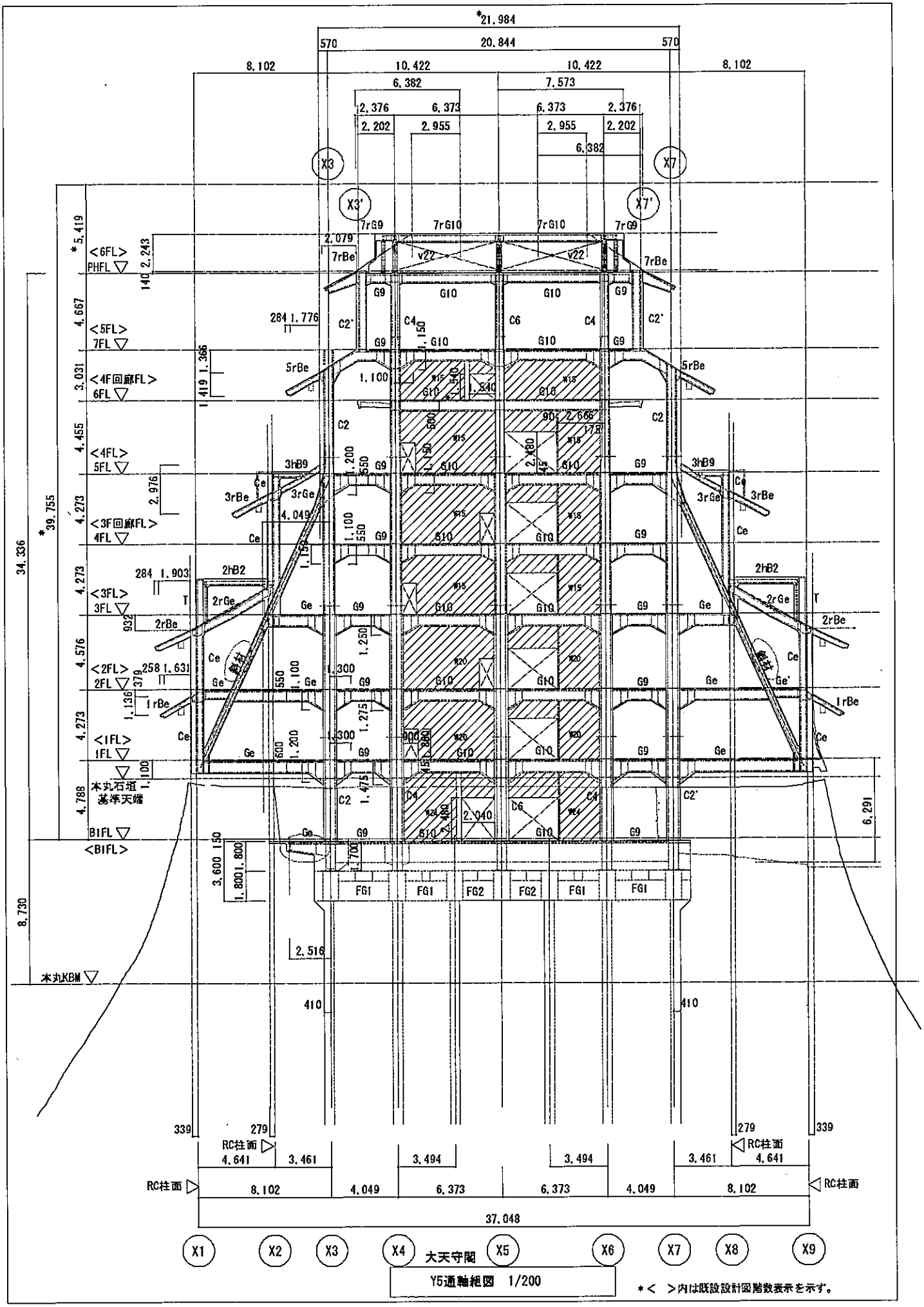
*< >内は既設設計図階数表示を示す。


*21.984
570
20.844
570
8.102
10.422
10.422
8.102
<4F回廊FL>
6FL
<4FL>
5FL
<3F回廊FL>
4FL
<3FL>
3FL
<2FL>
2FL
<1FL>
1FL
本丸石垣
基準天端
B1FL
<B1FL>
本丸KBM
34.336
26.638*
8.730
4.455
4.273
4.273
4.576
4.273
4.788
2.976
284
1.903
909
932
379
1.136
258
1.631
1.100
3.600
150
1.800
1.800
1.700
2.516
3hB5
3rBd
3rB5
3rB4
3rB3
2hB12
2hB11
2rBd
1rBd
Cb
Cc
Cz
B5
B4
B3
339
279
RC柱面
4.641
3.461
3.494
4.049
6.373
37.048
X1
X2
X3
X4
X5
X6
X7
X8
X9
大天守閣
Y2通軸組図 1/200
*< >内は既設設計図階数表示を示す。



Y4通軸組図 1/200

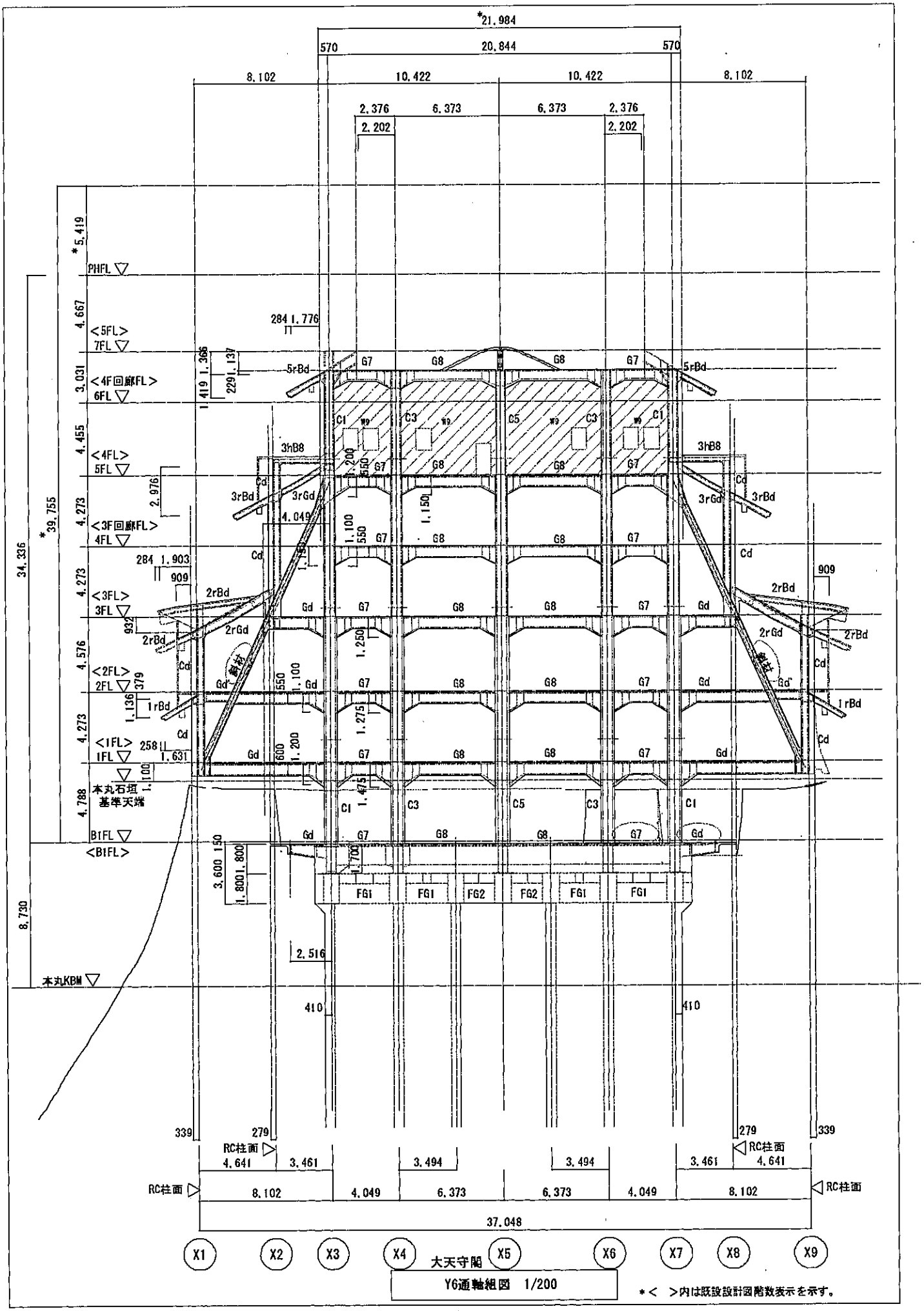
*< >内は既設設計図階数表示を示す。



大天守閣

Y5通軸組図 1/200

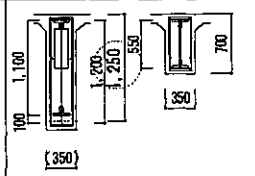
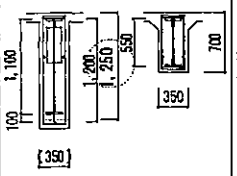
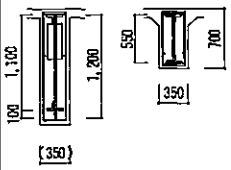
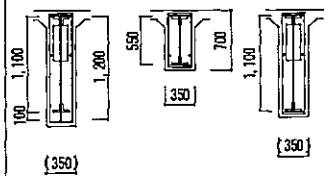
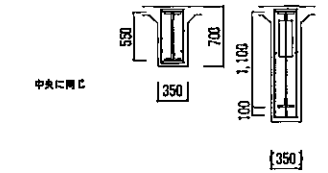
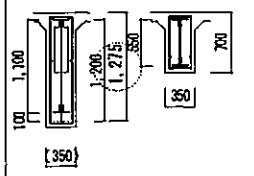
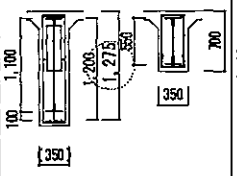
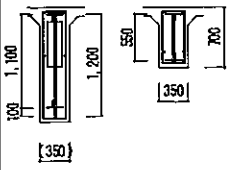
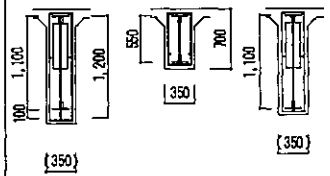
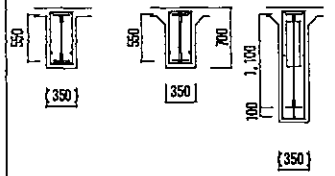
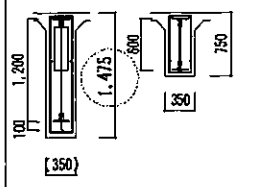
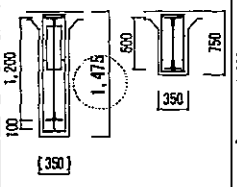
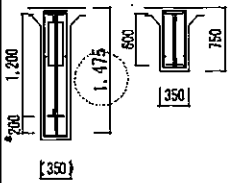
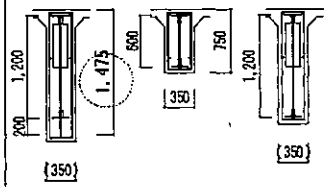
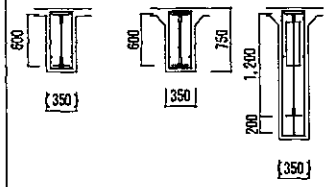
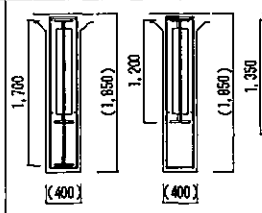
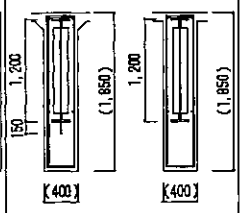
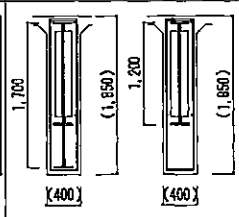
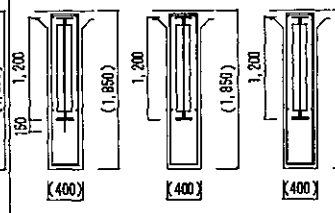
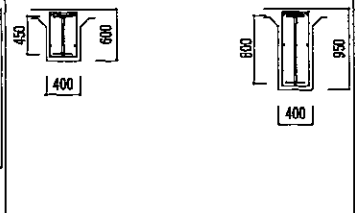
*< >内は既設設計図階数表示を示す。



*21.984
570
20.844
570
8.102
10.422
10.422
8.102
2.376
6.373
6.373
2.376
2.202
2.202
*5.419
PHFL
4.667
<5FL>
7FL
3.031
<4F回廊FL>
6FL
4.455
<4FL>
5FL
4.273
<3F回廊FL>
4FL
4.273
<3FL>
3FL
4.576
<2FL>
2FL
4.273
<1FL>
1FL
4.788
本丸石垣
基準天端
B1FL
<B1FL>
34.336
*39.755
8.730
本丸KBM
284 1.776
5rBd
G7
G8
C1
C3
C5
3hB8
3rBd
3rGd
Cd
2rBd
2rGd
Gd
1rBd
FG1
FG2
2.516
410
339
279
RC柱面
4.641
3.461
3.494
4.049
37.048
X1
X2
X3
X4
X5
X6
X7
X8
X9
大天守閣
Y6通軸組図 1/200
*< >内は既設設計図階数表示を示す。

大天守閣

大梁断面リスト(1)　1:60

階	符号	G1 G3 G5			G2 G4 G6		G7 G9			G8 G10			Ga～Ge			Gz		
	位置	外端	中央	内端	端部	中央	外端	中央	内端	外端	中央	内端	外端	中央	内端	外端	中央	内端
3階	断面	 外端に同じ											中央に同じ 			内外端・中央共 36Eに同じ		
	B x D	(350×1350)	350× 700		(350×1350)	350× 700	(350×1350)	350× 700		(350×1350)	350× 700	(350×1250)		350× 700	(350×1350)			
	鉄骨 FLG	4Ls-90×90×10			4Ls-90×90×10		4Ls-90×90×10			4Ls-90×90×10			4Ls-90×90×10					
	鉄骨 ｳｴﾌﾞ	2Ls-75×75×6 (3-22φ)	PLs-175×16 (2-22φ)		2Ls-75×75×6 (3-22φ)	PLs-175×16 (2-22φ)	2Ls-75×75×9 (4-22φ)	PLs-200×16 *(2-25φ)		2Ls-75×75×6 (3-22φ)	PLs-190×16 (3-22φ)	2Ls-75×75×6 (2-22φ)		PLs-190×16 (3-22φ)	2Ls-75×75×6 (2-22φ)			
	主筋	5-19φ			5-19φ		5-19φ			5-19φ			5-19φ					
	S T P	□-9φ @250			□-9φ @250		□-9φ @250			□-9φ @250			□-9φ @250					
2階	断面	 外端に同じ					 外端に同じ									内外端・中央共 26Eに同じ		
	B x D	(350×1350)	350× 700		(350×1350)	350× 700	(350×1350)	350× 700		(350×1350)	350× 700	(350×1250)	(350×700)	350× 700	(350×1350)			
	鉄骨 FLG	4Ls-90×90×10			4Ls-90×90×10		4Ls-90×90×10			4Ls-90×90×10			4Ls-90×90×10					
	鉄骨 ｳｴﾌﾞ	2Ls-75×75×6 (3-22φ)	PLs-175×16 (2-22φ)		2Ls-75×75×6 (3-22φ)	PLs-175×16 (2-22φ)	2Ls-75×75×9 (4-22φ)	PLs-200×16 *(3-25φ)		2Ls-75×75×6 (3-22φ)	PLs-190×16 (3-22φ)	2Ls-75×75×6 (2-22φ)	PLs-190×16 (2-18φ)	PLs-190×16 (3-22φ)	2Ls-75×75×6 (2-22φ)			
	主筋	5-19φ			5-19φ		5-19φ			5-19φ			5-19φ					
	S T P	□-9φ @250			□-9φ @250		□-9φ @250			□-9φ @250			□-9φ @250					
1階	断面	 外端に同じ					 外端に同じ									内外端・中央共 15Eに同じ		
	B x D	(350×1450)	350× 750		(350×1450)	350× 750	(350×1550)	350× 750		(350×1550)	350× 750	(350×1350)	(350×750)	350× 750	(350×1550)			
	鉄骨 FLG	4Ls-90×90×10			4Ls-90×90×10		4Ls-90×90×10			4Ls-90×90×10			4Ls-90×90×10					
	鉄骨 ｳｴﾌﾞ	2Ls-75×75×6 (3-22φ)	PLs-175×16 (3-22φ)		2Ls-75×75×6 (3-22φ)	PLs-175×16 (3-22φ)	2Ls-75×75×9 (4-22φ)	PLs-225×16 *(3-25φ)		2Ls-75×75×6 (3-22φ)	PLs-190×16 *(3-25φ)	2Ls-75×75×6 (3-22φ)	PLs-190×16 (2-18φ)	PLs-190×16 *(3-25φ)	2Ls-75×75×6 (3-22φ)			
	主筋	5-19φ			5-19φ		5-19φ			5-19φ			5-19φ					
	S T P	□-9φ @250			□-9φ @250		□-9φ @250			□-9φ @250			□-9φ @250					
B1階	断面															内外端・中央共 B16Eに同じ		
	B x D	(400×1850)			(400×1850)		(400×1850)			(400×1850)			400× 600～950					
	鉄骨 FLG	4Ls-100×100×10			4Ls-100×100×10		4Ls-100×100×10			4Ls-90×90×10			4Ls-100×100×10					
	鉄骨 ｳｴﾌﾞ	2Ls-75×75×12 (3-22φ)			2Ls-75×75×6 (3-22φ)		2Ls-90×90×10 (4-22φ)			2Ls-75×75×6 (3-22φ)			PLs-150×19 (2-22φ)					
	主筋	4-19φ			4-19φ		4-19φ			4-19φ			5-19φ					
	S T P	□-9φ @250			□-9φ @250		□-9φ @250			□-9φ @250			□-9φ @250					

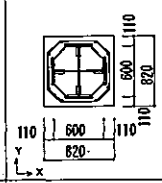
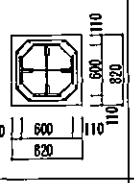
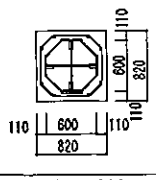
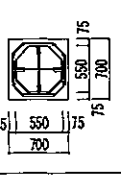
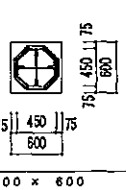
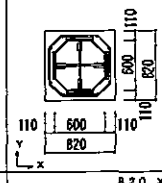
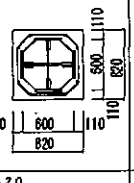
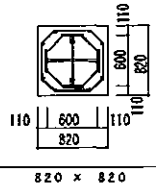
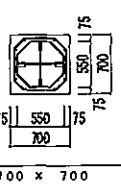
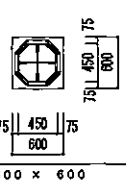
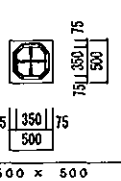
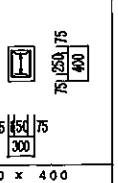
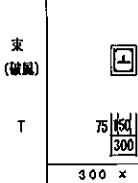
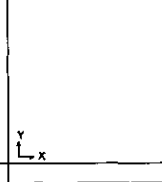
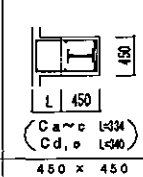
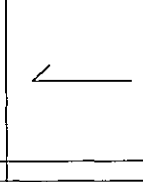
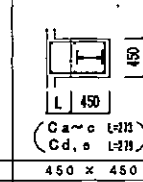
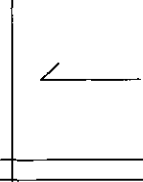
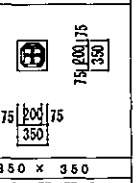
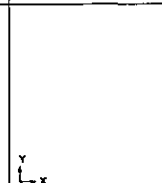
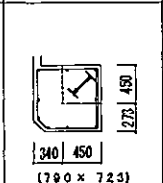
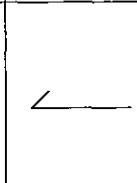
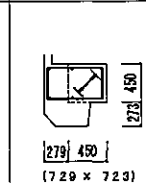
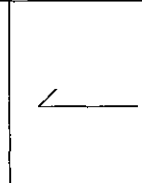
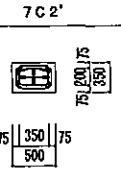
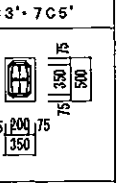
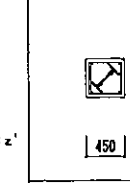
大天守閣

大梁断面リスト(2)　1:60

階	符号	G1		G3 G5			G2		G4 G6		G7		G9			G8		G10		
	位置	端部	中央	外端	中央	内端	端部	中央	端部	中央	端部	中央	外端	中央	内端	端部	中央	外端	中央	内端
PH階	断面	端部・中央共 P8Gに同じ		450 600 450 600 (350) 350		外端に同じ	端部・中央共 P8Gに同じ		450 600 450 600 (350) 350		内外端・中央共 P8Gに同じ		450 600 450 600 450 600 (350) 350 (350)			内外端・中央共 P8Gに同じ		450 600 450 600 (350) 350		外端に同じ
	B x D			(350×＊)	350×600				(350×＊)	350×600			(350×＊)	350×600	(350×＊)			(350×＊)	350×600	
	鉄骨 FLG			4Ls−75×75×6					4Ls−75×75×6				4Ls−75×75×6					4Ls−75×75×6		
	鉄骨 ﾌｲﾗｽ			PLs−90×6 (2−1Φφ)	PLs−90×6 (2−1Φφ)				PLs−90×6 (2−1Φφ)	PLs−90×6 (2−1Φφ)			PLs−100×6 (3−1Φφ)					PLs−75×6 (1−1Φφ)	PLs−75×6 (1−1Φφ)	
	主筋			5−19φ					5−19φ				5−19φ					5−19φ		
	STP			□−9φ @250					□−9φ @250				□−9φ @250					□−9φ @250		
7階	断面	900 500 650 (350) 350		500 500 650 1,000 1,150 (350) 350 (350)			端部・中央共 7Gに同じ		1,000 1,150 500 650 (350) 350		900 500 650 (350) 350		500 500 650 1,000 (350) 350 (350)			内外端・中央共 7Gに同じ		1,000 500 650 900 (350) 350 (350)		
	B x D	(350×1050)	350×650	(350×＊)	350×700	(350×1150)			(350×1150)	350×650	(350×1050)	350×650	(350×＊)	350×650	(350×1150)			(350×1150)	350××650	(350×1050)
	鉄骨 FLG	4Ls−75×75×6		4Ls−90×90×10					4Ls−75×75×6		4Ls−75×75×6		4Ls−90×90×10					4Ls−75×75×9		
	鉄骨 ﾌｲﾗｽ	2Ls−90×90×6 (2−1Φφ)	PLs−100×12 (2−1Φφ)	PLs−175×12 (3−1Φφ)	PLs−175×12 (3−1Φφ)	2Ls−75×75×6 (2−1Φφ)			2Ls−60×60×6 (2−1Φφ)	PLs−185×12 (3−1Φφ)	2Ls−90×90×6 (2−1Φφ)	PLs−105×12 (2−1Φφ)	PLs−175×12 (3−1Φφ)	PLs−175×12 (3−1Φφ)	2Ls−75×75×6 (2−1Φφ)			2Ls−60×60×6 (2−1Φφ)	PLs−125×12 (2−1Φφ)	2Ls−60×60×6 (2−1Φφ)
	主筋	5−19φ		5−19φ					5−19φ		5−19φ		5−19φ					5−19φ		
	STP	□−9φ @250		□−9φ @250					□−9φ @250		□−9φ @250		□−9φ @250					□−9φ @250		
6階	断面								450 450 600 (350) 350									中央に同じ 500 650 (350) 350		中央に同じ
	B x D								(350×600)	350×600									350×700	
	鉄骨 FLG								4Ls−75×75×6										4Ls−90×90×10	
	鉄骨 ﾌｲﾗｽ								PLs−90×6 (2−1Φφ)	PLs−11×12 (1−1Φφ)									PLs−12×12 (2−1Φφ)	
	主筋								5−19φ										5−19φ	
	STP								□−9φ @250										□−9φ @250	
5階	断面	内外端・中央共 3Gに同じ		1,000 100 1,100 1,150 550 700 (350) 350 1,000 (350)			内外端・中央共 5Gに同じ		1,000 1,150 550 700 (350) 350		内外端・中央共 5Gに同じ		1,000 100 1,100 550 700 (350) 350 1,000 (350)			内外端・中央共 3G10に同じ		1,000 550 700 (350) 350		外端に同じ
	B x D			(350×1250)	350×700	(350×1150)			(350×1150)	350×700			(350×1250)	350×700	(350×1150)			(350×1150)	350×700	
	鉄骨 FLG			4Ls−90×90×13					4Ls−90×90×13				4Ls−90×90×13						4Ls−90×90×13	
	鉄骨 ﾌｲﾗｽ			2Ls−75×75×6 (2−1Φφ)	PLs−105×16 (2−1Φφ)	2Ls−75×75×6 (2−1Φφ)			2Ls−75×75×6 (2−1Φφ)	PLs−105×16 (2−1Φφ)			2Ls−75×75×6 (2−2Φφ)	PLs−150×16 (2−2Φφ)	2Ls−75×75×6 (2−2Φφ)			2Ls−75×75×6 (2−1Φφ)	PLs−125×16 (2−1Φφ)	
	主筋	5−19φ		5−19φ					5−19φ		5−19φ		5−19φ					5−19φ		
	STP	□−9φ @250		□−9φ @250					□−9φ @250		□−9φ @250		□−9φ @250					□−9φ @250		
4階	断面	内外端・中央共 4Gに同じ		1,000 100 1,100 1,150 550 700 (350) 350 外端に同じ			端部・中央共 4Gに同じ		1,000 100 1,100 1,150 550 700 (350) 350		内外端・中央共 4Gに同じ		1,000 100 1,100 550 700 (350) 350 外端に同じ			内外端・中央共 4G10に同じ		1,000 100 1,100 550 700 1,000 (350) 350 (350)		
	B x D			(350×1250)	350×700				(350×1250)	350×700			(350×1250)	350×700				(350×1250)	350××700	(350×1150)
	鉄骨 FLG			4Ls−75×75×9					4Ls−75×75×9				4Ls−75×75×9						4Ls−75×75×9	
	鉄骨 ﾌｲﾗｽ			2Ls−75×75×6 (2−1Φφ)	PLs−125×16 (2−1Φφ)				2Ls−75×75×6 (2−1Φφ)	PLs−125×16 (2−1Φφ)			2Ls−75×75×6 (2−2Φφ)	PLs−125×16 (2−2Φφ)				2Ls−75×75×6 (2−1Φφ)	PLs−125×16 (2−1Φφ)	2Ls−75×75×6 (2−1Φφ)
	主筋	5−19φ		5−19φ					5−19φ		5−19φ		5−19φ					5−19φ		
	STP	□−9φ @250		□−9φ @250					□−9φ @250		□−9φ @250		□−9φ @250					□−9φ @250		

大天守閣

柱断面リスト　1:60　（注記）　鉄筋かぶり厚さは昭和３２年鉄筋図、図番５５・配筋基準図より４cmとする。

符号	階	B1階 柱脚	B1階 柱頭	1階	2階	3階	4階	5階	6階	7階	PH階	符号	各階
C1 C2	断面												
C3	Dxx Dy	820 × 820		820 × 820		700 × 700		600 × 600					
C5	鉄骨 FLB	8－Ls－130×130×15		8－Ls－100×100×10		8－Ls－100×100×10		8－Ls－90×90×10					
	鉄骨 COV	4－PLs－320×12 4－PLs－320×9	4－PLs－320×12	4－PLs－250×12									
	鉄骨 ｽﾗｲﾌﾟPL	PLs－90×9		PLs－90×9		PLs－90×9		PLs－75×9					
	鉄骨 ﾌﾗｲﾌﾟPL	PLs－225×19		PLs－200×19	PLs－200×16	PLs－150×16	PLs－125×16	PLs－75×12					
	主筋	8－22φ		8－22φ		8－22φ		8－19φ					
	HOOP	9φ250@		9φ250@		9φ250@		9φ250@					
C4 C6	断面											梁（破風） T	
	Dxx Dy	820 × 820		820 × 820		700 × 700		600 × 600		500 × 500	300 × 400		300 × 350
	鉄骨 FLB	8－Ls－130×130×15		8－Ls－100×100×10		8－Ls－100×100×10		8－Ls－100×100×10		8－Ls－100×100×10	4－Ls－65×65×6		2－Ls－75×75×9
	鉄骨 COV	12－PLs－320×9	8－PLs－320×9	8－PLs－250×9									
	鉄骨 ｽﾗｲﾌﾟPL	PLs－90×9		PLs－90×9		PLs－90×9		PLs－75×9		PLs－75×9			
	鉄骨 ﾌﾗｲﾌﾟPL	PLs－225×19		PLs－200×19	PLs－200×16	PLs－150×16	PLs－125×16	PLs－75×12		PLs－75×12	PLs－65×9		
	主筋	8－22φ		8－22φ		8－22φ		8－19φ		8－19φ	4－19φ		4－19φ
	HOOP	9φ250@		9φ250@		9φ250@		9φ250@		9φ250@	9φ250@		9φ250@
Ca ～ Ce	断面									7C1' 			
	Dxx Dy			450 × 450		450 × 450				350 × 350			
	鉄骨 FLB			4－Ls－75×75×9		4－Ls－75×75×9				8－Ls－75×75×9			
	鉄骨 COV												
	鉄骨 ｽﾗｲﾌﾟPL									PLs－75×9			
	鉄骨 ﾌﾗｲﾌﾟPL			PLs－65×9 (1-16φr)		PLs－65×9 (1-16φr)				PLs－65×9			
	主筋			6－19φ		6－19φ				8－19φ			
	HOOP			9φ250@		9φ250@				9φ250@			
Cz	断面									7C2' 	7C3'・7C5' 	Cz'	
	Dxx Dy			450 × 450		450 × 450				500 × 350	350 × 500		450 × 450
	鉄骨 FLB			4－Ls－75×75×9		4－Ls－75×75×9				8－Ls－75×75×9	8－Ls－75×75×9		4－Ls－90×90×13
	鉄骨 COV												
	鉄骨 ｽﾗｲﾌﾟPL									PLs－75×9	PLs－75×9		
	鉄骨 ﾌﾗｲﾌﾟPL			PLs－65×9 (1-16φr)		PLs－65×9 (1-16φr)				PLs－65×9	PLs－65×9		PLs－90×9 (2-16φ)
	主筋			6－19φ		6－19φ				8－19φ	8－19φ		4－19φ
	HOOP			9φ250@		9φ250@				9φ250@	9φ250@		9φ250@

大天守閣

小梁断面リスト(1)　1:60

階	符号 / 位置	B1 全断面	B2 全断面	B3 全断面	B4 全断面	B5 全断面	B6 全断面	B7 全断面	B8 全断面	B9 全断面	B10 全断面
PH階 7階	断面		↓	500 650 350	500 650 350		500 650 350	500 650 350			
	B x D			350 x 650	350 x 650		350 x 650	350 x 650			
	鉄骨 FLG			4Ls-75x75x9	4Ls-90x90x10		4Ls-90x90x10	4Ls-75x75x6			
	鉄骨 ﾌｪｽｽ			PL-125x9 (2-16φ)	PL-175x9 (2-19φ)		PL-175x9 (2-19φ)	PL-100x9 (2-16φ)			
	主筋			5-16φ							
	STP			□-9φ @300							
6階 ～ 4階	断面	4階 6階 ↓	↓								
	B x D										
	鉄骨 FLG										
	鉄骨 ﾌｪｽｽ										
	主筋										
	STP										
3階	断面	↓	↓	450 600 300	↓	↓	↓	↓			
	B x D			300 x 600							
	鉄骨 FLG			4Ls-75x75x9							
	鉄骨 ﾌｪｽｽ			中:PL-125x9 (1-16φ) 端:PL-180x9 (2-19φ)							
	主筋			5-16φ							
	STP			□-9φ @300							
2階	断面	↓	↓	↓	↓	↓	350 500 300	400 550 300	300 450 300	450 600 300	500 650 300
	B x D						300 x 500	300 x 550	300 x 450	300 x 600	300 x 650
	鉄骨 FLG						4Ls-75x75x9	4Ls-75x75x9	4Ls-65x65x6	4Ls-75x75x9	4Ls-100x100x10
	鉄骨 ﾌｪｽｽ						PL-65x9 (1-16φ)	中:PL-65x9 (1-16φ) 端:PL-80x9 (2-16φ)	PL-65x9 (1-16φ)	中:PL-75x9 (1-16φ) 端:PL-90x9 (2-16φ)	中:PL-90x9 (1-16φ) 端:PL-110x9 (2-16φ)
	主筋						5-16φ				
	STP						□-9φ @300				
1階	断面	350 500 300	400 550 300	400 550 300	300 450 300		350 500 300	400 550 300	300 450 300	400 550 300	450 600 300
	B x D	300 x 500	300 x 550	300 x 550	300 x 450		300 x 500	300 x 550	300 x 450	300 x 550	300 x 600
	鉄骨 FLG	4Ls-75x75x9	4Ls-75x75x9	4Ls-90x90x10	4Ls-65x65x6		2Ls-75x75x9	2Ls-75x75x9	2Ls-65x65x6	2Ls-90x90x10	4Ls-75x75x9
	鉄骨 ﾌｪｽｽ	中:PL-125x9 (1-16φ) 端:PL-180x9 (2-19φ)	中:PL-125x9 (1-16φ) 端:PL-180x9 (2-19φ)	中:PL-180x9 (2-19φ)	PL-65x9 (1-16φ)		PL-65x9 (1-16φ)	PL-65x9 (1-16φ)	PL-65x9 (1-16φ)	中:PL-125x9 (1-16φ) 端:PL-180x9 (2-19φ)	中:PL-125x9 (1-16φ) 端:PL-180x9 (2-19φ)
	主筋	5-16φ									
	STP	□-9φ @300									
B1階	断面			450 600 300	300 450 300		350 500 300				
	B x D			300 x 600	300 x 450		300 x 500				
	鉄骨 FLG			4Ls-75x75x9	4Ls-65x65x6		4Ls-75x75x9				
	鉄骨 ﾌｪｽｽ			中:PL-125x9 (1-16φ)	PL-65x9 (1-16φ)		中:PL-125x9 (1-16φ)				
	主筋			5-16φ							
	STP			□-9φ @300							

その他

4階 ～ 1階	斜材
	全断面
	250 400 350
	350 x 400
	2[s-250x90x11
	PL-250x16 (2-16φ)
	4-19φ
	□-9φ @250

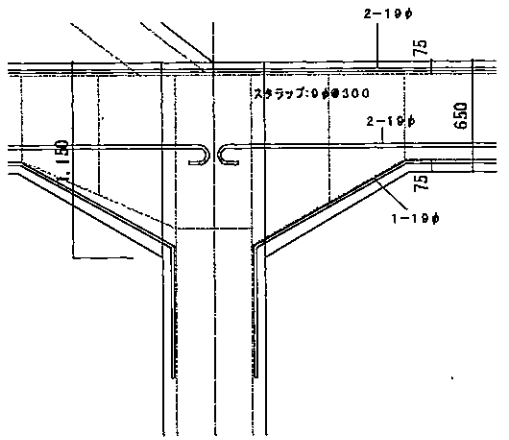
その他

2階	2Ga'～2Ge'
	全断面
	400 550 350
	350 x 550
	4Ls-65x65x6
	PL-75x9 (1-16φ)
	5-16φ
	□-9φ @300

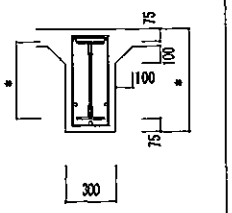
壁リスト（縦断面）　1:60

符号	W24	W20	W15	W12	W 9
壁厚	240	200	150	120	90
断面	240	200	150	120 屋外側	90 屋外側
縦筋	9φ200@ﾀﾞﾌﾞﾙ	9φ250@ﾀﾞﾌﾞﾙ	9φ300@ﾀﾞﾌﾞﾙ	9φ200@ｼﾝｸﾞﾙ	9φ200@ｼﾝｸﾞﾙ
横筋	9φ200@ﾀﾞﾌﾞﾙ	9φ250@ﾀﾞﾌﾞﾙ	9φ300@ﾀﾞﾌﾞﾙ	12φ200@ｼﾝｸﾞﾙ	9φ200@ｼﾝｸﾞﾙ
備考	B1階階段回り	1,2階階段回り	3～6階階段回り		一枚外壁部

大梁、柱接合部　配筋要領



小梁　共通事項



イ) 主筋　5-16φ、スタラップ9φ@300

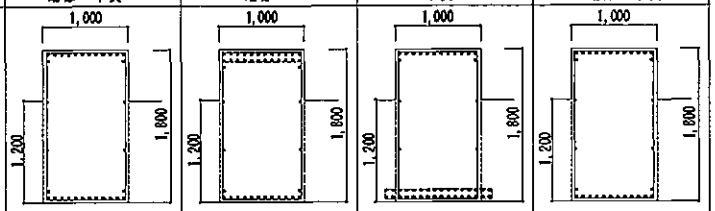
ロ) 寸法　特記以外は300とする。

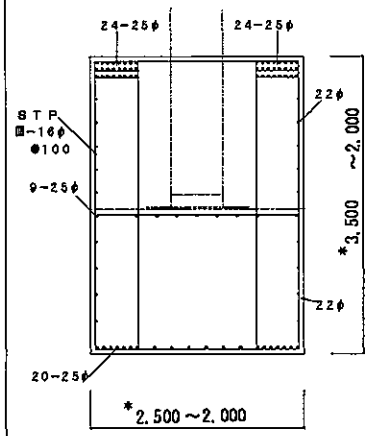
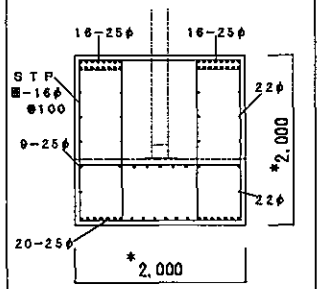
大天守閣

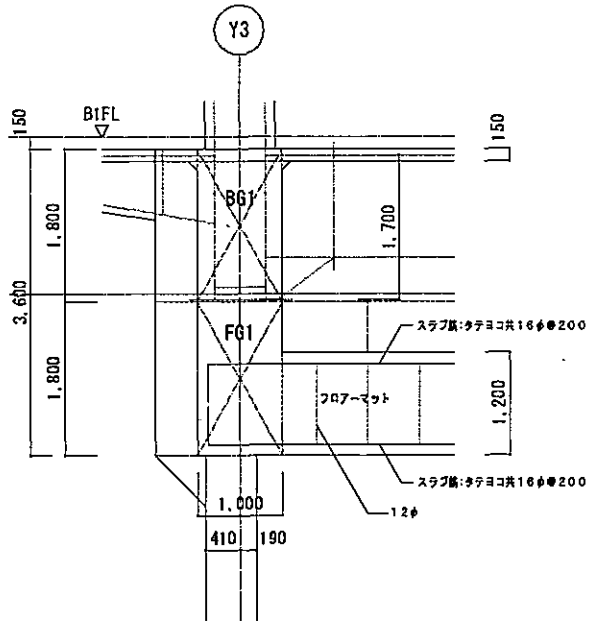
小架断面リスト(2)　1:60

階	位置		全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
PH階 7階 ～ 6階	符号		5rBb	5rBc'	5rBe	5rBz		5rB1	5rB2	5rB3		7rB1 / 7rG10	7rB2 / 7rG9*	7rB3 / 7rB5	7rB4 / 7rB5	7rB4'	7rB4'	7rBb / 7rBz	7rBc / 7rBe
	断面		300 375 300	200 350 300 5rBc'は断面による	300 375 300	300 375 300		200 350 300	7階背を鉄筋ハンガーにて吊す	200 350 300		350 425 300	250 325 300	200 275 300	200 275 300	250 325 300	250 325 300	600 675 300	600 675 300
	B × D		300 × 375	300 × 350	300 × 375	300 × 375		300 × 350	-	300 × 350		300 × 425	300 × 325	300 × 275	300 × 275	300 × 325	300 × 325	300 × 675	300 × 675
	鉄骨	FLG	4Ls−75×75×6	4Ls−50×50×6	4Ls−75×75×6	4Ls−75×75×6		4Ls−50×50×6		4Ls−50×50×6		4Ls−90×90×10	4Ls−65×65×6	4Ls−75×75×6	4Ls−75×75×6	4Ls−65×65×6	4Ls−65×65×6	4Ls−65×65×6	4Ls−65×65×6
		ﾌﾗｽ	PL−65×8 (1-16φ)	PL−50×8 (1-16φ)	PL−65×8 (1-16φ)	PL−65×8 (1-16φ)		PL−50×8 (1-16φ)		PL−50×8 (1-16φ)		PL−75×8 (1-16φ)	PL−50×8 (1-16φ)	PL−65×8 (1-16φ)	PL−65×8 (1-16φ)	PL−50×8 (1-16φ)	PL−50×8 (1-16φ)	PL−65×8 (1-16φ)	PL−65×8 (1-16φ)
	主筋			5 −16φ				5 −16φ		5 −16φ									
	STP		□−9φ @300	□−9φ @300	□−9φ @300	□−9φ @300						□−9φ @300	□−9φ @300	□−9φ @300	□−9φ @300	□−9φ @300	□−9φ @300	□−9φ @300	□−9φ @300
3階	符号		3rBa	3rBb	3rBc	3rBd	3rBe	3rBz	3rB3	3rB4	3rB5	3rB6	3rB7	3rBa	3rBb	3rBc	3rBd	3rBe	3rBz	
	断面		300 375 300	300 375 300	300 375 300	300 375 300	300 375 300	300 375 300	350 500 300	350 500 300	350 500 300	350 500 300	350 500 300	200 350 300	200 350 300	200 350 300	200 350 300	200 350 300	200 350 300	
	B × D		300 × 375	300 × 375	300 × 375	300 × 375	300 × 375	300 × 375	300 × 500	300 × 500	300 × 500	300 × 500	300 × 500	300 × 350	300 × 350	300 × 350	300 × 350	300 × 350	300 × 350	
	鉄骨	FLG	4Ls−75×75×6	4Ls−75×75×6	4Ls−75×75×6	4Ls−75×75×6	4Ls−75×75×6	4Ls−75×75×6	4Ls−90×90×10	4Ls−65×65×6	4Ls−65×65×6	4Ls−75×75×9	4Ls−75×75×9	4Ls−50×50×6	4Ls−50×50×6	4Ls−50×50×6	4Ls−50×50×6	4Ls−50×50×6	4Ls−65×65×6	
		ﾌﾗｽ	PL−65×8 (1-16φ)	PL−65×8 (1-16φ)	PL−65×8 (1-16φ)	PL−65×8 (1-16φ)	PL−65×8 (1-16φ)	PL−65×8 (1-16φ)	中:PL−65×8 (1-16φ) 縁:PL−80×8 (1-16φ)	PL−65×8 (1-16φ)	PL−65×8 (1-16φ)	PL−65×8 (1-16φ)	中:PL−65×8 (1-16φ) 縁:PL−80×8 (1-16φ)	PL−50×8 (1-16φ)	PL−50×8 (1-16φ)	PL−50×8 (1-16φ)	PL−50×8 (1-16φ)	PL−50×8 (1-16φ)	PL−65×8 (1-16φ)	
	主筋								5 −16φ	5 −16φ	5 −16φ	5 −16φ	5 −16φ	5 −16φ	5 −16φ	5 −16φ	5 −16φ	5 −16φ	5 −16φ	
	STP		□−9φ @300	□−9φ @300	□−9φ @300	□−9φ @300	□−9φ @300	□−9φ @300	□−9φ @300	□−9φ @300	□−9φ @300	□−9φ @300	□−9φ @300	□−9φ @300	□−9φ @300	□−9φ @300	□−9φ @300	□−9φ @300	□−9φ @300	
	符号		3hB1	3hB2	3hB3	3hB4	3hB5	2hB6	3hB7	3hB8	3hB9	3hB10	3hB11	2hB12	2hB13					
	断面		200 350 300	200 350 300	200 350 300	200 350 300	200 350 300	200 350 300	200 350 300	200 350 300	200 350 300	200 350 300	200 350 300	200 350 300	200 350 300					
	B × D		300 × 350	300 × 350	300 × 350	300 × 350	300 × 350	300 × 350	300 × 350	300 × 350	300 × 350	300 × 350	300 × 350	300 × 350	300 × 350					
	鉄骨	FLG	4Ls−50×50×6	4Ls−50×50×6	4Ls−50×50×6	4Ls−50×50×6	4Ls−50×50×6	4Ls−50×50×6	4Ls−50×50×6	4Ls−50×50×6	4Ls−50×50×6	4Ls−50×50×6	4Ls−50×50×6	4Ls−50×50×6	4Ls−50×50×6					
		ﾌﾗｽ	PL−50×8 (1-16φ)	PL−50×8 (1-16φ)	PL−50×8 (1-16φ)	PL−50×8 (1-16φ)	PL−50×8 (1-16φ)	PL−50×8 (1-16φ)	PL−50×8 (1-16φ)	PL−50×8 (1-16φ)	PL−50×8 (1-16φ)	PL−50×8 (1-16φ)	PL−50×8 (1-16φ)	PL−50×8 (1-16φ)	PL−50×8 (1-16φ)					
	主筋		5 −16φ	5 −16φ	5 −16φ	5 −16φ	5 −16φ	5 −16φ	5 −16φ	5 −16φ	5 −16φ	5 −16φ	5 −16φ	5 −16φ	5 −16φ					
	STP		□−9φ @300	□−9φ @300	□−9φ @300	□−9φ @300	□−9φ @300	□−9φ @300	□−9φ @300	□−9φ @300	□−9φ @300	□−9φ @300	□−9φ @300	□−9φ @300	□−9φ @300					
2階	符号		2rBa	2rBb	2rBc	2rBd	2rBe	2rBz	2rB6	2rB6'	2rB7	2rB7'	2rB8	2rB9	2rB10	2rBa	2rBb	2rBc	2rBd	
	断面		300 375 300	300 375 300	300 375 300	200 400 300 2rB6'は断面による	300 375 300	300 375 300	350 500 300	350 500 300	350 500 300		350 500 300	350 500 300	500 650 300	350 500 300	350 500 300	350 500 300	350 500 300	
	B × D		300 × 375			300 × 400	300 × 375	300 × 375	300 × 500	300 × 500	300 × 500		300 × 500	300 × 500	300 × 650	300 × 500	300 × 500	300 × 500	300 × 500	
	鉄骨	FLG	4Ls−75×75×6			4Ls−50×50×6	4Ls−75×75×6		4Ls−65×65×6	4Ls−65×65×6	4Ls−75×75×9	4Ls−65×65×6	4Ls−65×65×6	4Ls−90×90×10	4Ls−100×100×10	4Ls−75×75×6	4Ls−75×75×6	4Ls−75×75×6	4Ls−75×75×6	
		ﾌﾗｽ	PL−65×8 (1-16φ)			PL−50×8 (1-16φ)	PL−50×8 (1-16φ)		PL−65×8 (1-16φ)	PL−65×8 (1-16φ)	中:PL−65×8 (1-16φ) 縁:PL−90×8 (1-16φ)		PL−65×8 (1-16φ)	中:PL−65×8 (1-16φ) 縁:PL−90×8 (1-16φ)	中:PL−90×8 (1-16φ) 縁:PL−110×8 (1-16φ)	PL−65×8 (1-16φ)	PL−65×8 (1-16φ)	PL−65×8 (1-16φ)	PL−65×8 (1-16φ)	
	主筋					5 −16φ			5 −16φ	5 −16φ	5 −16φ		5 −16φ	5 −16φ	5 −16φ	5 −16φ	5 −16φ	5 −16φ	5 −16φ	
	STP		□−9φ @300			□−9φ @300	□−9φ @300		□−9φ @300	□−9φ @300	□−9φ @300		□−9φ @300	□−9φ @300	□−9φ @300	□−9φ @300	□−9φ @300	□−9φ @300	□−9φ @300	
	符号		2rBe	2rBz	2hB1	2hB2	2hB3	2hB4	2hB5	2hB6	2hB7	2hB8	2hB9	2hB10	2hB11	2hB12				
	断面		350 500 300	350 500 300	200 350 300	200 350 300	200 350 300	200 350 300	200 350 300	200 350 300	200 350 300	200 350 300	250 400 300	250 400 300	250 400 300	250 400 300				
	B × D		300 × 500	300 × 500	300 × 350	300 × 350	300 × 350	300 × 350	300 × 350	300 × 350	300 × 350	300 × 350	300 × 400	300 × 400	300 × 400	300 × 400				
	鉄骨	FLG	4Ls−75×75×6	4Ls−75×75×9	4Ls−50×50×6	4Ls−65×65×6	4Ls−50×50×6	4Ls−50×50×6	4Ls−50×50×6	4Ls−65×65×6	4Ls−65×65×6	4Ls−65×65×6	4Ls−65×65×6	4Ls−65×65×6	4Ls−65×65×6	4Ls−65×65×6				
		ﾌﾗｽ	PL−65×8 (1-16φ)	中:PL−65×8 (1-16φ) 縁:PL−80×8 (1-16φ)	PL−50×8 (1-16φ)	PL−50×8 (1-16φ)	PL−50×8 (1-16φ)	PL−50×8 (1-16φ)	PL−50×8 (1-16φ)	PL−50×8 (1-16φ)	PL−50×8 (1-16φ)	PL−65×8 (1-16φ)	PL−50×8 (1-16φ)	PL−50×8 (1-16φ)	PL−50×8 (1-16φ)	PL−50×8 (1-16φ)				
	主筋		5 −16φ	5 −16φ	5 −16φ	5 −16φ	5 −16φ	5 −16φ	5 −16φ	5 −16φ	5 −16φ	5 −16φ	5 −16φ	5 −16φ	5 −16φ	5 −16φ				
	STP		□−9φ @300	□−9φ @300	□−9φ @300	□−9φ @300	□−9φ @300	□−9φ @300	□−9φ @300	□−9φ @300	□−9φ @300	□−9φ @300	□−9φ @300	□−9φ @300	□−9φ @300	□−9φ @300				
1階	符号		1rBa	1rBb	1rBc	1rBd	1rBe	1rBz												
	断面		300 375 300	300 375 300	300 375 300	300 375 300	300 375 300	300 375 300												
	B × D		300 × 375																	
	鉄骨	FLG	4Ls−75×75×9																	
		ﾌﾗｽ	PL−65×8 (1-16φ)																	
	主筋																			
	STP		□−9φ @300																	

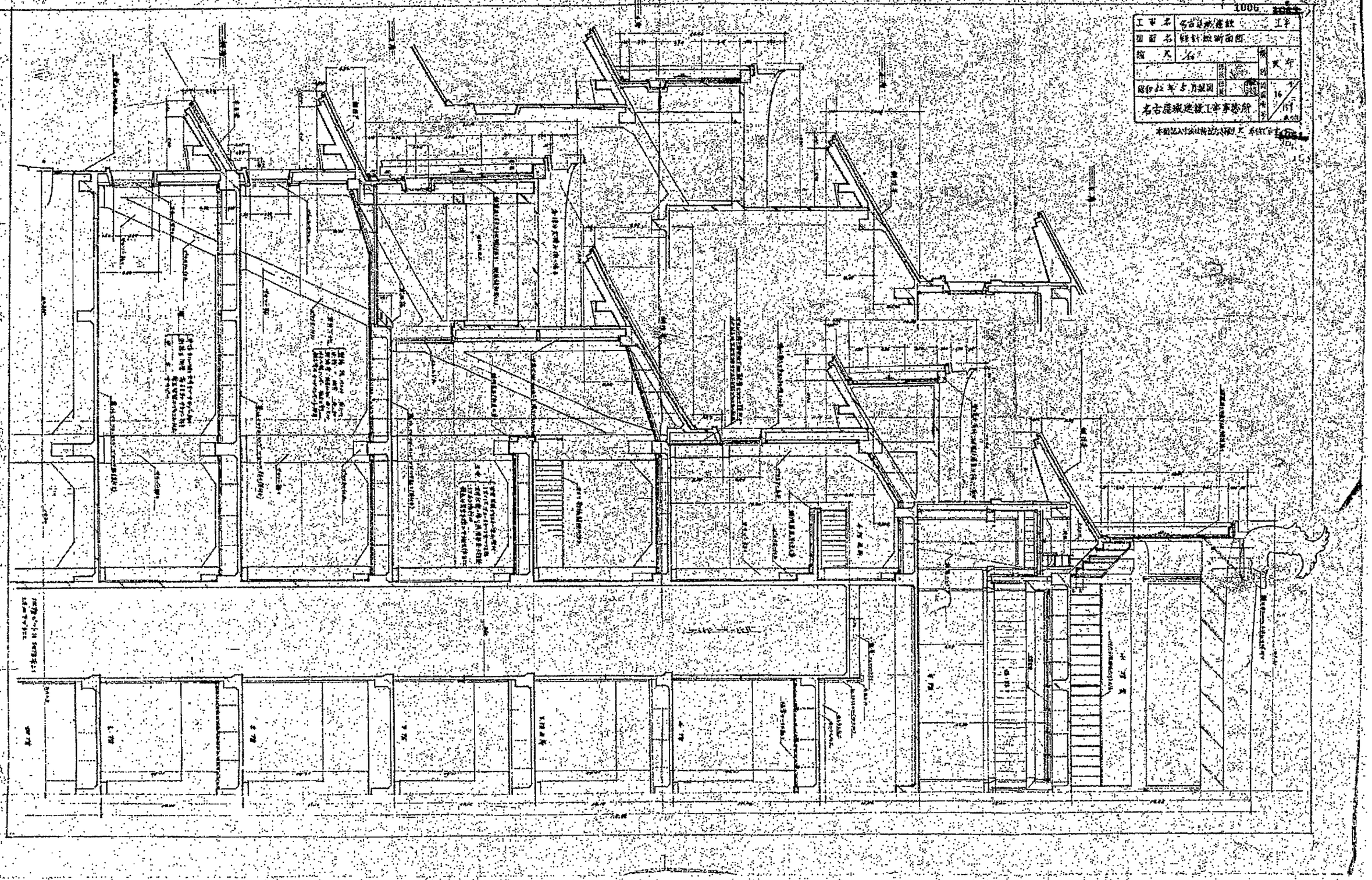
地中梁断面リスト　1:60

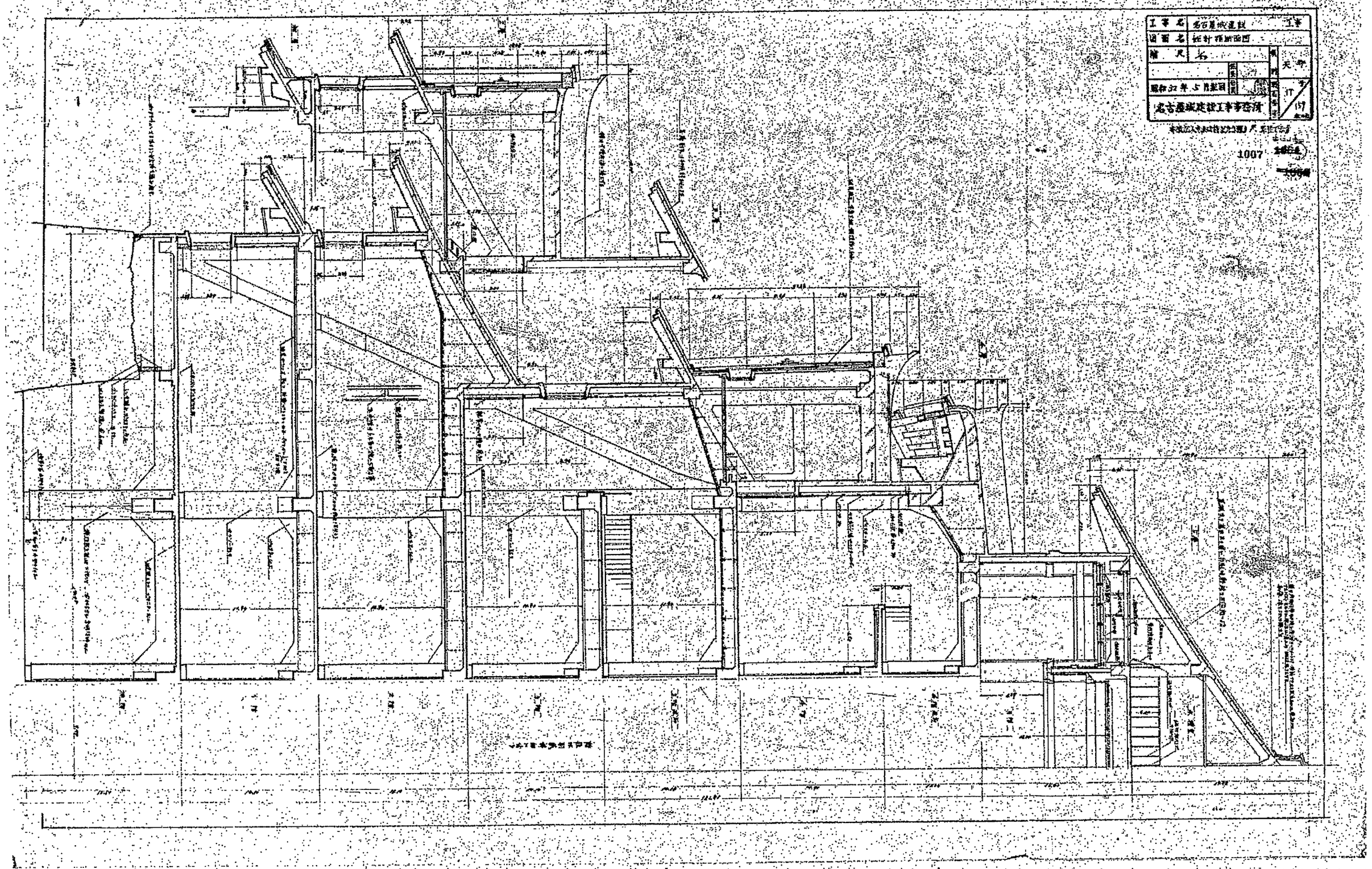
符号	FG1	FG2		FG3
位置	端部・中央	端部	中央	端部・中央
断面				
B x D	(1000 × 1800)	(1000 × 1800)		(1000 × 1800)
上端筋	14−25φ	26−25φ	14−25φ	14−22φ
下端筋	14−25φ	14−25φ	*32−25φ	14−22φ
S T P	□−12φ @250	□−12φ @250		□−12φ @250
腹筋	4 −19φ	4 −19φ		4 −19φ

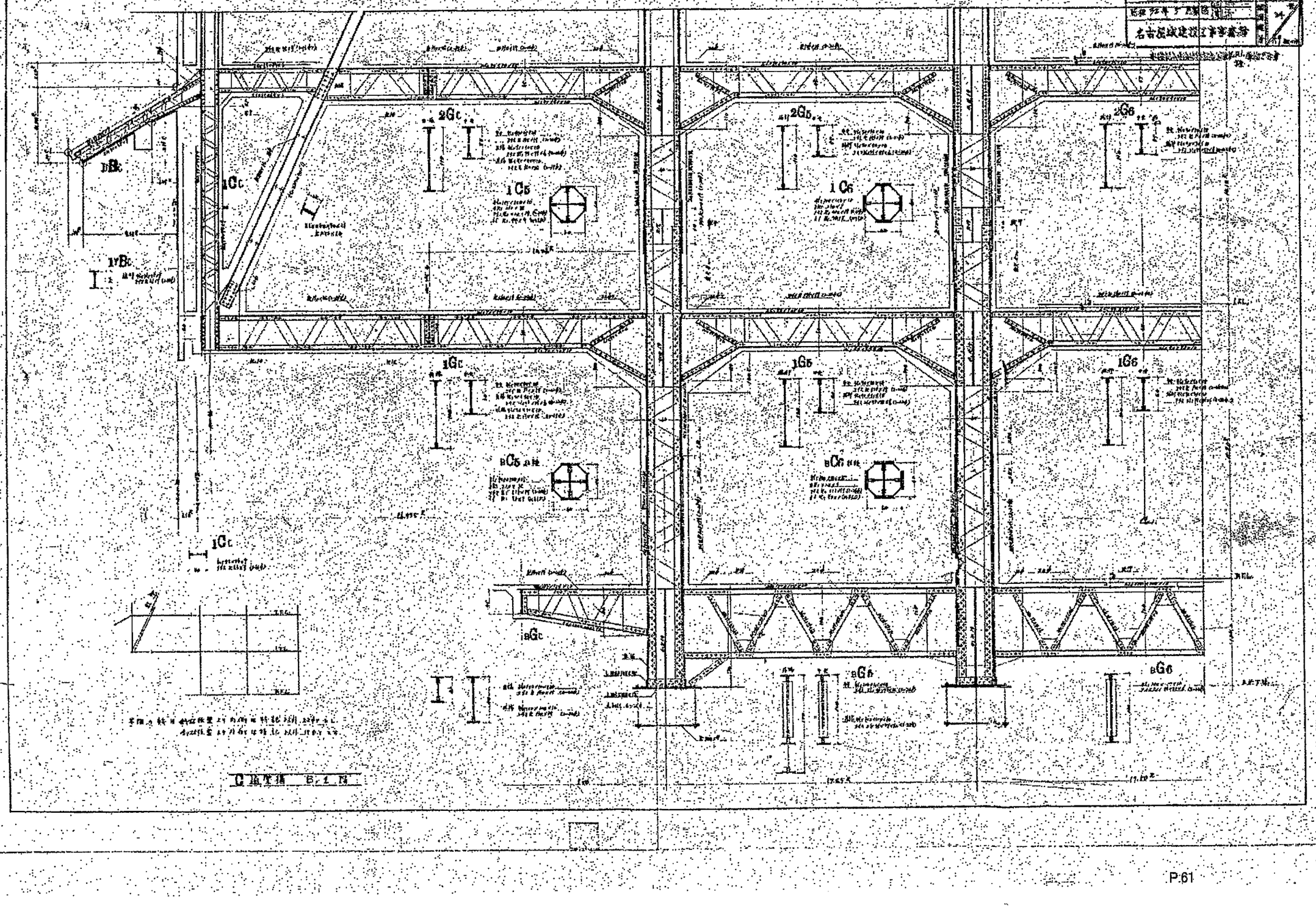
符号	FGz	
位置	内端	外端
断面		
B x D		
上端筋		
下端筋	図示	図示
S T P		
腹筋		



地中梁廻り断面 及びフロアーマット配筋

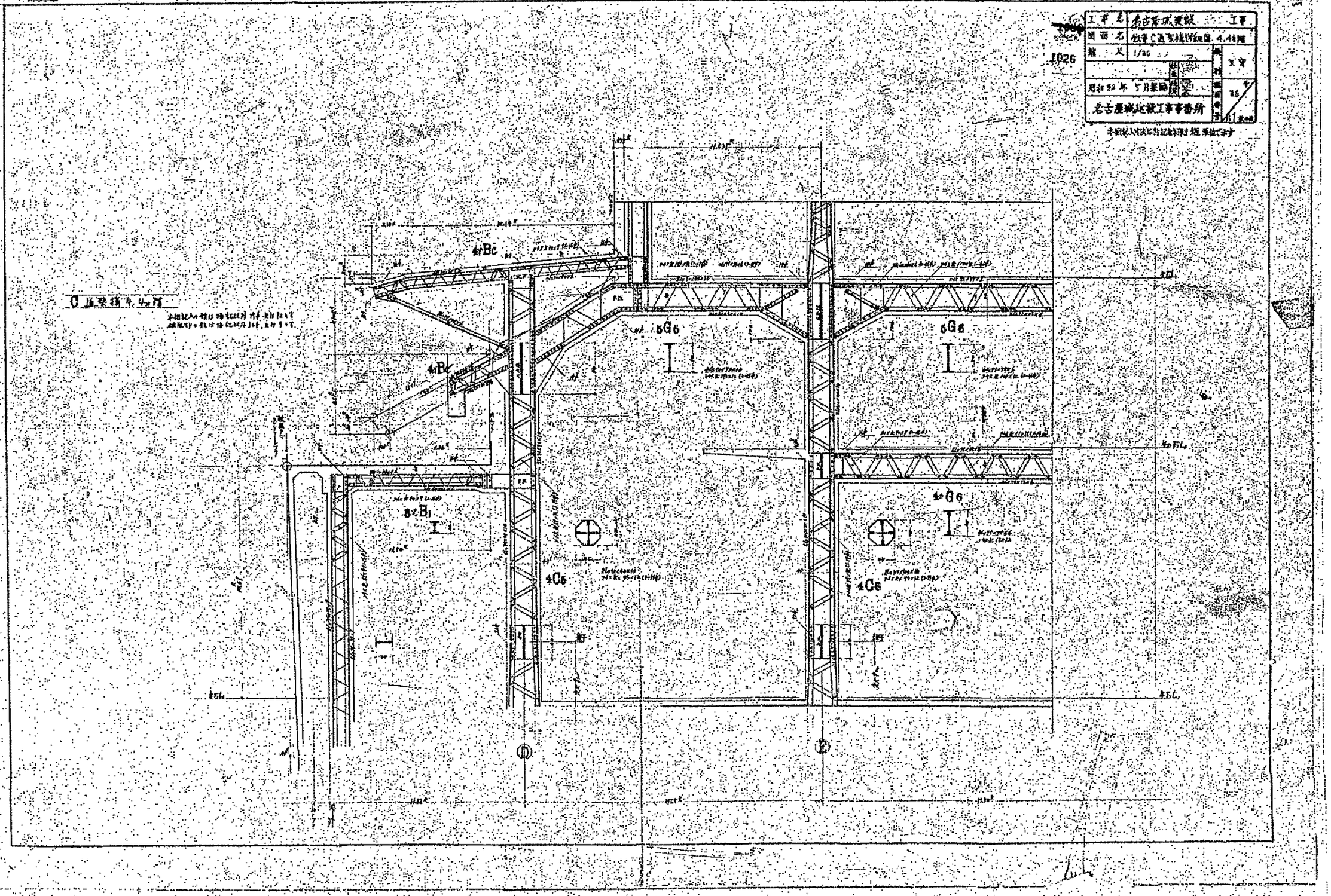

1006
工事名
名古屋城建設
工事
図面名
鉄針線断面図
縮尺
1/10
天竹
昭和52年5月製図
名古屋城建設工事事務所
16
159


工事名
名古屋城建設
工事
図面名
柱計算断面図
縮尺
天守
昭和32年5月製図
名古屋城建設工事事務所
17
157
1007

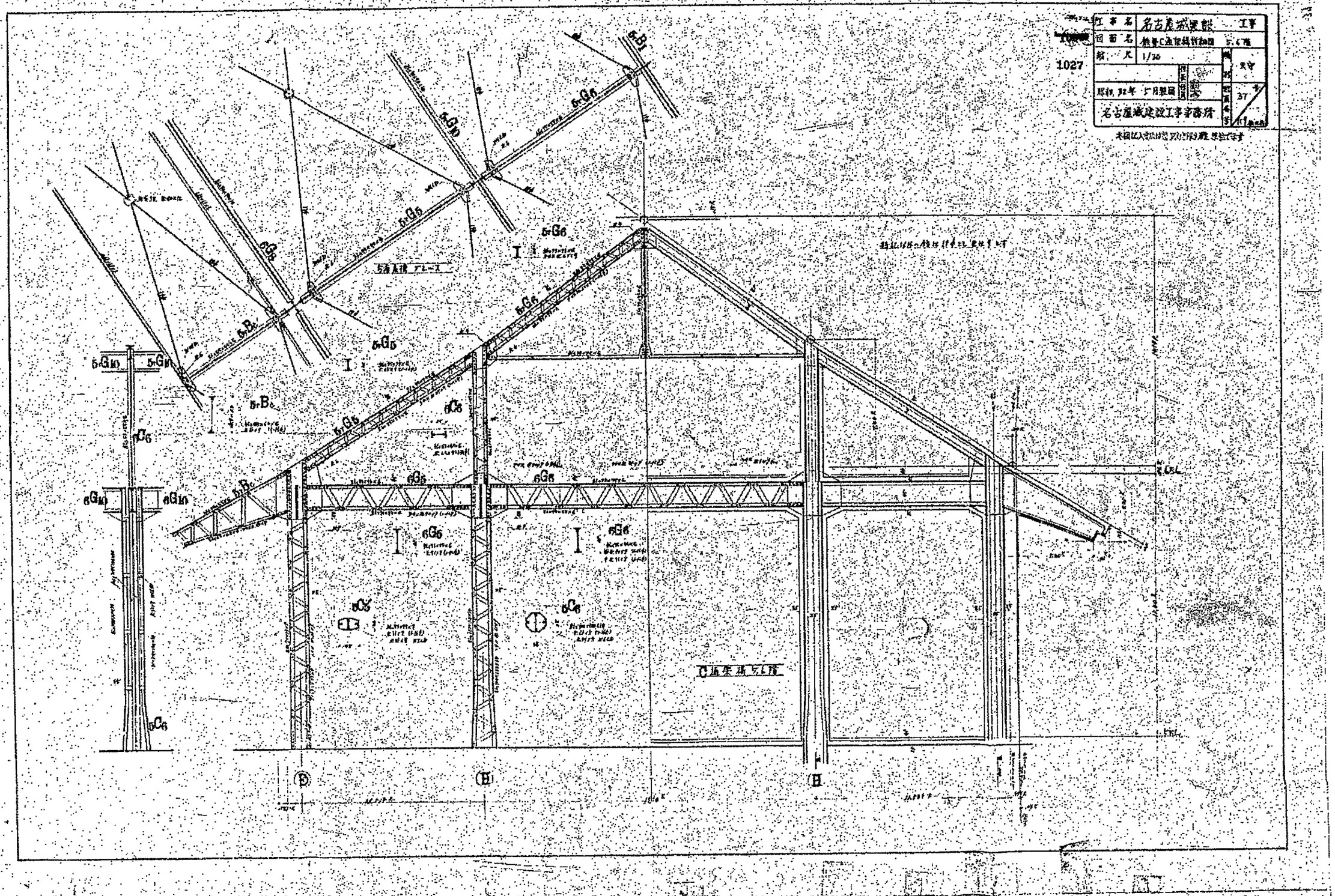

1024
2Gc
1Cc
1Bc
1Cc
1Gc
2Gb
1Cb
1Gb
2Gb
1Cb
2Gb
1Gb
2Gb
2Gb
1Cb
1Gb
2Gb
2Gb
1Cb
1Gb
2Gb
2Gb
1C

斜材については変更図有り
（次項に示す）

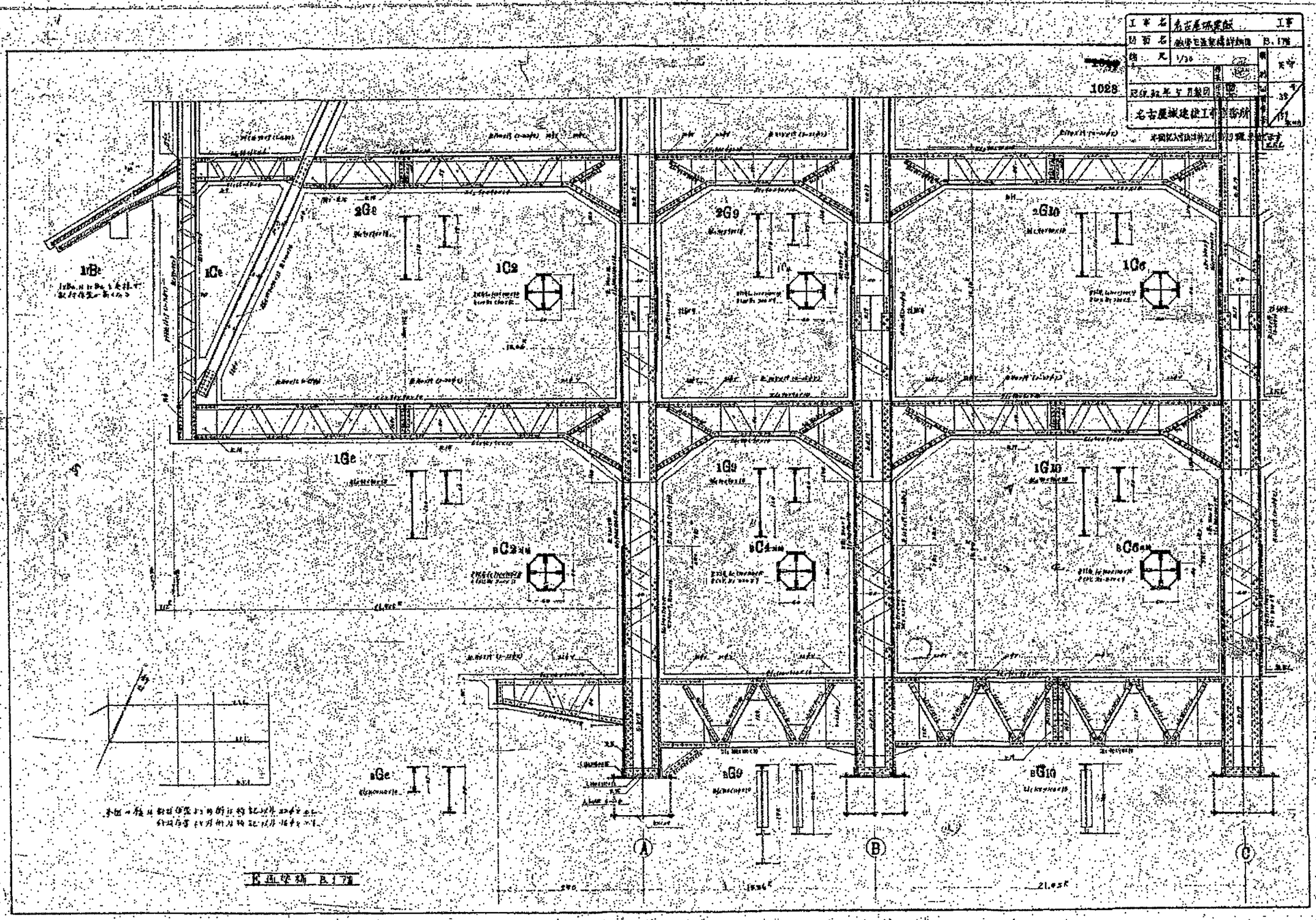
工事名	名古屋城建設 工事
図面名	
尺	1/50
昭和52年10月製図	
名古屋城建設工事事務所	

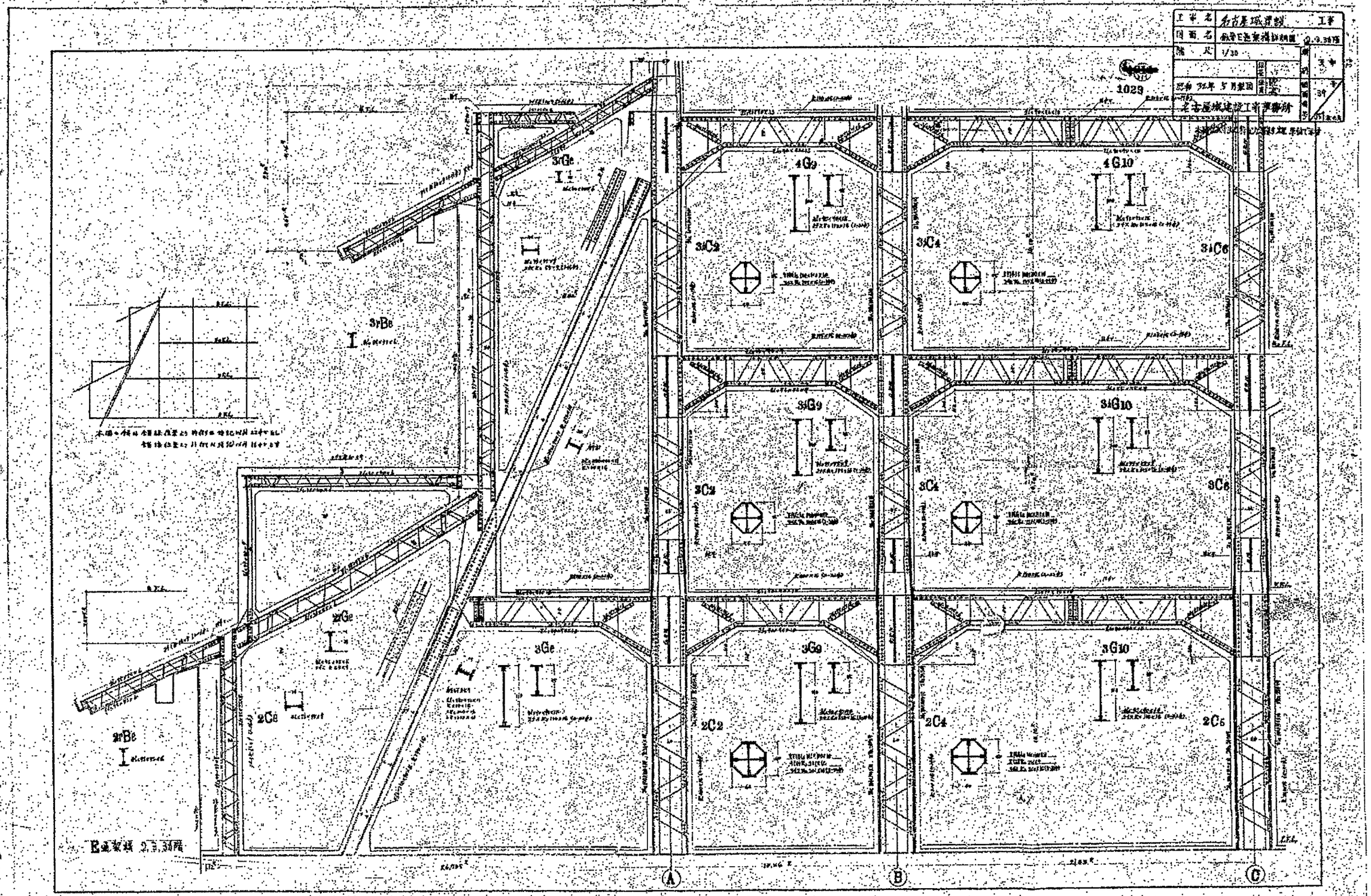


1026
工事名
名古屋城建設 工事
図面名
鉄筋C通架構図面 4.4m階
縮尺
1/30
昭和52年 5月製図
名古屋城建設工事事務所
4rBc
5G6
4rBc
3rB1
4C6
4C6
4rG6

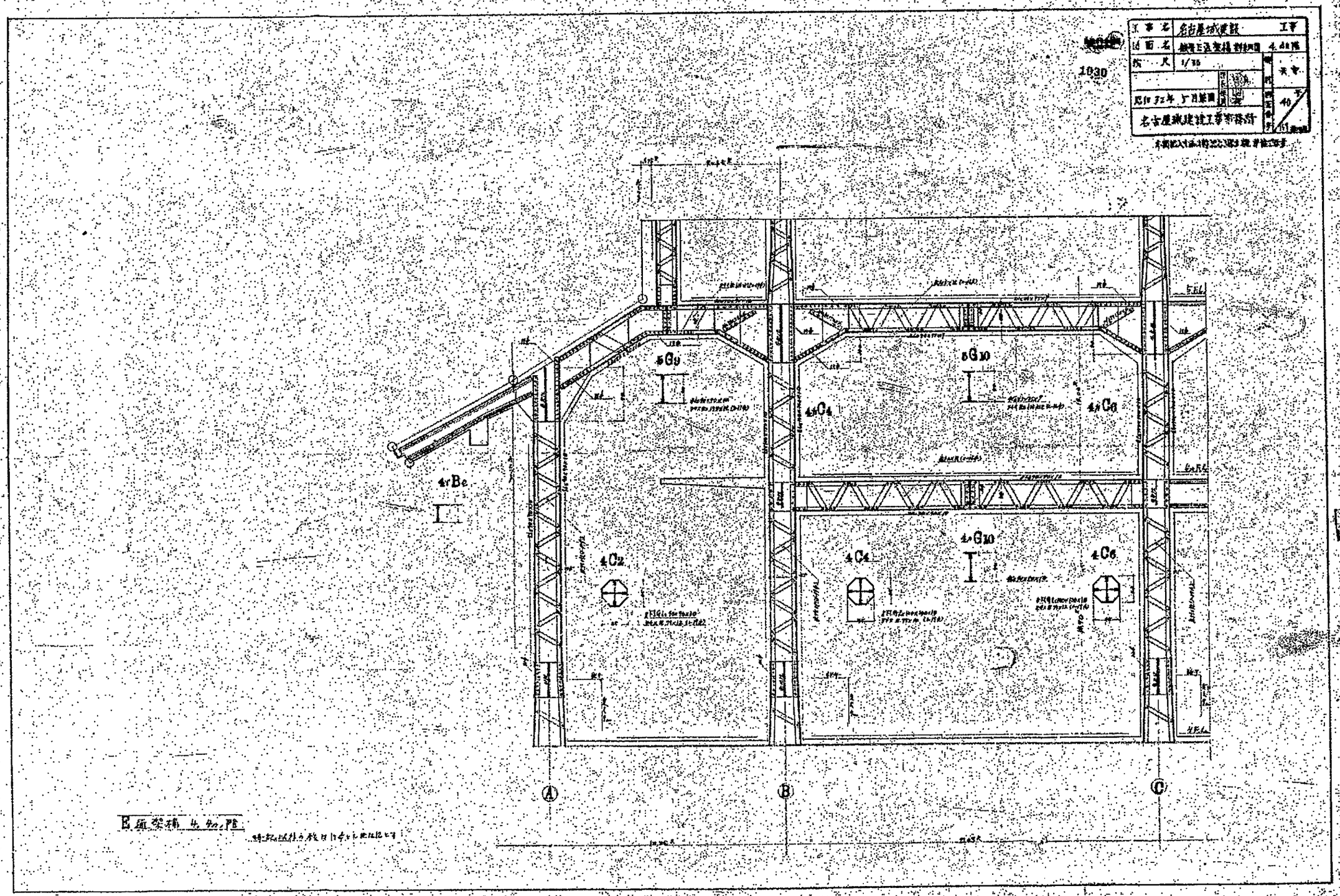


1027
名古屋城建設 工事
名古屋城建設工事事務所
5rB1
5rG6
5rG5
5rB2
5rG10
6G8
6G5
6G6
6G10
5C6
5C5

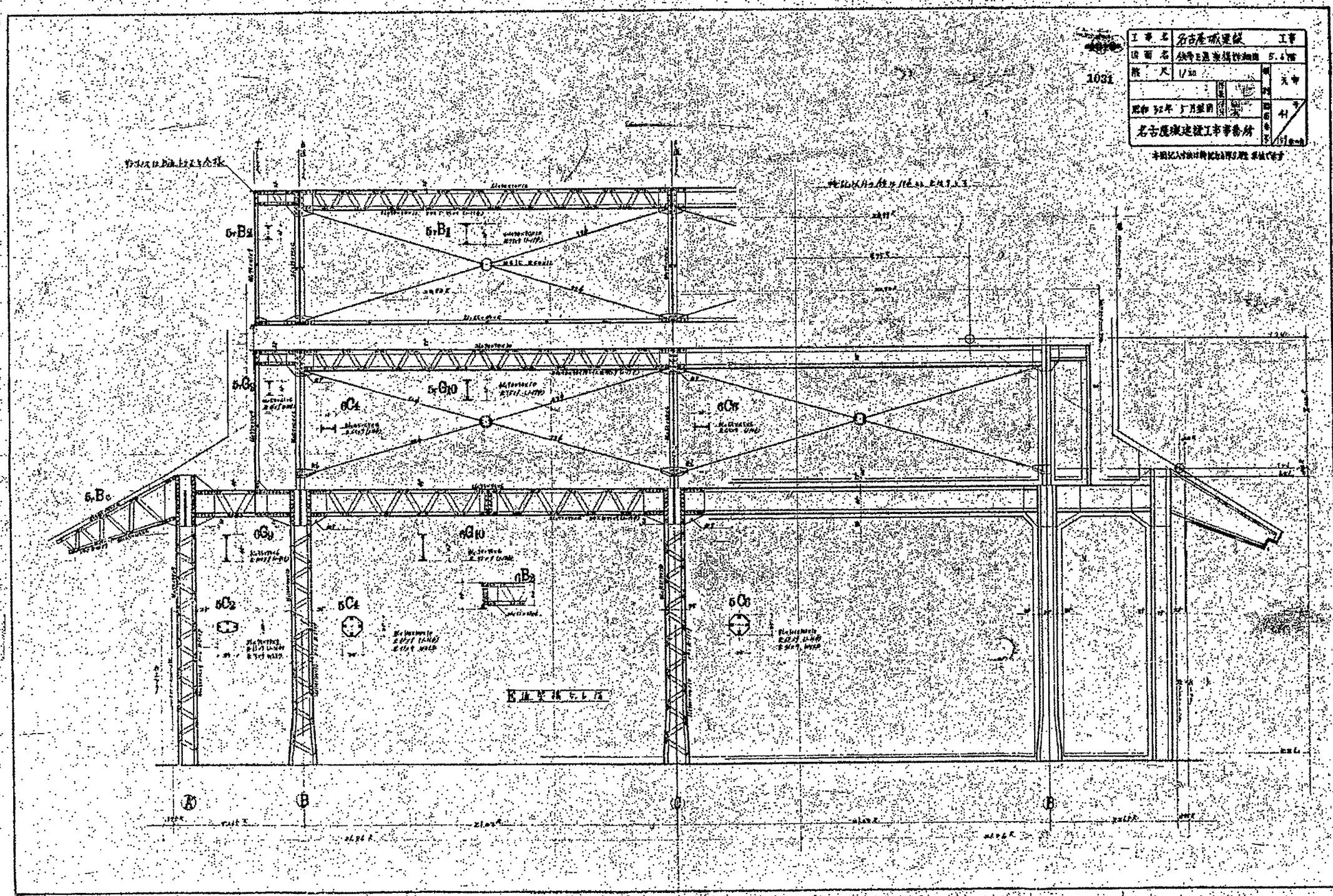

1028
1Be
1Ce
2Ge
1C2
2G9
1C4
2G10
1C6
1Ge
1G9
1G10
BC2
BC4
BC6
BGe
BG9
BG10
A
B
C



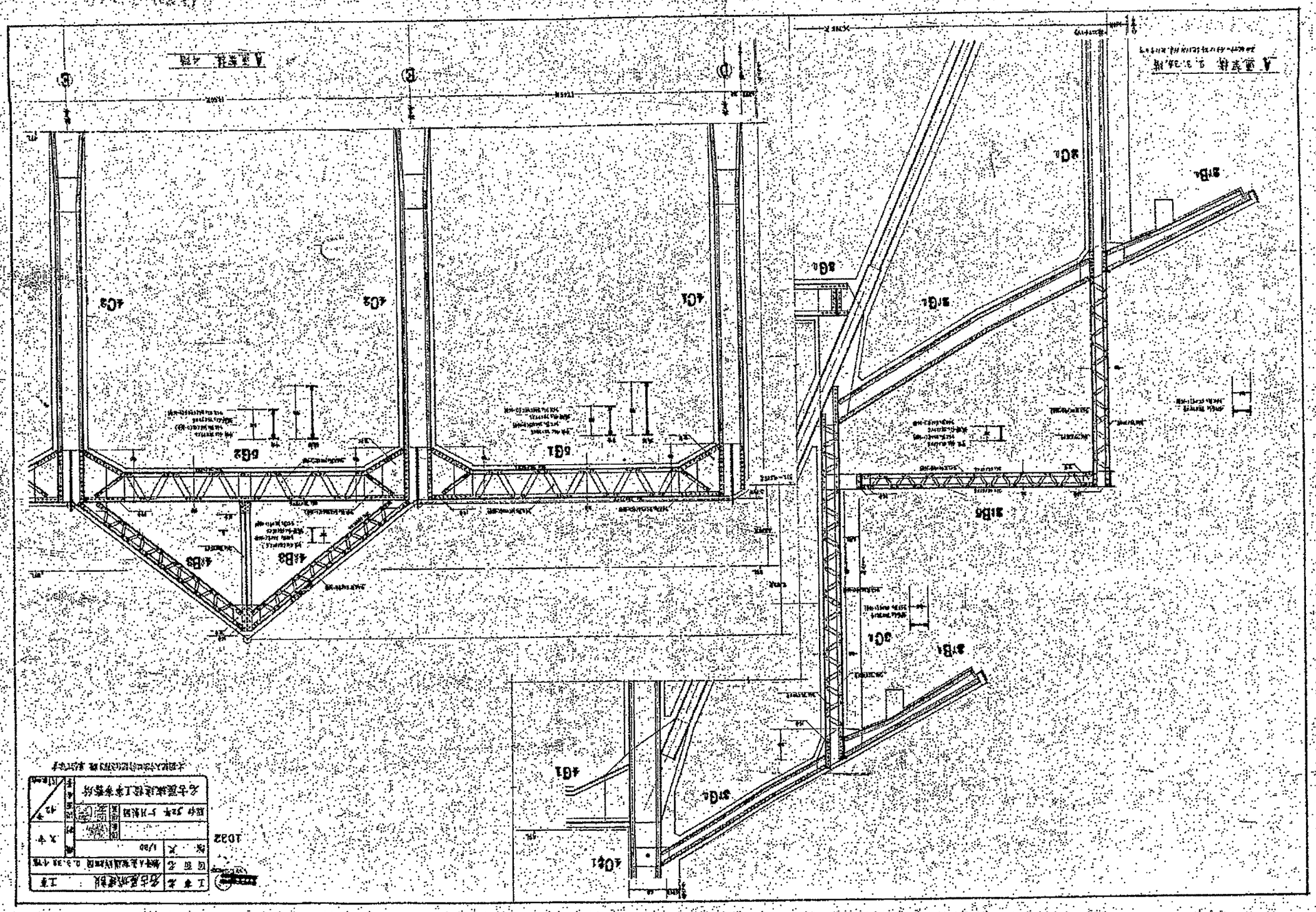
1029
4G9
4G10
3rGe
3rBe
3iC2
3iC4
3iC6
3iG9
3iG10
3C2
3C4
3C6
2rGe
2rBe
2Ce
3Ge
3G9
3G10
2C2
2C4
2C5
A
B
C

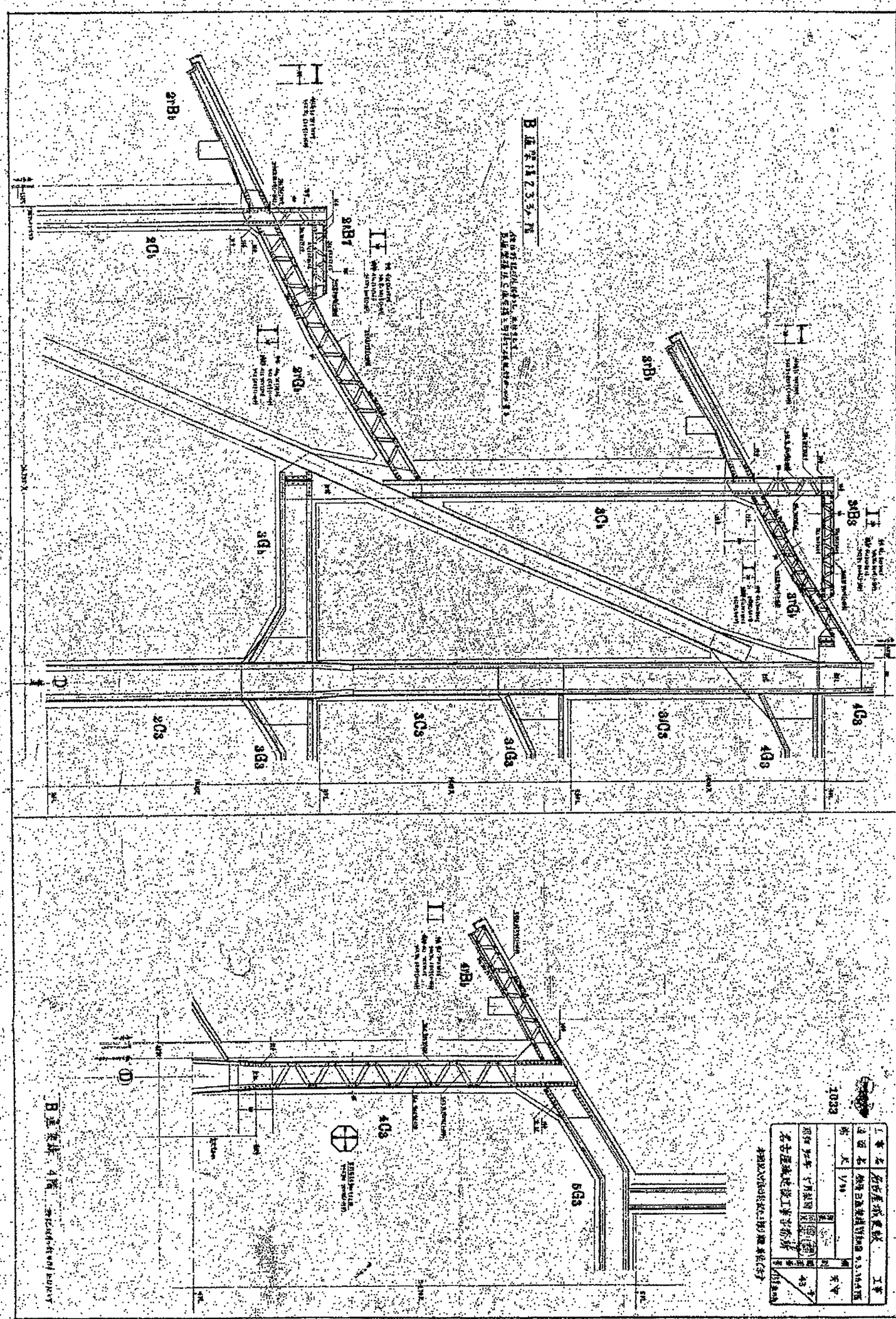


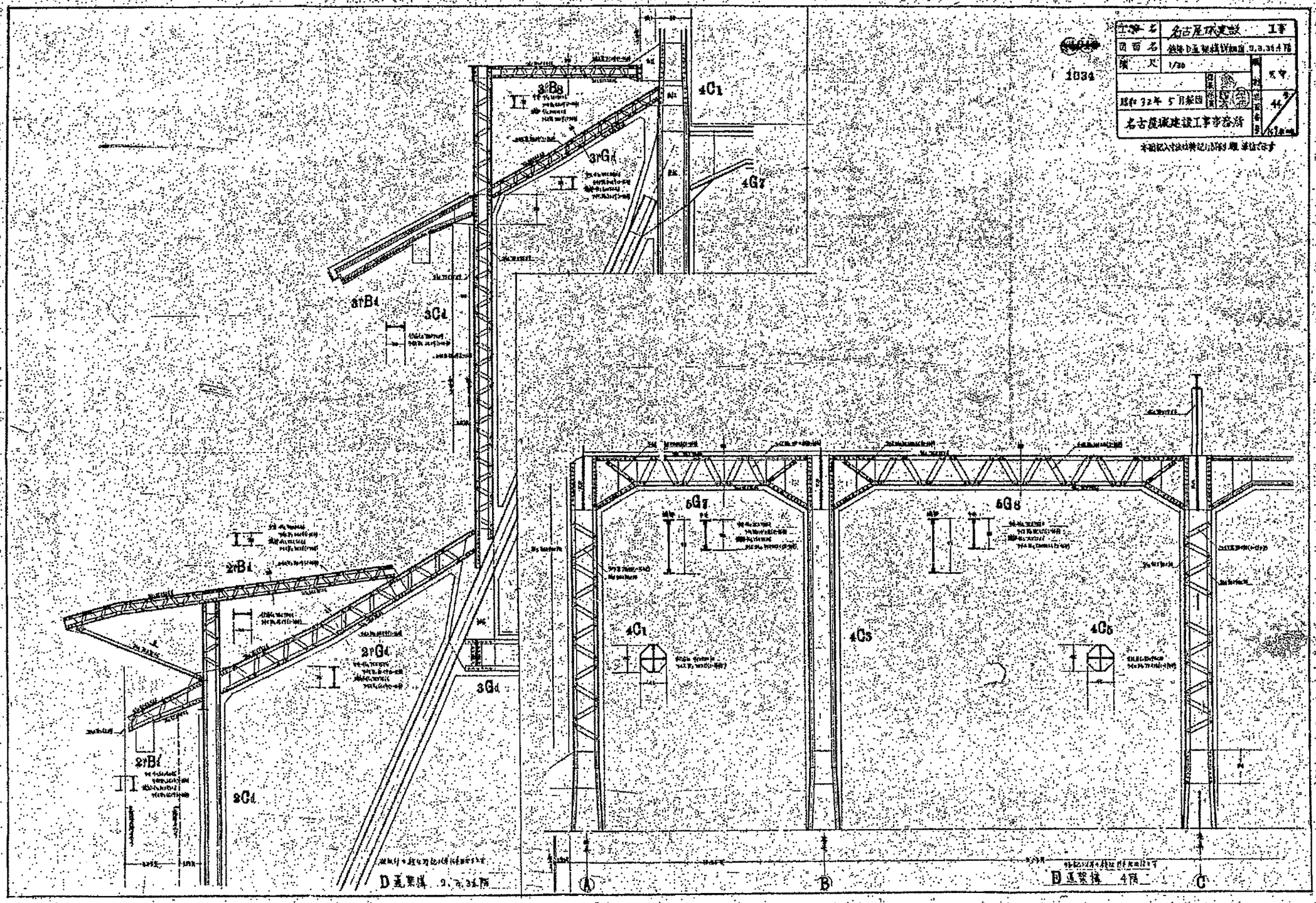
工事名 名古屋城建設 工事
図面名 鉄筋工法型枠 4.4m階
1/35
名古屋城建設工事事務所
1030
5G9
5G10
4rC4
4rC6
4rBe
4rG10
4C2
4C4
4C6
A
B
C
E 鉄筋 4.4m階



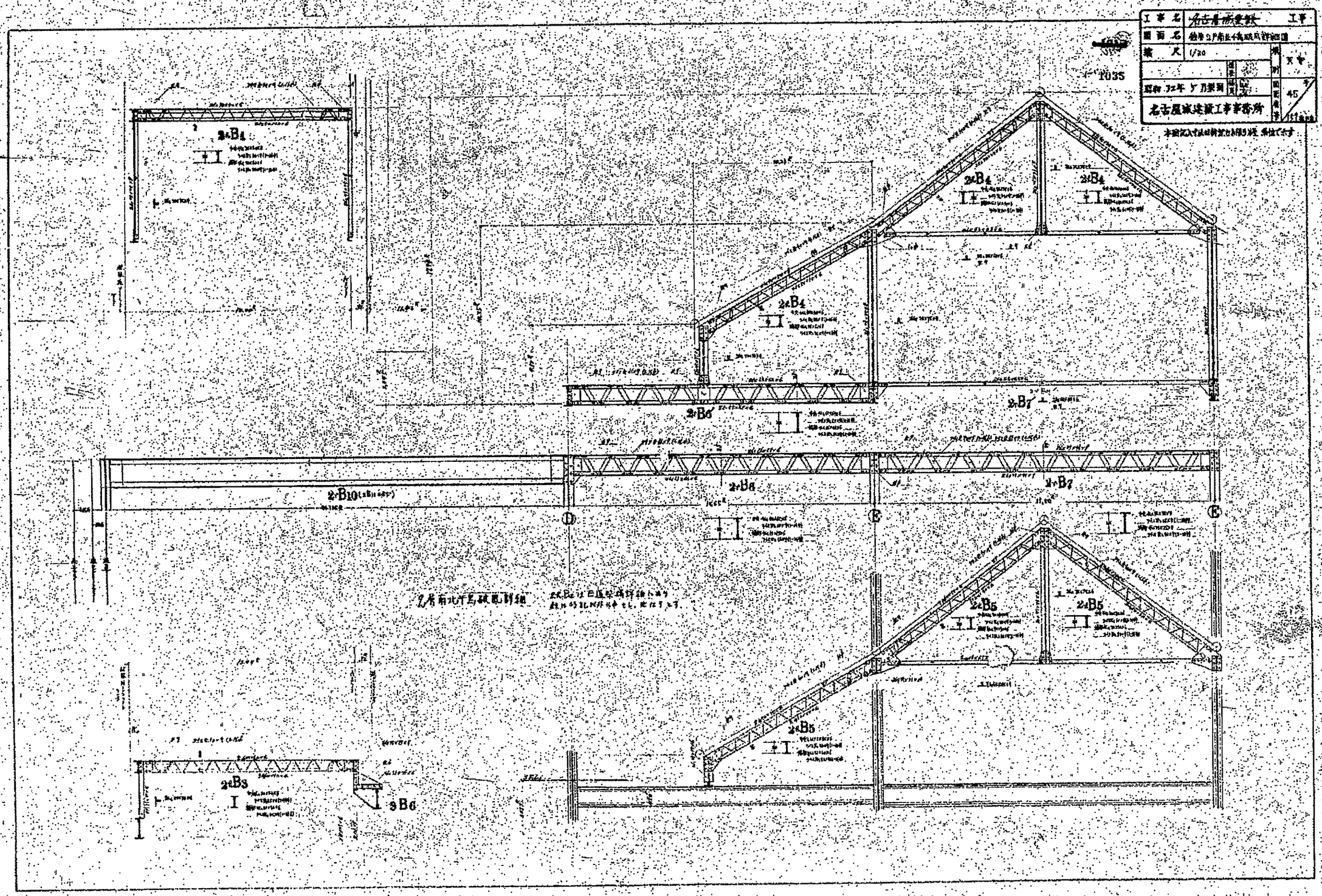
1031
工事名 名古屋城建設 工事
図面名 鉄筋工場 5.6階
縮尺 1/20
元帯
昭和32年 5月製図
名古屋城建設工事事務所
5rB2
5rB1
5rG9
5rG10
6C4
6C6
5rBc
6G9
6G10
6B2
5C2
5C4
5C6
A
B
C
B



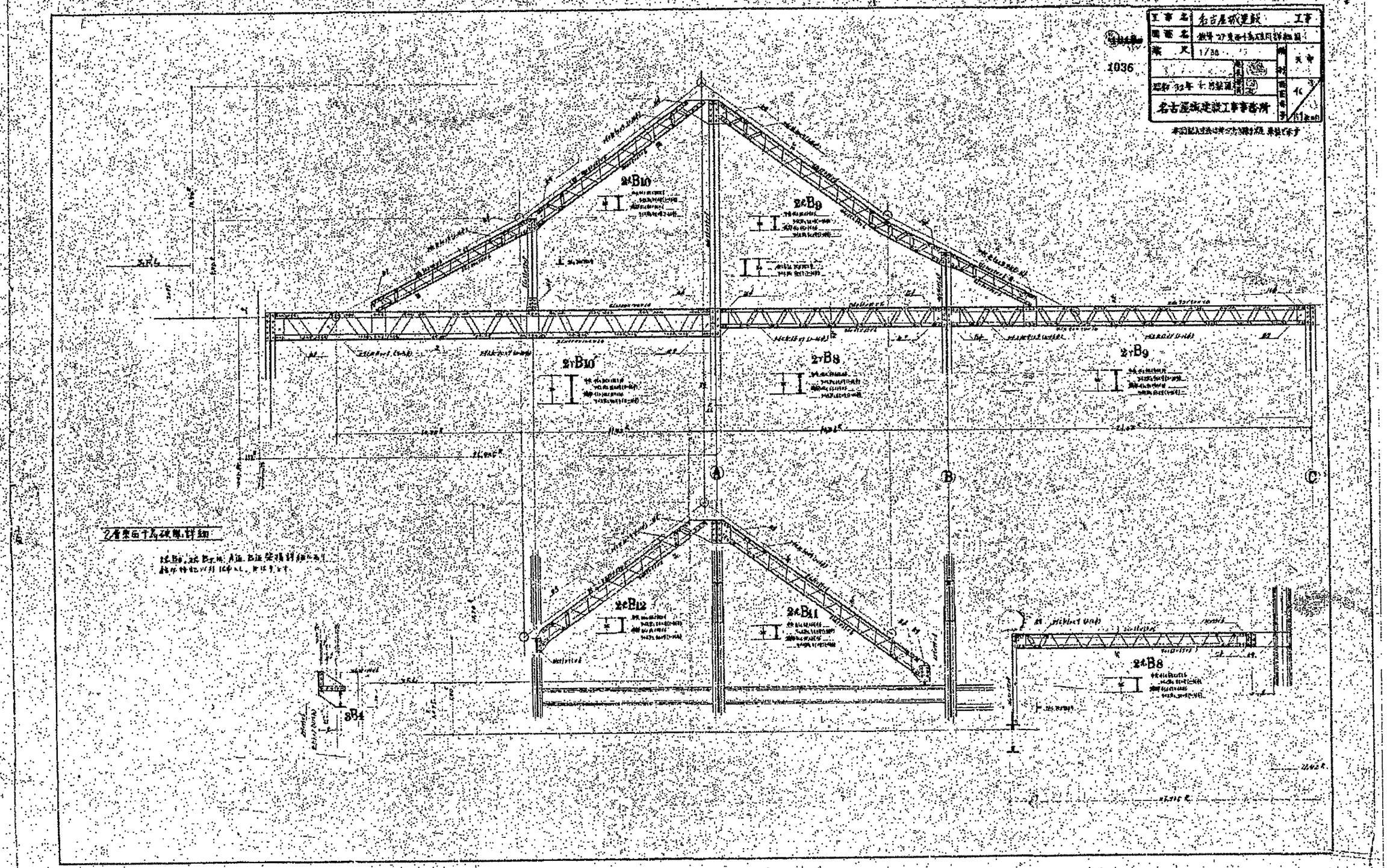

2rBb
2Cb
2rGb
3rBb
3Cb
3rGb
3Gb
2Cs
3Cs
3rGs
3rCs
4Cs
4Gs
4rBb
5Gs
1033



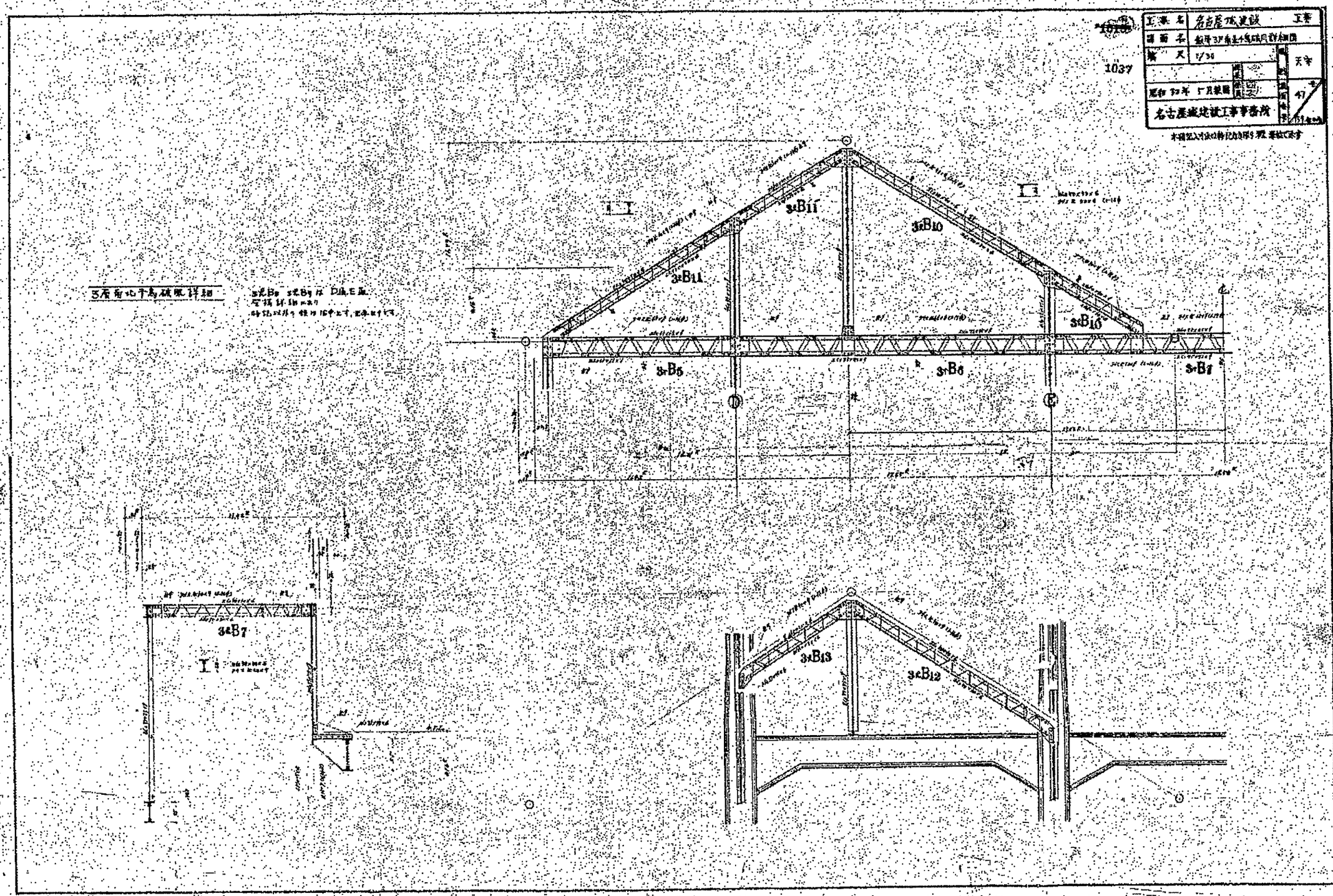
1034
名古屋城建設工事事務所
3rB8
4C1
3rG4
4G7
3rB4
3C4
2rB4
2rG4
3G4
2rB4
2C4
5G7
5G8
4C1
4C3
4C5
A
B
C



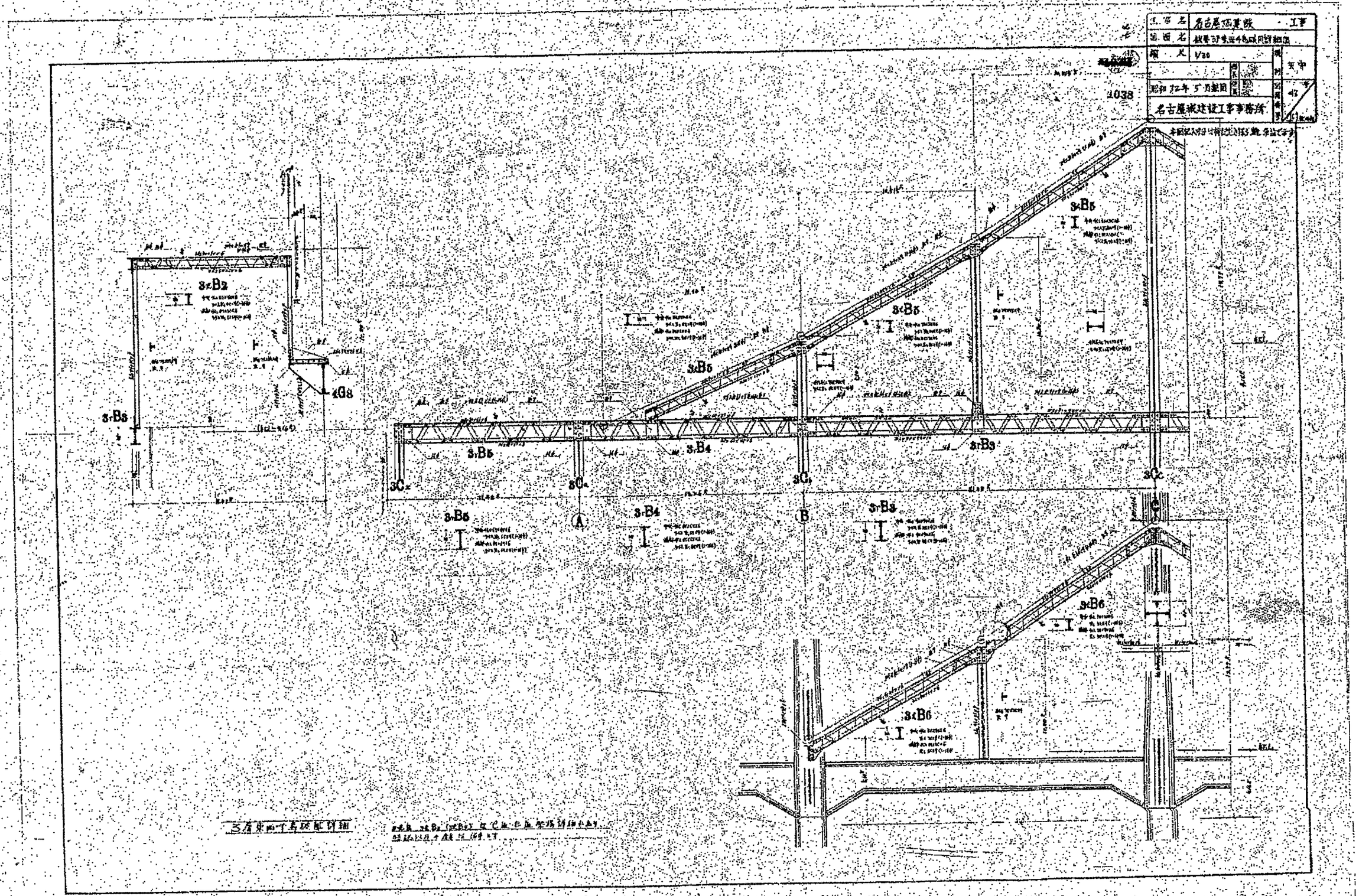
工事名
名古屋城建設工事事務所
工事
1/20
45
2xB4
2xB6
2xB7
2xB10
2xB5
2xB3
3B6



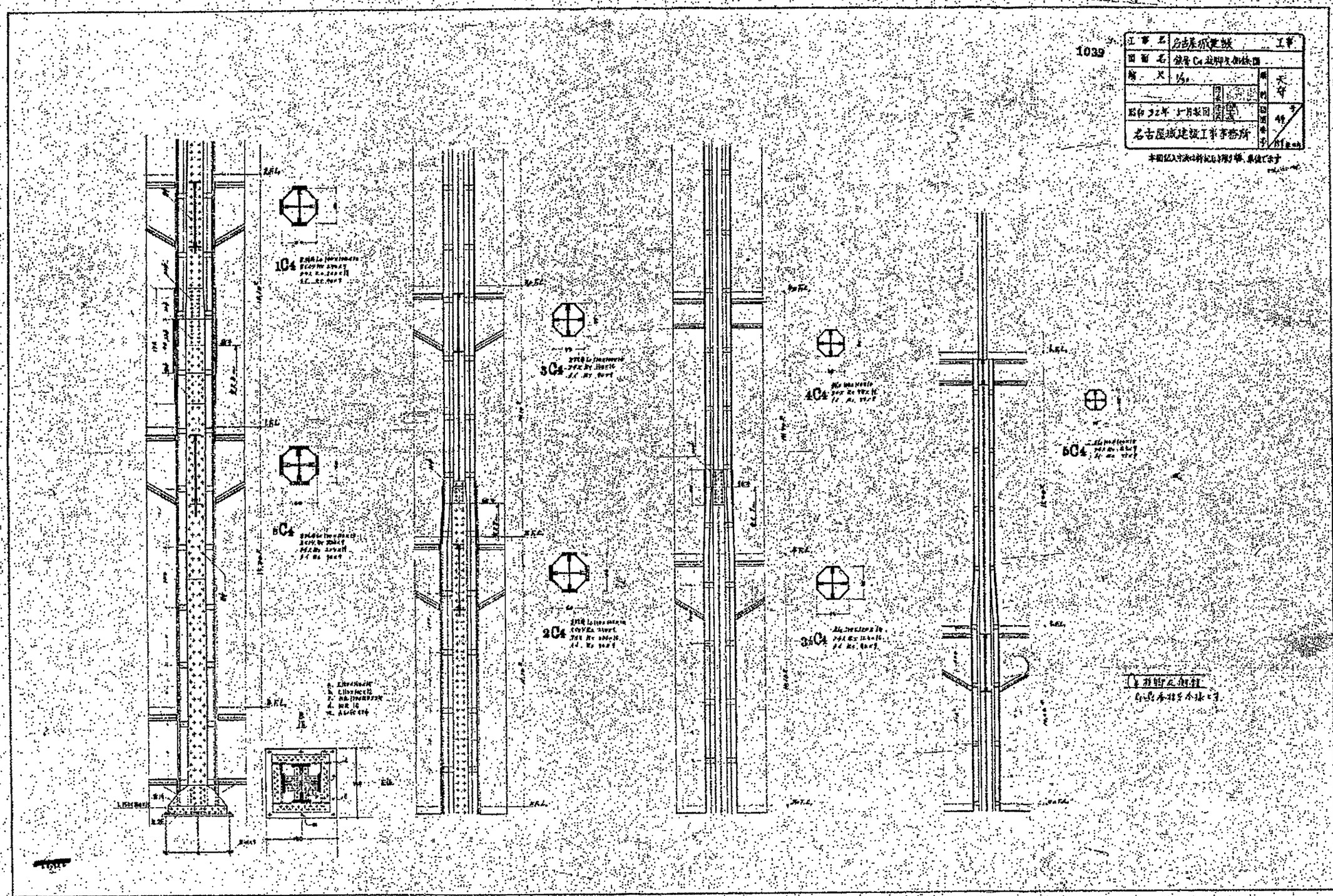
1036
名古屋城建設工事事務所
2tB10
2tB9
2tB10
2tB8
2tB9
2tB12
2tB11
2tB8
3B4
A
B
C

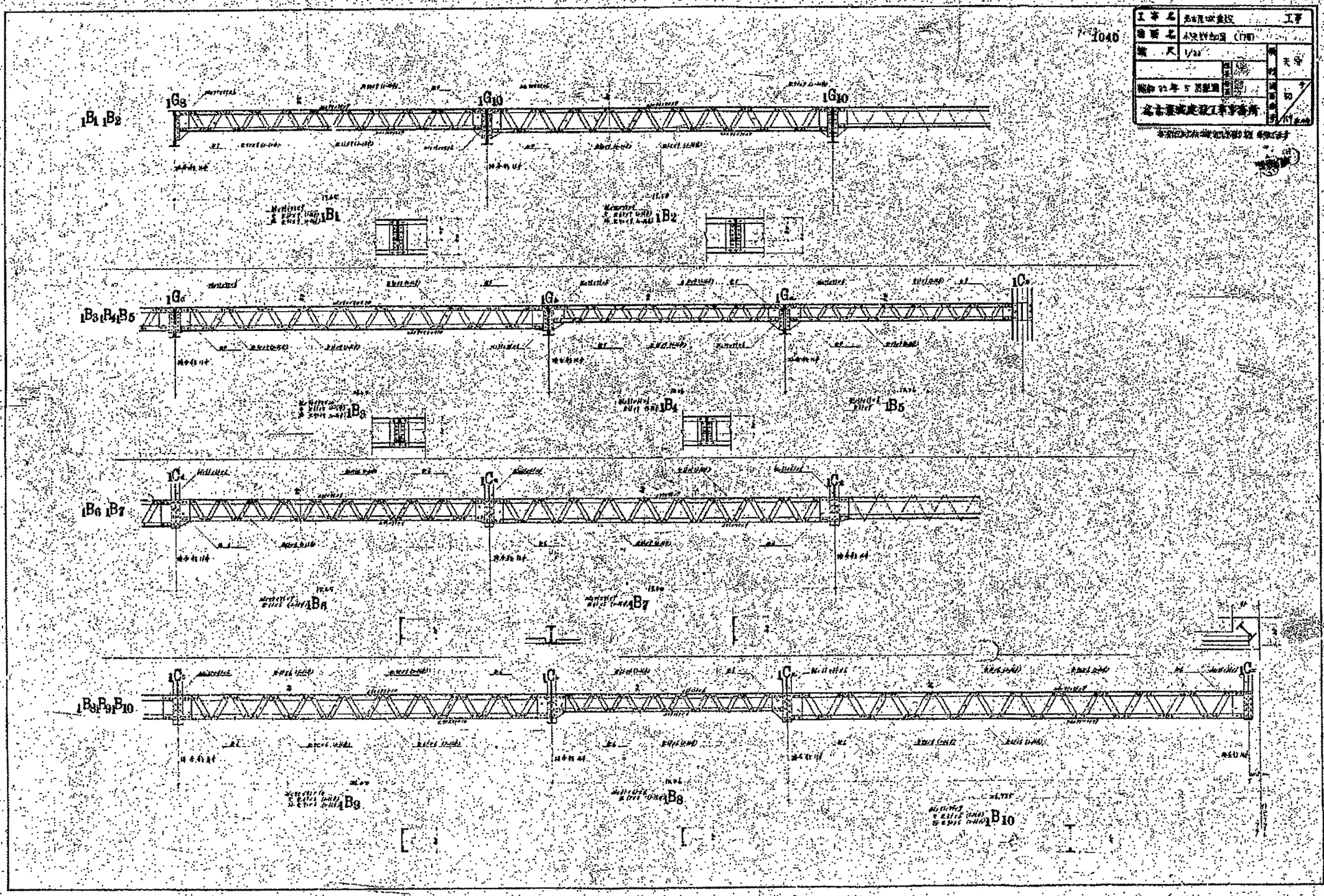


1037
名古屋城建設工事事務所
3xB11
3xB10
3xB5
3xB6
3xB7
3xB13
3xB12

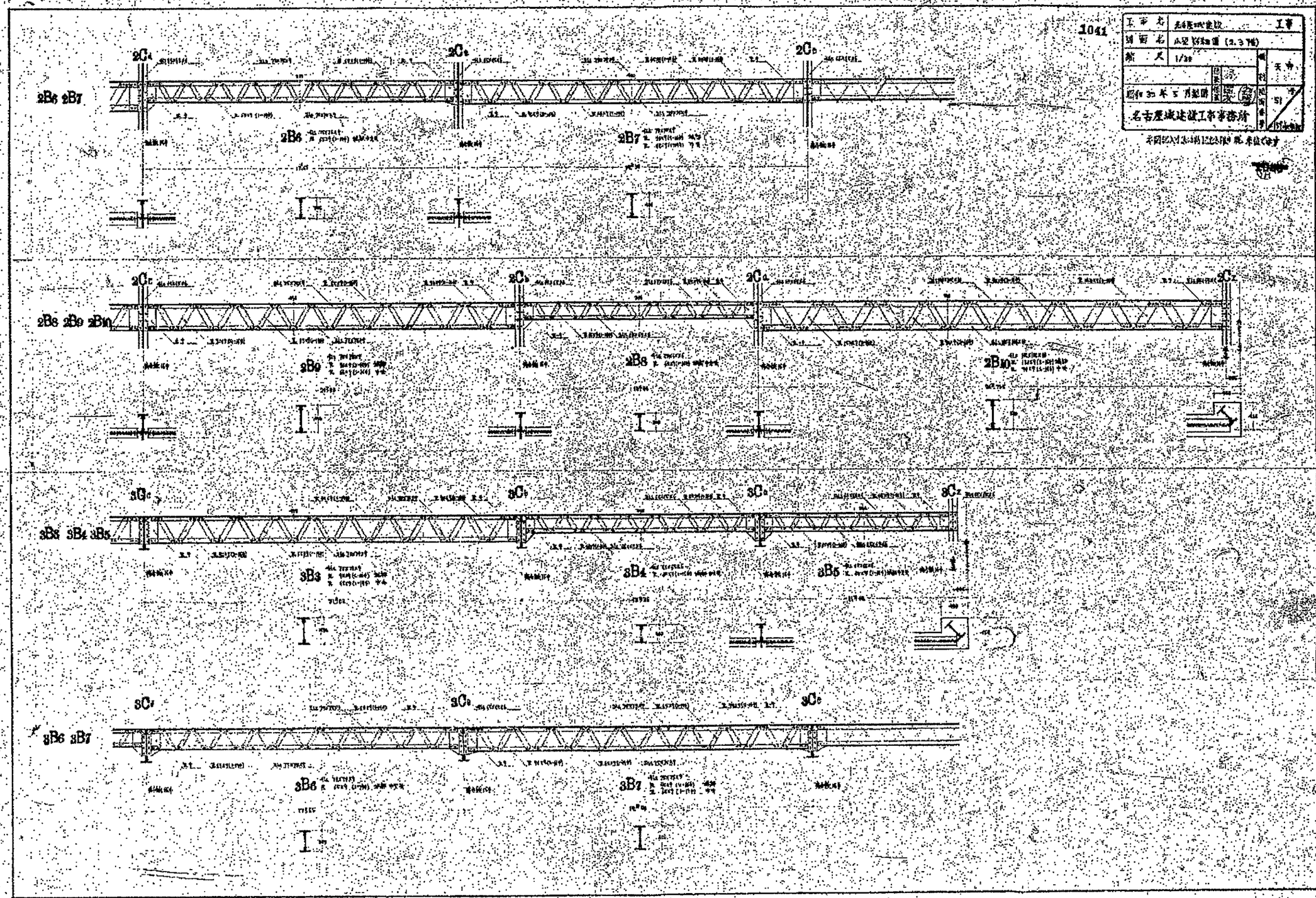


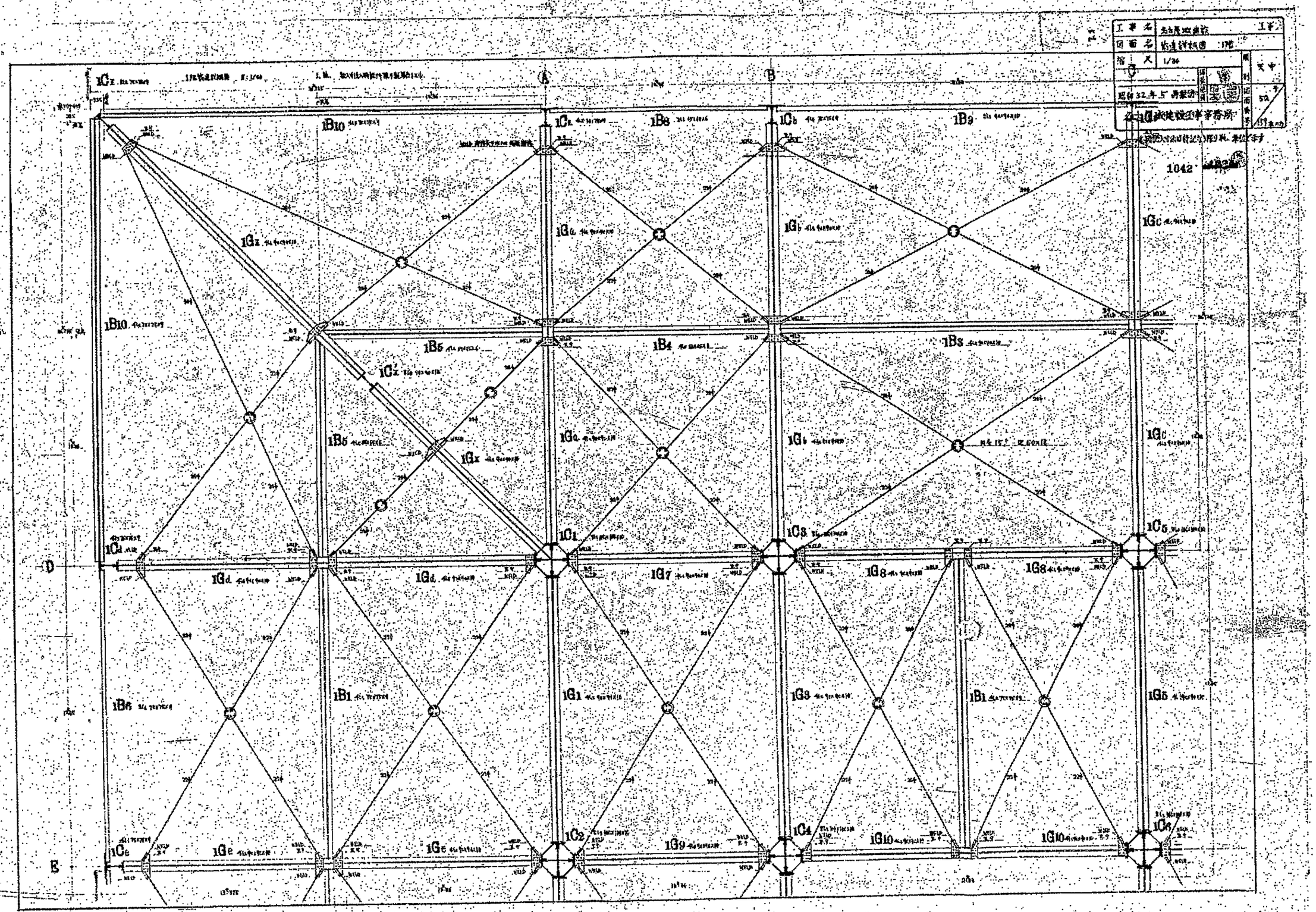
名古屋城建設工事事務所
1038
3cB2
4G8
3rB3
3rB5
3rB4
3rB3
3cB5
3cB6
3Cc
3Ca
3Cb
3Cc
A
B
C


1039
名古屋城建設工事事務所
1C4
3C4
4C4
5C4
2C4
3aC4

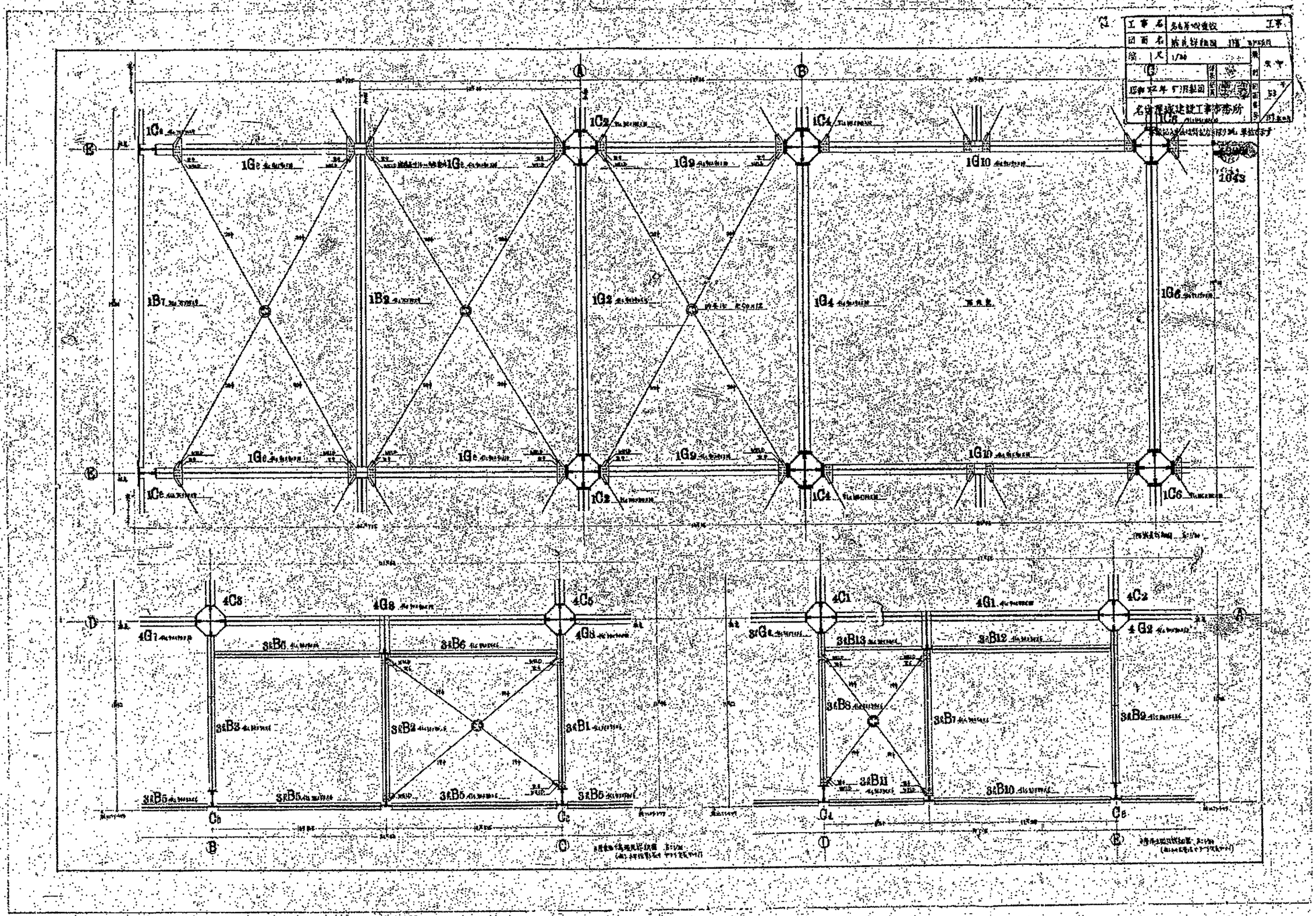

1G8
1G10
1G10
1B1 1B2
1B1
1B2
1G9
1G9
1G9
1C9
1B3 1B4 1B5
1B3
1B4
1B5
1C4
1C5
1C6
1B6 1B7
1B6
1B7
1C3
1C7
1C8
1B8 1B9 1B10
1B9
1B8
1B10

P.78

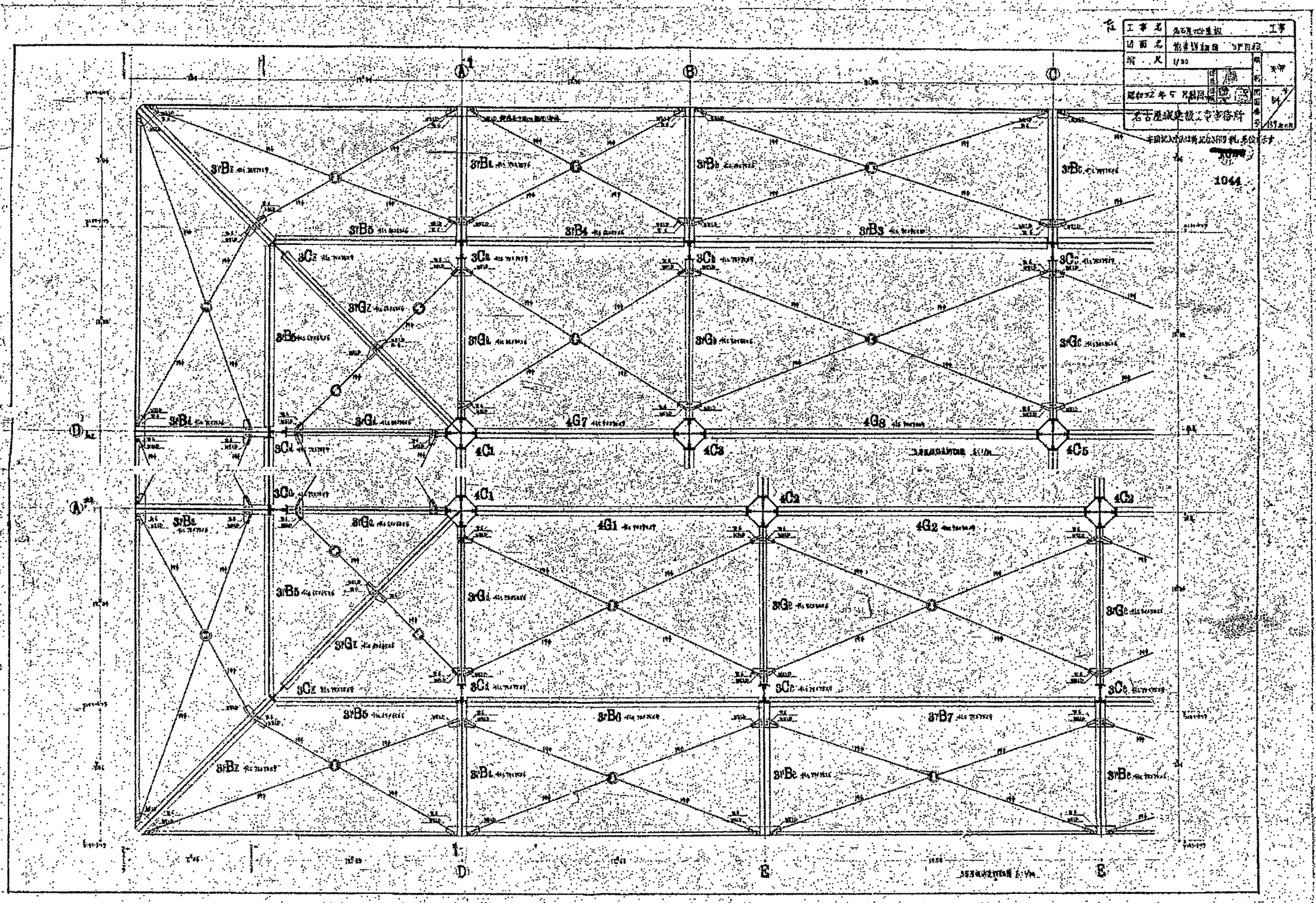

1041
工事名
工事
図面名
1/30
名古屋城建設工事事務所
2B6 2B7
2B8 2B9 2B10
3B3 3B4 3B5
3B6 3B7



1C1
1C2
1C3
1C4
1C5
1C6
1C7
1C8
1C9
1C10
1B1
1B3
1B4
1B5
1B6
1B8
1B9
1B10
1G1
1G3
1G4
1G5
1G6
1G7
1G8
1G9
1G10
1Gx
1Gd
1Ge
1Gc
1Cx
1Cd
1Ce
A
B
C
D
E
1042



1C1
1C2
1C4
1C6
1G1
1G2
1G4
1G6
1G9
1G10
1B1
1B2
1B7
1C3
1C5
4C1
4C2
4C3
4C5
4G1
4G2
4G3
4G8
3tB1
3tB2
3tB3
3tB5
3tB6
3tB7
3tB8
3tB9
3tB10
3tB11
3tB12
3tB13
C1
C2
C3
C4
C5
C6
A
B
C
D
E



工事名
図面名
縮尺
1/30
昭和32年5月
名古屋城建設工事事務所
1044
3rB2
3rB1
3rB6
3rB4
3rB3
3C2
3C1
3C6
3C5
3rG2
3rG1
3rG6
3rG5
4G7
4G8
4C1
4C3
4C5
3C4
3C3
4C1
4C2
4C3
4G1
4G2
3rB5
3rG1
3rG6
3rG2
3C2
3C1
3C6
3rB5
3rB6
3rB7
3rB2
3rB1
3rB6
3rB6
A
B
C
D
E

3．既存建物診断結果概要

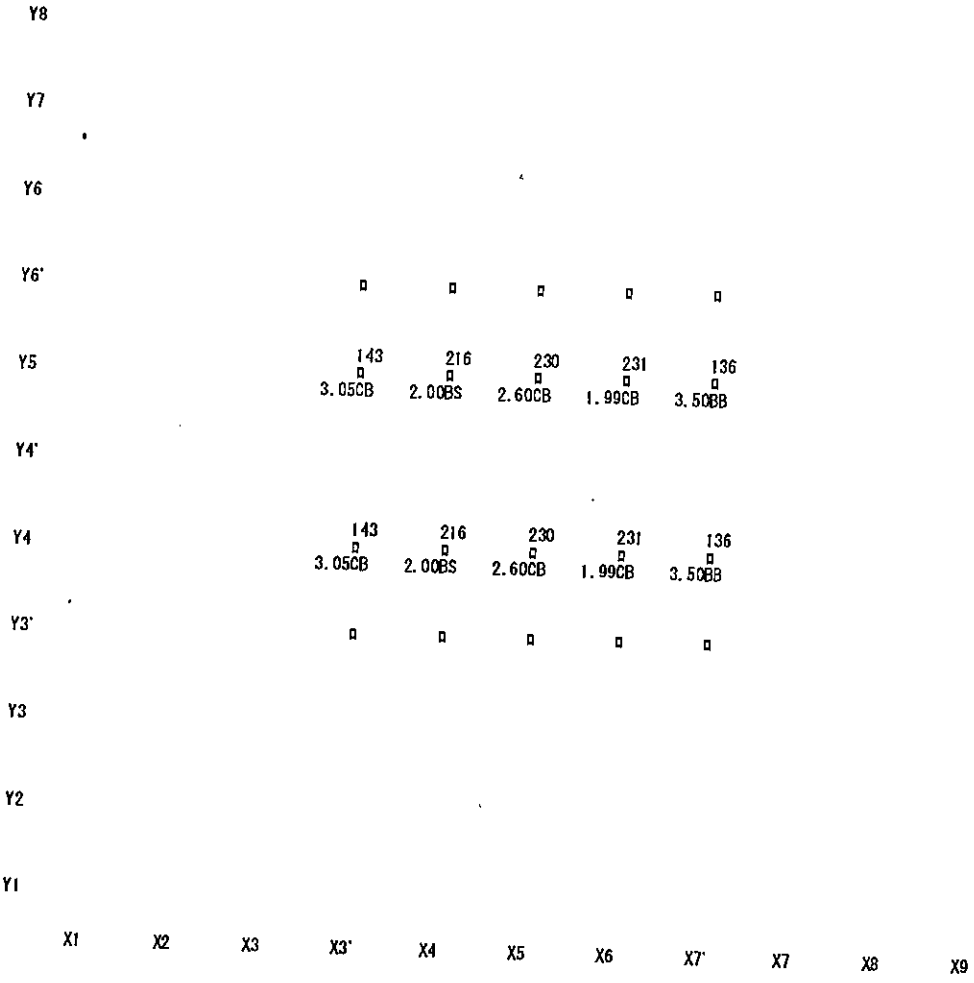
3－1　既存建物の崩壊形式

【鉛直部材の諸元：（伏図）】　Ｘ方向　正加力時　３次診断

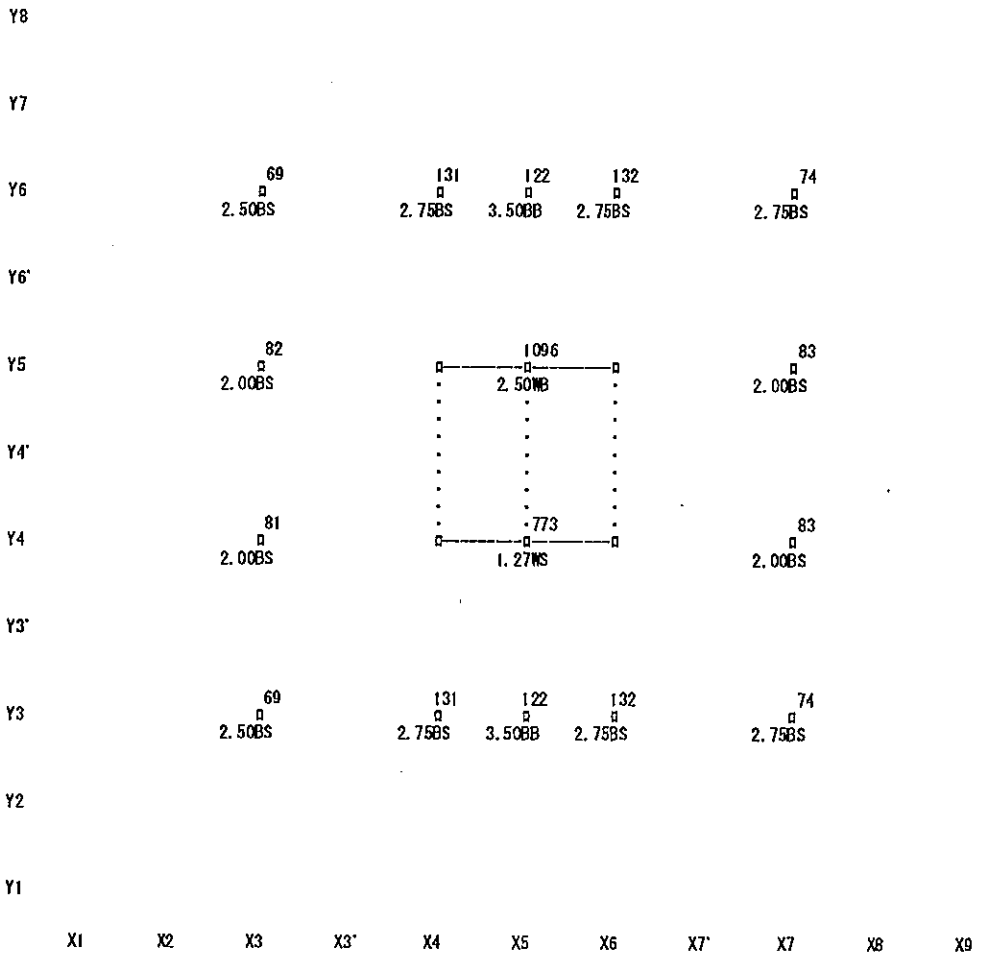
破壊形式（せん断柱、極脆性柱で第２種構造要素の場合は後に'＊'を表示）
CB：曲げ柱　CS：せん断柱　CSS：(極)脆性柱
BB：曲げ梁支配型柱　BS：せん断梁支配型柱　CT：柱脚部支配型柱
CWB：曲げそで壁付柱　CWS：せん断そで壁付柱　CWSS：(極)脆性そで壁付柱
WB：曲げ壁　WS：せん断壁　WR：回転壁　WT：柱脚部支配型壁（極):RC部材

―― ：Ｘ方向の壁　・・・・：Ｙ方向の壁
上段：保有せん断力　下段：Ｆ指標、破壊形式
鉛直部材の分類　S：せん断柱　X：(極)脆性柱　□：その他

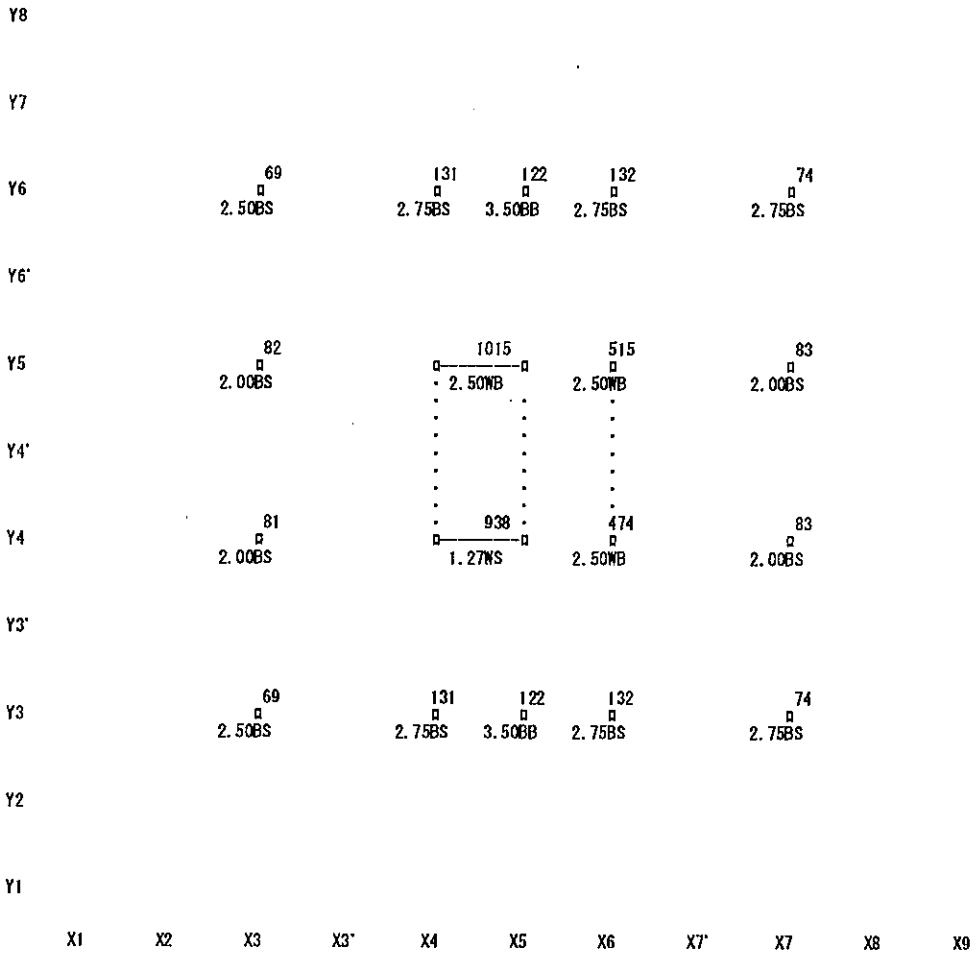
<7　階>　ＳＲＣ



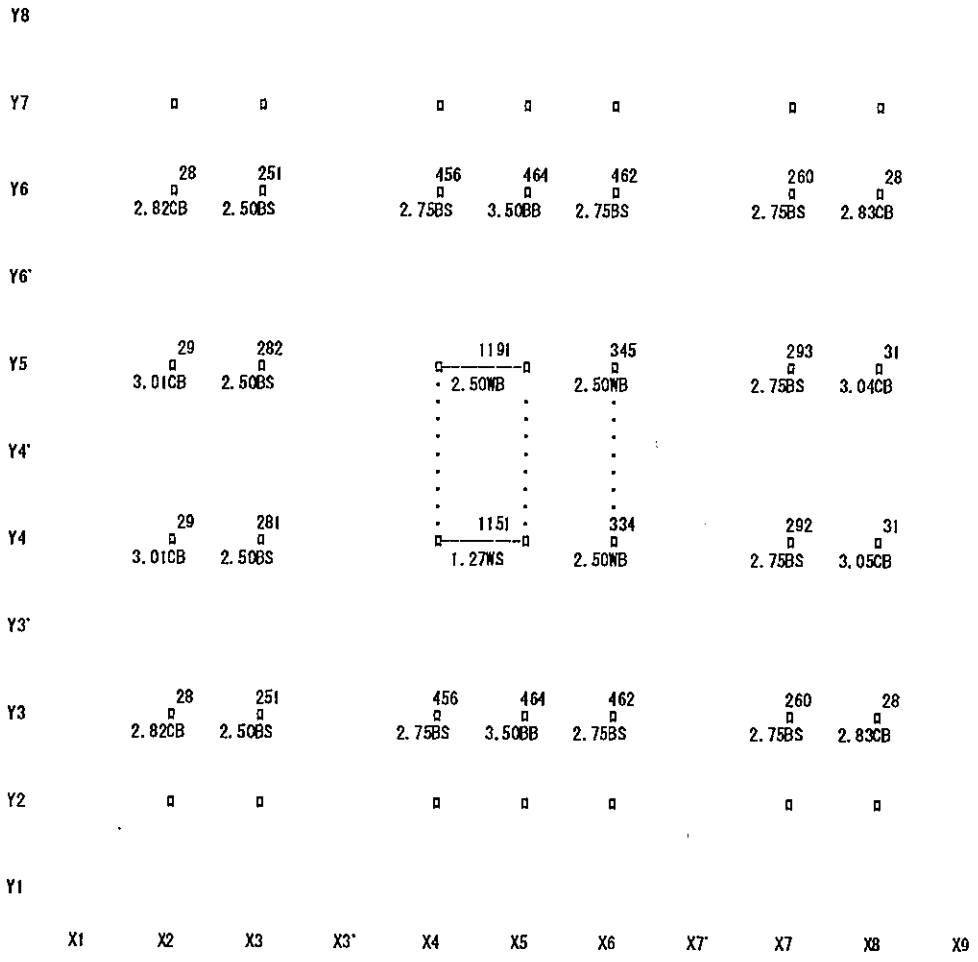
<6　階>　ＳＲＣ


Y8
Y7
Y6
69
2.50BS
131
2.75BS
122
3.50BB
132
2.75BS
74
2.75BS
Y6'
Y5
82
2.00BS
1096
2.50WB
83
2.00BS
Y4'
Y4
81
2.00BS
773
1.27WS
83
2.00BS
Y3'
Y3
69
2.50BS
131
2.75BS
122
3.50BB
132
2.75BS
74
2.75BS
Y2
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

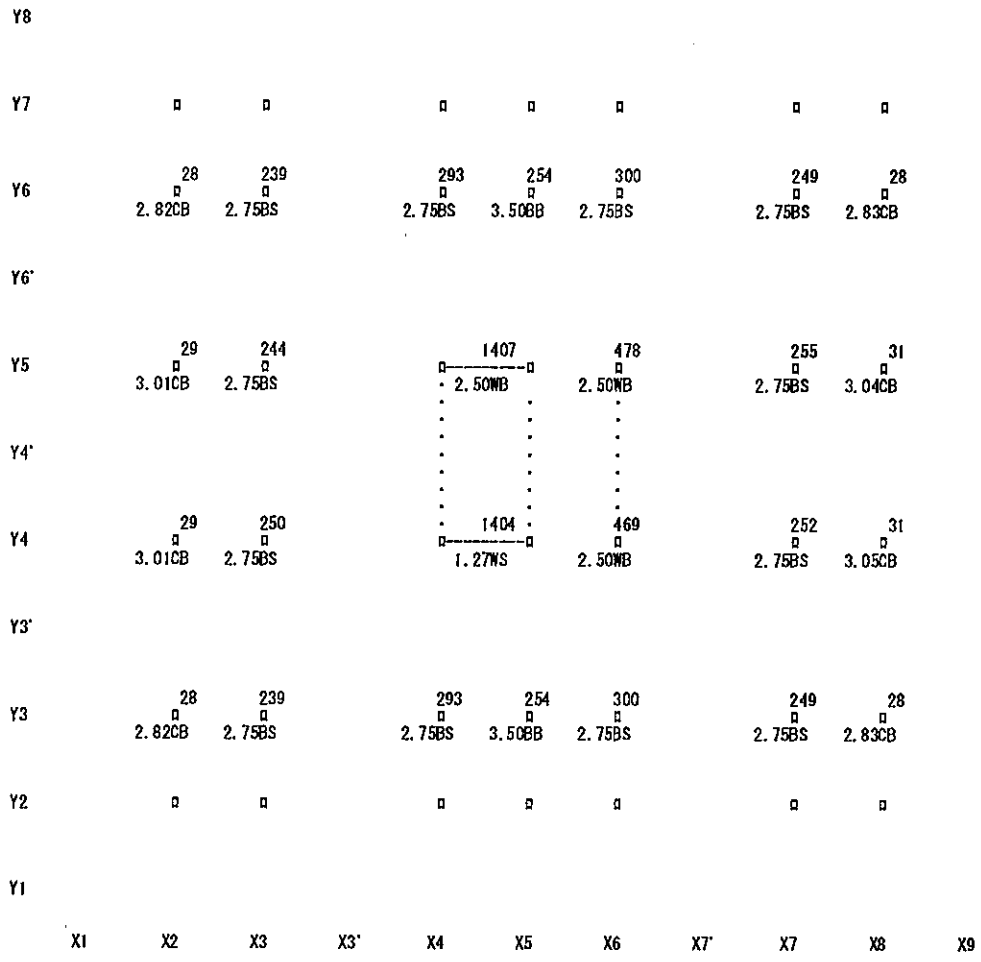
<5　階>　ＳＲＣ


Y8
Y7
Y6
69
2.50BS
131
2.75BS
122
3.50BB
132
2.75BS
74
2.75BS
Y6'
Y5
82
2.00BS
1015
2.50WB
515
2.50WB
83
2.00BS
Y4'
Y4
81
2.00BS
938
1.27WS
474
2.50WB
83
2.00BS
Y3'
Y3
69
2.50BS
131
2.75BS
122
3.50BB
132
2.75BS
74
2.75BS
Y2
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

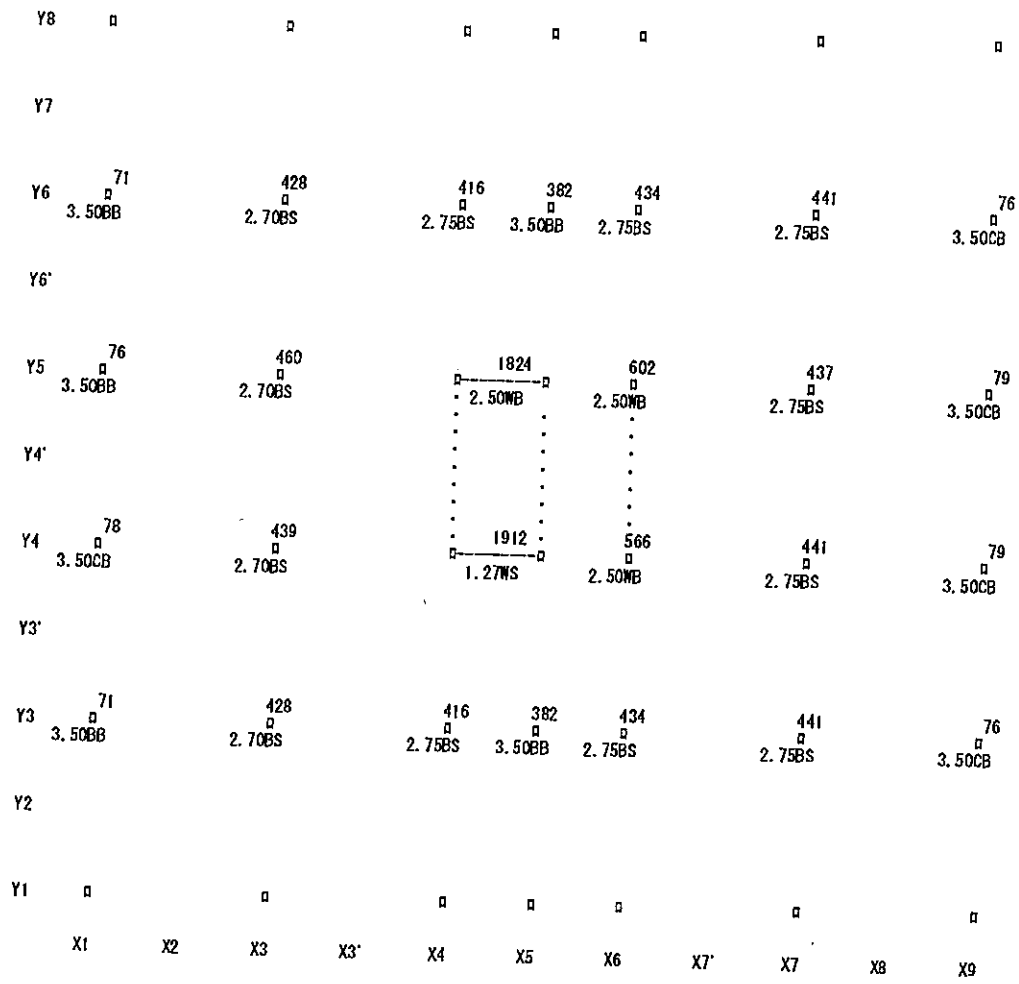
<4　階> ＳＲＣ


Y8
Y7
Y6
28
251
456
464
462
260
28
2.82CB
2.50BS
2.75BS
3.50BB
2.75BS
2.75BS
2.83CB
Y6'
Y5
29
282
1191
345
293
31
3.01CB
2.50BS
2.50WB
2.50WB
2.75BS
3.04CB
Y4'
Y4
29
281
1151
334
292
31
3.01CB
2.50BS
1.27WS
2.50WB
2.75BS
3.05CB
Y3'
Y3
28
251
456
464
462
260
28
2.82CB
2.50BS
2.75BS
3.50BB
2.75BS
2.75BS
2.83CB
Y2
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

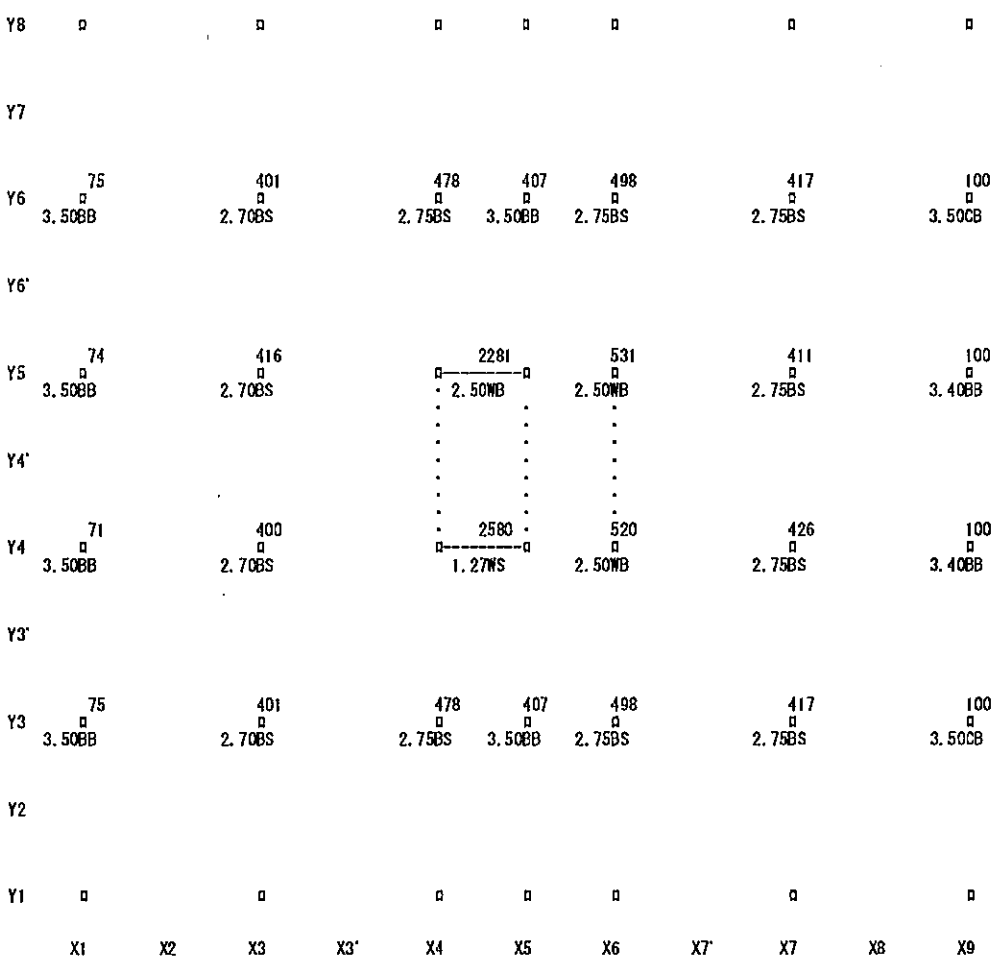
〈3　階〉　ＳＲＣ


Y8
Y7
Y6
28
239
293
254
300
249
28
2.82CB
2.75BS
2.75BS
3.50BB
2.75BS
2.75BS
2.83CB
Y6'
Y5
29
244
1407
478
255
31
3.01CB
2.75BS
2.50WB
2.50WB
2.75BS
3.04CB
Y4'
Y4
29
250
1404
469
252
31
3.01CB
2.75BS
1.27WS
2.50WB
2.75BS
3.05CB
Y3'
Y3
28
239
293
254
300
249
28
2.82CB
2.75BS
2.75BS
3.50BB
2.75BS
2.75BS
2.83CB
Y2
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

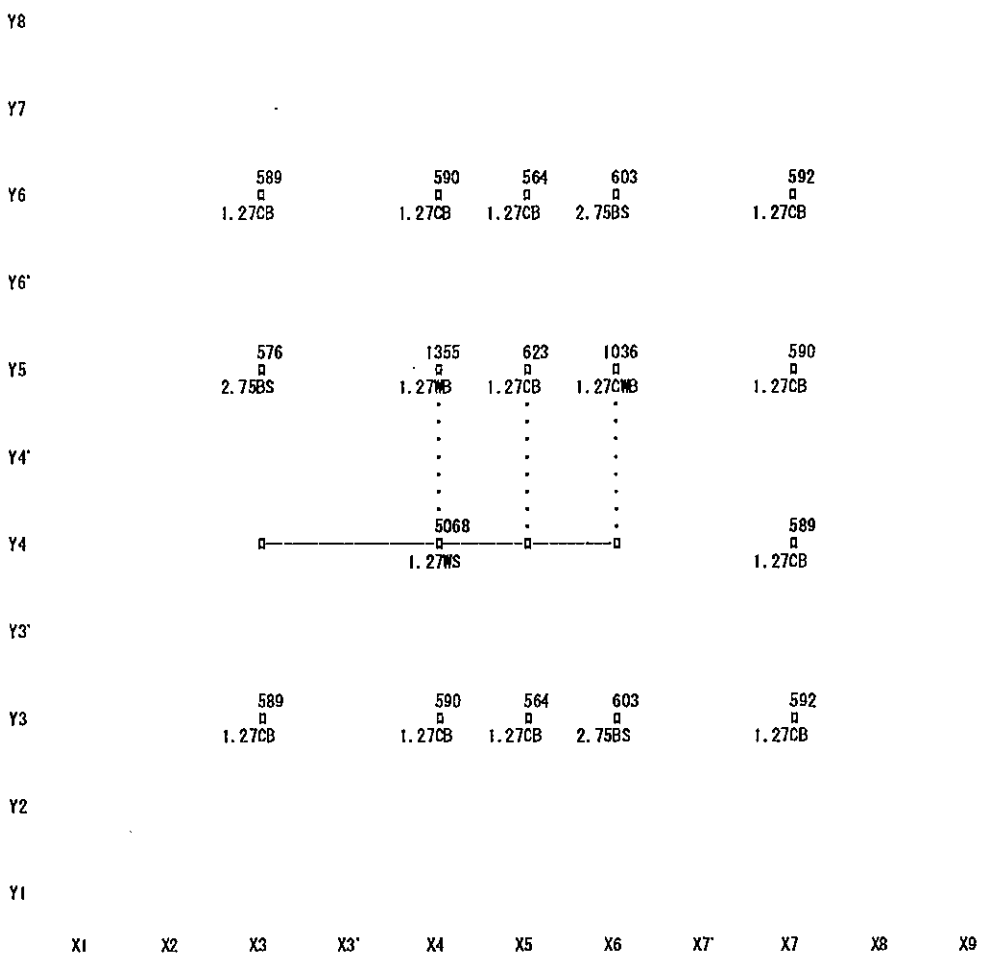
<2　階>　ＳＲＣ


Y8
Y7
Y6
71
3.50BB
428
2.70BS
416
2.75BS
382
3.50BB
434
2.75BS
441
2.75BS
76
3.50CB
Y6'
Y5
76
3.50BB
460
2.70BS
1824
2.50WB
602
2.50WB
437
2.75BS
79
3.50CB
Y4'
Y4
78
3.50CB
439
2.70BS
1912
1.27WS
566
2.50WB
441
2.75BS
79
3.50CB
Y3'
Y3
71
3.50BB
428
2.70BS
416
2.75BS
382
3.50BB
434
2.75BS
441
2.75BS
76
3.50CB
Y2
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

<I 階> ＳＲＣ


Y8
Y7
Y6
75
3.50BB
401
2.70BS
478
2.75BS
407
3.50BB
498
2.75BS
417
2.75BS
100
3.50CB
Y6'
Y5
74
3.50BB
416
2.70BS
2281
2.50WB
531
2.50WB
411
2.75BS
100
3.40BB
Y4'
Y4
71
3.50BB
400
2.70BS
2580
1.27WS
520
2.50WB
426
2.75BS
100
3.40BB
Y3'
Y3
75
3.50BB
401
2.70BS
478
2.75BS
407
3.50BB
498
2.75BS
417
2.75BS
100
3.50CB
Y2
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

<B1 階> ＳＲＣ

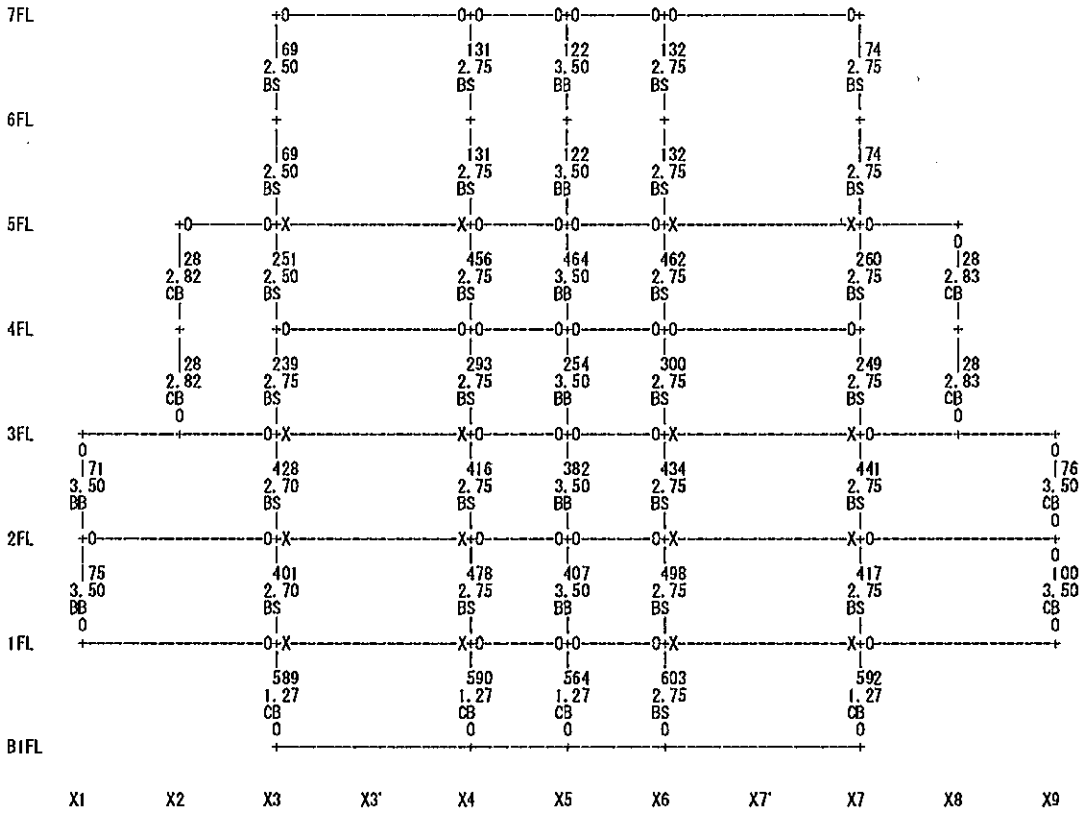

Y8
Y7
Y6
589
1.27CB
590
1.27CB
564
1.27CB
603
2.75BS
592
1.27CB
Y6'
Y5
576
2.75BS
1355
1.27WB
623
1.27CB
1036
1.27CWB
590
1.27CB
Y4'
Y4
5068
1.27WS
589
1.27CB
Y3'
Y3
589
1.27CB
590
1.27CB
564
1.27CB
603
2.75BS
592
1.27CB
Y2
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

【鉛直部材の諸元：〈軸組〉】　Ｘ方向　正加力時　３次診断

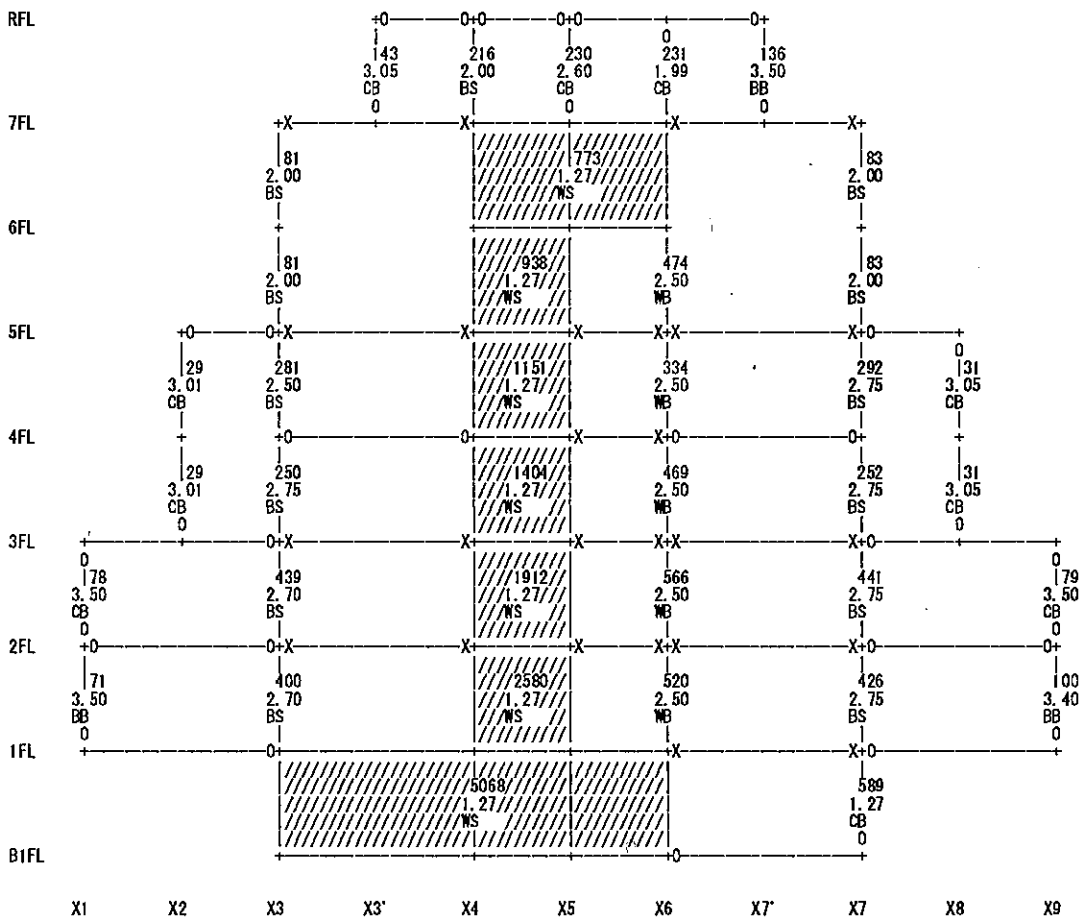
////：壁あり
上段：保有せん断力　中段：Ｆ指標　下段：破壊形式

破壊形式（せん断柱、極脆性柱で第２種構造要素の場合は後に'*'を表示）
CB：曲げ柱　CS：せん断柱　CSS：(極)脆性柱
BB：曲げ梁支配型柱　BS：せん断梁支配型柱　CT：柱脚部支配型柱
CWB：曲げそで壁付柱　CWS：せん断そで壁付柱　CWSS：(極)脆性そで壁付柱
WB：曲げ壁　WS：せん断壁　WR：回転壁　WT：柱脚部支配型壁（極):RC部材

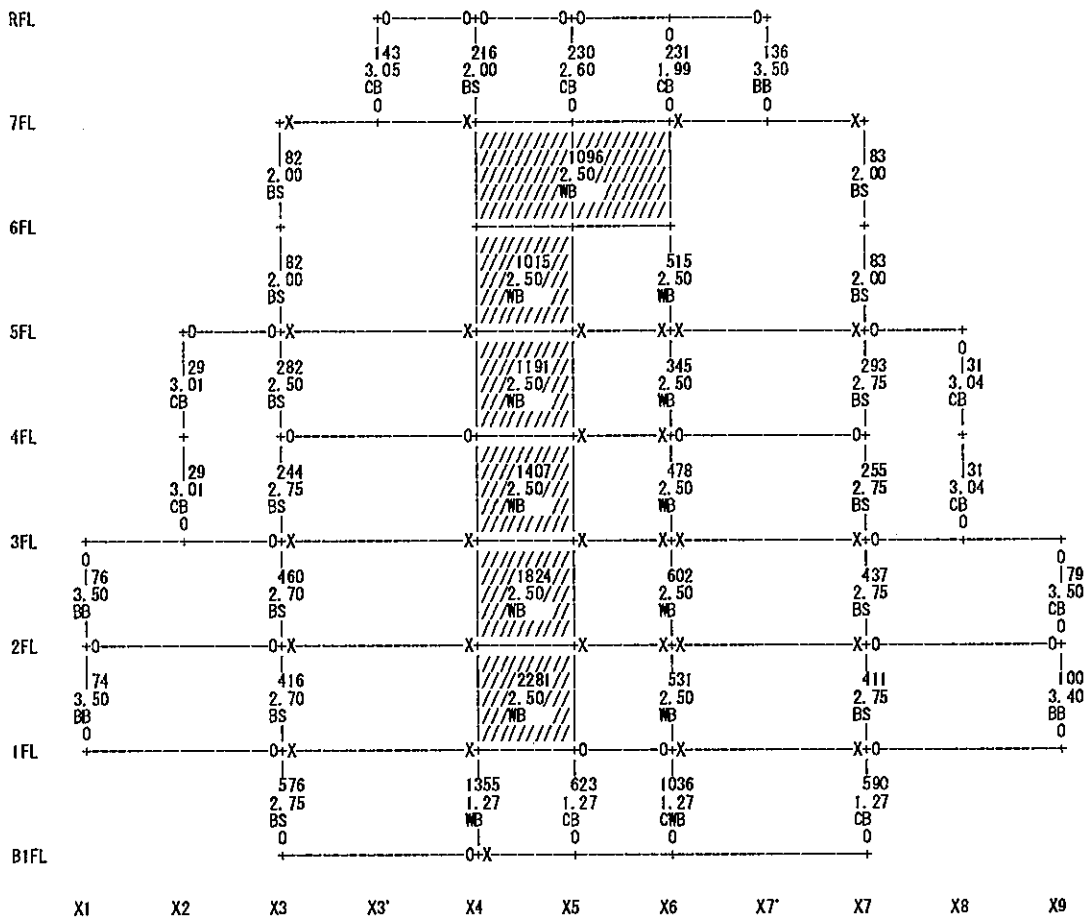
〈Y3 ﾌﾚｰﾑ〉



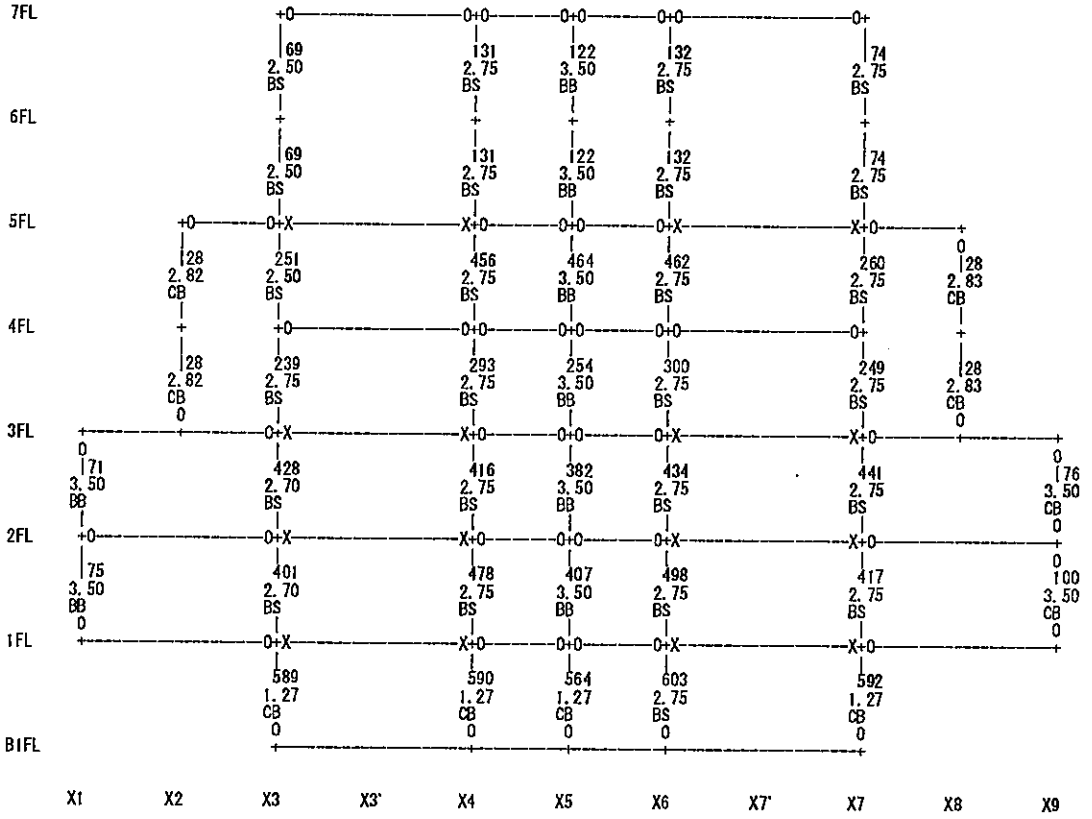
<Y4 フレーム>


RFL
7FL
6FL
5FL
4FL
3FL
2FL
1FL
B1FL
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9
143 3.05 CB 0
216 2.00 BS 0
230 2.60 CB 0
0 231 1.99 CB
136 3.50 BB 0
81 2.00 BS
773 1.27 WS
83 2.00 BS
81 2.00 BS
938 1.27 WS
474 2.50 WB
83 2.00 BS
29 3.01 CB
281 2.50 BS
1151 1.27 WS
334 2.50 WB
292 2.75 BS
0 31 3.05 CB
29 3.01 CB 0
250 2.75 BS
1404 1.27 WS
469 2.50 WB
252 2.75 BS
31 3.05 CB 0
0 78 3.50 CB 0
439 2.70 BS
1912 1.27 WS
566 2.50 WB
441 2.75 BS
0 79 3.50 CB 0
0 71 3.50 BB 0
400 2.70 BS
2580 1.27 WS
520 2.50 WB
426 2.75 BS
100 3.40 BB 0
5068 1.27 WS
589 1.27 CB 0

<Y5 フレーム>


RFL
7FL
6FL
5FL
4FL
3FL
2FL
1FL
B1FL
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9
143 3.05 CB 0
216 2.00 BS
230 2.60 CB 0
0
231 1.99 CB 0
136 3.50 BB 0
82 2.00 BS
1096 2.50 WB
83 2.00 BS
82 2.00 BS
1015 2.50 WB
515 2.50 WB
83 2.00 BS
29 3.01 CB
282 2.50 BS
1191 2.50 WB
345 2.50 WB
293 2.75 BS
0
31 3.04 CB
29 3.01 CB 0
244 2.75 BS
1407 2.50 WB
478 2.50 WB
255 2.75 BS
31 3.04 CB 0
0
76 3.50 BB
460 2.70 BS
1824 2.50 WB
602 2.50 WB
437 2.75 BS
0
79 3.50 CB 0
74 3.50 BB 0
416 2.70 BS
2281 2.50 WB
531 2.50 WB
411 2.75 BS
0
100 3.40 BB 0
576 2.75 BS 0
1355 1.27 WB
623 1.27 CB 0
1036 1.27 CWB 0
590 1.27 CB 0

<Y6 フレーム>


RFL
7FL
6FL
5FL
4FL
3FL
2FL
1FL
B1FL
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

【鉛直部材の諸元：〈伏図〉】　Ｘ方向　負加力時　３次診断

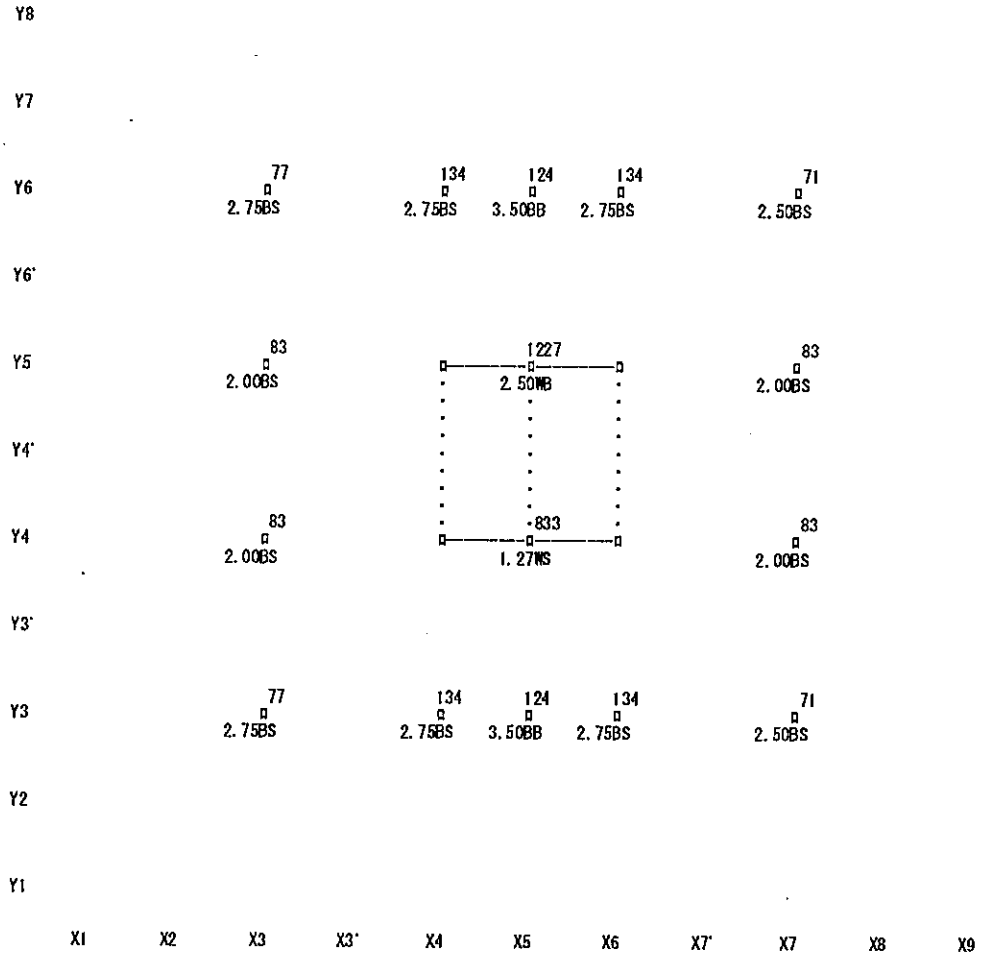
——：Ｘ方向の壁　　‥‥：Ｙ方向の壁
上段：保有せん断力　下段：Ｆ指標,破壊形式
鉛直部材の分類　Ｓ：せん断柱　Ｘ：(極)脆性柱　□：その他

破壊形式（せん断柱、極脆性柱で第２種構造要素の場合は後に'＊'を表示）
CB：曲げ柱　CS：せん断柱　CSS：(極)脆性柱
BB：曲げ梁支配型柱　BS：せん断梁支配型柱　CT：柱脚部支配型柱
CWB：曲げそで壁付柱　CWS：せん断そで壁付柱　CWSS：(極)脆性そで壁付柱
WB：曲げ壁　WS：せん断壁　WR：回転壁　WT：柱脚部支配型壁（極):RC部材

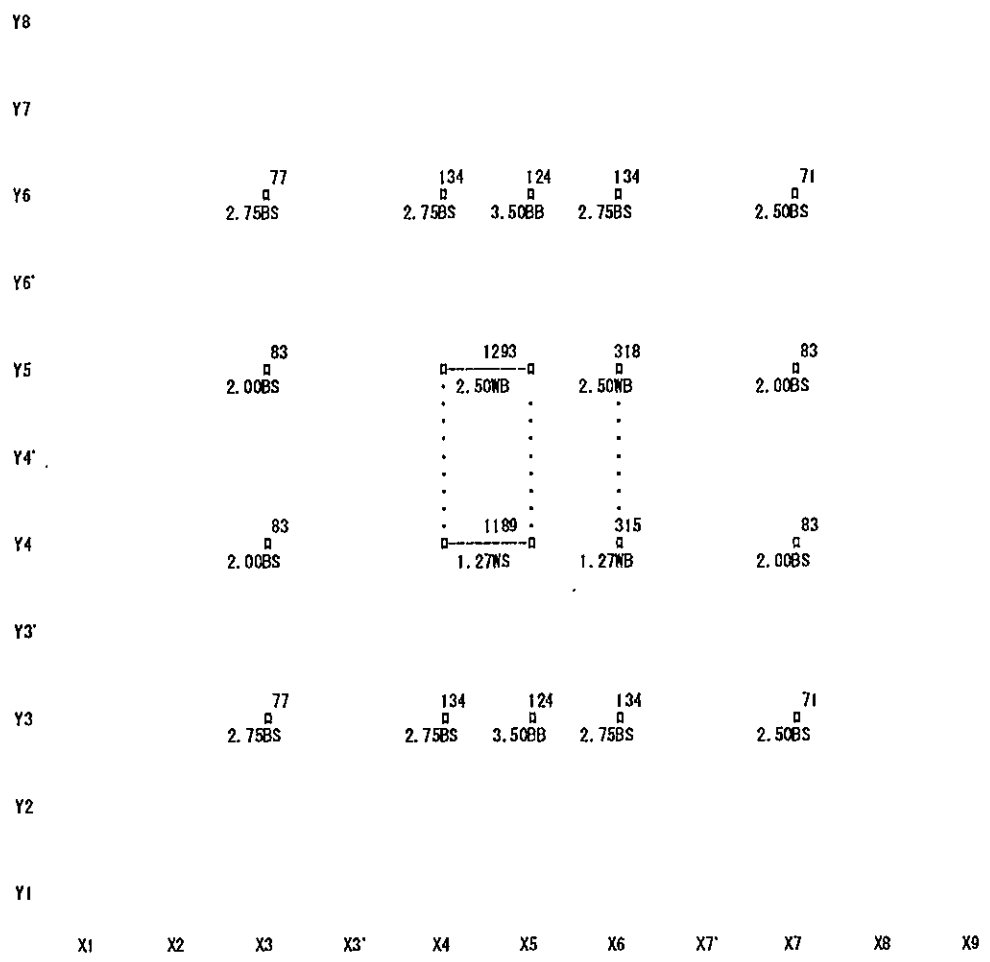
〈7　階〉　ＳＲＣ

	X1	X2	X3	X3'	X4	X5	X6	X7'	X7	X8	X9
Y8											
Y7											
Y6											
Y6'				□	□	□	□	□			
Y5				136 □ 3.50BB	220 □ 2.00BS	230 □ 2.60CB	216 □ 2.00BS	143 □ 3.01CB			
Y4'											
Y4				136 □ 3.50BB	220 □ 2.00BS	230 □ 2.60CB	216 □ 2.00BS	143 □ 3.01CB			
Y3'				□	□	□	□	□			
Y3											
Y2											
Y1											

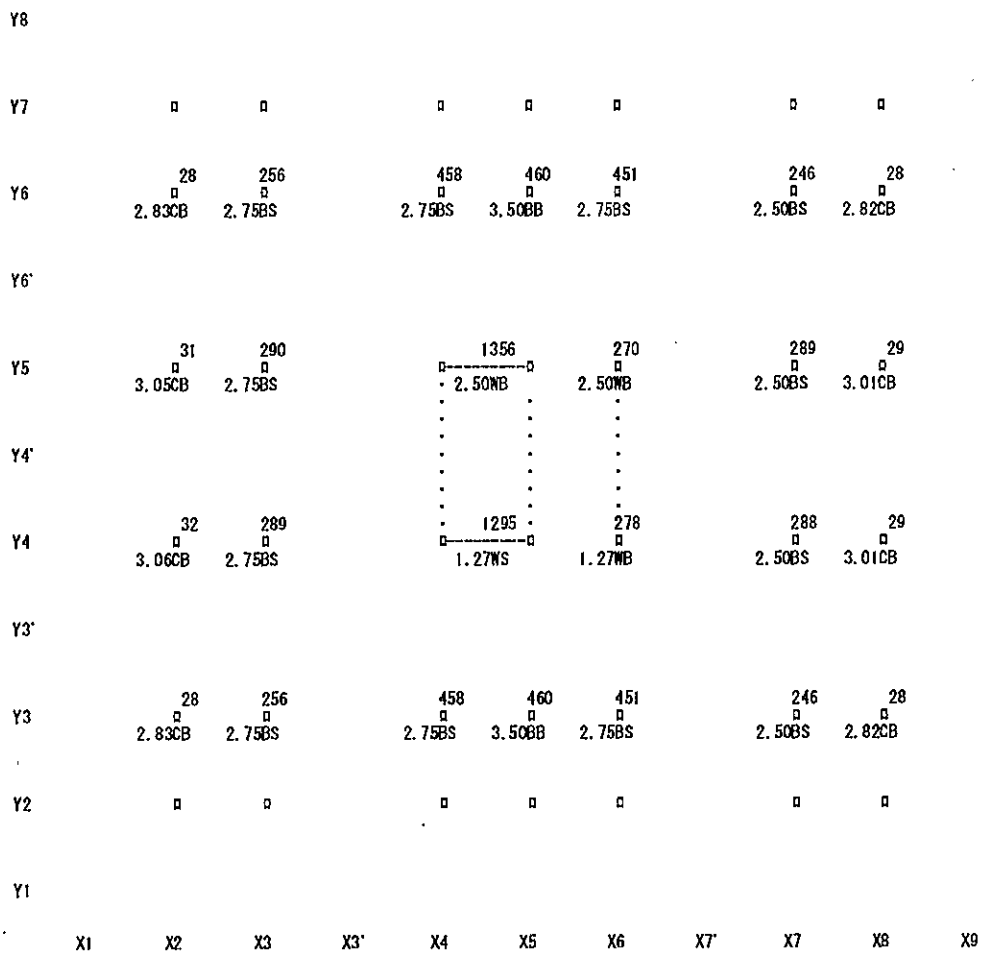
<6　階>　ＳＲＣ


Y8
Y7
Y6
77
2.75BS
134
2.75BS
124
3.50BB
134
2.75BS
71
2.50BS
Y6'
Y5
83
2.00BS
1227
2.50WB
83
2.00BS
Y4'
Y4
83
2.00BS
833
1.27WS
83
2.00BS
Y3'
Y3
77
2.75BS
134
2.75BS
124
3.50BB
134
2.75BS
71
2.50BS
Y2
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

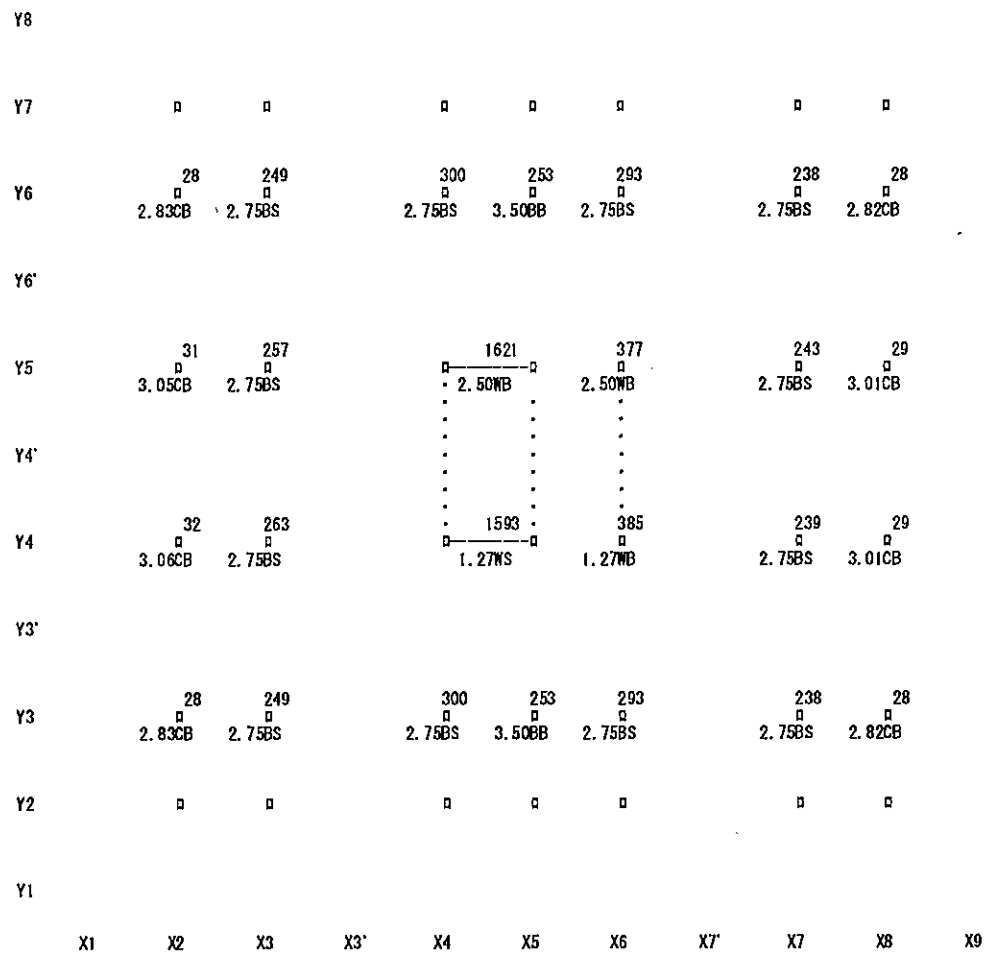
<5　階> ＳＲＣ


Y8
Y7
Y6
77
2.75BS
134
2.75BS
124
3.50BB
134
2.75BS
71
2.50BS
Y6'
Y5
83
2.00BS
1293
2.50WB
318
2.50WB
83
2.00BS
Y4'
Y4
83
2.00BS
1189
1.27WS
315
1.27WB
83
2.00BS
Y3'
Y3
77
2.75BS
134
2.75BS
124
3.50BB
134
2.75BS
71
2.50BS
Y2
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

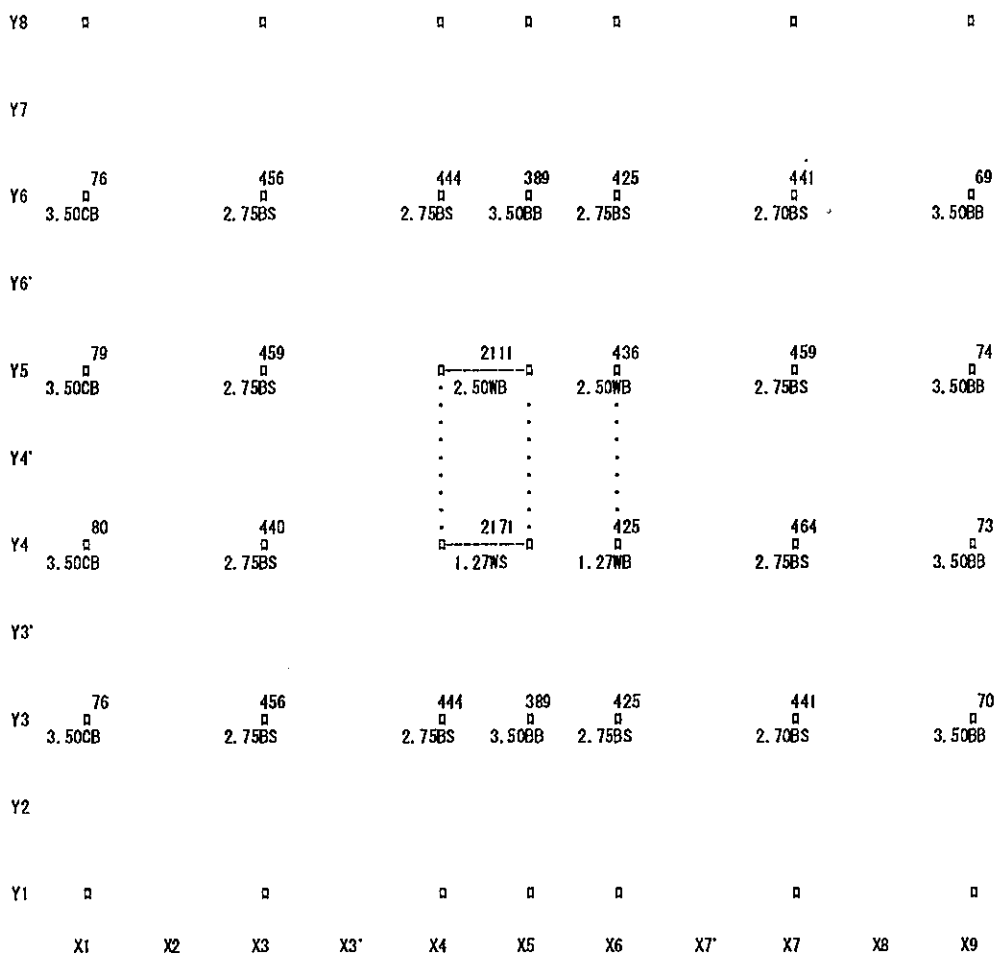
〈4　階〉 ＳＲＣ


Y8
Y7
Y6
28
256
458
460
451
246
28
2.83CB
2.75BS
2.75BS
3.50BB
2.75BS
2.50BS
2.82CB
Y6'
Y5
31
290
1356
270
289
29
3.05CB
2.75BS
2.50NB
2.50NB
2.50BS
3.01CB
Y4'
Y4
32
289
1295
278
288
29
3.06CB
2.75BS
1.27NS
1.27NB
2.50BS
3.01CB
Y3'
Y3
28
256
458
460
451
246
28
2.83CB
2.75BS
2.75BS
3.50BB
2.75BS
2.50BS
2.82CB
Y2
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

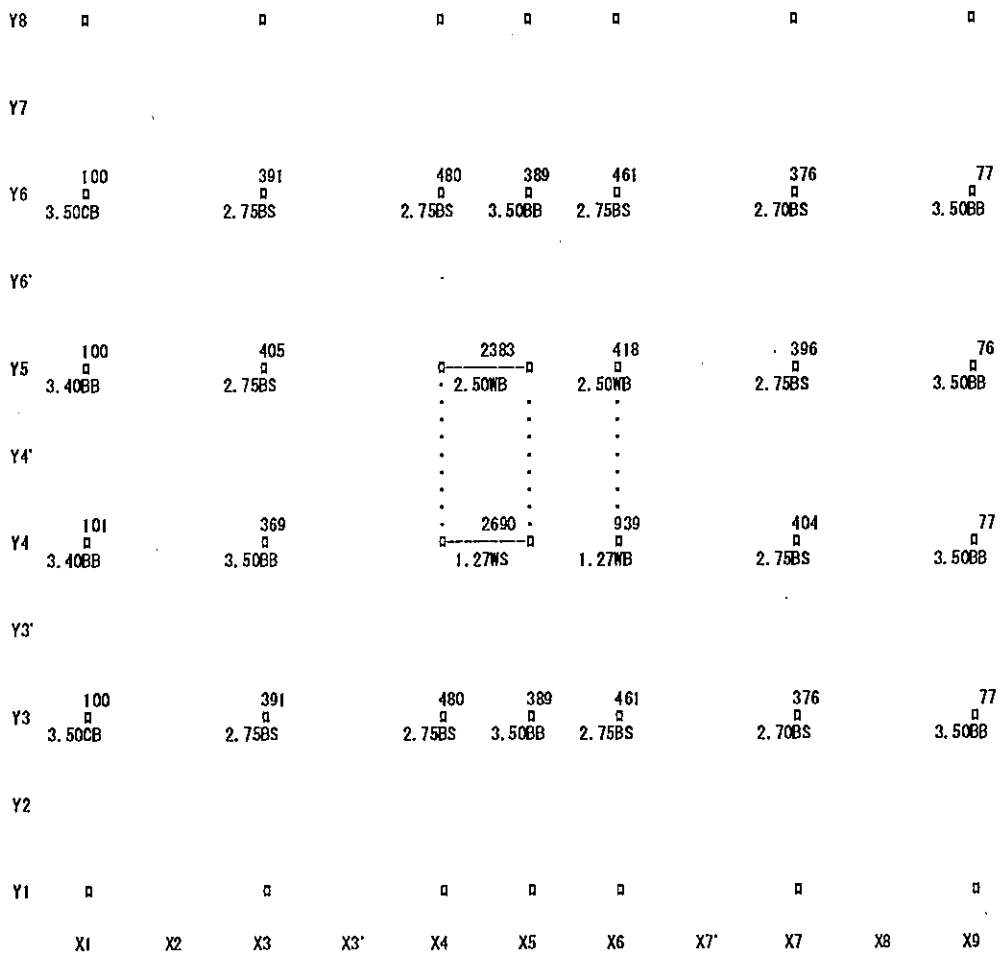
<3　階>　ＳＲＣ


Y8
Y7
Y6
28
2.83CB
249
2.75BS
300
2.75BS
253
3.50BB
293
2.75BS
238
2.75BS
28
2.82CB
Y6'
Y5
31
3.05CB
257
2.75BS
1621
2.50WB
377
2.50WB
243
2.75BS
29
3.01CB
Y4'
Y4
32
3.06CB
263
2.75BS
1593
1.27WS
385
1.27WB
239
2.75BS
29
3.01CB
Y3'
Y3
28
2.83CB
249
2.75BS
300
2.75BS
253
3.50BB
293
2.75BS
238
2.75BS
28
2.82CB
Y2
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

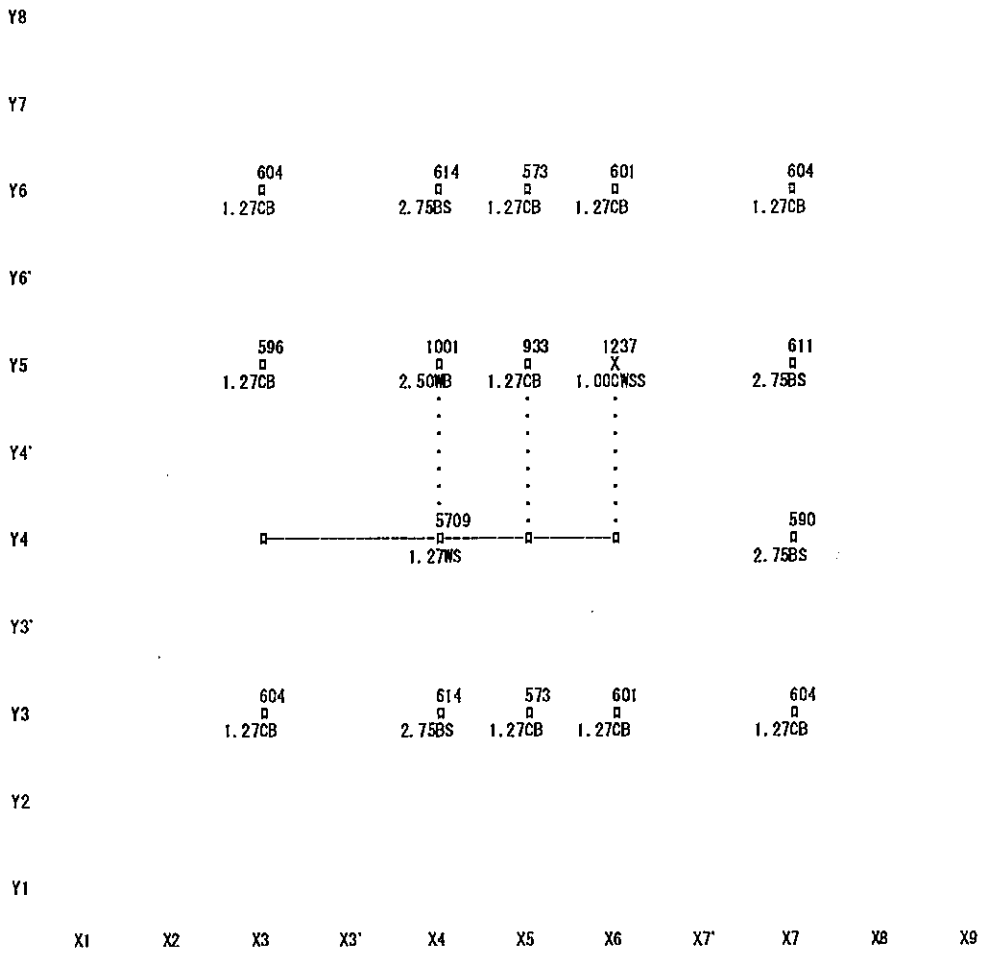
<2　階>　ＳＲＣ


Y8
Y7
Y6
76
3.50CB
456
2.75BS
444
2.75BS
389
3.50BB
425
2.75BS
441
2.70BS
69
3.50BB
Y6'
Y5
79
3.50CB
459
2.75BS
2111
2.50WB
436
2.50WB
459
2.75BS
74
3.50BB
Y4'
Y4
80
3.50CB
440
2.75BS
2171
1.27WS
425
1.27WB
464
2.75BS
73
3.50BB
Y3'
Y3
76
3.50CB
456
2.75BS
444
2.75BS
389
3.50BB
425
2.75BS
441
2.70BS
70
3.50BB
Y2
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

<1　階>　ＳＲＣ


Y8
Y7
Y6
100
3.50CB
391
2.75BS
480
2.75BS
389
3.50BB
461
2.75BS
376
2.70BS
77
3.50BB
Y6'
Y5
100
3.40BB
405
2.75BS
2383
2.50WB
418
2.50WB
396
2.75BS
76
3.50BB
Y4'
Y4
101
3.40BB
369
3.50BB
2690
1.27WS
939
1.27WB
404
2.75BS
77
3.50BB
Y3'
Y3
100
3.50CB
391
2.75BS
480
2.75BS
389
3.50BB
461
2.75BS
376
2.70BS
77
3.50BB
Y2
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

〈B1 階〉 ＳＲＣ

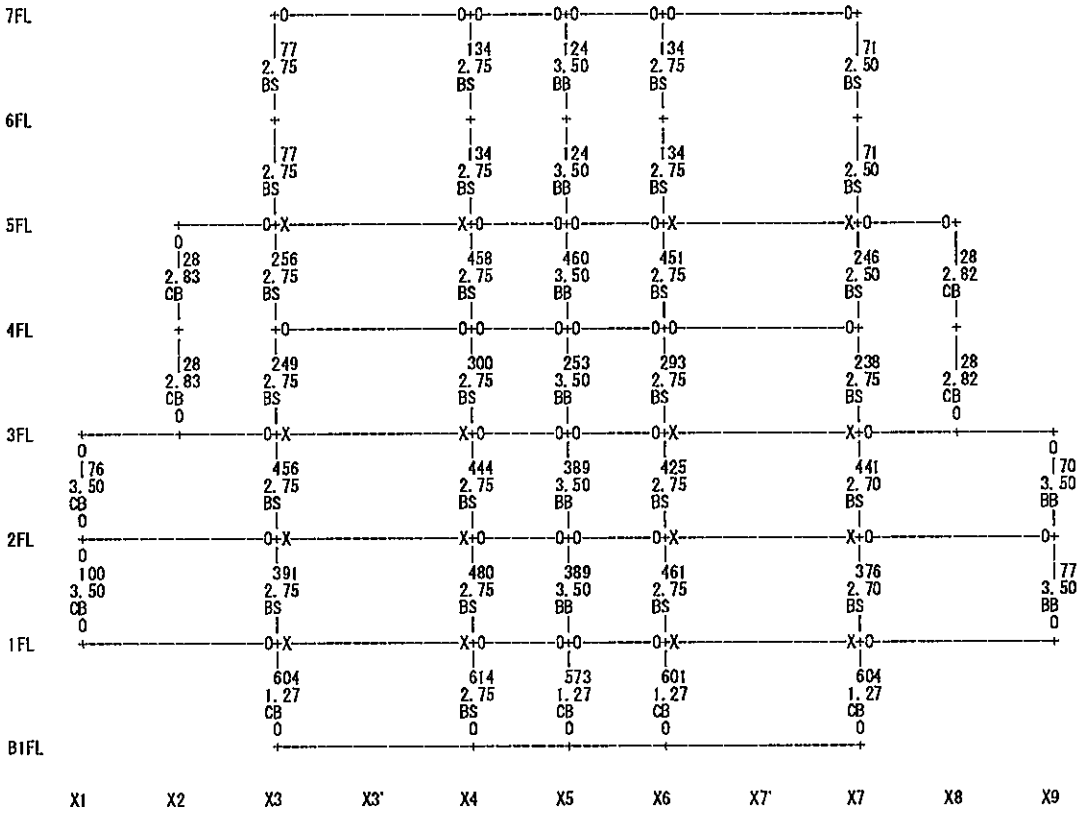

Y8
Y7
Y6
604
1.27CB
614
2.75BS
573
1.27CB
601
1.27CB
604
1.27CB
Y6'
Y5
596
1.27CB
1001
2.50MB
933
1.27CB
1237
1.00CWSS
611
2.75BS
Y4'
Y4
5709
1.27WS
590
2.75BS
Y3'
Y3
604
1.27CB
614
2.75BS
573
1.27CB
601
1.27CB
604
1.27CB
Y2
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

【鉛直部材の諸元：（軸組）】　Ｘ方向　負加力時　３次診断

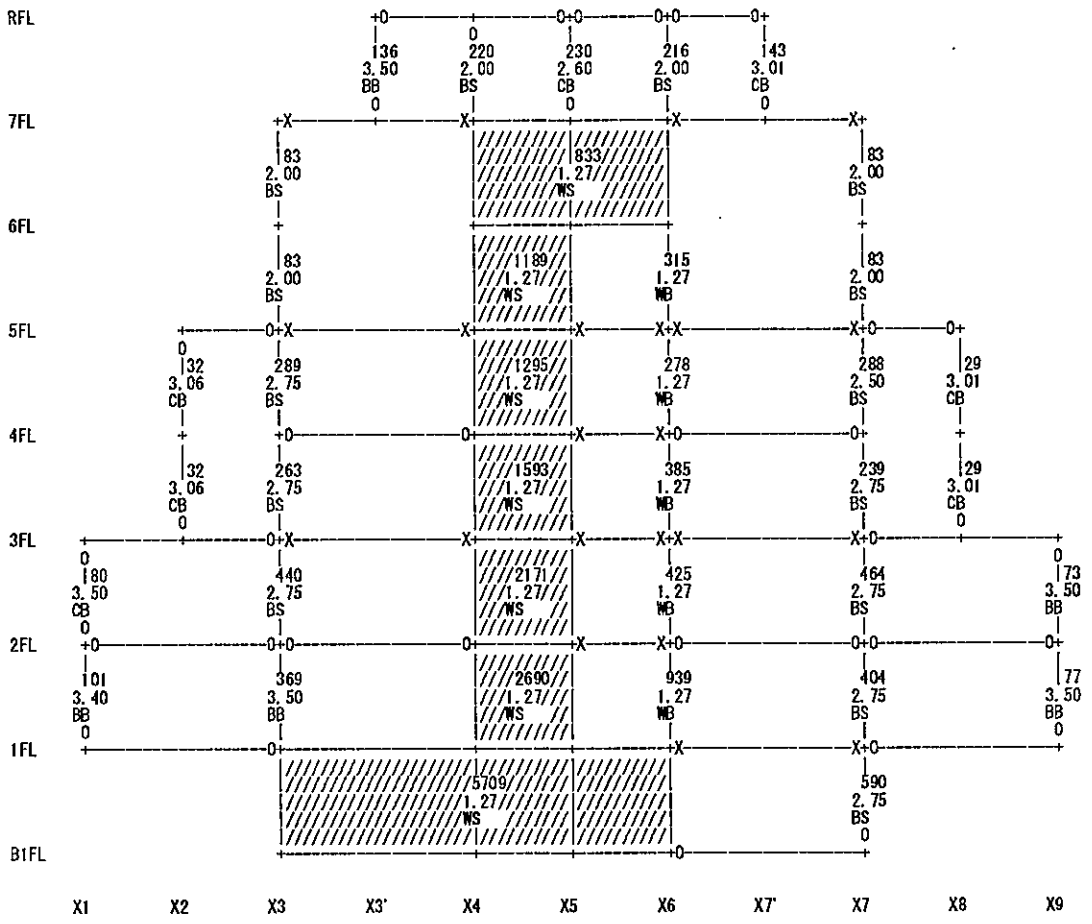
//// ：壁あり
上段：保有せん断力　中段：Ｆ指標　下段：破壊形式

破壊形式（せん断柱、極脆性柱で第２種構造要素の場合は後に'*'を表示）
CB：曲げ柱　CS：せん断柱　CSS：(極)脆性柱
BB：曲げ梁支配型柱　BS：せん断梁支配型柱　CT：柱脚部支配型柱
CWB：曲げそで壁付柱　CWS：せん断そで壁付柱　CWSS：(極)脆性そで壁付柱
WB：曲げ壁　WS：せん断壁　WR：回転壁　WT：柱脚部支配型壁　(極):RC部材

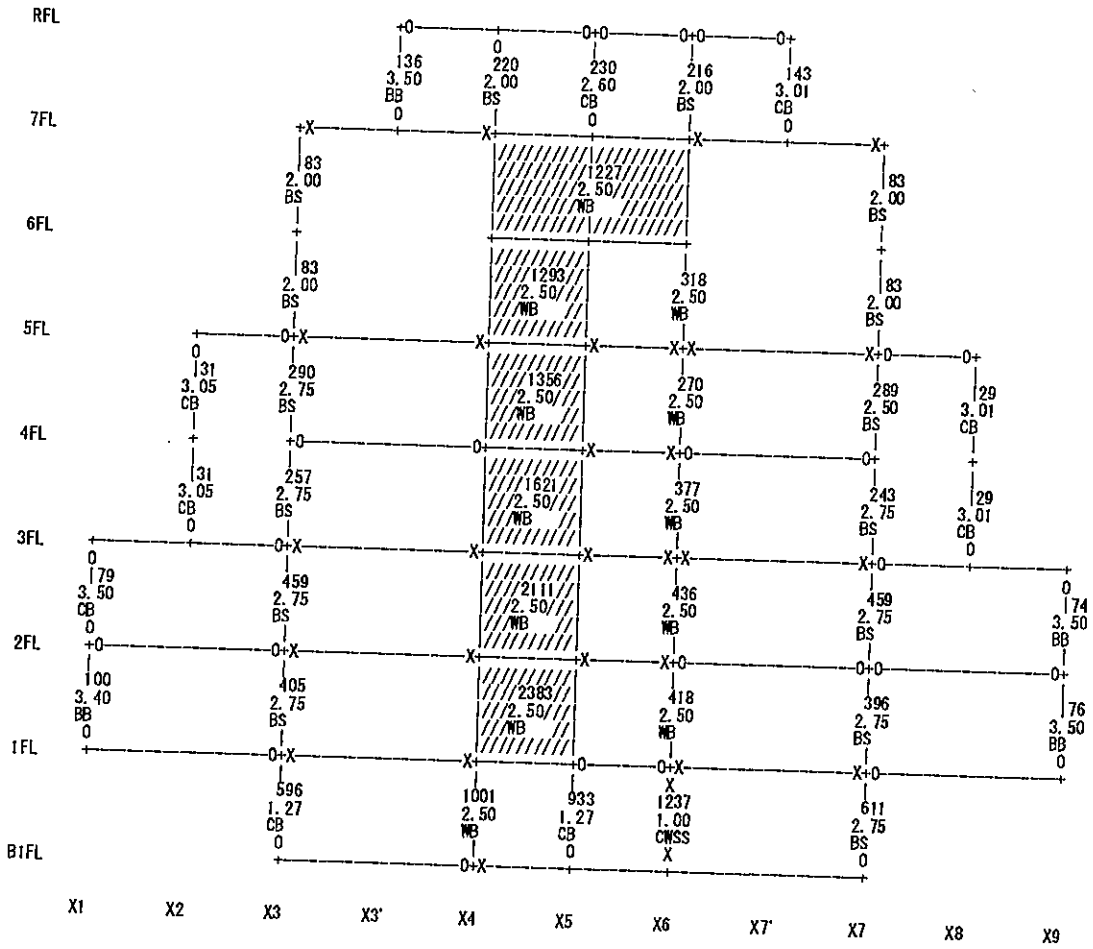
<Y3 フレーム>



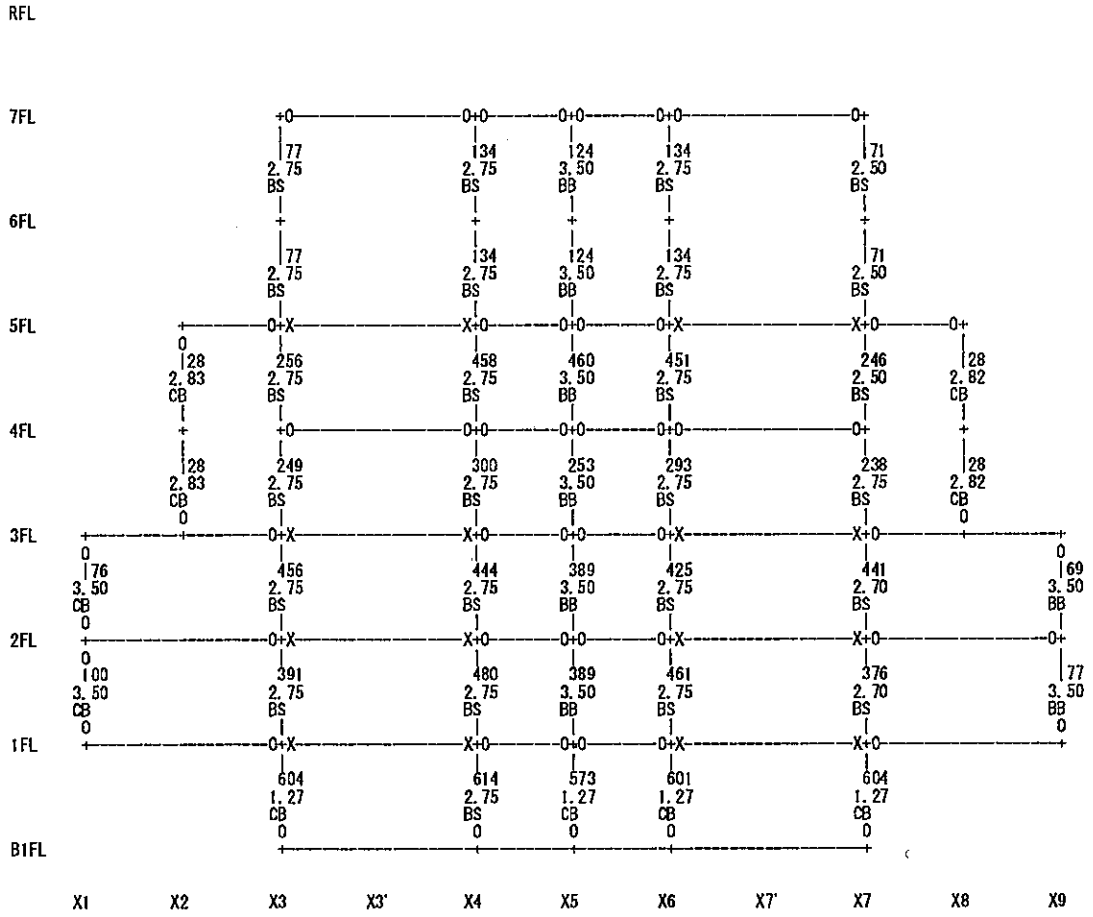
<Y4 フレーム>


RFL
7FL
6FL
5FL
4FL
3FL
2FL
1FL
B1FL
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9
136 3.50 BB 0
0 220 2.00 BS
230 2.60 CB 0
216 2.00 BS
143 3.01 CB 0
83 2.00 BS
833 1.27 WS
1189 1.27 WS
315 1.27 WB
32 3.06 CB
289 2.75 BS
1295 1.27 WS
278 1.27 WB
288 2.50 BS
29 3.01 CB
263 2.75 BS
1593 1.27 WS
385 1.27 WB
239 2.75 BS
180 3.50 CB 0
440 2.75 BS
2171 1.27 WS
425 1.27 WB
464 2.75 BS
73 3.50 BB
101 3.40 BB 0
369 3.50 BB
2690 1.27 WS
939 1.27 WB
404 2.75 BS
77 3.50 BB 0
5709 1.27 WS
590 2.75 BS 0

<Y5 フレーム>


RFL
7FL
6FL
5FL
4FL
3FL
2FL
1FL
B1FL
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9
136 3.50 BB 0
220 2.00 BS
230 2.60 CB 0
216 2.00 BS
143 3.01 CB 0
83 2.00 BS
1227 2.50 WB
1293 2.50 WB
318 2.50 WB
1356 2.50 WB
270 2.50 WB
1621 2.50 WB
377 2.50 WB
2111 2.50 WB
436 2.50 WB
2383 2.50 WB
418 2.50 WB
31 3.05 CB
290 2.75 BS
257 2.75 BS
459 2.75 BS
405 2.75 BS
596 1.27 CB 0
1001 2.50 WB
933 1.27 CB 0
1237 1.00 CWSS X
289 2.50 BS
243 2.75 BS
459 2.75 BS
396 2.75 BS
611 2.75 BS 0
29 3.01 CB
79 3.50 CB 0
100 3.40 BB 0
74 3.50 BB
76 3.50 BB 0

<Y6 フレーム>


RFL
7FL
6FL
5FL
4FL
3FL
2FL
1FL
B1FL
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

【鉛直部材の諸元：（伏図）】　Ｙ方向　正加力時　３次診断

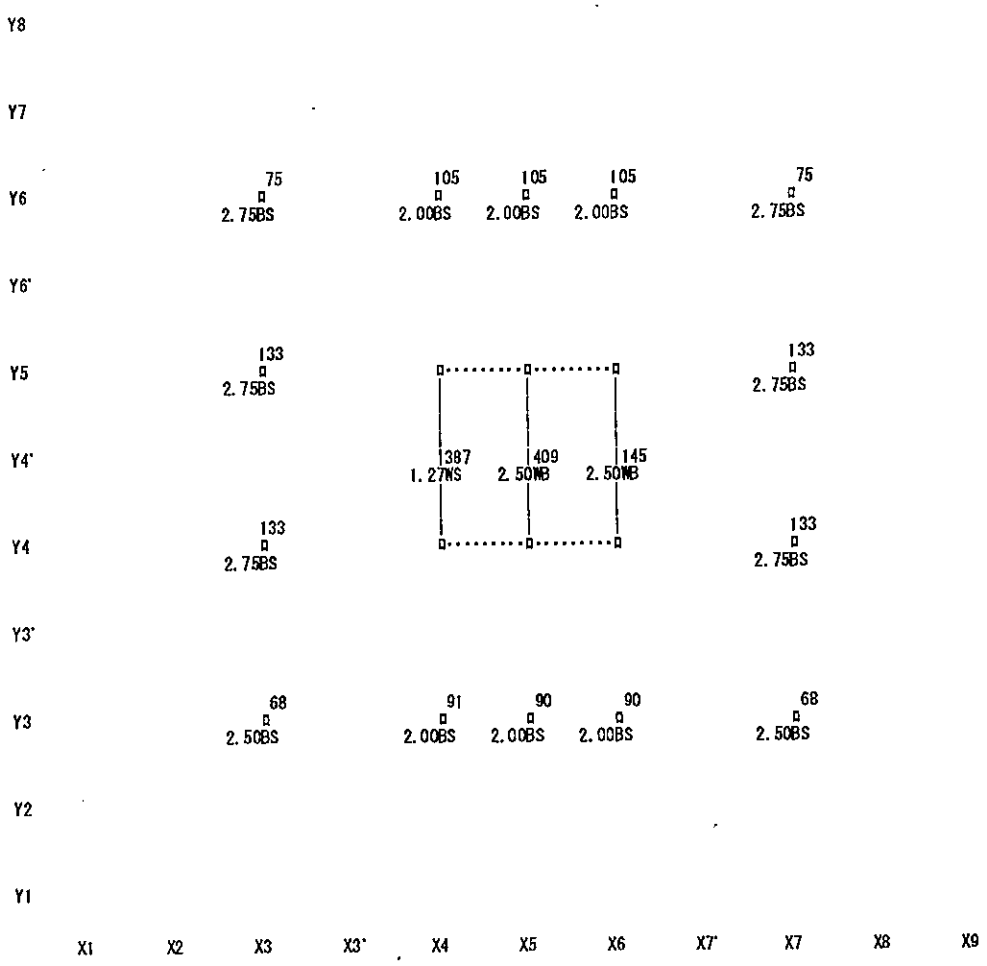
破壊形式（せん断柱、極脆性柱で第２種構造要素の場合は後に'*'を表示）
CB：曲げ柱　CS：せん断柱　CSS：(極)脆性柱
BB：曲げ梁支配型柱　BS：せん断梁支配型柱　CT：柱脚部支配型柱
CWB：曲げそで壁付柱　CWS：せん断そで壁付柱　CWSS：(極)脆性そで壁付柱
WB：曲げ壁　WS：せん断壁　WR：回転壁　WT：柱脚部支配型壁（極):RC部材

・・・・：Ｘ方向の壁　　----：Ｙ方向の壁
上段：保有せん断力　下段：Ｆ指標,破壊形式
鉛直部材の分類　S：せん断柱　X：(極)脆性柱　□：その他

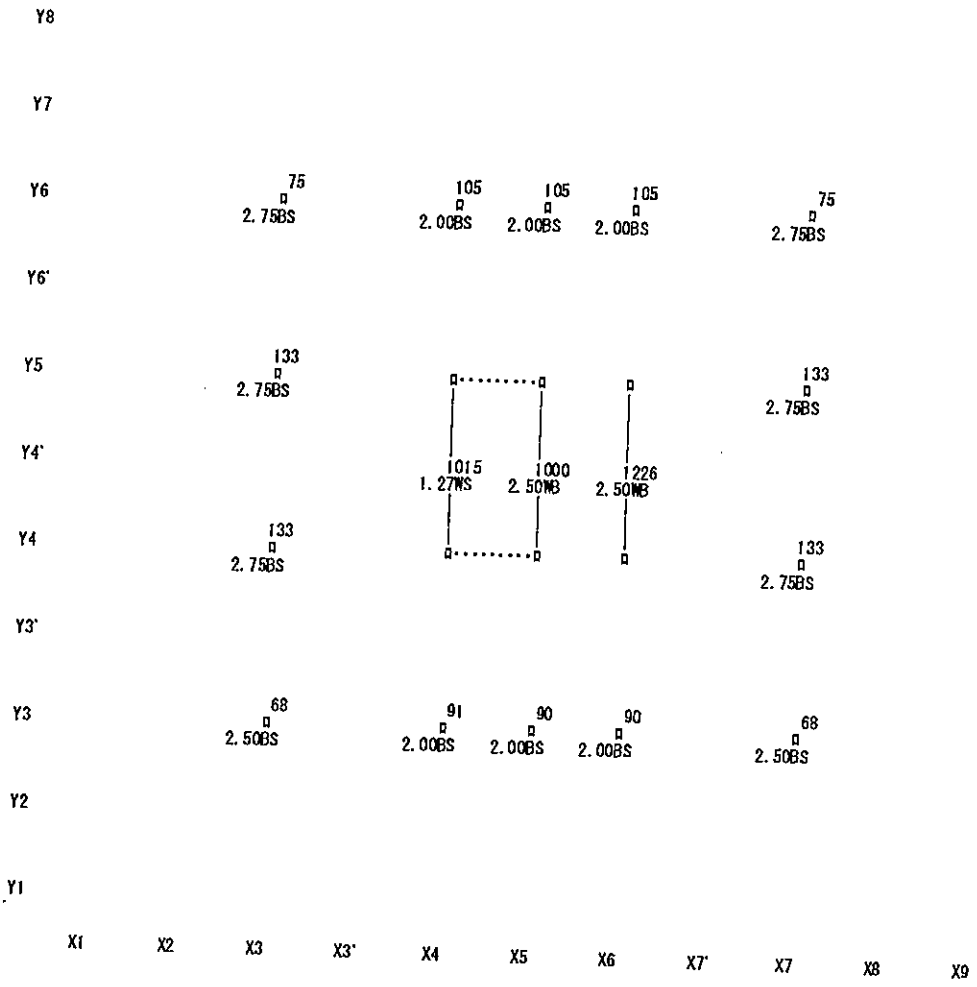
〈7　階〉　ＳＲＣ

Y8											
Y7											
Y6											
Y6'				□	135 □ 3.50BB	135 □ 3.50BB	135 □ 3.50BB	□			
Y5				□	231 □ 1.99CB	231 □ 2.49CB	231 □ 1.99CB	□			
Y4'											
Y4				□	218 □ 2.97CB	218 □ 2.95CB	218 □ 2.96CB	□			
Y3'				□	141 □ 3.50BB	141 □ 3.27CB	141 □ 3.50BB	□			
Y3											
Y2											
Y1											
	X1	X2	X3	X3'	X4	X5	X6	X7'	X7	X8	X9

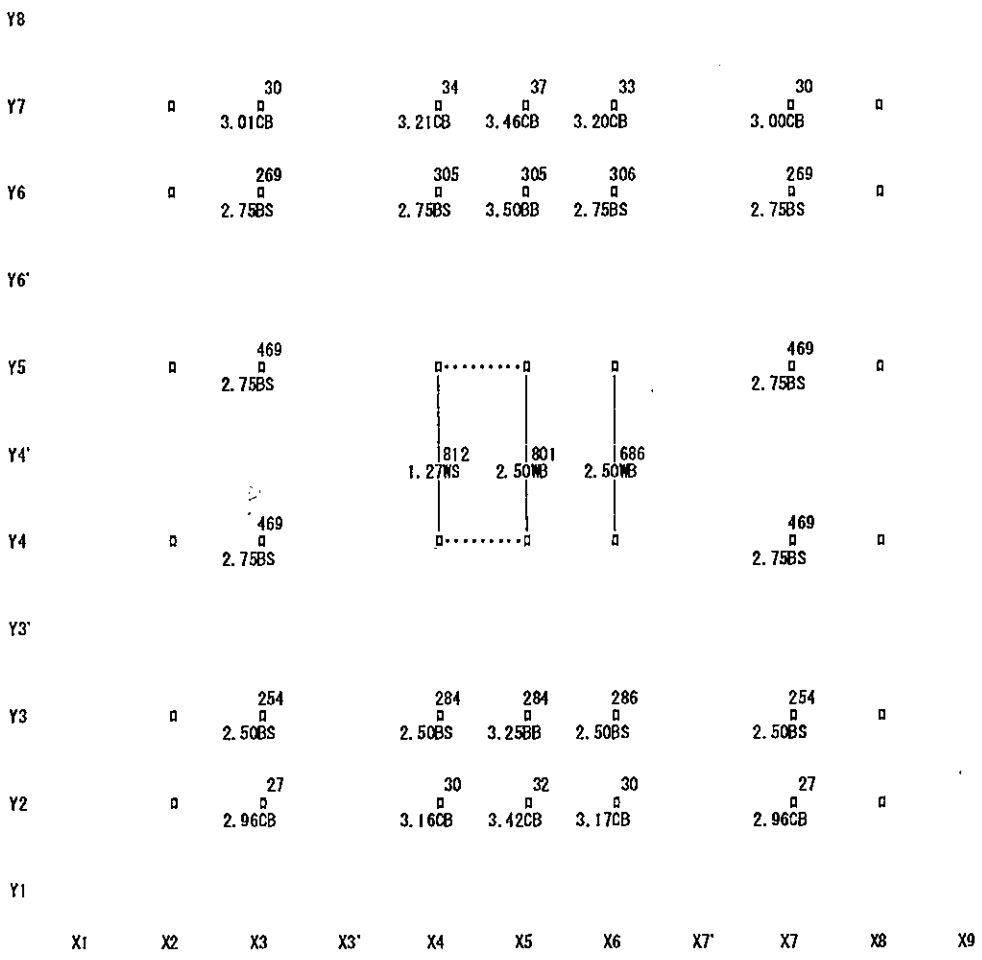
〈6　階〉　ＳＲＣ


Y8
Y7
Y6
75
2.75BS
105
2.00BS
105
2.00BS
105
2.00BS
75
2.75BS
Y6'
Y5
133
2.75BS
133
2.75BS
Y4'
387
1.27WS
409
2.50WB
145
2.50WB
Y4
133
2.75BS
133
2.75BS
Y3'
Y3
68
2.50BS
91
2.00BS
90
2.00BS
90
2.00BS
68
2.50BS
Y2
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

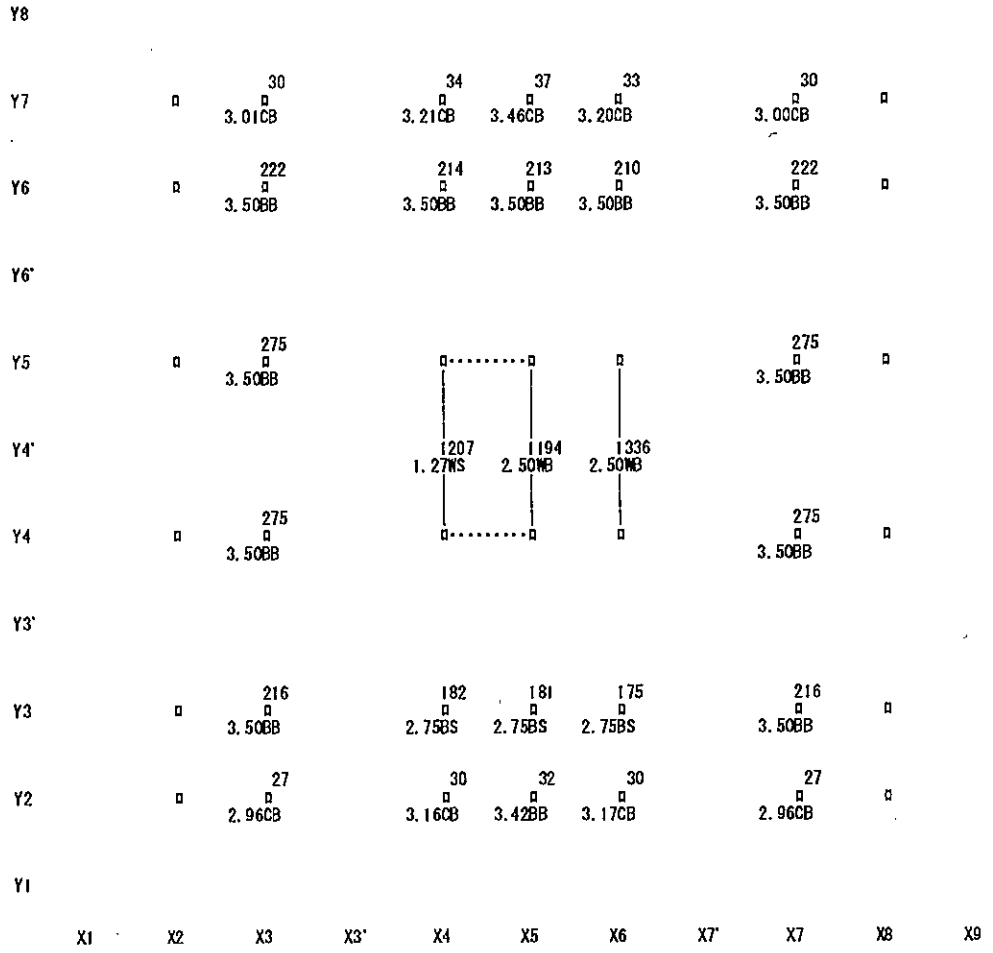
<5　階>　ＳＲＣ


Y8
Y7
Y6
Y6'
Y5
Y4'
Y4
Y3'
Y3
Y2
Y1
75
2.75BS
105
2.00BS
105
2.00BS
105
2.00BS
75
2.75BS
133
2.75BS
1015
1.27WS
1000
2.50WB
1226
2.50WB
133
2.75BS
133
2.75BS
133
2.75BS
68
2.50BS
91
2.00BS
90
2.00BS
90
2.00BS
68
2.50BS
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

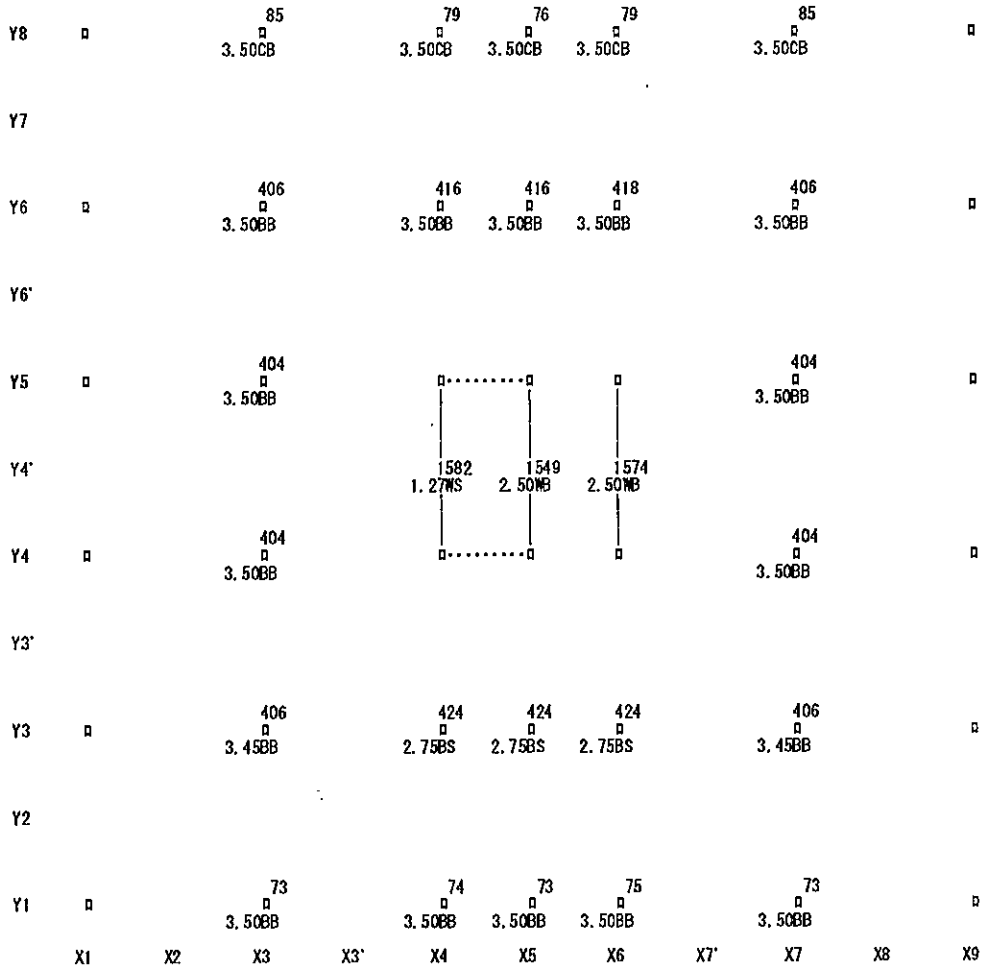
〈4　階〉　ＳＲＣ


Y8
Y7
30
3.01CB
34
3.21CB
37
3.46CB
33
3.20CB
30
3.00CB
Y6
269
2.75BS
305
2.75BS
305
3.50BB
306
2.75BS
269
2.75BS
Y6'
Y5
469
2.75BS
469
2.75BS
Y4'
812
1.27NS
801
2.50NB
686
2.50NB
Y4
469
2.75BS
469
2.75BS
Y3'
Y3
254
2.50BS
284
2.50BS
284
3.25BB
286
2.50BS
254
2.50BS
Y2
27
2.96CB
30
3.16CB
32
3.42CB
30
3.17CB
27
2.96CB
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

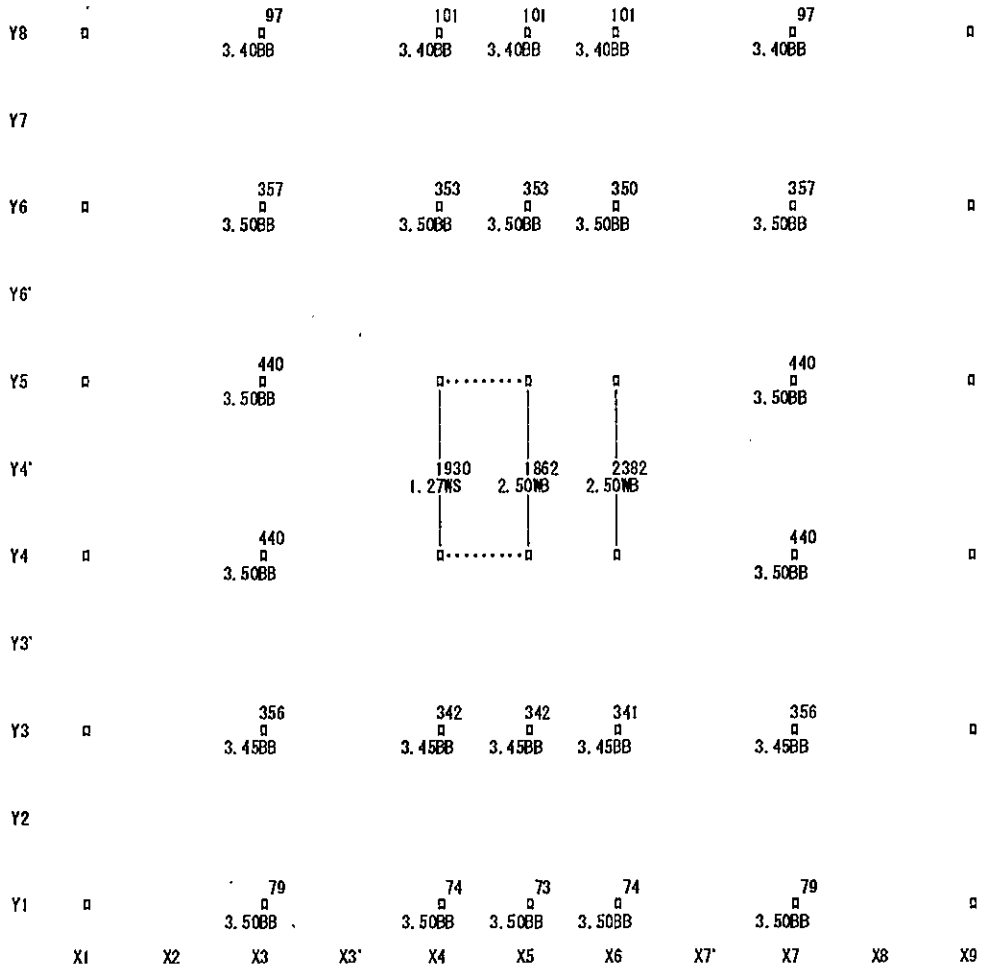
<3　階>　ＳＲＣ


Y8
Y7
30
3.01CB
34
3.21CB
37
3.46CB
33
3.20CB
30
3.00CB
Y6
222
3.50BB
214
3.50BB
213
3.50BB
210
3.50BB
222
3.50BB
Y6'
Y5
275
3.50BB
275
3.50BB
Y4'
1207
1.27WS
1194
2.50WB
1336
2.50WB
Y4
275
3.50BB
275
3.50BB
Y3'
Y3
216
3.50BB
182
2.75BS
181
2.75BS
175
2.75BS
216
3.50BB
Y2
27
2.96CB
30
3.16CB
32
3.42BB
30
3.17CB
27
2.96CB
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

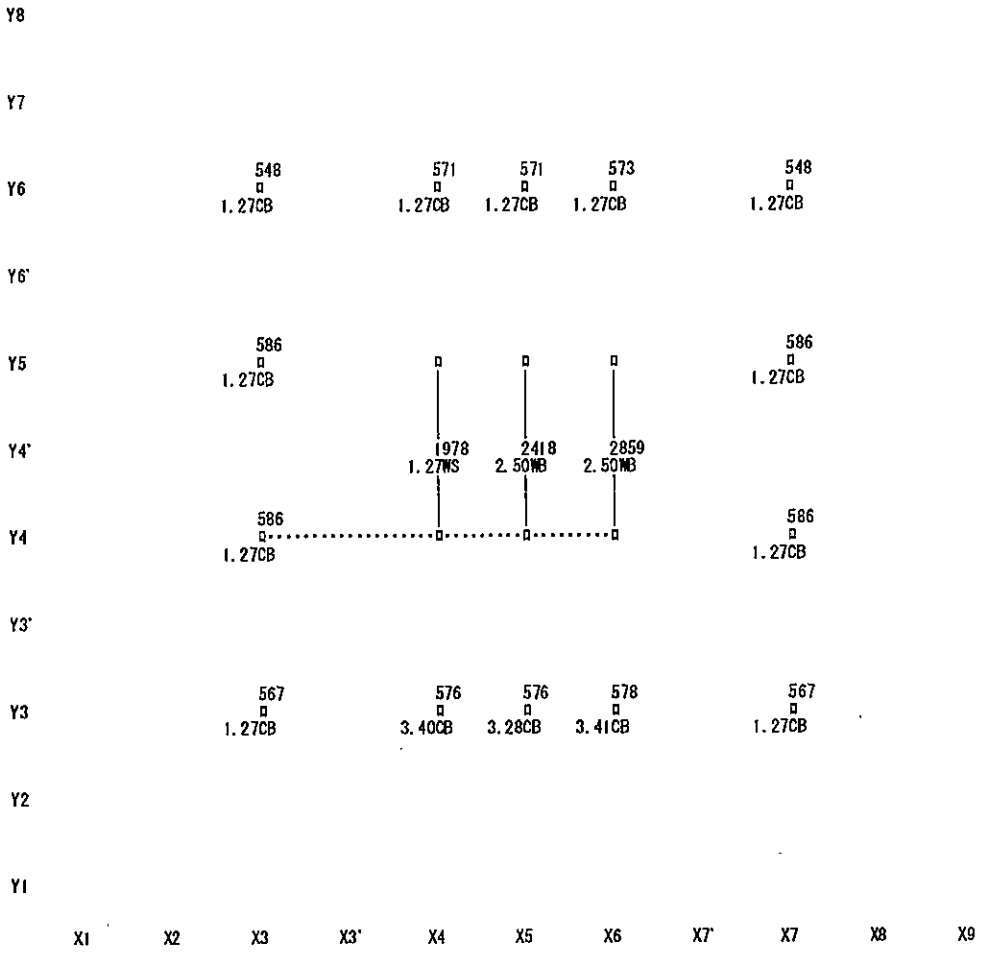
〈2 階〉 ＳＲＣ


Y8
85
3.50CB
79
3.50CB
76
3.50CB
79
3.50CB
85
3.50CB
Y7
Y6
406
3.50BB
416
3.50BB
416
3.50BB
418
3.50BB
406
3.50BB
Y6'
Y5
404
3.50BB
404
3.50BB
Y4'
1582
1.27WS
1549
2.50WB
1574
2.50WB
Y4
404
3.50BB
404
3.50BB
Y3'
Y3
406
3.45BB
424
2.75BS
424
2.75BS
424
2.75BS
406
3.45BB
Y2
Y1
73
3.50BB
74
3.50BB
73
3.50BB
75
3.50BB
73
3.50BB
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

<1　階>　ＳＲＣ


Y8
97
3.40BB
101
3.40BB
101
3.40BB
101
3.40BB
97
3.40BB
Y7
Y6
357
3.50BB
353
3.50BB
353
3.50BB
350
3.50BB
357
3.50BB
Y6'
Y5
440
3.50BB
440
3.50BB
Y4'
1930
1.27WS
1862
2.50WB
2382
2.50WB
Y4
440
3.50BB
440
3.50BB
Y3'
Y3
356
3.45BB
342
3.45BB
342
3.45BB
341
3.45BB
356
3.45BB
Y2
Y1
79
3.50BB
74
3.50BB
73
3.50BB
74
3.50BB
79
3.50BB
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

<B1 階> ＳＲＣ

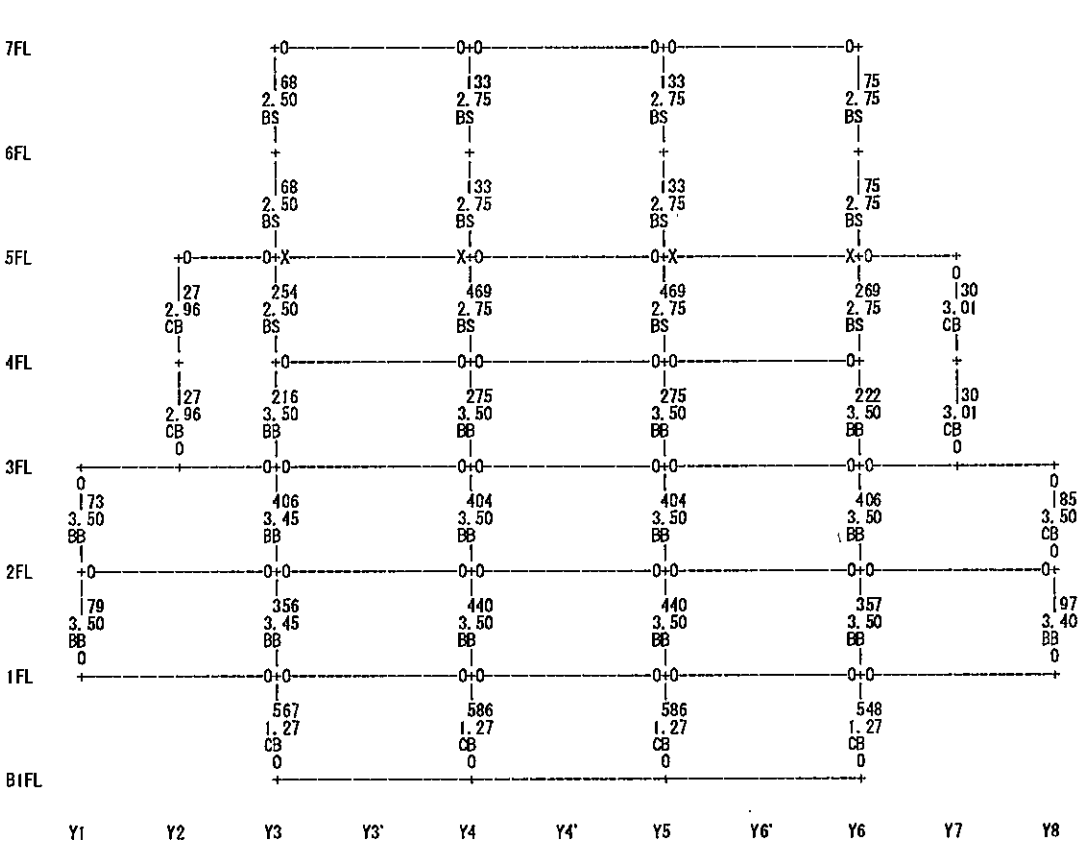

Y8
Y7
Y6
548
1.27CB
571
1.27CB
571
1.27CB
573
1.27CB
548
1.27CB
Y6'
Y5
586
1.27CB
586
1.27CB
Y4'
1978
1.27WS
2418
2.50WB
2859
2.50WB
Y4
586
1.27CB
586
1.27CB
Y3'
Y3
567
1.27CB
576
3.40CB
576
3.28CB
578
3.41CB
567
1.27CB
Y2
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

【鉛直部材の諸元：（軸組）】　Ｙ方向　正加力時　３次診断

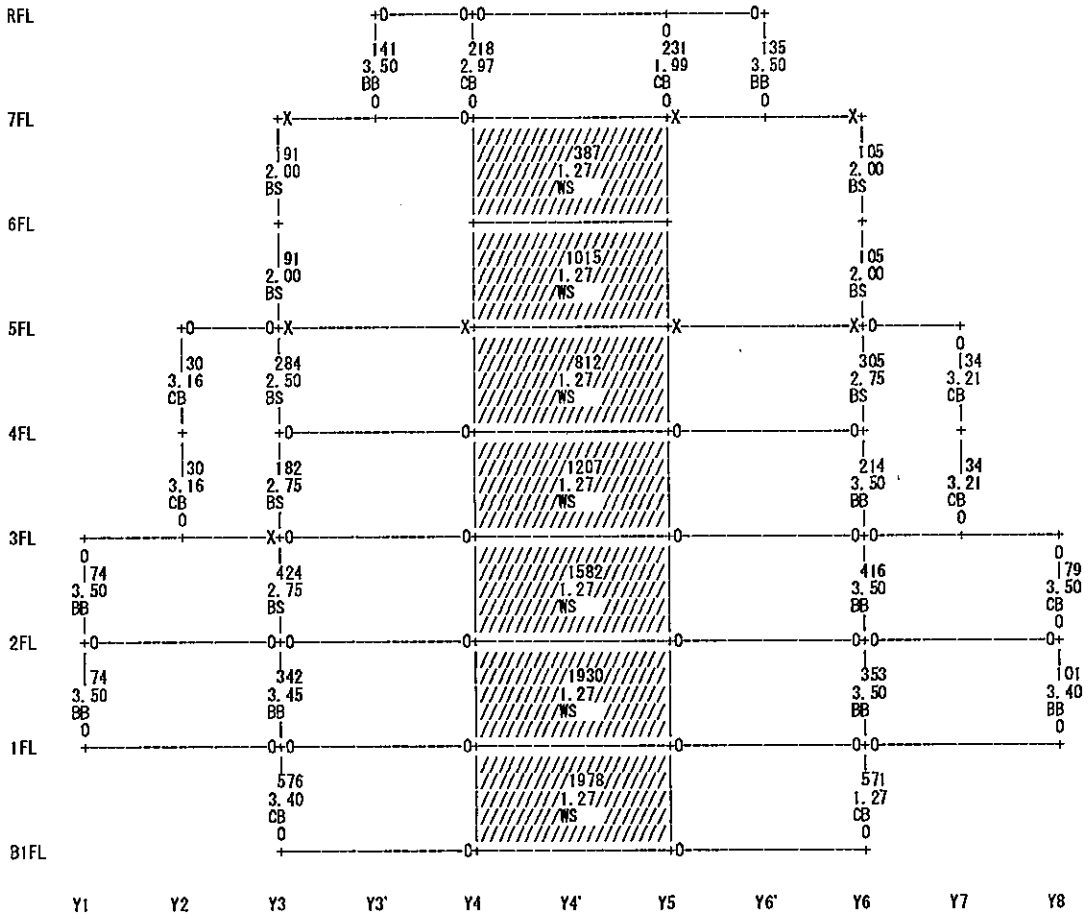
////：壁あり
上段：保有せん断力　中段：Ｆ指標　下段：破壊形式

破壊形式（せん断柱、極脆性柱で第２種構造要素の場合は後に'*'を表示）
CB：曲げ柱　CS：せん断柱　CSS：(極)脆性柱
BB：曲げ梁支配型柱　BS：せん断梁支配型柱　CT：柱脚部支配型柱
CWB：曲げそで壁付柱　CWS：せん断そで壁付柱　CWSS：(極)脆性そで壁付柱
WB：曲げ壁　WS：せん断壁　WR：回転壁　WT：柱脚部支配型壁（極）:RC部材

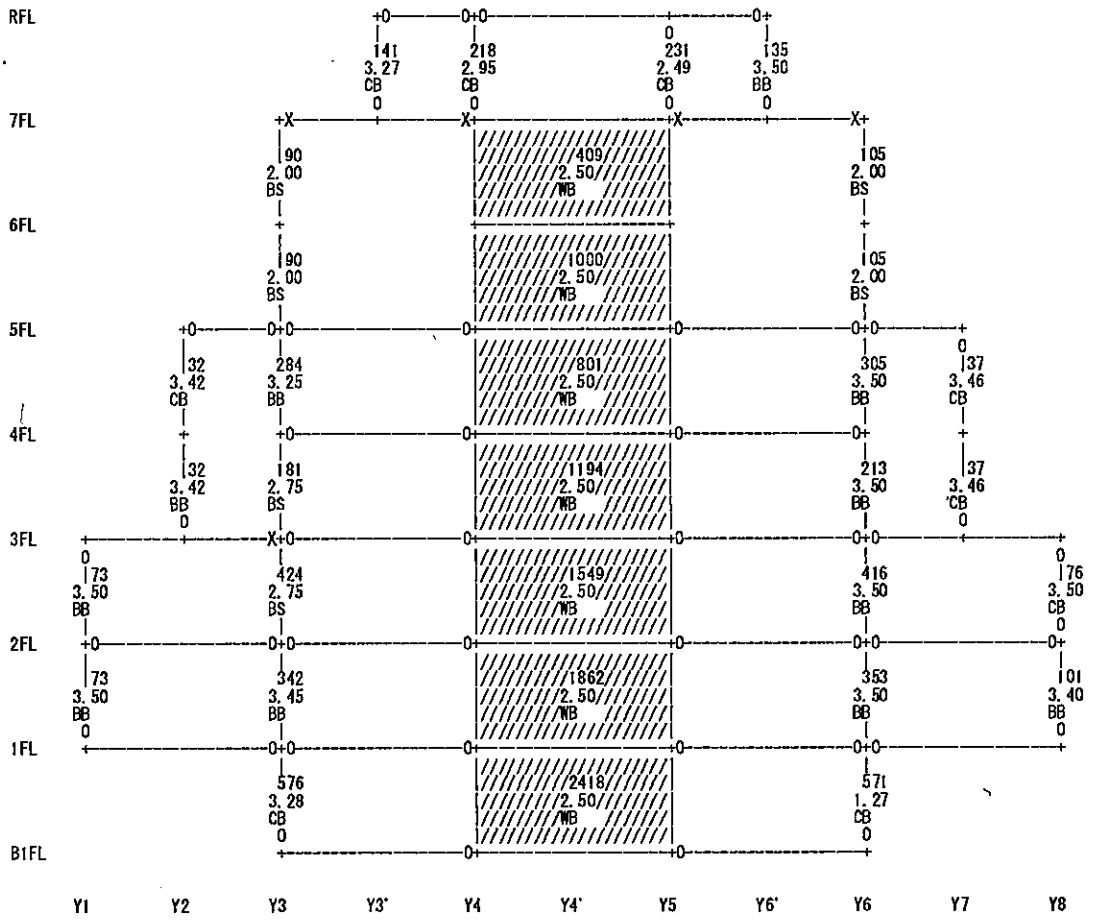
〈X3 フレーム〉



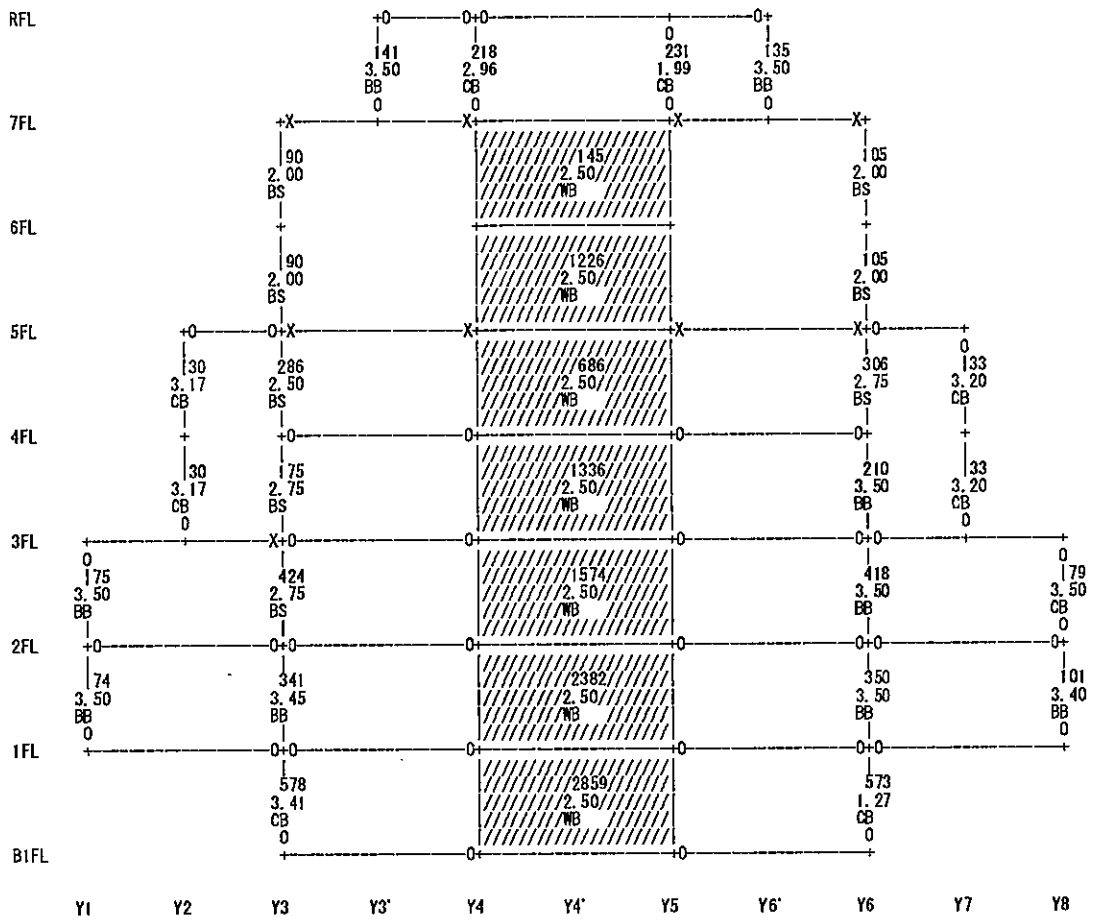
<X4 フレーム>


RFL
7FL
6FL
5FL
4FL
3FL
2FL
1FL
B1FL
Y1
Y2
Y3
Y3'
Y4
Y4'
Y5
Y6'
Y6
Y7
Y8
141 3.50 BB 0
218 2.97 CB 0
0 231 1.99 CB 0
135 3.50 BB 0
91 2.00 BS
387 1.27 WS
105 2.00 BS
91 2.00 BS
1015 1.27 WS
105 2.00 BS
30 3.16 CB
284 2.50 BS
812 1.27 WS
305 2.75 BS
0 134 3.21 CB
30 3.16 CB 0
182 2.75 BS
1207 1.27 WS
214 3.50 BB
34 3.21 CB 0
0 74 3.50 BB
424 2.75 BS
1582 1.27 WS
416 3.50 BB
0 79 3.50 CB 0
74 3.50 BB 0
342 3.45 BB
1930 1.27 WS
353 3.50 BB
101 3.40 BB 0
576 3.40 CB 0
1978 1.27 WS
571 1.27 CB 0

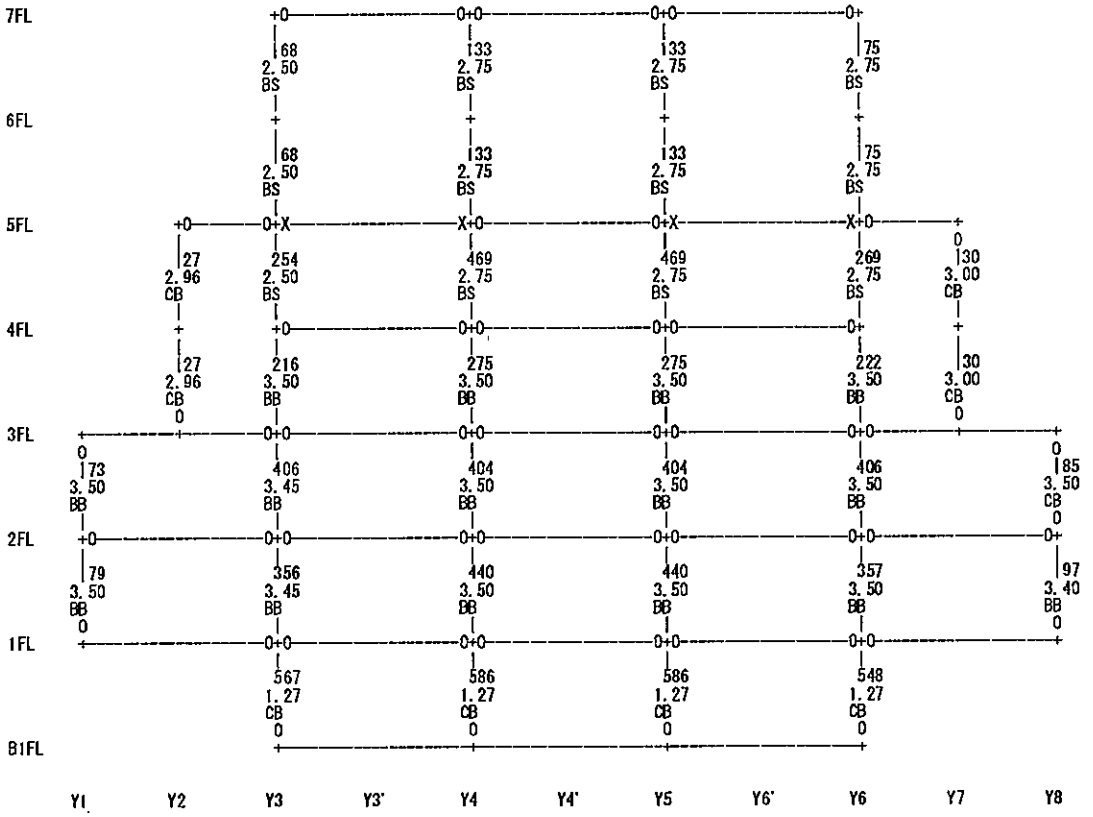
<X5 フレーム>


RFL
7FL
6FL
5FL
4FL
3FL
2FL
1FL
B1FL
Y1
Y2
Y3
Y3'
Y4
Y4'
Y5
Y6'
Y6
Y7
Y8
141 3.27 CB 0
218 2.95 CB 0
0 231 2.49 CB 0
135 3.50 BB 0
90 2.00 BS
409 /2.50/ WB
105 2.00 BS
90 2.00 BS
1000 /2.50/ WB
105 2.00 BS
32 3.42 CB
284 3.25 BB
801 /2.50/ WB
305 3.50 BB
0 37 3.46 CB
32 3.42 BB 0
181 2.75 BS
1194 /2.50/ WB
213 3.50 BB
37 3.46 CB 0
0 73 3.50 BB
424 2.75 BS
1549 /2.50/ WB
416 3.50 BB
0 76 3.50 CB 0
73 3.50 BB 0
342 3.45 BB
1862 /2.50/ WB
353 3.50 BB
101 3.40 BB 0
576 3.28 CB 0
2418 /2.50/ WB
571 1.27 CB 0

<X6 フレーム>


RFL
7FL
6FL
5FL
4FL
3FL
2FL
1FL
B1FL
Y1
Y2
Y3
Y3'
Y4
Y4'
Y5
Y6'
Y6
Y7
Y8
141 3.50 BB 0
218 2.96 CB 0
231 1.99 CB 0
135 3.50 BB 0
90 2.00 BS
145 2.50 WB
105 2.00 BS
1226
686
1336
1574
2382
2859
30 3.17 CB
286 2.50 BS
306 2.75 BS
133 3.20 CB
175 2.75 BS
210 3.50 BB
33 3.20 CB
175 3.50 BB
424 2.75 BS
418 3.50 BB
79 3.50 CB
74 3.50 BB
341 3.45 BB
350 3.50 BB
101 3.40 BB
578 3.41 CB
573 1.27 CB

<X7 フレーム>


RFL
7FL
6FL
5FL
4FL
3FL
2FL
1FL
B1FL
Y1
Y2
Y3
Y3'
Y4
Y4'
Y5
Y6'
Y6
Y7
Y8
68 2.50 BS
133 2.75 BS
133 2.75 BS
75 2.75 BS
68 2.50 BS
133 2.75 BS
133 2.75 BS
75 2.75 BS
27 2.96 CB
254 2.50 BS
469 2.75 BS
469 2.75 BS
269 2.75 BS
0 130 3.00 CB
27 2.96 CB 0
216 3.50 BB
275 3.50 BB
275 3.50 BB
222 3.50 BB
30 3.00 CB 0
0 173 3.50 BB
406 3.45 BB
404 3.50 BB
404 3.50 BB
406 3.50 BB
0 185 3.50 CB 0
79 3.50 BB 0
356 3.45 BB
440 3.50 BB
440 3.50 BB
357 3.50 BB
97 3.40 BB 0
567 1.27 CB 0
586 1.27 CB 0
586 1.27 CB 0
548 1.27 CB 0

【鉛直部材の諸元：（伏図）】　Ｙ方向　負加力時　３次診断

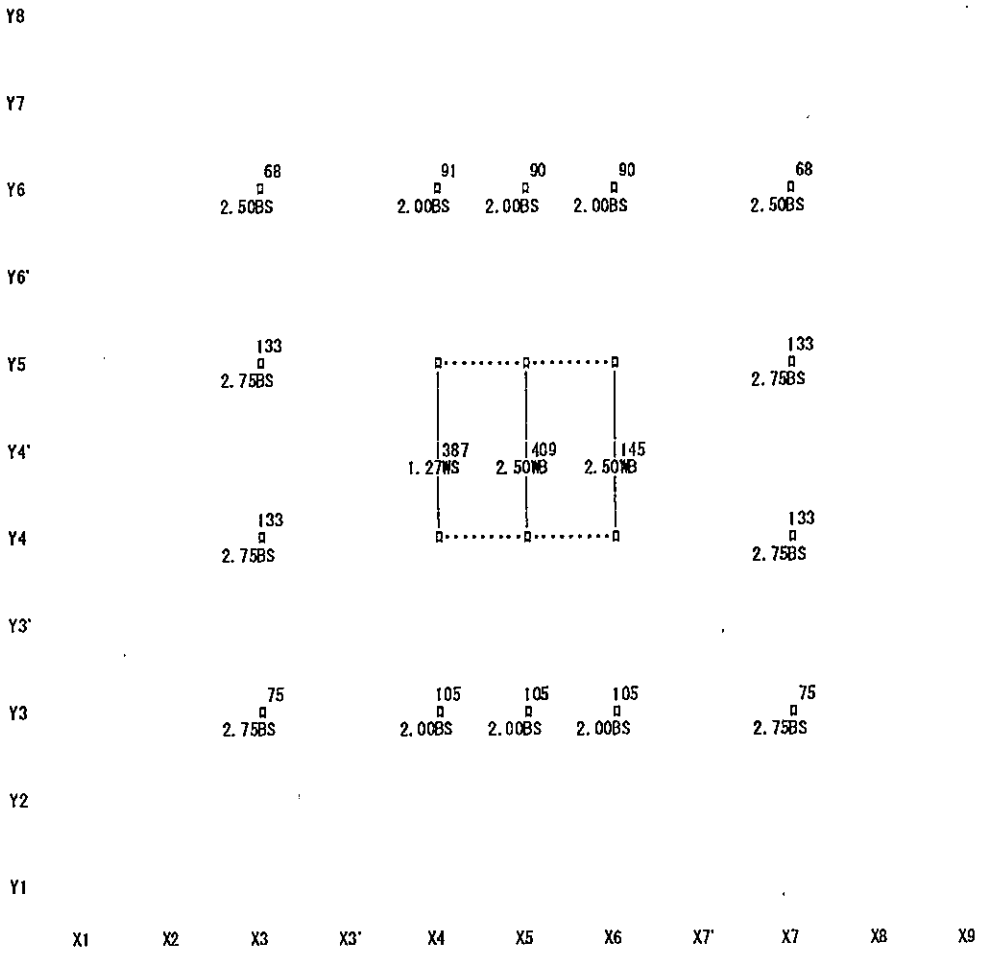
破壊形式（せん断柱、極脆性柱で第２種構造要素の場合は後に'*'を表示）
CB：曲げ柱　CS：せん断柱　CSS：(極)脆性柱
BB：曲げ梁支配型柱　BS：せん断梁支配型柱　CT：柱脚部支配型柱
CWB：曲げそで壁付柱　CWS：せん断そで壁付柱　CWSS：(極)脆性そで壁付柱
WB：曲げ壁　WS：せん断壁　WR：回転壁　WT：柱脚部支配型壁（極):RC部材

・・・・：Ｘ方向の壁　——：Ｙ方向の壁
上段：保有せん断力　下段：Ｆ指標,破壊形式
鉛直部材の分類　S：せん断柱　X：(極)脆性柱　□：その他

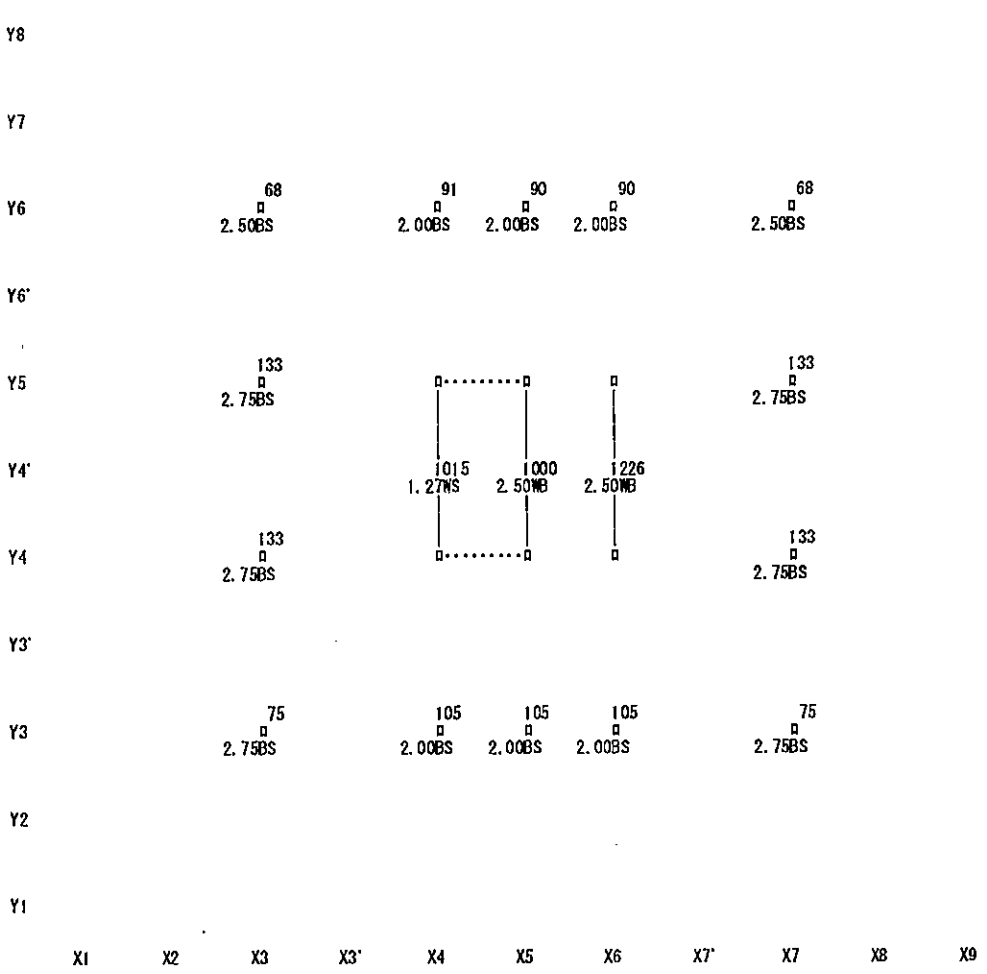
<7　階>　ＳＲＣ

	X1	X2	X3	X3'	X4	X5	X6	X7'	X7	X8	X9
Y8											
Y7											
Y6											
Y6'				□	141 □ 3.50BB	141 □ 3.27CB	141 □ 3.50BB	□			
Y5				□	218 □ 2.97CB	218 □ 2.95CB	218 □ 2.96CB	□			
Y4'											
Y4				□	231 □ 1.99CB	231 □ 2.49CB	231 □ 1.99CB	□			
Y3'				□	135 □ 3.50BB	135 □ 3.50BB	135 □ 3.50BB	□			
Y3											
Y2											
Y1											

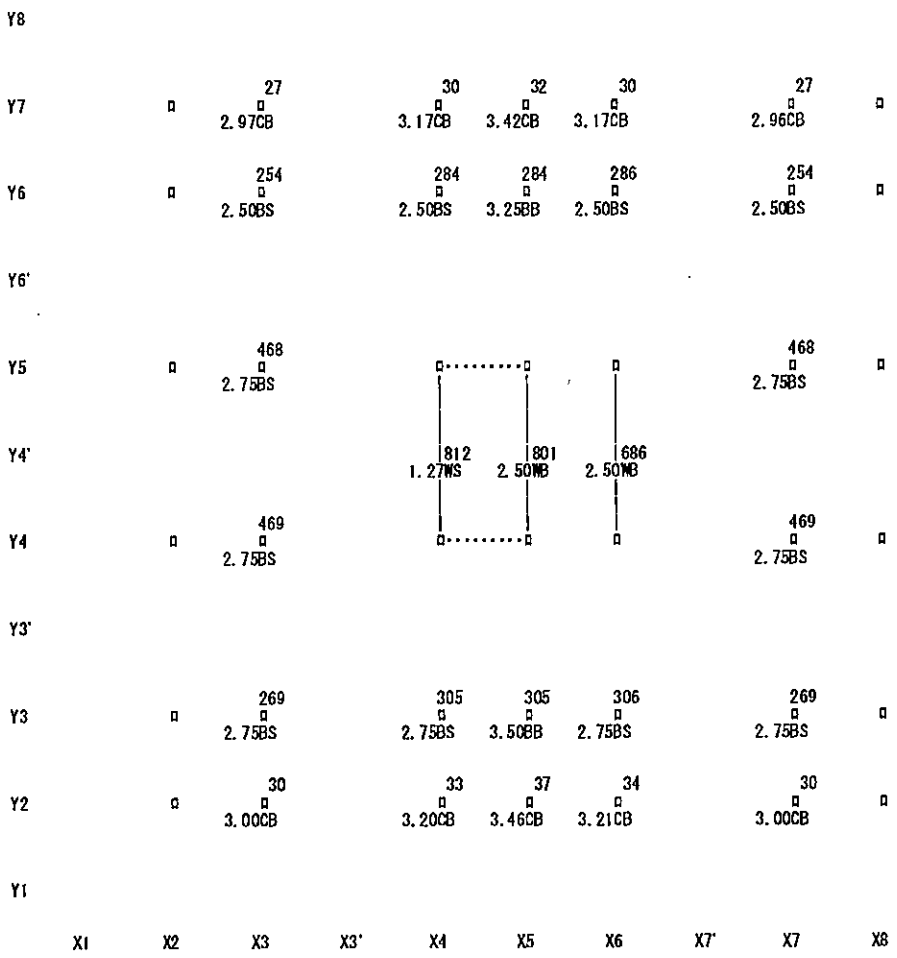
<6　階>　ＳＲＣ


Y8
Y7
Y6
68
2.50BS
91
2.00BS
90
2.00BS
90
2.00BS
68
2.50BS
Y6'
Y5
133
2.75BS
133
2.75BS
Y4'
387
1.27WS
409
2.50WB
145
2.50WB
Y4
133
2.75BS
133
2.75BS
Y3'
Y3
75
2.75BS
105
2.00BS
105
2.00BS
105
2.00BS
75
2.75BS
Y2
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

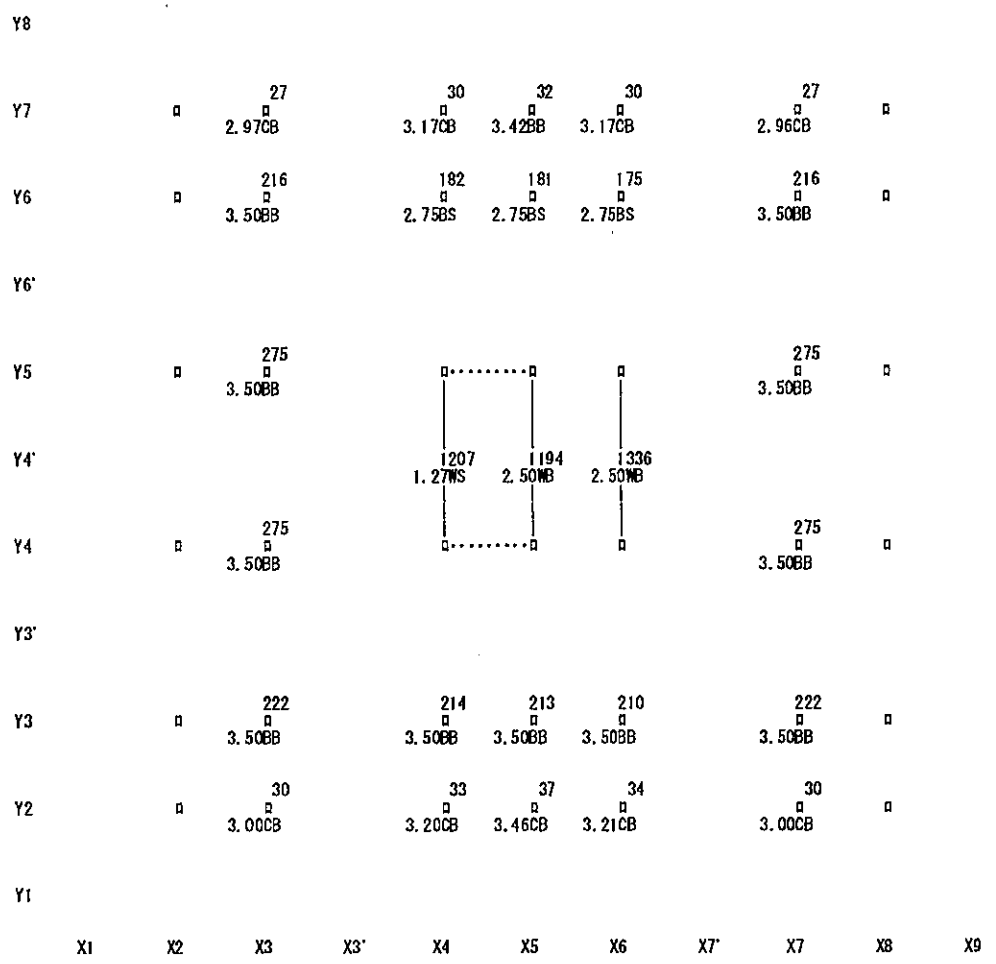
<5 階> ＳＲＣ


Y8
Y7
Y6
68
2.50BS
91
2.00BS
90
2.00BS
90
2.00BS
68
2.50BS
Y6'
Y5
133
2.75BS
133
2.75BS
Y4'
1015
1.27WS
1000
2.50WB
1226
2.50WB
Y4
133
2.75BS
133
2.75BS
Y3'
Y3
75
2.75BS
105
2.00BS
105
2.00BS
105
2.00BS
75
2.75BS
Y2
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

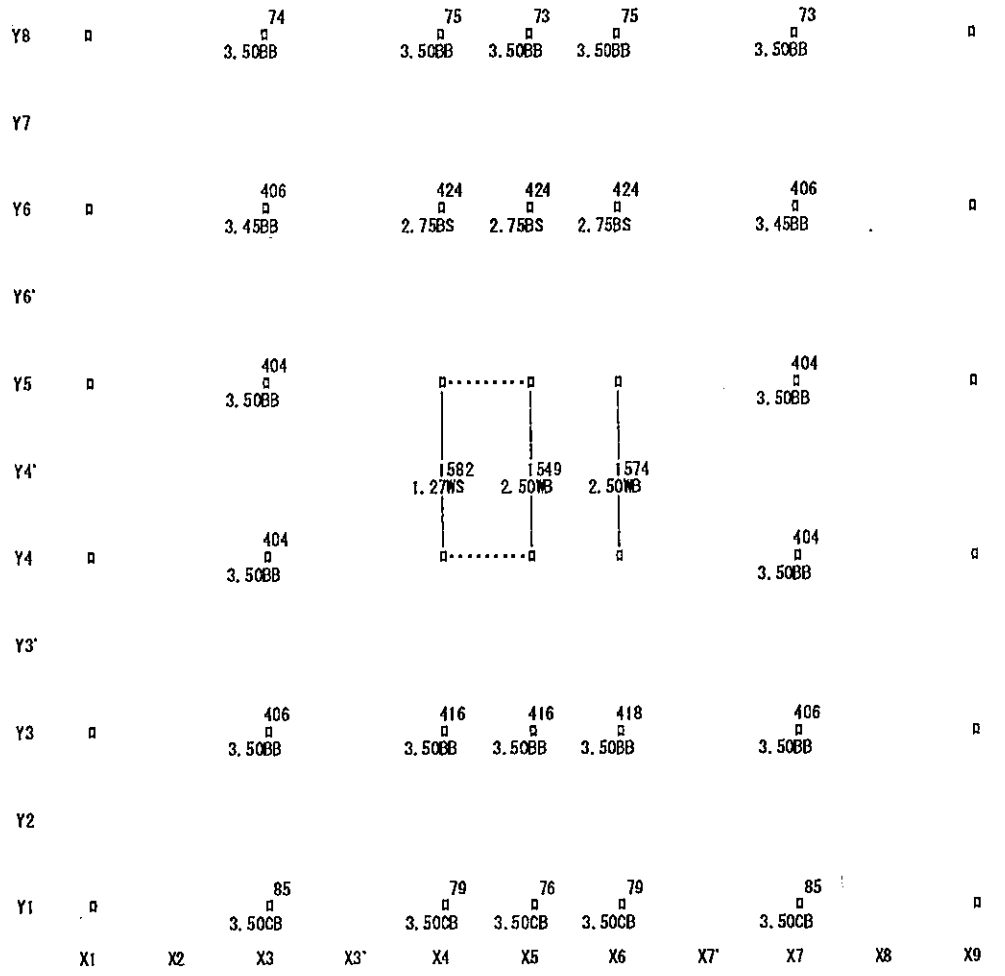
〈4　階〉　ＳＲＣ


Y8
Y7
27
2.97CB
30
3.17CB
32
3.42CB
30
3.17CB
27
2.96CB
Y6
254
2.50BS
284
2.50BS
284
3.25BB
286
2.50BS
254
2.50BS
Y6'
Y5
468
2.75BS
468
2.75BS
Y4'
812
1.27WS
801
2.50WB
686
2.50WB
Y4
469
2.75BS
469
2.75BS
Y3'
Y3
269
2.75BS
305
2.75BS
305
3.50BB
306
2.75BS
269
2.75BS
Y2
30
3.00CB
33
3.20CB
37
3.46CB
34
3.21CB
30
3.00CB
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

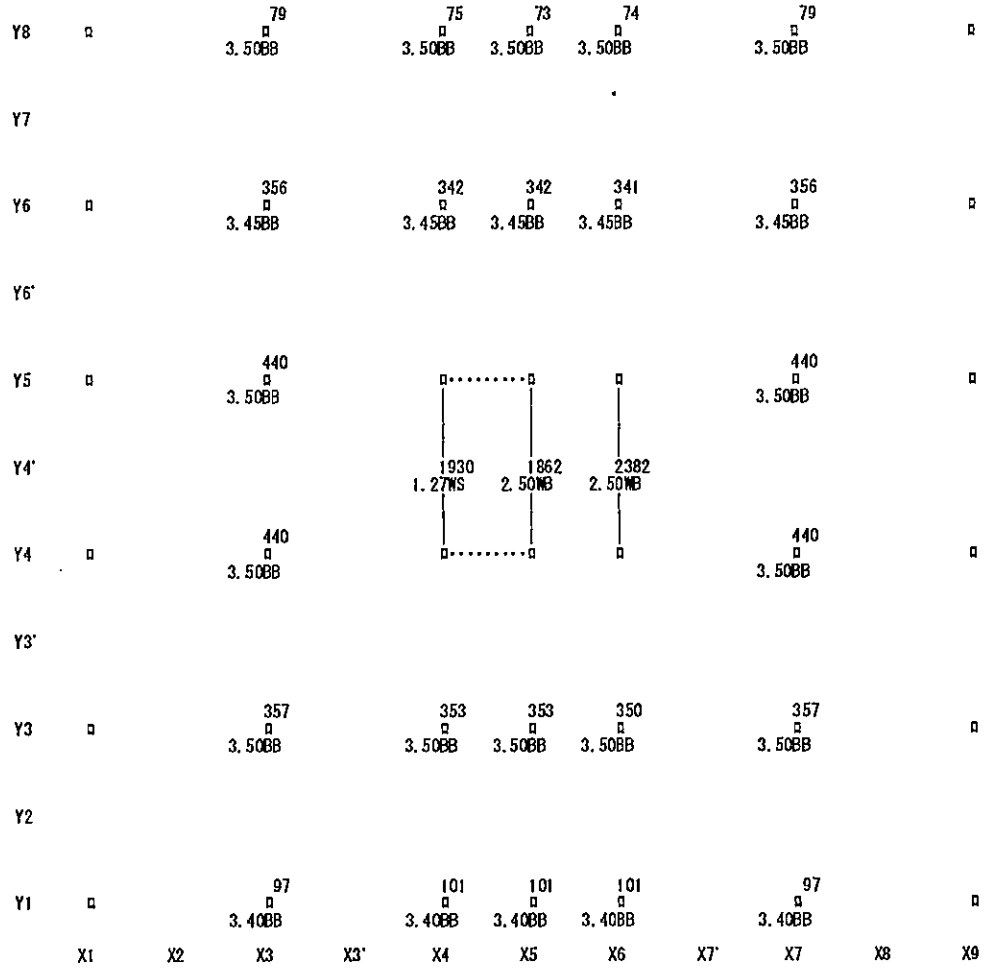
<3　階>　ＳＲＣ


Y8
Y7
27
2.97CB
30
3.17CB
32
3.42BB
30
3.17CB
27
2.96CB
Y6
216
3.50BB
182
2.75BS
181
2.75BS
175
2.75BS
216
3.50BB
Y6'
Y5
275
3.50BB
275
3.50BB
Y4'
1207
1.27WS
1194
2.50WB
1336
2.50WB
Y4
275
3.50BB
275
3.50BB
Y3'
Y3
222
3.50BB
214
3.50BB
213
3.50BB
210
3.50BB
222
3.50BB
Y2
30
3.00CB
33
3.20CB
37
3.46CB
34
3.21CB
30
3.00CB
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

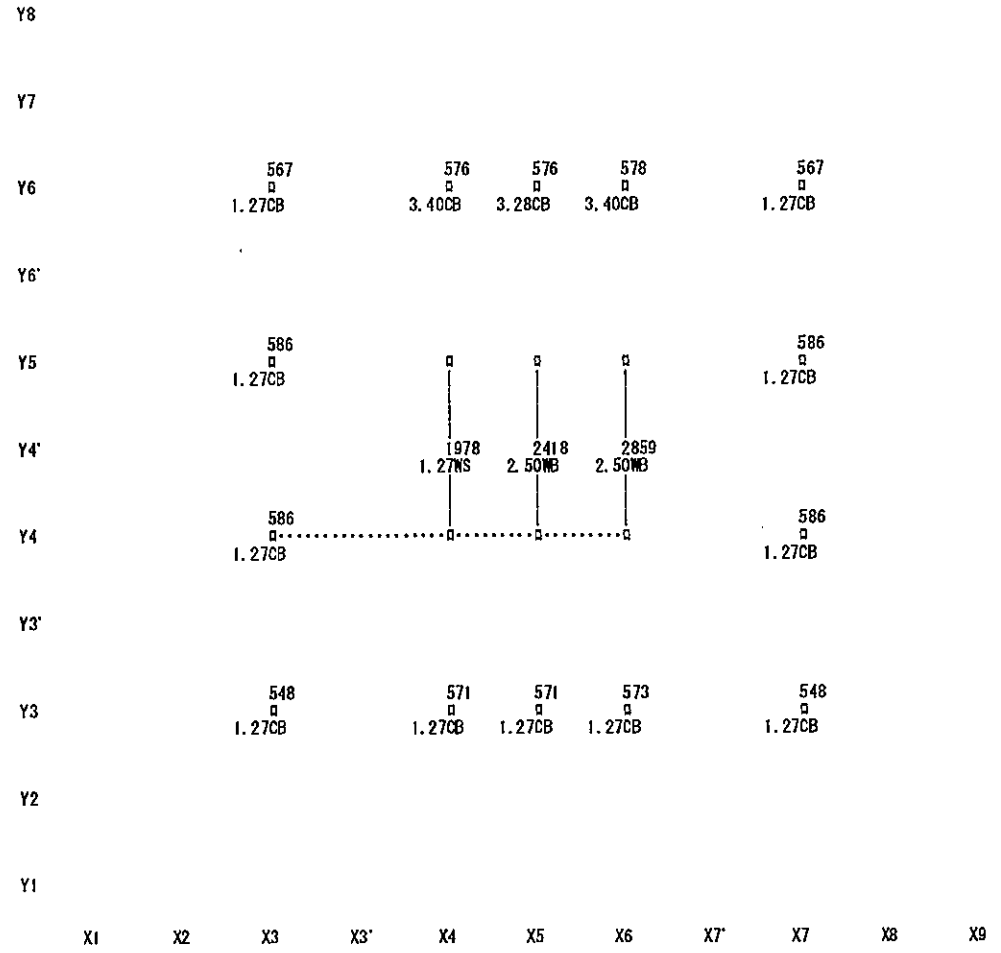
<2 階> ＳＲＣ


Y8
Y7
Y6
Y6'
Y5
Y4'
Y4
Y3'
Y3
Y2
Y1
74
3.50BB
75
3.50BB
73
3.50BB
75
3.50BB
73
3.50BB
406
3.45BB
424
2.75BS
424
2.75BS
424
2.75BS
406
3.45BB
404
3.50BB
404
3.50BB
1582
1.27WS
1549
2.50WB
1574
2.50WB
404
3.50BB
404
3.50BB
406
3.50BB
416
3.50BB
416
3.50BB
418
3.50BB
406
3.50BB
85
3.50CB
79
3.50CB
76
3.50CB
79
3.50CB
85
3.50CB
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

〈1 階〉 ＳＲＣ


Y8
79
3.50BB
75
3.50BB
73
3.50BB
74
3.50BB
79
3.50BB
Y7
Y6
356
3.45BB
342
3.45BB
342
3.45BB
341
3.45BB
356
3.45BB
Y6'
Y5
440
3.50BB
440
3.50BB
Y4'
1930
1.27WS
1862
2.50WB
2382
2.50WB
Y4
440
3.50BB
440
3.50BB
Y3'
Y3
357
3.50BB
353
3.50BB
353
3.50BB
350
3.50BB
357
3.50BB
Y2
Y1
97
3.40BB
101
3.40BB
101
3.40BB
101
3.40BB
97
3.40BB
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

<B1 階> ＳＲＣ

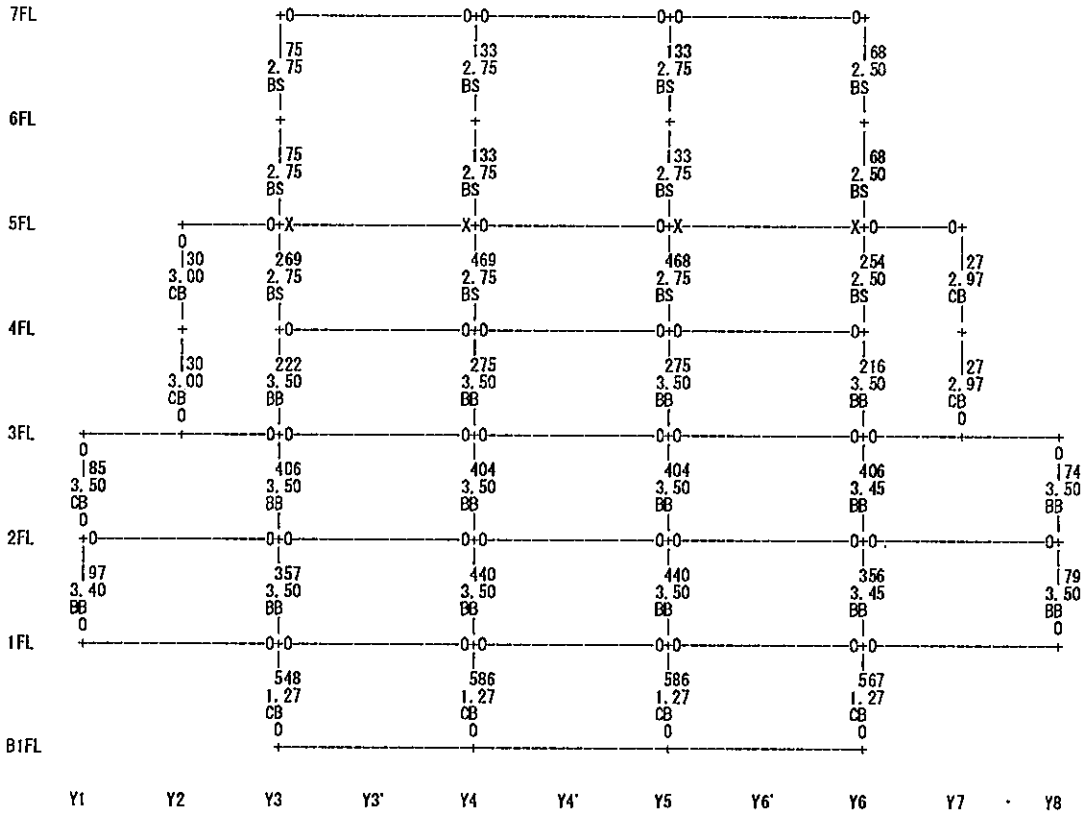

Y8
Y7
Y6
567
1.27CB
576
3.40CB
576
3.28CB
578
3.40CB
567
1.27CB
Y6'
Y5
586
1.27CB
586
1.27CB
Y4'
1978
1.27NS
2418
2.50WB
2859
2.50WB
Y4
586
1.27CB
586
1.27CB
Y3'
Y3
548
1.27CB
571
1.27CB
571
1.27CB
573
1.27CB
548
1.27CB
Y2
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

【鉛直部材の諸元：〈軸組〉】　Ｙ方向　負加力時　３次診断

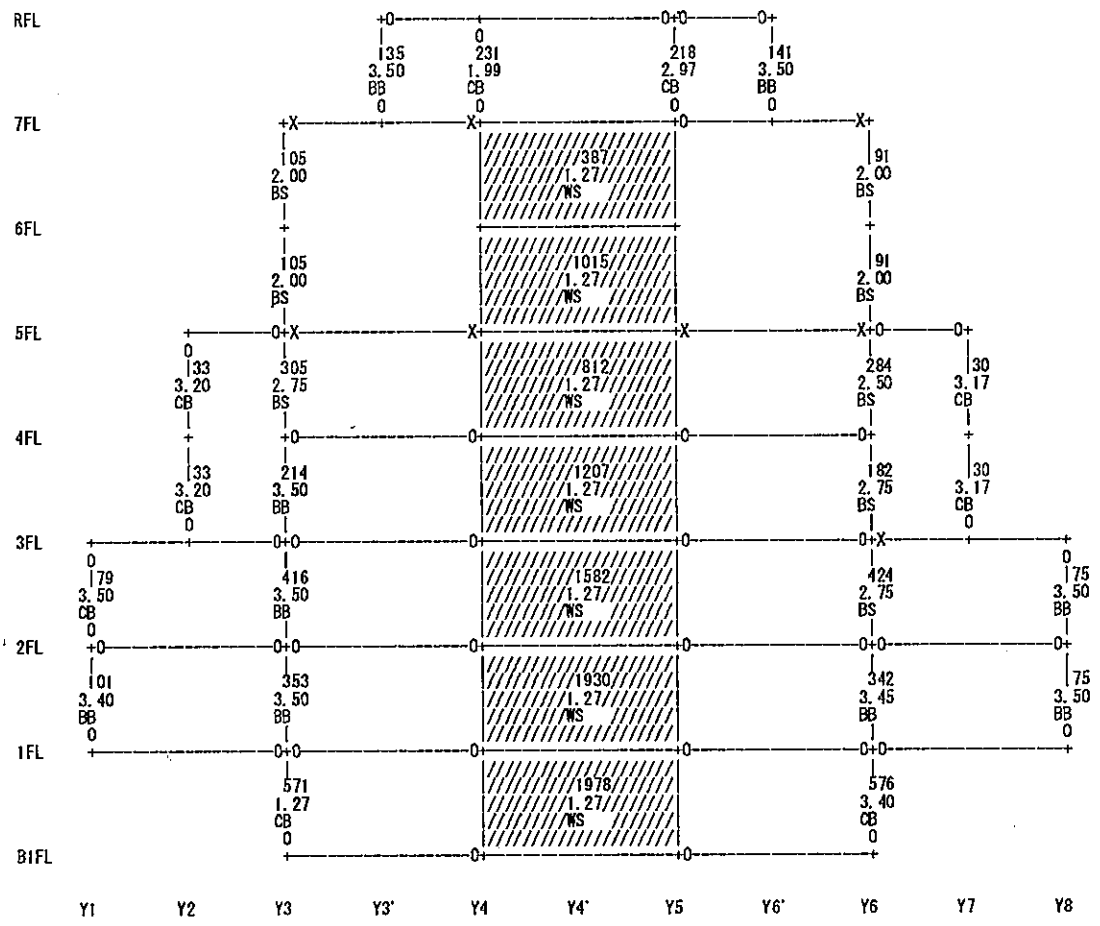
////：壁あり
上段：保有せん断力　中段：Ｆ指標　下段：破壊形式

破壊形式（せん断柱、極脆性柱で第２種構造要素の場合は後に'＊'を表示）
CB：曲げ柱　CS：せん断柱　CSS：(極)脆性柱
BB：曲げ梁支配型柱　BS：せん断梁支配型柱　CT：柱脚部支配型柱
CWB：曲げそで壁付柱　CWS：せん断そで壁付柱　CWSS：(極)脆性そで壁付柱
WB：曲げ壁　WS：せん断壁　WR：回転壁　WT：柱脚部支配型壁（極):RC部材

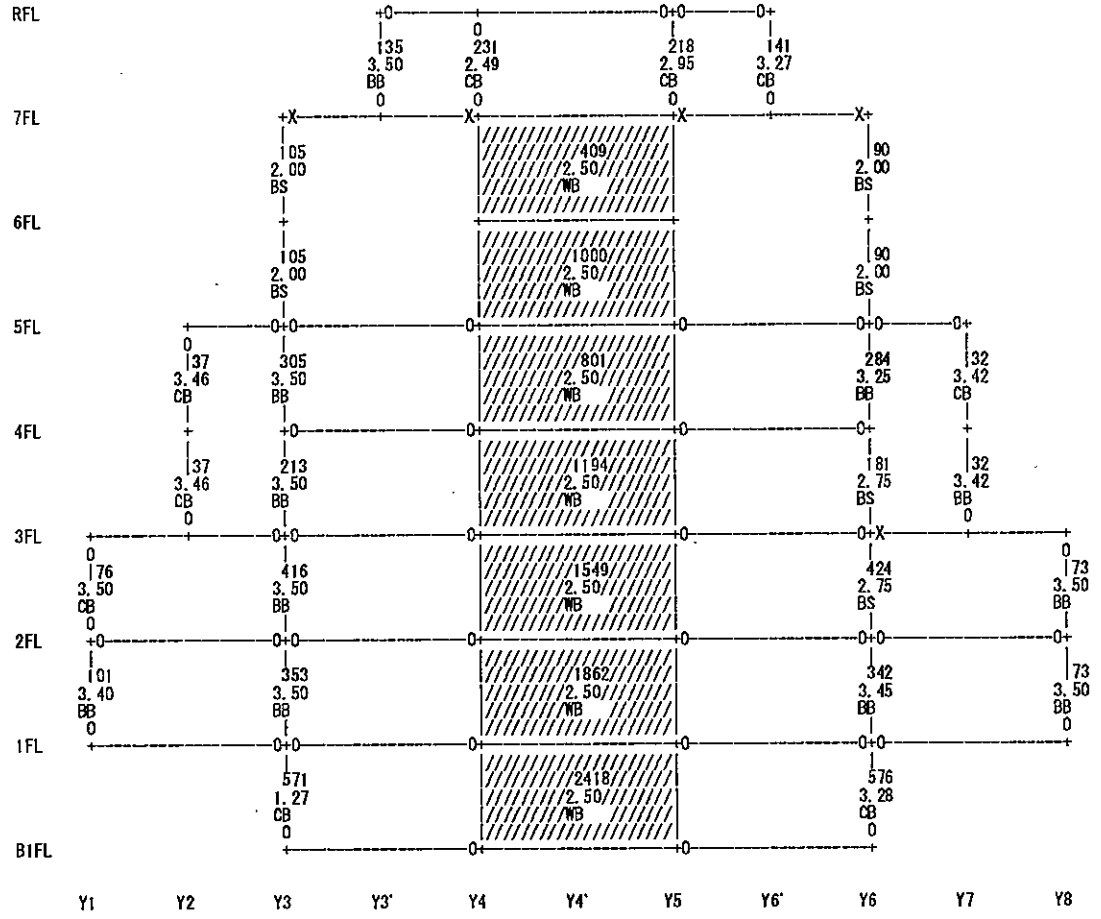
〈X3 フレーム〉



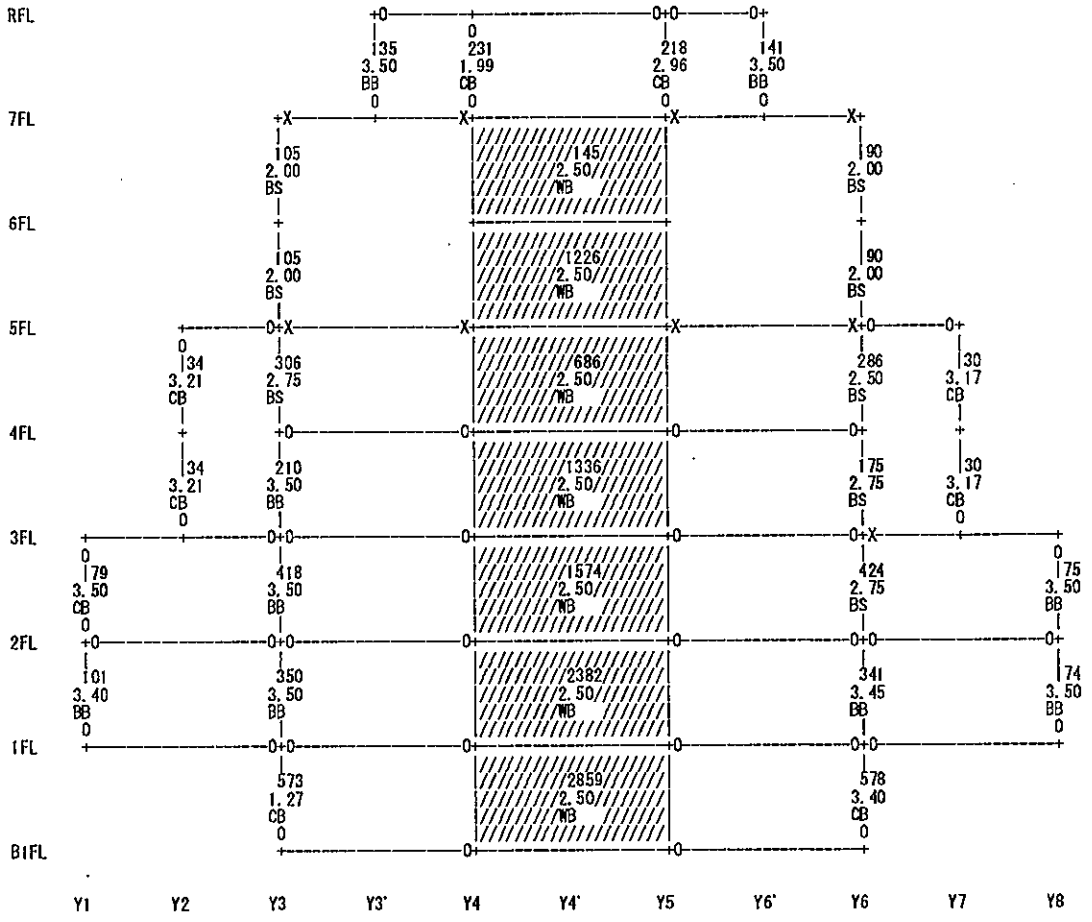
<X4 フレーム>


RFL
7FL
6FL
5FL
4FL
3FL
2FL
1FL
B1FL
Y1
Y2
Y3
Y3'
Y4
Y4'
Y5
Y6'
Y6
Y7
Y8
135 3.50 BB 0
231 1.99 CB 0
218 2.97 CB 0
141 3.50 BB 0
105 2.00 BS
387 1.27 WS
91 2.00 BS
105 2.00 BS
1015 1.27 WS
91 2.00 BS
33 3.20 CB
305 2.75 BS
812 1.27 WS
284 2.50 BS
30 3.17 CB
33 3.20 CB 0
214 3.50 BB
1207 1.27 WS
182 2.75 BS
30 3.17 CB 0
79 3.50 CB 0
416 3.50 BB
1582 1.27 WS
424 2.75 BS
75 3.50 BB
101 3.40 BB 0
353 3.50 BB
1930 1.27 WS
342 3.45 BB
75 3.50 BB 0
571 1.27 CB 0
1978 1.27 WS
576 3.40 CB 0

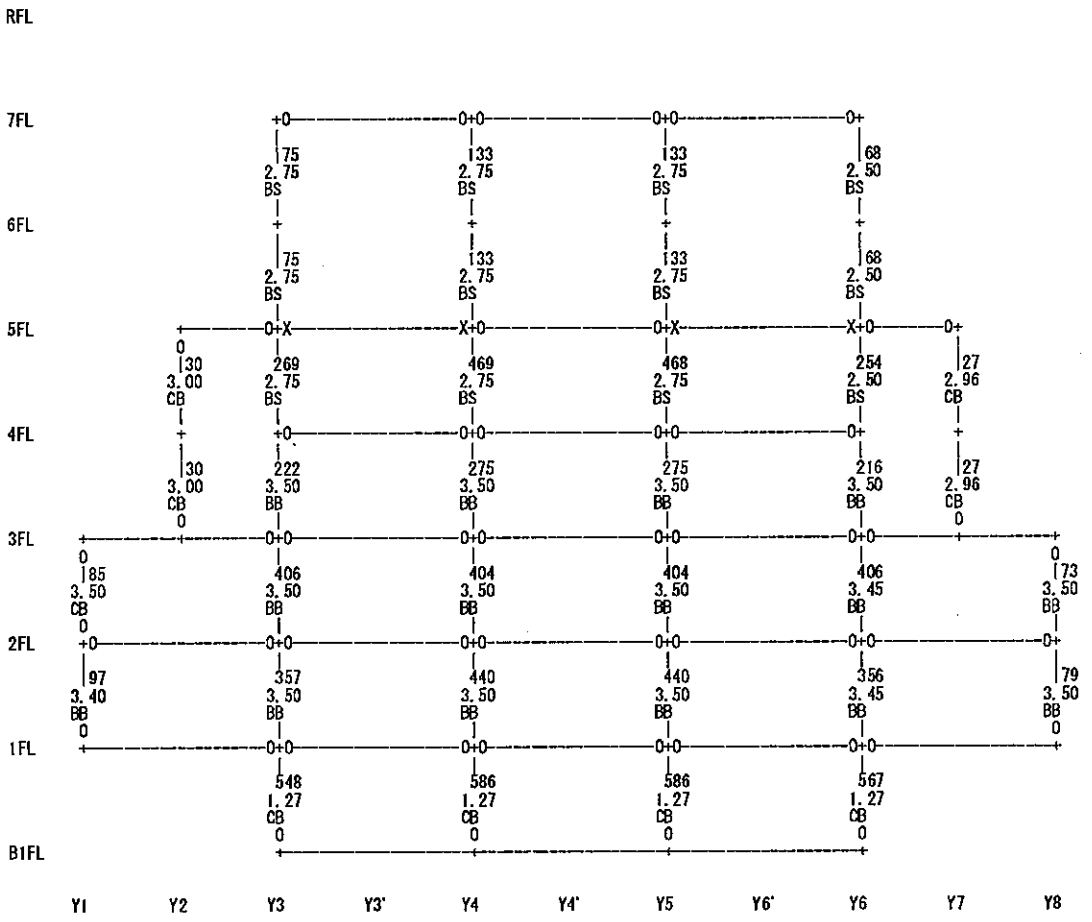
<X5 フレーム>


RFL
7FL
6FL
5FL
4FL
3FL
2FL
1FL
B1FL
Y1
Y2
Y3
Y3'
Y4
Y4'
Y5
Y6'
Y6
Y7
Y8
135 3.50 BB 0
231 2.49 CB 0
218 2.95 CB 0
141 3.27 CB 0
105 2.00 BS
409 2.50 WB
90 2.00 BS
105 2.00 BS
1000 2.50 WB
90 2.00 BS
37 3.46 CB
305 3.50 BB
801 2.50 WB
284 3.25 BB
32 3.42 CB
37 3.46 CB 0
213 3.50 BB
1194 2.50 WB
81 2.75 BS
32 3.42 BB 0
76 3.50 CB 0
416 3.50 BB
1549 2.50 WB
424 2.75 BS
73 3.50 BB
101 3.40 BB 0
353 3.50 BB
1862 2.50 WB
342 3.45 BB
73 3.50 BB 0
571 1.27 CB 0
2418 2.50 WB
576 3.28 CB 0

<X6 フレーム>


RFL
7FL
6FL
5FL
4FL
3FL
2FL
1FL
B1FL
135 3.50 BB 0
0 231 1.99 CB 0
218 2.96 CB 0
141 3.50 BB 0
105 2.00 BS
145 2.50 WB
90 2.00 BS
1226
686
1336
1574
2382
2859
34 3.21 CB
306 2.75 BS
286 2.50 BS
30 3.17 CB
210 3.50 BB
175 2.75 BS
79 3.50 CB 0
418 3.50 BB
424 2.75 BS
75 3.50 BB
101 3.40 BB 0
350 3.50 BB
341 3.45 BB
74 3.50 BB 0
573 1.27 CB 0
578 3.40 CB 0
Y1 Y2 Y3 Y3' Y4 Y4' Y5 Y6' Y6 Y7 Y8

<X7 フレーム>


RFL
7FL
6FL
5FL
4FL
3FL
2FL
1FL
B1FL
Y1
Y2
Y3
Y3'
Y4
Y4'
Y5
Y6'
Y6
Y7
Y8

３－２　既存建物診断結果

第３次診断計算結果（現状）

X方向

第３次診断

方向	階	Eo	SD	T	CT･SD	Is	第2種構造要素数		判定	備考
							せん断柱	脆性柱		(決定式)
X	7	0.263	0.56	0.970	0.08	0.14	無	無	NG	(8)式
	6	0.266	1.00	0.970	0.10	0.25	無	無	NG	(7)式
	5	0.285	1.00	0.970	0.11	0.27	無	無	NG	(7)式
L→R	4	0.436	1.00	0.970	0.17	0.42	無	無	NG	(7)式
	3	0.329	1.00	0.970	0.13	0.32	無	無	NG	(7)式
	2	0.378	1.00	0.970	0.15	0.36	無	無	NG	(7)式
	1	0.348	1.00	0.970	0.13	0.33	無	無	NG	(7)式
	B1	0.254	1.00	0.970	0.20	0.24	無	無	NG	(8)式
X	7	0.306	0.56	0.970	0.08	0.16	無	無	NG	(8)式
	6	0.285	1.00	0.970	0.11	0.27	無	無	NG	(7)式
	5	0.260	1.00	0.970	0.09	0.25	無	無	NG	(7)式
L←R	4	0.420	1.00	0.970	0.16	0.40	無	無	NG	(7)式
	3	0.313	1.00	0.970	0.12	0.30	無	無	NG	(7)式
	2	0.368	1.00	0.970	0.14	0.35	無	無	NG	(7)式
	1	0.324	1.00	0.970	0.12	0.31	無	無	NG	(7)式
	B1	0.250	1.00	0.970	0.19	0.24	無	無	NG	(8)式

Is=Eo*SD*T

Is:構造耐震指標 Eo:保有性能基本指標SD:形状指標 T:経年指標 CT:累積強度指標

Iso=Es*Z*G*U = 0.6 Iso：構造耐震判定指標

Es（耐震性能基本指標） =0.60

Z（地域指標） =1.00

G（地盤指標） =1.00

U（用途指標） =1.00

CT･SDの判定値

SRC造 :0.28*Z*G*U=0.25*1.0*1.0*1.0=0.28

第３次診断計算結果（現状）

Y方向

第３次診断

方向	階	Eo	SD	T	CT･SD	Is	第2種構造要素数		判定	備考 (決定式)
							せん断柱	脆性柱		
Y	7	0.343	0.61	0.970	0.07	0.20	無	無	NG	(7)式
	6	0.189	1.00	0.970	0.09	0.18	無	無	NG	(7)式
	5	0.288	1.00	0.970	0.11	0.27	無	無	NG	(7)式
L→R	4	0.401	1.00	0.970	0.16	0.38	無	無	NG	(7)式
	3	0.315	1.00	0.970	0.12	0.30	無	無	NG	(7)式
	2	0.381	1.00	0.970	0.15	0.37	無	無	NG	(7)式
	1	0.357	1.00	0.970	0.14	0.34	無	無	NG	(7)式
	B1	0.260	1.00	0.970	0.08	0.25	無	無	NG	(7)式
Y	7	0.343	0.61	0.970	0.07	0.20	無	無	NG	(7)式
	6	0.189	1.00	0.970	0.09	0.18	無	無	NG	(7)式
	5	0.288	1.00	0.970	0.11	0.27	無	無	NG	(7)式
L←R	4	0.401	1.00	0.970	0.16	0.38	無	無	NG	(7)式
	3	0.315	1.00	0.970	0.12	0.30	無	無	NG	(7)式
	2	0.381	1.00	0.970	0.15	0.37	無	無	NG	(7)式
	1	0.357	1.00	0.970	0.14	0.34	無	無	NG	(7)式
	B1	0.260	1.00	0.970	0.08	0.25	無	無	NG	(7)式

Is=Eo*SD*T

Is:構造耐震指標 Eo:保有性能基本指標SD:形状指標 T:経年指標 CT:累積強度指標

Iso=Es*Z*G*U = 0.6 Iso：構造耐震判定指標

Es（耐震性能基本指標） =0.60

Z （地域指標） =1.00

G （地盤指標） =1.00

U （用途指標） =1.00

CT･SDの判定値

SRC造 :0.28*Z*G*U=0.25*1.0*1.0*1.0=0.28

【耐震性能診断表】（最大Ｉｓの場合）

建物名： 大天守閣（現状）							建設年月日：		
方向： Ｘ方向　正加力	診断者：株式会社大建設計名古屋事務所						診断年月日： 2010-09		
診断次数： ３次	構造耐震判定指標Ｉso ＝ Ｅs・Ｚ・Ｇ・Ｕ ＝ 0.60			＊1.00＊1.00＊1.00 ＝ 0.60					
階	Ｃ	Ｆ	破　壊　形　式	Ｅo	ＳＤ	Ｔ	Ｉs	ＣＴ・ＳＤ	判定
7 ＳＲＣ	0.459	1.70	CB,BB,BS	0.263	0.56	0.970	0.14	0.08	
6 ＳＲＣ	0.121 0.236	1.27 2.50	BS,WS BB,BS,WB	0.266	1.00	0.970	0.25	0.10	
5 ＳＲＣ	0.094 0.227	1.27 2.50	BS,WS BB,BS,WB	0.285	1.00	0.970	0.27	0.11	
4 ＳＲＣ	0.048 0.294	1.27 2.50	WS CB,BB,BS,WB	0.436	1.00	0.970	0.42	0.17	
3 ＳＲＣ	0.046 0.203	1.27 2.50	WS CB,BB,BS,WB	0.329	1.00	0.970	0.32	0.13	
2 ＳＲＣ	0.039 0.195	1.27 2.50	WS CB,BB,BS,WB	0.378	1.00	0.970	0.36	0.15	
1 ＳＲＣ	0.040 0.156	1.27 2.50	WS CB,BB,BS,WB	0.348	1.00	0.970	0.33	0.13	
BI ＳＲＣ	0.201	1.27	CB,BS,CWB,WB,WS	0.254	1.00	0.970	0.24	0.20	

[ＲＣ造]　CB：曲げ柱　CS：せん断柱　CSS：極脆性柱
BB：曲げ梁支配型柱　BS：せん断梁支配型柱
CWB：曲げそで壁付柱　CWS：せん断そで壁付柱　CWSS：極脆性そで壁付柱
WB：曲げ壁　WS：せん断壁　WR：回転壁

[ＳＲＣ造]　CB：曲げ柱　CS：せん断柱　CSS：脆性柱　CT：柱脚部支配型柱
BB：曲げ梁支配型柱　BS：せん断梁支配型柱
CWB：曲げそで壁付柱　CWS：せん断そで壁付柱　CWSS：脆性そで壁付柱
WB：曲げ壁　WS：せん断壁　WR：回転壁　WT：柱脚部支配型壁

※＜＞内は、Ｆ＝0.8またはＦ＝1.0における単独のＣ値を参考値として出力しています。

【耐震性能診断表】（最大Ｉｓの場合）

建物名： 大天守閣（現状）								建設年月日：	
方向： Ｘ方向　負加力	診断者：株式会社大建設計名古屋事務所							診断年月日： 2010-09	
診断次数： ３次	構造耐震判定指標Ｉso ＝ Ｅs・Ｚ・Ｇ・Ｕ ＝ 0.60				＊1.00＊1.00＊1.00 ＝ 0.60				
階	Ｃ	Ｆ	破　壊　形　式	Ｅo	ＳＤ	Ｔ	Ｉs	ＣＴ・ＳＤ	判定
7 ＳＲＣ	0.454	2.00	CB,BB,BS	0.306	0.56	0.970	0.16	0.08	
6 ＳＲＣ	0.128 0.253	1.27 2.50	BS,WS BB,BS,WB	0.285	1.00	0.970	0.27	0.11	
5 ＳＲＣ	0.136 0.199	1.27 2.50	BS,WB,WS BB,BS,WB	0.260	1.00	0.970	0.25	0.09	
4 ＳＲＣ	0.066 0.282	1.27 2.50	WB,WS CB,BB,BS,WB	0.420	1.00	0.970	0.40	0.16	
3 ＳＲＣ	0.064 0.191	1.27 2.50	WB,WS CB,BB,BS,WB	0.313	1.00	0.970	0.30	0.12	
2 ＳＲＣ	0.053 0.188	1.27 2.50	WB,WS CB,BB,BS,WB	0.368	1.00	0.970	0.35	0.14	
1 ＳＲＣ	0.056 0.143	1.27 2.50	WB,WS CB,BB,BS,WB	0.324	1.00	0.970	0.31	0.12	
B1 ＳＲＣ	0.197	1.27	CB,BS,WB,WS	0.250	1.00	0.970	0.24	0.19	

[ＲＣ造]　CB：曲げ柱　CS：せん断柱　CSS：極脆性柱
BB：曲げ梁支配型柱　BS：せん断梁支配型柱
CWB：曲げそで壁付柱　CWS：せん断そで壁付柱　CWSS：極脆性そで壁付柱
WB：曲げ壁　WS：せん断壁　WR：回転壁

[ＳＲＣ造]　CB：曲げ柱　CS：せん断柱　CSS：脆性柱　CT：柱脚部支配型柱
BB：曲げ梁支配型柱　BS：せん断梁支配型柱
CWB：曲げそで壁付柱　CWS：せん断そで壁付柱　CWSS：脆性そで壁付柱
WB：曲げ壁　WS：せん断壁　WR：回転壁　WT：柱脚部支配型壁

※＜＞内は、Ｆ＝0.8またはＦ＝1.0における単独のＣ値を参考値として出力しています。

【耐震性能診断表】（最大Ｉｓの場合）

建物名： 大天守閣（現状）						建設年月日：			
方向： Ｙ方向　正加力		診断者：株式会社大建設計名古屋事務所				診断年月日： 2010-09			
診断次数： ３次		構造耐震判定指標Ｉso ＝ Ｅs・Ｚ・Ｇ・Ｕ ＝ 0.60				＊1.00＊1.00＊1.00 ＝ 0.60			
階	Ｃ	Ｆ	破　壊　形　式	Eo	SD	Ｔ	Ｉs	CT・SD	判定
7 ＳＲＣ	0.167 0.356	1.70 2.75	CB CB.BB	0.343	0.61	0.970	0.20	0.07	
6 ＳＲＣ	0.043 0.215	1.27 2.00	WS BS.WB	0.189	1.00	0.970	0.18	0.09	
5 ＳＲＣ	0.119 0.225	1.27 2.50	BS.WS BS.WB	0.288	1.00	0.970	0.27	0.11	
4 ＳＲＣ	0.034 0.271	1.27 2.50	WS CB.BB.BS.WB	0.401	1.00	0.970	0.38	0.16	
3 ＳＲＣ	0.039 0.194	1.27 2.50	WS CB.BB.BS.WB	0.315	1.00	0.970	0.30	0.12	
2 ＳＲＣ	0.032 0.196	1.27 2.50	WS CB.BB.BS.WB	0.381	1.00	0.970	0.37	0.15	
1 ＳＲＣ	0.030 0.160	1.27 2.50	WS BB.WB	0.357	1.00	0.970	0.34	0.14	
B1 ＳＲＣ	0.106 0.090	1.27 2.50	CB.WS CB.WB	0.260	1.00	0.970	0.25	0.08	

[ＲＣ造]　CB：曲げ柱　CS：せん断柱　CSS：極脆性柱
BB：曲げ梁支配型柱　BS：せん断梁支配型柱
CWB：曲げそで壁付柱　CWS：せん断そで壁付柱　CWSS：極脆性そで壁付柱
WB：曲げ壁　WS：せん断壁　WR：回転壁

[ＳＲＣ造]　CB：曲げ柱　CS：せん断柱　CSS：脆性柱　CT：柱脚部支配型柱
BB：曲げ梁支配型柱　BS：せん断梁支配型柱
CWB：曲げそで壁付柱　CWS：せん断そで壁付柱　CWSS：脆性そで壁付柱
WB：曲げ壁　WS：せん断壁　WR：回転壁　WT：柱脚部支配型壁

※ く>内は、Ｆ＝0.8またはＦ＝1.0における単独のＣ値を参考値として出力しています。

【耐震性能診断表】（最大Ｉｓの場合）

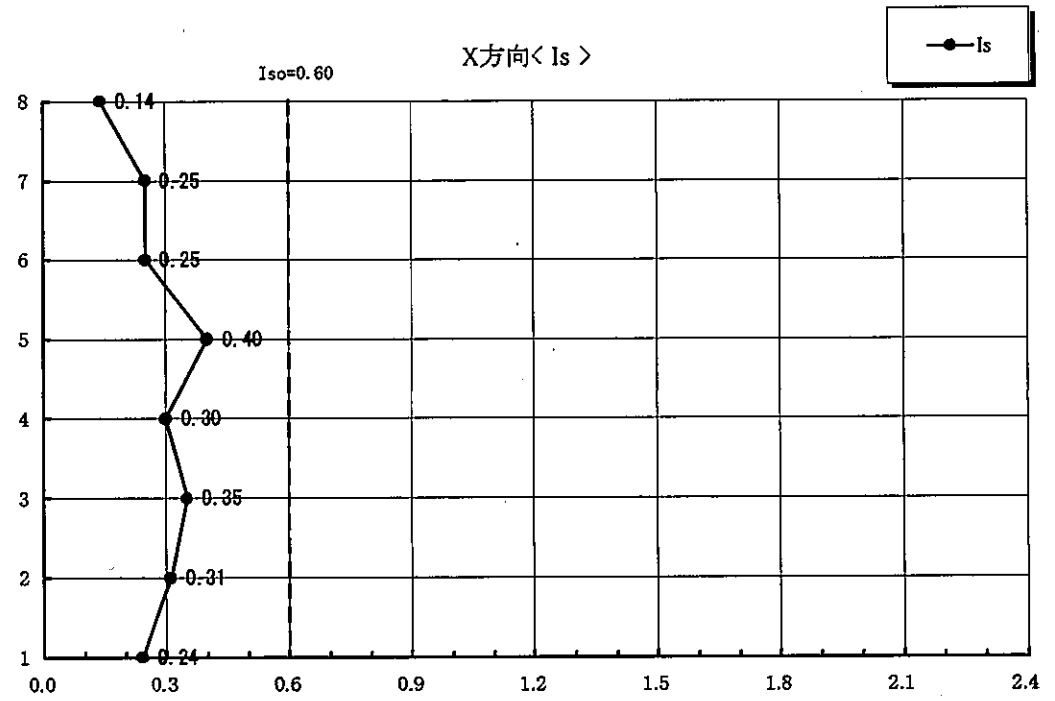
建物名： 大天守閣（現状）						建設年月日：			
方向： Ｙ方向　負加力	診断者：株式会社大建設計名古屋事務所					診断年月日： 2010-09			
診断次数： ３次	構造耐震判定指標Ｉso ＝ Ｅs・Ｚ・Ｇ・Ｕ ＝ 0.60　　＊1.00＊1.00＊1.00 ＝ 0.60								
階	Ｃ	Ｆ	破　壊　形　式	Eo	SD	Ｔ	Ｉs	CT・SD	判定
7 ＳＲＣ	0.167 0.356	1.70 2.75	CB CB,BB	0.343	0.61	0.970	0.20	0.07	
6 ＳＲＣ	0.043 0.215	1.27 2.00	WS BS,WB	0.188	1.00	0.970	0.18	0.09	
5 ＳＲＣ	0.119 0.225	1.27 2.50	BS,WS BS,WB	0.288	1.00	0.970	0.27	0.11	
4 ＳＲＣ	0.034 0.271	1.27 2.50	WS CB,BB,BS,WB	0.401	1.00	0.970	0.38	0.16	
3 ＳＲＣ	0.039 0.194	1.27 2.50	WS CB,BB,BS,WB	0.315	1.00	0.970	0.30	0.12	
2 ＳＲＣ	0.032 0.196	1.27 2.50	WS CB,BB,BS,WB	0.381	1.00	0.970	0.37	0.15	
1 ＳＲＣ	0.030 0.160	1.27 2.50	WS BB,WB	0.357	1.00	0.970	0.34	0.14	
B1 ＳＲＣ	0.106 0.090	1.27 2.50	CB,WS CB,WB	0.260	1.00	0.970	0.25	0.08	

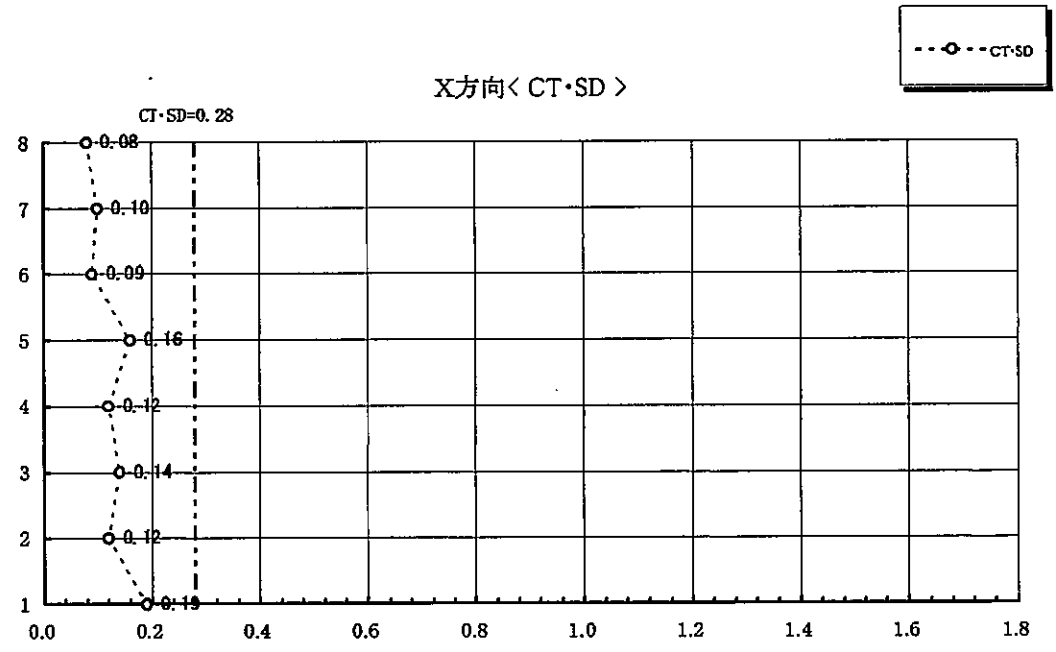
[ＲＣ造]　CB：曲げ柱　CS：せん断柱　CSS：極脆性柱
BB：曲げ梁支配型柱　BS：せん断梁支配型柱
CWB：曲げそで壁付柱　CWS：せん断そで壁付柱　CWSS：極脆性そで壁付柱
WB：曲げ壁　WS：せん断壁　WR：回転壁

[ＳＲＣ造]　CB：曲げ柱　CS：せん断柱　CSS：脆性柱　CT：柱脚部支配型柱
BB：曲げ梁支配型柱　BS：せん断梁支配型柱
CWB：曲げそで壁付柱　CWS：せん断そで壁付柱　CWSS：脆性そで壁付柱
WB：曲げ壁　WS：せん断壁　WR：回転壁　WT：柱脚部支配型壁

※＜＞内は、Ｆ＝0.8またはＦ＝1.0における単独のＣ値を参考値として出力しています。

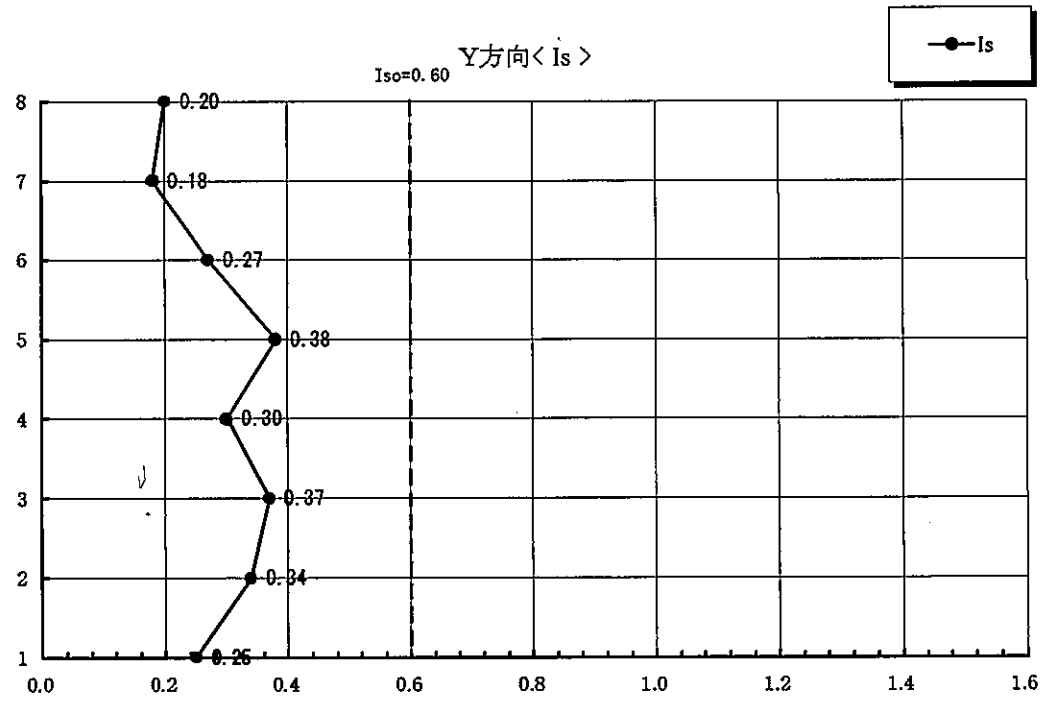
(8)　Is値、CT･SD値の分布　（正負加力の低い方の値を記載する）

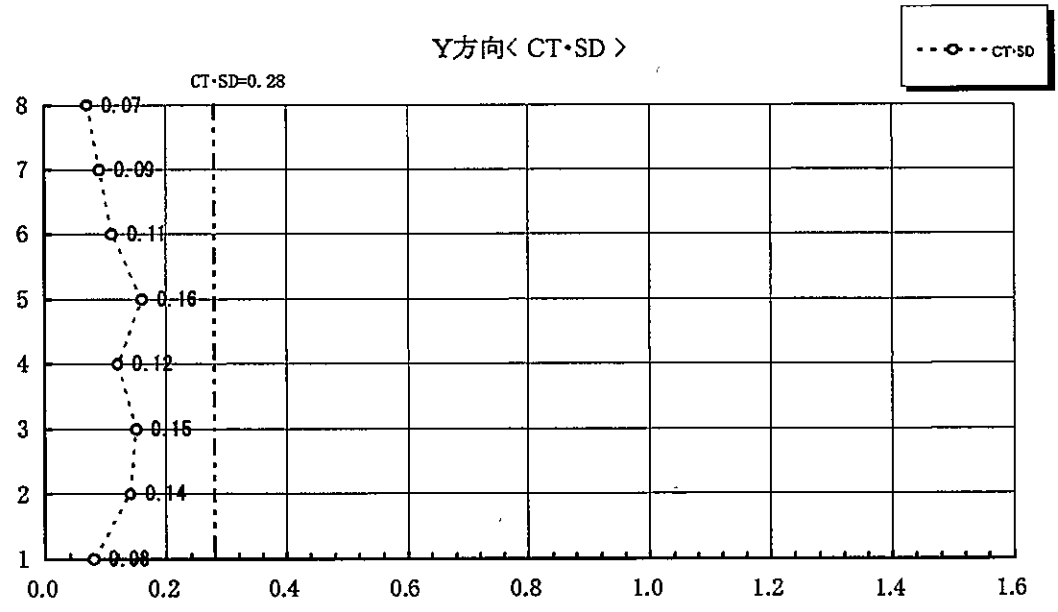


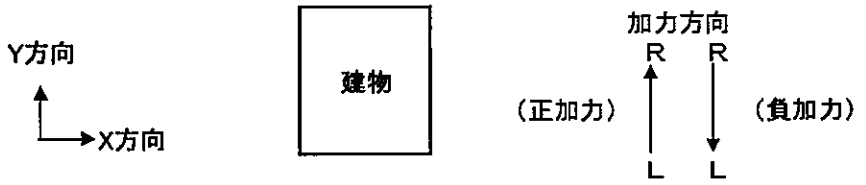




(8)　Is値、CT･SD値の分布　（正負加力の低い方の値を記載する）



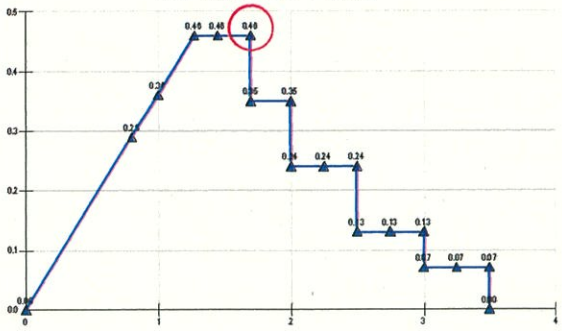




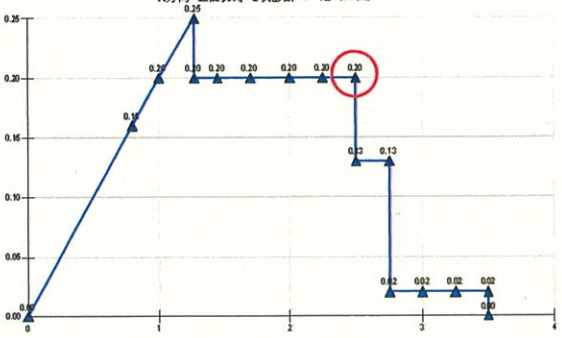
３－３　既存建物のＣ－Ｆ関係図

〈現状〉

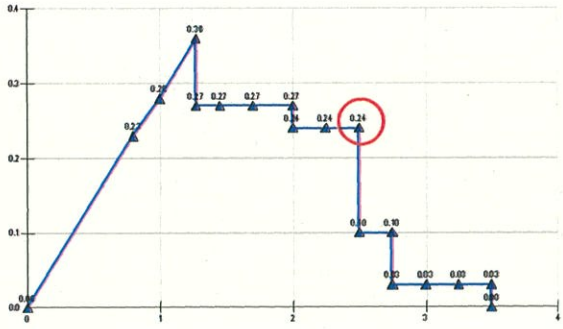
X方向 正加力時 3次診断 7 階 (CF図)



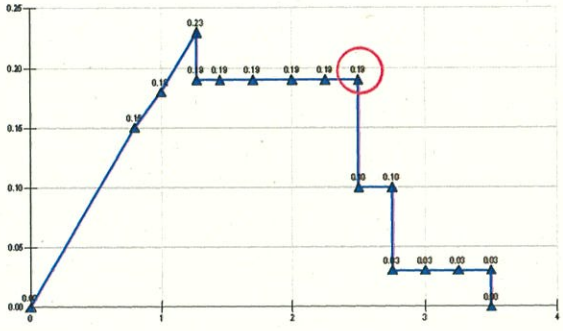
X方向 正加力時 3次診断 3 階 (CF図)



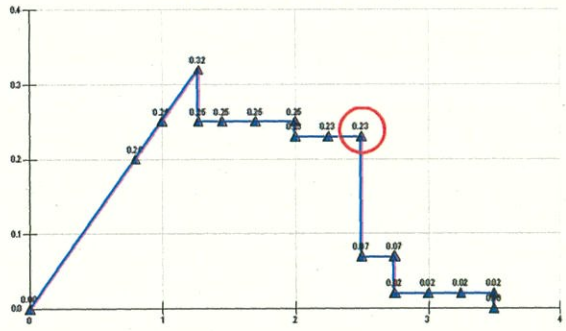
X方向 正加力時 3次診断 6 階 (CF図)



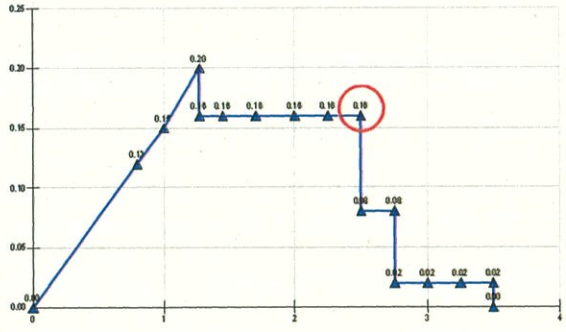
X方向 正加力時 3次診断 2 階 (CF図)



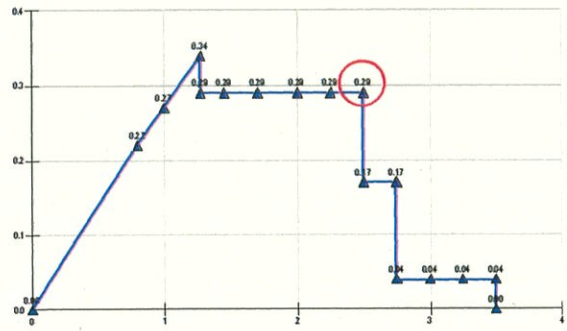
X方向 正加力時 3次診断 5 階 (CF図)



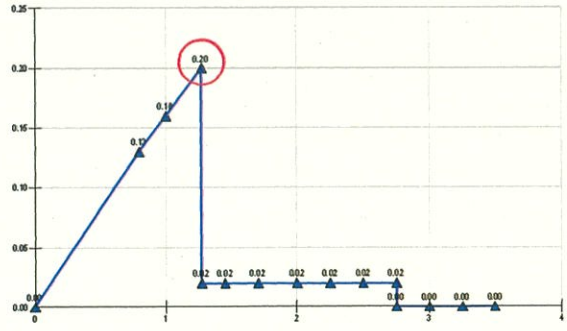
X方向 正加力時 3次診断 1 階 (CF図)



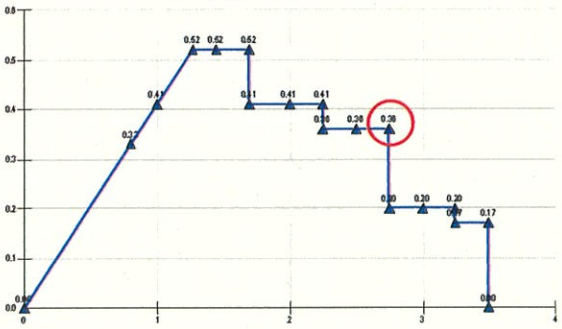
X方向 正加力時 3次診断 4 階 (CF図)



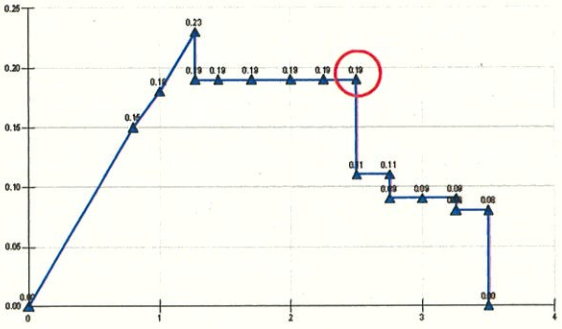
X方向 正加力時 3次診断 B1 階 (CF図)



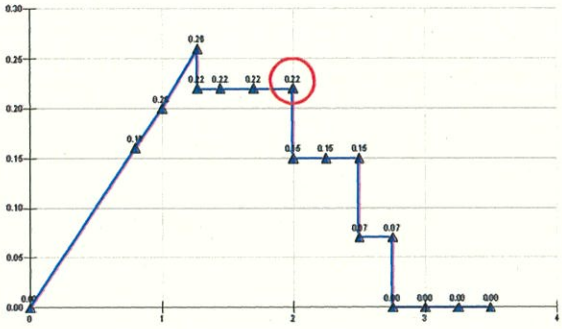
Y方向 正加力時 3次診断 7 階 (CF図)



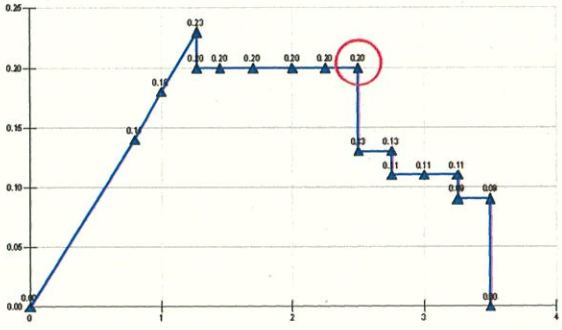
Y方向 正加力時 3次診断 3 階 (CF図)



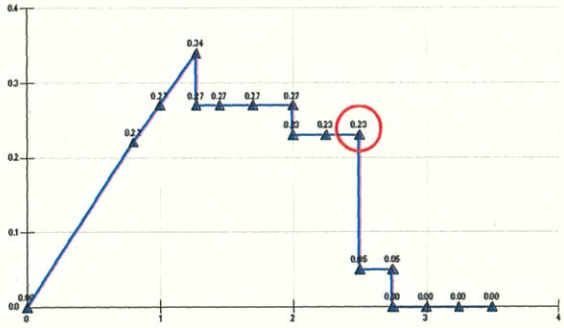
Y方向 正加力時 3次診断 6 階 (CF図)



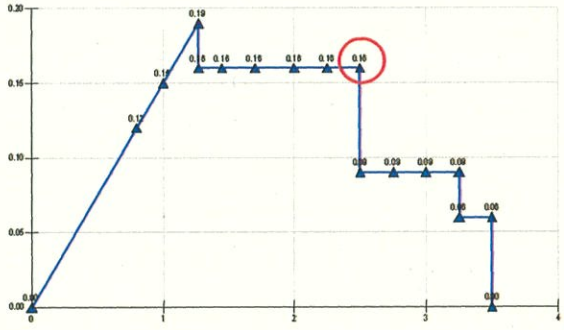
Y方向 正加力時 3次診断 2 階 (CF図)



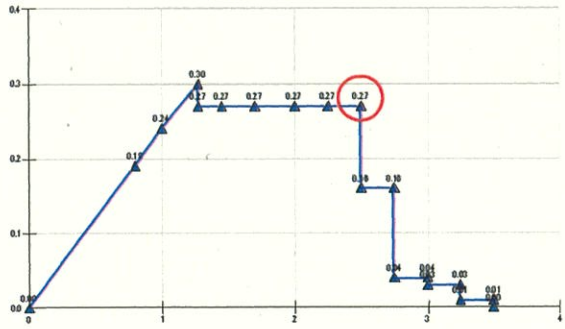
Y方向 正加力時 3次診断 5 階 (CF図)



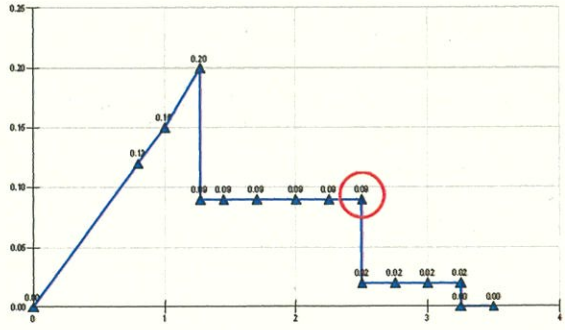
Y方向 正加力時 3次診断 1 階 (CF図)



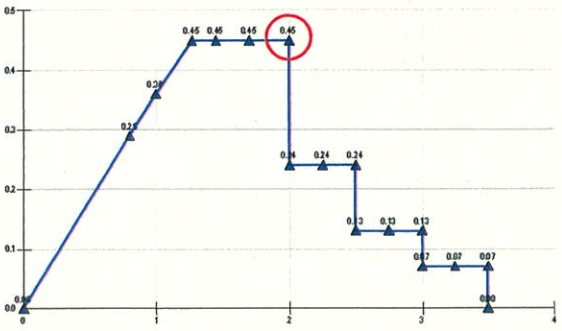
Y方向 正加力時 3次診断 4 階 (CF図)



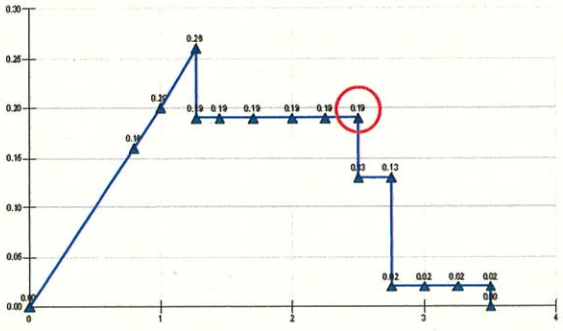
Y方向 正加力時 3次診断 B1 階 (CF図)



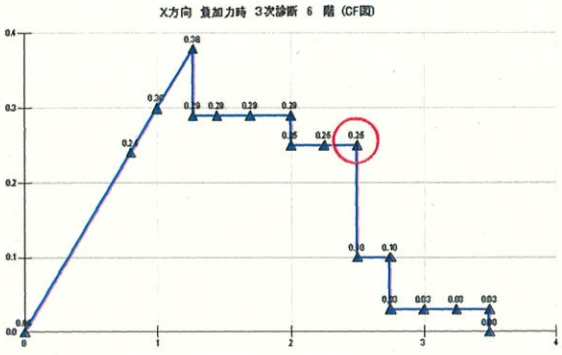
X方向 負加力時 3次診断 7 階 (CF図)



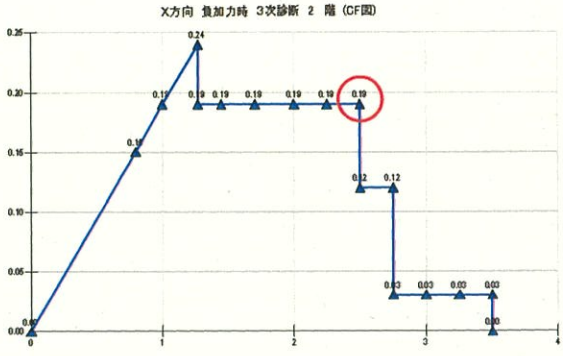
X方向 負加力時 3次診断 3 階 (CF図)



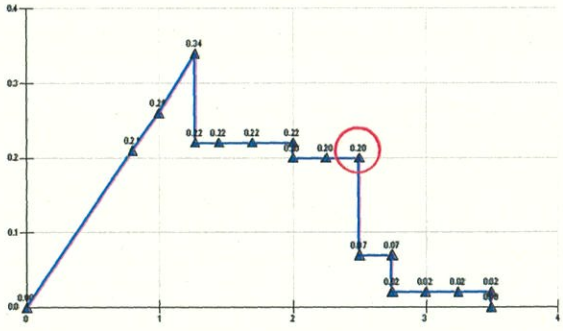
X方向 負加力時 3次診断 6 階 (CF図)



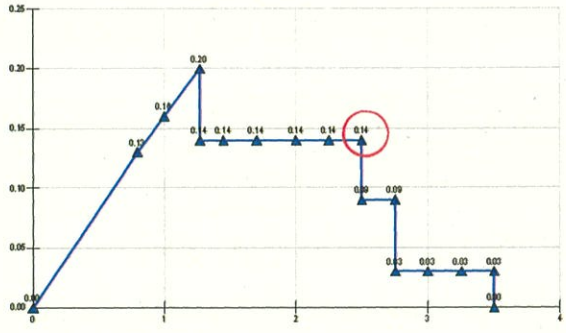
X方向 負加力時 3次診断 2 階 (CF図)



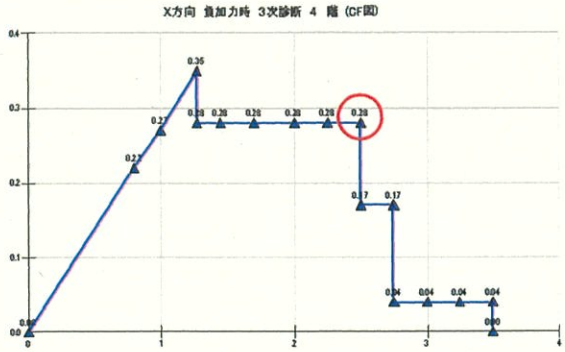
X方向 負加力時 3次診断 5 階 (CF図)



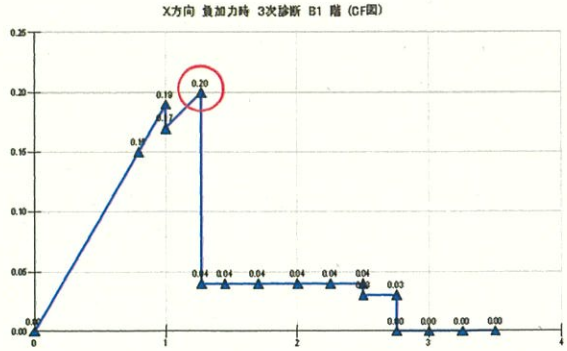
X方向 負加力時 3次診断 1 階 (CF図)



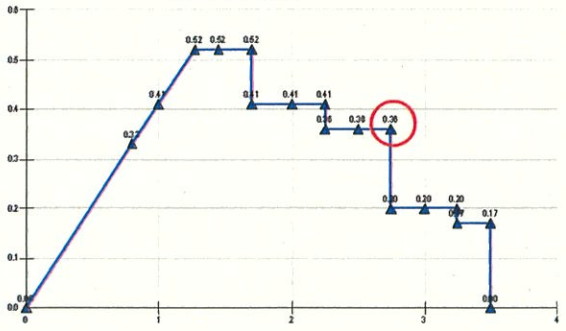
X方向 負加力時 3次診断 4 階 (CF図)



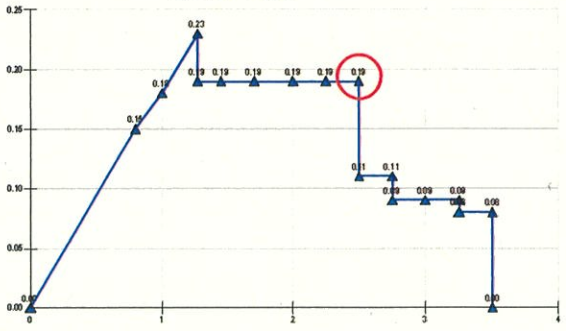
X方向 負加力時 3次診断 B1 階 (CF図)



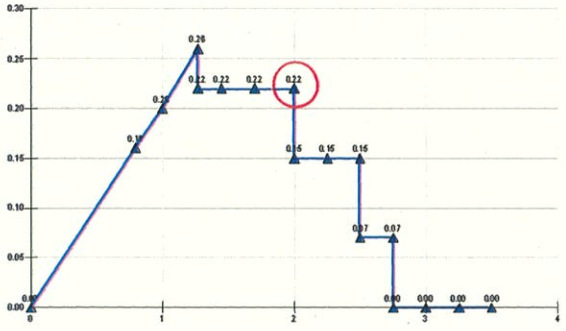
Y方向 負加力時 3次診断 7 階 (CF図)



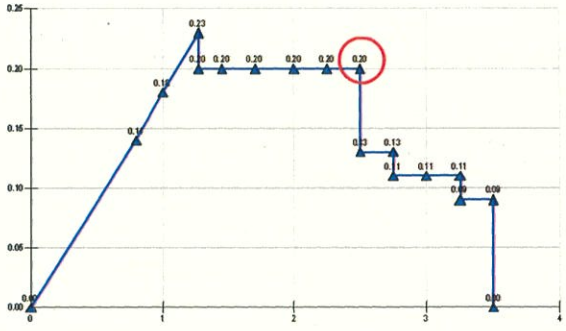
Y方向 負加力時 3次診断 3 階 (CF図)



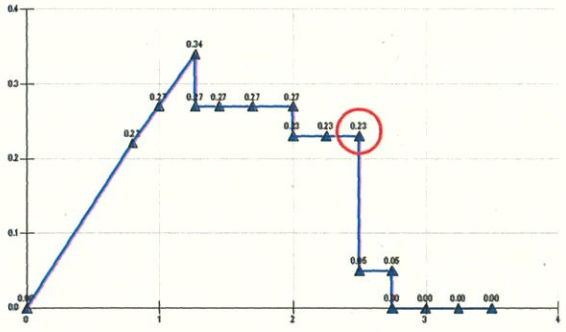
Y方向 負加力時 3次診断 6 階 (CF図)



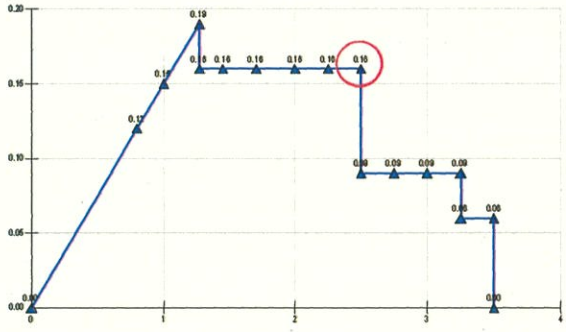
Y方向 負加力時 3次診断 2 階 (CF図)



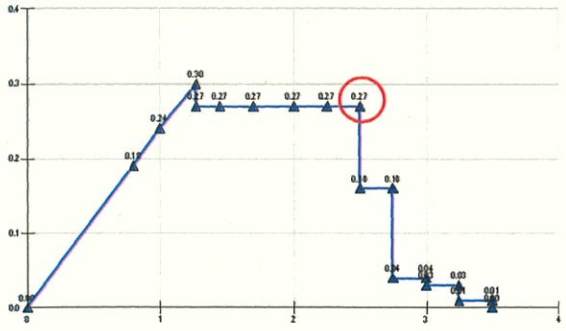
Y方向 負加力時 3次診断 5 階 (CF図)

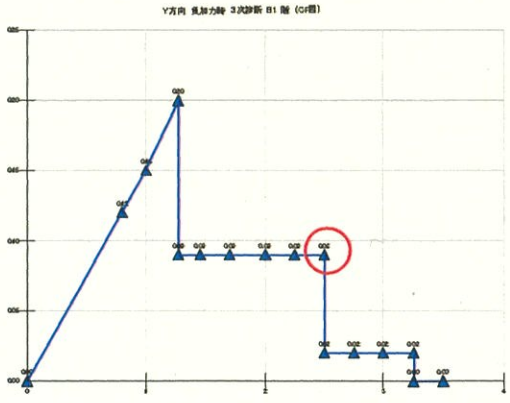


Y方向 負加力時 3次診断 1 階 (CF図)



Y方向 負加力時 3次診断 4 階 (CF図)

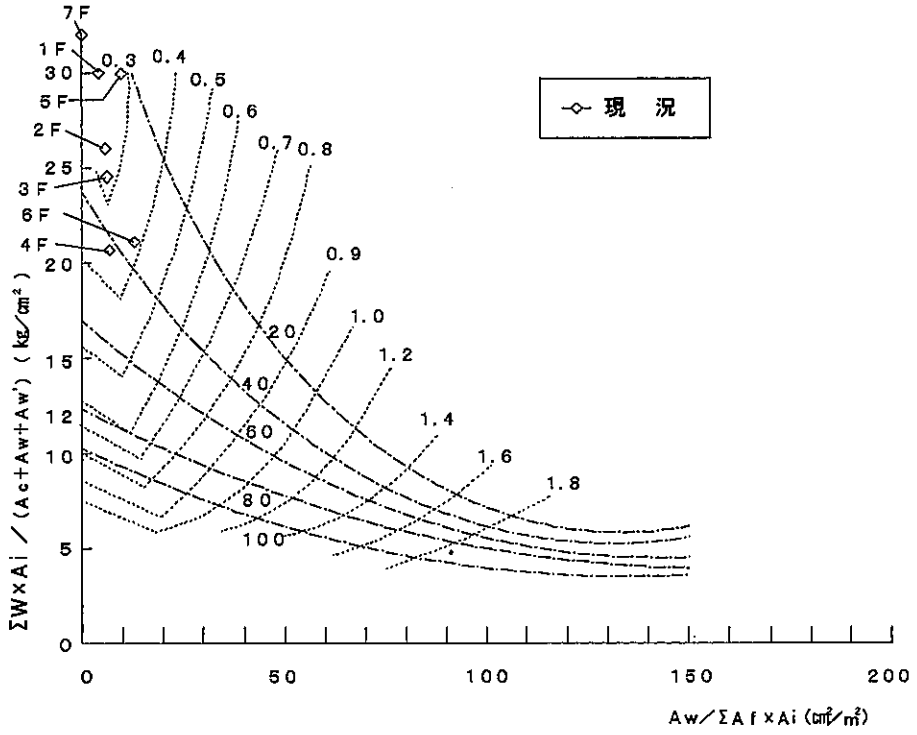




B1F

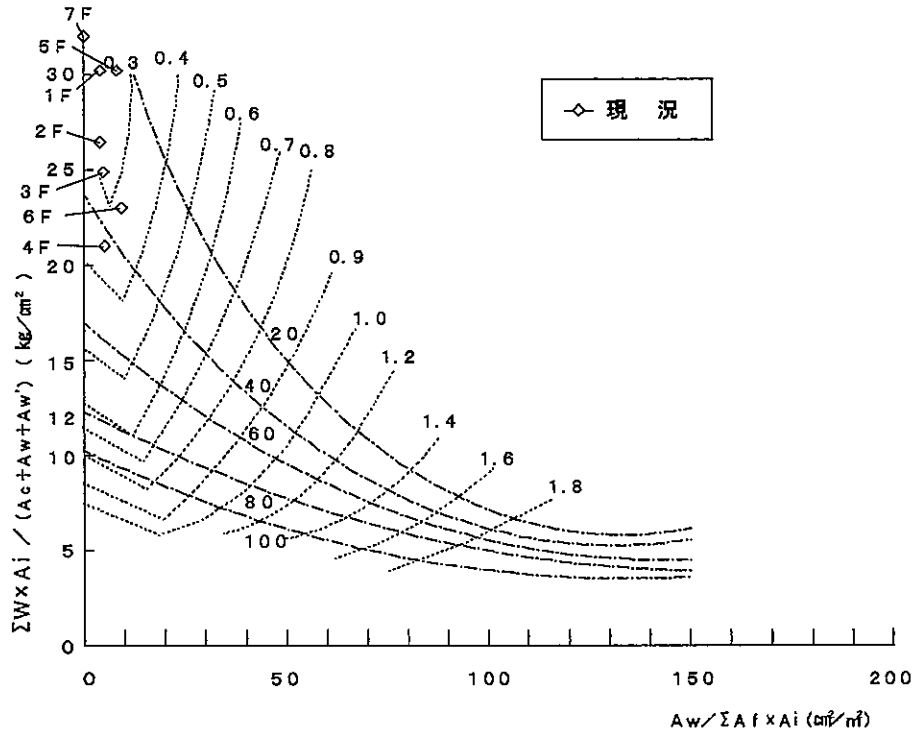
3－4　志賀マップ

X方向



B1F

Y方向



大天守閣

壁・柱量

現況							X方向					Y方向				
階	ΣWi (kN)	ΣWi (×10³kg)	ΣAfi (m²)	Ai	ΣAfi×Ai (m²)	ΣWi×Ai (×10³kg)	Aw (×10³cm²)	Ac (×10³cm²)	Aw' (×10³cm²)	Aw / ΣAfi·Ai (cm²/m²)	ΣWi×Ai / Ac+Aw+Aw' (kg/cm²)	Aw (×10³cm²)	Ac (×10³cm²)	Aw' (×10³cm²)	Aw / ΣAfi·Ai (cm²/m²)	ΣWi×Ai / Ac+Aw+Aw' (kg/cm²)
7階	4160.3	424.5	434.8	2.960	1287.1	1256.6	0.00	37.40	0.00	0.0	33.6	0.00	37.40	0.00	0.0	33.6
6階	9100.3	928.6	952.4	2.289	2180.0	2125.8	28.95	72.00	0.00	13.3	21.1	20.24	72.00	0.00	9.3	23.0
5階	13502.1	1377.8	1123.7	2.023	2273.2	2787.2	22.52	72.00	0.00	9.9	29.5	19.28	72.00	0.00	8.5	30.5
4階	23967.7	2445.7	2018.1	1.686	3402.5	4123.4	21.92	177.87	0.00	6.4	20.6	18.83	177.87	0.00	5.5	21.0
3階	30810.7	3143.9	2364.4	1.549	3662.5	4870.0	21.92	177.87	0.00	6.0	24.4	18.83	177.87	0.00	5.1	24.8
2階	40224.5	5022.9	3902.1	1.289	5029.8	6474.5	28.26	221.22	0.00	5.6	26.0	24.38	221.22	0.00	4.8	26.4
1階	64819.8	6614.3	5431.9	1.123	6100.0	7427.8	28.26	221.22	0.00	4.6	29.8	24.38	221.22	0.00	4.0	30.2
B1階	78277.9	7987.5	6642.9	1.000	6642.9	7987.5	38.83	134.48	0.00	5.8	46.1	30.79	134.48	0.00	4.6	48.3

３－５　既存建物の所見

耐震診断結果表を、３－２　既存建物診断結果に示す。
以下に本建物の構造的及び耐震上の特徴を記載する。

（１）構造概要

本建物は、地下1階・地上7階からなり、主体構造は鉄骨部がラチス形式の鉄骨鉄筋コンクリート造である。

平面形状は整形であり、架構形式は両方向とも耐震壁付ラーメン架構である。また、外周架構は、地下1階に柱が無く片持ち形式となっており、1階床の先端部を5階からの斜材により吊られている形状になっている。

コンクリート強度については、前回診断時及び今回診断時にコア供試体による圧縮強度試験を実施し、設計基準強度（150kg/cm^2）を上回っていることを確認している。

（２）耐震診断結果

１）架構

（Ｘ方向）

7階においては、耐震壁が不在であり、剛性率が規定値から大きく外れている事から、Ｉｓ値、ＣＴ・ＳＤ値とも目標値を大きく下回っている。Ｂ1階から６階は、曲げ壁またはせん断壁の連層耐震壁とせん断梁支配型柱となっており、全体的にＦ値は2.00～2.50程度となっている。

耐震性能を示すＩｓ値は、Ｂ1階～7階は0.14～0.40であり、各階とも0.60を下回っている。ＣＴ・ＳＤ値もＢ1階～7階は0.08～0.18であり、各階とも0.28を下回っている。

（Ｙ方向）

7階においては、耐震壁が不在であり、剛性率が規定値から大きく外れている事から、Ｉｓ値、ＣＴ・ＳＤ値とも目標値を大きく下回っている。Ｂ1階から６階は、曲げ壁又はせん断壁の連層耐震壁とせん断梁支配型柱となっており、全体的にＦ値は2.00～2.50程度となっている。

耐震性能を示すＩｓ値は、Ｂ1階～7階は0.18～0.38であり、各階とも0.60を下回っている。ＣＴ・ＳＤ値もＢ1階～7階は0.07～0.16であり、各階とも0.28を下回っている。

以上より、X方向Ｂ1～7階及びY方向Ｂ1～7階でI_s値が0.6を、また、X方向Ｂ1～7階及びY方向Ｂ1～7階でCT・SD値が0.28を下回っているため、当該部分での補強が必要であると判断される。

なお、この結果は、平成9年度に実施した診断結果と類似した結果となっている。（参考資料参照）

2）跳ね出し部

1階～5階の跳ね出し部分を支持している斜め柱の鉛直方向に対する検討の結果、長期荷重に対しては、問題はないことを確認した。地震時における許容鉛直震度は0.75程度である。その他の屋根跳ね出し部については、跳ね出し部のスラブは片持梁により３辺で固定されており問題なく、そのスラブを支持する片持梁については、鉛直方向に対する検討の結果、長期荷重に対しては問題ないことを確認した。地震時における許容鉛直震度は0.67程度である。

3）ケーソン基礎

基礎のケーソンについては、負担している重量は地盤の鉛直許容支持力以下であることを確認した。また、地震時水平力に対しても、安全であることを確認した。

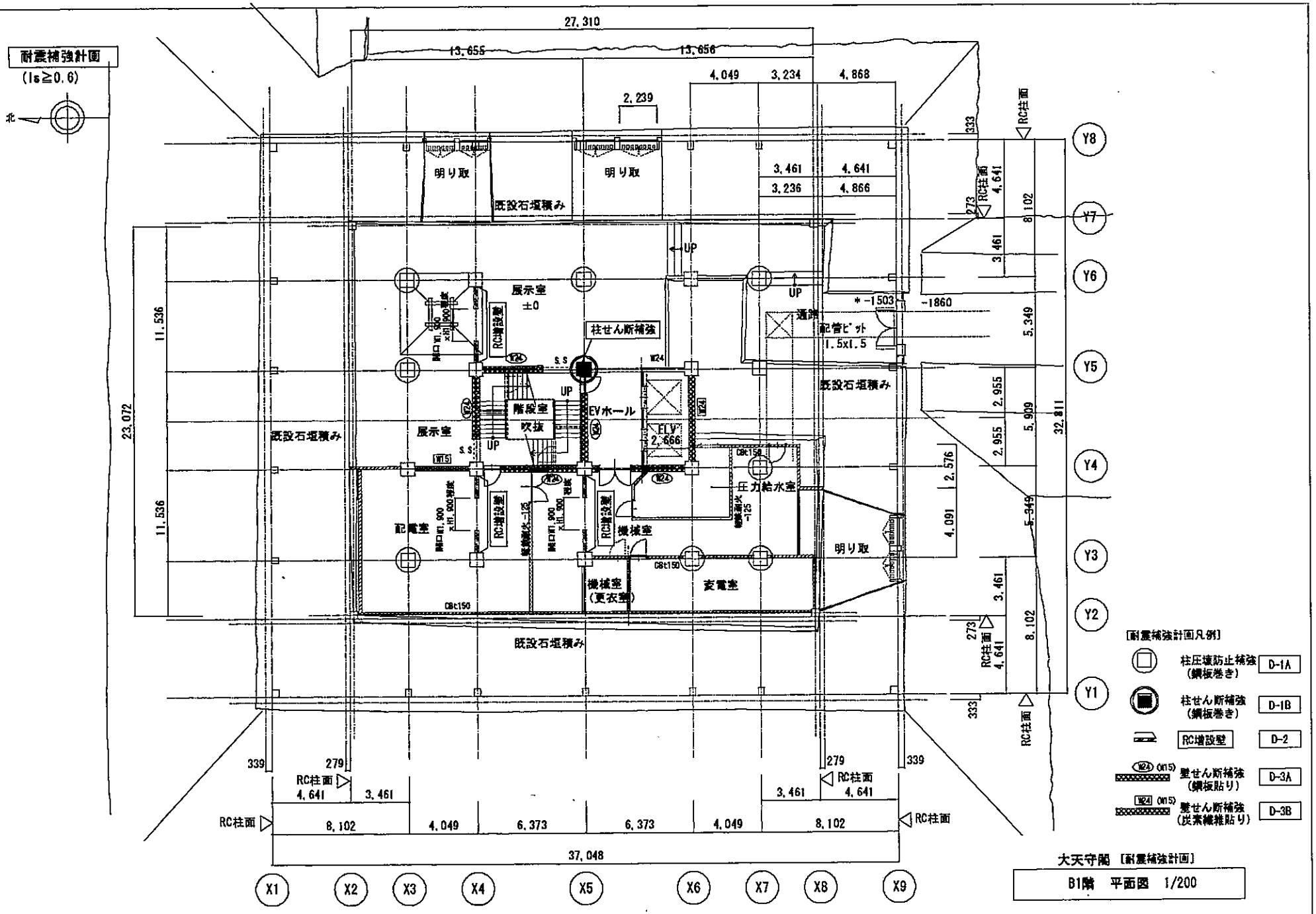
なお、改修の実施設計にあたり、石垣部を含め、水平力に対する地盤特性、地震時の液状化等に対する詳細な地盤調査が必要である。

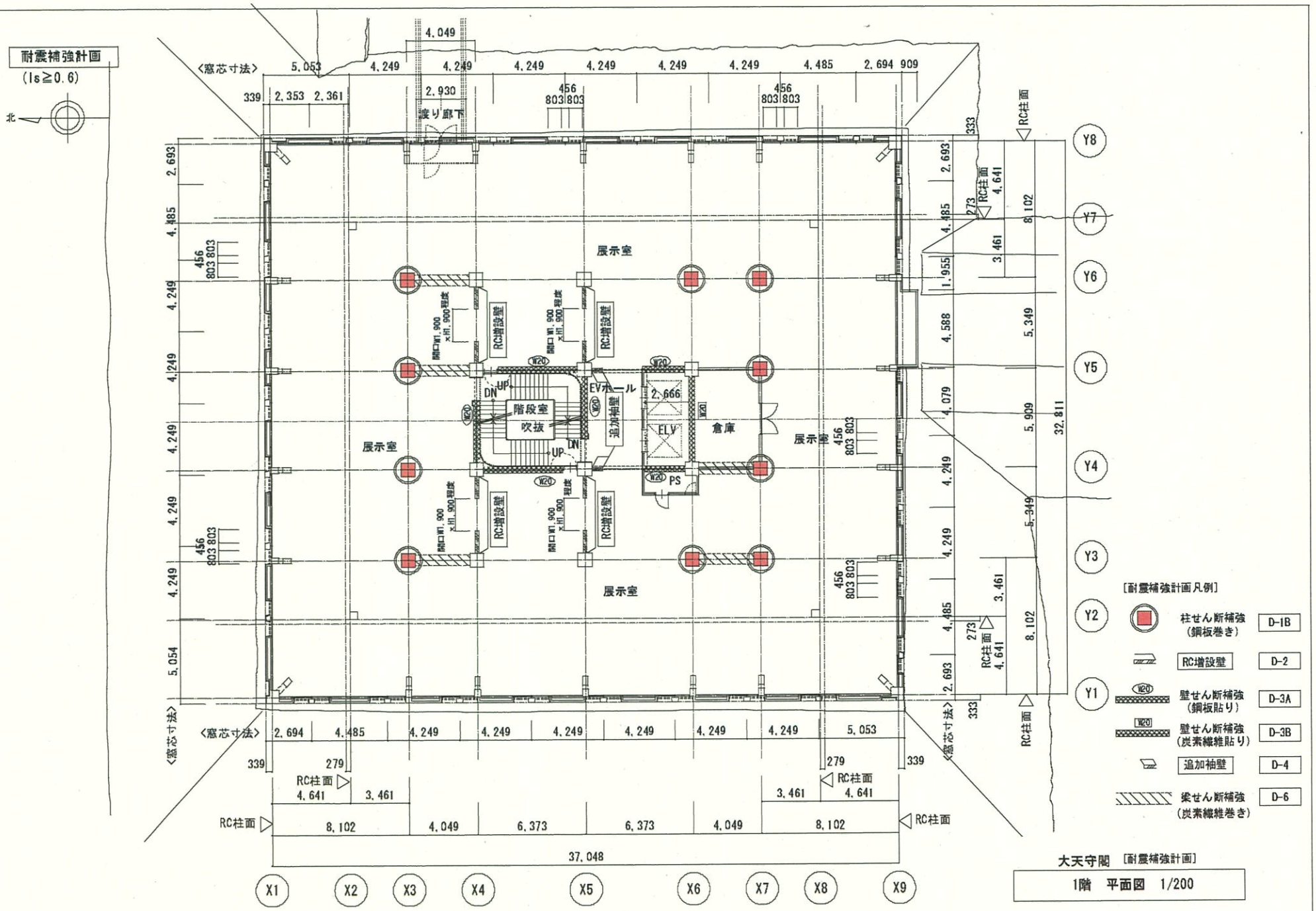
4）屋根瓦

屋根は、初層の本瓦葺き以外は銅板葺きである。本瓦葺きの施工方法については、当時の図面及び写真から、漆喰の上に三枚重ねとし、重量を持たせる仕組みとなっている。なお、一定のピッチで横桟代わりのワイヤーを入れて、所々番線固定を行っているように伺えるが、今回の調査では詳細は不明である。改修に際しては、現状の固定方法や腐食具合を調査し、地震時の落下の危険性を確認する必要がある。

4．補強計画

4－1　補強計画図

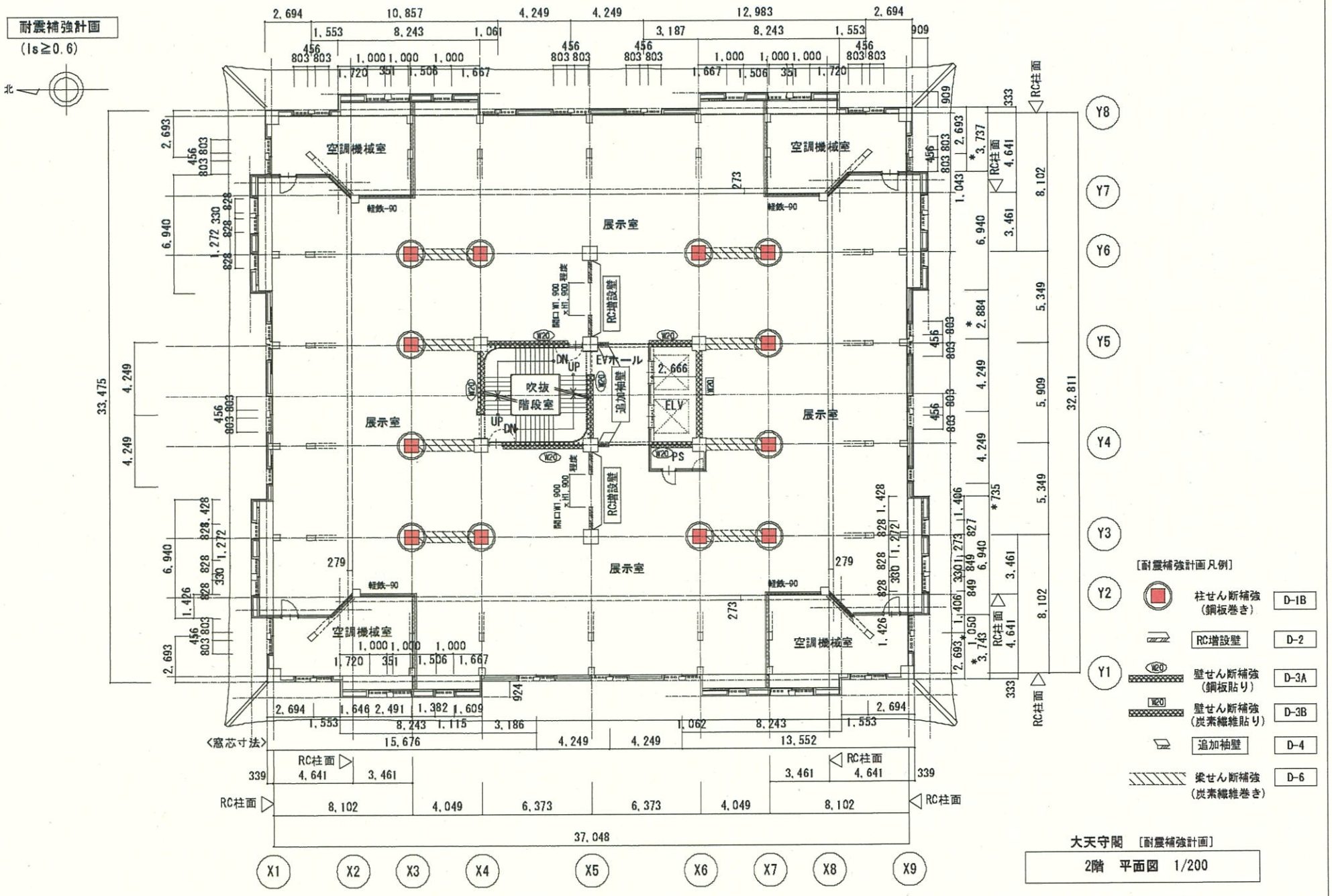

耐震補強計画
(Is≧0.6)
北
27,310
13,655
13,656
4,049
3,234
4,868
2,239
明り取
既設石垣積み
展示室
±0
柱せん断補強
RC増設壁
UP
通路
配管ピット
1.5x1.5
*-1503
-1860
階段室
吹抜
EVホール
ELV
2,666
圧力給水室
配電室
機械室
機械室
(更衣室)
変電室
RC柱面
3,461
4,641
3,236
4,866
8,102
5,349
2,955
5,909
32,811
2,576
4,091
5,349
11,536
23,072
339
279
8,102
4,049
6,373
37,048
Y8
Y7
Y6
Y5
Y4
Y3
Y2
Y1
X1
X2
X3
X4
X5
X6
X7
X8
X9
[耐震補強計画凡例]
柱圧壊防止補強(鋼板巻き) D-1A
柱せん断補強(鋼板巻き) D-1B
RC増設壁 D-2
壁せん断補強(鋼板貼り) D-3A
壁せん断補強(炭素繊維貼り) D-3B
大天守閣 [耐震補強計画]
B1階 平面図 1/200



大天守閣 [耐震補強計画]

1階 平面図 1/200

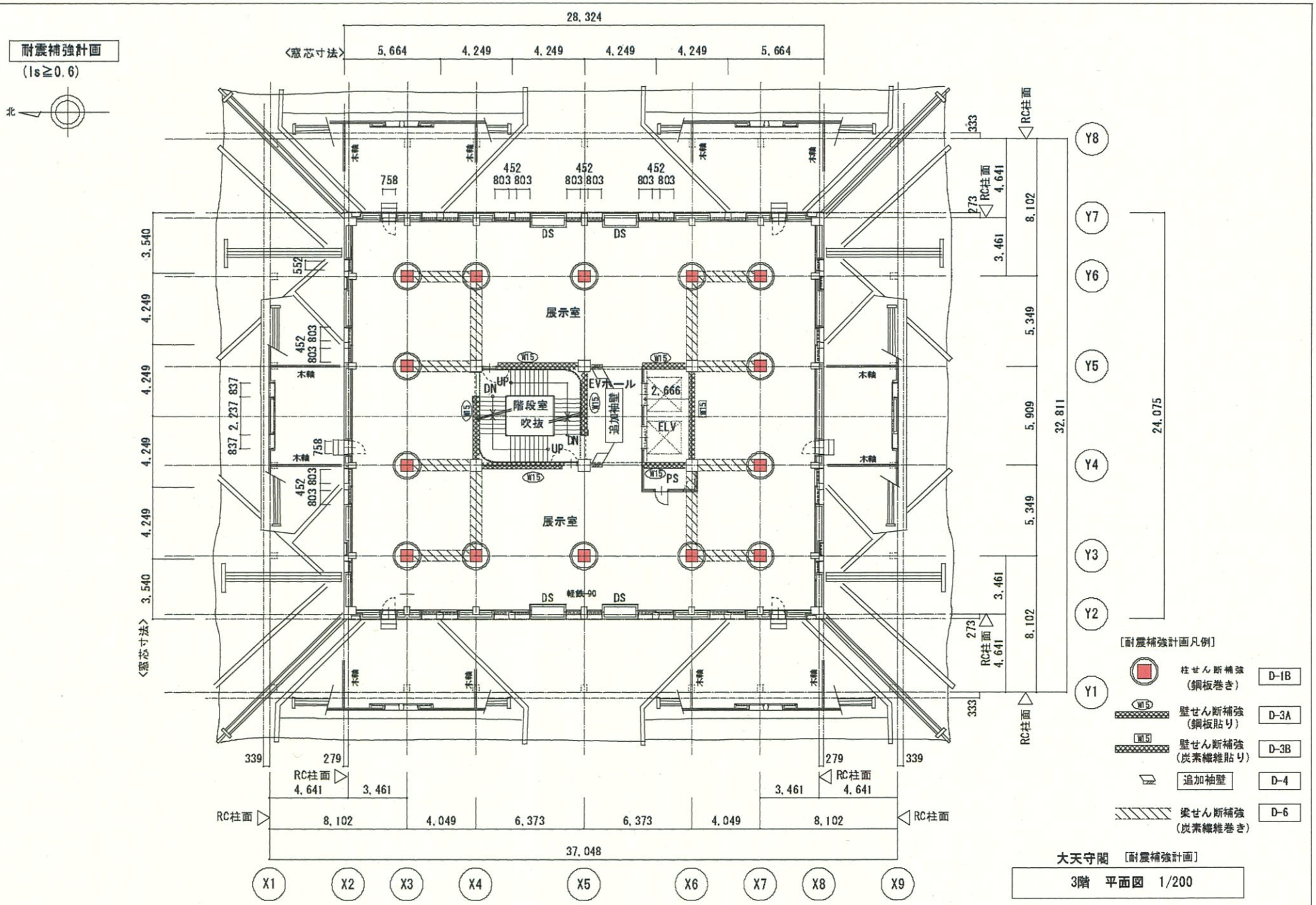
耐震補強計画
(Is≧0.6)



大天守閣 [耐震補強計画]

2階 平面図 1/200

耐震補強計画
(Is≧0.6)



[耐震補強計画凡例]

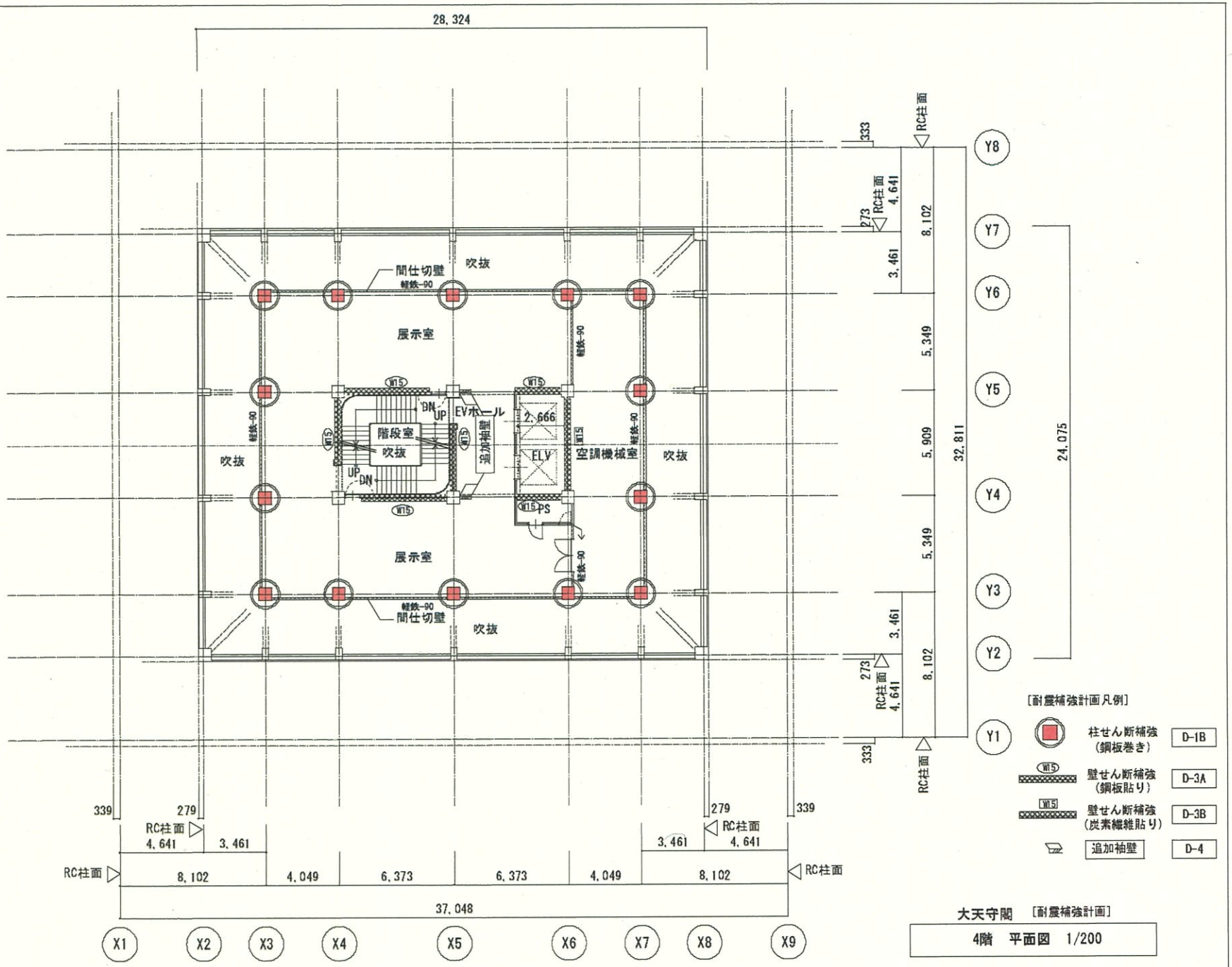
	柱せん断補強（鋼板巻き）	D-1B
W15	壁せん断補強（鋼板貼り）	D-3A
W15	壁せん断補強（炭素繊維貼り）	D-3B
	追加袖壁	D-4
	梁せん断補強（炭素繊維巻き）	D-6

大天守閣 [耐震補強計画]

3階 平面図 1/200

耐震補強計画
(Is≧0.6)

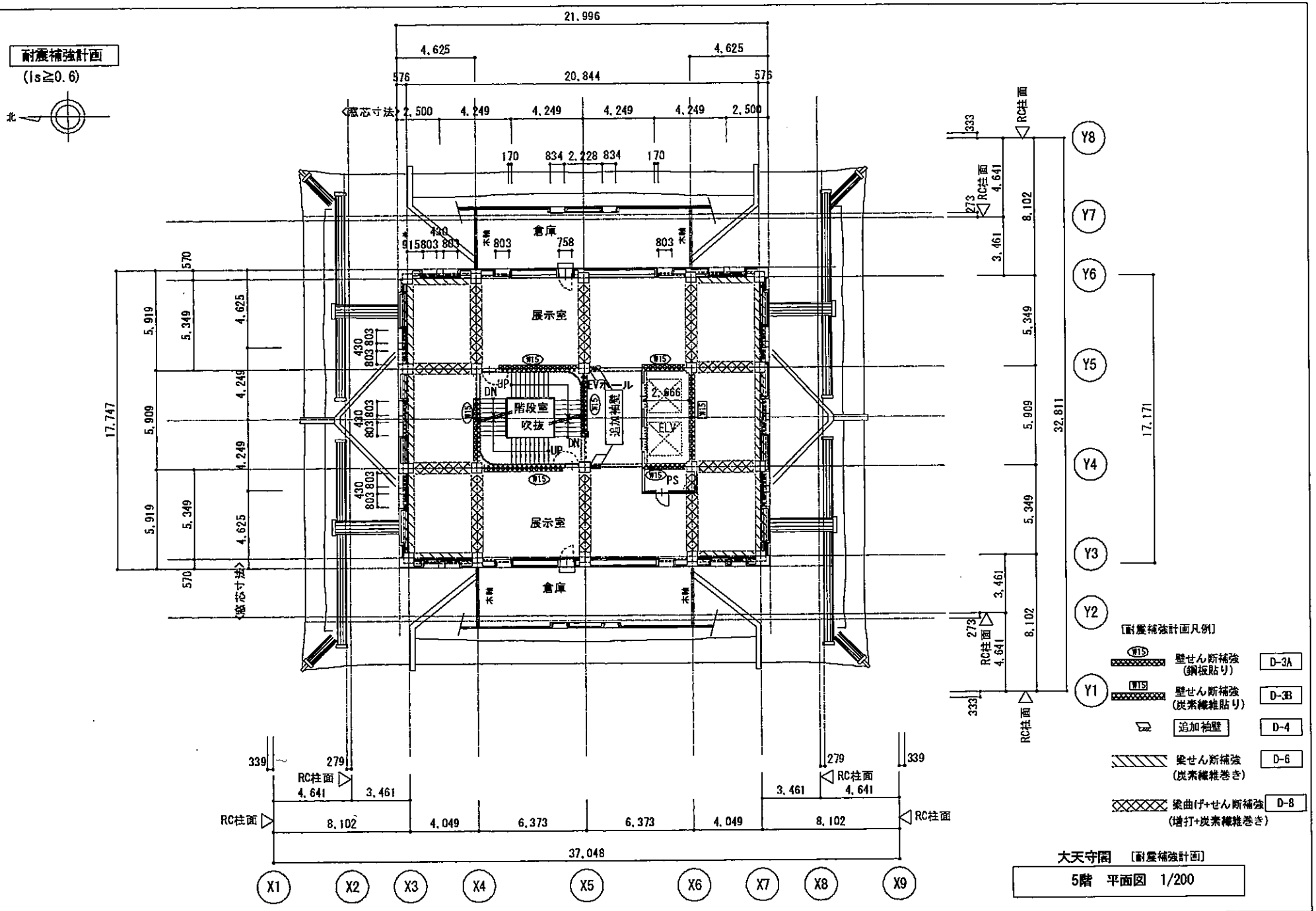




大天守閣 [耐震補強計画]

4階 平面図 1/200

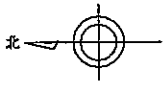
耐震補強計画
(Is≧0.6)

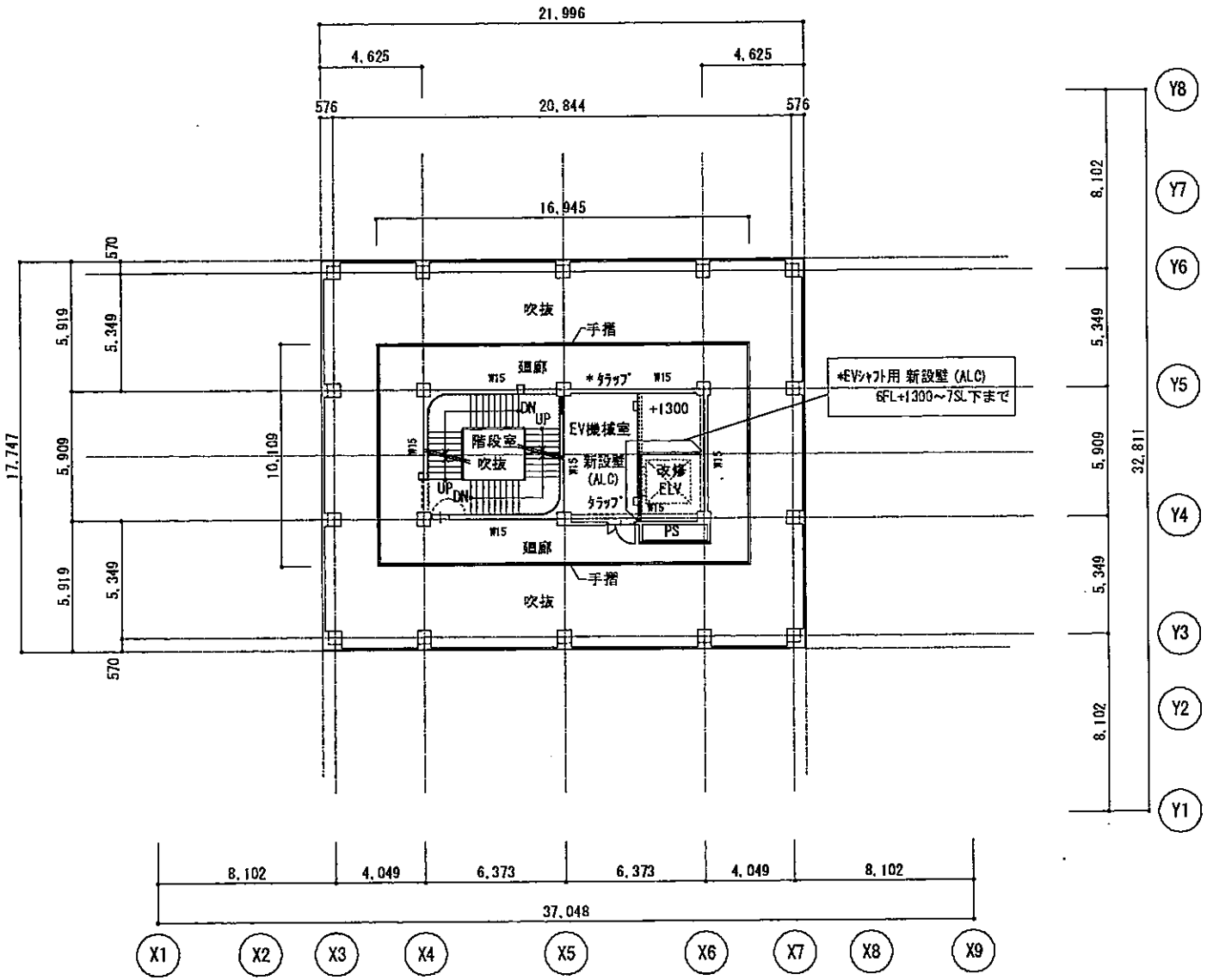


大天守閣 [耐震補強計画]

5階 平面図 1/200

耐震補強計画
(Is≧0.6)

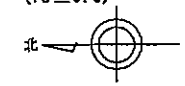


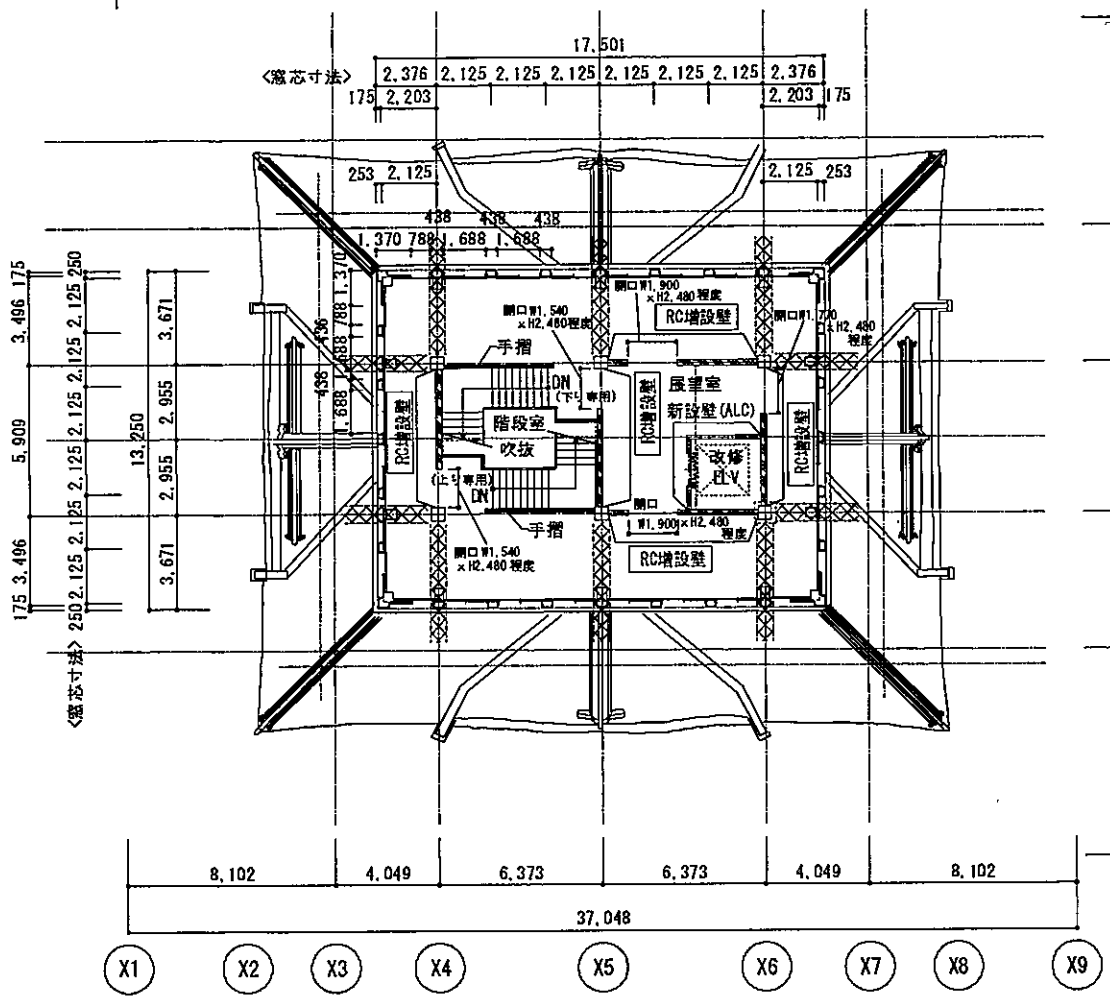


大天守閣

6階　平面図　1/200

耐震補強計画
(Is≧0.6)

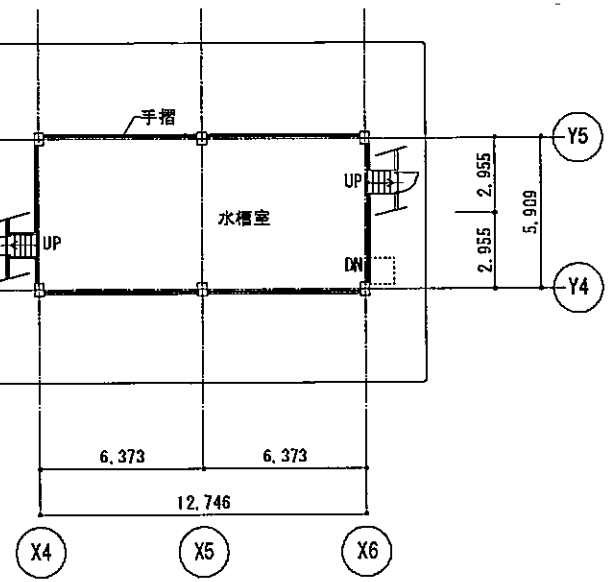




大天守閣 [耐震補強計画]

7階 平面図 1/200

(ケース1)



大天守閣

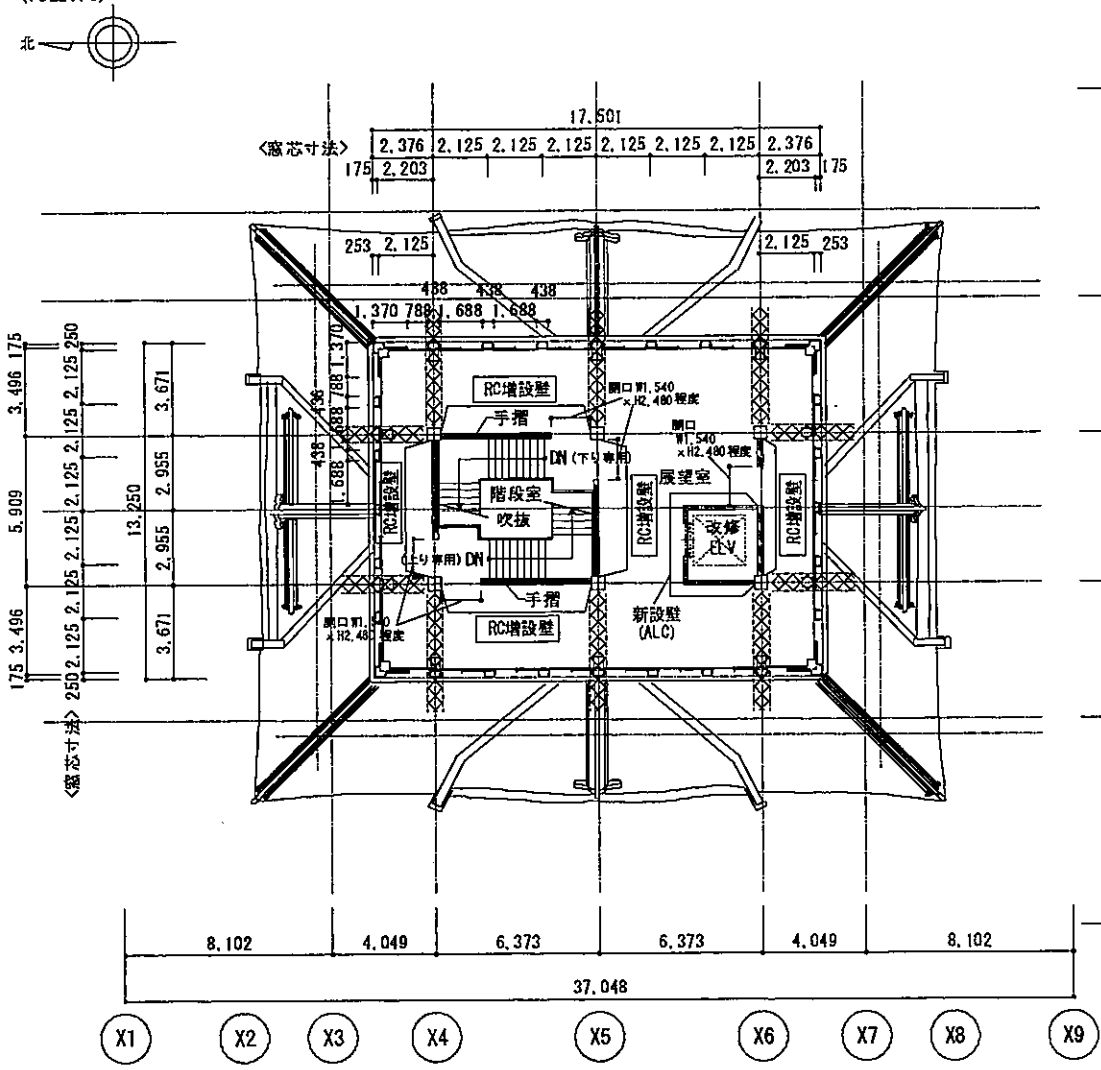
PH階 平面図 1/200

[耐震補強計画凡例]

RC増設壁 D-2

梁曲げ+せん断補強 D-8
(増打+炭素繊維巻き)

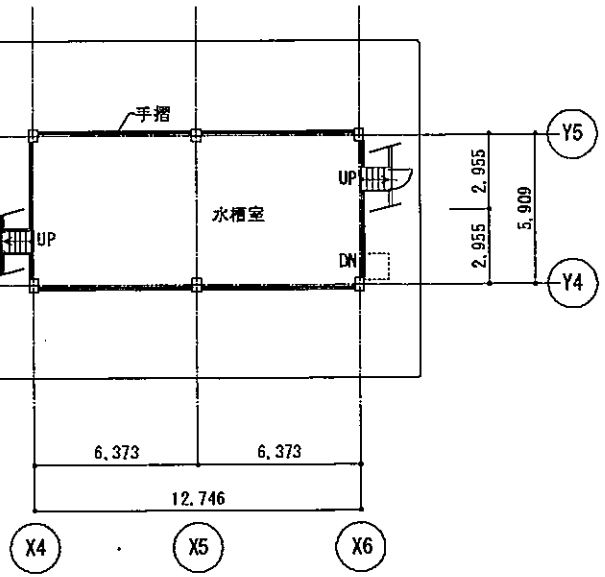
耐震補強計画
(Is≧0.6)



大天守閣 [耐震補強計画]

7階 平面図 1/200

(ケース2)



大天守閣

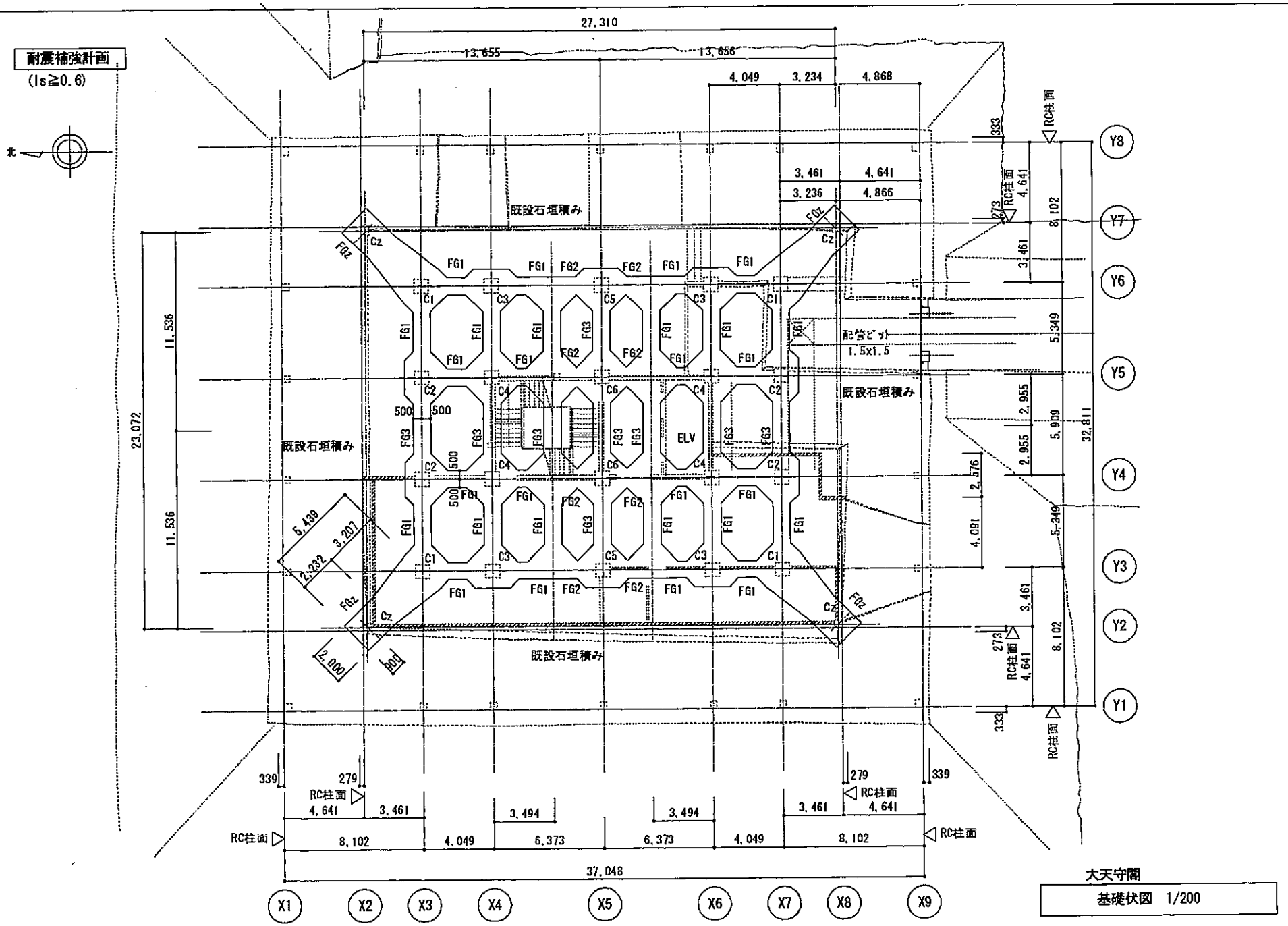
PH階 平面図 1/200

[耐震補強計画凡例]

RC増設壁 D-2

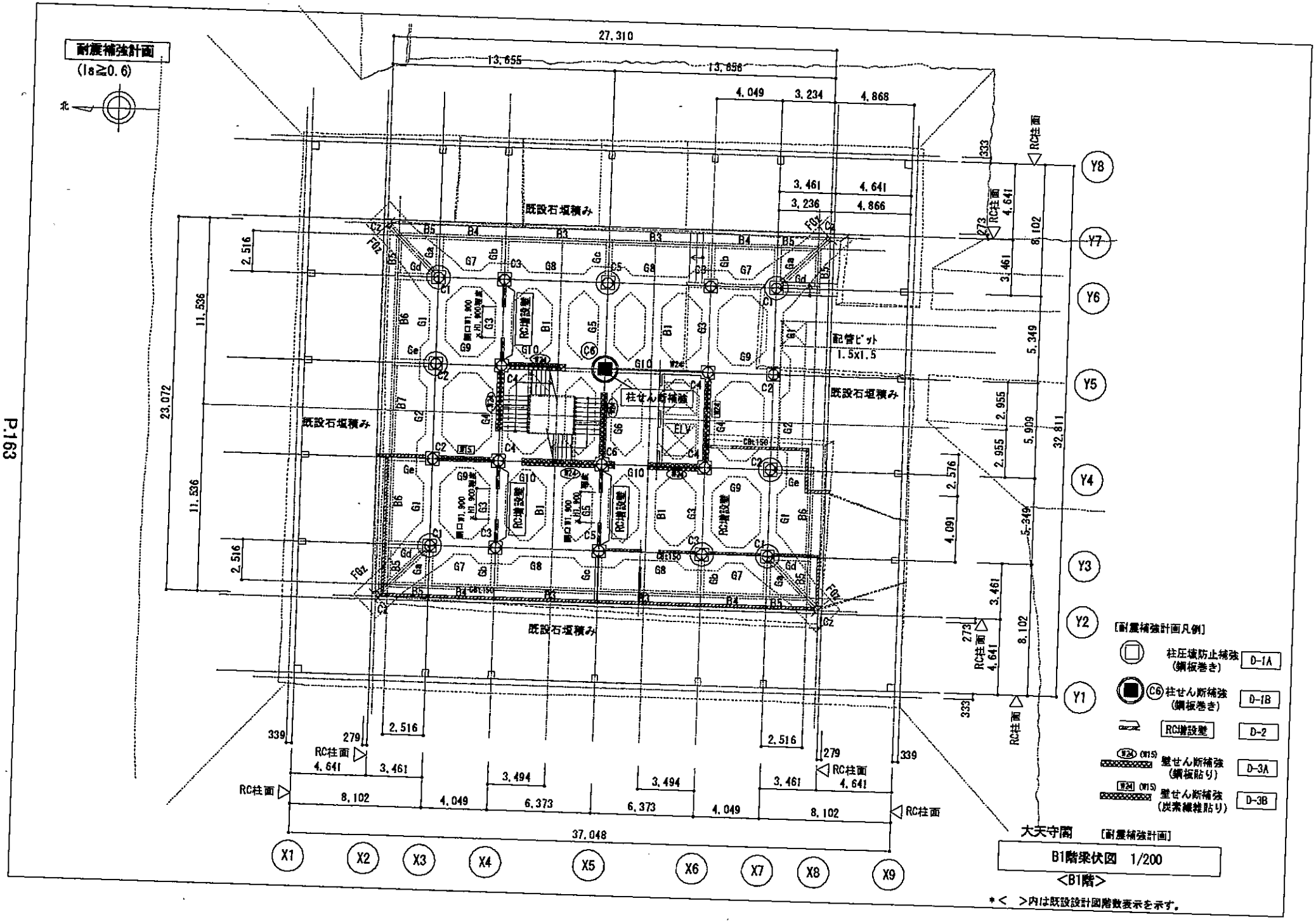
梁曲げ+せん断補強 D-8
(増打+炭素繊維巻き)

耐震補強計画
(Is≧0.6)

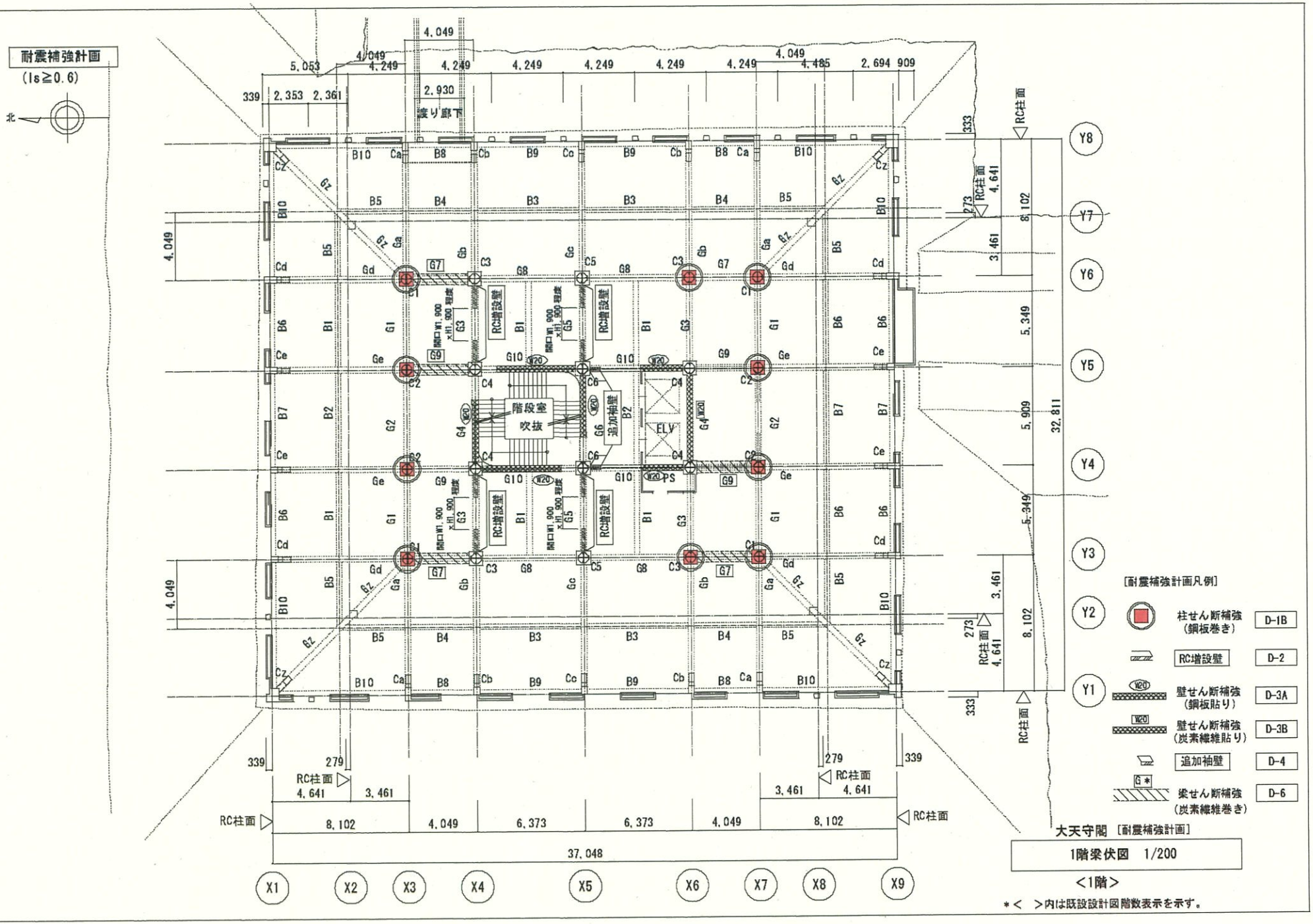


大天守閣

基礎伏図 1/200


耐震補強計画
(Is≧0.6)
北
27,310
13,655
13,656
4,049
3,234
4,868
3,461
4,641
3,236
4,866
既設石垣積み
RC増設壁
柱せん断補強
配管ピット
1.5X1.5
ELV
RC柱面
Y8
Y7
Y6
Y5
Y4
Y3
Y2
Y1
X1
X2
X3
X4
X5
X6
X7
X8
X9
23,072
11,536
2,516
5,349
2,955
5,909
32,811
2,576
4,091
8,102
339
279
3,494
6,373
37,048
[耐震補強計画凡例]
柱圧壊防止補強(鋼板巻き) D-1A
C6 柱せん断補強(鋼板巻き) D-1B
RC増設壁 D-2
壁せん断補強(鋼板貼り) D-3A
壁せん断補強(炭素繊維貼り) D-3B
大天守閣 [耐震補強計画]
B1階梁伏図 1/200
<B1階>
*< >内は既設設計図階数表示を示す。

耐震補強計画
(Is≧0.6)



大天守閣 [耐震補強計画]

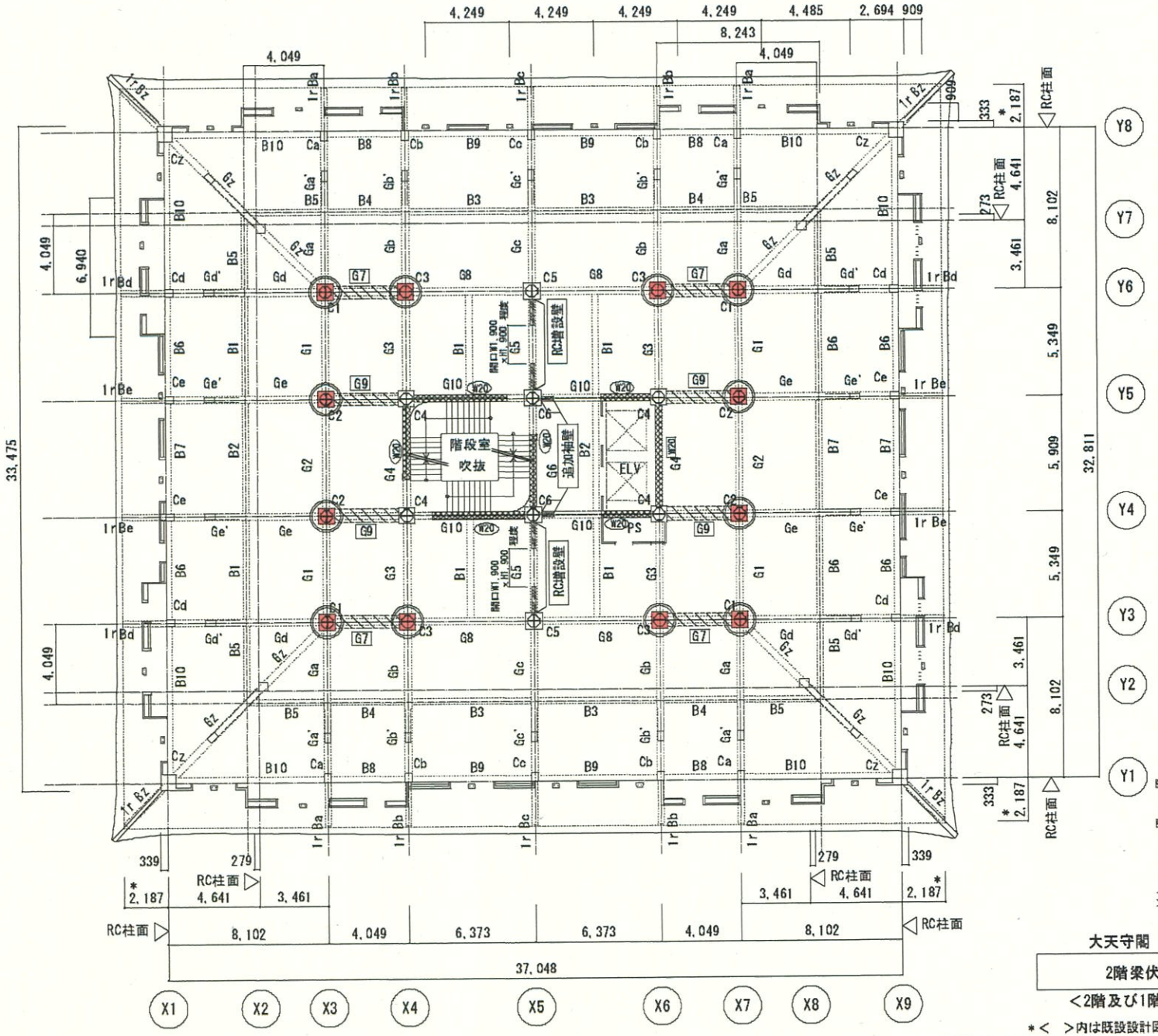
1階梁伏図 1/200

<1階>

＊< >内は既設設計図階数表示を示す。

耐震補強計画
(Is≧0.6)





[耐震補強計画凡例]

	柱せん断補強（鋼板巻き）	D-1B
	RC増設壁	D-2
W20	壁せん断補強（鋼板貼り）	D-3A
W20	壁せん断補強（炭素繊維貼り）	D-3B
	追加袖壁	D-4
G*	梁せん断補強（炭素繊維巻き）	D-6

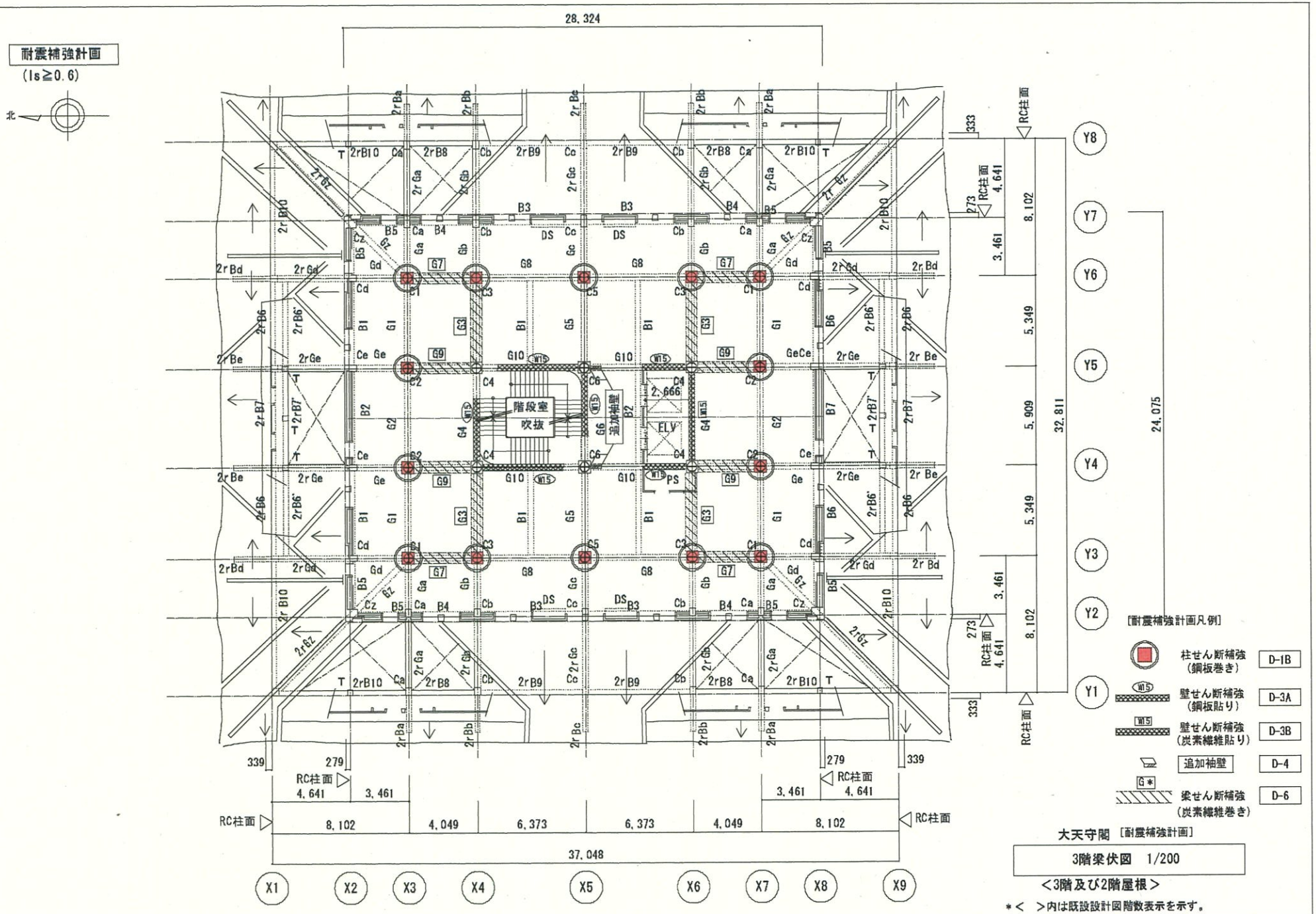
大天守閣 [耐震補強計画]

2階梁伏図 1/200

<2階及び1階屋根>

*< >内は既設設計図階数表示を示す。

耐震補強計画
(Is≧0.6)



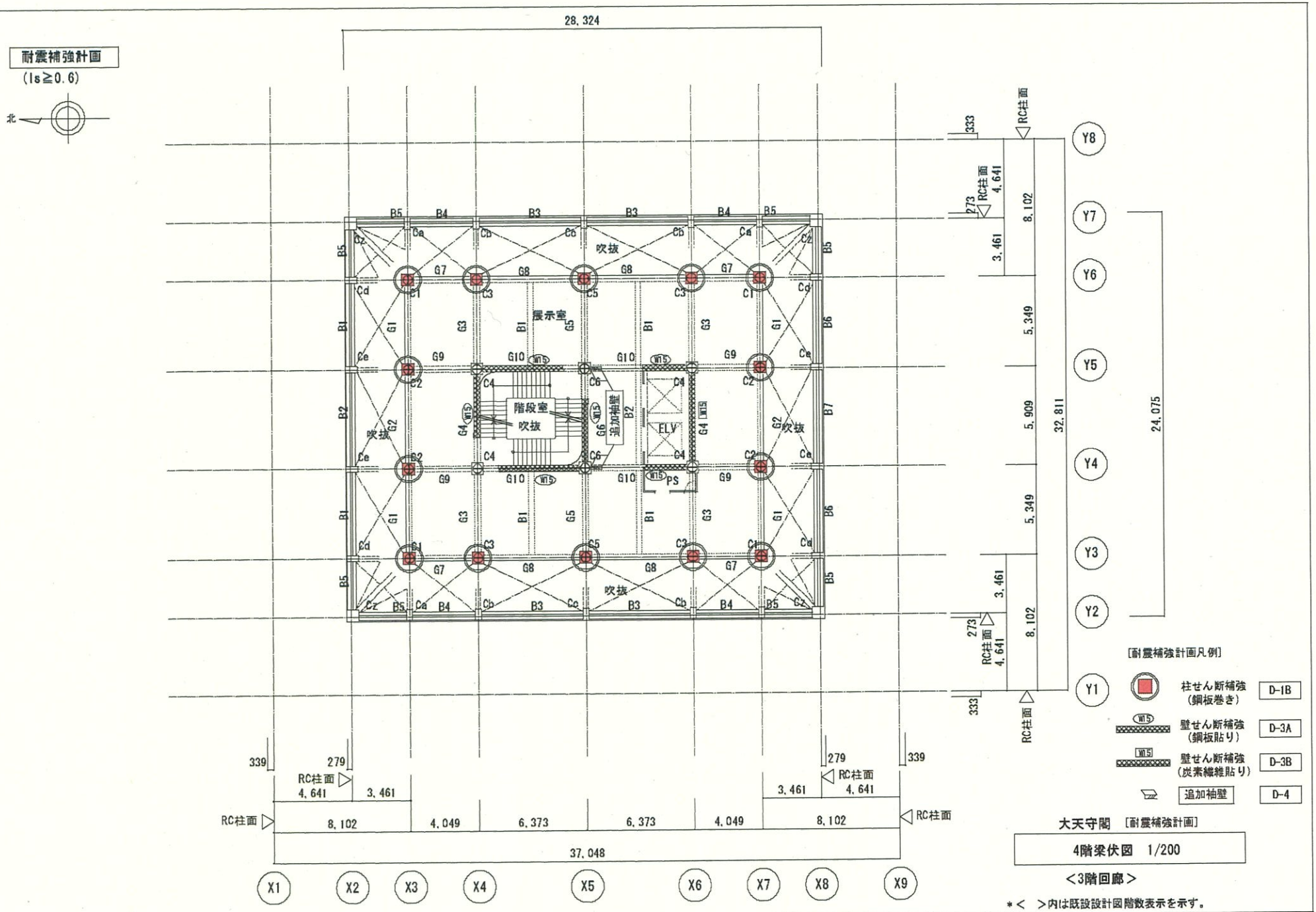
大天守閣 [耐震補強計画]

3階梁伏図 1/200

<3階及び2階屋根>

＊< >内は既設設計図階数表示を示す。

耐震補強計画
(Is≧0.6)



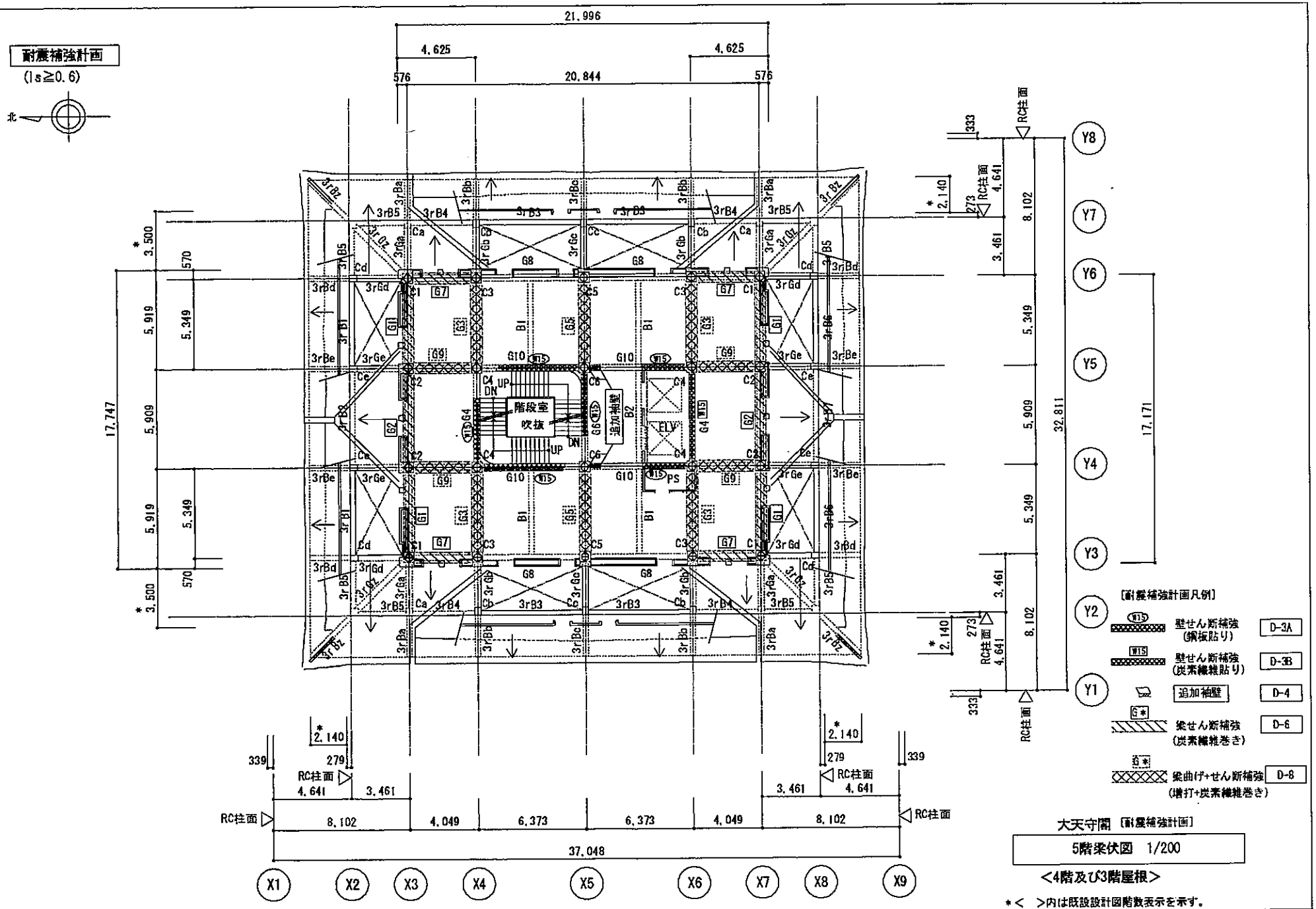
大天守閣 [耐震補強計画]

4階梁伏図 1/200

<3階回廊>

＊< >内は既設設計図階数表示を示す。

耐震補強計画
(Is≧0.6)



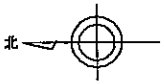
大天守閣 [耐震補強計画]

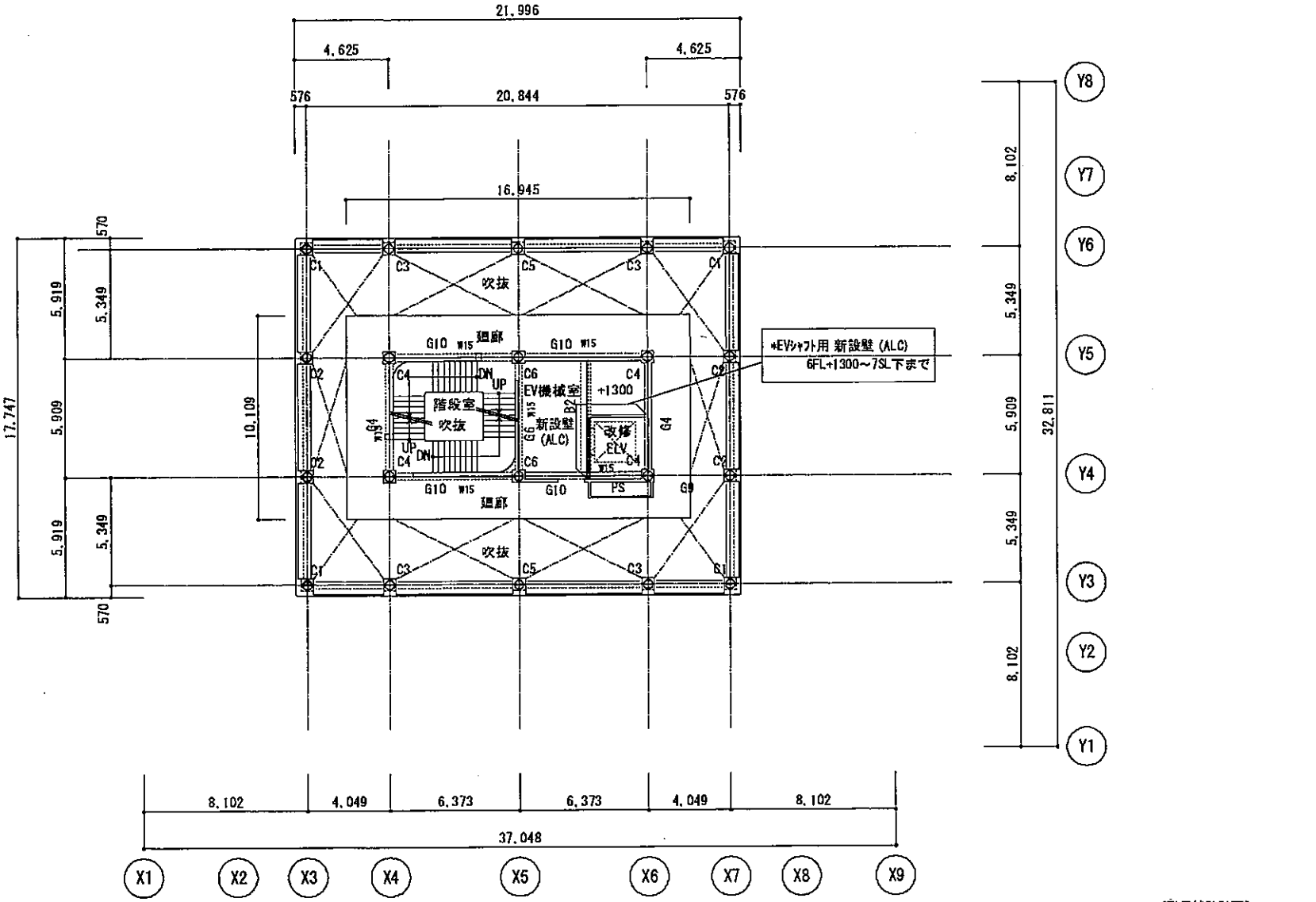
5階梁伏図 1/200

<4階及び3階屋根>

*< >内は既設設計図階数表示を示す。

耐震補強計画
(Is≧0.6)





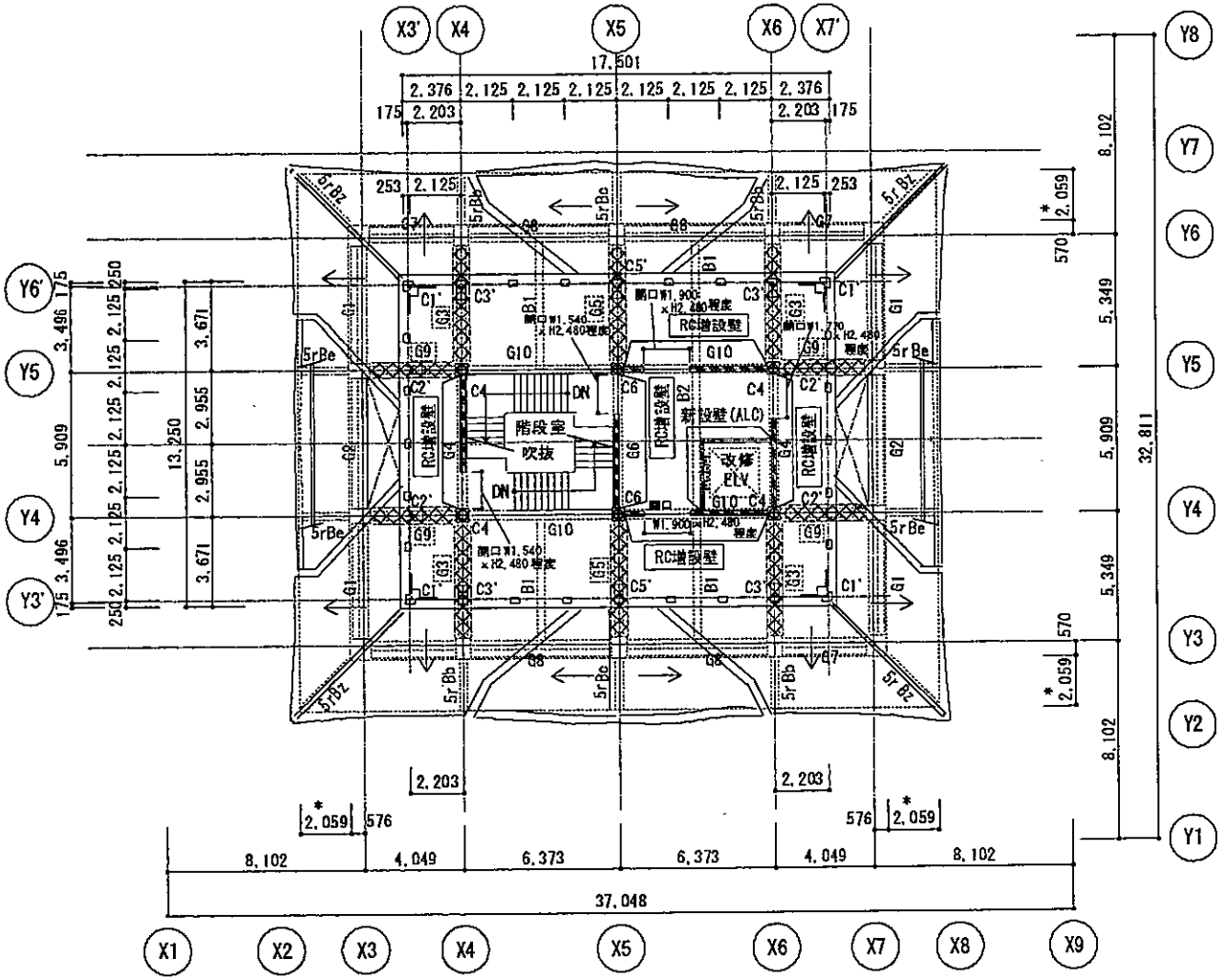
大天守閣 [耐震補強計画]

6階梁伏図 1/200

<4階回廊>

＊< >内は既設設計図階数表示を示す。

耐震補強計画
(Is≧0.6)



(ケース1)

[耐震補強計画凡例]

RC増設壁 D-2

梁曲げ+せん断補強 D-8
(増打+炭素繊維巻き)

大天守閣 [耐震補強計画]

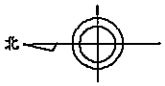
7階梁・5階屋根伏図 1/200

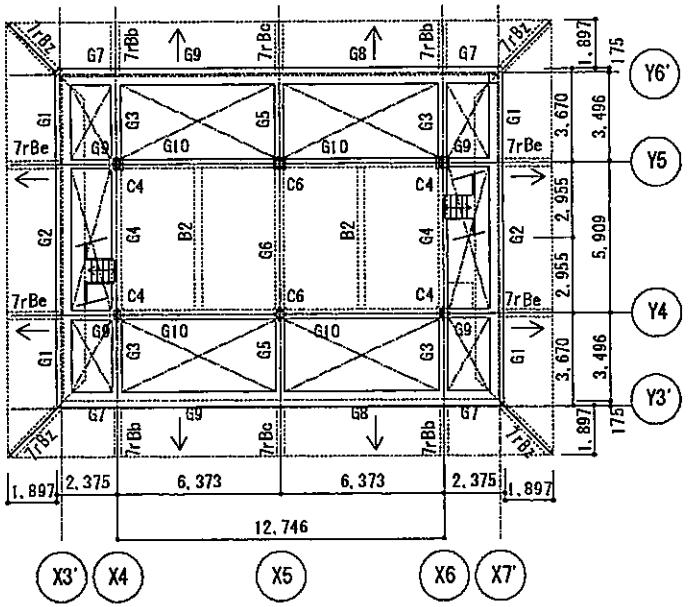
<5階及び4層屋根>

*< >内は既設設計図階数表示を示す。

耐震補強計画

(Is≧0.6)

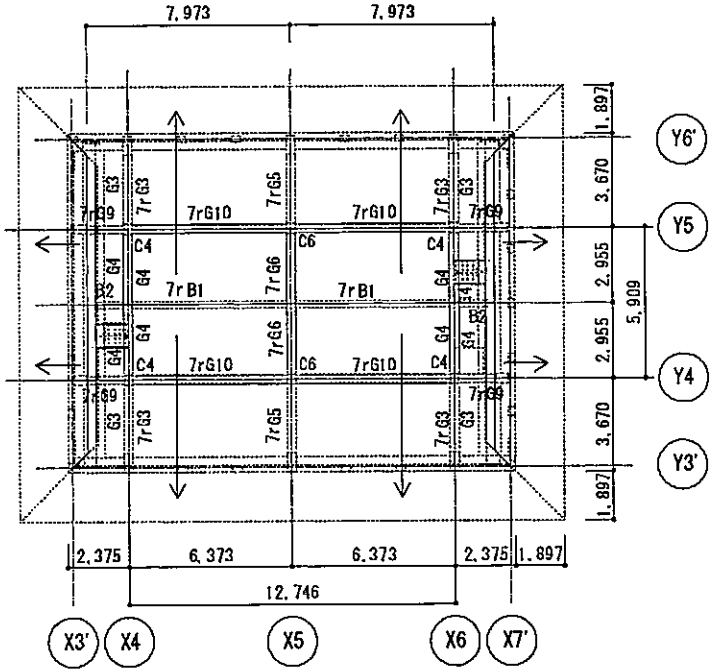




大天守閣

PH階梁・7階屋根伏図　1/200

<6階及び5層屋根>



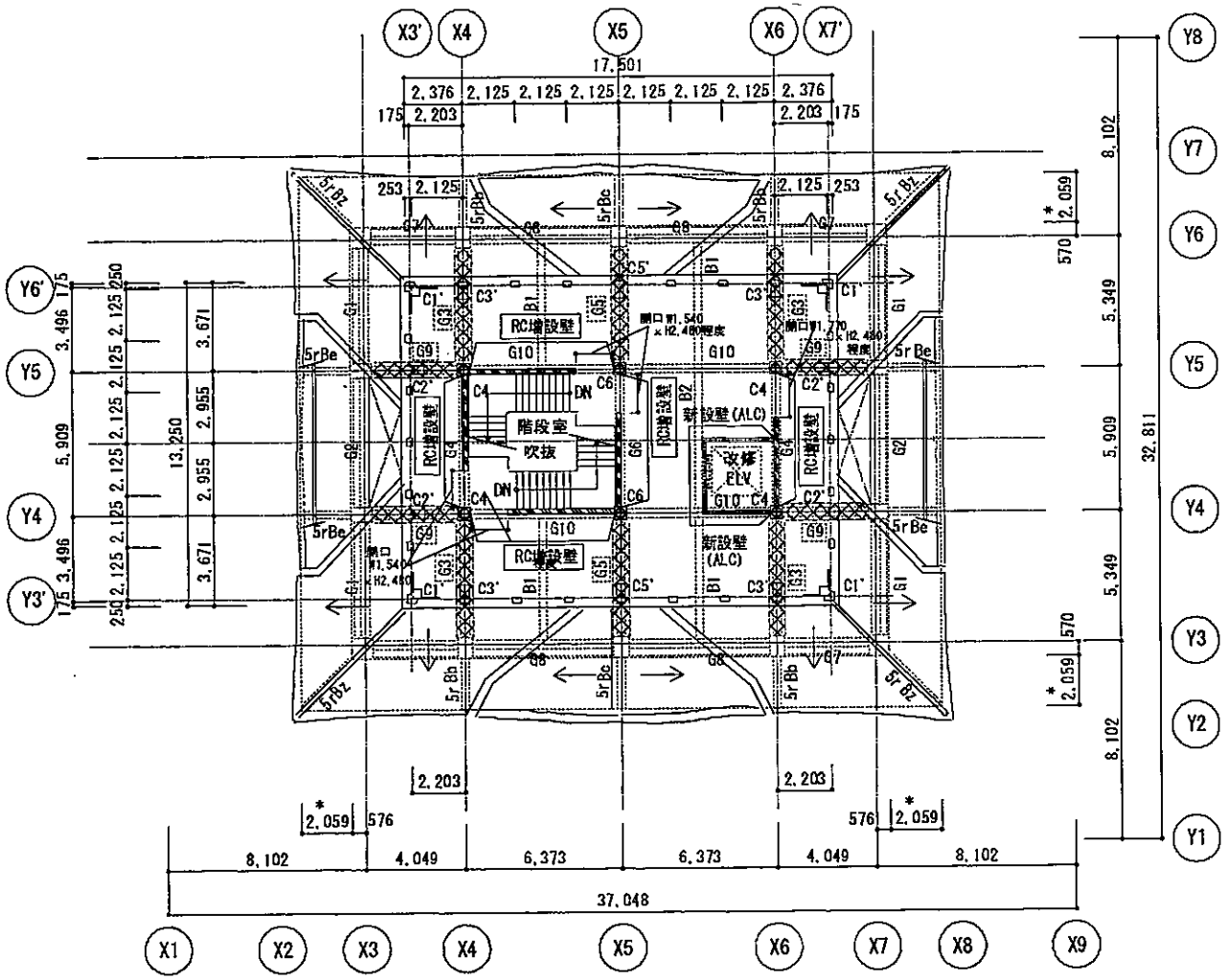
大天守閣

PH階屋根伏図　1/200

<5層屋根>

＊<　>内は既設設計図階数表示を示す。

耐震補強計画
(Is≧0.6)



(ケース2)

[耐震補強計画凡例]

RC増設壁 D-2

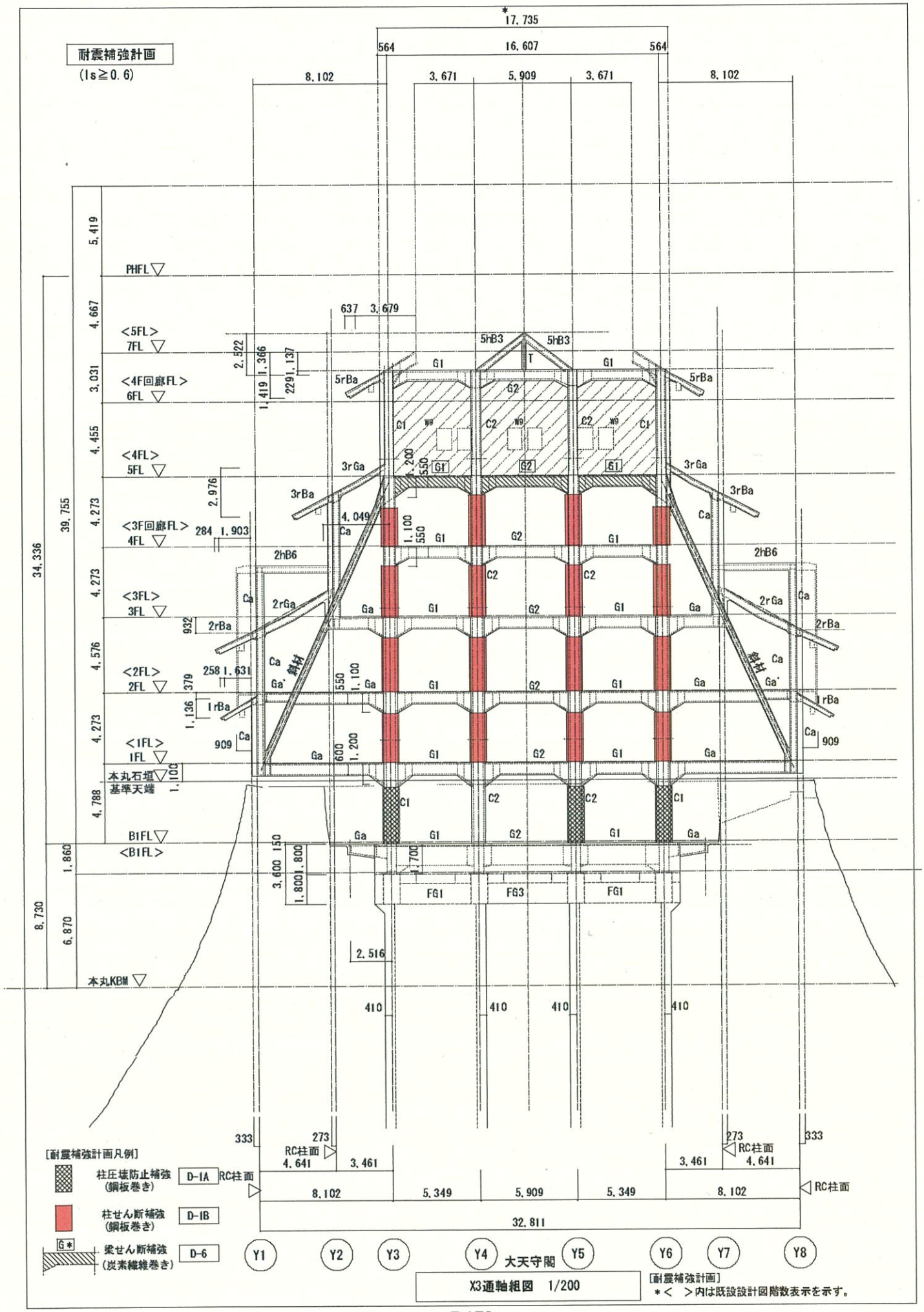
柱* 梁曲げ+せん断補強 D-8
(増打+炭素繊維巻き)

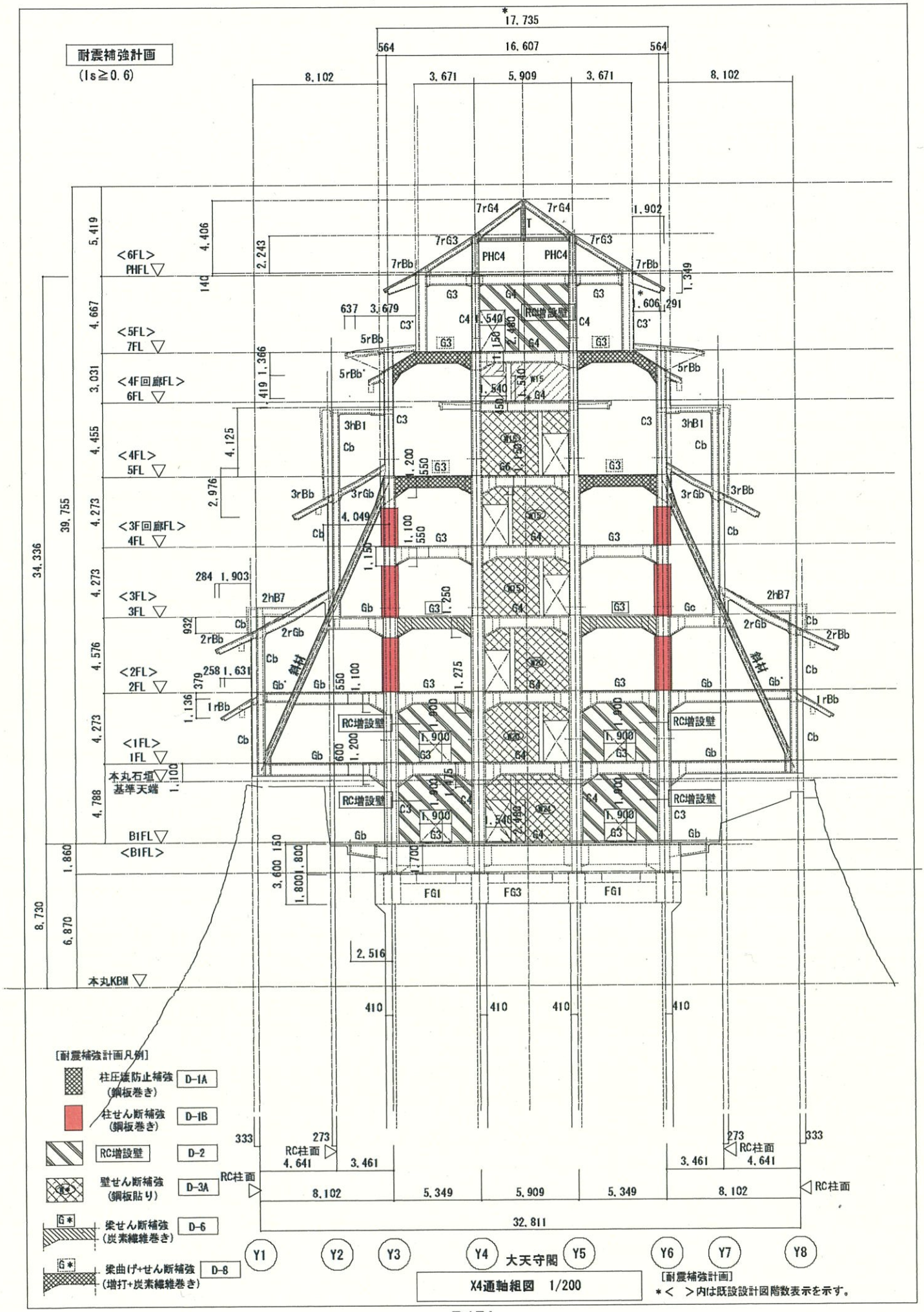
大天守閣 [耐震補強計画]

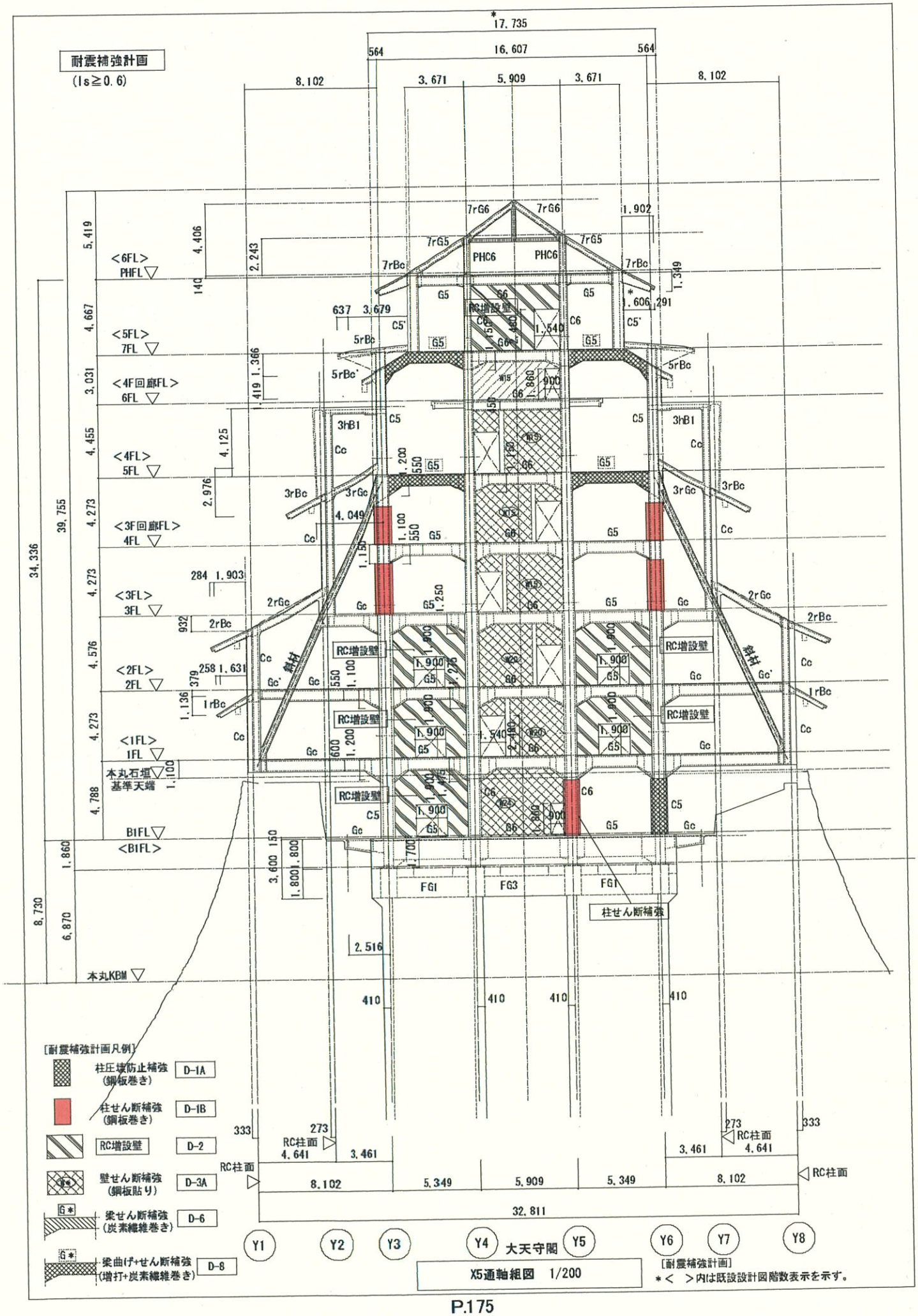
7階梁・5階屋根伏図 1/200

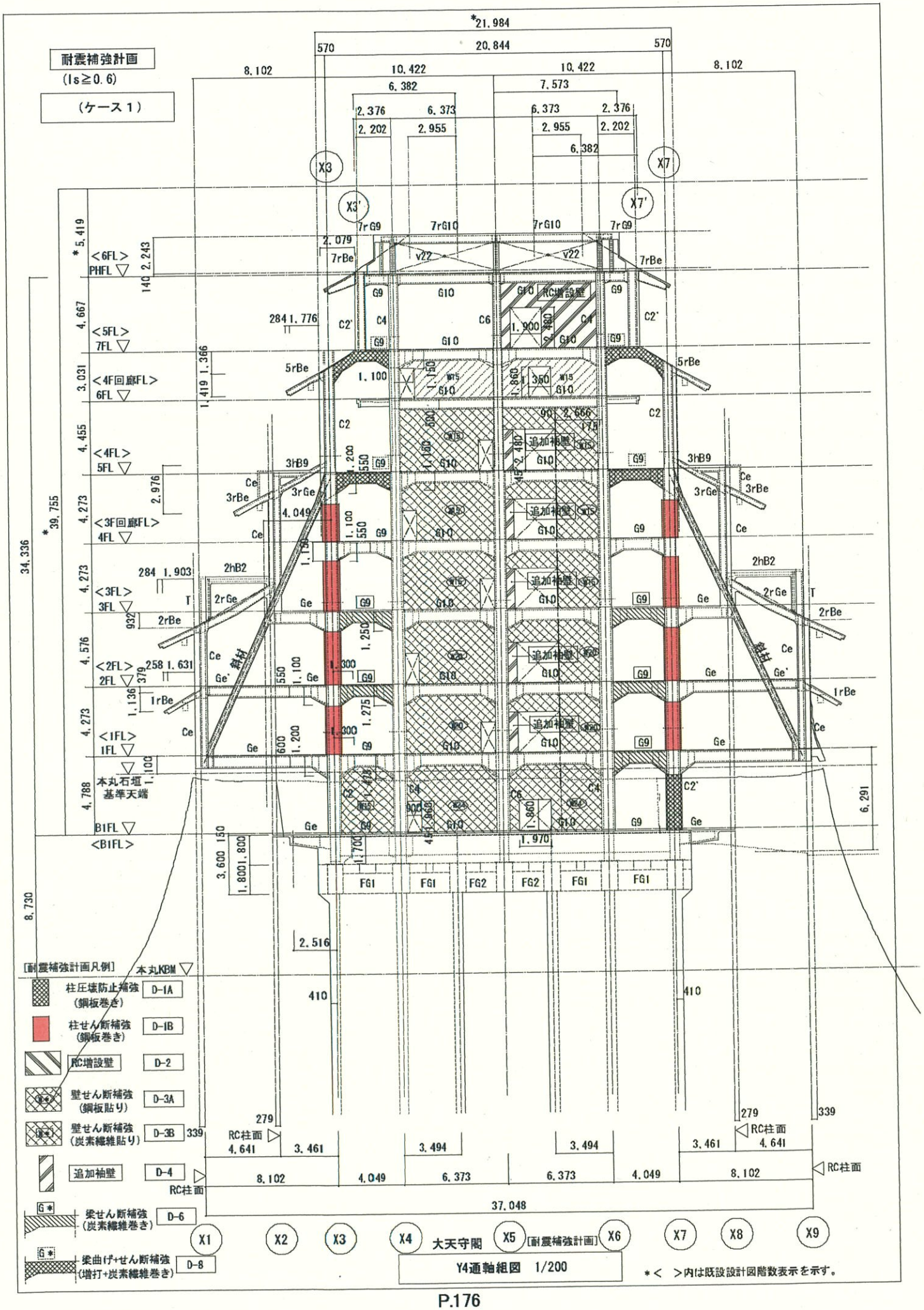
<5階及び4層屋根>

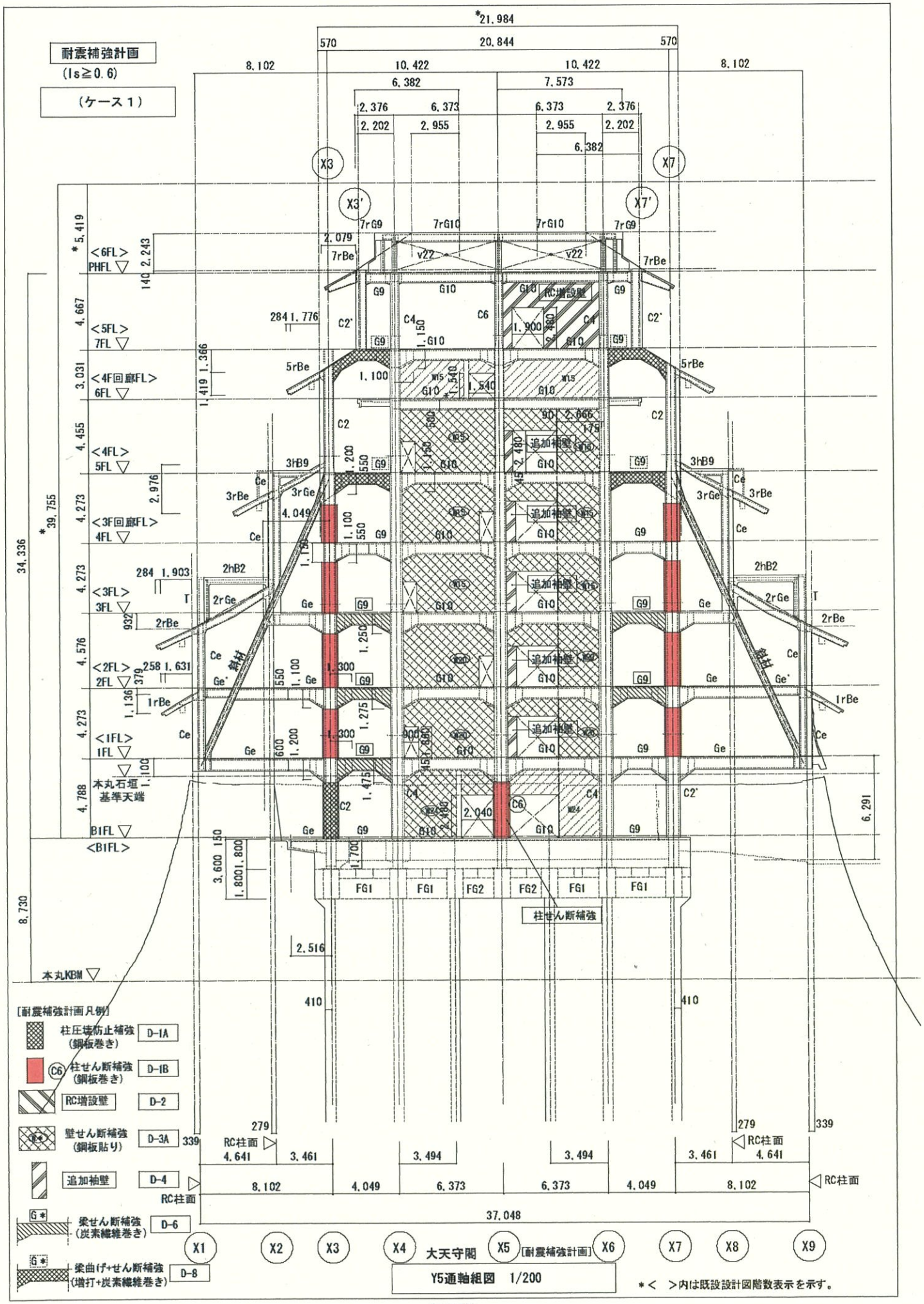
*< >内は既設設計図階数表示を示す。

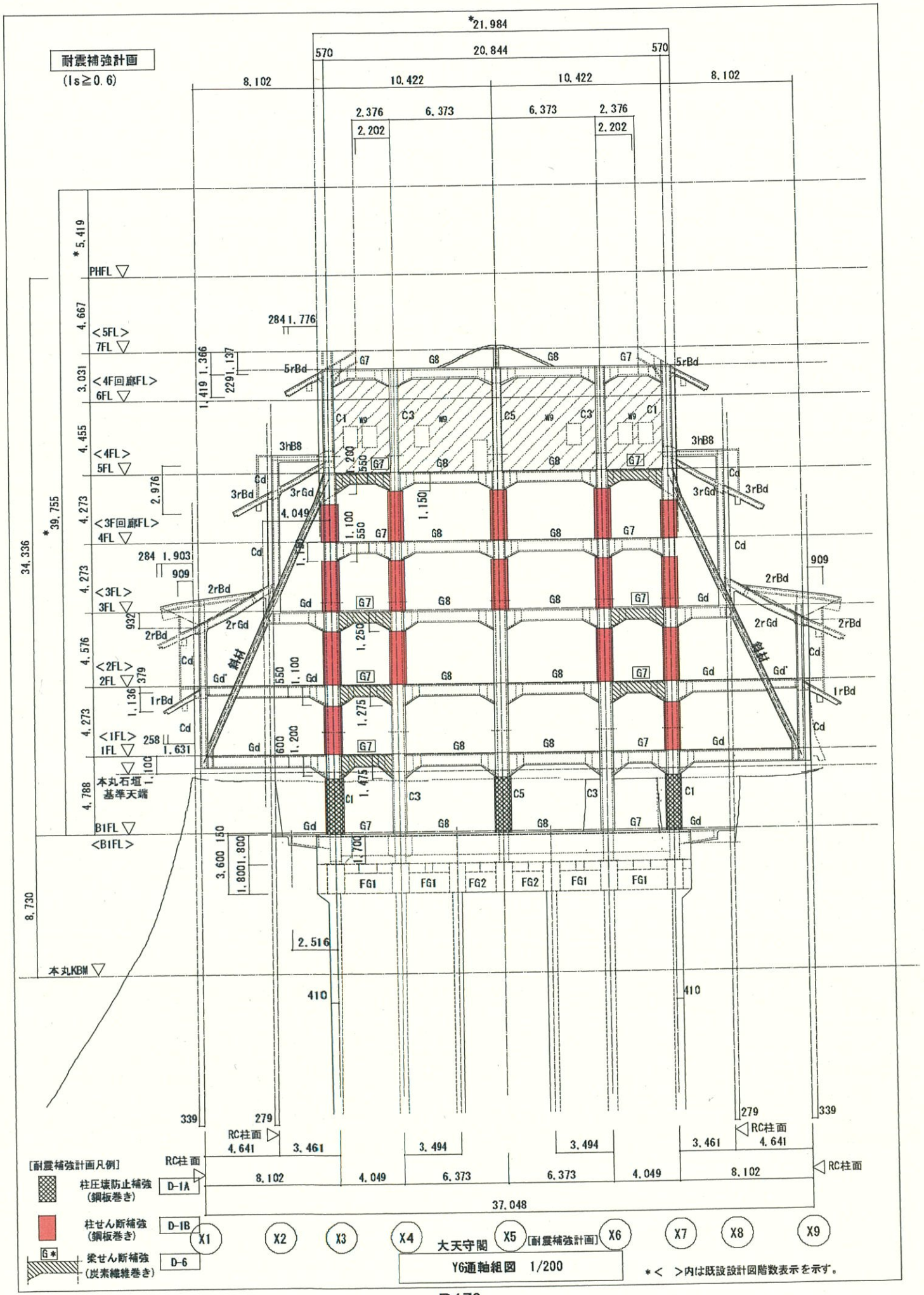

耐震補強計画
(Is≧0.6)
17,735
564
16,607
564
8,102
3,671
5,909
3,671
8,102
PHFL
<5FL>
7FL
<4F回廊FL>
6FL
<4FL>
5FL
<3F回廊FL>
4FL
<3FL>
3FL
<2FL>
2FL
<1FL>
1FL
本丸石垣
基準天端
B1FL
<B1FL>
本丸KBM
34,336
39,755
8,730
5,419
4,667
3,031
4,455
4,273
4,273
4,576
4,273
4,788
1,860
6,870
637
3,679
5hB3
5hB3
5rBa
5rBa
3rGa
3rGa
3rBa
3rBa
2hB6
2hB6
2rGa
2rGa
2rBa
2rBa
1rBa
1rBa
斜材
斜材
G1
G2
C1
C2
Ca
Ga
Ga'
FG1
FG3
410
410
410
410
333
273
273
333
RC柱面
RC柱面
RC柱面
RC柱面
4,641
3,461
3,461
4,641
8,102
5,349
5,909
5,349
8,102
32,811
Y1
Y2
Y3
Y4
Y5
Y6
Y7
Y8
大天守閣
[耐震補強計画凡例]
柱圧壊防止補強
(鋼板巻き)
D-1A
柱せん断補強
(鋼板巻き)
D-1B
G*
梁せん断補強
(炭素繊維巻き)
D-6
X3通軸組図 1/200
[耐震補強計画]
*< >内は既設設計図階数表示を示す。

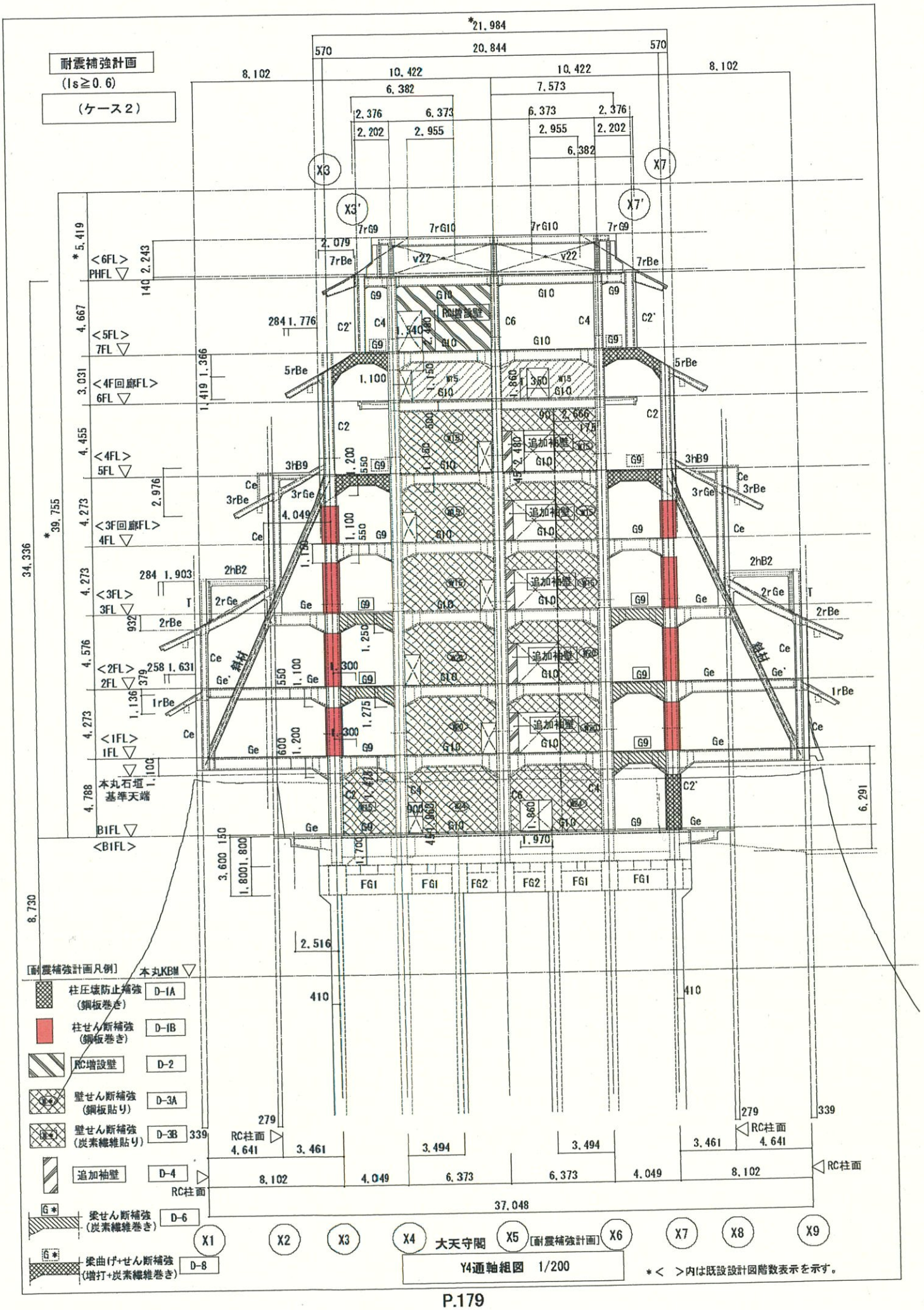

耐震補強計画
(Is≧0.6)
17,735
16,607
564
8,102
3,671
5,909
<6FL>
PHFL
<5FL>
7FL
<4F回廊FL>
6FL
<4FL>
5FL
<3F回廊FL>
4FL
<3FL>
3FL
<2FL>
2FL
<1FL>
1FL
本丸石垣
基準天端
B1FL
<B1FL>
本丸KBM
34,336
39,755
8,730
6,870
RC増設壁
RC柱面
32,811
Y1
Y2
Y3
Y4
Y5
Y6
Y7
Y8
大天守閣
[耐震補強計画凡例]
柱圧壊防止補強 (鋼板巻き) D-1A
柱せん断補強 (鋼板巻き) D-1B
RC増設壁 D-2
壁せん断補強 (鋼板貼り) D-3A
梁せん断補強 (炭素繊維巻き) D-6
梁曲げ+せん断補強 (増打+炭素繊維巻き) D-8
X4通軸組図 1/200
[耐震補強計画]
*< >内は既設設計図階数表示を示す。

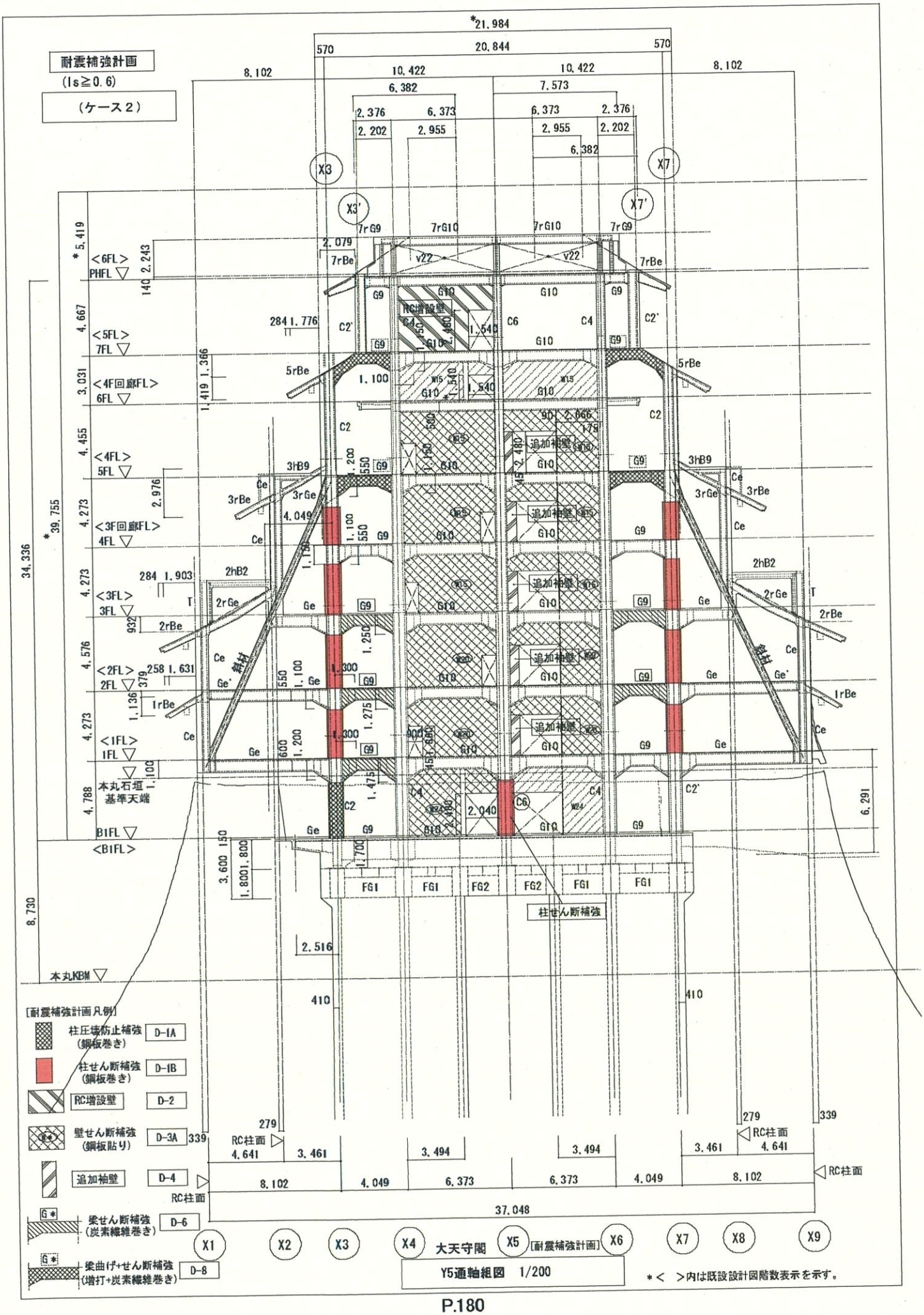

耐震補強計画
(Is≧0.6)
17,735
16,607
564
564
8,102
3,671
5,909
3,671
8,102
<6FL>
PHFL
<5FL>
7FL
<4F回廊FL>
6FL
<4FL>
5FL
<3F回廊FL>
4FL
<3FL>
3FL
<2FL>
2FL
<1FL>
1FL
本丸石垣
基準天端
B1FL
<B1FL>
本丸KBM
7rG6
7rG5
PHC6
7rBc
5rBc
3hB1
3rBc
3rGc
2rGc
2rBc
1rBc
RC増設壁
斜材
柱せん断補強
FG1
FG3
[耐震補強計画凡例]
柱圧壊防止補強(鋼板巻き) D-1A
柱せん断補強(鋼板巻き) D-1B
RC増設壁 D-2
壁せん断補強(鋼板貼り) D-3A
梁せん断補強(炭素繊維巻き) D-6
梁曲げ+せん断補強(増打+炭素繊維巻き) D-8
RC柱面
32,811
Y1
Y2
Y3
Y4
Y5
Y6
Y7
Y8
大天守閣
X5通軸組図 1/200
[耐震補強計画]
＊< >内は既設設計図階数表示を示す。


耐震補強計画
(Is≧0.6)
(ケース1)
*21.984
20.844
570
8.102
10.422
6.382
7.573
2.376
6.373
2.202
2.955
X3
X3'
X7
X7'
7rG9
7rG10
7rBe
v22
G9
G10
RC増設壁
C2'
C4
C6
5rBe
1.100
1.350
C2
追加袖壁
3hB9
3rBe
3rGe
Ce
4.049
2hB2
2rGe
Ge
2rBe
1rBe
Ge'
T
斜材
<6FL>
PHFL
<5FL>
7FL
<4F回廊FL>
6FL
<4FL>
5FL
<3F回廊FL>
4FL
<3FL>
3FL
<2FL>
2FL
<1FL>
1FL
本丸石垣
基準天端
B1FL
<B1FL>
*5.419
4.667
3.031
4.455
4.273
4.576
4.788
*39.755
34.336
8.730
2.243
2.976
1.366
1.419
1.970
6.291
3.600
1.800
2.516
410
279
339
RC柱面
4.641
3.461
3.494
4.049
37.048
X1
X2
X3
X4
X5
X6
X7
X8
X9
大天守閣
[耐震補強計画]
Y4通軸組図 1/200
*< >内は既設設計図階数表示を示す。
[耐震補強計画凡例]
柱圧壊防止補強 (鋼板巻き) D-1A
柱せん断補強 (鋼板巻き) D-1B
RC増設壁 D-2
壁せん断補強 (鋼板貼り) D-3A
壁せん断補強 (炭素繊維貼り) D-3B
追加袖壁 D-4
梁せん断補強 (炭素繊維巻き) D-6
梁曲げ+せん断補強 (増打+炭素繊維巻き) D-8

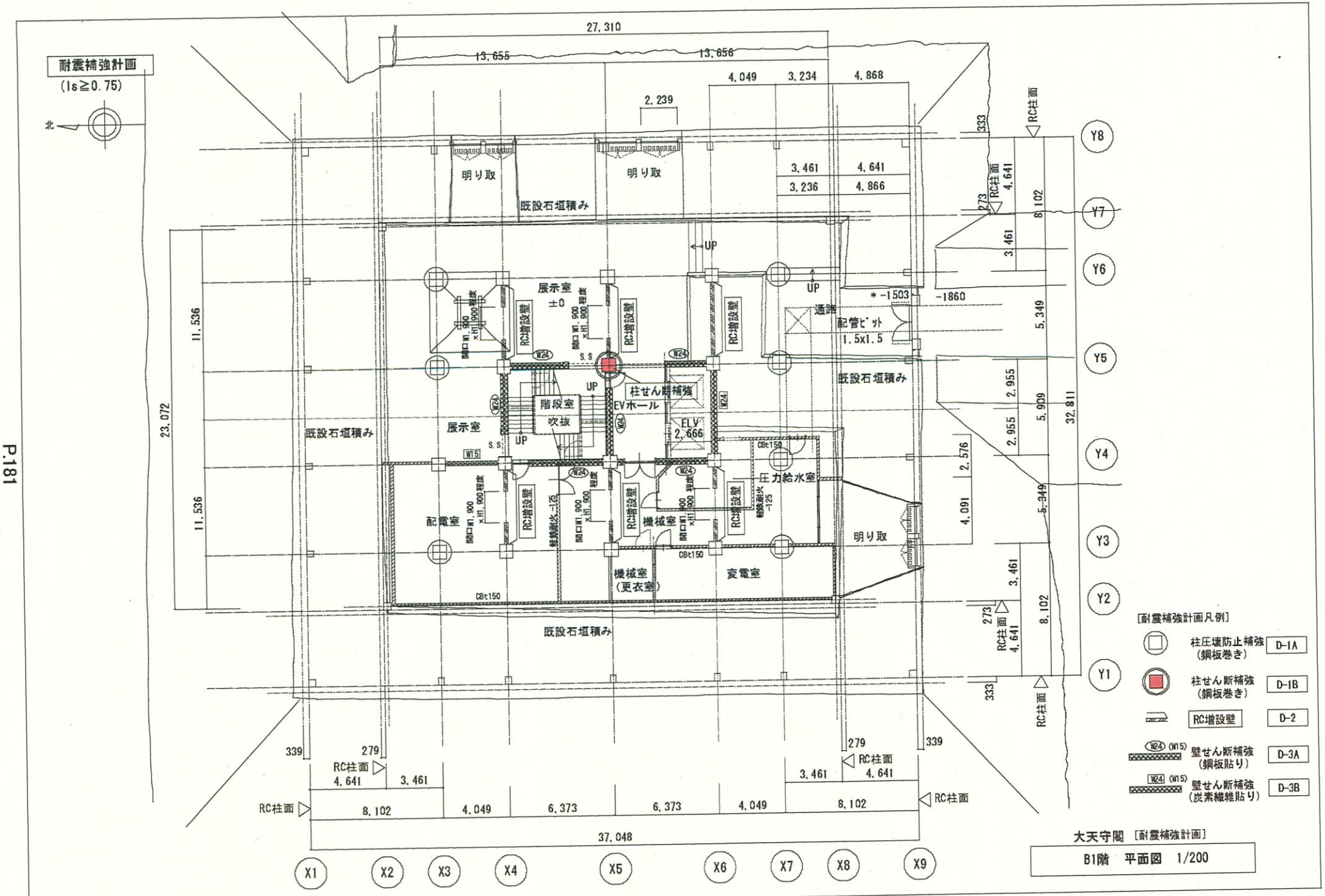

耐震補強計画
(Is≧0.6)
(ケース1)
*21.984
20.844
8.102
10.422
6.382
7.573
2.376
6.373
2.202
2.955
X3
X3'
X7
X7'
7rG9
7rG10
7rBe
v22
G9
G10
RC増設壁
C2'
C4
C6
5rBe
1.100
1.540
追加袖壁
3hB9
3rBe
3rGe
Ce
2hB2
2rGe
2rBe
Ge
Ge'
1rBe
鋼材
FG1
FG2
柱せん断補強
*5.419
<6FL>
PHFL
<5FL>
7FL
<4F回廊FL>
6FL
<4FL>
5FL
<3F回廊FL>
4FL
<3FL>
3FL
<2FL>
2FL
<1FL>
1FL
本丸石垣
基準天端
B1FL
<B1FL>
*39.755
34.336
8.730
本丸KBM
[耐震補強計画凡例]
柱圧壊防止補強 (鋼板巻き) D-1A
柱せん断補強 (鋼板巻き) D-1B
RC増設壁 D-2
壁せん断補強 (鋼板貼り) D-3A
追加袖壁 D-4
梁せん断補強 (炭素繊維巻き) D-6
梁曲げ+せん断補強 (増打+炭素繊維巻き) D-8
RC柱面
4.641
3.461
3.494
4.049
6.373
37.048
X1
X2
X3
X4
X5
X6
X7
X8
X9
大天守閣
[耐震補強計画]
Y5通軸組図 1/200
*< >内は既設設計図階数表示を示す。


耐震補強計画
(Is≧0.6)
*21.984
20.844
570
8.102
10.422
2.376
6.373
2.202
*5.419
PHFL
4.667
<5FL>
7FL
3.031
<4F回廊FL>
6FL
4.455
<4FL>
5FL
4.273
<3F回廊FL>
4FL
4.576
<3FL>
3FL
<2FL>
2FL
4.788
<1FL>
1FL
本丸石垣
基準天端
B1FL
<B1FL>
34.336
*39.755
8.730
本丸KBM
284 1.776
284 1.903
909
932
379
258
1.631
2.976
4.049
2.516
410
339
279
RC柱面
4.641
3.461
3.494
4.049
37.048
5rBd
3hB8
3rBd
3rGd
2rBd
2rGd
1rBd
Cd
Gd
Gd'
G7
G8
C1
C3
C5
W9
FG1
FG2
斜材
[耐震補強計画凡例]
柱圧壊防止補強
(鋼板巻き)
柱せん断補強
(鋼板巻き)
梁せん断補強
(炭素繊維巻き)
D-1A
D-1B
D-6
G*
X1
X2
X3
X4
X5
X6
X7
X8
X9
大天守閣
[耐震補強計画]
Y6通軸組図 1/200
*< >内は既設設計図階数表示を示す。

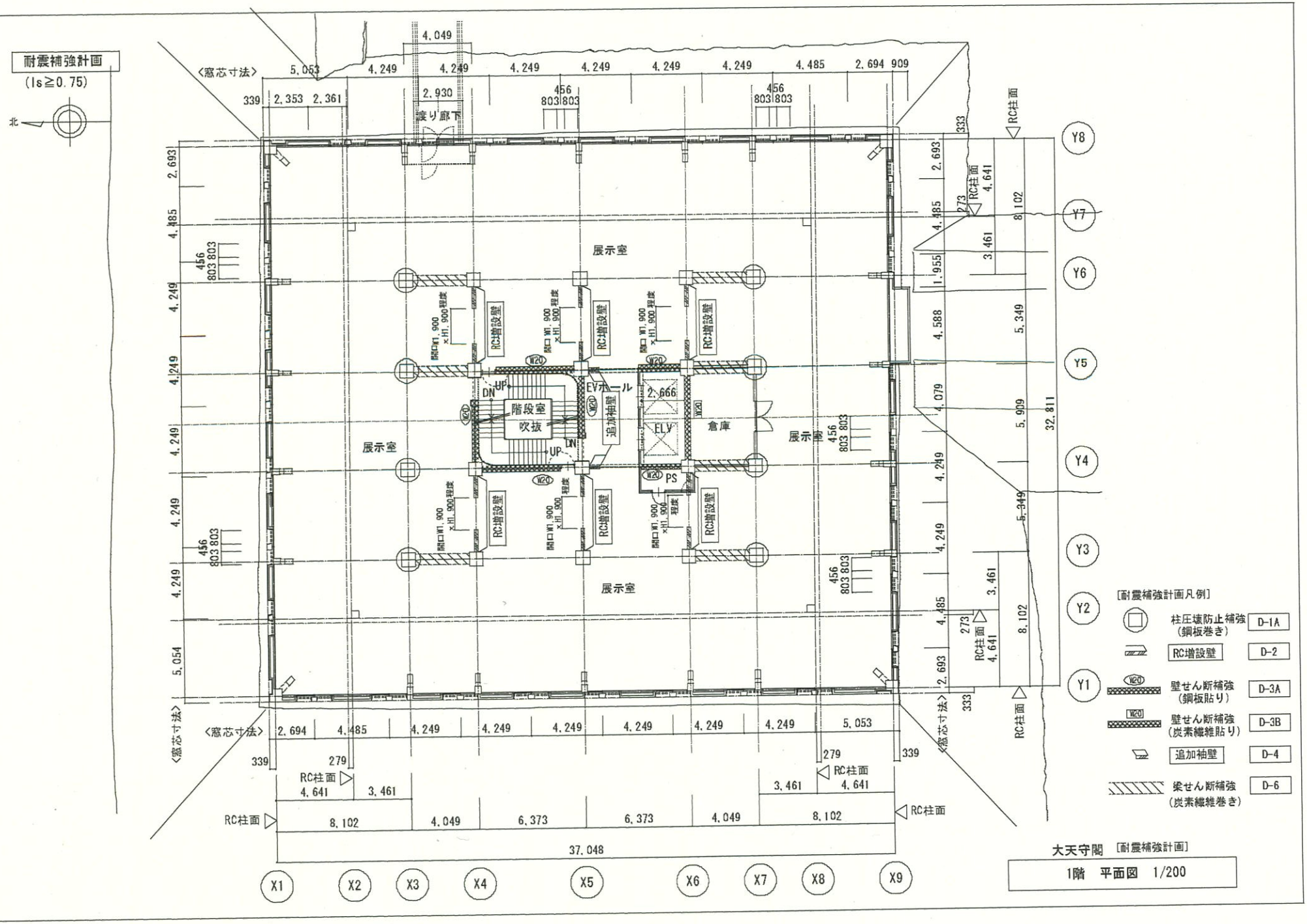

耐震補強計画
(Is≧0.6)
(ケース2)
*21.984
570
20.844
570
8.102
10.422
10.422
8.102
6.382
7.573
X3
X7
X3'
X7'
<6FL>
PHFL
<5FL>
7FL
<4F回廊FL>
6FL
<4FL>
5FL
<3F回廊FL>
4FL
<3FL>
3FL
<2FL>
2FL
<1FL>
1FL
本丸石垣
基準天端
B1FL
<B1FL>
*39.755
34.336
8.730
RC増設壁
追加袖壁
斜材
FG1
FG2
大天守閣
Y4通軸組図 1/200
[耐震補強計画]
*< >内は既設設計図階数表示を示す。
[耐震補強計画凡例]
本丸KBM
柱圧壊防止補強 (鋼板巻き) D-1A
柱せん断補強 (鋼板巻き) D-1B
RC増設壁 D-2
壁せん断補強 (鋼板貼り) D-3A
壁せん断補強 (炭素繊維貼り) D-3B
追加袖壁 D-4
梁せん断補強 (炭素繊維巻き) D-6
梁曲げ+せん断補強 (増打+炭素繊維巻き) D-8
RC柱面
37.048
X1
X2
X3
X4
X5
X6
X7
X8
X9



耐震補強計画
(Is≧0.6)
(ケース2)
*21.984
20.844
570
8.102
10.422
6.382
7.573
2.376
6.373
2.202
2.955
X3
X3'
X7
X7'
7rG9
7rG10
7rBe
v22
G9
G10
RC増設壁
C4
C6
C2'
5rBe
1.100
W15
追加袖壁
C2
3hB9
3rBe
3rGe
Ce
4.049
2hB2
2rGe
Ge
2rBe
1rBe
Ge'
1.300
2.040
FG1
FG2
柱せん断補強
2.516
410
279
339
RC柱面
4.641
3.461
3.494
4.049
6.373
37.048
X1
X2
X3
X4
X5
X6
X7
X8
X9
大天守閣
[耐震補強計画]
Y5通軸組図 1/200
*5.419
<6FL>
PHFL
4.667
<5FL>
7FL
3.031
<4F回廊FL>
6FL
4.455
<4FL>
5FL
4.273
<3F回廊FL>
4FL
4.576
<3FL>
3FL
<2FL>
2FL
<1FL>
1FL
4.788
本丸石垣
基準天端
B1FL
<B1FL>
*39.755
34.336
8.730
本丸KBM
[耐震補強計画凡例]
柱圧壊防止補強
(鋼板巻き)
D-1A
柱せん断補強
(鋼板巻き)
D-1B
RC増設壁
D-2
壁せん断補強
(鋼板貼り)
D-3A
追加袖壁
D-4
梁せん断補強
(炭素繊維巻き)
D-6
梁曲げ+せん断補強
(増打+炭素繊維巻き)
D-8
*< >内は既設設計図階数表示を示す。

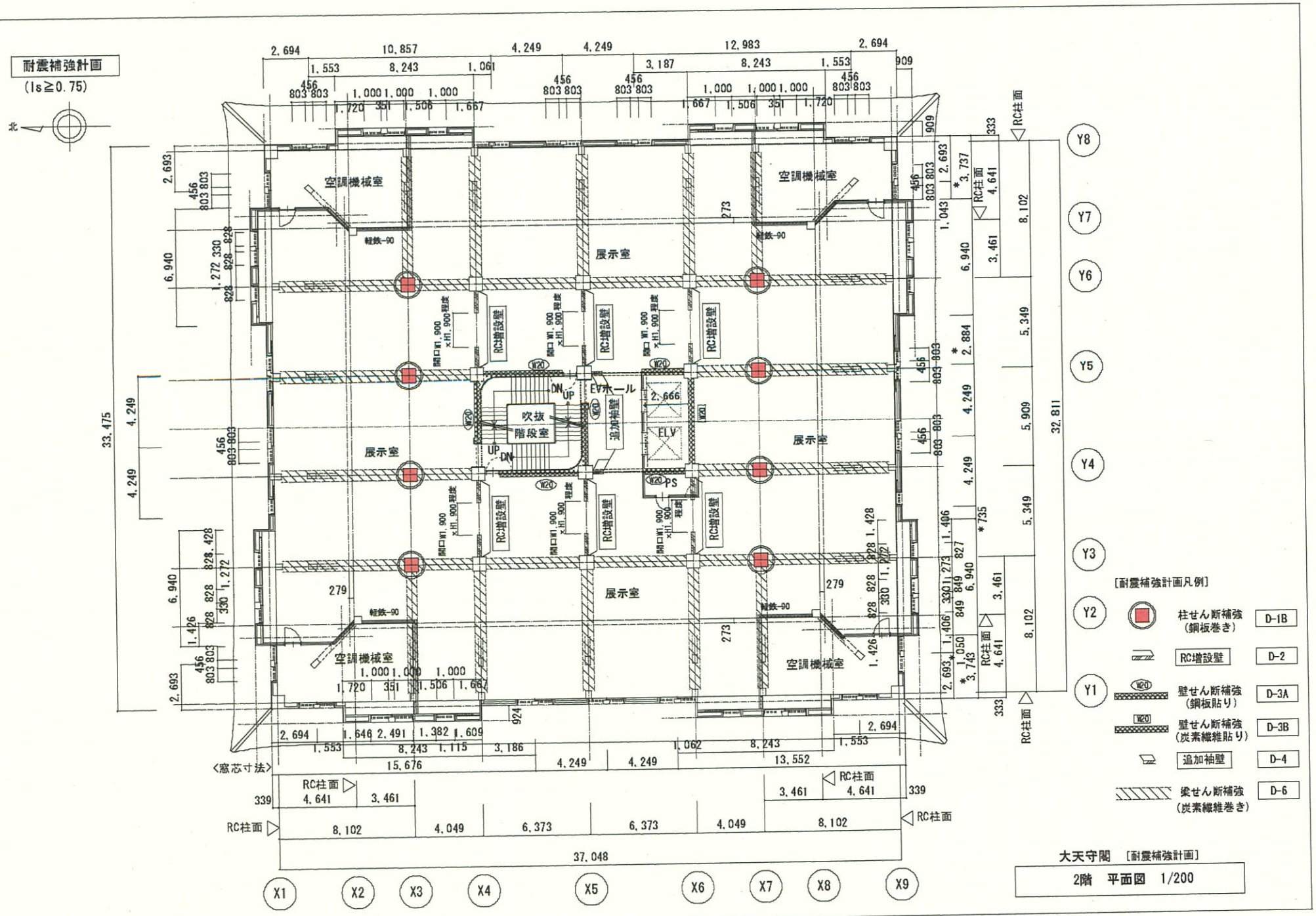

耐震補強計画
(Is≧0.75)
北
27,310
13,655
13,656
4,049
3,234
4,868
2,239
明り取
既設石垣積み
3,461
4,641
3,236
4,866
UP
展示室
±0
RC増設壁
開口W1,900×H1,900程度
W24
S.S
柱せん断補強
EVホール
階段室
吹抜
ELV
2,666
W15
通路
配管ピット
1.5x1.5
*-1503
-1860
既設石垣積み
圧力給水室
配電室
機械室
機械室
(更衣室)
変電室
C8t150
明り取
RC柱面
333
273
4,641
8,102
5,349
2,955
5,909
32,811
2,576
4,091
11,536
23,072
339
279
37,048
Y1
Y2
Y3
Y4
Y5
Y6
Y7
Y8
X1
X2
X3
X4
X5
X6
X7
X8
X9
[耐震補強計画凡例]
柱圧壊防止補強
(鋼板巻き)
D-1A
柱せん断補強
(鋼板巻き)
D-1B
RC増設壁
D-2
W24 (W15)
壁せん断補強
(鋼板貼り)
D-3A
W24 (W15)
壁せん断補強
(炭素繊維貼り)
D-3B
大天守閣 [耐震補強計画]
B1階 平面図 1/200

耐震補強計画
(Is≧0.75)



大天守閣 [耐震補強計画]

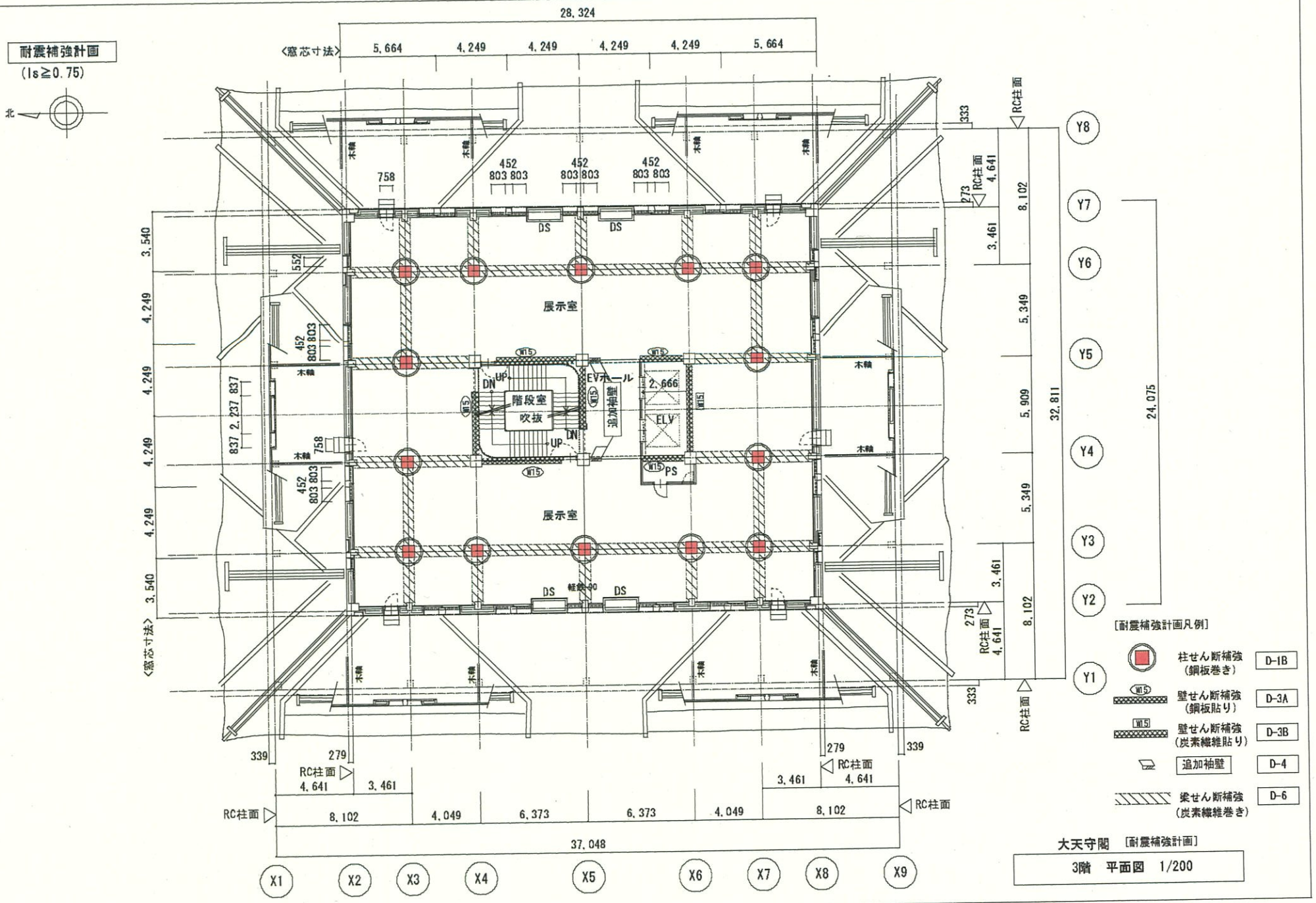
1階 平面図 1/200



大天守閣 [耐震補強計画]

2階 平面図 1/200

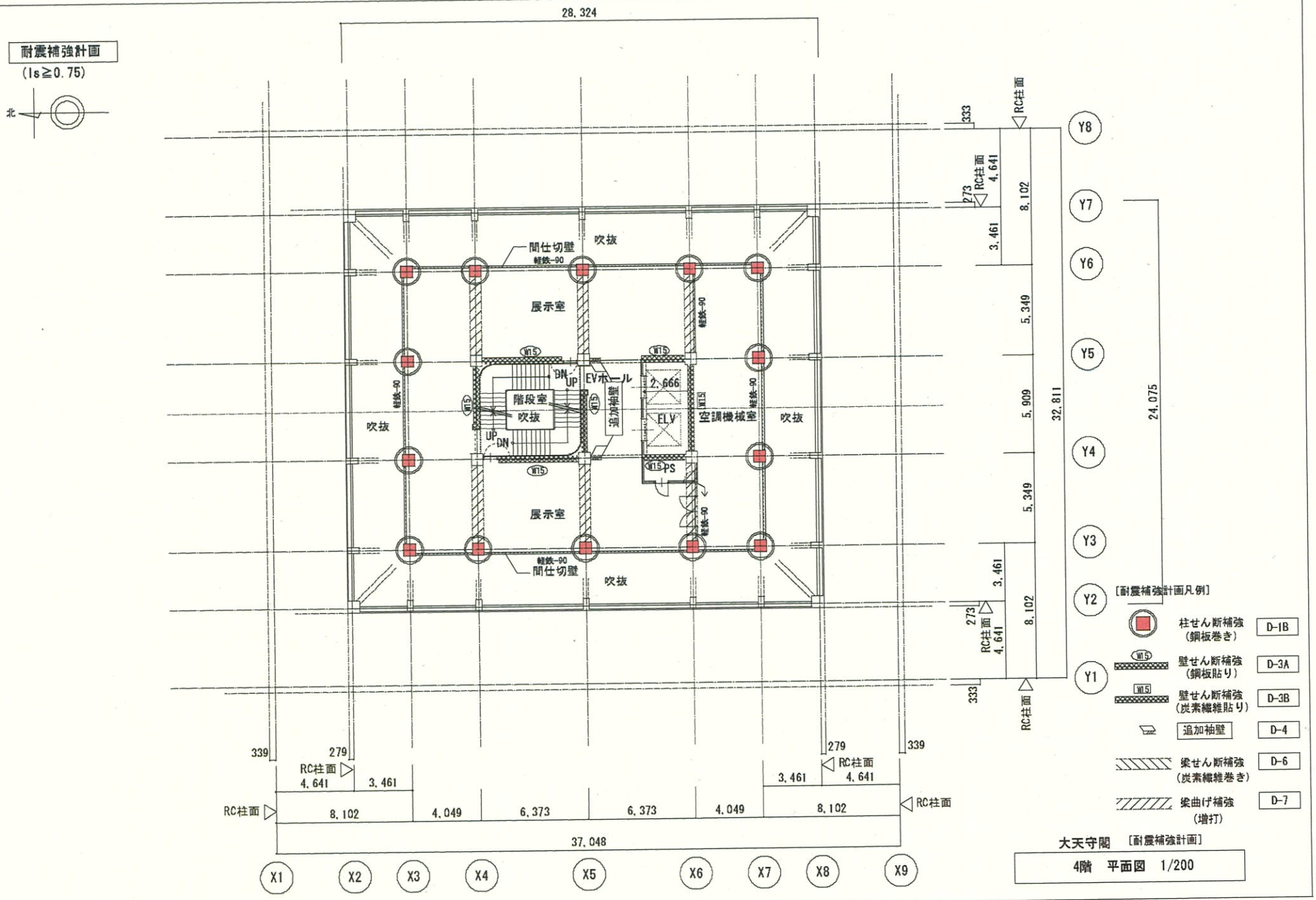
耐震補強計画
(Is≧0.75)



大天守閣 [耐震補強計画]

3階 平面図 1/200

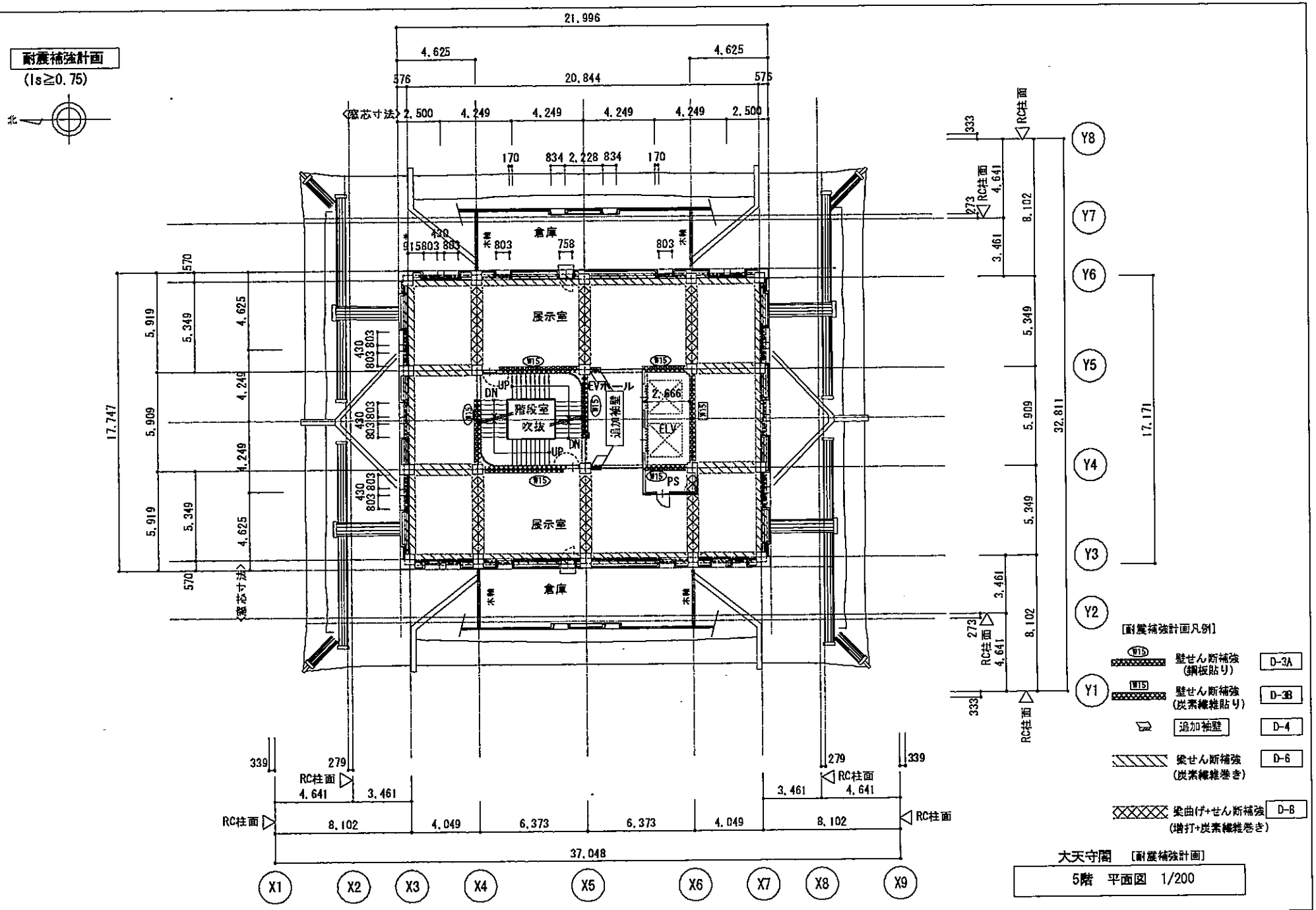
耐震補強計画
(Is≧0.75)



大天守閣 [耐震補強計画]

4階 平面図 1/200

耐震補強計画
(Is≧0.75)

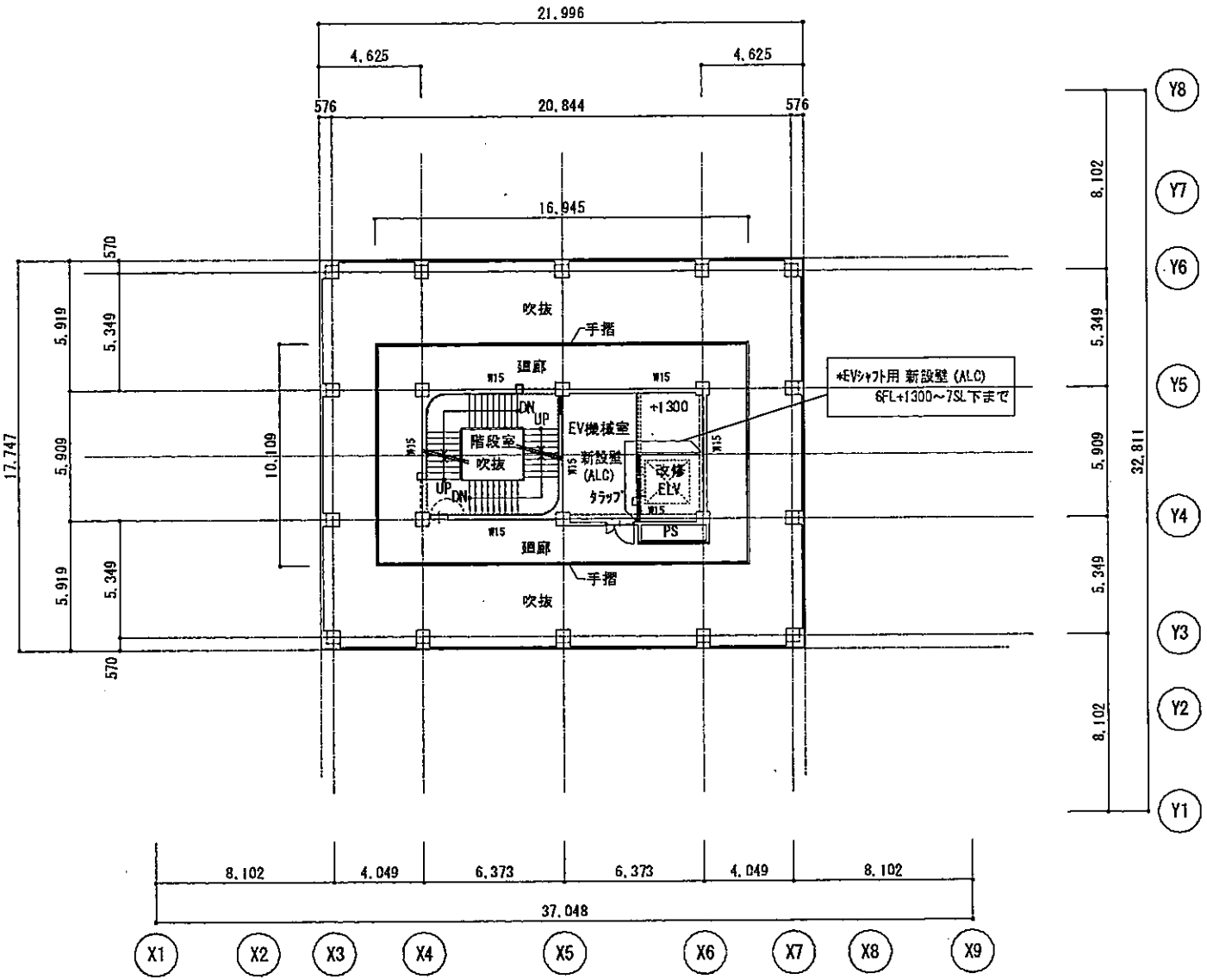


大天守閣 [耐震補強計画]

5階 平面図 1/200

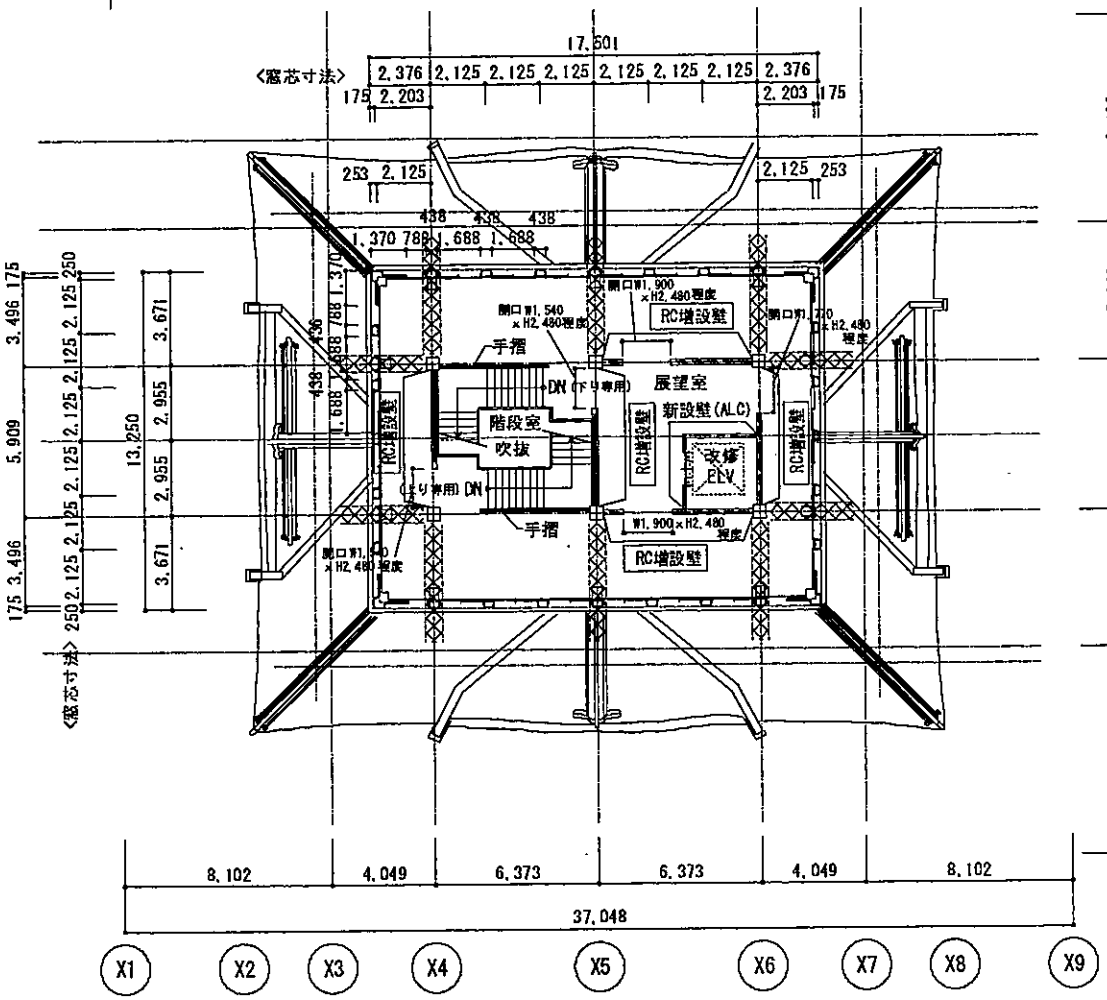
耐震補強計画
(Is≧0.75)





大天守閣
6階　平面図　1/200

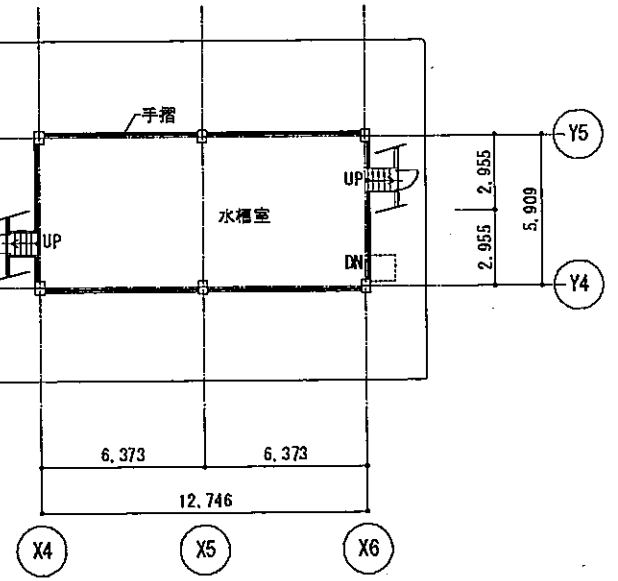
耐震補強計画
(Is≧0.75)



大天守閣 [耐震補強計画]

7階 平面図 1/200

(ケース1)



大天守閣

PH階 平面図 1/200

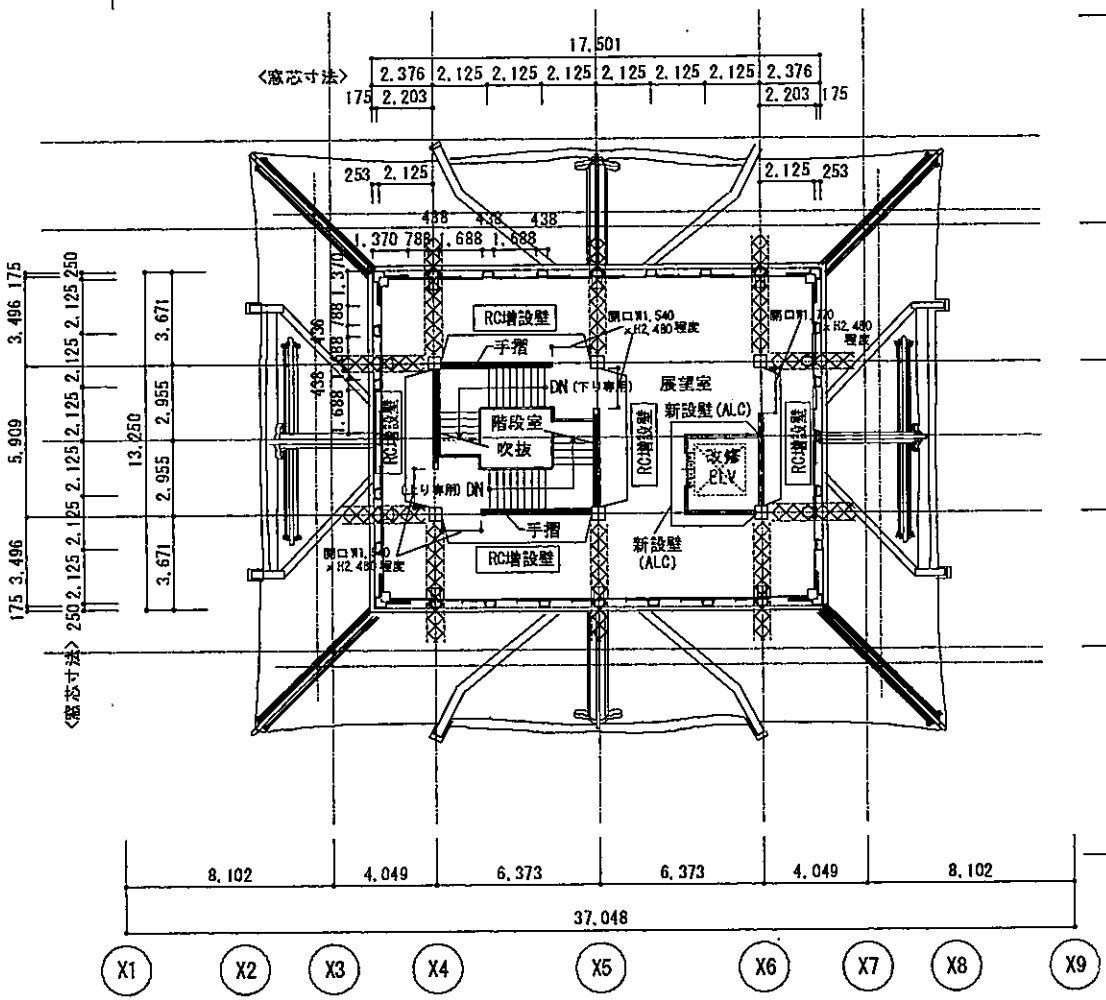
[耐震補強計画凡例]

RC増設壁 D-2

梁せん断補強 (炭素繊維巻き) D-6

梁曲げ+せん断補強 (増打+炭素繊維巻き) D-8

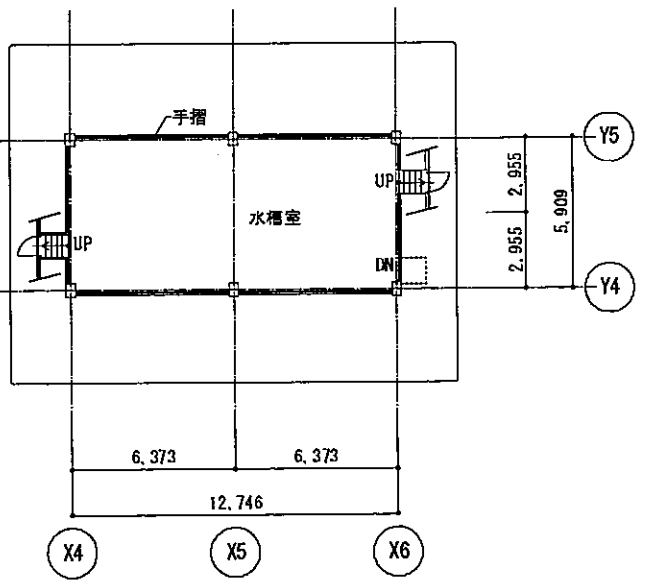
耐震補強計画
(Is≧0.75)



大天守閣 [耐震補強計画]

7階 平面図 1/200

(ケース2)



大天守閣

PH階 平面図 1/200

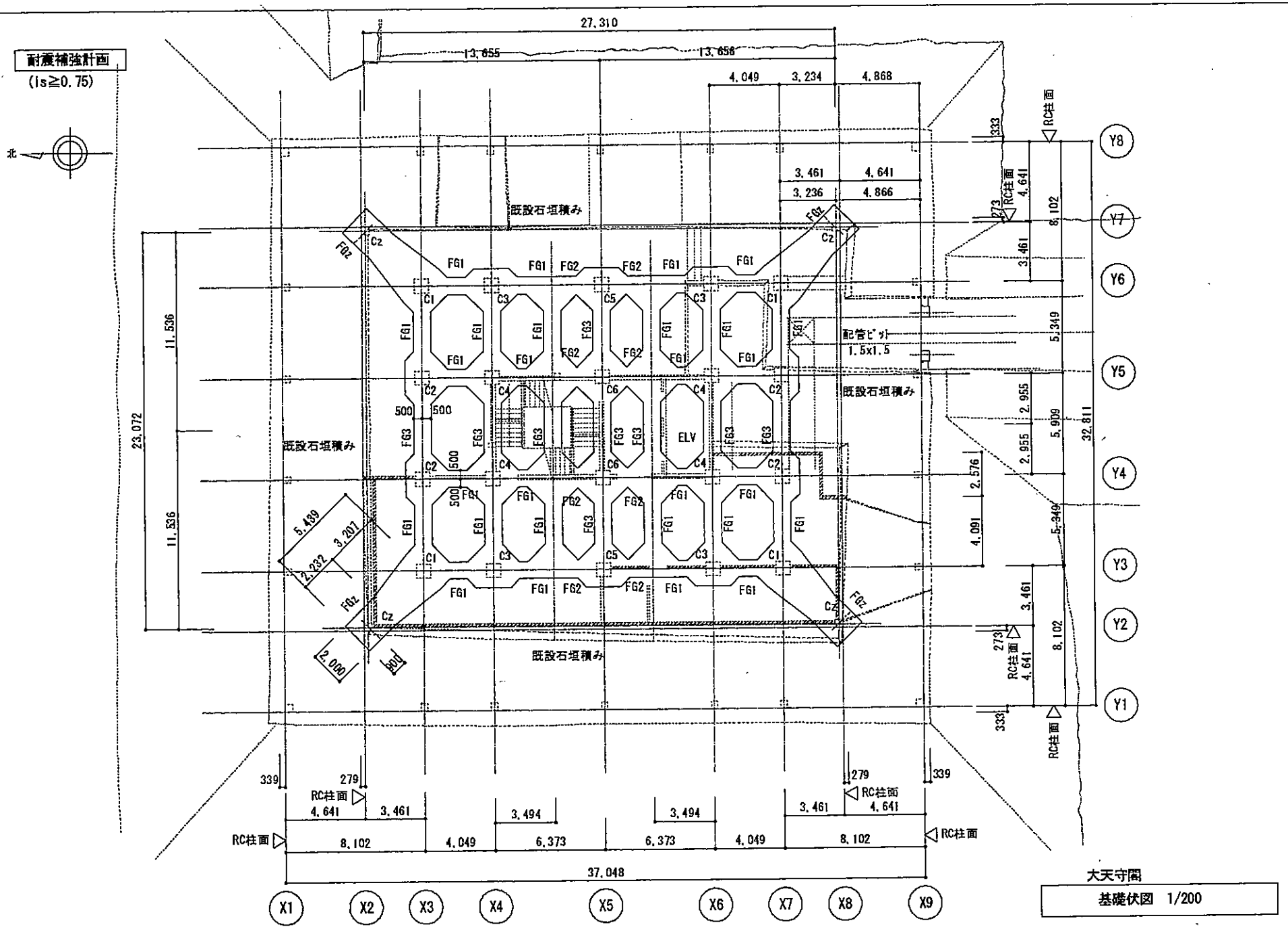
[耐震補強計画凡例]

RC増設壁 D-2

梁せん断補強 (炭素繊維巻き) D-6

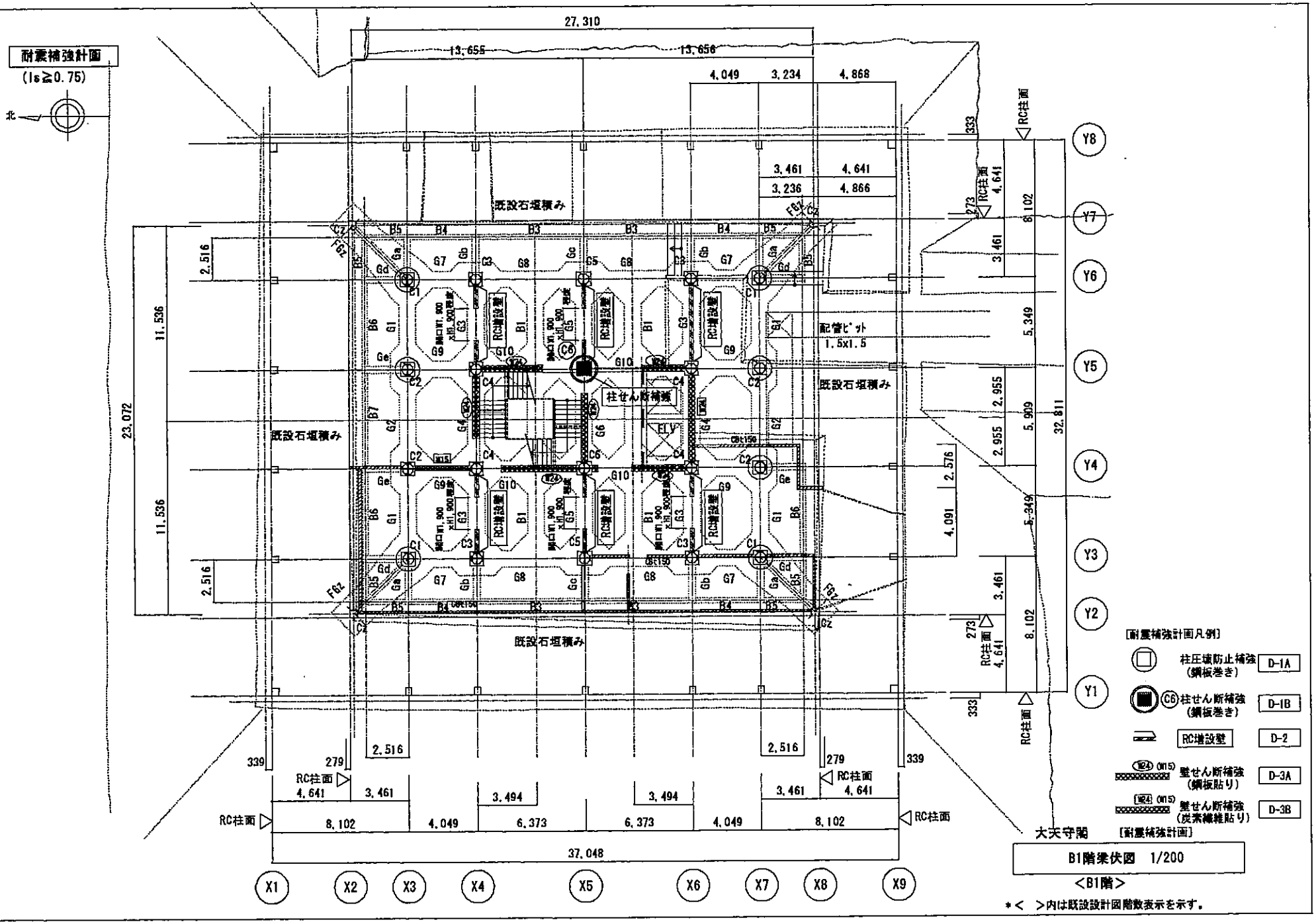
梁曲げ+せん断補強 (増打+炭素繊維巻き) D-8

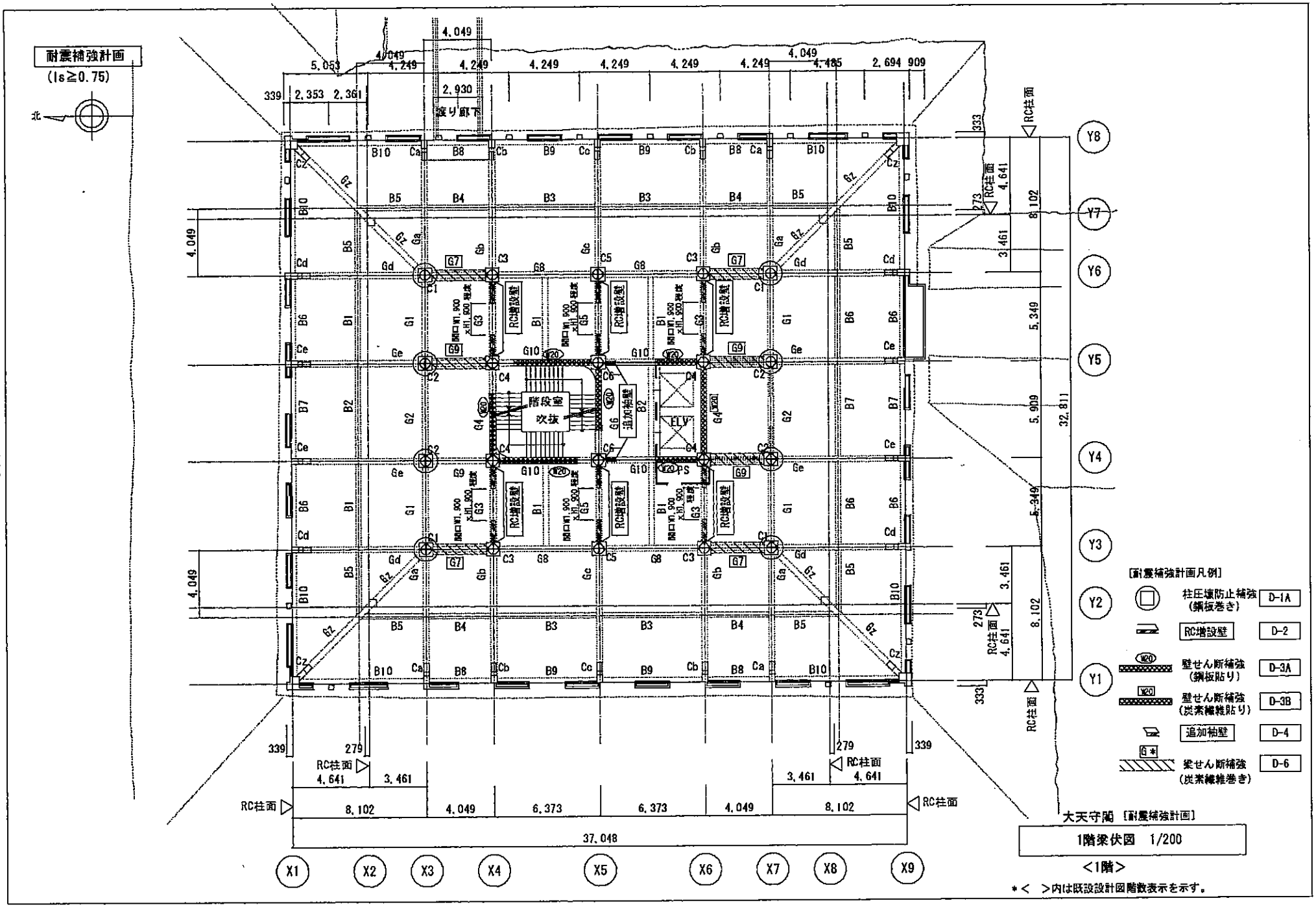
耐震補強計画
(Is≧0.75)



大天守閣

基礎伏図 1/200


耐震補強計画
(Is≧0.75)
北
既設石垣積み
RC増設壁
柱せん断補強
配管ピット
1.5x1.5
RC柱面
[耐震補強計画凡例]
柱圧壊防止補強 (鋼板巻き) D-1A
柱せん断補強 (鋼板巻き) D-1B
RC増設壁 D-2
壁せん断補強 (鋼板貼り) D-3A
壁せん断補強 (炭素繊維貼り) D-3B
大天守閣 [耐震補強計画]
B1階梁伏図 1/200
<B1階>
*< >内は既設設計図階数表示を示す。



大天守閣 [耐震補強計画]

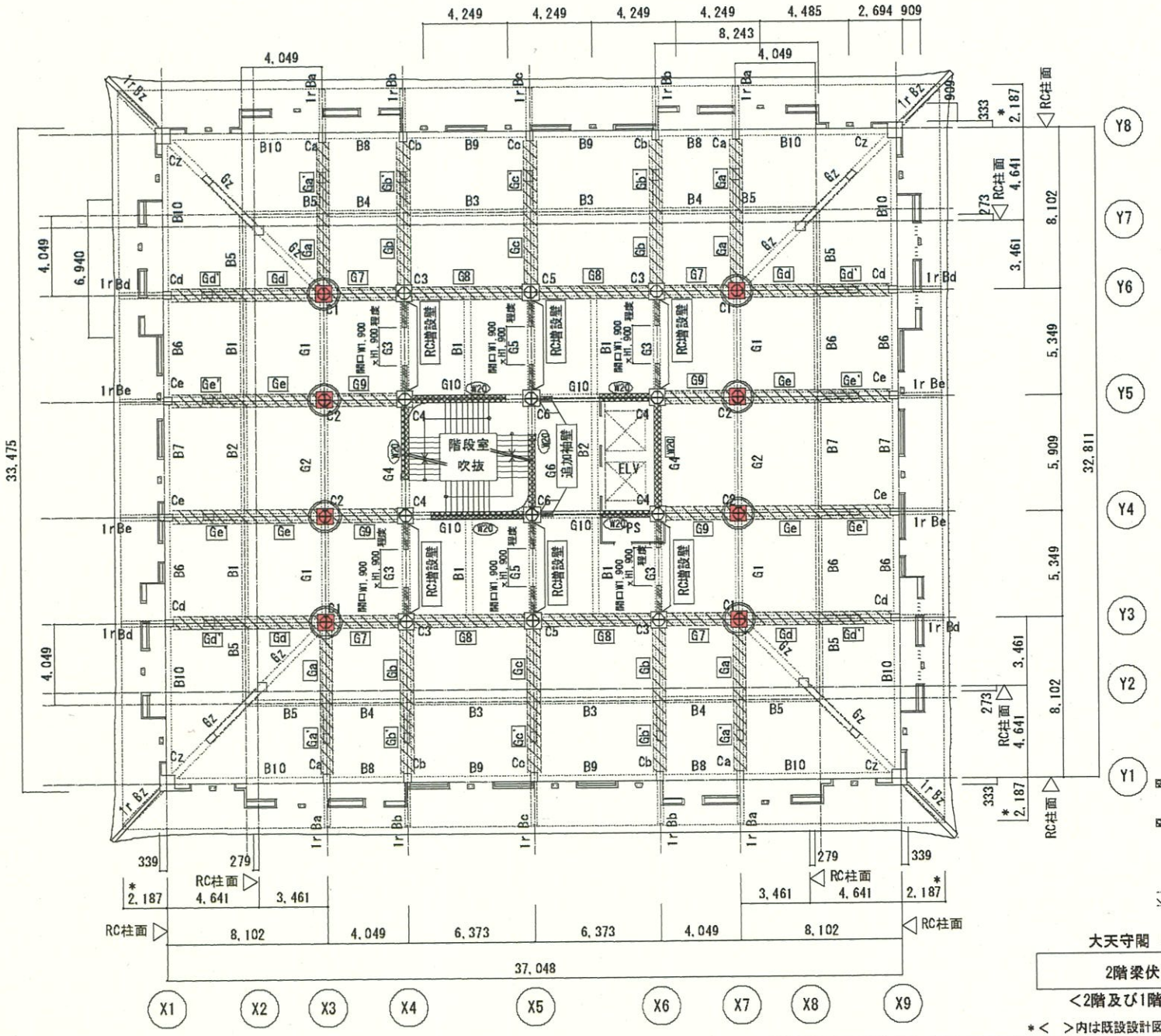
1階梁伏図 1/200

<1階>

*< >内は既設設計図階数表示を示す。

耐震補強計画
(Is≧0.75)





[耐震補強計画凡例]

	柱せん断補強（鋼板巻き）	D-1B
	RC増設壁	D-2
W20	壁せん断補強（鋼板貼り）	D-3A
W20	壁せん断補強（炭素繊維貼り）	D-3B
	追加袖壁	D-4
G*	梁せん断補強（炭素繊維巻き）	D-6

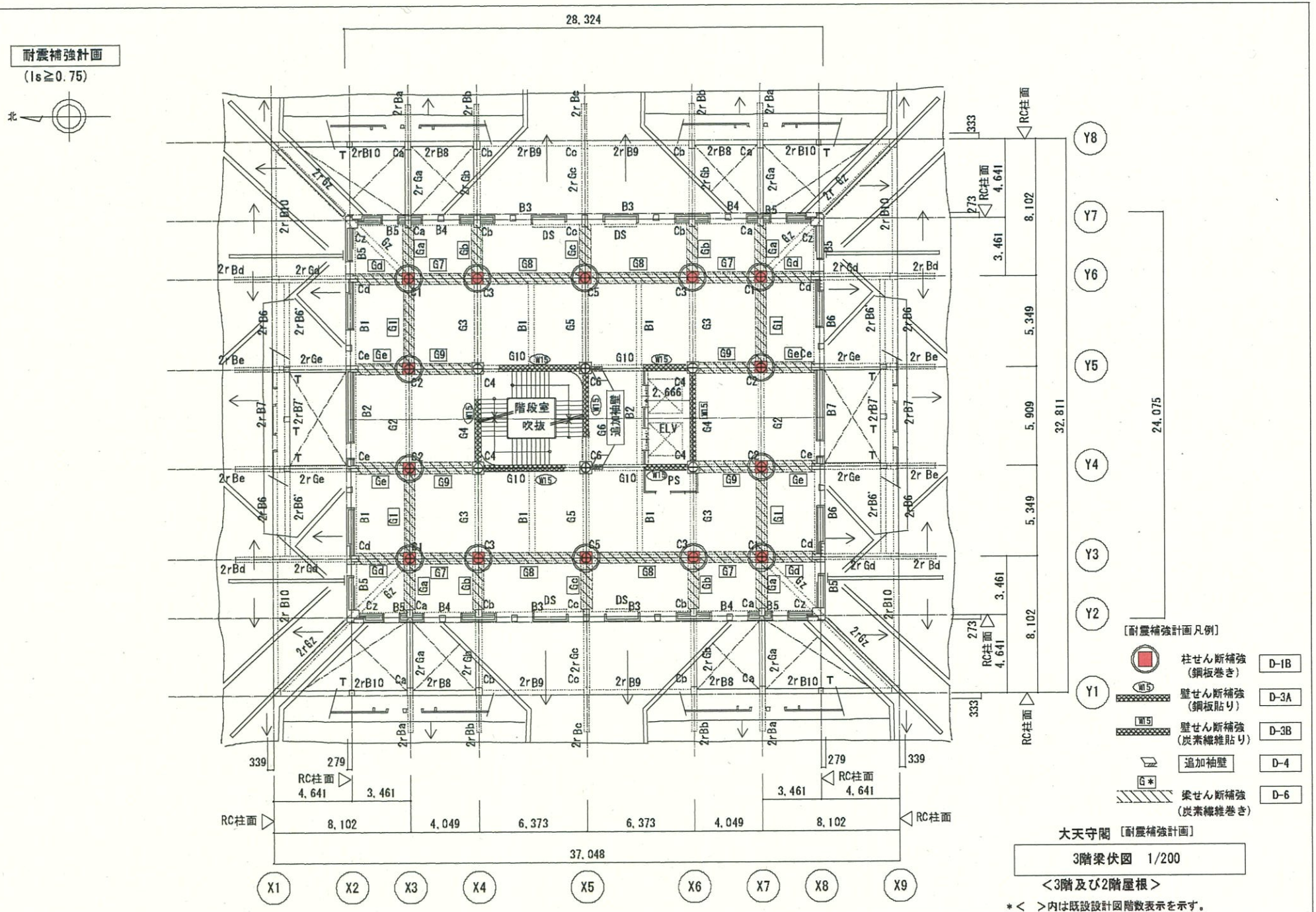
大天守閣 [耐震補強計画]

2階梁伏図 1/200

<2階及び1階屋根>

*< >内は既設設計図階数表示を示す。

耐震補強計画
(Is≧0.75)



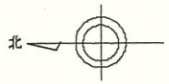
大天守閣 [耐震補強計画]

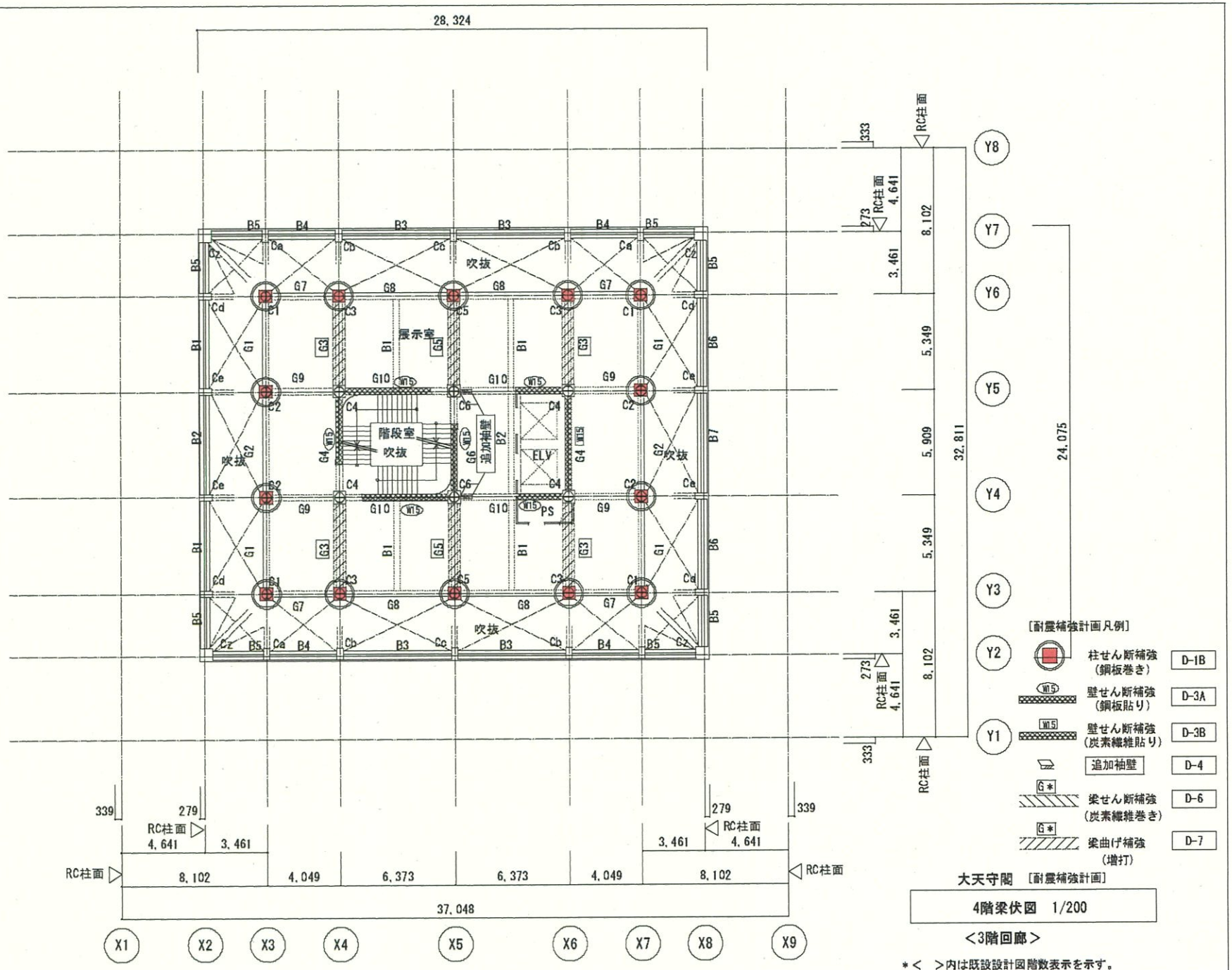
3階梁伏図 1/200

<3階及び2階屋根>

＊< >内は既設設計図階数表示を示す。

耐震補強計画
(Is≧0.75)





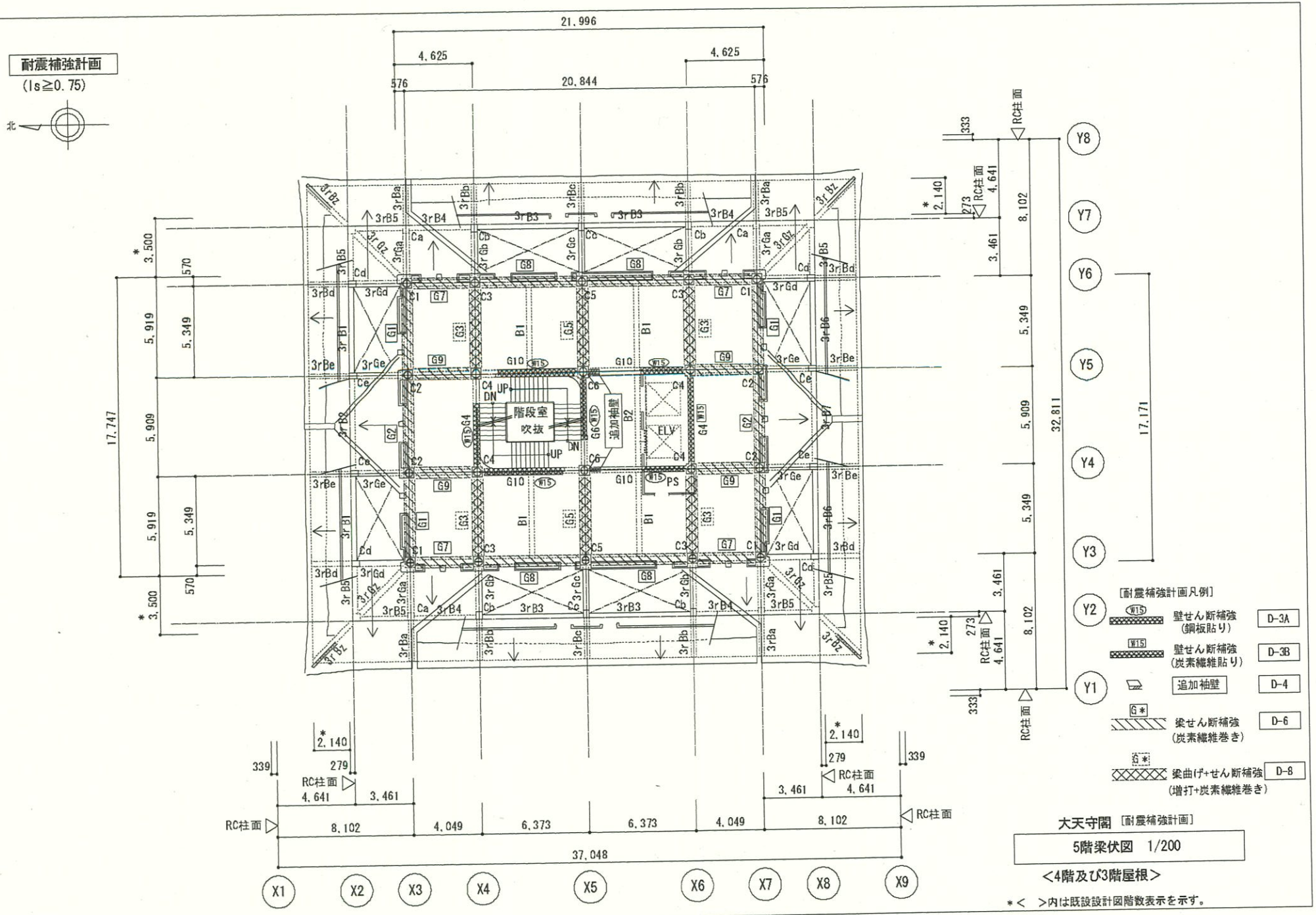
大天守閣 [耐震補強計画]

4階梁伏図 1/200

<3階回廊>

*< >内は既設設計図階数表示を示す。

耐震補強計画
(Is≧0.75)



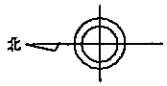
大天守閣 [耐震補強計画]

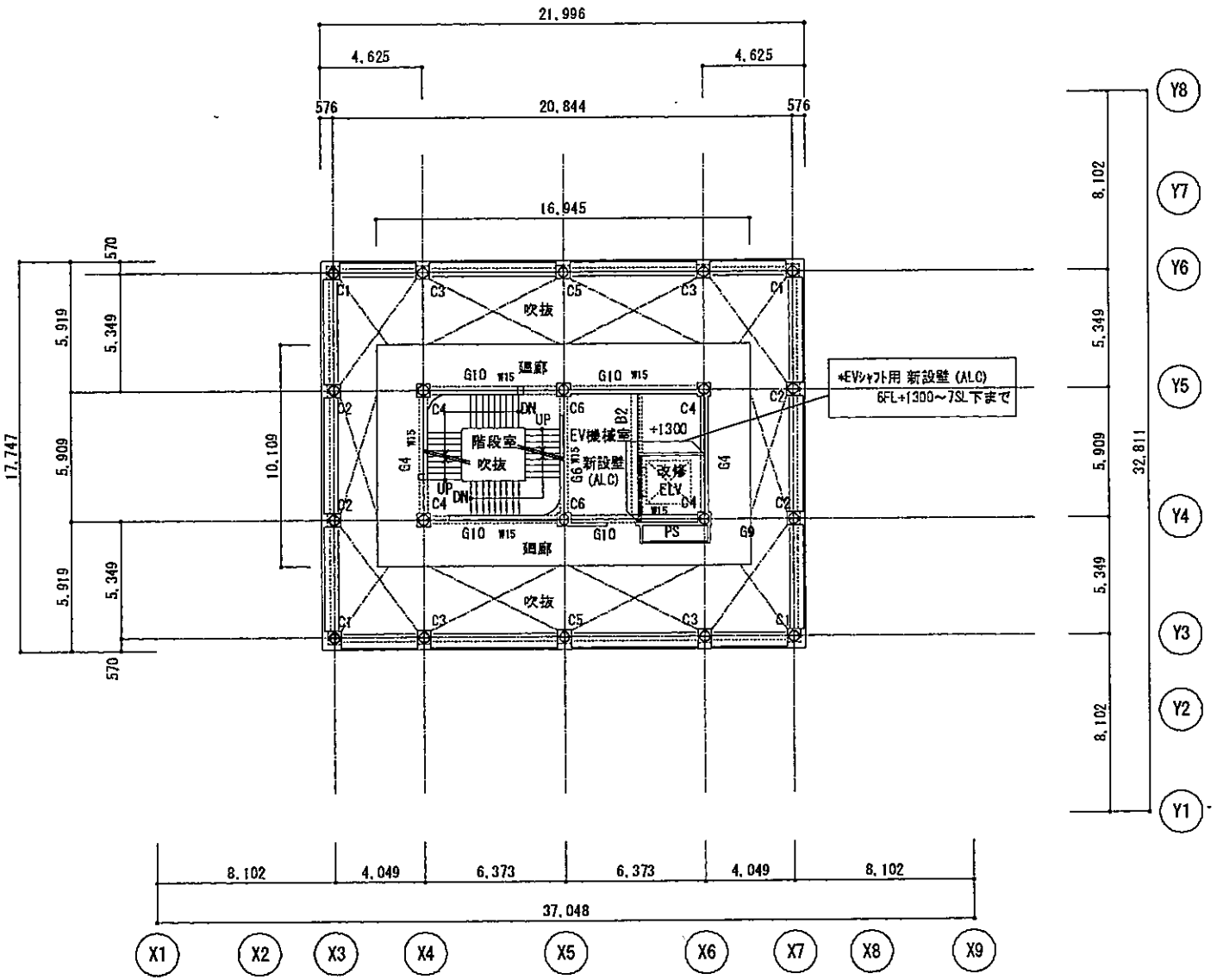
5階梁伏図 1/200

<4階及び3階屋根>

*< >内は既設設計図階数表示を示す。

耐震補強計画
(Is≧0.75)





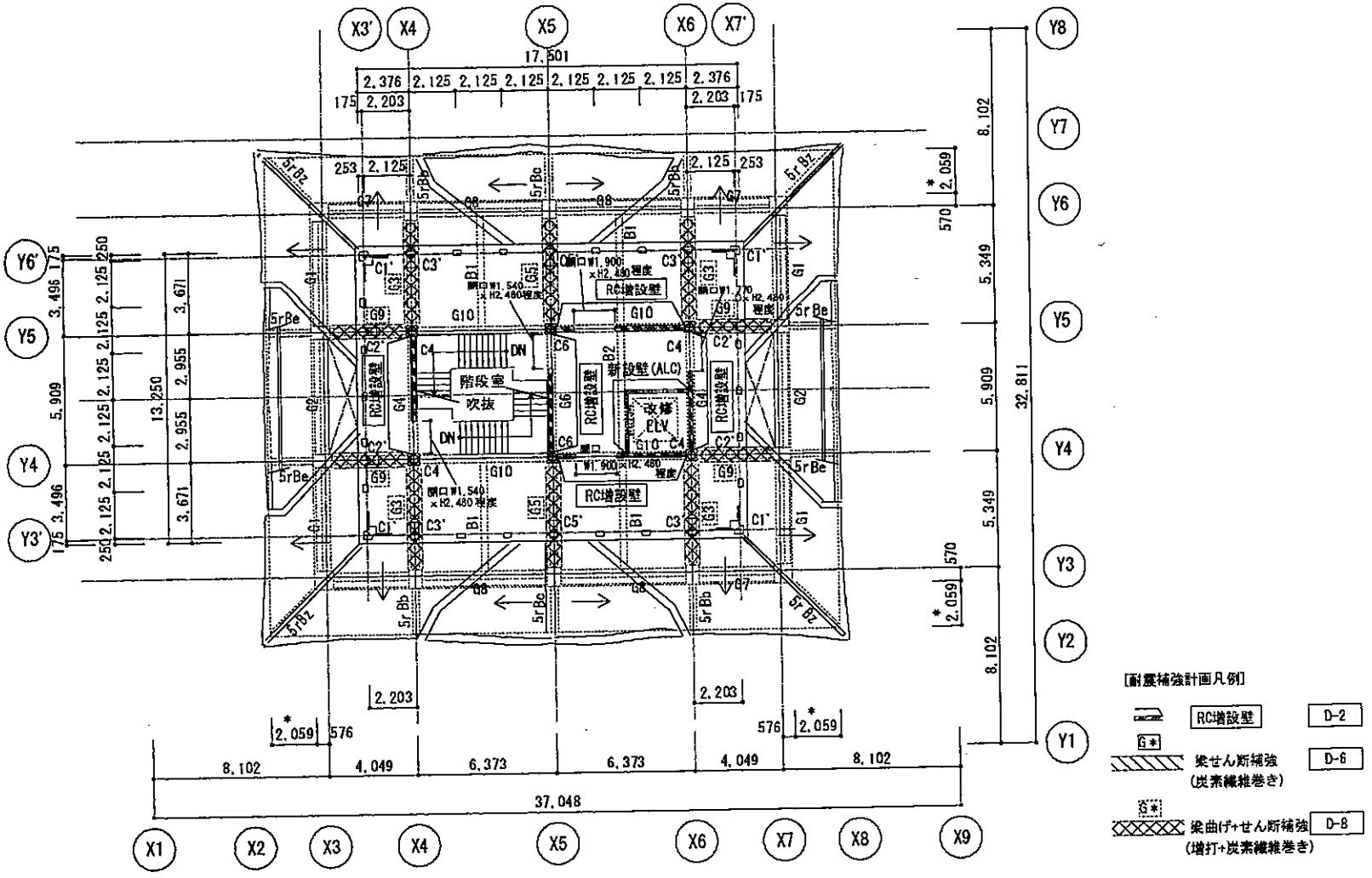
大天守閣 [耐震補強計画]

6階梁伏図 1/200

<4階回廊>

*< >内は既設設計図階数表示を示す。

耐震補強計画
(Is≧0.75)



(ケース1)

大天守閣 [耐震補強計画]

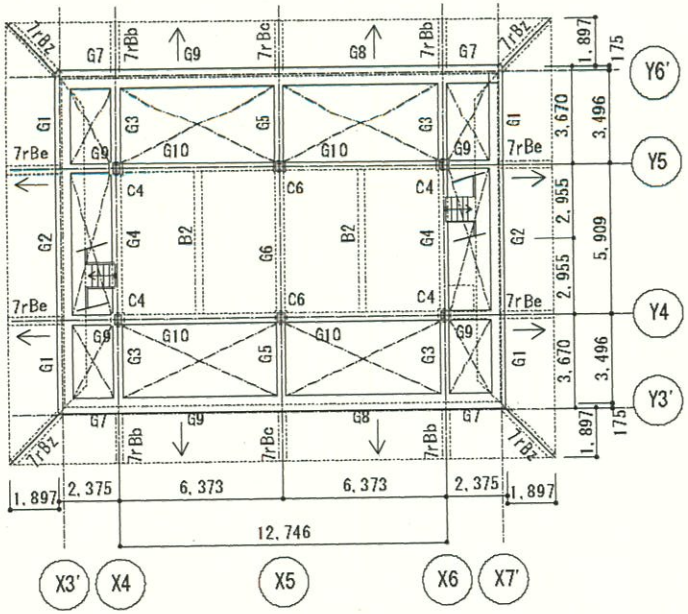
7階梁・5階屋根伏図 1/200

<5階及び4層屋根>

＊< >内は既設設計図階数表示を示す。

耐震補強計画
(Is≧0.75)

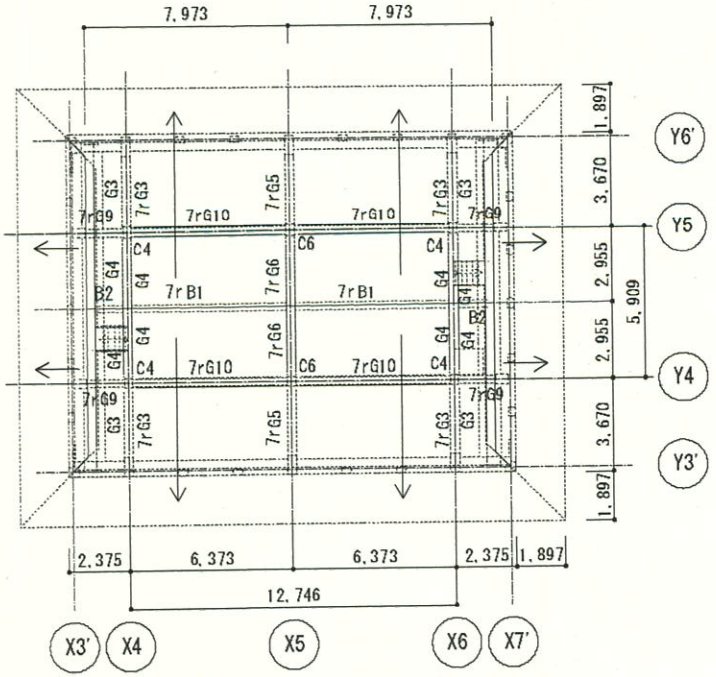
北



大天守閣

PH階梁・7階屋根伏図　1/200

<6階及び5層屋根>



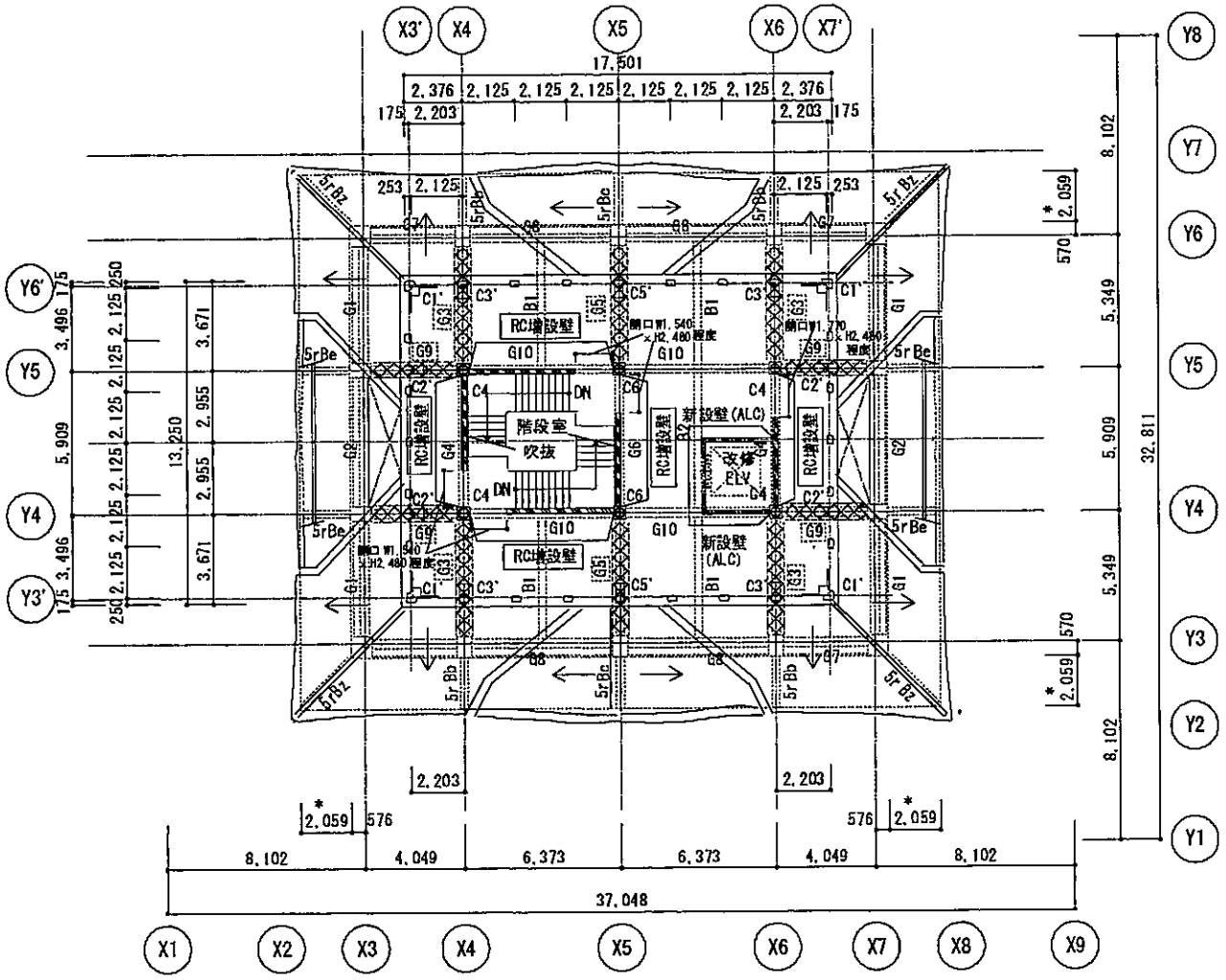
大天守閣

PH階屋根伏図　1/200

<5層屋根>

＊<　>内は既設設計図階数表示を示す。

耐震補強計画
(Is≧0.75)



(ケース2)

[耐震補強計画凡例]

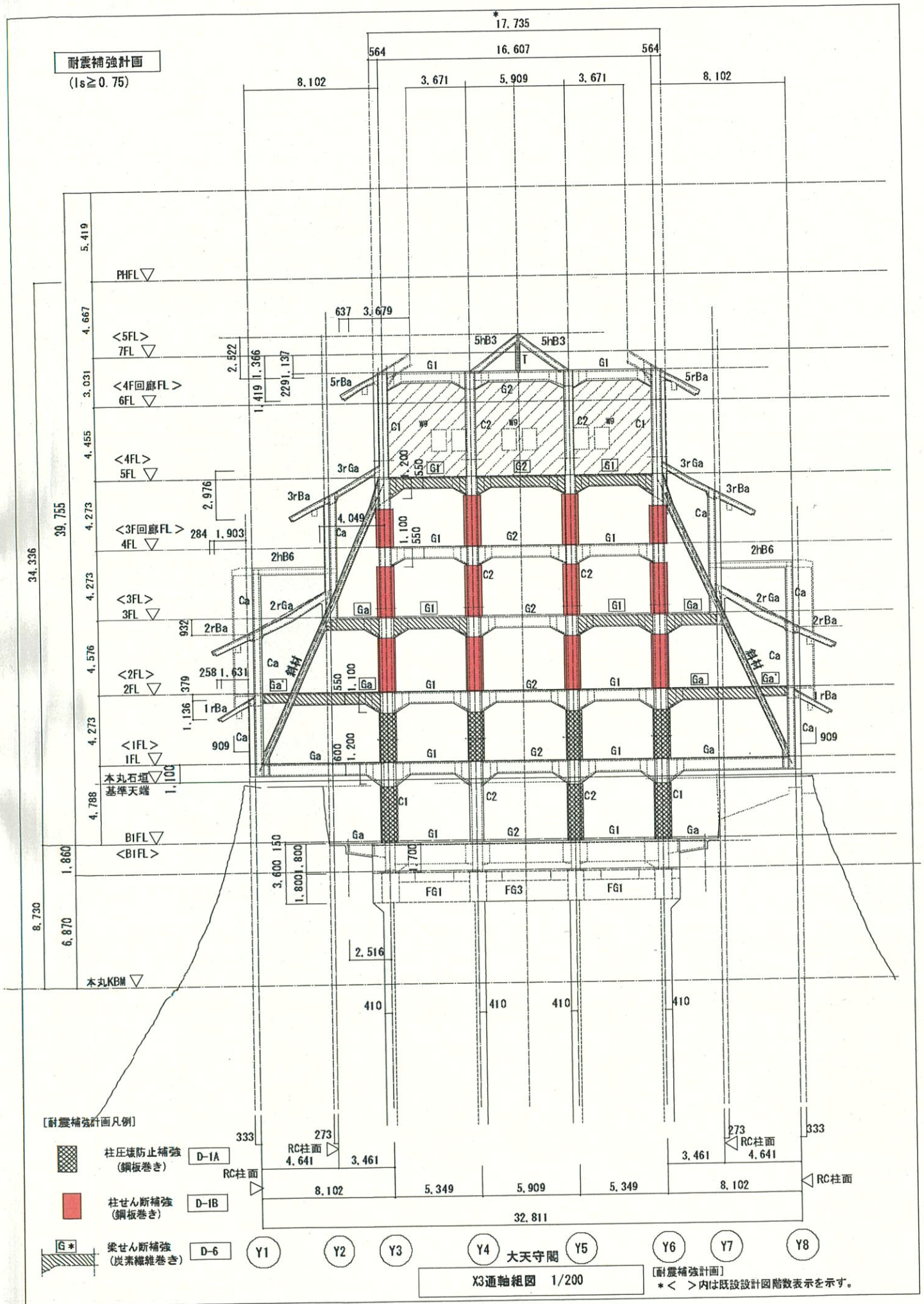
- RC増設壁 D-2
- G* 梁せん断補強 (炭素繊維巻き) D-6
- G* 梁曲げ+せん断補強 (増打+炭素繊維巻き) D-8

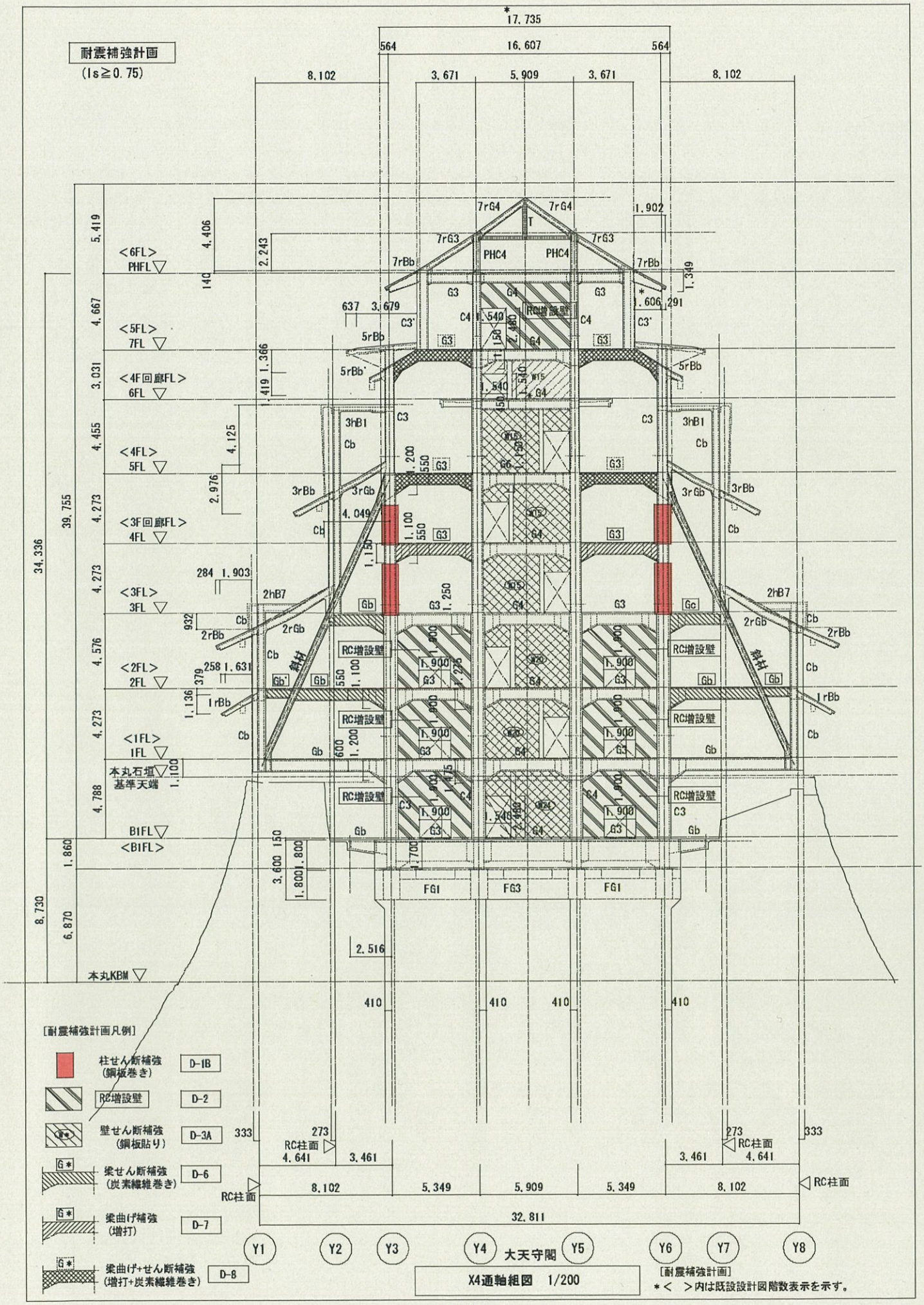
大天守閣 [耐震補強計画]

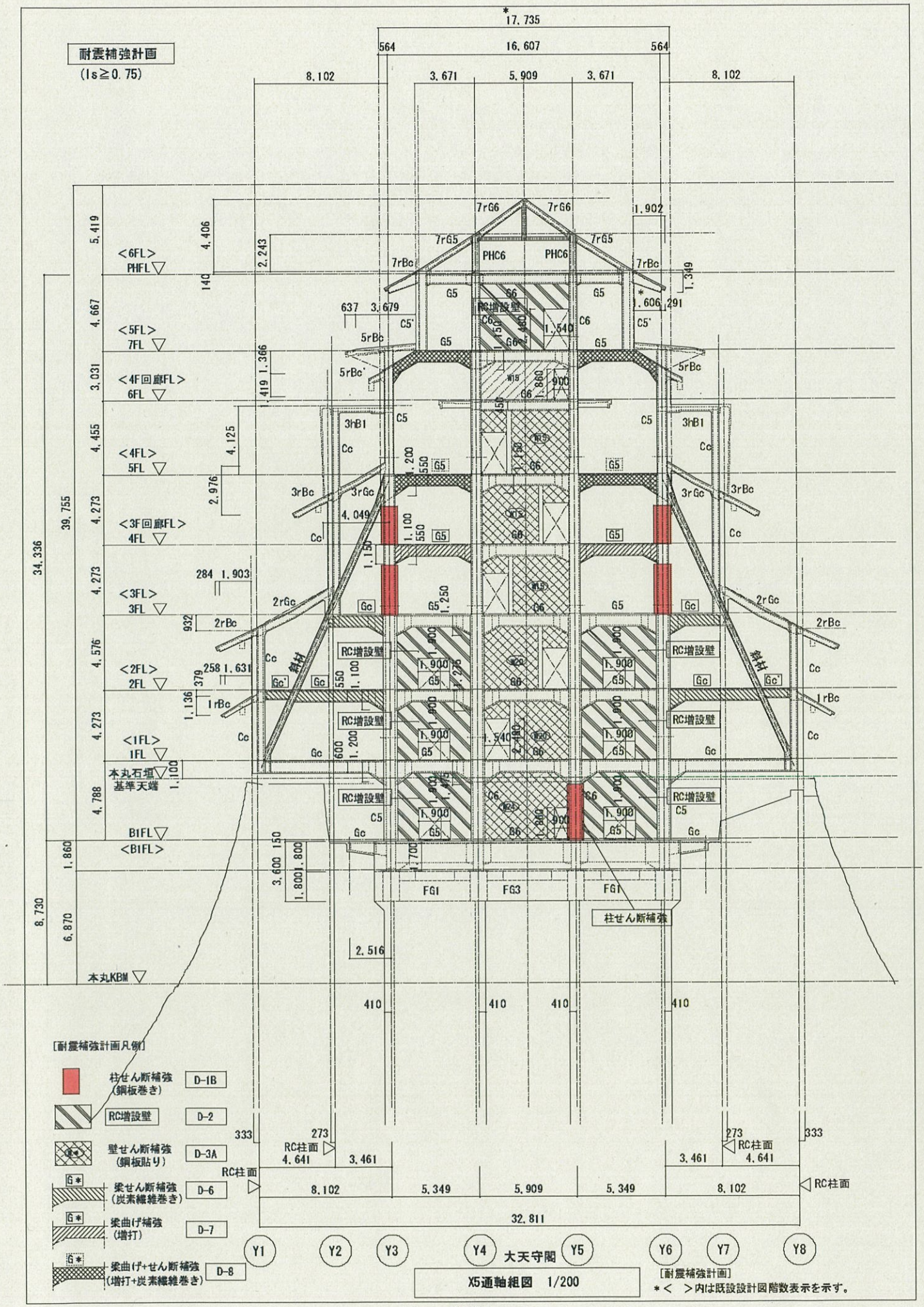
7階梁・5階屋根伏図 1/200

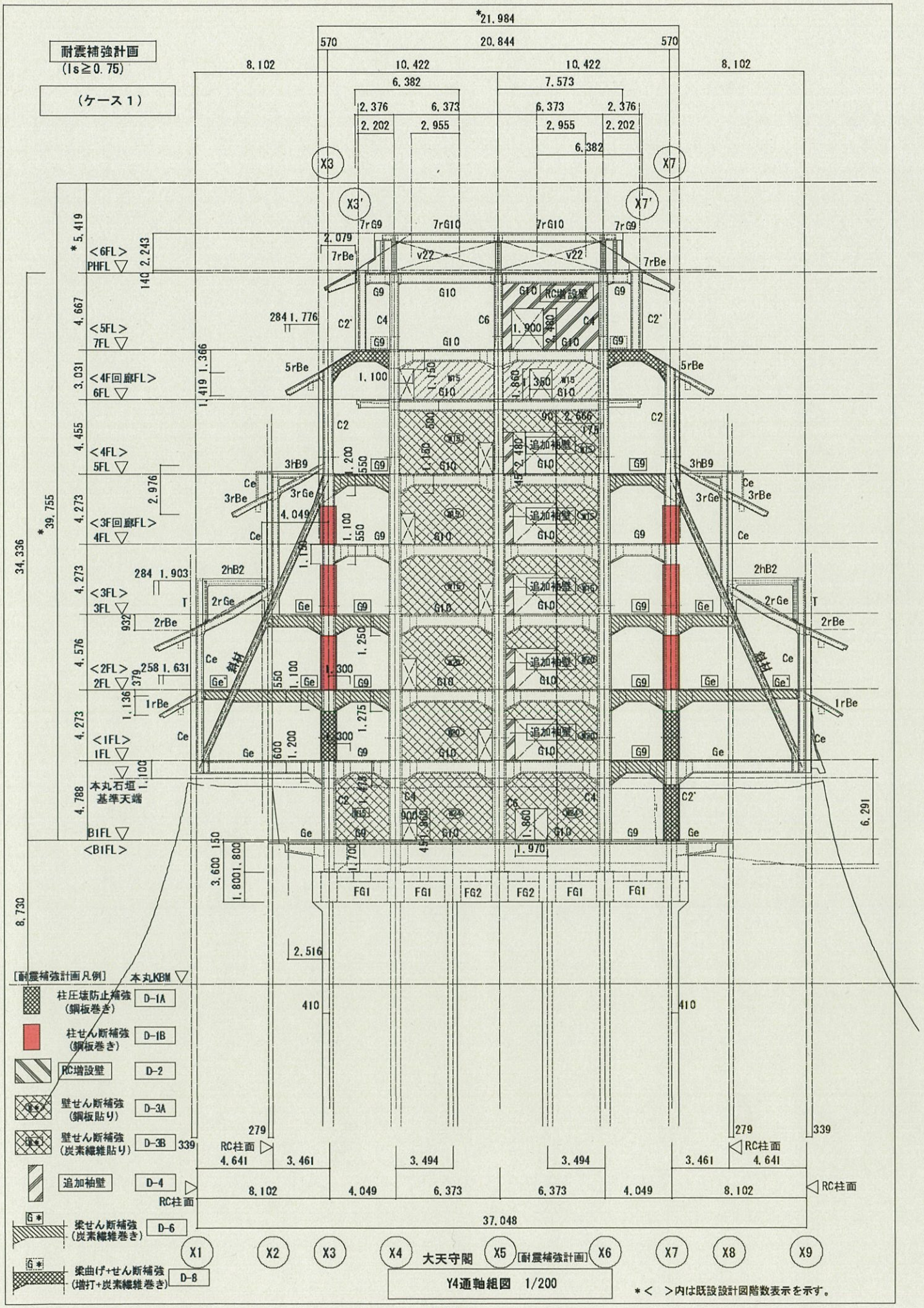
<5階及び4層屋根>

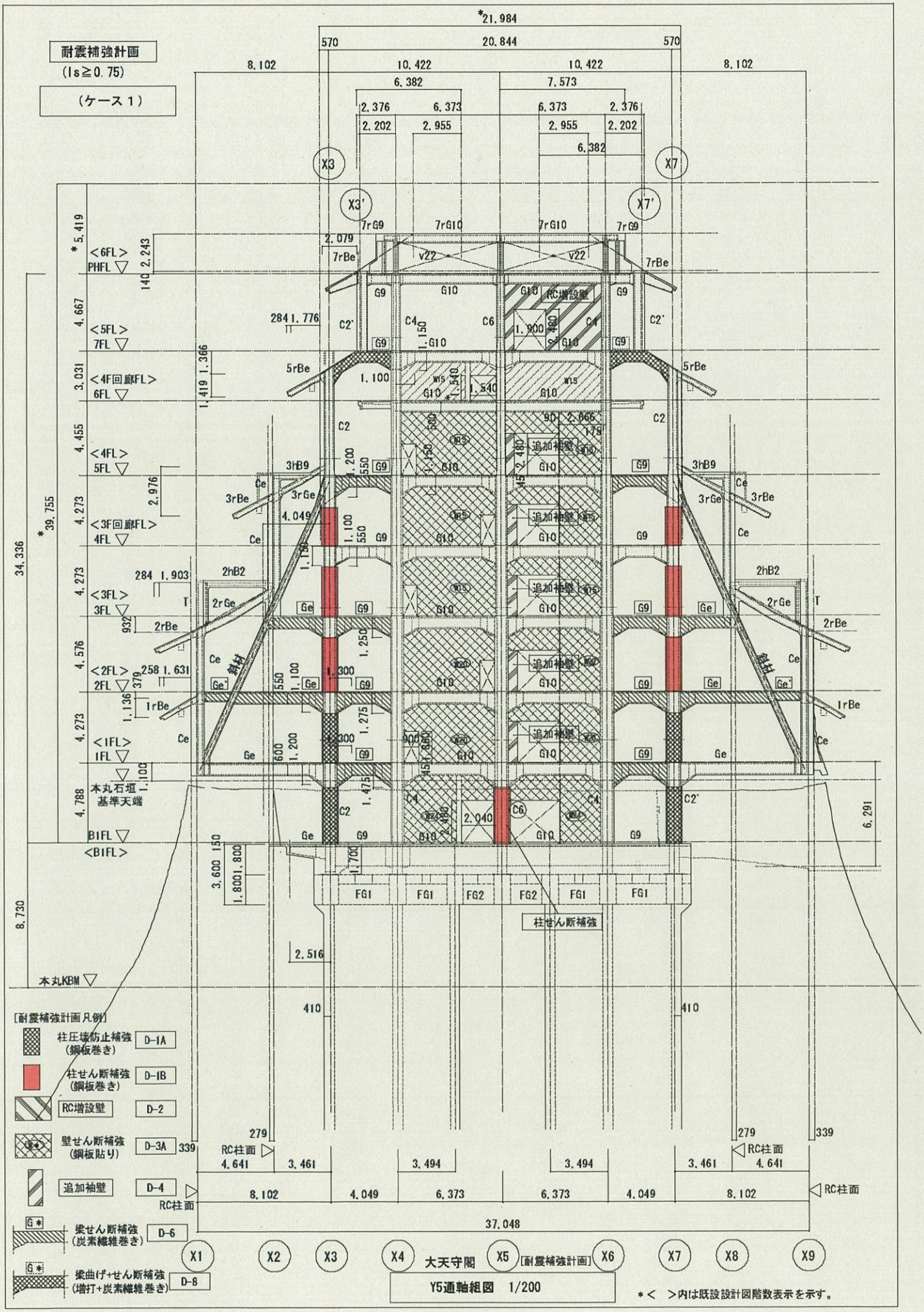
*< >内は既設設計図階数表示を示す。

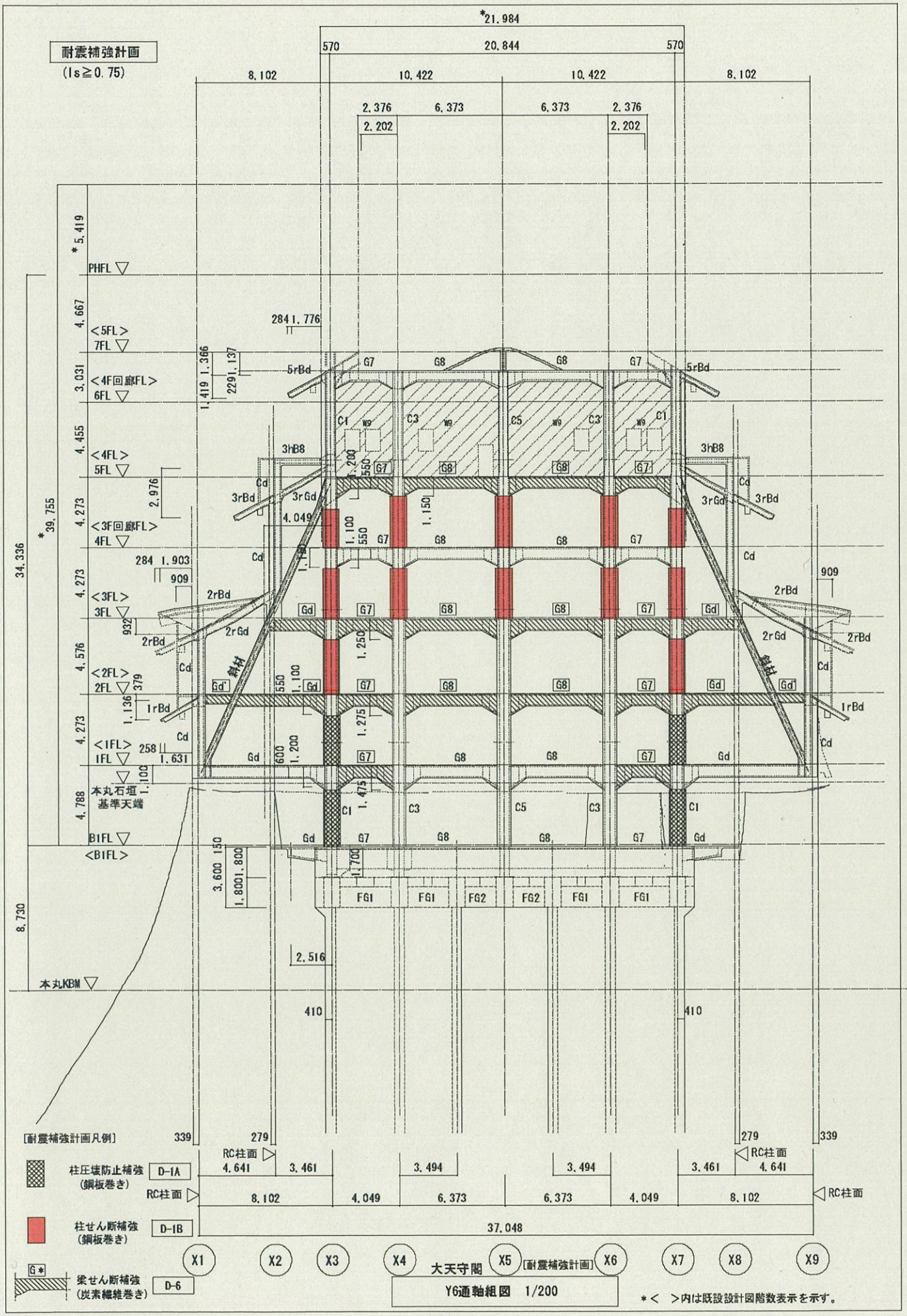

耐震補強計画
(Is≧0.75)
17,735
564
16,607
564
8,102
3,671
5,909
3,671
8,102
PHFL
<5FL>
7FL
<4F回廊FL>
6FL
<4FL>
5FL
<3F回廊FL>
4FL
<3FL>
3FL
<2FL>
2FL
<1FL>
1FL
本丸石垣
基準天端
B1FL
<B1FL>
本丸KBM
5,419
4,667
3,031
4,455
4,273
4,273
4,576
4,273
4,788
1,860
6,870
8,730
39,755
34,336
637
3,679
5hB3
5hB3
5rBa
5rBa
G1
G2
C1
C2
W9
3rGa
3rBa
3rBa
Ca
2hB6
2hB6
2rGa
2rBa
2rBa
Ga
Ga'
1rBa
1rBa
斜材
斜材
FG1
FG3
FG1
2,516
410
410
410
410
[耐震補強計画凡例]
柱圧壊防止補強
(鋼板巻き)
D-1A
柱せん断補強
(鋼板巻き)
D-1B
G*
梁せん断補強
(炭素繊維巻き)
D-6
333
273
RC柱面
4,641
3,461
RC柱面
8,102
5,349
5,909
5,349
8,102
RC柱面
32,811
Y1
Y2
Y3
Y4
大天守閣
Y5
Y6
Y7
Y8
X3通軸組図 1/200
[耐震補強計画]
*< >内は既設設計図階数表示を示す。

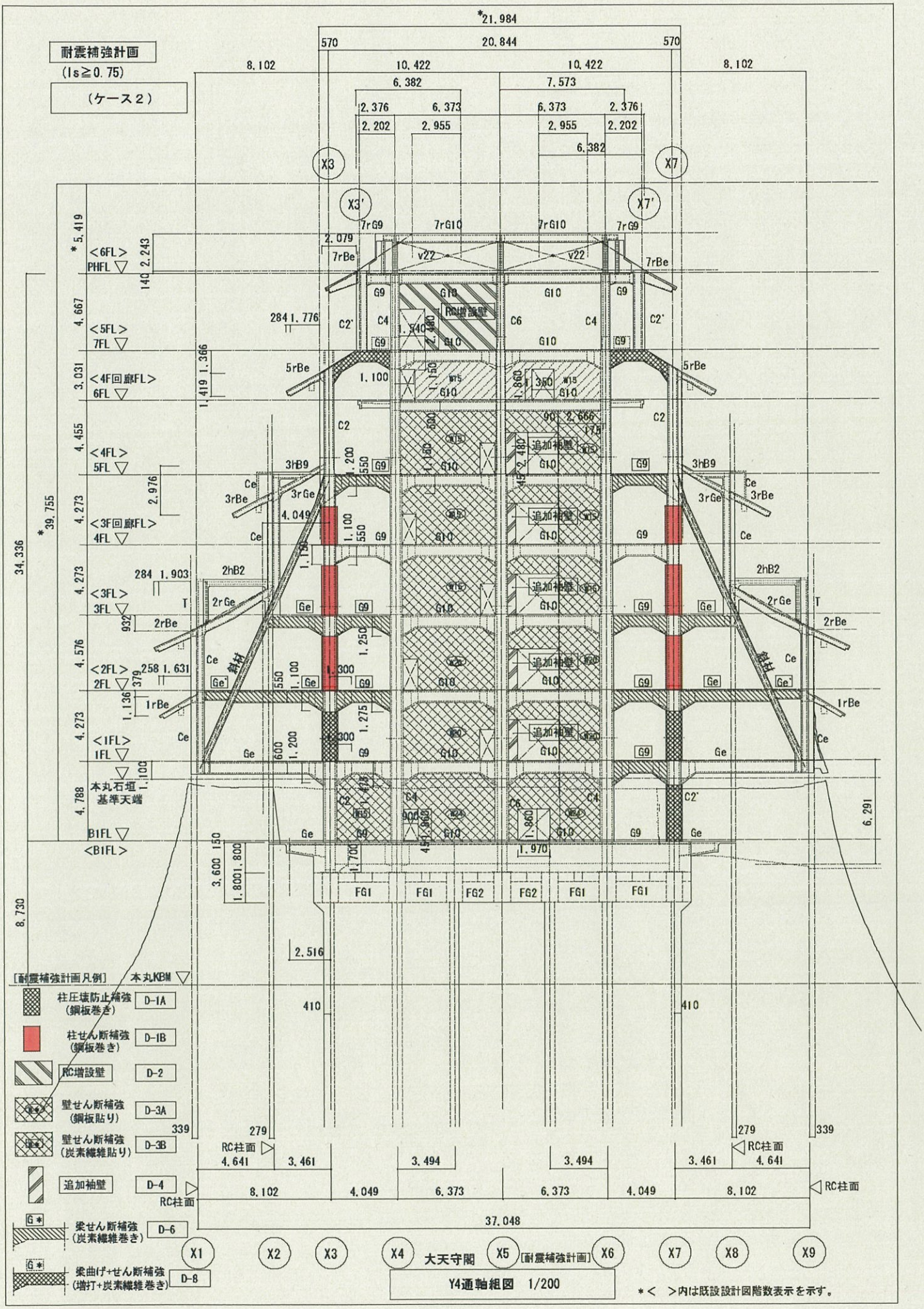

耐震補強計画
(Is≧0.75)
17.735
16.607
564
8.102
3.671
5.909
<6FL>
PHFL
<5FL>
7FL
<4F回廊FL>
6FL
<4FL>
5FL
<3F回廊FL>
4FL
<3FL>
3FL
<2FL>
2FL
<1FL>
1FL
本丸石垣
基準天端
B1FL
<B1FL>
本丸KBM
34.336
39.755
8.730
RC増設壁
斜材
FG1
FG3
RC柱面
32.811
Y1
Y2
Y3
Y4
Y5
Y6
Y7
Y8
大天守閣
[耐震補強計画凡例]
柱せん断補強
(鋼板巻き)
D-1B
RC増設壁
D-2
壁せん断補強
(鋼板貼り)
D-3A
梁せん断補強
(炭素繊維巻き)
D-6
梁曲げ補強
(増打)
D-7
梁曲げ+せん断補強
(増打+炭素繊維巻き)
D-8
X4通軸組図 1/200
[耐震補強計画]
*< >内は既設設計図階数表示を示す。


耐震補強計画
(Is≧0.75)
17,735
564
16,607
564
8,102
3,671
5,909
3,671
8,102
<6FL>
PHFL
<5FL>
7FL
<4F回廊FL>
6FL
<4FL>
5FL
<3F回廊FL>
4FL
<3FL>
3FL
<2FL>
2FL
<1FL>
1FL
本丸石垣
基準天端
B1FL
<B1FL>
本丸KBM
39,755
34,336
8,730
6,870
7rG6
7rG5
PHC6
7rBc
5rBc
3hB1
3rBc
3rGc
2rGc
2rBc
1rBc
RC増設壁
斜材
柱せん断補強
FG1
FG3
[耐震補強計画凡例]
柱せん断補強
(鋼板巻き)
D-1B
RC増設壁
D-2
壁せん断補強
(鋼板貼り)
D-3A
梁せん断補強
(炭素繊維巻き)
D-6
梁曲げ補強
(増打)
D-7
梁曲げ+せん断補強
(増打+炭素繊維巻き)
D-8
RC柱面
4,641
3,461
8,102
5,349
5,909
5,349
8,102
32,811
Y1
Y2
Y3
Y4
大天守閣
Y5
Y6
Y7
Y8
X5通軸組図 1/200
[耐震補強計画]
*< >内は既設設計図階数表示を示す。

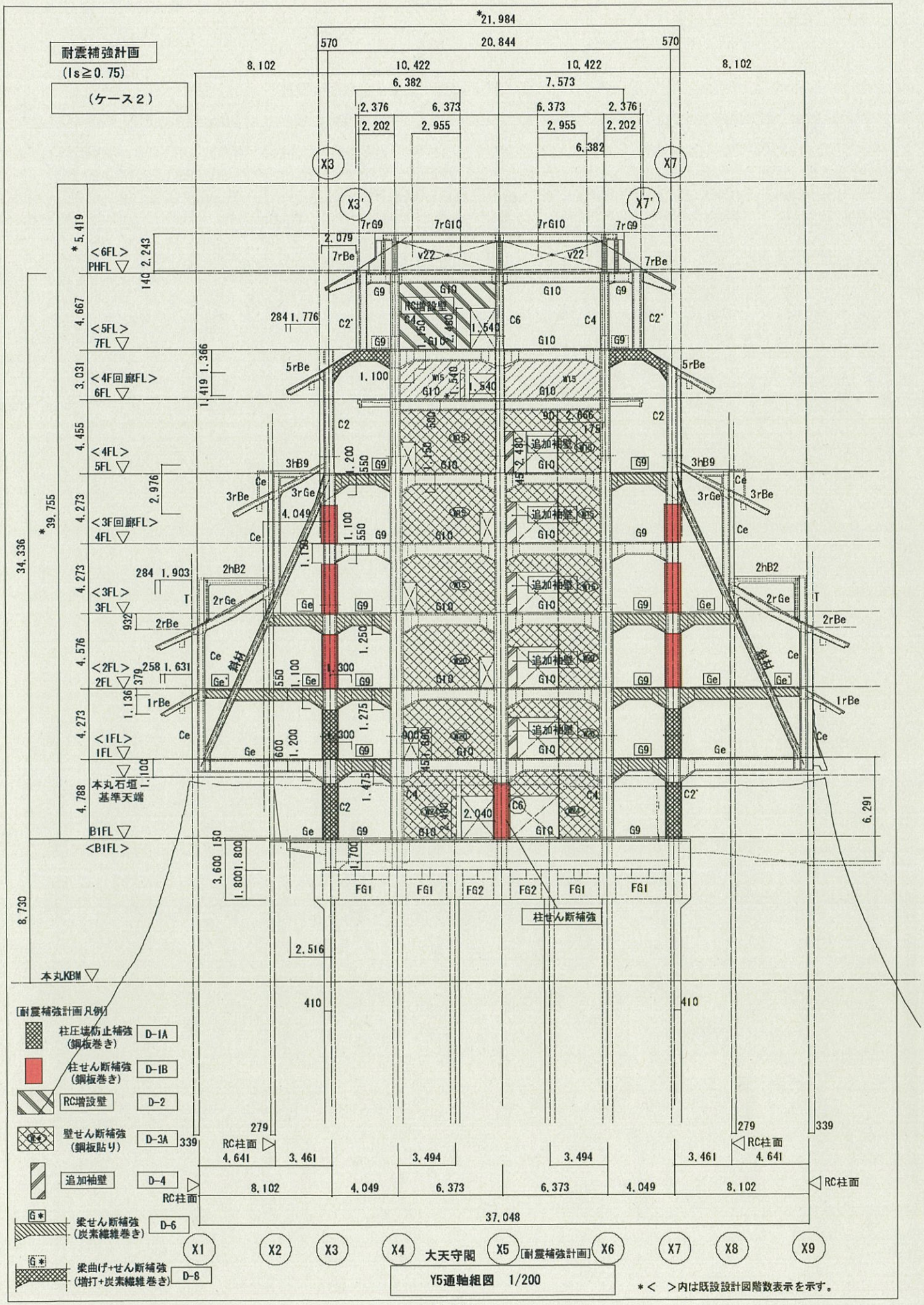

耐震補強計画
(Is≧0.75)
(ケース1)
*21.984
20.844
570
8.102
10.422
6.382
7.573
2.376
6.373
2.202
2.955
X3
X3'
X7
X7'
7rG9
7rG10
7rBe
v22
G9
G10
RC増設壁
C2'
C4
C6
5rBe
C2
追加袖壁
3hB9
3rBe
3rGe
Ce
2hB2
2rGe
2rBe
1rBe
Ge
Ge'
斜材
<6FL>
PHFL
<5FL>
7FL
<4F回廊FL>
6FL
<4FL>
5FL
<3F回廊FL>
4FL
<3FL>
3FL
<2FL>
2FL
<1FL>
1FL
本丸石垣
基準天端
B1FL
<B1FL>
*5.419
*39.755
34.336
8.730
FG1
FG2
2.516
410
279
339
RC柱面
4.641
3.461
3.494
4.049
6.373
37.048
X1
X2
X3
X4
X5
X6
X7
X8
X9
大天守閣
[耐震補強計画]
Y4通軸組図 1/200
[耐震補強計画凡例]
本丸KBM
柱圧壊防止補強(鋼板巻き) D-1A
柱せん断補強(鋼板巻き) D-1B
RC増設壁 D-2
壁せん断補強(鋼板貼り) D-3A
壁せん断補強(炭素繊維貼り) D-3B
追加袖壁 D-4
梁せん断補強(炭素繊維巻き) D-6
梁曲げ+せん断補強(増打+炭素繊維巻き) D-8
*< >内は既設設計図階数表示を示す。


耐震補強計画
(Is≧0.75)
(ケース１)
*21.984
570
20.844
570
8.102
10.422
10.422
8.102
6.382
7.573
2.376
6.373
6.373
2.376
2.202
2.955
2.955
2.202
6.382
X3
X7
X3'
X7'
7rG9
7rG10
7rG10
7rG9
2.079
7rBe
v22
v22
7rBe
*5.419
<6FL>
PHFL
2.243
140
G9
G10
G10
RC増設壁
G9
4.667
<5FL>
7FL
2841.776
C2'
C4
C6
1.900
C4
C2'
G9
1.150
G10
G10
G9
3.031
<4F回廊FL>
6FL
1.366
1.419
5rBe
1.100
W15
G10
1.540
1.540
W15
G10
5rBe
4.455
<4FL>
5FL
C2
500
90
2.666
179
C2
3hB9
1.200
550
G9
1.150
G10
追加袖壁
W15
2.480
45
G10
G9
3hB9
Ce
3rBe
3rGe
4.049
3rGe
3rBe
Ce
*39.755
34.336
4.273
<3F回廊FL>
4FL
2.976
Ce
1.100
550
G9
G10
追加袖壁
W15
G10
G9
Ce
1.150
4.273
<3FL>
3FL
2841.903
2hB2
T
2rGe
Ge
G9
G10
追加袖壁
W15
G10
G9
Ge
2rGe
2hB2
T
932
2rBe
2rBe
4.576
<2FL>
2FL
2581.631
379
Ce
斜材
Ge'
550
1.100
Ge
1.300
G9
G10
追加袖壁
W20
G10
G9
Ge
Ge'
斜材
Ce
1.136
1rBe
1rBe
4.273
<1FL>
1FL
Ce
Ge
600
1.200
1.300
G9
900
860
450
G10
追加袖壁
W20
G10
G9
Ge
Ce
1.100
本丸石垣
基準天端
4.788
1.475
C4
C2
2.040
C6
C4
C2'
6.291
B1FL
<B1FL>
Ge
G9
G10
G9
150
3.600
1.800
1.700
FG1
FG1
FG2
FG2
FG1
FG1
柱せん断補強
8.730
2.516
本丸KBM
410
410
[耐震補強計画凡例]
柱圧壊防止補強
(鋼板巻き)
D-1A
柱せん断補強
(鋼板巻き)
D-1B
RC増設壁
D-2
壁せん断補強
(鋼板貼り)
D-3A
339
追加袖壁
D-4
RC柱面
梁せん断補強
(炭素繊維巻き)
D-6
梁曲げ+せん断補強
(増打+炭素繊維巻き)
D-8
279
RC柱面
4.641
3.461
3.494
3.494
3.461
279
339
RC柱面
4.641
8.102
4.049
6.373
6.373
4.049
8.102
RC柱面
37.048
X1
X2
X3
X4
X5
X6
X7
X8
X9
大天守閣
[耐震補強計画]
Y5通軸組図 1/200
*< >内は既設設計図階数表示を示す。

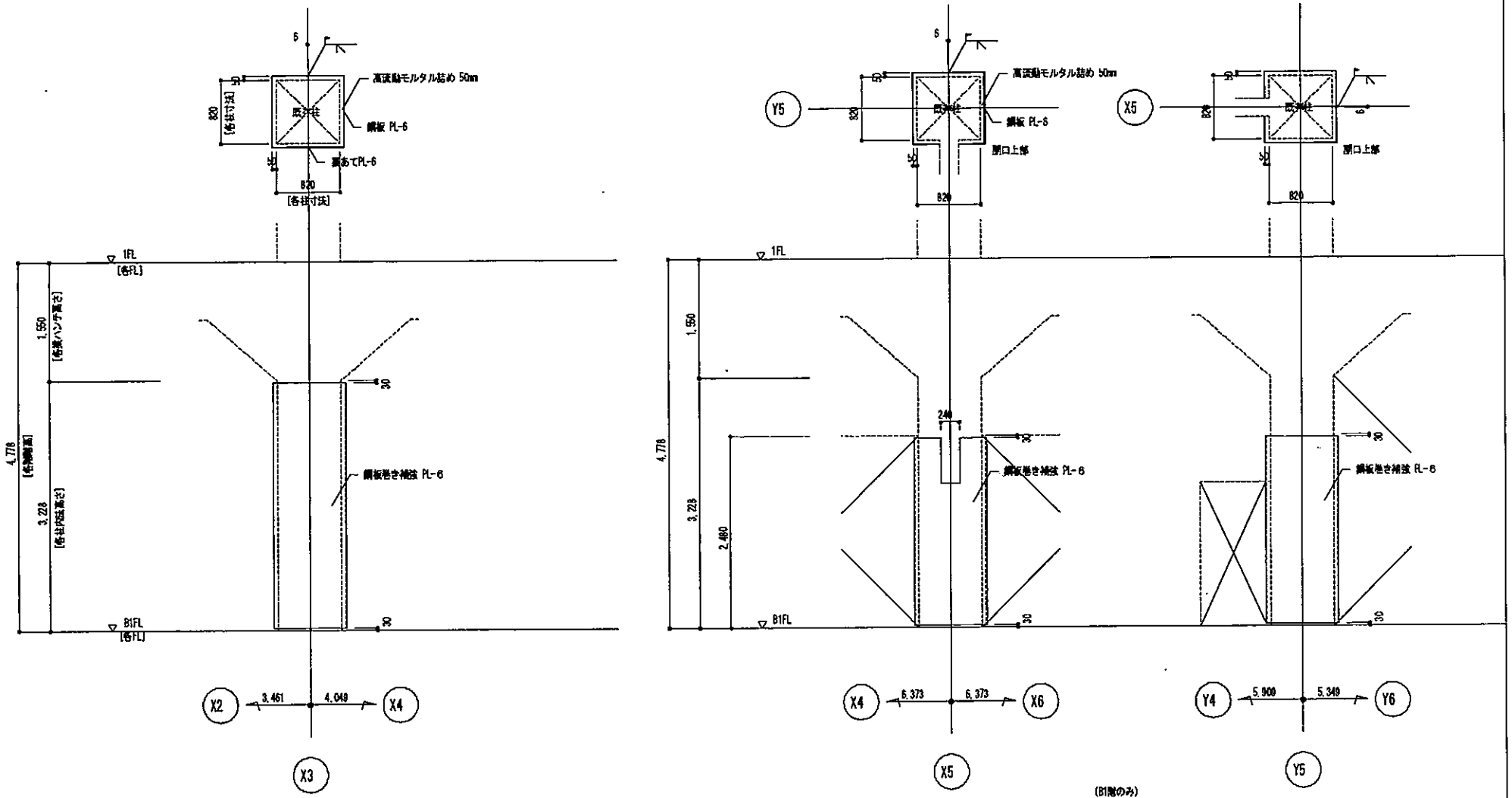

耐震補強計画
(Is≧0.75)
*21.984
570
20.844
570
8.102
10.422
10.422
8.102
2.376
6.373
6.373
2.376
2.202
2.202
*5.419
PHFL
4.667
<5FL>
7FL
3.031
<4F回廊FL>
6FL
4.455
<4FL>
5FL
4.273
<3F回廊FL>
4FL
4.273
<3FL>
3FL
4.576
<2FL>
2FL
4.273
<1FL>
1FL
4.788
B1FL
<B1FL>
*39.755
34.336
8.730
本丸石垣
基準天端
本丸KBM
284 1.776
1.366
1.137
1.419
2291
5rBd
G7
G8
C1
C3
C5
W9
3hB8
Cd
3rBd
3rGd
4.049
2.976
284 1.903
909
2rBd
2rGd
932
1rBd
1.136
379
258
1.631
1.100
1.200
550
1.150
1.250
1.275
1.475
600
1.700
3.600
1.800
150
FG1
FG2
2.516
410
339
279
RC柱面
4.641
3.461
3.494
4.049
37.048
X1
X2
X3
X4
X5
X6
X7
X8
X9
[耐震補強計画]
大天守閣
Y6通軸組図 1/200
[耐震補強計画凡例]
柱圧壊防止補強
(鋼板巻き)
D-1A
柱せん断補強
(鋼板巻き)
D-1B
梁せん断補強
(炭素繊維巻き)
D-6
G*
*< >内は既設設計図階数表示を示す。



耐震補強計画
(Is≧0.75)
(ケース2)
*21.984
20.844
570
8.102
10.422
6.382
7.573
2.376
6.373
2.202
2.955
X3
X3'
X7
X7'
<6FL>
PHFL
<5FL>
7FL
<4F回廊FL>
6FL
<4FL>
5FL
<3F回廊FL>
4FL
<3FL>
3FL
<2FL>
2FL
<1FL>
1FL
本丸石垣
基準天端
B1FL
<B1FL>
*5.419
*39.755
34.336
8.730
RC増設壁
追加袖壁
斜材
FG1
FG2
RC柱面
37.048
[耐震補強計画凡例]
本丸KBM
柱圧壊防止補強(鋼板巻き) D-1A
柱せん断補強(鋼板巻き) D-1B
RC増設壁 D-2
壁せん断補強(鋼板貼り) D-3A
壁せん断補強(炭素繊維貼り) D-3B
追加袖壁 D-4
梁せん断補強(炭素繊維巻き) D-6
梁曲げ+せん断補強(増打+炭素繊維巻き) D-8
X1
X2
X3
X4
X5
X6
X7
X8
X9
大天守閣
[耐震補強計画]
Y4通軸組図 1/200
*< >内は既設設計図階数表示を示す。



耐震補強計画
(Is≧0.75)
(ケース2)
*21.984
20.844
570
8.102
10.422
6.382
7.573
2.376
6.373
2.202
2.955
X3
X3'
X7
X7'
<6FL>
PHFL
<5FL>
7FL
<4F回廊FL>
6FL
<4FL>
5FL
<3F回廊FL>
4FL
<3FL>
3FL
<2FL>
2FL
<1FL>
1FL
<B1FL>
本丸石垣
基準天端
本丸KBM
34.336
*39.755
8.730
RC増設壁
追加袖壁
斜材
柱せん断補強
FG1
FG2
RC柱面
37.048
X1
X2
X3
X4
X5
X6
X7
X8
X9
大天守閣
[耐震補強計画]
Y5通軸組図 1/200
[耐震補強計画凡例]
柱圧壊防止補強 (鋼板巻き) D-1A
柱せん断補強 (鋼板巻き) D-1B
RC増設壁 D-2
壁せん断補強 (鋼板貼り) D-3A
追加袖壁 D-4
梁せん断補強 (炭素繊維巻き) D-6
梁曲げ+せん断補強 (増打+炭素繊維巻き) D-8
*< >内は既設設計図階数表示を示す。



一般部要領図　1：50

D-1A　D-1B

(B1階のみ)
D-1B

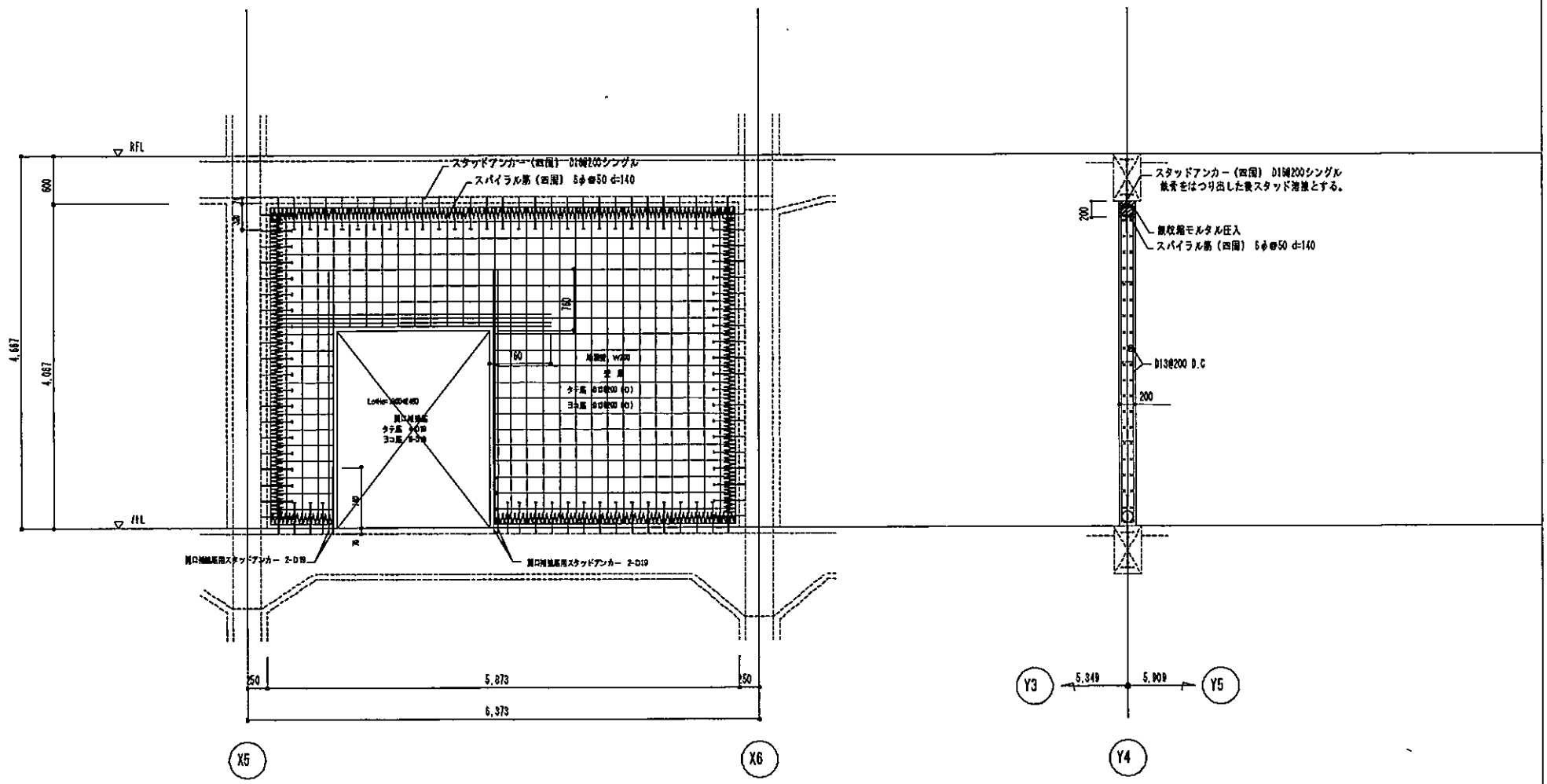
※ B1階の柱にコンクリートブロック壁が取り付く箇所については、補強工事のために必要な分のコンクリートブロックを一時撤去のうえ、復旧する。

鋼板巻き立て補強要領図　1：50

D-1

共通事項

1)	コンクリート	Fc=21N/mm²
2)	グラウト材	無収縮モルタル　Fm=30N/mm²
3)	鉄　筋	SD295A (D16以下)　、SD345 (D19以上)
4)	アンカー筋	SD295A （頭部ナット付き JIS G3112 規格品）
5)	鉄　骨	SS400

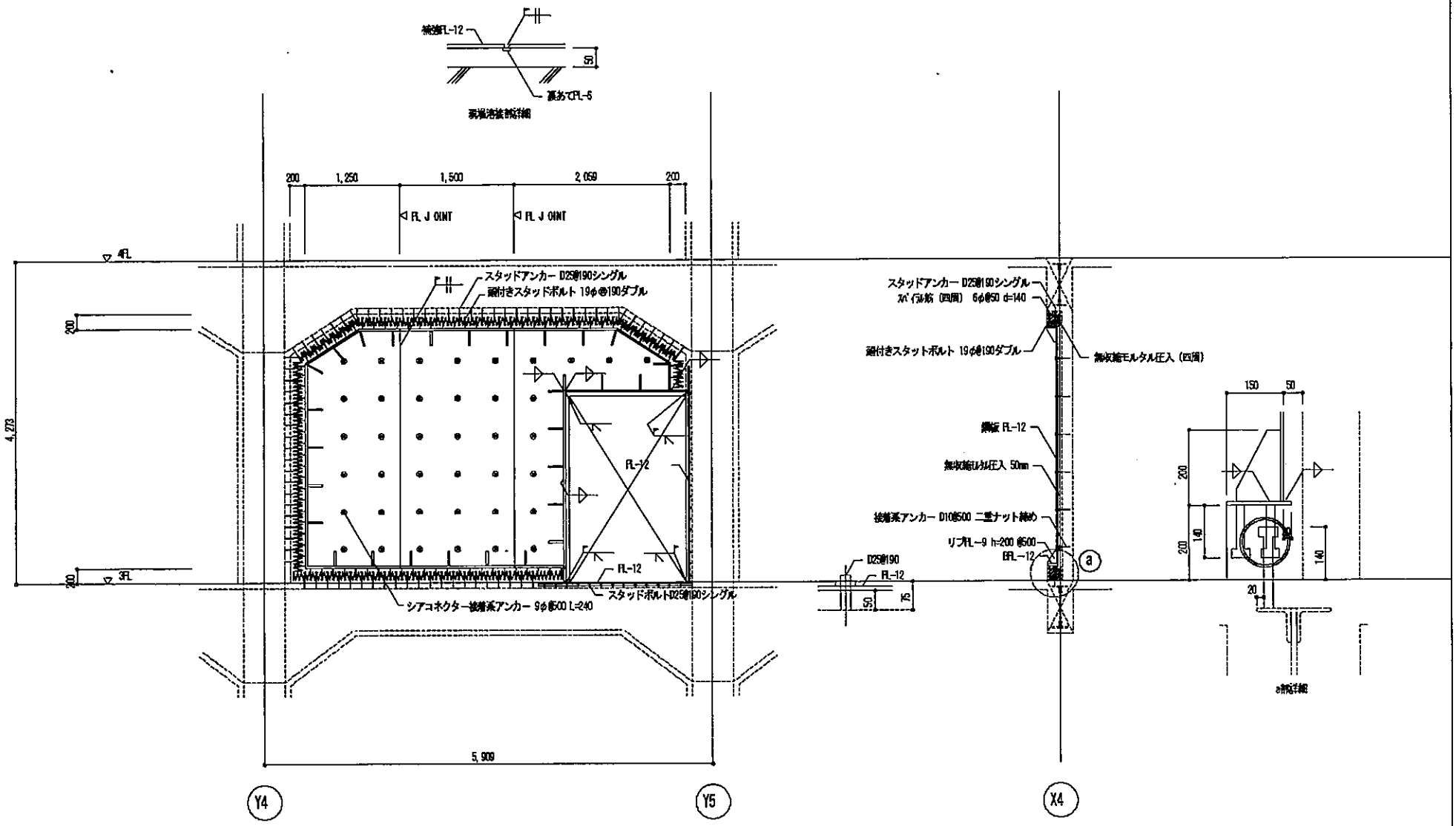


※ B1階～2階の増設壁には、補強後 D-3A補強を施工する。

増設壁補強要領図	1：50	D-2

共通事項

1）	コンクリート	Fc=21N/mm²
2）	グラウト材	無収縮モルタル　Fm=30N/mm²
3）	鉄　　筋	SD295A（D16以下）、SD345（D19以上）
4）	アンカー筋	SD295A（頭部ナット付き JIS G3112 規格品）
		SD345（開口まわり頭部ナットなし）

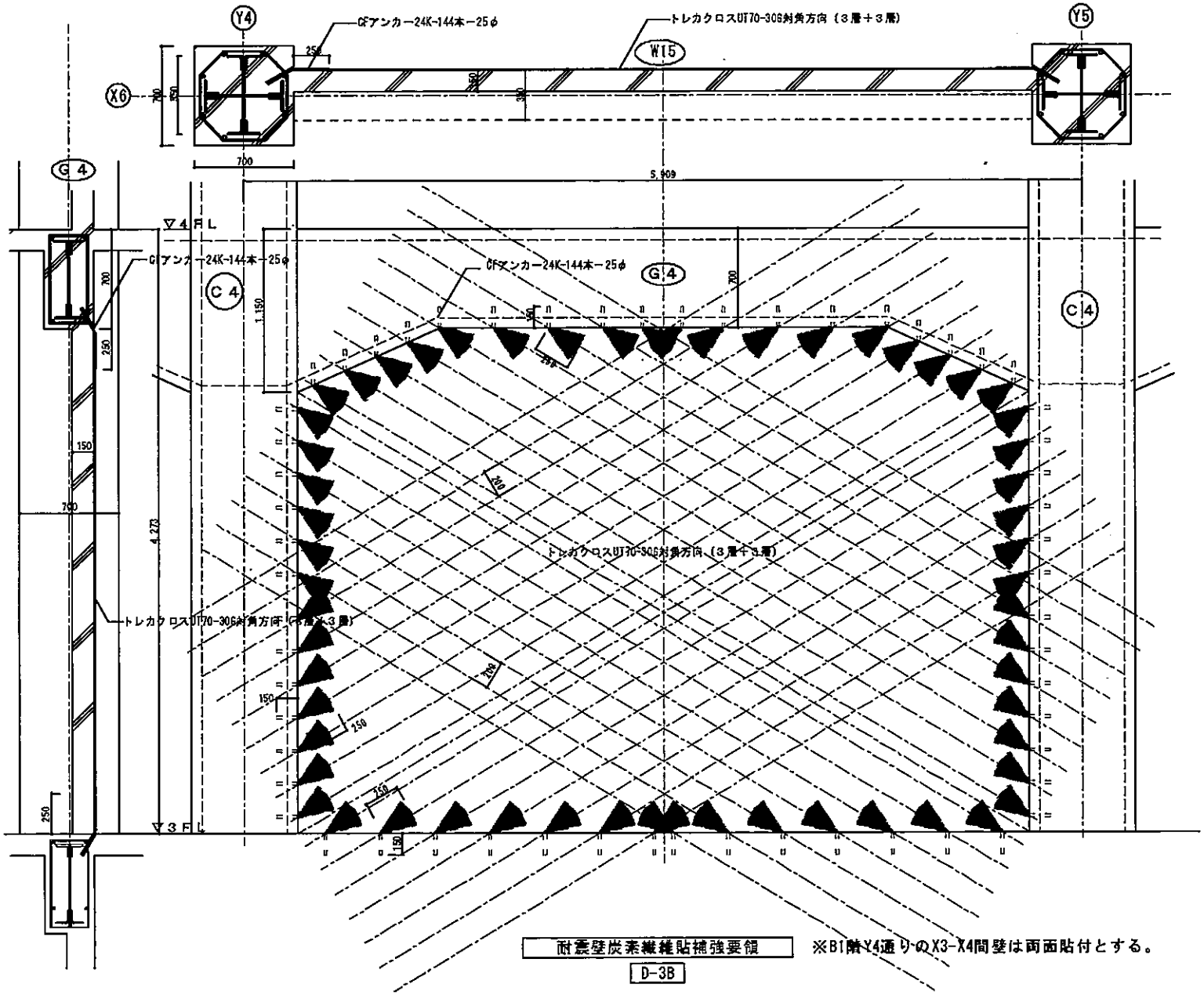


※施工期に存在する既存柱型は、撤去する。

整鋼板貼り補強要領図	1：50	D-3A

共通事項

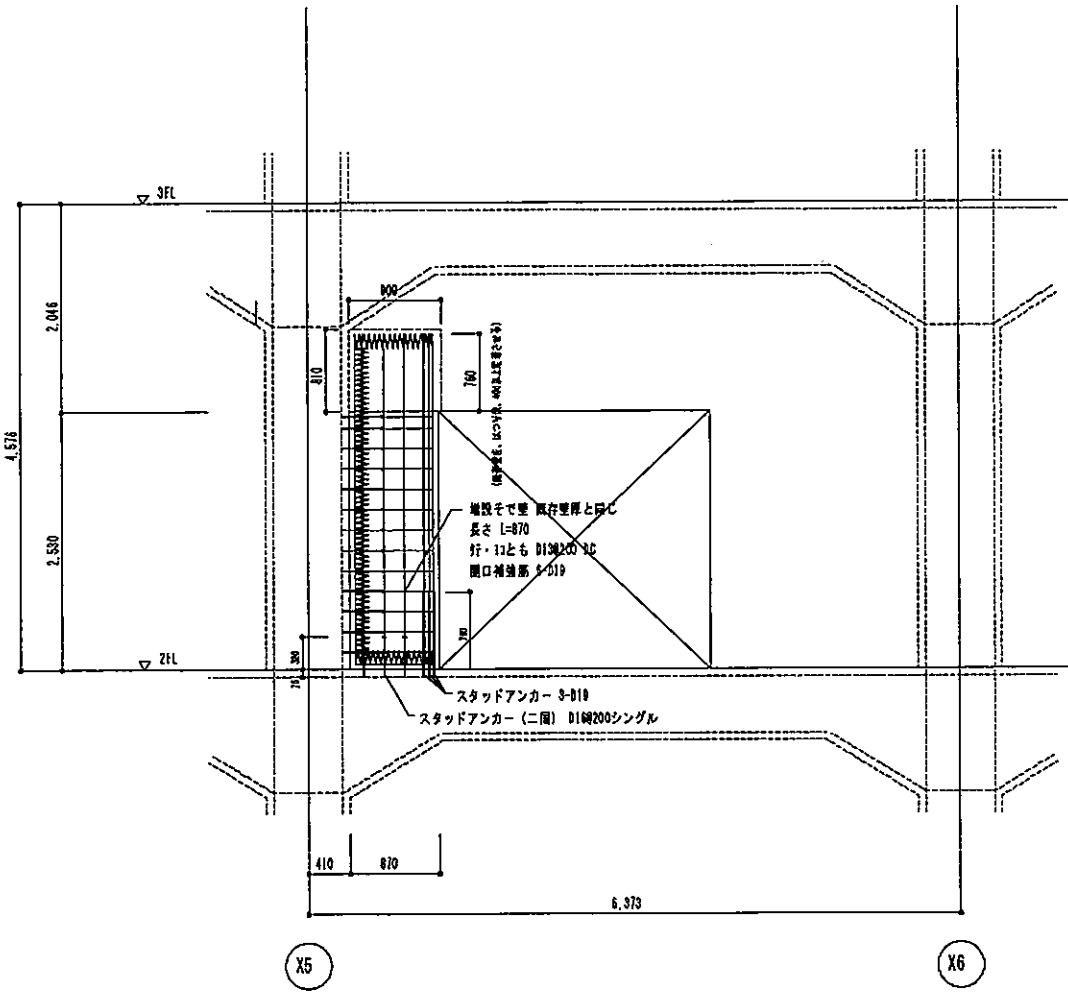
1)	コンクリート	Fc=21N/mm²
2)	グラウト材	無収縮モルタル Fm=30N/mm²
3)	鉄　筋	SD295A (D16以下) , SD345 (D19以上)
4)	アンカー筋	SD295A (頭部ナット付き JIS B1112 規格品)
5)	鉄　骨	SS400

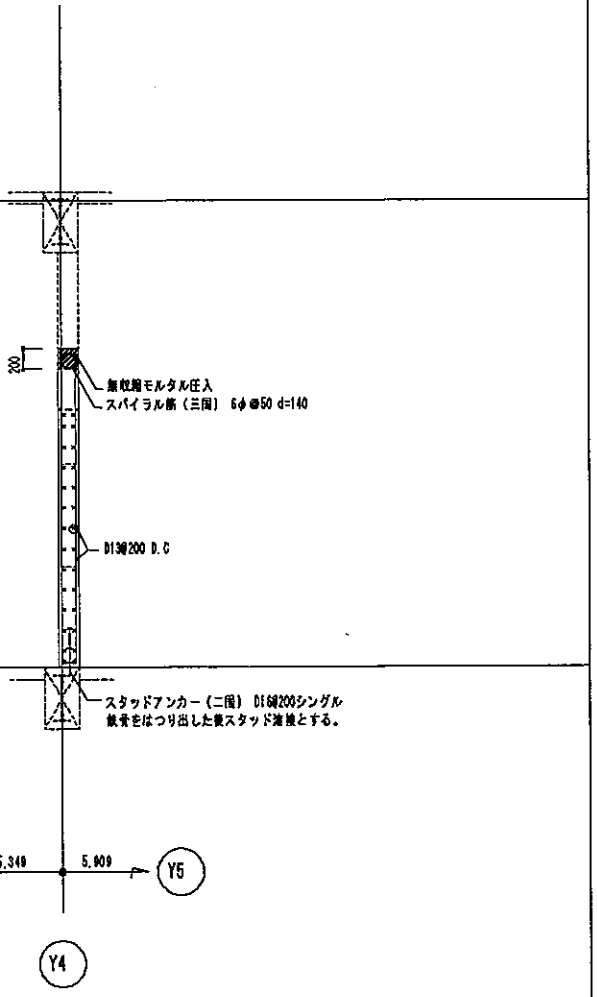


耐震壁炭素繊維貼補強要領

D-3B

※B1階Y4通りのX3-X4間壁は両面貼付とする。



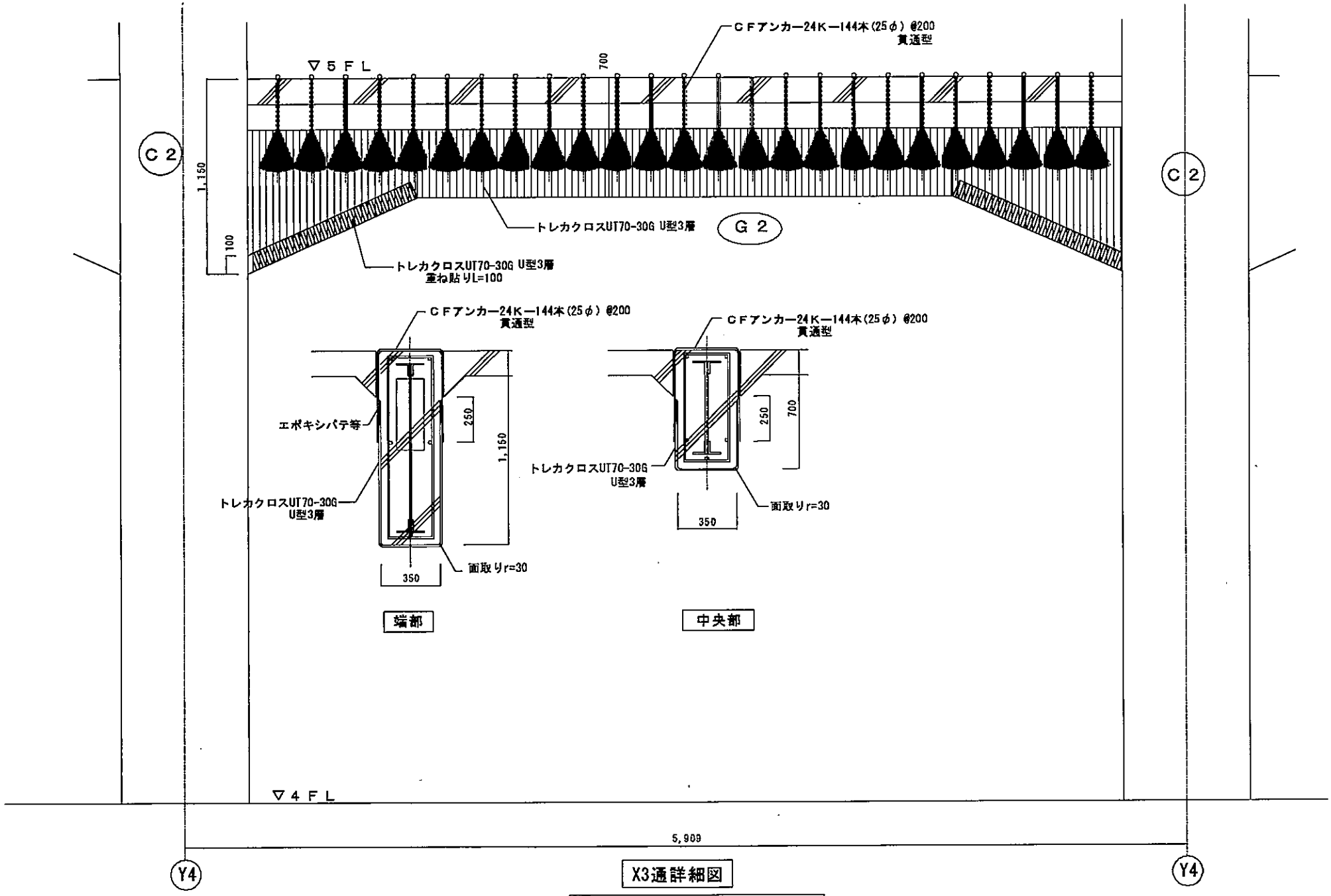


※ そで壁補強後 D-3A補強を施工する。

そで壁補強要領図	1：50	D-4

共通事項

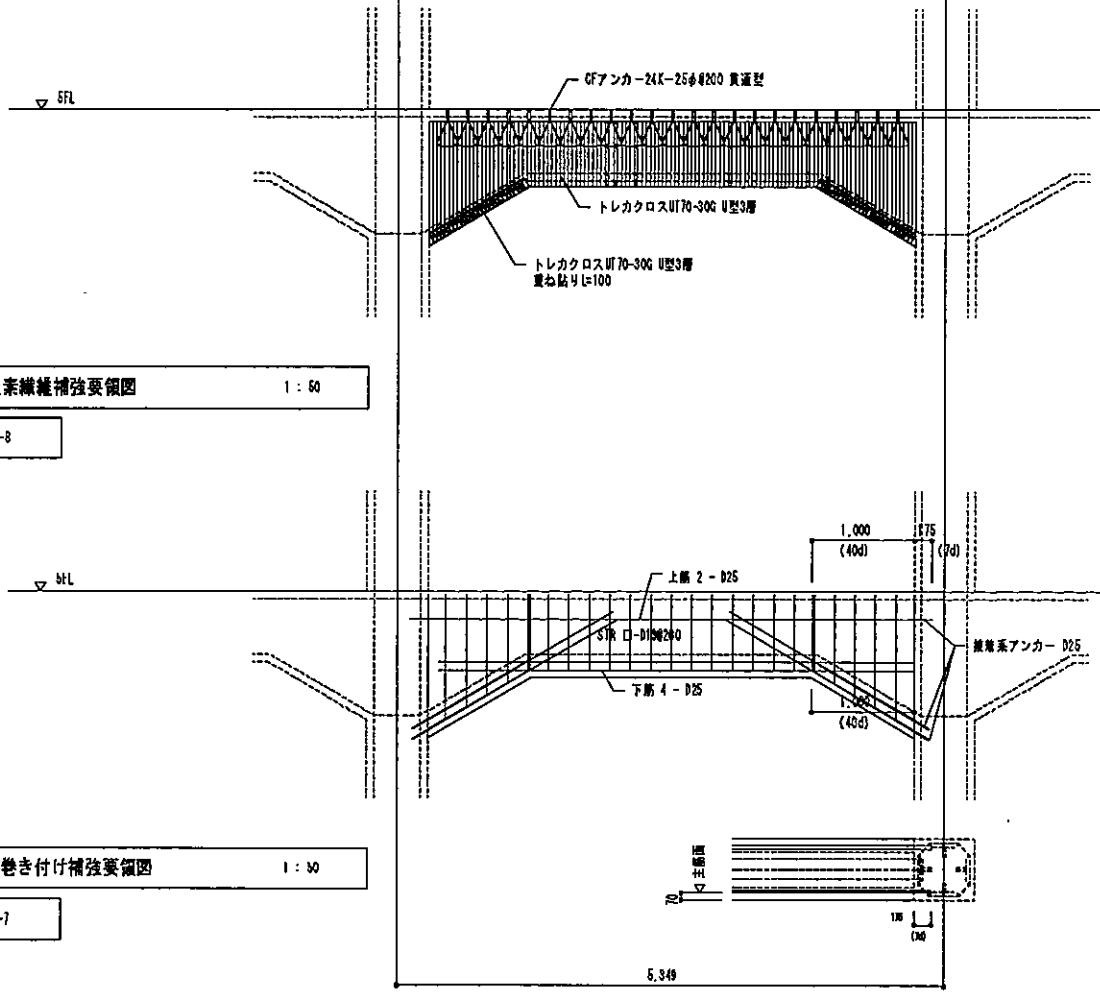
1）	コンクリート	Fc=21N/mm²
2）	グラウト材	無収縮モルタル Fm=30N/mm²
3）	鉄　筋	SD295A（D16以下），SD345（D19以上）
4）	アンカー筋	SD295A（頭部ナット付き JIS G3112 規格品）
		SD345（開口まわり頭部ナットなし）

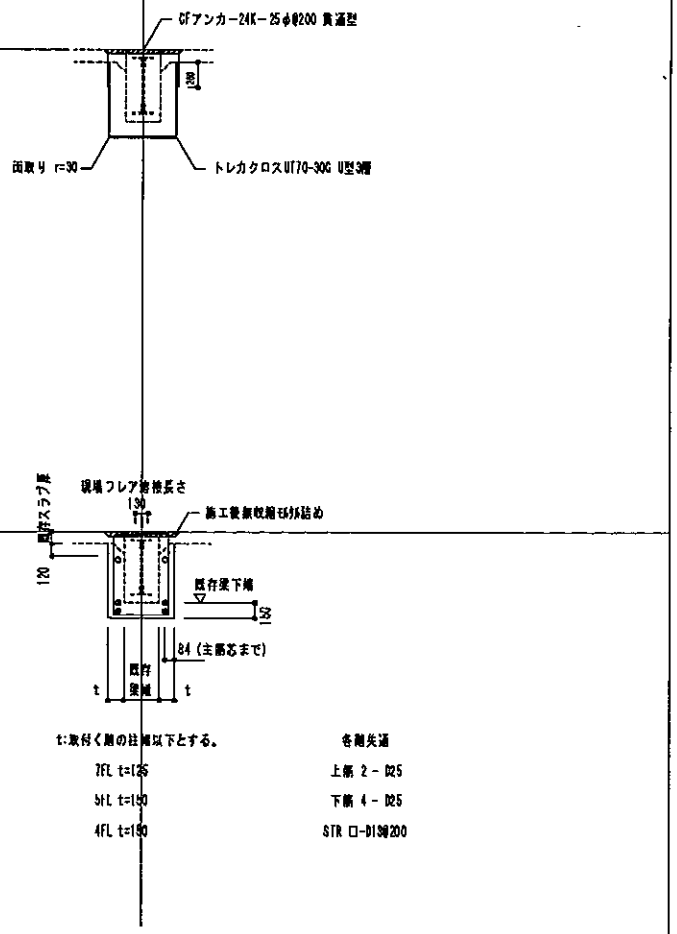


X3通詳細図

大梁炭素繊維巻き補強要領

D-6





梁曲げ＋せん断補強要領図 1：50

※ D-8タイプは、RC巻き付け補強後、炭素繊維補強の要領で行う。

共通事項

1)	コンクリート	Fc=21N/mm²
2)	グラウト材	無収縮モルタル Fm=30N/mm²
3)	鉄　筋	SD295A (D16以下) 、SD345 (D19以上)
4)	アンカー筋	SD345 (接着ナットなし)
5)	炭素繊維	別図仕様による。

RC造耐震壁の耐震改修工事
炭素繊維シート接着工法標準仕様書

1．総則

（1）本工事はSR－OF工法に準拠する。
（2）本仕様書に記載が無い事項は、以下の資料に基づく。
　　SR－OF工法研究会「開口補強の耐震診断設計施工指針　SR－OF工法」

2．材料

（1）炭素繊維シート（トレカクロス）

1）目付量は200g/m²又は、300g/m²のものを使用する。
2）引張強度は、材料試験の（強熱減量の平均値－3×標準偏差）とする。
3）ヤング係数は、材料試験の平均値とする。

	記号	規格値	試験方法
引張強度	N/mm²	3,400N/mm²以上	JIS A 1191
ヤング係数	kN/mm²	230kN/mm²	JIS A 1191
目付量	g/m²	規格値以上	JIS K 7071

開口目付量200g/m²タイプ：トレカクロス UT70－200（UCL-W5）
開口目付量300g/m²タイプ：トレカクロス UT70－300（UCL-W6）

（2）プライマー

1）エポキシ樹脂系のプライマーとする。

	記号	規格値	試験方法
接着強度	N/mm²	1.5N/mm²以上	JIS K 6850

（3）不陸修正材

1）エポキシ樹脂系のパテ材とする。

	記号	規格値	試験方法
接着強度	N/mm²	1.5N/mm²以上	JIS K 6850

（4）含浸接着樹脂

1）エポキシ系の樹脂とする。

	記号	規格値	試験方法
引張強度	N/mm²	20N/mm²以上	JIS K 7161
曲げ強度	N/mm²	30N/mm²以上	JIS K 7171
3面せん断強度	N/mm²	10N/mm²以上	JIS K 6850

（5）OFアンカー

1）OFストランドのサイヴング例の引張強度は0.25t/本以上とする。
2）OFストランドFI本を挿入するフィアメント数は12,000本（12K）又は、24,000本（24K）とする。

	記号	規格値	試験方法
引張強度	N/mm²	3,400N/mm²以上	JIS R 7601
ヤング係数	GPa	230GPa	JIS R 7601

（6）OFアンカー用含浸接着樹脂

1）エポキシ系の樹脂とする。

	記号	規格値	試験方法
引張強度	N/mm²	20N/mm²以上	JIS K 7161
曲げ強度	N/mm²	30N/mm²以上	JIS K 7171
3面せん断強度	N/mm²	10N/mm²以上	JIS K 6850

表1　プライマー及び含浸接着樹脂の標準塗布量

	目付量200g/m²シート	目付量300g/m²シート
プライマー	0.2～0.3kg/m²	0.2～0.3kg/m²
含浸接着樹脂下塗り	0.3～0.4kg/m²	0.4～0.6kg/m²
含浸接着樹脂上塗り	0.2～0.3kg/m²	0.3～0.4kg/m²

表2　OFアンカーの含浸接着樹脂の標準使用量

	12Kタイプ	24Kタイプ
埋込管	0.10～0.20kg/(孔深cm)	0.20～0.30kg/(孔深cm)

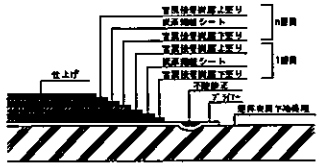


図1　標準施工断面図

3．標準施工要領

（1）施工のフロー



（2）準備

1）炭素繊維の準備、材料の受け入れ、作業設備の一時確定、施工計画書の策定を行う。

（3）下地処理

1）躯体表面の仕上げを除去する。
2）躯体が1.2mm以上のひび割れは、エポキシ樹脂充填等により補修する。
3）必要に応じて、断面修復及び風化部分の除去を施す。
4）躯体表面をディスクサンダー等で研磨し、丸もたったコンクリートを取り除く。
5）隅角部がある場合は、半径25～30mmで円形に面取りする。
6）下地処理後の表面は、エアブロワー等で粉塵を取り除く。

（4）OFアンカーの作製

1）設定の長さ以上の炭素繊維ストランドを束ねてOFアンカーを作製する。

（5）孔あけ

1）孔あけ、穴への挿入は電動にて行う。
2）埋込孔は、穴あけ後に清掃する。
3）埋込孔はM10mm以上とする。
4）OFアンカーが折り曲がって挿入する時所を面取りする。

（6）プライマー塗布

1）下地の接続状態を確認する。（コンクリート強度は本体強度以下）
2）所定の配合比でプライマーを調合する。このとき、均質になるように十分に混合する。
3）躯体表面にプライマーを均等に塗布する。
4）プライマーの標準塗布量は表1による。
5）気温5℃以下、湿度85%以上の場合、結露及び塵埃の恐れがある場合は施工しない。
6）可使時間を過ぎたプライマーは、使用してはならない。
7）プライマーの塗布硬化後確認後、次工程に進むものとする。

（7）不陸修正
　　断面修正

1）不陸修正材表面に凹が有している場合は調合する。
2）所定の配合比で不陸修正材を調合する。このとき、均質になるように十分に混合する。
3）不陸修正材を塗布して、躯体表面の断面及び欠損部を平滑とする。
4）OFアンカーの孔の位置が接続部から10mmを超えている場合は、この開口を不陸修正材で埋正する。（図2参照）
5）気温5℃以下、湿度85%以上の場合、結露及び塵埃の恐れがある場合は施工しない。
6）可使時間を過ぎた不陸修正材は、使用してはならない。
7）不陸修正材の硬化確認後、次工程に進むものとする。

（8）角出し

1）炭素繊維シートの接着性能を確保出来面に角出しする。
2）炭素繊維シート補強の貫通開口周に貼り付けるように切り付ける。
3）繊維方向のラップ長さは100mm以上とする。
4）繊維直交方向のラップ長さは5～20mmとする。
5）炭素繊維シートを複層とするときは、繊維方向及び繊維直交方向のラップ位置を下層のラップ位置とずらす。

（9）炭素繊維シート巻き付け及び貼り付け

1）炭素繊維シートを施工する。
2）躯体の含浸接着樹脂塗布面に凹が有している場合は調合する。
3）所定の配合比で含浸接着樹脂を調合する。このとき、均質になるようにに十分に混合する。
4）躯体に含浸接着樹脂を均等に塗布する（下塗り）。標準塗布量は表1による。
5）含浸接着樹脂塗布中後、速やかに炭素繊維シートを貼り付ける。
6）脱泡ローラーまたはゴムベラ等で炭素繊維シートを押える。
7）下塗りを含浸接着樹脂が炭素繊維シートに含浸するまで30分程度放置する。
8）含浸接着樹脂を均等に塗布する（上塗り）。標準塗布量は表1による。
9）含浸接着樹脂塗布中後、速やかに脱泡ローラーで炭素繊維シートを押さえる。
10）炭素繊維シートを積層する場合は、1）～9）の工程を繰り返す。
11）含浸接着樹脂の可使時間内で接着作業を行う。
12）気温5℃以下、湿度85%以上の場合、結露及び塵埃の恐れがある場合は施工しない。
13）可使時間を過ぎた含浸接着樹脂は、使用してはならない。

（10）OFアンカー取り付け

1）OFアンカー取り付け位置に凹が有している場合は調合する。
2）OFアンカーの定着長は200mm以上とする。
3）OFアンカーの埋め込み長さは150mm以上とする。
4）OFアンカーの定着部等根は、開口するOFアンカー端部と10mm以上重ねる。（炭素繊維シートの繊維方向から見て10mm以上。）
5）OFアンカーを施工した孔は、孔内全体に樹脂が充填するように施工する。
6）躯体内に埋まるOFアンカーには、十分に含浸接着樹脂を含浸させる。
7）含浸接着樹脂の塗布量は表2による。

（11）養生

1）含浸接着樹脂が硬化するまで、雨水、埃等が付着しないように養生する。
2）気温が5℃以下になる場合は、加温養生を行う。

（12）仕上げ

1）仕上げの仕様は設計図書又は、設計者の要求による。
2）モルタル仕上げでは、OF RP筒開に下地を施工して有害性を向上させる。
　下地の例：吸着剤塗布後、亀裂幅0.2以上二次元ネット貼り。

4．品質管理

（1）品質管理

1）施工はSR－OF工法研究会の承認会社の責任施工又は、施工指導により実施する。
2）施工は施工者及び品質管理体制を定め、十分な施工管理及び品質管理体制のもとで行う。
3）作業工程に応じて品質管理項目を定め、それぞれの担当分担を明確にする。
4）品質管理項目に応じて、具体的な施工管理内容を定めて施工管理を行う。
5）施工前後に使用材料の品質を確認する。
6）品質検査は、引張強度試験及び付着強度試験とするが、検査の内容は工事監理者との協議による。

（2）OF RP
　　引張強度試験

1）試験方法：JIS A 1191に準拠して行う。
2）引張強度の管理値：2N/mm²の全てが破断値以上。
3）ヤング係数の管理値：20kN/mm²の平均値が規格値で定める範囲内。
4）試験個数：荷定された個数で実施する。
5）試験結果：有資メーカーは、公表の試験値例で行う。
6）試験体数：6体

（3）OF RP
　　付着強度試験

1）試験方法：JIS K 6920に準拠して行う。
2）検査値その評価：OF RP破と共に下地コンクリートが引き剥がれる破壊現地であること、又は、検査値Sが1.5N/mm²以上であること。
3）試験個数：荷定された個数で実施する。
4）試験結果：原則として施工現場で行う。
5）試験体数：6体以上

（4）その他の試験

1）設計者又は工事監理者の要求があれば、上記以外の試験を行う。

5．その他

（1）火災措置
（アンカーボルト部）

1）使用エアンカーは、炭素繊維シートの施工時に打設することを原則とする。
2）開口部で炭素繊維シートに部材取る場合と欠損と見なす。
3）炭素繊維シートを欠損する場合は、開口の処置について設計者の判断を仰ぐものとする。
4）欠損の補修を行う場合、欠損部の直後に炭素繊維シートの増し貼りを行う。
5）増し貼りは、欠損部両の炭素繊維シート炭素繊とラップ長さ100mm以上を確保し、炭素繊維シートと同方向に貼り付ける。

（2）有開口耐震壁

1）開口で炭素繊維シートが切断される部分にも炭素繊維シートを貼り付ける。

※OF RP：炭素繊維強化プラスチック

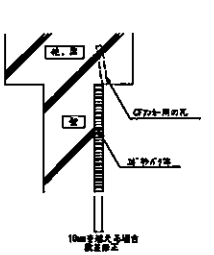


図2　OFアンカー用の孔の躯体補正

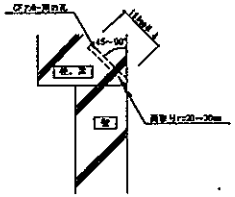
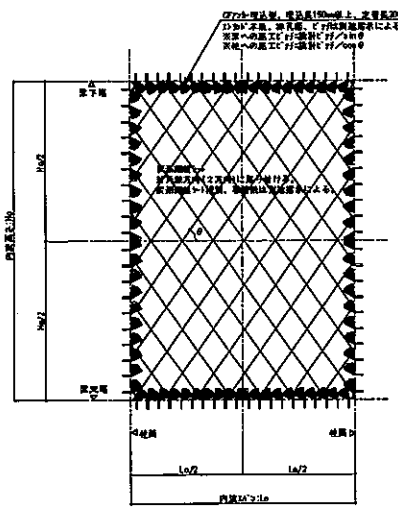


図3　壁同一壁（梁）間の場合の隅孔


OFアンカー埋込長150mm以上、定着長200mm以上
引張強度、ヤング係数測定用試験体による。
炭素への施工ピッチ数値ピッチ/mm
炭素への施工ピッチ数値ピッチ/mm
D
基礎下端
H/2
H/2
炭素繊維シート
炭素繊維シート
炭素繊維シート

４－２　補強案に対する建物崩壊形式

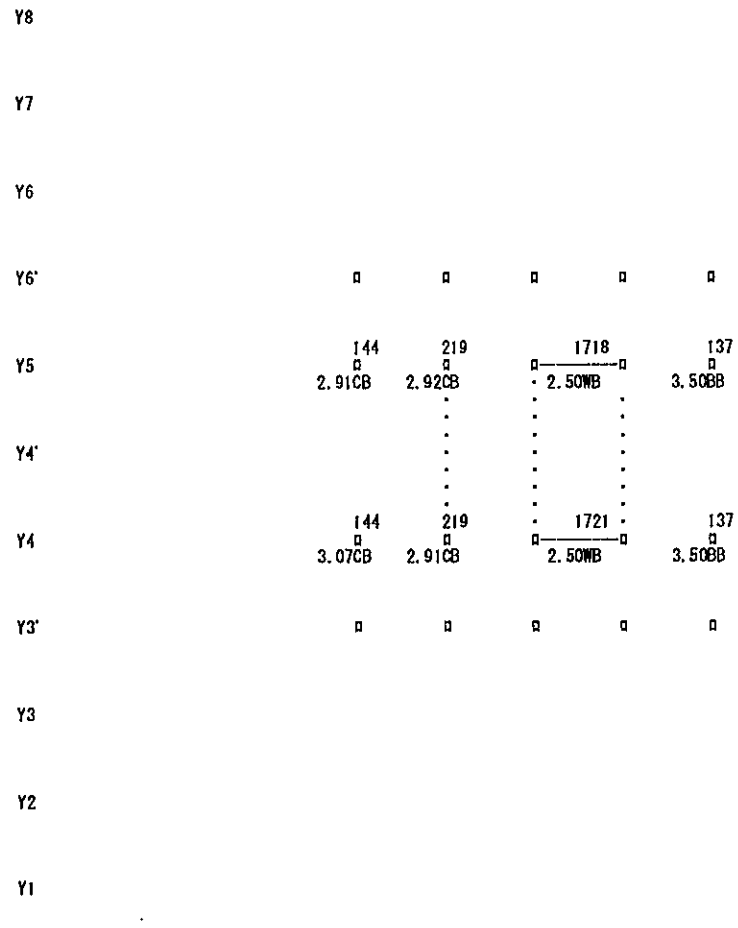
Ｉｓ≧0.60補強後

【鉛直部材の諸元：（伏図）】　Ｘ方向　正加力時　３次診断

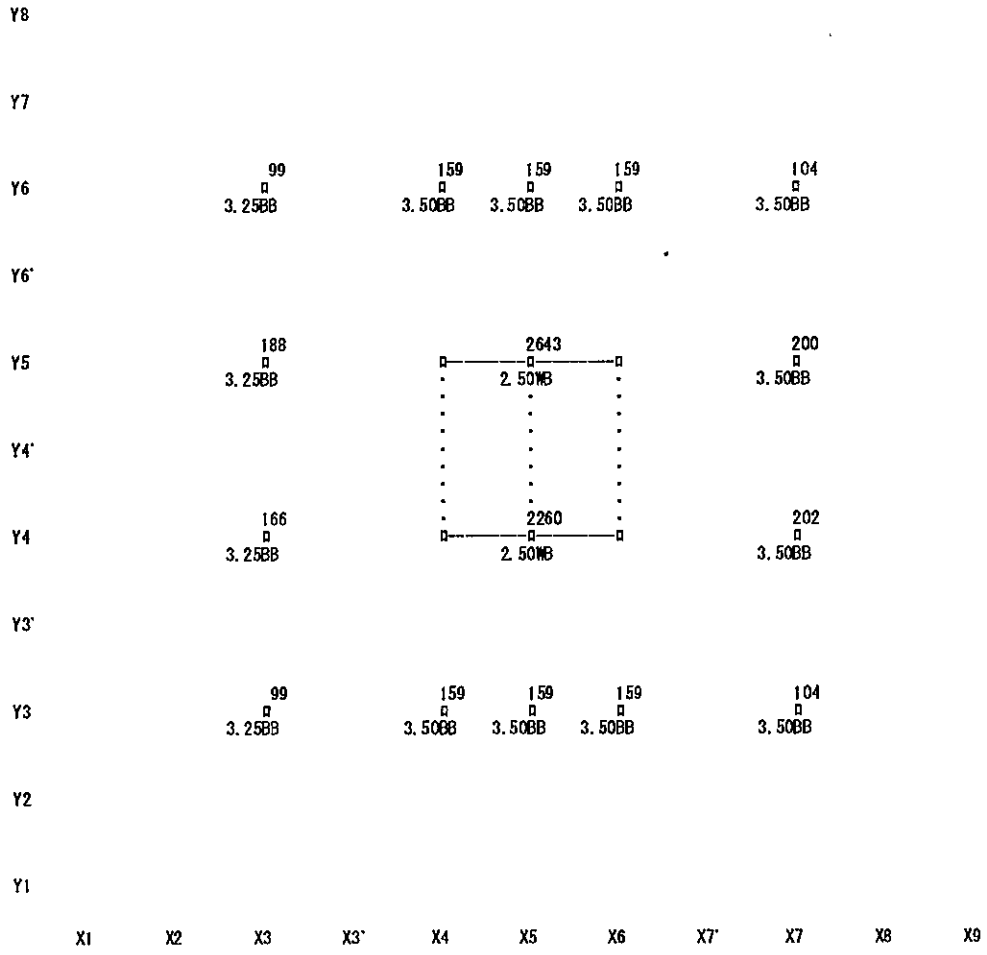
破壊形式（せん断柱、極脆性柱で第２種構造要素の場合は後に'*'を表示）
CB：曲げ柱　CS：せん断柱　CSS：(極)脆性柱
BB：曲げ梁支配型柱　BS：せん断梁支配型柱　CT：柱脚部支配型柱
CWB：曲げそで壁付柱　CWS：せん断そで壁付柱　CWSS：(極)脆性そで壁付柱
WB：曲げ壁　WS：せん断壁　WR：回転壁　WT：柱脚部支配型壁（極）:RC部材

----：Ｘ方向の壁　・・・・：Ｙ方向の壁
上段：保有せん断力　下段：Ｆ指標,破壊形式
鉛直部材の分類　S：せん断柱　X：(極)脆性柱　□：その他

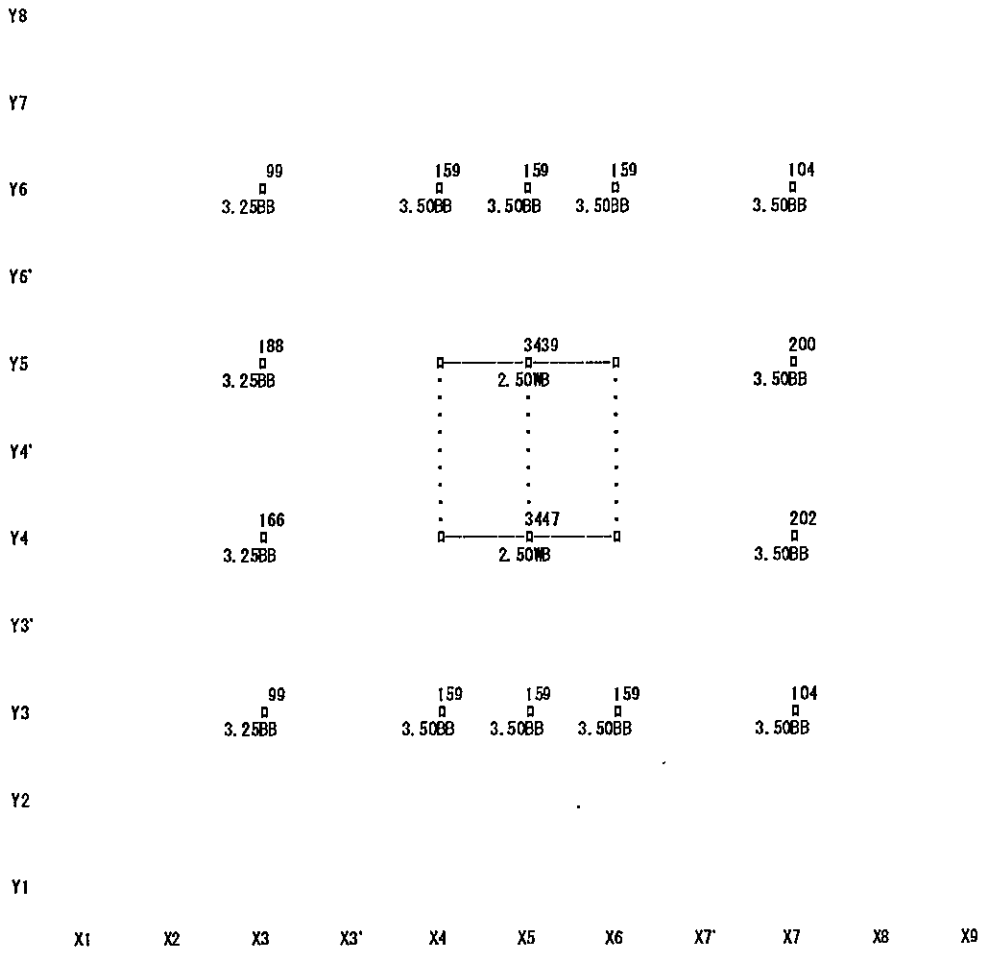
<7　階>　ＳＲＣ



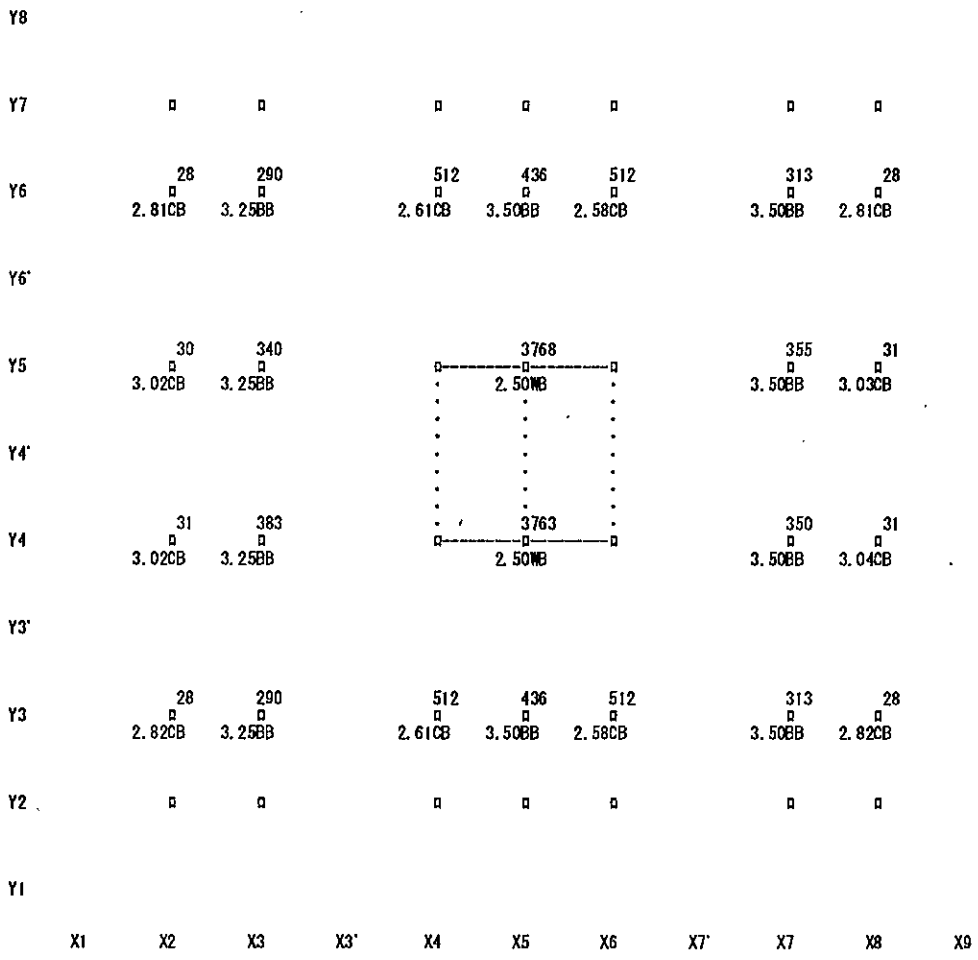
〈6　階〉　ＳＲＣ


Y8
Y7
Y6
99
3.25BB
159
3.50BB
159
3.50BB
159
3.50BB
104
3.50BB
Y6'
Y5
188
3.25BB
2643
2.50WB
200
3.50BB
Y4'
Y4
166
3.25BB
2260
2.50WB
202
3.50BB
Y3'
Y3
99
3.25BB
159
3.50BB
159
3.50BB
159
3.50BB
104
3.50BB
Y2
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

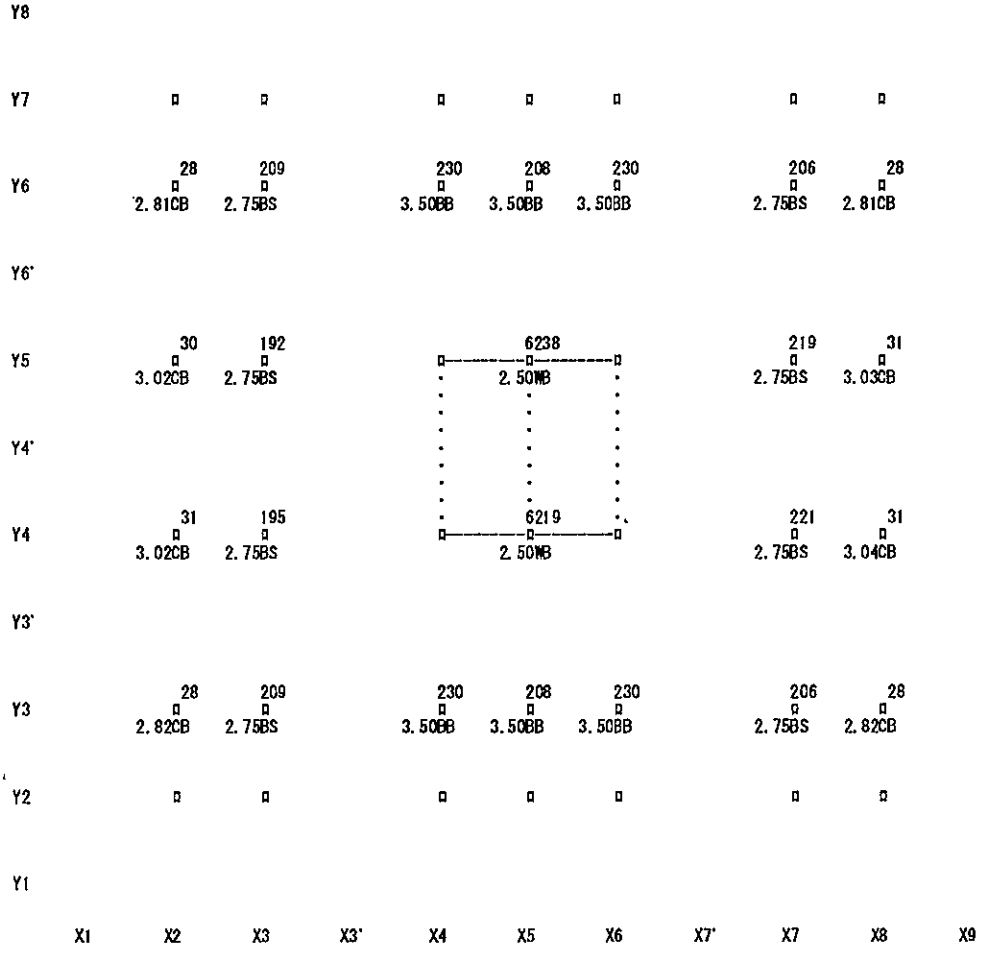
<5　階>　ＳＲＣ


Y8
Y7
Y6
99
3.25BB
159
3.50BB
159
3.50BB
159
3.50BB
104
3.50BB
Y6'
Y5
188
3.25BB
3439
2.50WB
200
3.50BB
Y4'
Y4
166
3.25BB
3447
2.50WB
202
3.50BB
Y3'
Y3
99
3.25BB
159
3.50BB
159
3.50BB
159
3.50BB
104
3.50BB
Y2
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

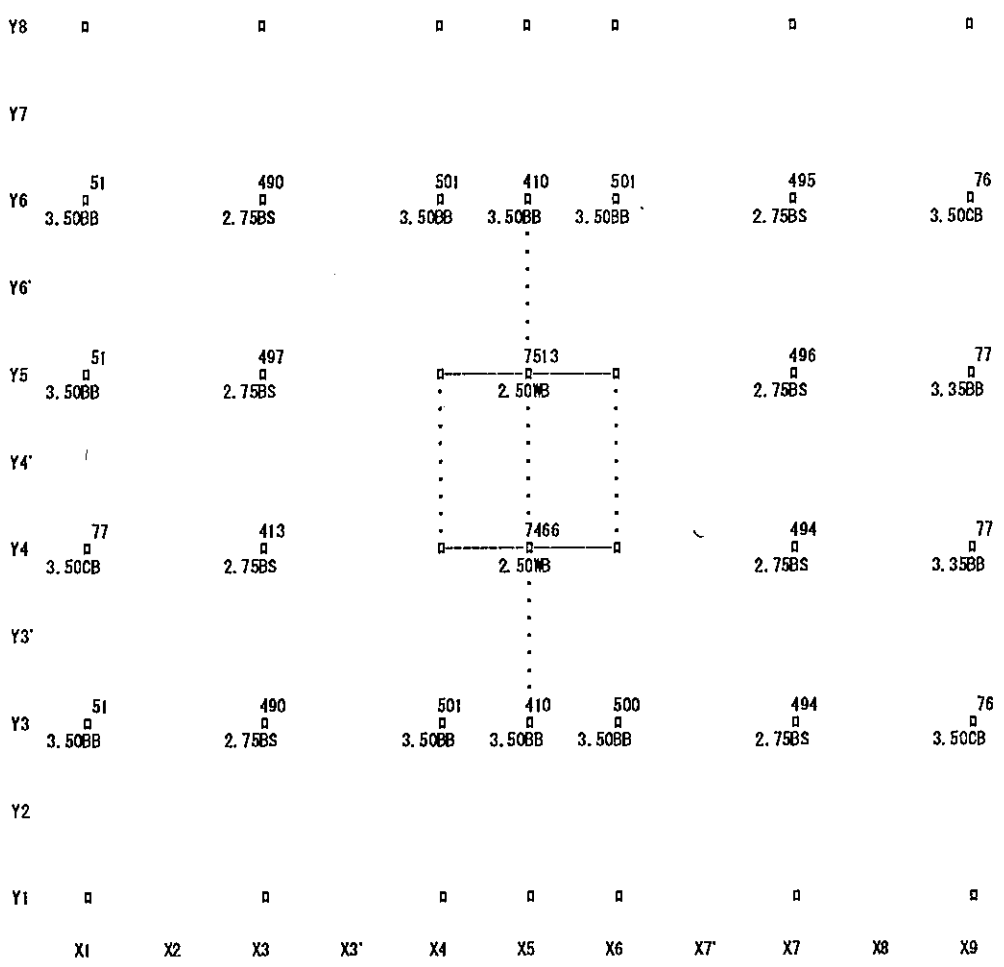
〈4　階〉　ＳＲＣ


Y8
Y7
Y6
28
290
512
436
512
313
28
2.81CB
3.25BB
2.61CB
3.50BB
2.58CB
3.50BB
2.81CB
Y6'
Y5
30
340
3768
355
31
3.02CB
3.25BB
2.50WB
3.50BB
3.03CB
Y4'
Y4
31
383
3763
350
31
3.02CB
3.25BB
2.50WB
3.50BB
3.04CB
Y3'
Y3
28
290
512
436
512
313
28
2.82CB
3.25BB
2.61CB
3.50BB
2.58CB
3.50BB
2.82CB
Y2
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

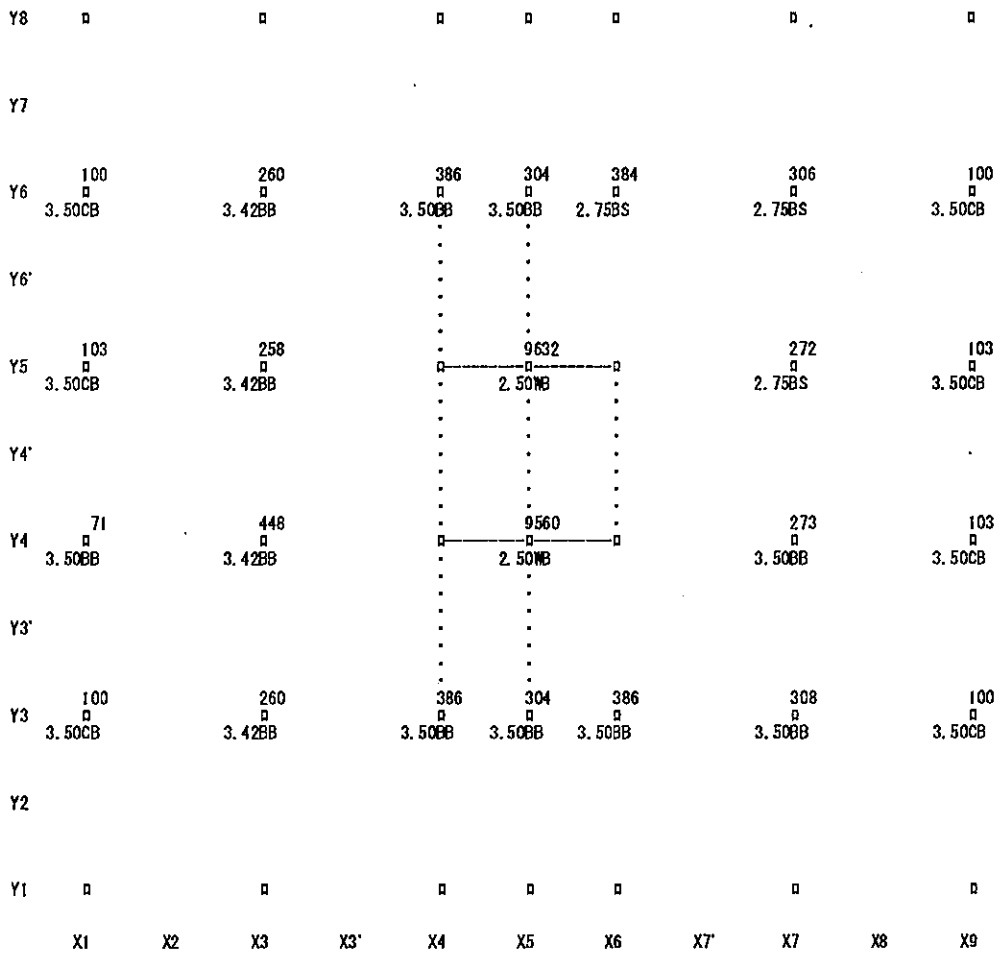
<3　階>　ＳＲＣ


Y8
Y7
Y6
28
209
230
208
230
206
28
2.81CB
2.75BS
3.50BB
3.50BB
3.50BB
2.75BS
2.81CB
Y6'
Y5
30
192
6238
219
31
3.02CB
2.75BS
2.50WB
2.75BS
3.03CB
Y4'
Y4
31
195
6219
221
31
3.02CB
2.75BS
2.50WB
2.75BS
3.04CB
Y3'
Y3
28
209
230
208
230
206
28
2.82CB
2.75BS
3.50BB
3.50BB
3.50BB
2.75BS
2.82CB
Y2
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

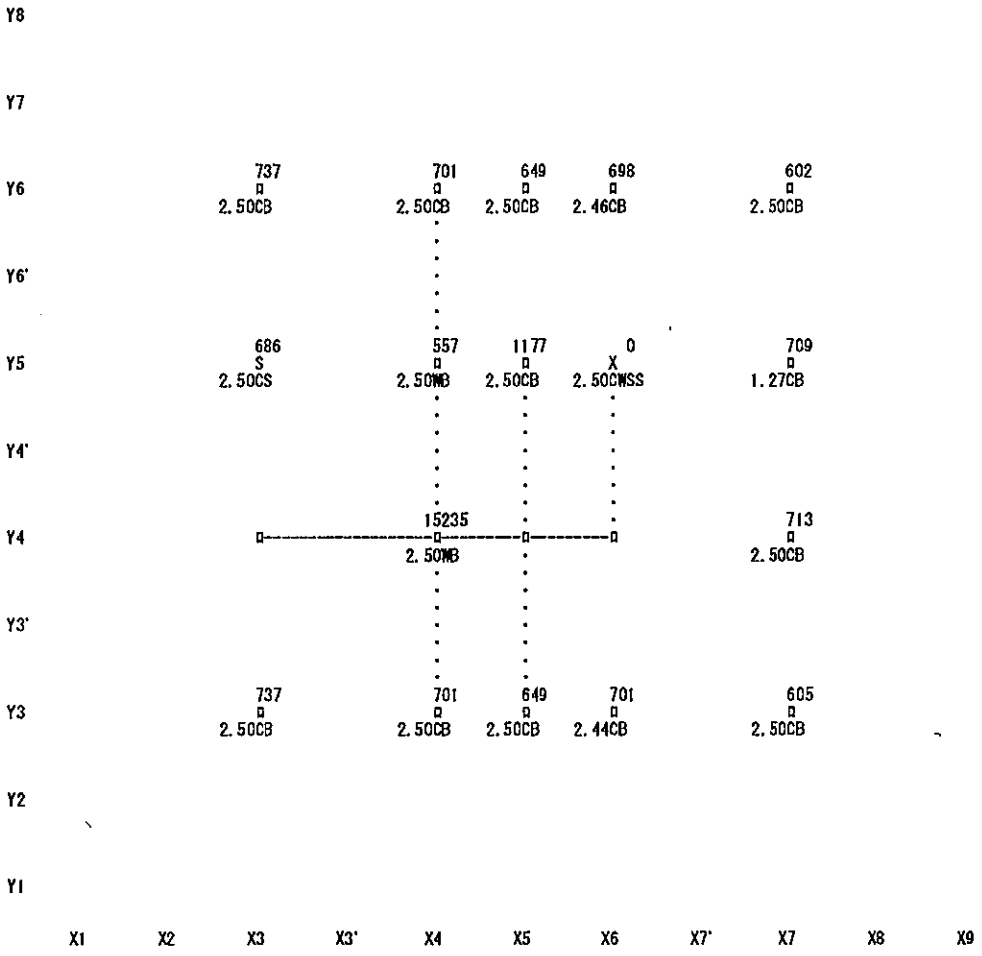
〈2 階〉 ＳＲＣ


Y8
Y7
Y6
51
3.50BB
490
2.75BS
501
3.50BB
410
3.50BB
501
3.50BB
495
2.75BS
76
3.50CB
Y6'
Y5
51
3.50BB
497
2.75BS
7513
2.50WB
496
2.75BS
77
3.35BB
Y4'
Y4
77
3.50CB
413
2.75BS
7466
2.50WB
494
2.75BS
77
3.35BB
Y3'
Y3
51
3.50BB
490
2.75BS
501
3.50BB
410
3.50BB
500
3.50BB
494
2.75BS
76
3.50CB
Y2
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

<I 階> ＳＲＣ


Y8
Y7
Y6 100 3.50CB 260 3.42BB 386 3.50BB 304 3.50BB 384 2.75BS 306 2.75BS 100 3.50CB
Y6'
Y5 103 3.50CB 258 3.42BB 9632 2.50WB 272 2.75BS 103 3.50CB
Y4' 71 3.50BB 448 3.42BB 9560 2.50WB 273 3.50BB 103 3.50CB
Y3'
Y3 100 3.50CB 260 3.42BB 386 3.50BB 304 3.50BB 386 3.50BB 308 3.50BB 100 3.50CB
Y2
Y1
X1 X2 X3 X3' X4 X5 X6 X7' X7 X8 X9

<B1 階> ＳＲＣ

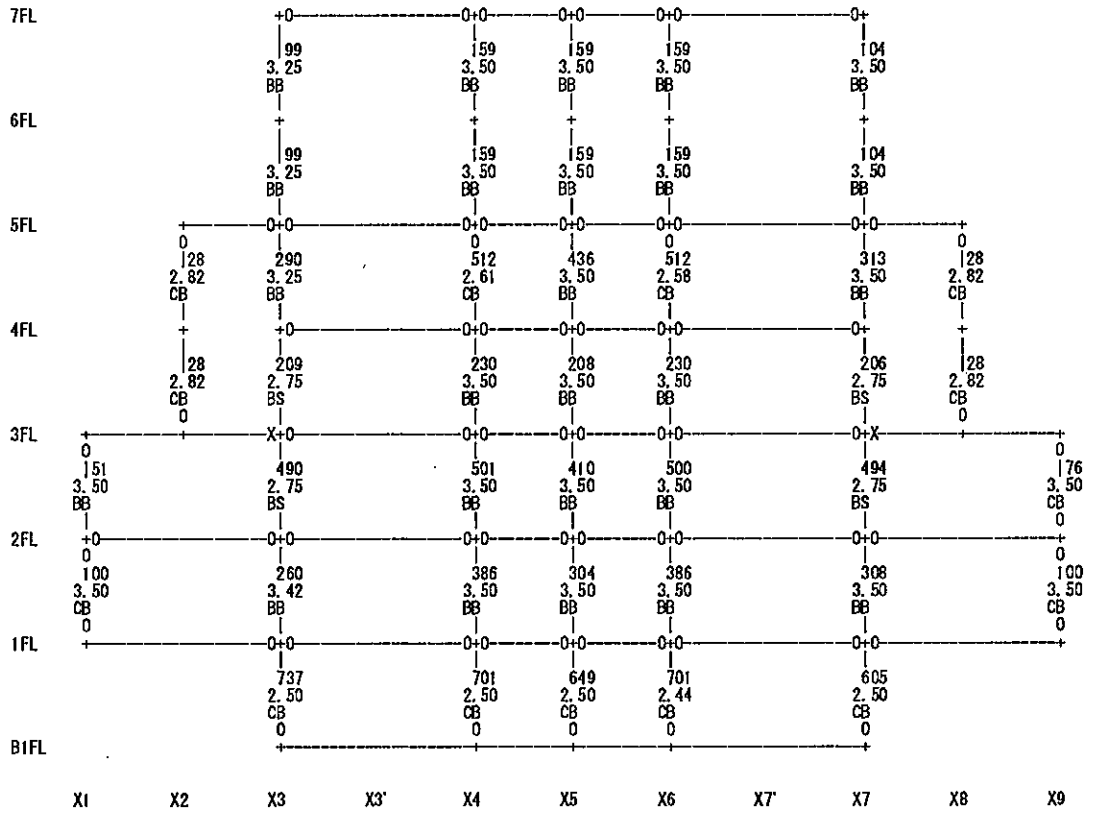

Y8
Y7
Y6
737
2.50CB
701
2.50CB
649
2.50CB
698
2.46CB
602
2.50CB
Y6'
Y5
686
S
2.50CS
557
2.50WB
1177
2.50CB
0
X
2.50CWSS
709
1.27CB
Y4'
Y4
15235
2.50WB
713
2.50CB
Y3'
Y3
737
2.50CB
701
2.50CB
649
2.50CB
701
2.44CB
605
2.50CB
Y2
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

【鉛直部材の諸元：（軸組）】　Ｘ方向　正加力時　３次診断

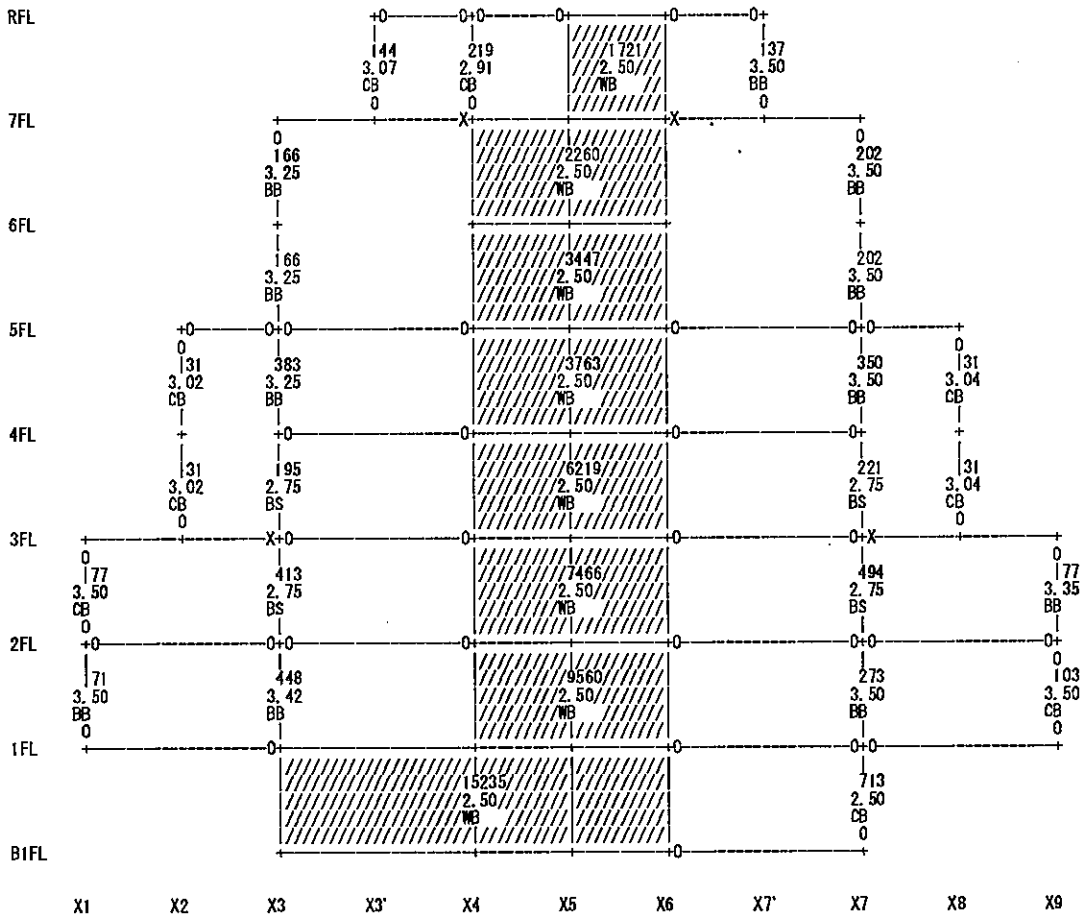
////：壁あり
上段：保有せん断力　中段：Ｆ指標　下段：破壊形式

破壊形式（せん断柱、極脆性柱で第２種構造要素の場合は後に'*'を表示）
CB：曲げ柱　CS：せん断柱　CSS：(極)脆性柱
BB：曲げ梁支配型柱　BS：せん断梁支配型柱　CT：柱脚部支配型柱
CWB：曲げそで壁付柱　CWS：せん断そで壁付柱　CWSS：(極)脆性そで壁付柱
WB：曲げ壁　WS：せん断壁　WR：回転壁　WT：柱脚部支配型壁　(極):RC部材

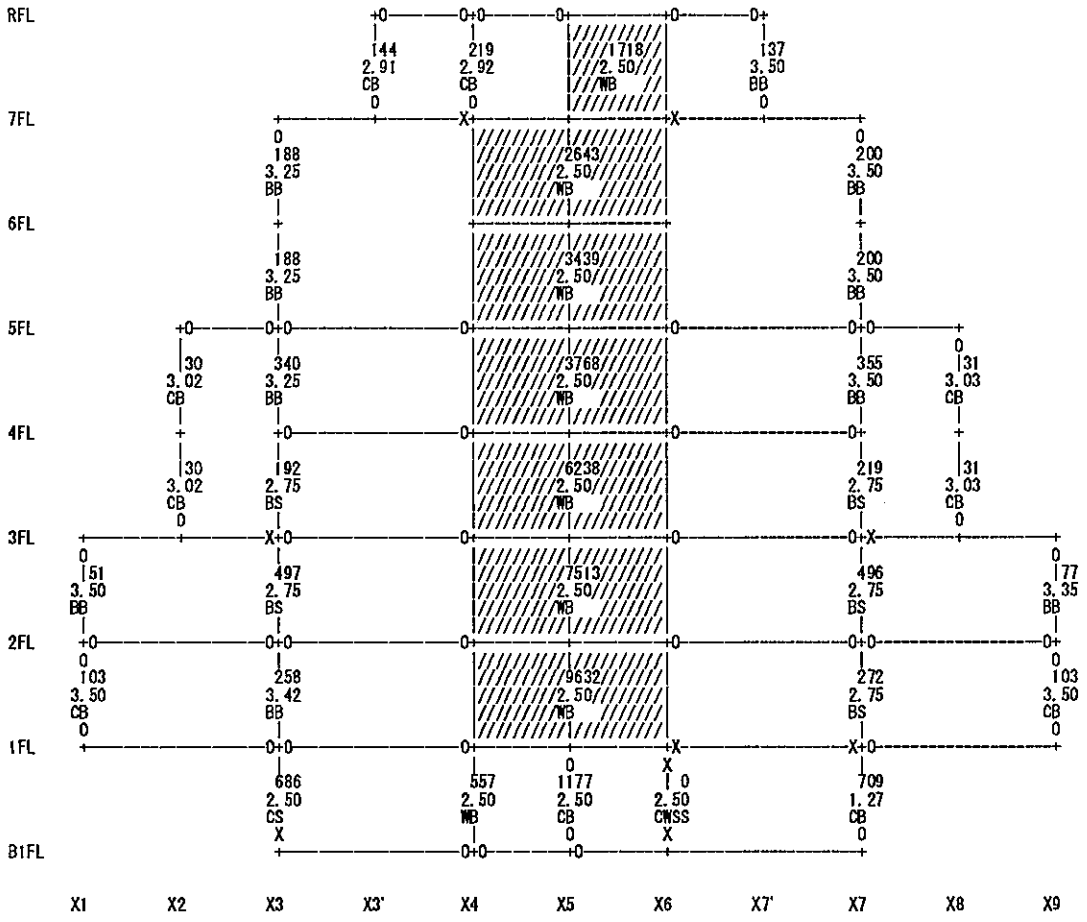
<Y3　ﾌﾚｰﾑ>



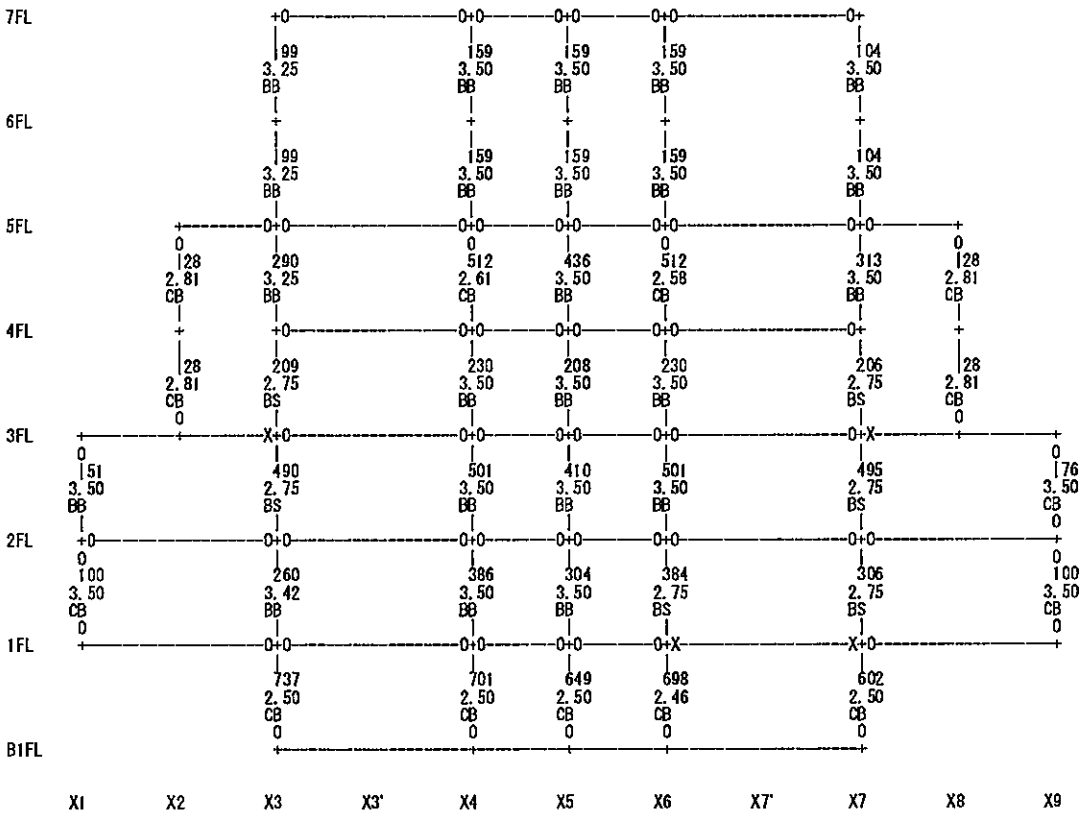
<Y4 フレーム>


RFL
7FL
6FL
5FL
4FL
3FL
2FL
1FL
B1FL
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9
144 3.07 CB 0
219 2.91 CB 0
1721 2.50 WB
137 3.50 BB 0
166 3.25 BB
2260 2.50 WB
202 3.50 BB
3447 2.50 WB
31 3.02 CB
383 3.25 BB
3763 2.50 WB
350 3.50 BB
31 3.04 CB
195 2.75 BS
6219 2.50 WB
221 2.75 BS
77 3.50 CB 0
413 2.75 BS
7466 2.50 WB
494 2.75 BS
77 3.35 BB
71 3.50 BB 0
448 3.42 BB
9560 2.50 WB
273 3.50 BB
103 3.50 CB 0
15235 2.50 WB
713 2.50 CB 0

<Y5 フレーム>


RFL
7FL
6FL
5FL
4FL
3FL
2FL
1FL
B1FL
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

<Y6 フレーム>

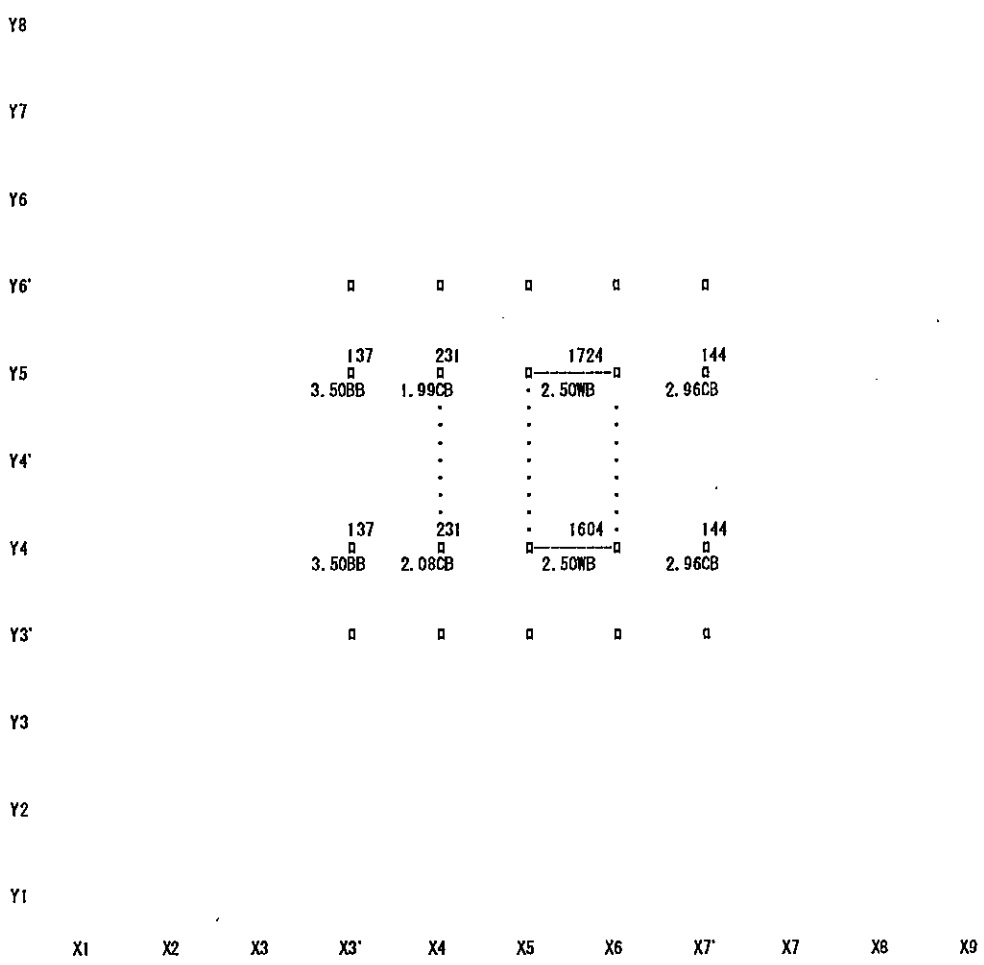

RFL
7FL
6FL
5FL
4FL
3FL
2FL
1FL
B1FL
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

【鉛直部材の諸元：（伏図）】 Ｘ方向　負加力時　３次診断

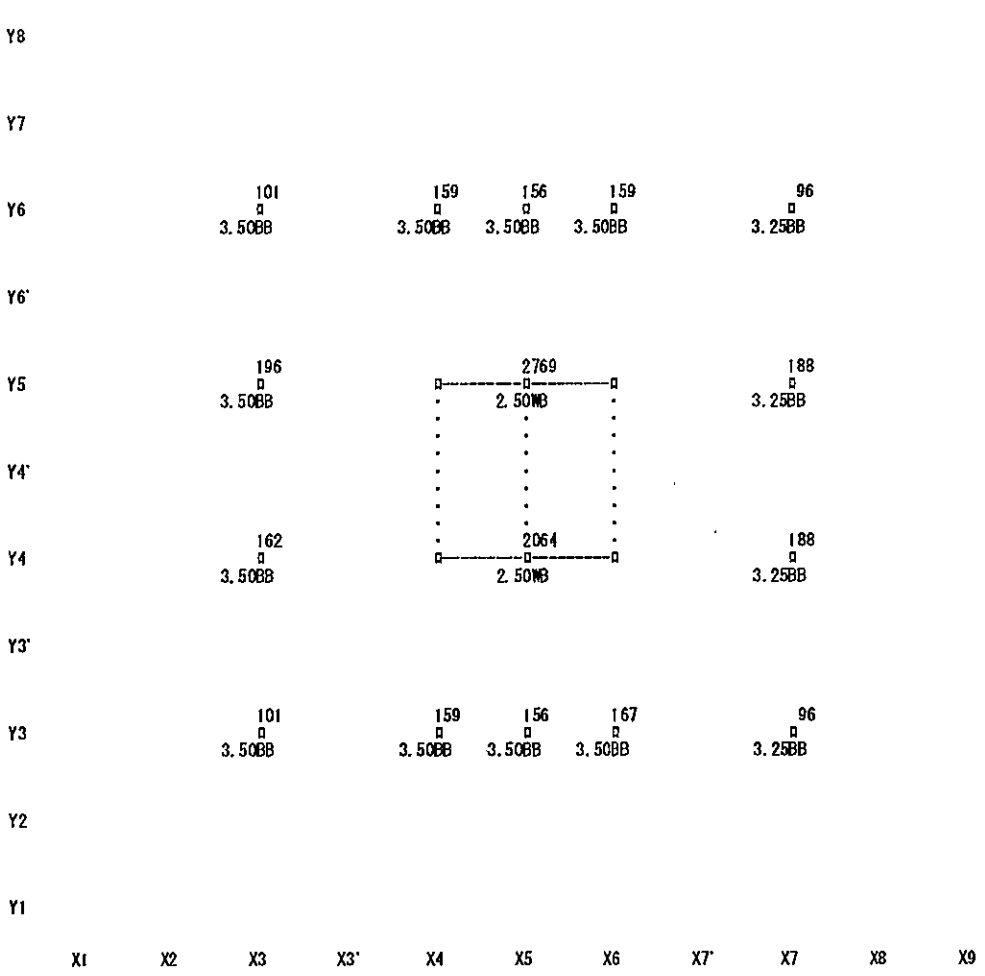
破壊形式（せん断柱、極脆性柱で第２種構造要素の場合は後に'＊'を表示）
CB：曲げ柱　CS：せん断柱　CSS：(極)脆性柱
BB：曲げ梁支配型柱　BS：せん断梁支配型柱　CT：柱脚部支配型柱
CWB：曲げそで壁付柱　CWS：せん断そで壁付柱　CWSS：(極)脆性そで壁付柱
WB：曲げ壁　WS：せん断壁　WR：回転壁　WT：柱脚部支配型壁（極):RC部材

——：Ｘ方向の壁　・・・・：Ｙ方向の壁
上段：保有せん断力　下段：Ｆ指標,破壊形式
鉛直部材の分類　S：せん断柱　X：(極)脆性柱　□：その他

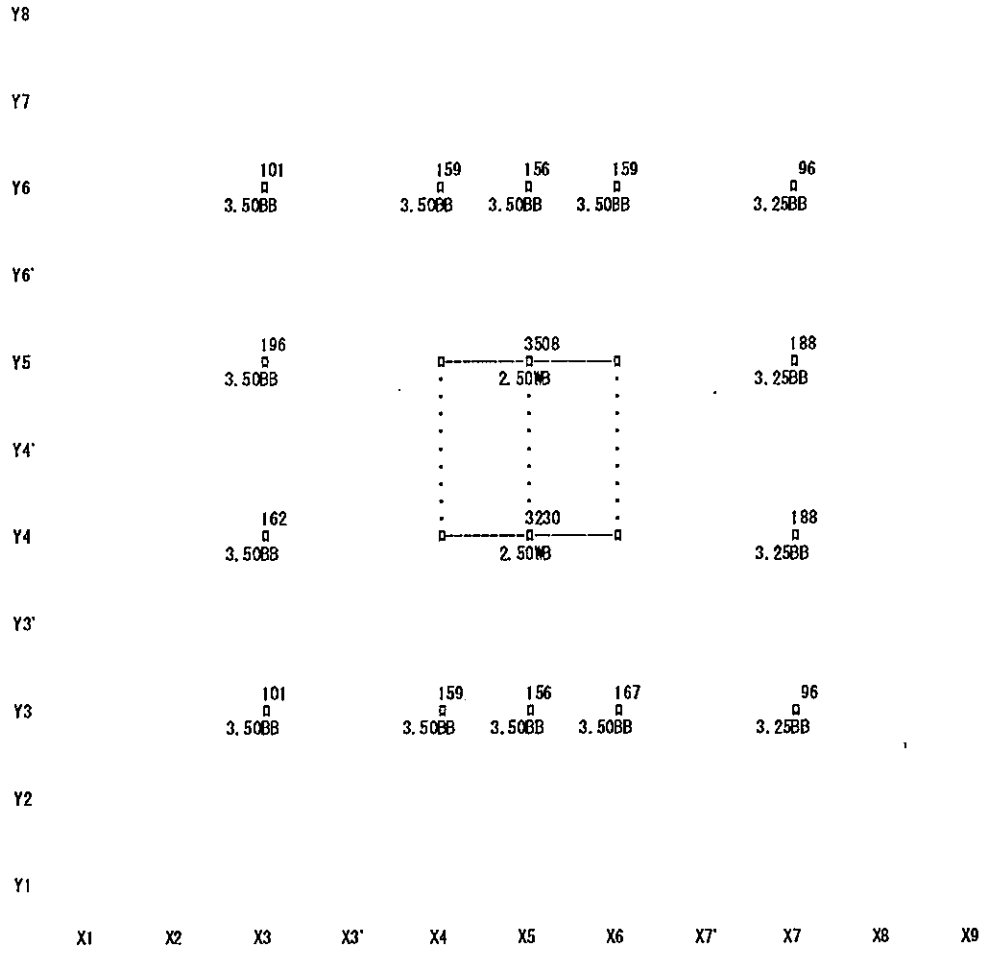
〈7　階〉 ＳＲＣ



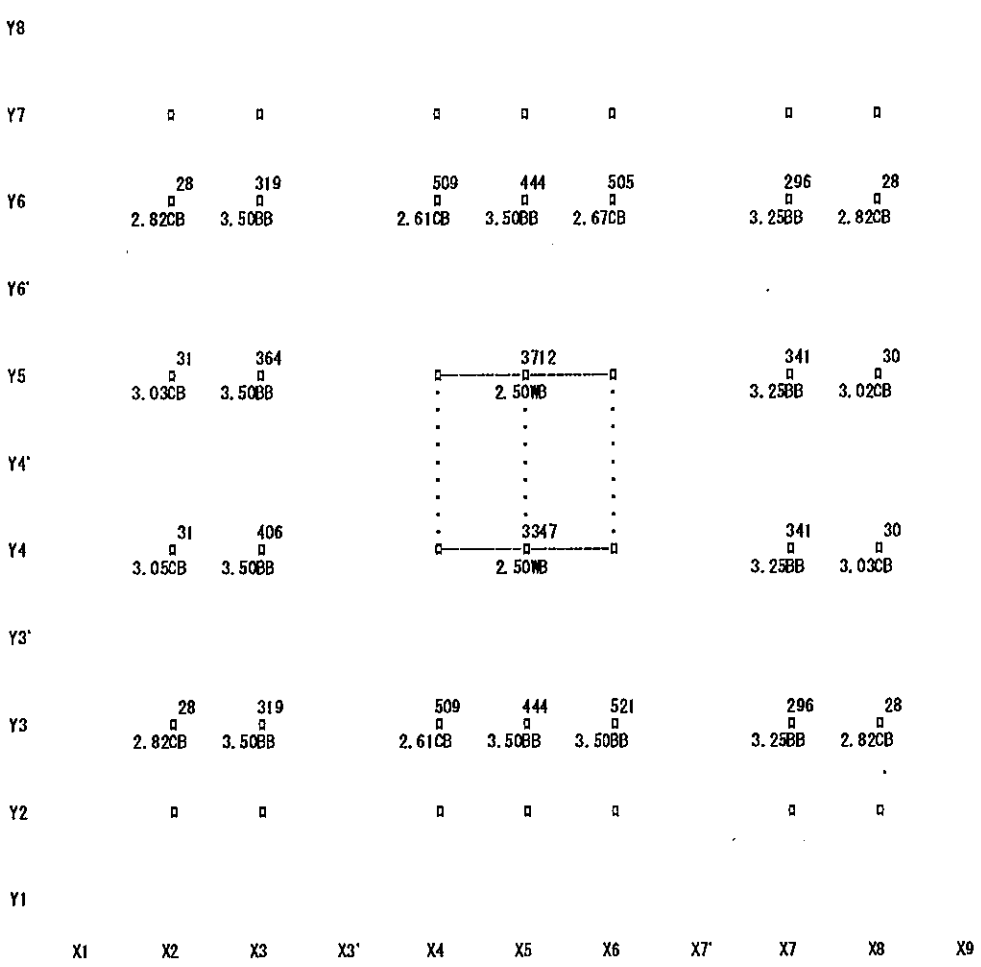
<6　階> ＳＲＣ


Y8
Y7
Y6
101
3.50BB
159
3.50BB
156
3.50BB
159
3.50BB
96
3.25BB
Y6'
Y5
196
3.50BB
2769
2.50WB
188
3.25BB
Y4'
Y4
162
3.50BB
2064
2.50WB
188
3.25BB
Y3'
Y3
101
3.50BB
159
3.50BB
156
3.50BB
167
3.50BB
96
3.25BB
Y2
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

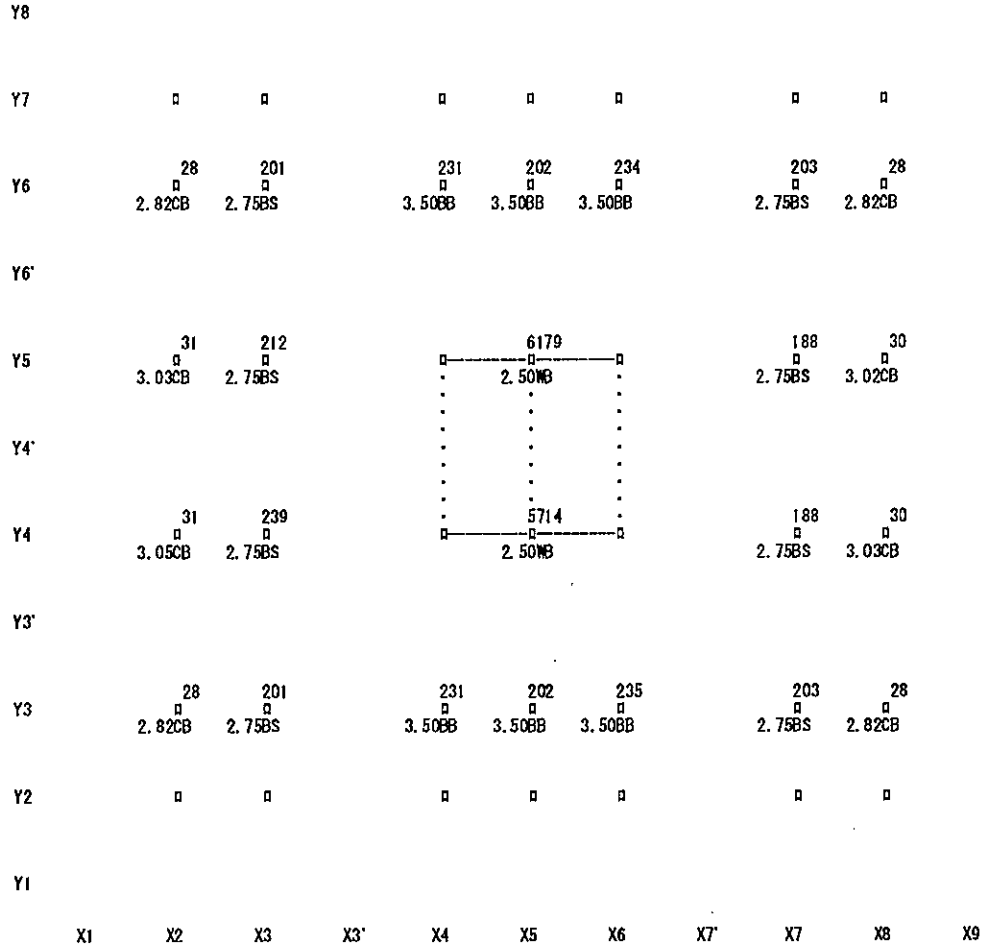
<5　階>　ＳＲＣ


Y8
Y7
Y6
101
3.50BB
159
3.50BB
156
3.50BB
159
3.50BB
96
3.25BB
Y6'
Y5
196
3.50BB
350B
2.50MB
188
3.25BB
Y4'
Y4
162
3.50BB
323D
2.50MB
188
3.25BB
Y3'
Y3
101
3.50BB
159
3.50BB
156
3.50BB
167
3.50BB
96
3.25BB
Y2
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

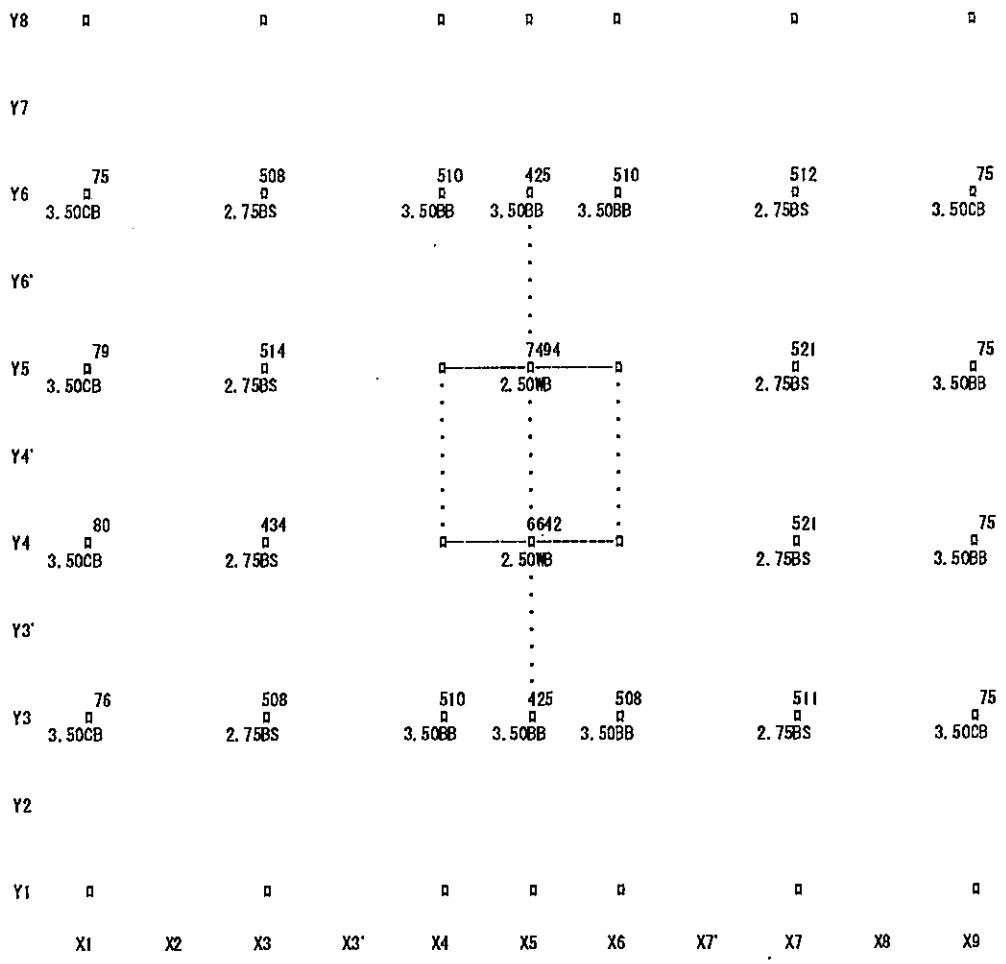
<4 階> ＳＲＣ


Y8
Y7
Y6
28
319
509
444
505
296
28
2.82CB
3.50BB
2.61CB
3.50BB
2.67CB
3.25BB
2.82CB
Y6'
Y5
31
364
3712
341
30
3.03CB
3.50BB
2.50WB
3.25BB
3.02CB
Y4'
Y4
31
406
3347
341
30
3.05CB
3.50BB
2.50WB
3.25BB
3.03CB
Y3'
Y3
28
319
509
444
521
296
28
2.82CB
3.50BB
2.61CB
3.50BB
3.50BB
3.25BB
2.82CB
Y2
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

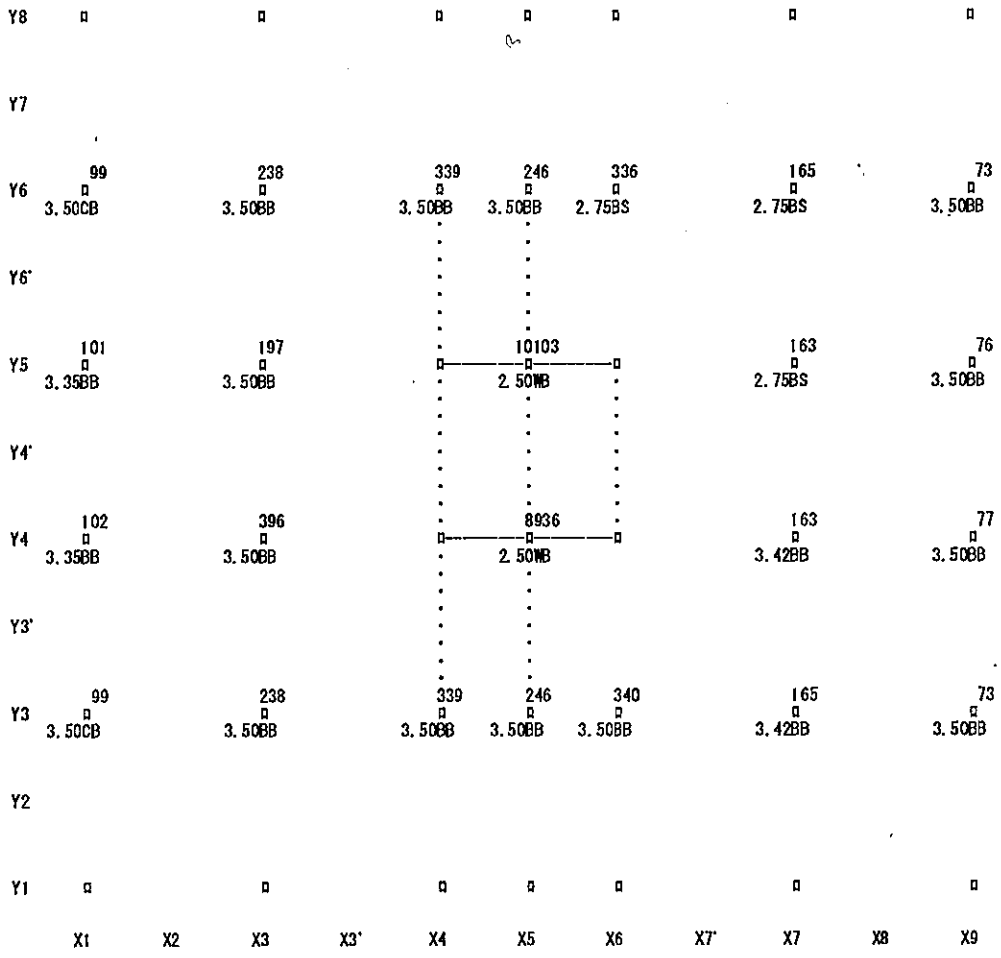
<3　階>　ＳＲＣ


Y8
Y7
Y6
28
201
231
202
234
203
28
2.82CB
2.75BS
3.50BB
3.50BB
3.50BB
2.75BS
2.82CB
Y6'
Y5
31
212
6179
188
30
3.03CB
2.75BS
2.50WB
2.75BS
3.02CB
Y4'
Y4
31
239
5714
188
30
3.05CB
2.75BS
2.50WB
2.75BS
3.03CB
Y3'
Y3
28
201
231
202
235
203
28
2.82CB
2.75BS
3.50BB
3.50BB
3.50BB
2.75BS
2.82CB
Y2
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

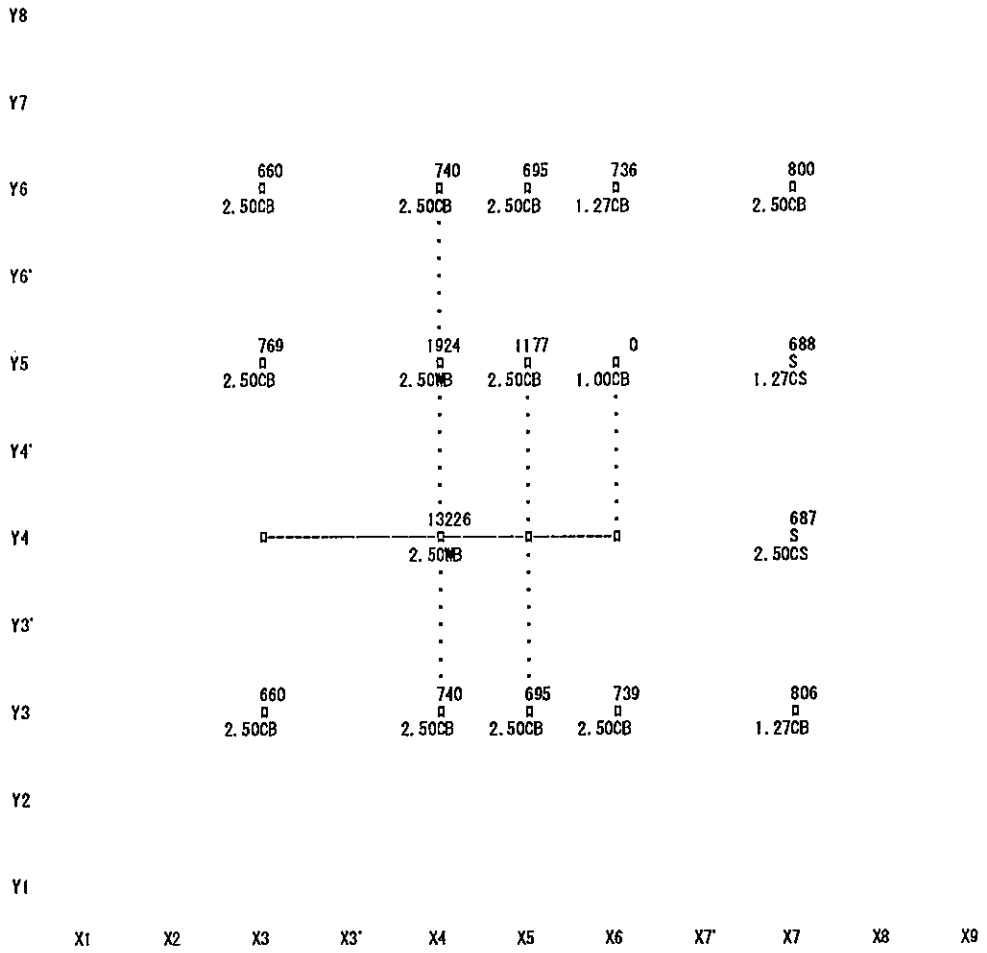
<2 階> ＳＲＣ


Y8
Y7
Y6
75
3.50CB
508
2.75BS
510
3.50BB
425
3.50BB
510
3.50BB
512
2.75BS
75
3.50CB
Y6'
Y5
79
3.50CB
514
2.75BS
7494
2.50WB
521
2.75BS
75
3.50BB
Y4'
Y4
80
3.50CB
434
2.75BS
6642
2.50WB
521
2.75BS
75
3.50BB
Y3'
Y3
76
3.50CB
508
2.75BS
510
3.50BB
425
3.50BB
508
3.50BB
511
2.75BS
75
3.50CB
Y2
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

<I　階>　ＳＲＣ


Y8
Y7
Y6
99
3.50CB
238
3.50BB
339
3.50BB
246
3.50BB
336
2.75BS
165
2.75BS
73
3.50BB
Y6'
Y5
101
3.35BB
197
3.50BB
10103
2.50WB
163
2.75BS
76
3.50BB
Y4'
Y4
102
3.35BB
396
3.50BB
8936
2.50WB
163
3.42BB
77
3.50BB
Y3'
Y3
99
3.50CB
238
3.50BB
339
3.50BB
246
3.50BB
340
3.50BB
165
3.42BB
73
3.50BB
Y2
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

〈B1 階〉 ＳＲＣ

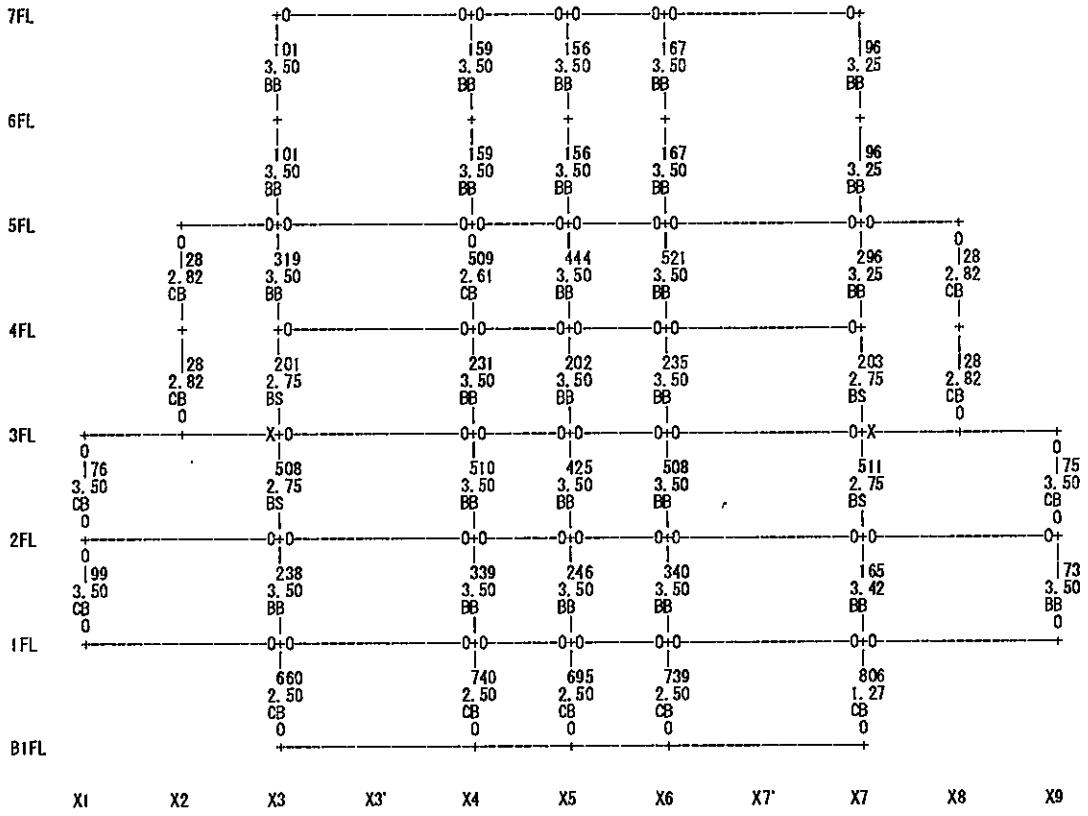

Y8
Y7
Y6
660
2.50CB
740
2.50CB
695
2.50CB
736
1.27CB
800
2.50CB
Y6'
Y5
769
2.50CB
1924
2.50MB
1177
2.50CB
0
1.00CB
688
S
1.27CS
Y4'
Y4
13226
2.50MB
687
S
2.50CS
Y3'
Y3
660
2.50CB
740
2.50CB
695
2.50CB
739
2.50CB
806
1.27CB
Y2
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

【鉛直部材の諸元：（軸組）】 Ｘ方向　負加力時　３次診断

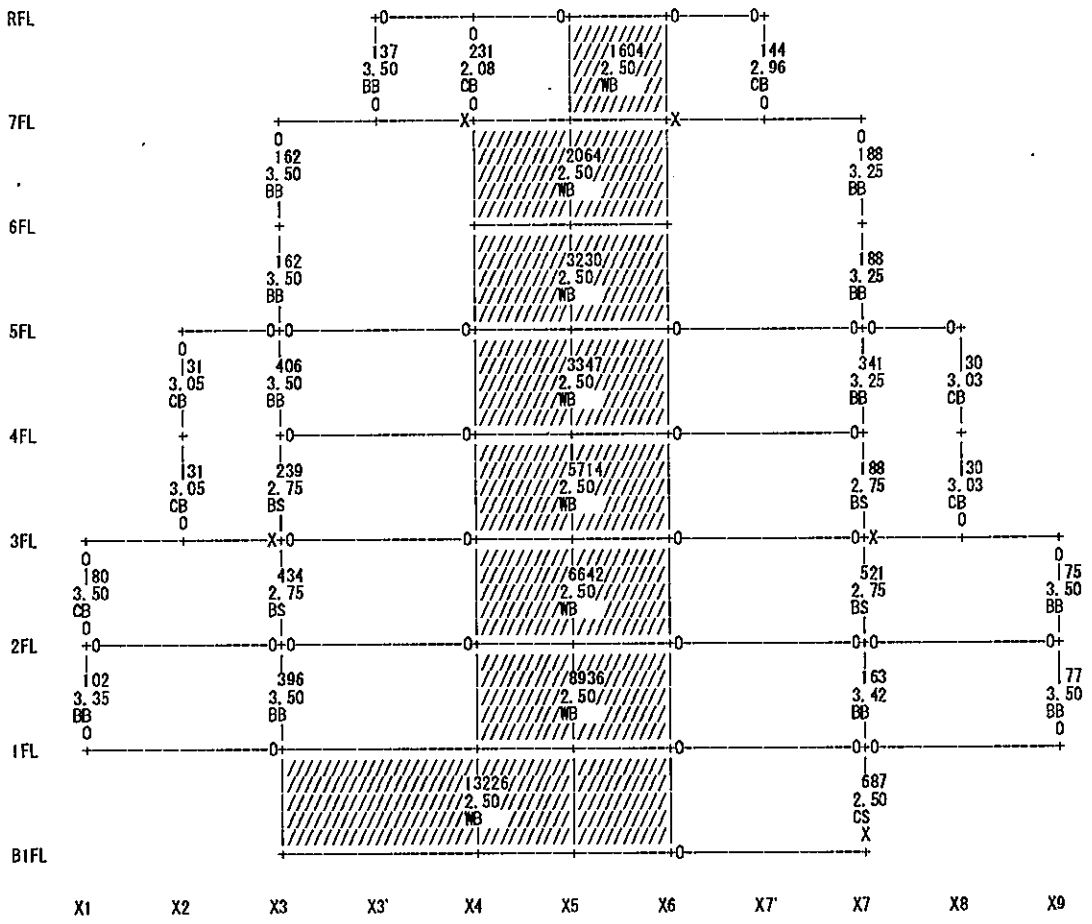
////：壁あり
上段：保有せん断力　中段：Ｆ指標　下段：破壊形式

破壊形式（せん断柱、極脆性柱で第２種構造要素の場合は後に'*'を表示）
CB：曲げ柱　CS：せん断柱　CSS：(極)脆性柱
BB：曲げ梁支配型柱　BS：せん断梁支配型柱　CT：柱脚部支配型柱
CWB：曲げそで壁付柱　CWS：せん断そで壁付柱　CWSS：(極)脆性そで壁付柱
WB：曲げ壁　WS：せん断壁　WR：回転壁　WT：柱脚部支配型壁　(極):RC部材

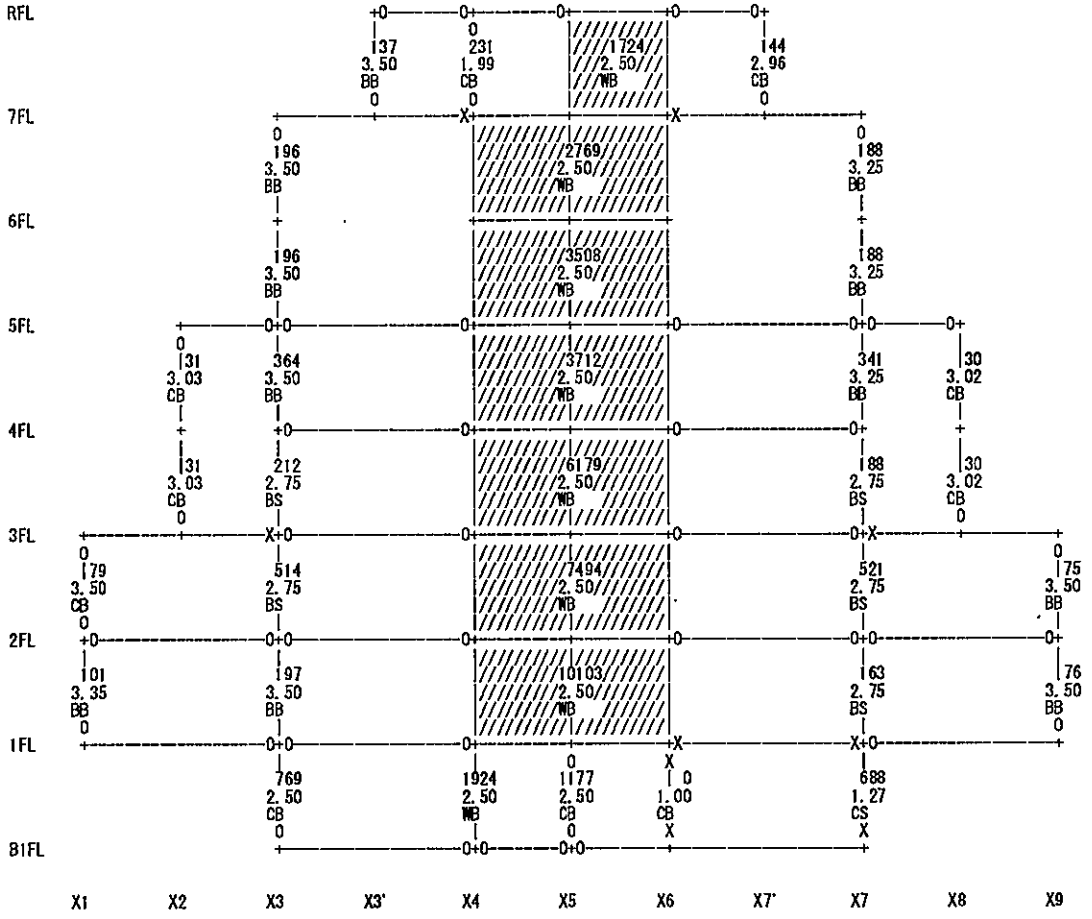
<Y3 フレーム>



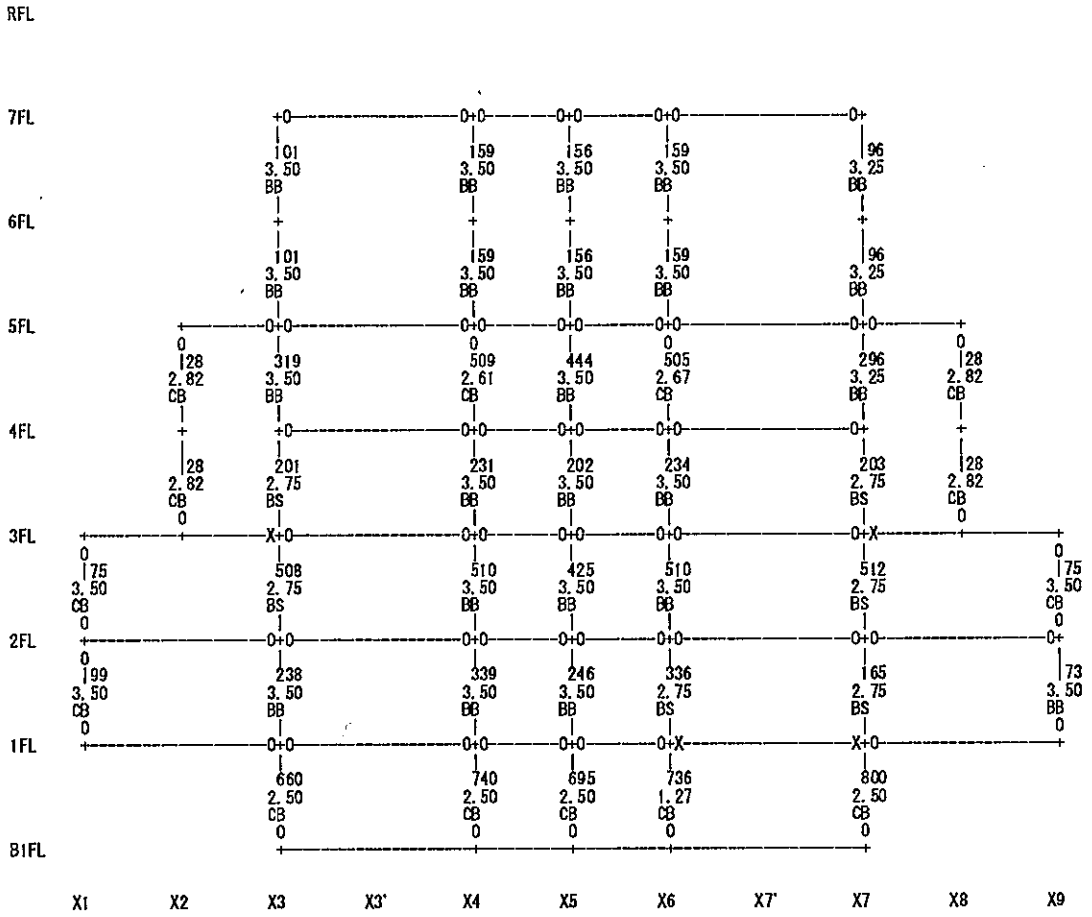
<Y4 フレーム>


RFL
7FL
6FL
5FL
4FL
3FL
2FL
1FL
B1FL
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9
137 3.50 BB 0
231 2.08 CB 0
1604 2.50 MB
144 2.96 CB 0
162 3.50 BB 1
2064 2.50 MB
188 3.25 BB
3230 2.50 MB
31 3.05 CB 0
406 3.50 BB
3347 2.50 MB
341 3.25 BB
30 3.03 CB 0
239 2.75 BS 0
5714 2.50 MB
80 3.50 CB 0
434 2.75 BS
6642 2.50 MB
521 2.75 BS
75 3.50 BB 0
102 3.35 BB 0
396 3.50 BB
8936 2.50 MB
163 3.42 BB
77 3.50 BB 0
13226 2.50 MB
687 2.50 CS X

<Y5 ﾌﾚｰﾑ>


RFL
7FL
6FL
5FL
4FL
3FL
2FL
1FL
B1FL
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9
137 3.50 BB 0
231 1.99 CB 0
1724 2.50 WB
144 2.96 CB 0
196 3.50 BB
2769 2.50 WB
188 3.25 BB
3508
31 3.03 CB
364 3.50 BB
3712
341 3.25 BB
30 3.02 CB
212 2.75 BS
6179
188 2.75 BS
79 3.50 CB 0
514 2.75 BS
7494
521 2.75 BS
75 3.50 BB
101 3.35 BB 0
197 3.50 BB
10103
63 2.75 BS
76 3.50 BB 0
769 2.50 CB 0
1924 2.50 WB
1177 2.50 CB 0
0 1.00 CB X
688 1.27 CS X

<Y6 フレーム>

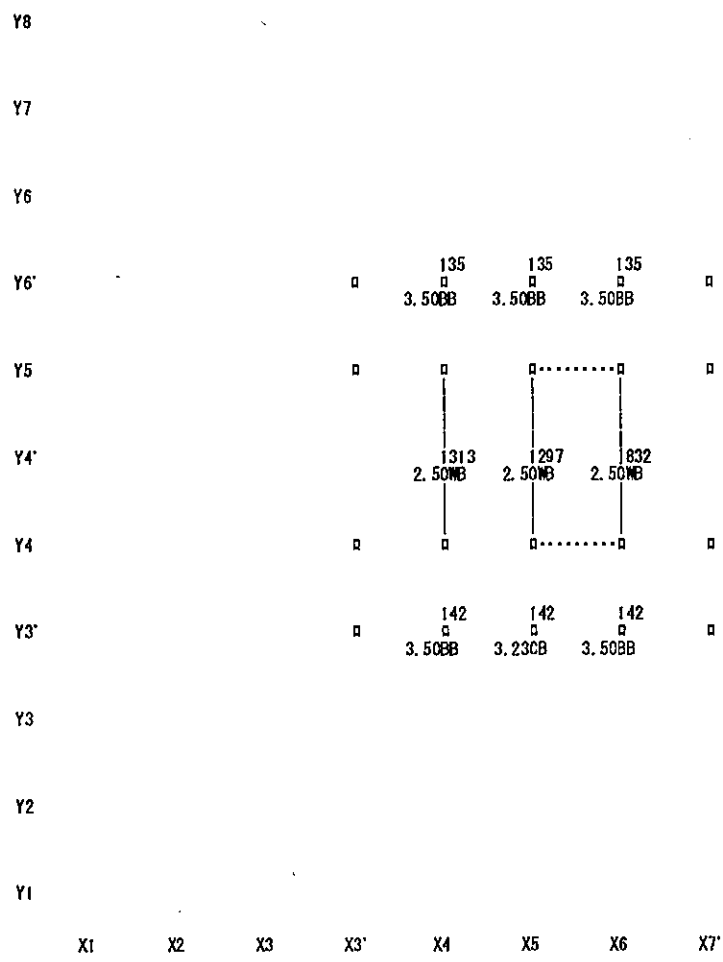

RFL
7FL
6FL
5FL
4FL
3FL
2FL
1FL
B1FL
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

【鉛直部材の諸元：（伏図）】　Ｙ方向　正加力時　３次診断

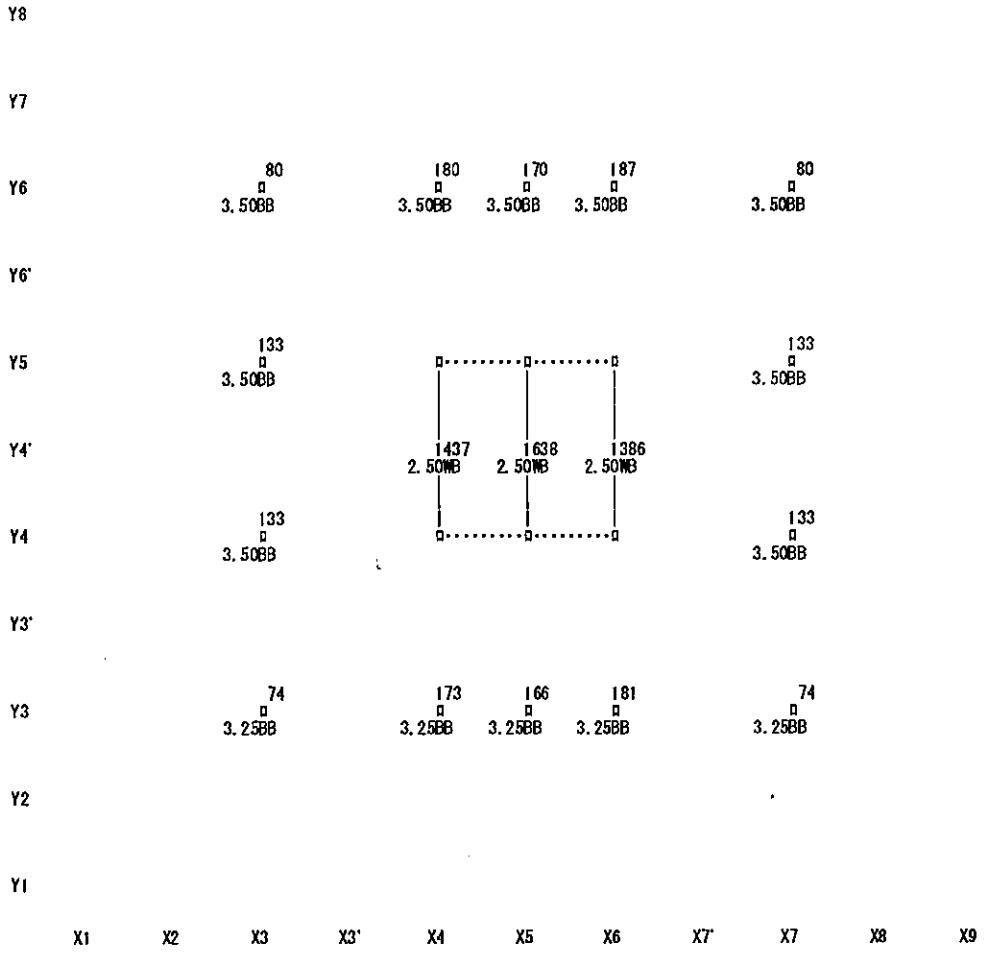
破壊形式（せん断柱、極脆性柱で第２種構造要素の場合は後に'*'を表示）
CB：曲げ柱　CS：せん断柱　CSS：(極)脆性柱
BB：曲げ梁支配型柱　BS：せん断梁支配型柱　CT：柱脚部支配型柱
CWB：曲げそで壁付柱　CWS：せん断そで壁付柱　CWSS：(極)脆性そで壁付柱
WB：曲げ壁　WS：せん断壁　WR：回転壁　WT：柱脚部支配型壁（極）:RC部材

・・・・：Ｘ方向の壁　——：Ｙ方向の壁
上段：保有せん断力　下段：Ｆ指標,破壊形式
鉛直部材の分類　S：せん断柱　X：(極)脆性柱　□：その他

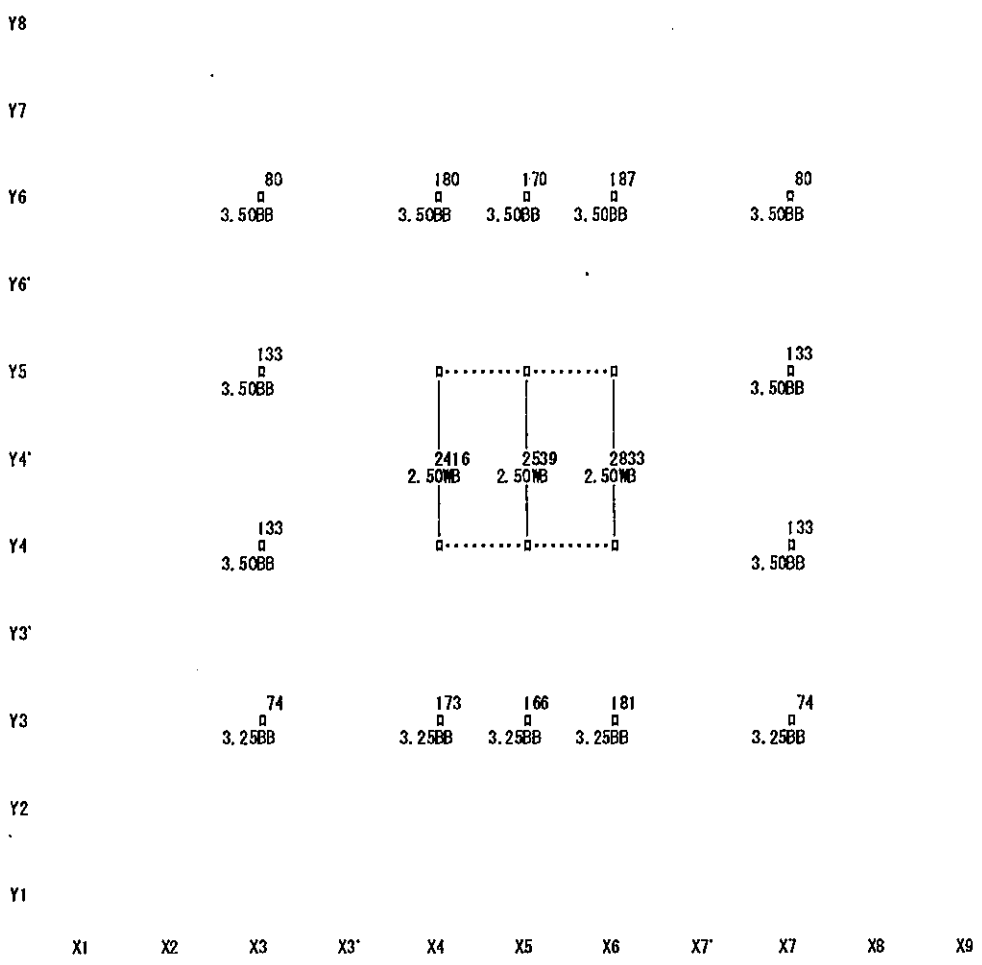
<7　階>　ＳＲＣ



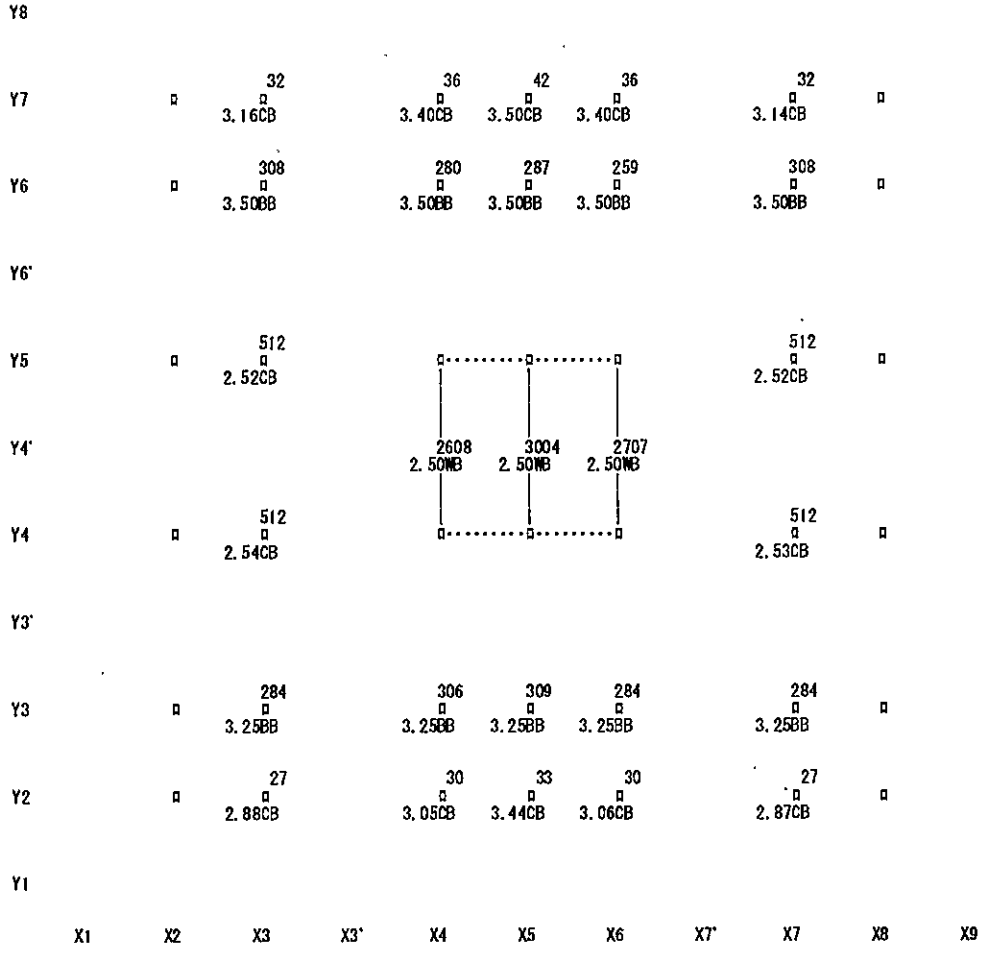
<6　階> ＳＲＣ


Y8
Y7
Y6
80
3.50BB
180
3.50BB
170
3.50BB
187
3.50BB
80
3.50BB
Y6'
Y5
133
3.50BB
133
3.50BB
Y4'
1437
2.50WB
1638
2.50WB
1386
2.50WB
Y4
133
3.50BB
133
3.50BB
Y3'
Y3
74
3.25BB
173
3.25BB
166
3.25BB
181
3.25BB
74
3.25BB
Y2
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

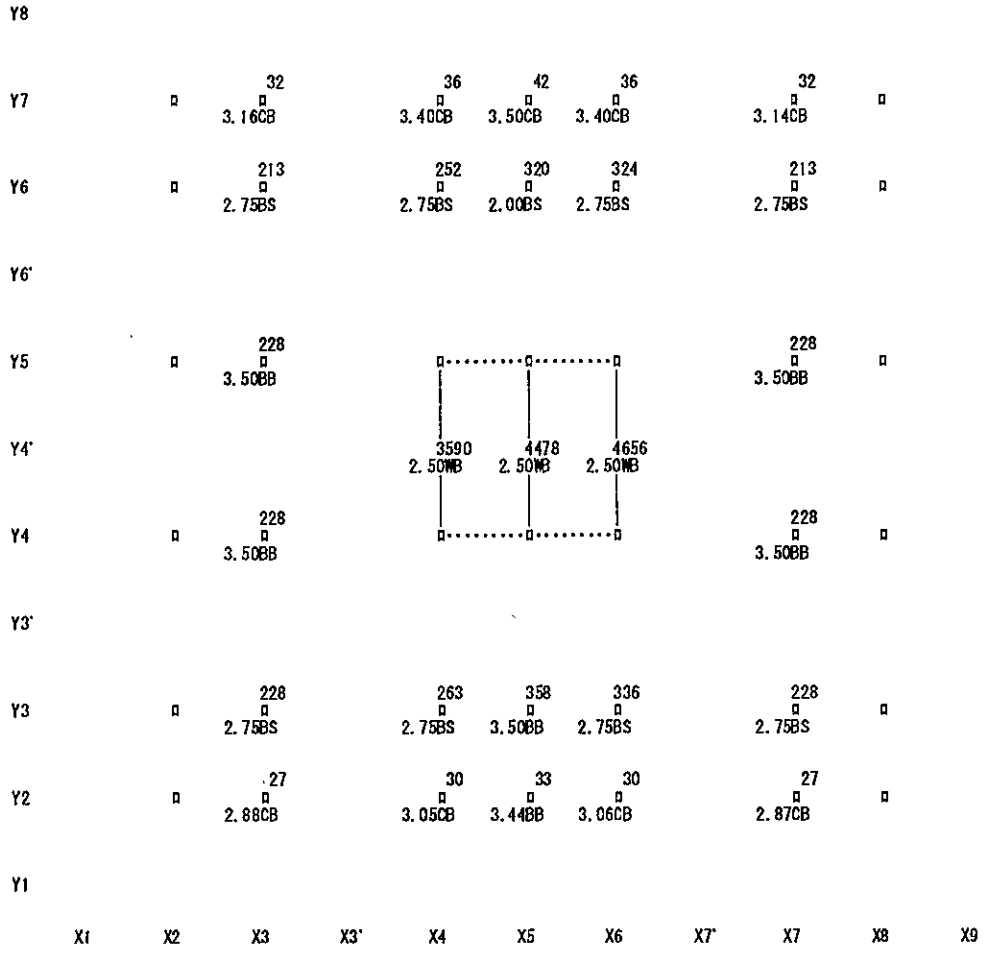
〈5　階〉 ＳＲＣ


Y8
Y7
Y6
80
3.50BB
180
3.50BB
170
3.50BB
187
3.50BB
80
3.50BB
Y6'
Y5
133
3.50BB
133
3.50BB
Y4'
2416
2.50WB
2539
2.50WB
2833
2.50WB
Y4
133
3.50BB
133
3.50BB
Y3'
Y3
74
3.25BB
173
3.25BB
166
3.25BB
181
3.25BB
74
3.25BB
Y2
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

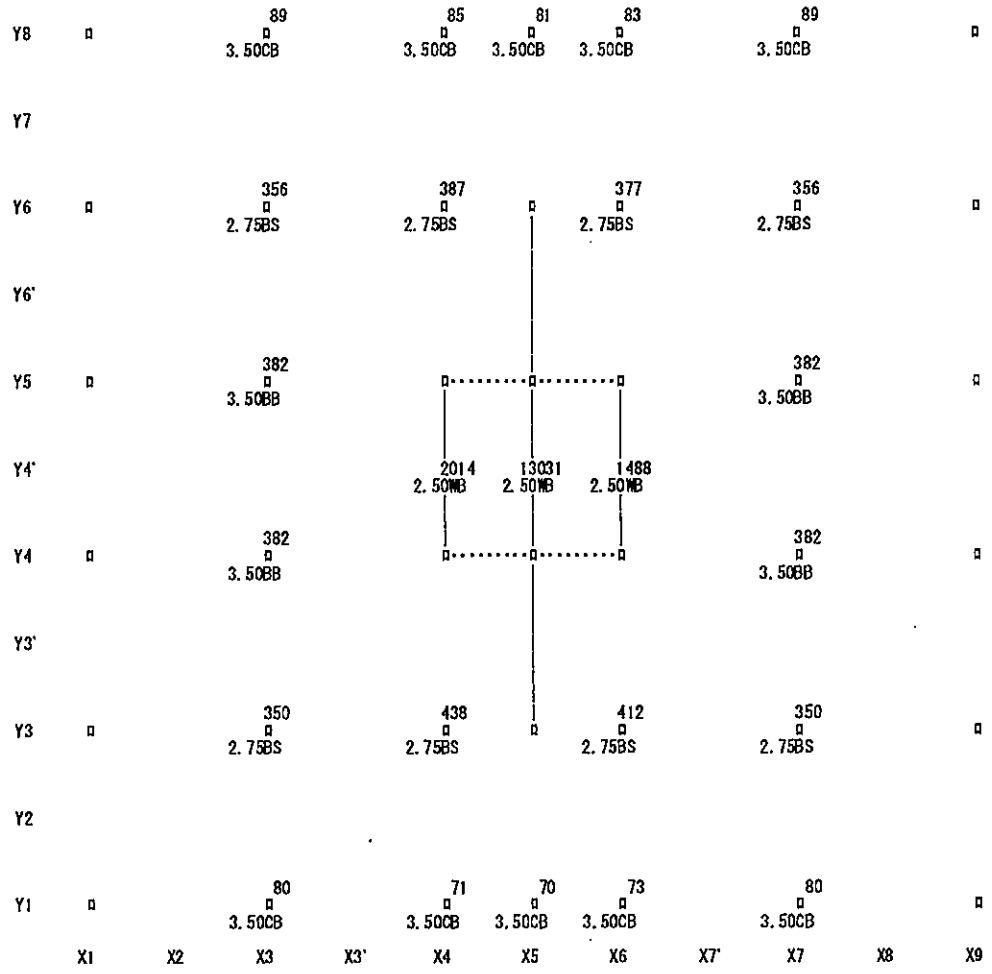
<4　階>　ＳＲＣ


Y8
Y7
32
3.16CB
36
3.40CB
42
3.50CB
36
3.40CB
32
3.14CB
Y6
308
3.50BB
280
3.50BB
287
3.50BB
259
3.50BB
308
3.50BB
Y6'
Y5
512
2.52CB
512
2.52CB
Y4'
2608
2.50WB
3004
2.50WB
2707
2.50WB
Y4
512
2.54CB
512
2.53CB
Y3'
Y3
284
3.25BB
306
3.25BB
309
3.25BB
284
3.25BB
284
3.25BB
Y2
27
2.88CB
30
3.05CB
33
3.44CB
30
3.06CB
27
2.87CB
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

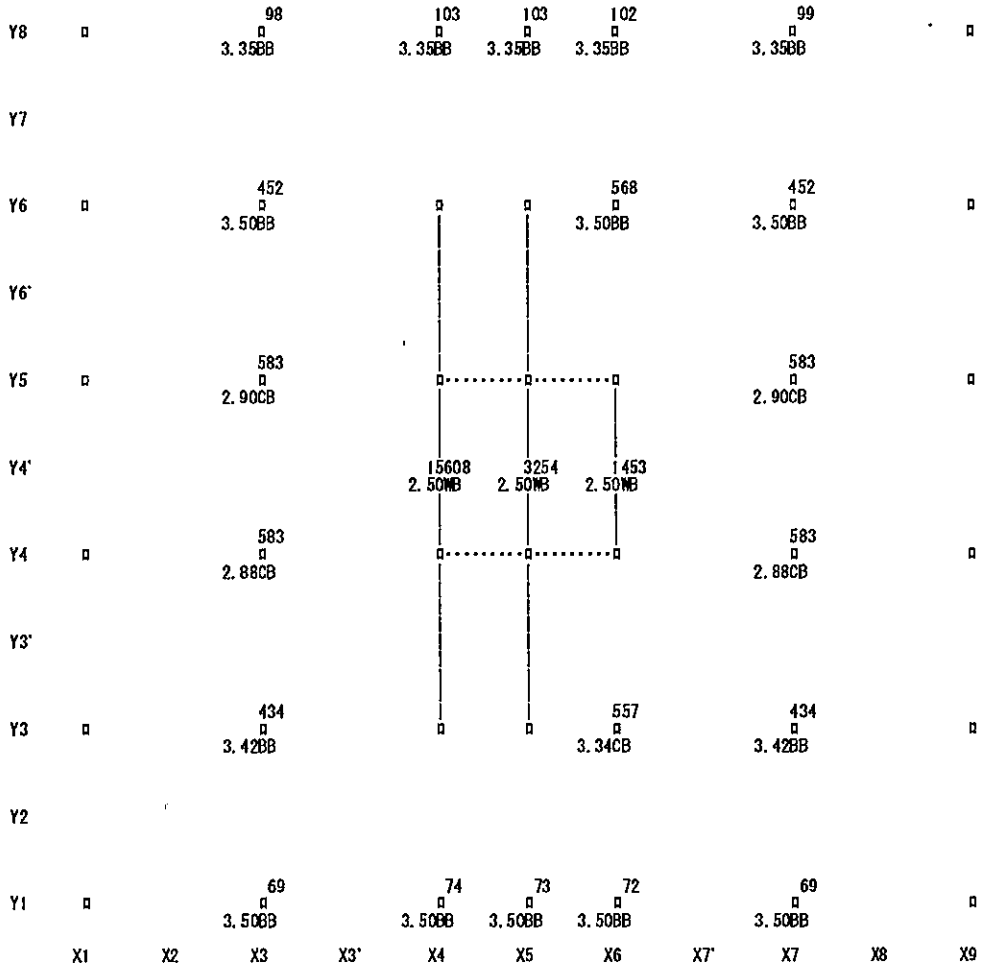
<3 階> ＳＲＣ


Y8
Y7
32
3.16CB
36
3.40CB
42
3.50CB
36
3.40CB
32
3.14CB
Y6
213
2.75BS
252
2.75BS
320
2.00BS
324
2.75BS
213
2.75BS
Y6'
Y5
228
3.50BB
228
3.50BB
Y4'
3590
2.50WB
4478
2.50WB
4656
2.50WB
Y4
228
3.50BB
228
3.50BB
Y3'
Y3
228
2.75BS
263
2.75BS
358
3.50BB
336
2.75BS
228
2.75BS
Y2
27
2.88CB
30
3.05CB
33
3.44BB
30
3.06CB
27
2.87CB
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

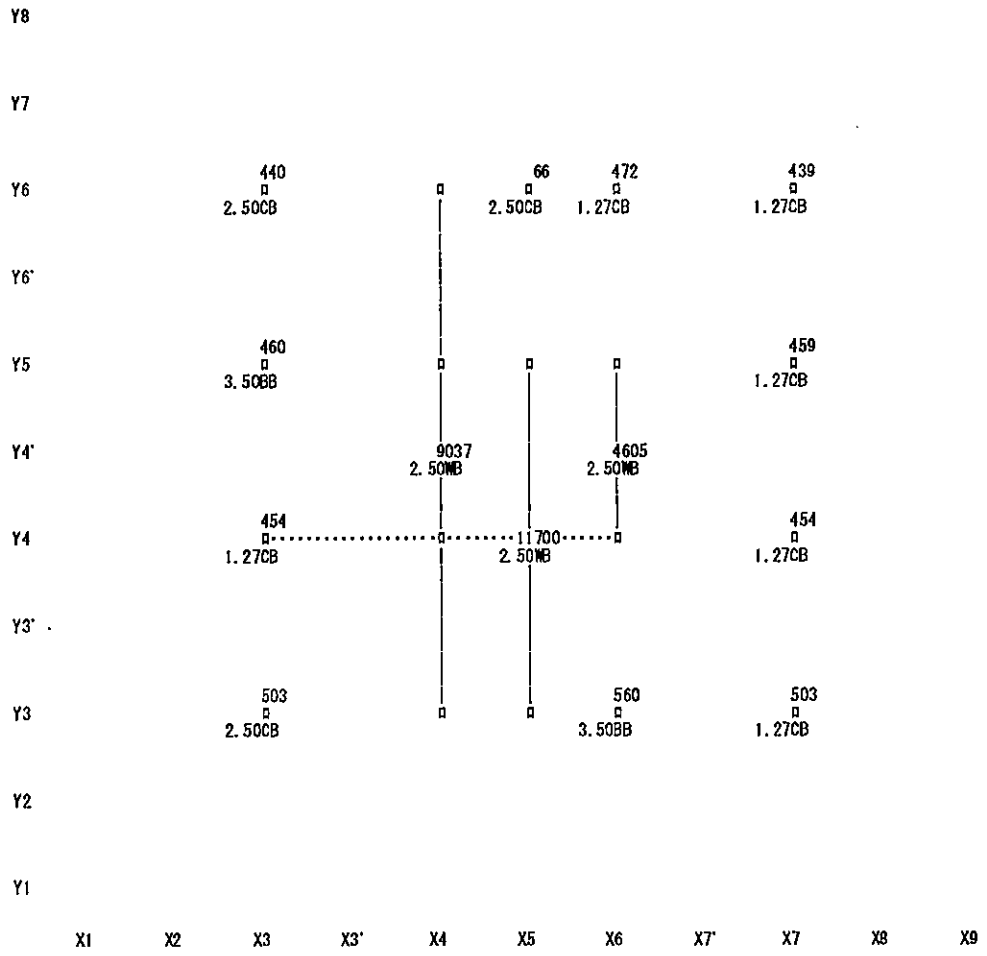
<2　階>　ＳＲＣ


Y8
89
3.50CB
85
3.50CB
81
3.50CB
83
3.50CB
89
3.50CB
Y7
Y6
356
2.75BS
387
2.75BS
377
2.75BS
356
2.75BS
Y6'
Y5
382
3.50BB
382
3.50BB
Y4'
2014
2.50WB
13031
2.50WB
1488
2.50WB
Y4
382
3.50BB
382
3.50BB
Y3'
Y3
350
2.75BS
438
2.75BS
412
2.75BS
350
2.75BS
Y2
Y1
80
3.50CB
71
3.50CB
70
3.50CB
73
3.50CB
80
3.50CB
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

<1　階>　ＳＲＣ


Y8
98
3.35BB
103
3.35BB
103
3.35BB
102
3.35BB
99
3.35BB
Y7
Y6
452
3.50BB
568
3.50BB
452
3.50BB
Y6'
Y5
583
2.90CB
583
2.90CB
Y4'
15608
2.50MB
3254
2.50MB
1453
2.50MB
Y4
583
2.88CB
583
2.88CB
Y3'
Y3
434
3.42BB
557
3.34CB
434
3.42BB
Y2
Y1
69
3.50BB
74
3.50BB
73
3.50BB
72
3.50BB
69
3.50BB
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

〈B1 階〉 ＳＲＣ

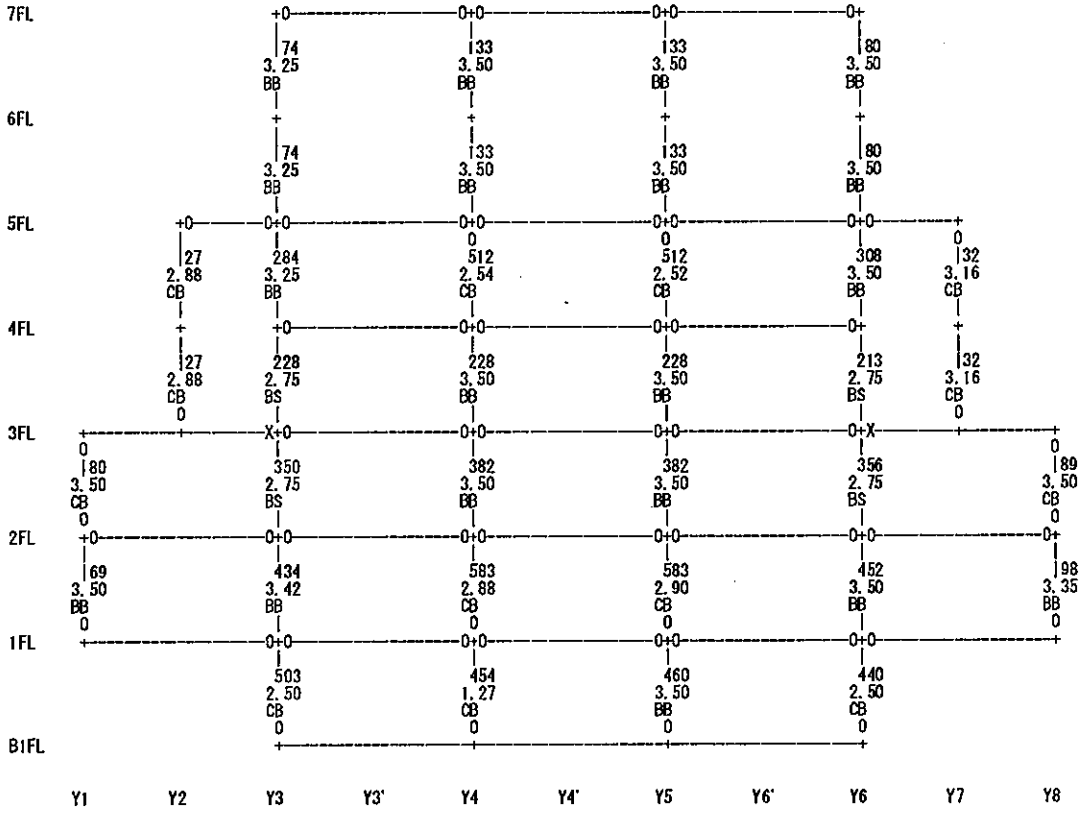

Y8
Y7
Y6
Y6'
Y5
Y4'
Y4
Y3'
Y3
Y2
Y1
440
2.50CB
66
2.50CB
472
1.27CB
439
1.27CB
460
3.50BB
459
1.27CB
9037
2.50MB
4605
2.50MB
454
1.27CB
11700
2.50MB
454
1.27CB
503
2.50CB
560
3.50BB
503
1.27CB
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

【鉛直部材の諸元：（軸組）】　Ｙ方向　正加力時　３次診断

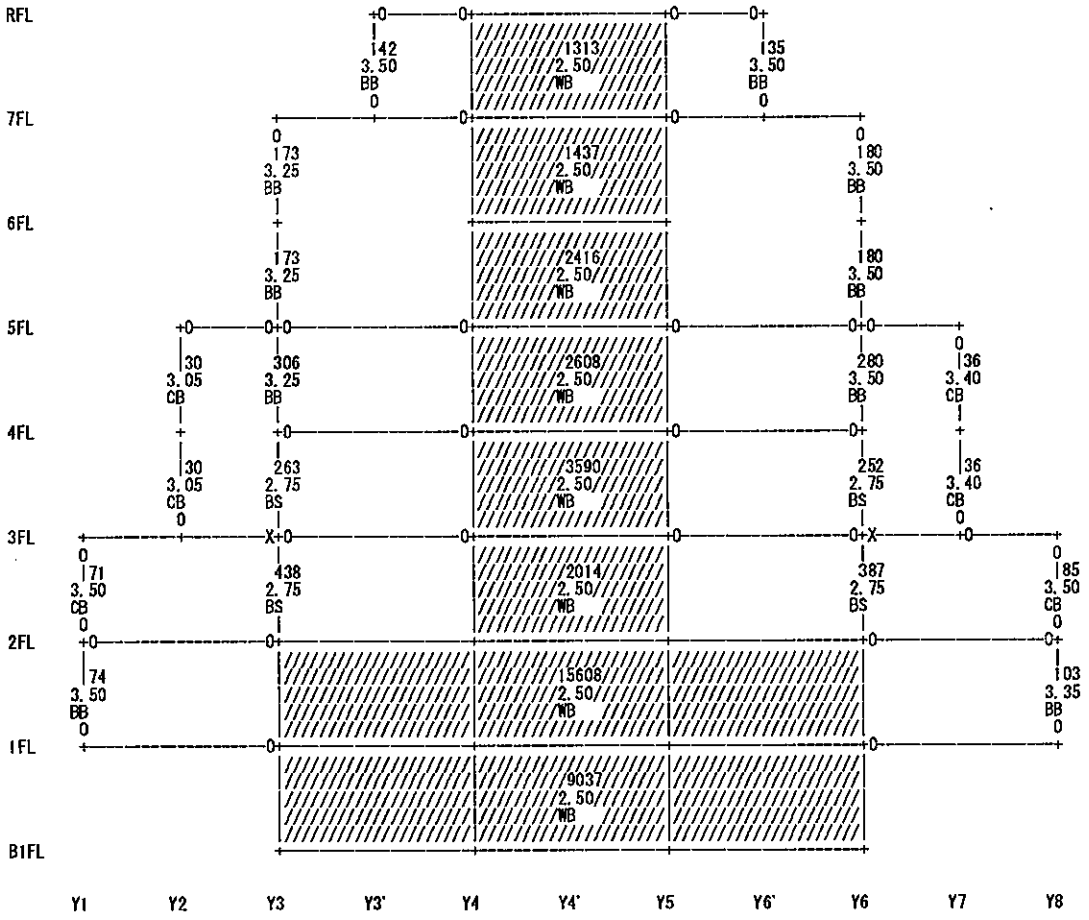
////：壁あり
上段：保有せん断力　中段：Ｆ指標　下段：破壊形式

破壊形式（せん断柱、極脆性柱で第２種構造要素の場合は後に'*'を表示）
CB：曲げ柱　CS：せん断柱　CSS：(極)脆性柱
BB：曲げ梁支配型柱　BS：せん断梁支配型柱　CT：柱脚部支配型柱
CWB：曲げそで壁付柱　CWS：せん断そで壁付柱　CWSS：(極)脆性そで壁付柱
WB：曲げ壁　WS：せん断壁　WR：回転壁　WT：柱脚部支配型壁　(極):RC部材

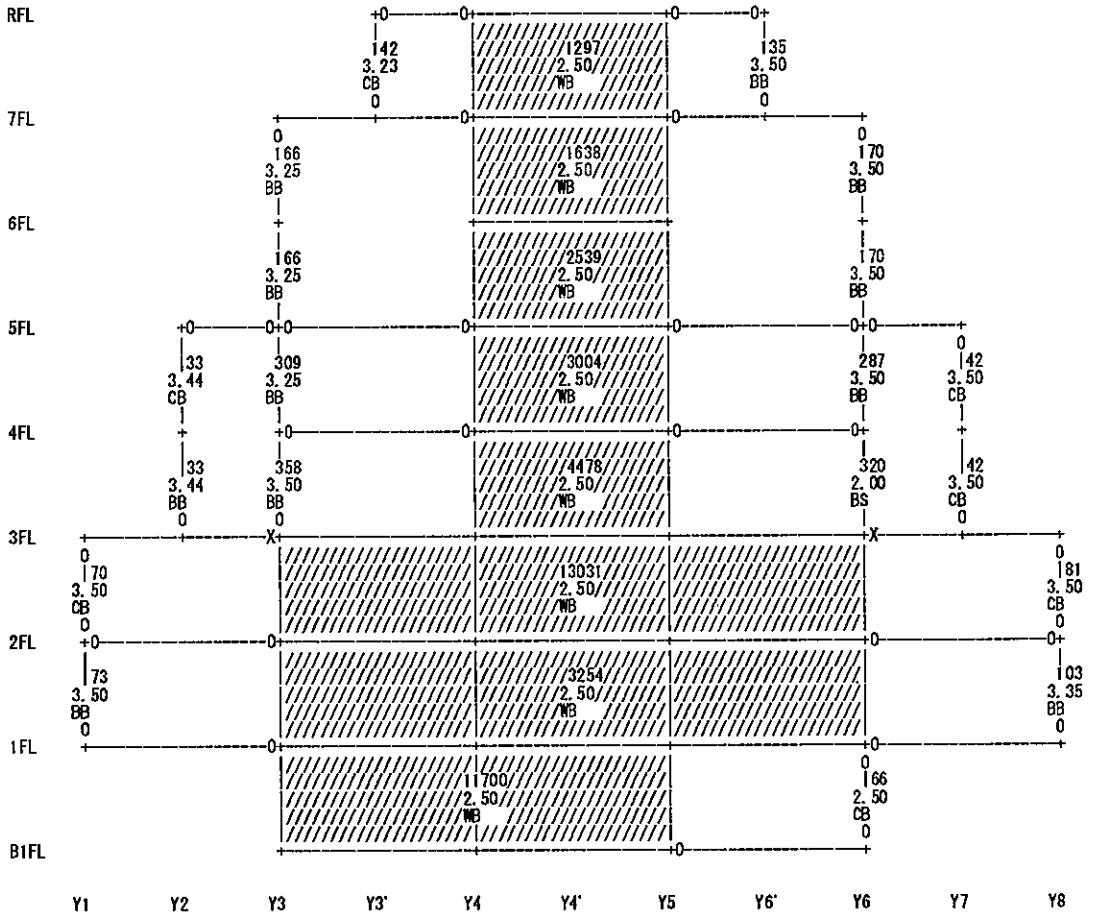
<X3 フレーム>



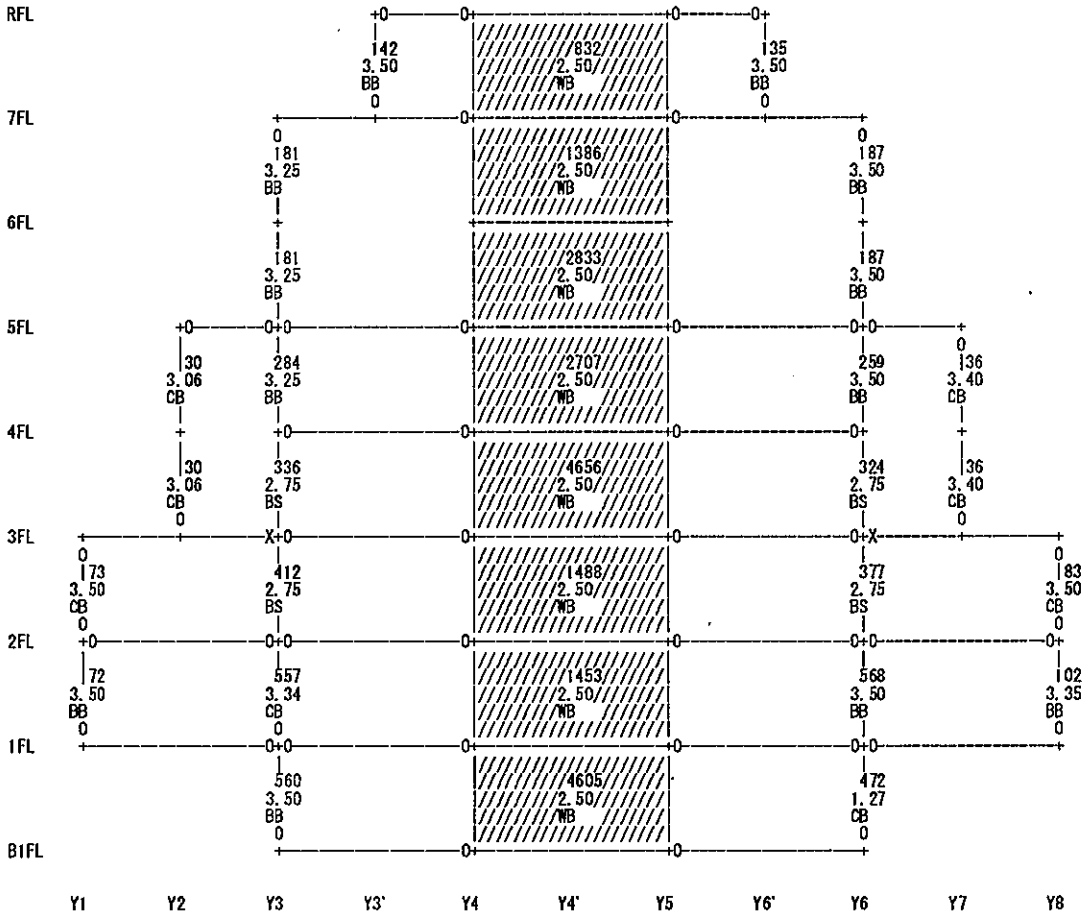
<X4 フレーム>


RFL
7FL
6FL
5FL
4FL
3FL
2FL
1FL
B1FL
Y1
Y2
Y3
Y3'
Y4
Y4'
Y5
Y6'
Y6
Y7
Y8
142 3.50 BB 0
1313 /2.50/ WB
135 3.50 BB 0
0 173 3.25 BB
1437 /2.50/ WB
0 180 3.50 BB
173 3.25 BB
2416 /2.50/ WB
180 3.50 BB
30 3.05 CB
306 3.25 BB
2608 /2.50/ WB
280 3.50 BB
0 136 3.40 CB
30 3.05 CB 0
263 2.75 BS
3590 /2.50/ WB
252 2.75 BS
136 3.40 CB 0
0 71 3.50 CB 0
438 2.75 BS
2014 /2.50/ WB
387 2.75 BS
0 185 3.50 CB 0
74 3.50 BB 0
15608 /2.50/ WB
103 3.35 BB 0
9037 /2.50/ WB

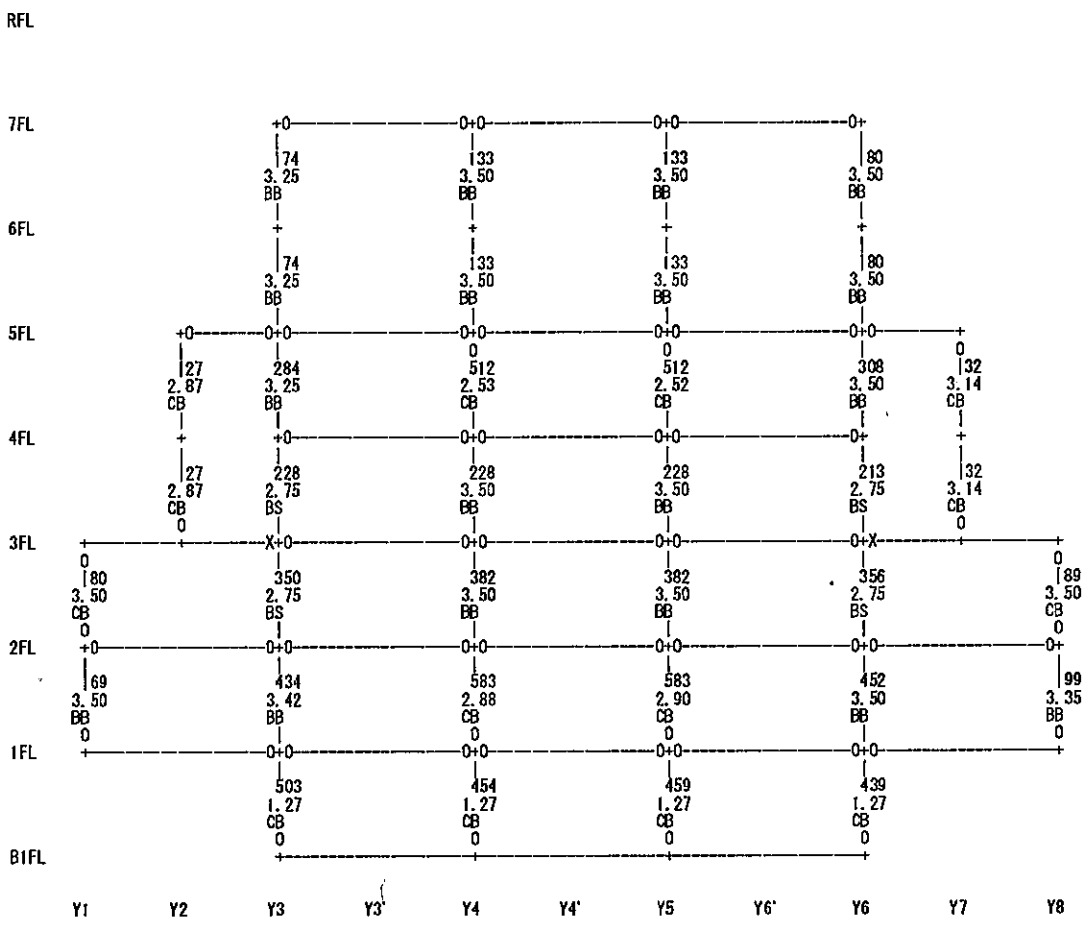
<X5 フレーム>


RFL
7FL
6FL
5FL
4FL
3FL
2FL
1FL
B1FL
Y1
Y2
Y3
Y3'
Y4
Y4'
Y5
Y6'
Y6
Y7
Y8
142 3.23 CB 0
1297 /2.50/ WB
135 3.50 BB 0
166 3.25 BB
1638 /2.50/ WB
170 3.50 BB
2539 /2.50/ WB
33 3.44 CB
309 3.25 BB
3004 /2.50/ WB
287 3.50 BB
42 3.50 CB
33 3.44 BB 0
358 3.50 BB 0
4478 /2.50/ WB
320 2.00 BS
42 3.50 CB 0
70 3.50 CB 0
13031 /2.50/ WB
81 3.50 CB 0
73 3.50 BB 0
3254 /2.50/ WB
103 3.35 BB 0
11700 /2.50/ WB
66 2.50 CB 0

〈X6 フレーム〉


RFL
7FL
6FL
5FL
4FL
3FL
2FL
1FL
B1FL
Y1
Y2
Y3
Y3'
Y4
Y4'
Y5
Y6'
Y6
Y7
Y8
142 3.50 BB 0
135 3.50 BB 0
832 2.50 WB
0 181 3.25 BB
0 187 3.50 BB
1386 2.50 WB
181 3.25 BB
187 3.50 BB
2833 2.50 WB
30 3.06 CB
284 3.25 BB
259 3.50 BB
0 136 3.40 CB
2707 2.50 WB
30 3.06 CB 0
336 2.75 BS
324 2.75 BS
136 3.40 CB 0
4656 2.50 WB
0 73 3.50 CB 0
412 2.75 BS
377 2.75 BS
0 83 3.50 CB 0
1488 2.50 WB
72 3.50 BB 0
557 3.34 CB 0
568 3.50 BB
102 3.35 BB 0
1453 2.50 WB
560 3.50 BB 0
472 1.27 CB 0
4605 2.50 WB

<X7 フレーム>

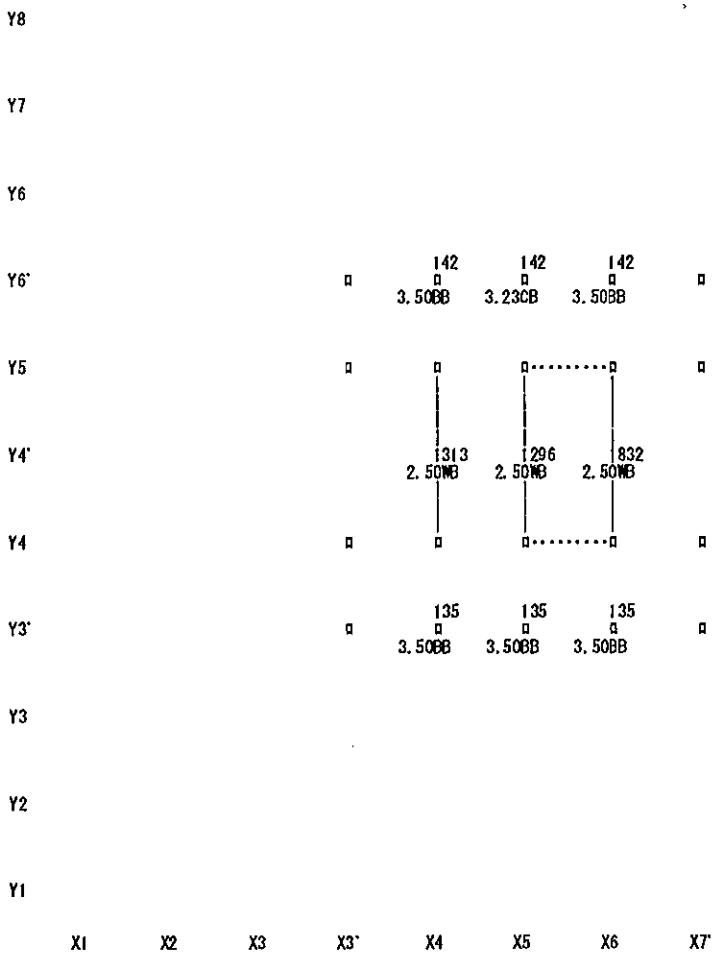

RFL
7FL
6FL
5FL
4FL
3FL
2FL
1FL
B1FL
Y1
Y2
Y3
Y3'
Y4
Y4'
Y5
Y6'
Y6
Y7
Y8

【鉛直部材の諸元：（伏図）】　Ｙ方向　負加力時　３次診断

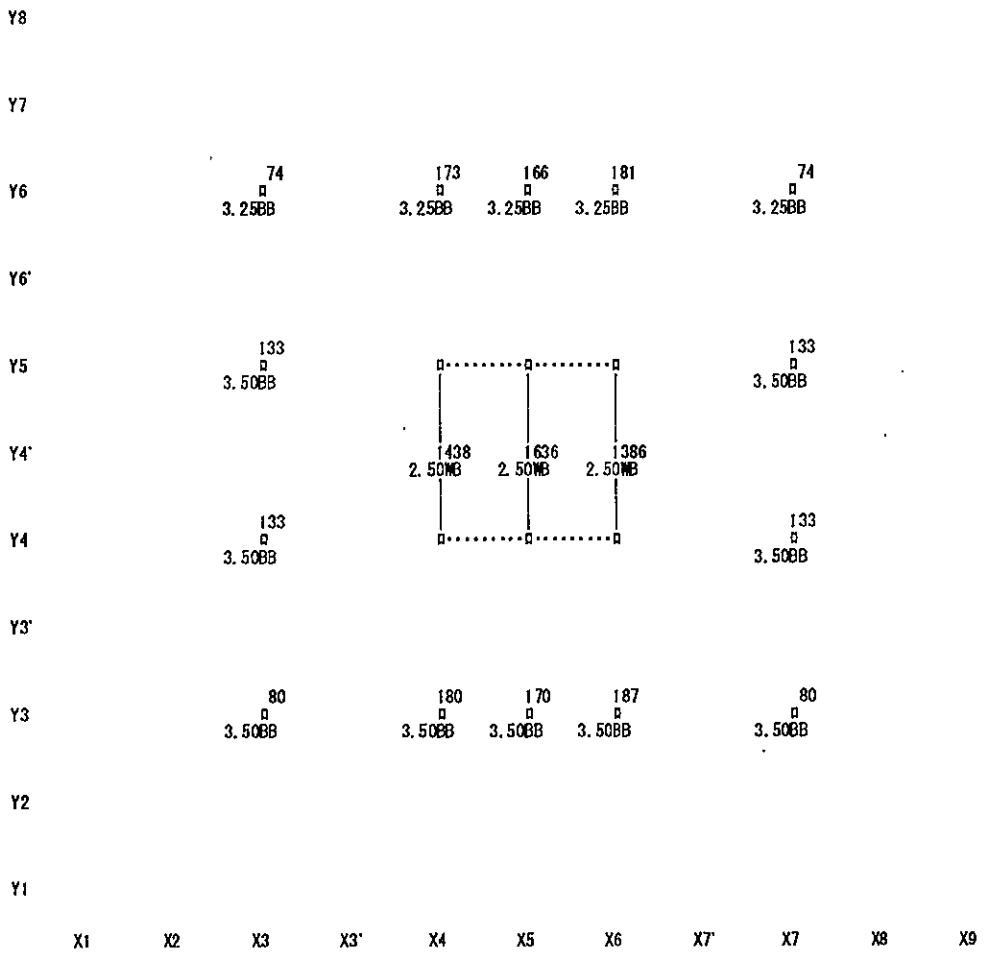
破壊形式（せん断柱、極脆性柱で第２種構造要素の場合は後に'*'を表示）
CB：曲げ柱　CS：せん断柱　CSS：(極)脆性柱
BB：曲げ梁支配型柱　BS：せん断梁支配型柱　CT：柱脚部支配型柱
CWB：曲げそで壁付柱　CWS：せん断そで壁付柱　CWSS：(極)脆性そで壁付柱
WB：曲げ壁　WS：せん断壁　WR：回転壁　WT：柱脚部支配型壁（極):RC部材

・・・・：Ｘ方向の壁　　――：Ｙ方向の壁
上段：保有せん断力　下段：Ｆ指標,破壊形式
鉛直部材の分類　S：せん断柱　X：(極)脆性柱　□：その他

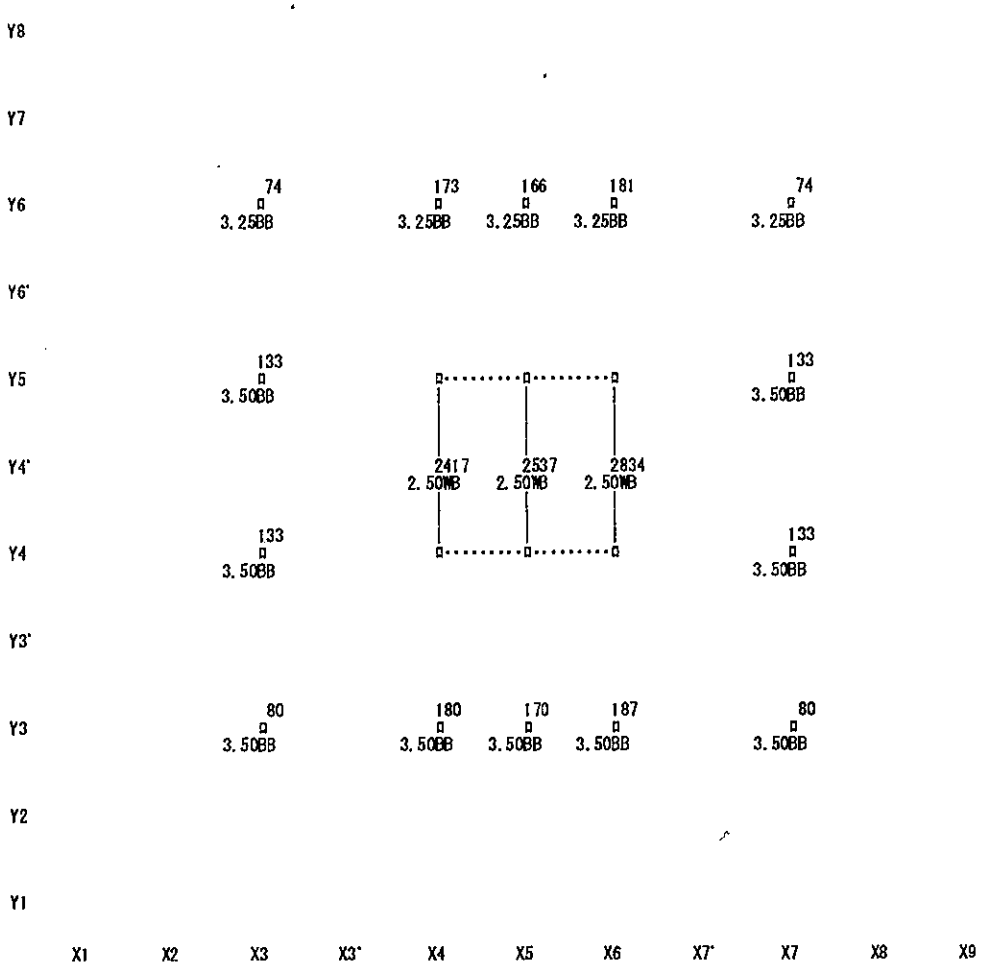
〈7　階〉　ＳＲＣ



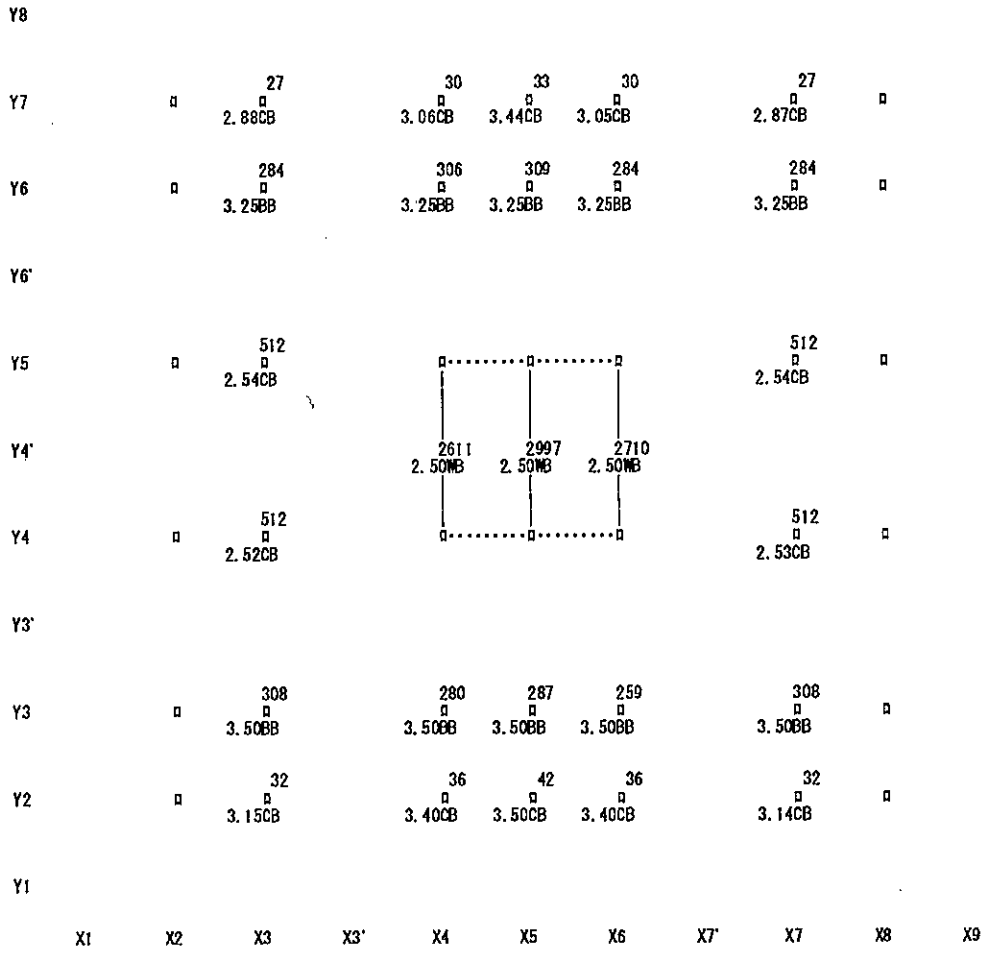
<6　階> ＳＲＣ


Y8
Y7
Y6
74
3.25BB
173
3.25BB
166
3.25BB
181
3.25BB
74
3.25BB
Y6'
Y5
133
3.50BB
133
3.50BB
Y4'
1438
2.50WB
1636
2.50WB
1386
2.50WB
Y4
133
3.50BB
133
3.50BB
Y3'
Y3
80
3.50BB
180
3.50BB
170
3.50BB
187
3.50BB
80
3.50BB
Y2
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

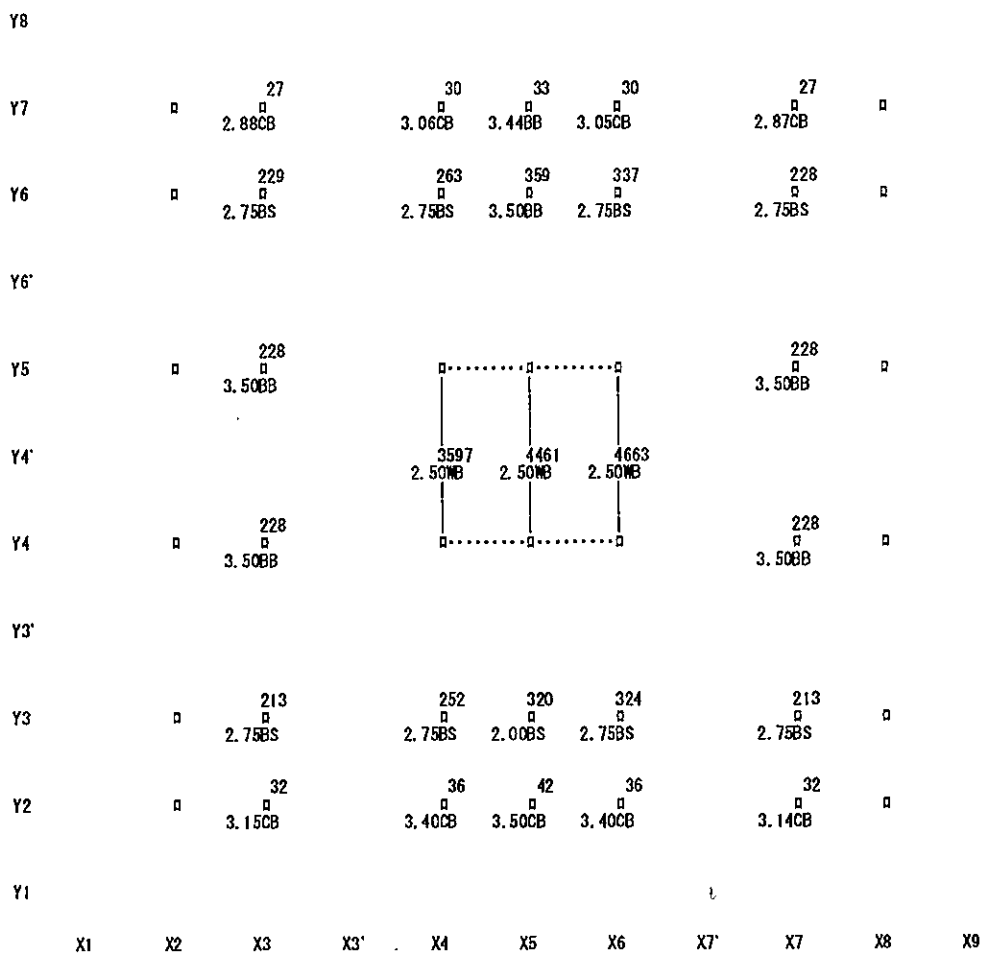
<5　階>　ＳＲＣ


Y8
Y7
Y6
74
3.25BB
173
3.25BB
166
3.25BB
181
3.25BB
74
3.25BB
Y6'
Y5
133
3.50BB
133
3.50BB
Y4'
2417
2.50WB
2537
2.50WB
2834
2.50WB
Y4
133
3.50BB
133
3.50BB
Y3'
Y3
80
3.50BB
180
3.50BB
170
3.50BB
187
3.50BB
80
3.50BB
Y2
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

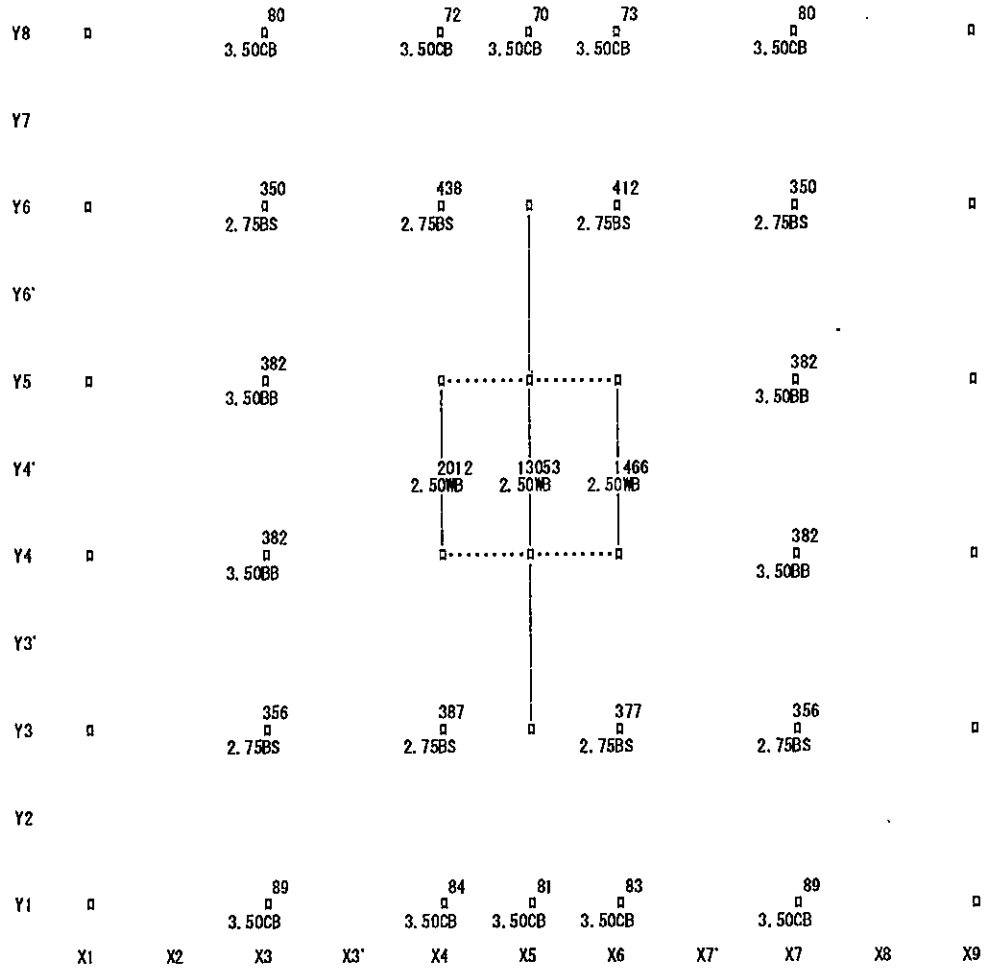
〈4 階〉 ＳＲＣ


Y8
Y7
Y6
Y6'
Y5
Y4'
Y4
Y3'
Y3
Y2
Y1
27
2.88CB
30
3.06CB
33
3.44CB
30
3.05CB
27
2.87CB
284
3.25BB
306
3.25BB
309
3.25BB
284
3.25BB
284
3.25BB
512
2.54CB
512
2.54CB
2611
2.50WB
2997
2.50WB
2710
2.50WB
512
2.52CB
512
2.53CB
308
3.50BB
280
3.50BB
287
3.50BB
259
3.50BB
308
3.50BB
32
3.15CB
36
3.40CB
42
3.50CB
36
3.40CB
32
3.14CB
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

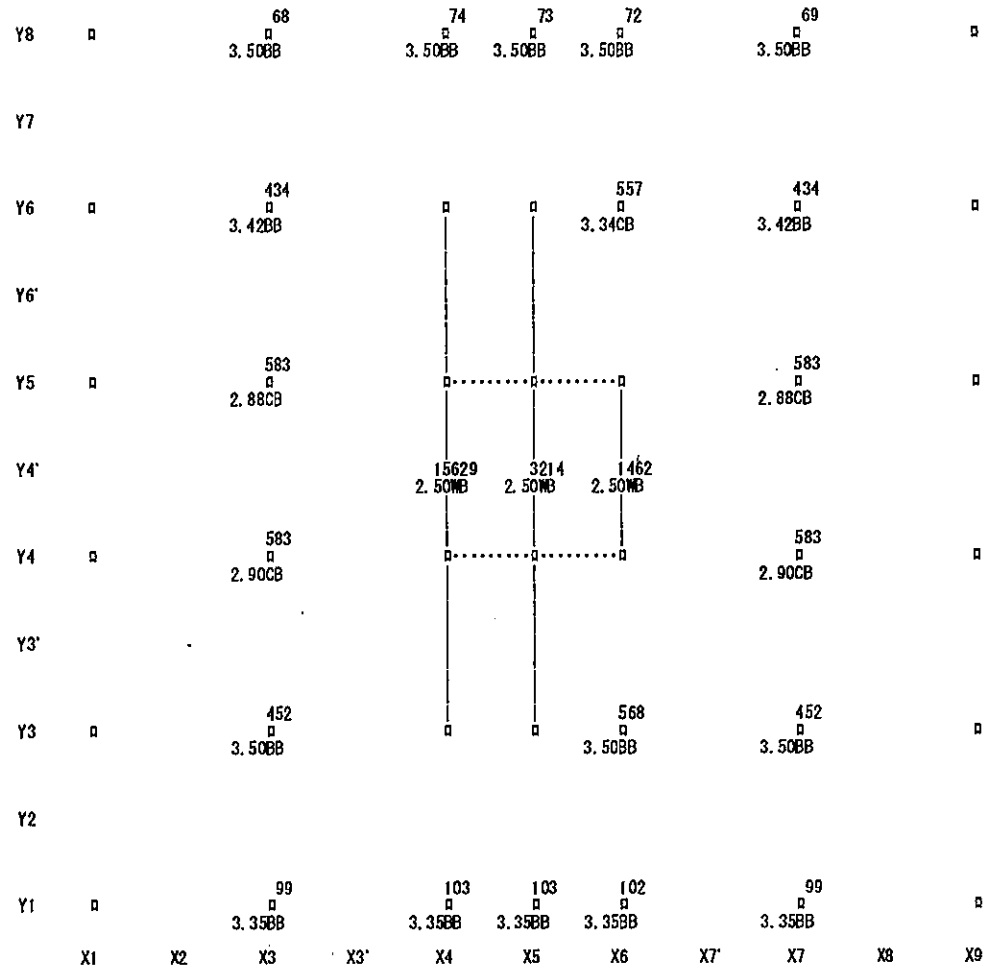
<3　階>　ＳＲＣ


Y8
Y7
27
2.88CB
30
3.06CB
33
3.44BB
30
3.05CB
27
2.87CB
Y6
229
2.75BS
263
2.75BS
359
3.50BB
337
2.75BS
228
2.75BS
Y6'
Y5
228
3.50BB
228
3.50BB
Y4'
3597
2.50MB
4461
2.50MB
4663
2.50MB
Y4
228
3.50BB
228
3.50BB
Y3'
Y3
213
2.75BS
252
2.75BS
320
2.00BS
324
2.75BS
213
2.75BS
Y2
32
3.15CB
36
3.40CB
42
3.50CB
36
3.40CB
32
3.14CB
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

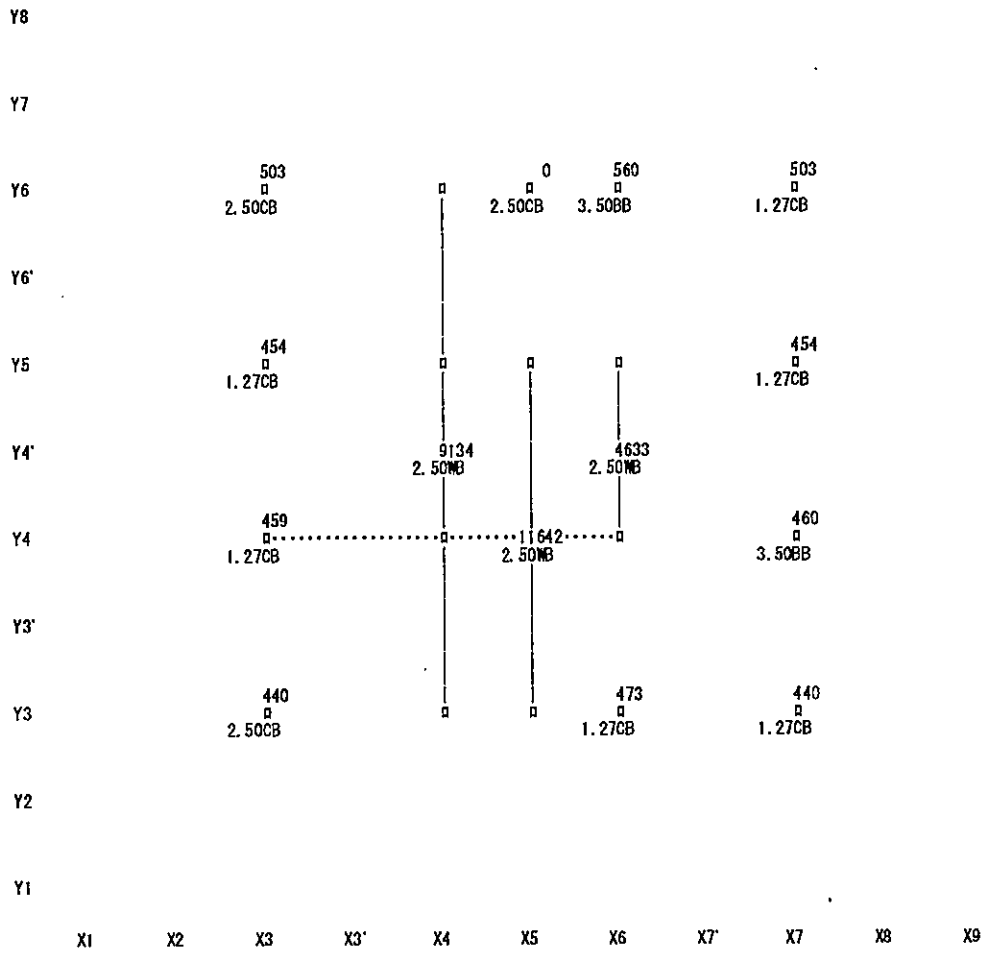
〈2 階〉 ＳＲＣ


Y8
Y7
Y6
Y6'
Y5
Y4'
Y4
Y3'
Y3
Y2
Y1
80
3.50CB
72
3.50CB
70
3.50CB
73
3.50CB
80
3.50CB
350
2.75BS
438
2.75BS
412
2.75BS
350
2.75BS
382
3.50BB
382
3.50BB
2012
2.50WB
13053
2.50WB
1466
2.50WB
382
3.50BB
382
3.50BB
356
2.75BS
387
2.75BS
377
2.75BS
356
2.75BS
89
3.50CB
84
3.50CB
81
3.50CB
83
3.50CB
89
3.50CB
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

<1　階> ＳＲＣ


Y8
Y7
Y6
Y6'
Y5
Y4'
Y4
Y3'
Y3
Y2
Y1
68
3.50BB
74
3.50BB
73
3.50BB
72
3.50BB
69
3.50BB
434
3.42BB
557
3.34CB
434
3.42BB
583
2.88CB
583
2.88CB
15629
2.50WB
3214
2.50WB
1462
2.50WB
583
2.90CB
583
2.90CB
452
3.50BB
568
3.50BB
452
3.50BB
99
3.35BB
103
3.35BB
103
3.35BB
102
3.35BB
99
3.35BB
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

<B1 階> ＳＲＣ

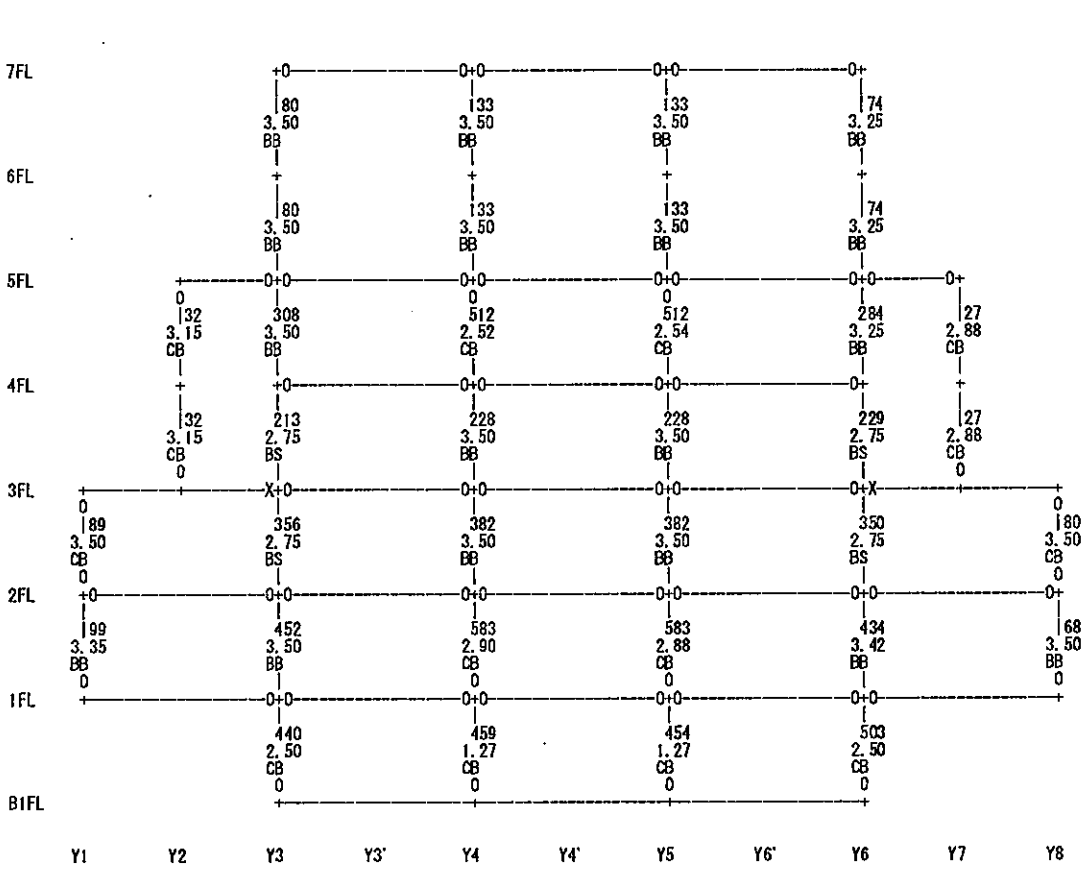

Y8
Y7
Y6
Y6'
Y5
Y4'
Y4
Y3'
Y3
Y2
Y1
503
2.50CB
0
2.50CB
560
3.50BB
503
1.27CB
454
1.27CB
454
1.27CB
9134
2.50WB
4633
2.50WB
459
1.27CB
11642
2.50WB
460
3.50BB
440
2.50CB
473
1.27CB
440
1.27CB
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

【鉛直部材の諸元：（軸組）】　Ｙ方向　負加力時　３次診断

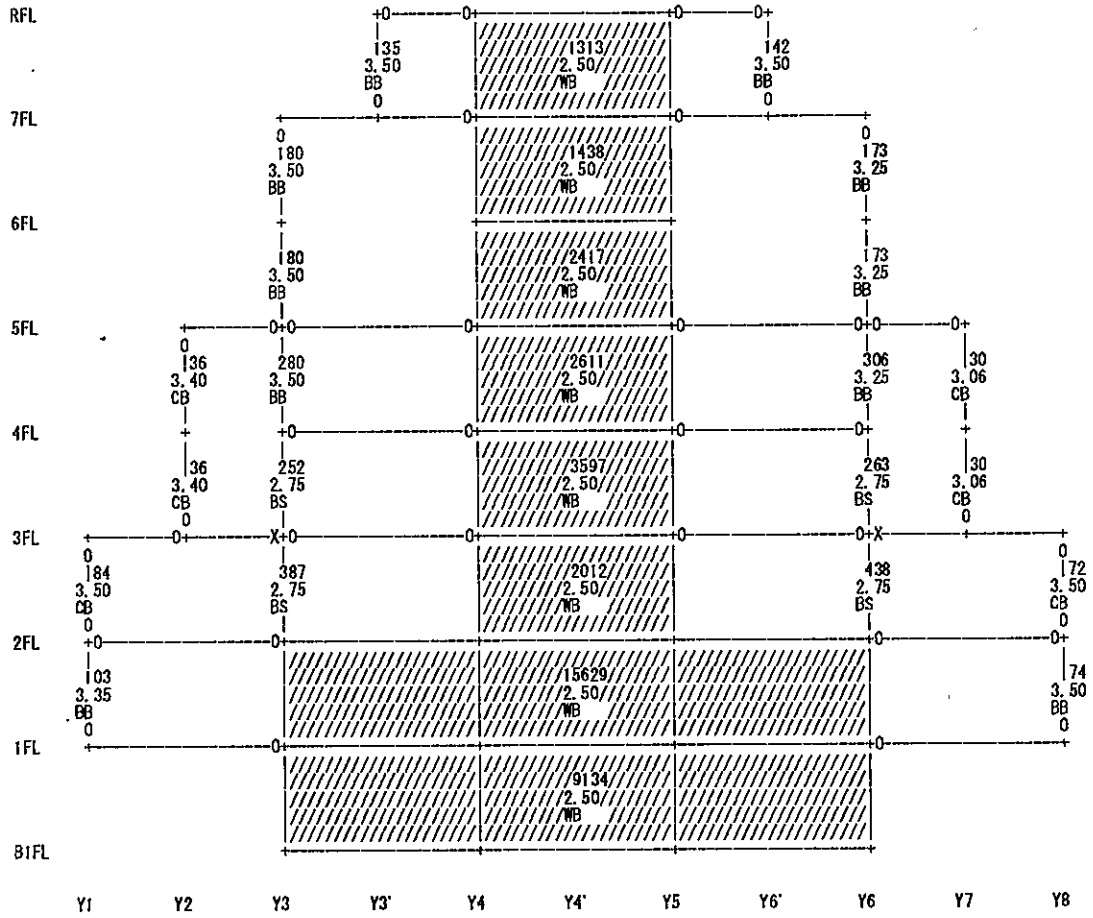
////：壁あり
上段：保有せん断力　中段：Ｆ指標　下段：破壊形式

破壊形式（せん断柱、極脆性柱で第２種構造要素の場合は後に'*'を表示）
CB：曲げ柱　CS：せん断柱　CSS：(極)脆性柱
BB：曲げ梁支配型柱　BS：せん断梁支配型柱　CT：柱脚部支配型柱
CWB：曲げそで壁付柱　CWS：せん断そで壁付柱　CWSS：(極)脆性そで壁付柱
WB：曲げ壁　WS：せん断壁　WR：回転壁　WT：柱脚部支配型壁（極):RC部材

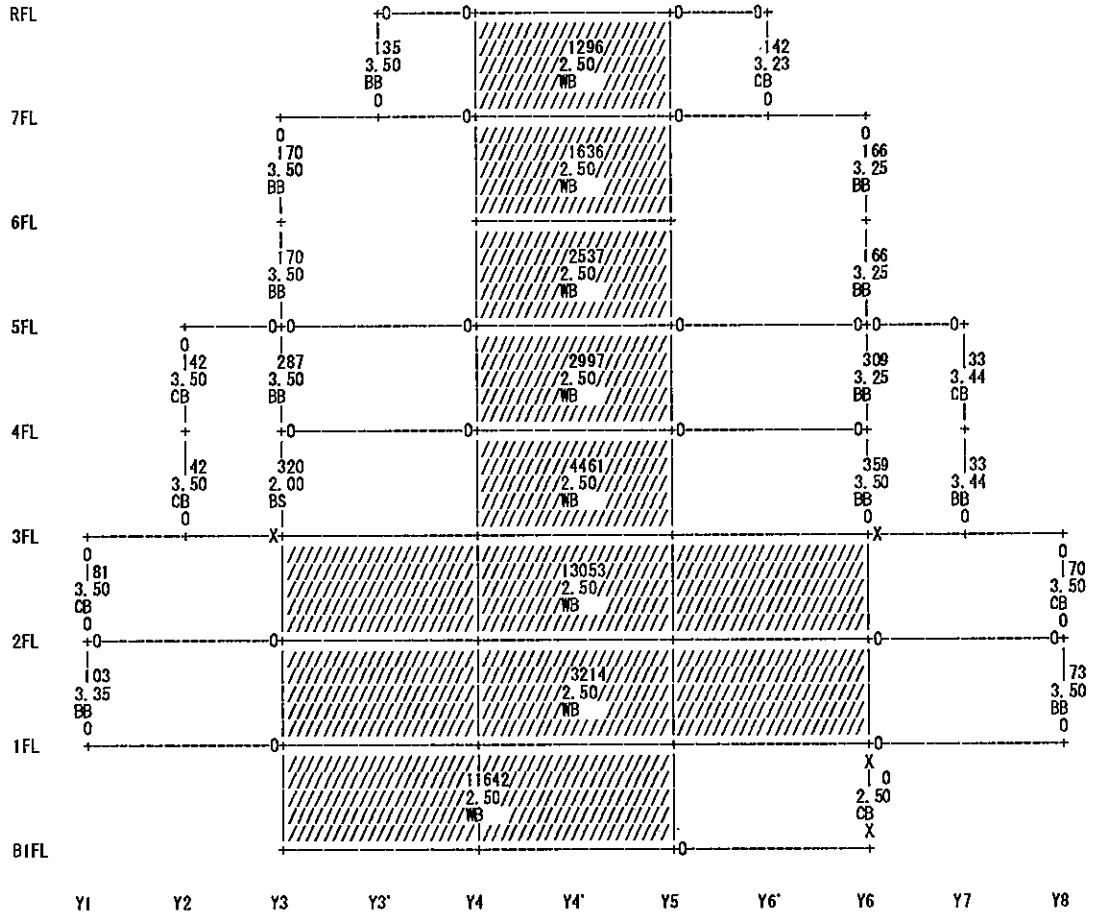
<X3 フレーム>



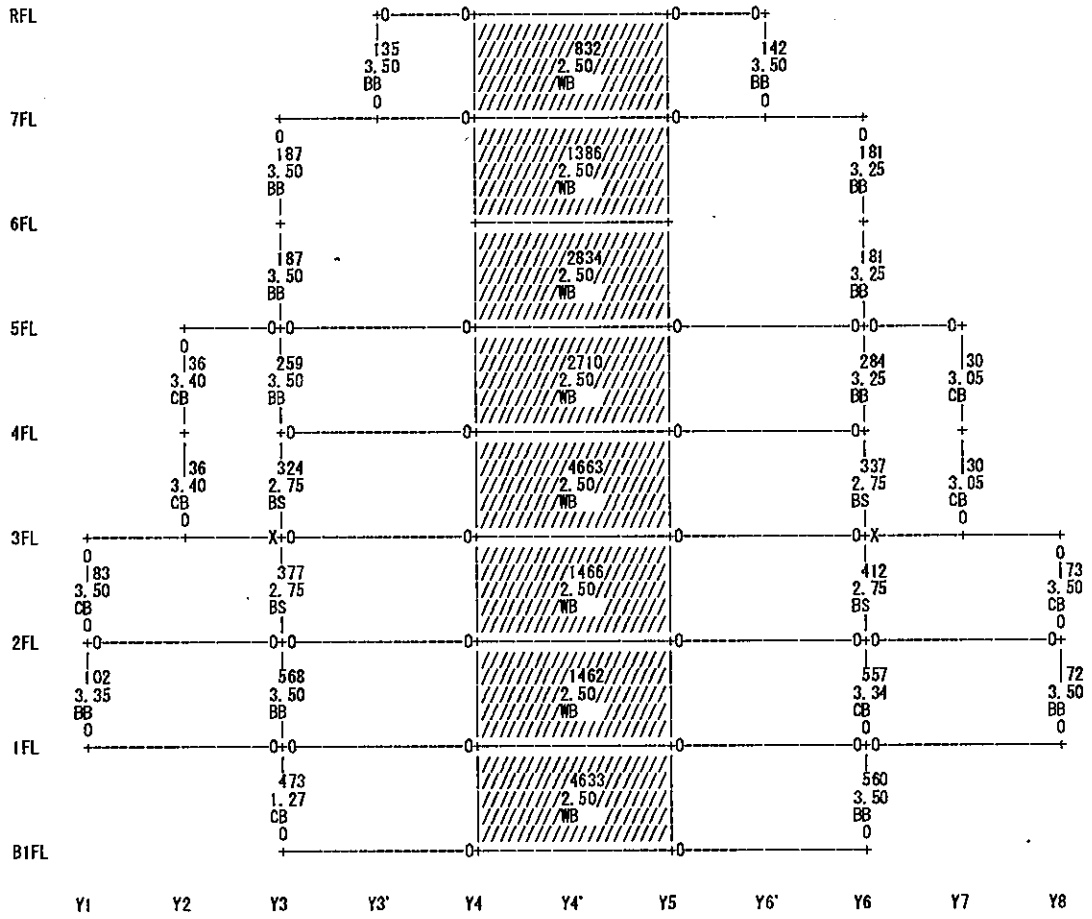
<X4 フレーム>


RFL
7FL
6FL
5FL
4FL
3FL
2FL
1FL
B1FL
Y1
Y2
Y3
Y3'
Y4
Y4'
Y5
Y6'
Y6
Y7
Y8
135 3.50 BB 0
142 3.50 BB 0
0 180 3.50 BB
0 173 3.25 BB
180 3.50 BB
173 3.25 BB
0 36 3.40 CB
280 3.50 BB
306 3.25 BB
30 3.06 CB
36 3.40 CB 0
252 2.75 BS
263 2.75 BS
30 3.06 CB 0
0 84 3.50 CB 0
387 2.75 BS
438 2.75 BS
0 72 3.50 CB 0
103 3.35 BB 0
74 3.50 BB 0
1313/ 2.50/ MB
1438/ 2.50/ MB
2417/ 2.50/ MB
2611/ 2.50/ MB
3597/ 2.50/ MB
2012/ 2.50/ MB
15629/ 2.50/ MB
9134/ 2.50/ MB

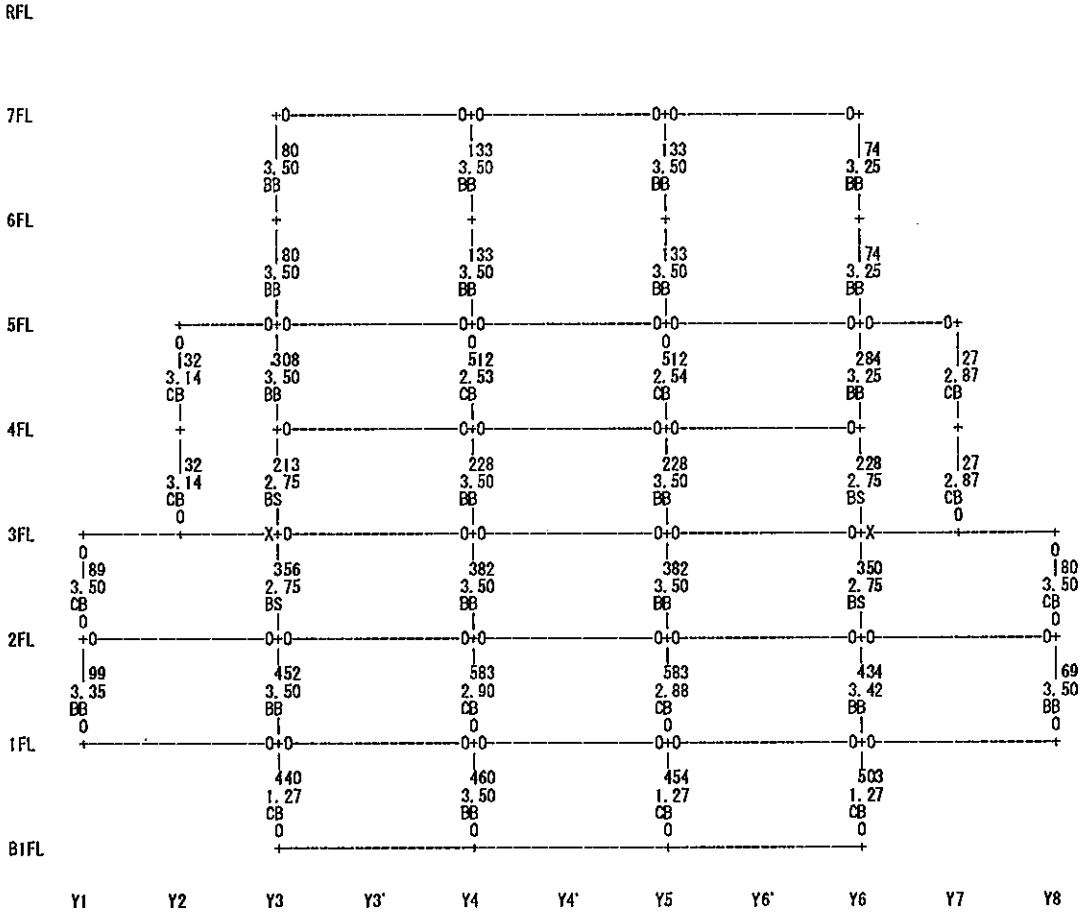
〈X5 フレーム〉


RFL
7FL
6FL
5FL
4FL
3FL
2FL
1FL
B1FL
Y1
Y2
Y3
Y3'
Y4
Y4'
Y5
Y6'
Y6
Y7
Y8
135 3.50 BB 0
1296 2.50 WB
142 3.23 CB 0
170 3.50 BB
1636 2.50 WB
166 3.25 BB
2537
309 3.25 BB
33 3.44 CB
142 3.50 CB
287 3.50 BB
2997
359 3.50 BB 0
320 2.00 BS
4461
81 3.50 CB 0
13053
70 3.50 CB 0
103 3.35 BB 0
3214
73 3.50 BB 0
11642
0 2.50 CB

<X6 フレーム>


RFL
7FL
6FL
5FL
4FL
3FL
2FL
1FL
B1FL
Y1
Y2
Y3
Y3'
Y4
Y4'
Y5
Y6'
Y6
Y7
Y8
135 3.50 BB 0
832 2.50 WB
142 3.50 BB 0
0 187 3.50 BB
1386 2.50 WB
0 181 3.25 BB
187 3.50 BB
2834 2.50 WB
181 3.25 BB
0 36 3.40 CB
259 3.50 BB
2710 2.50 WB
284 3.25 BB
30 3.05 CB
36 3.40 CB 0
324 2.75 BS
4663 2.50 WB
337 2.75 BS
30 3.05 CB 0
0 83 3.50 CB 0
377 2.75 BS
1466 2.50 WB
412 2.75 BS
0 73 3.50 CB 0
102 3.35 BB 0
568 3.50 BB
1462 2.50 WB
557 3.34 CB 0
72 3.50 BB 0
473 1.27 CB 0
4633 2.50 WB
560 3.50 BB 0

<X7 フレーム>


RFL
7FL
6FL
5FL
4FL
3FL
2FL
1FL
B1FL
Y1
Y2
Y3
Y3'
Y4
Y4'
Y5
Y6'
Y6
Y7
Y8

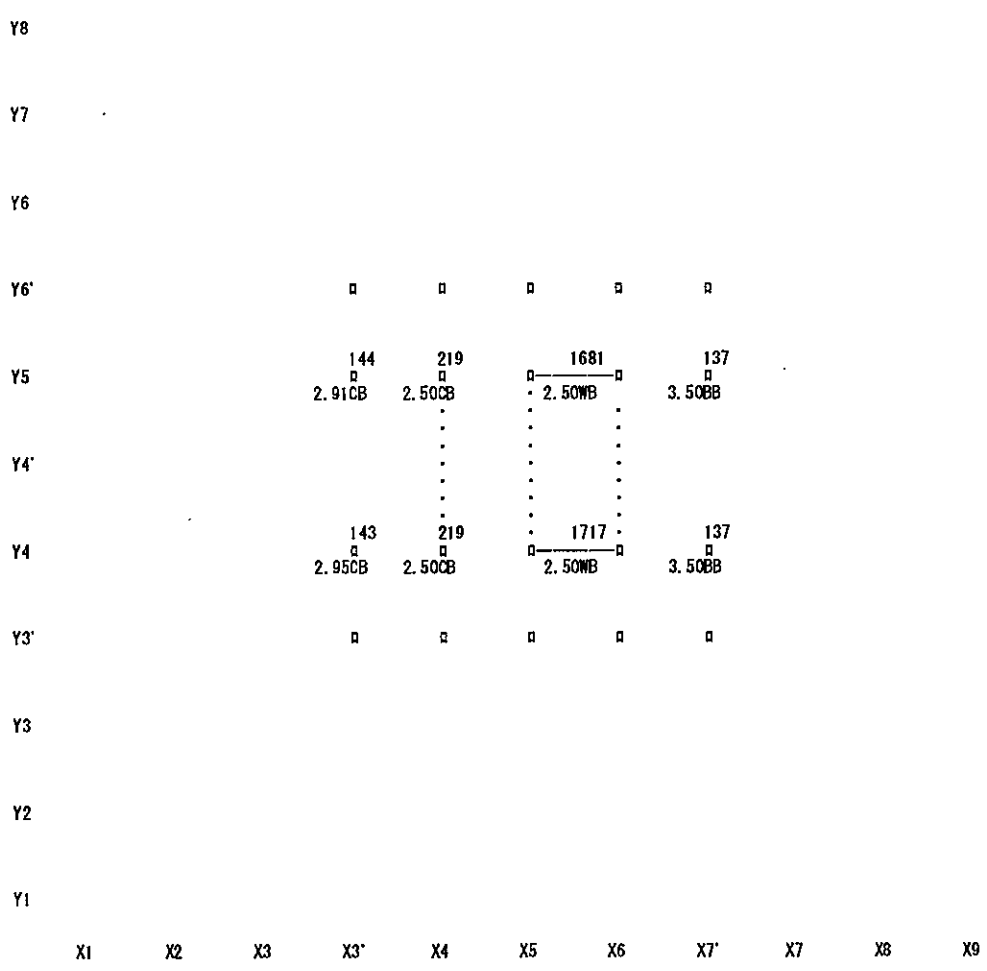
Ｉｓ≧0.75補強後

【鉛直部材の諸元：（伏図）】　Ｘ方向　正加力時　３次診断

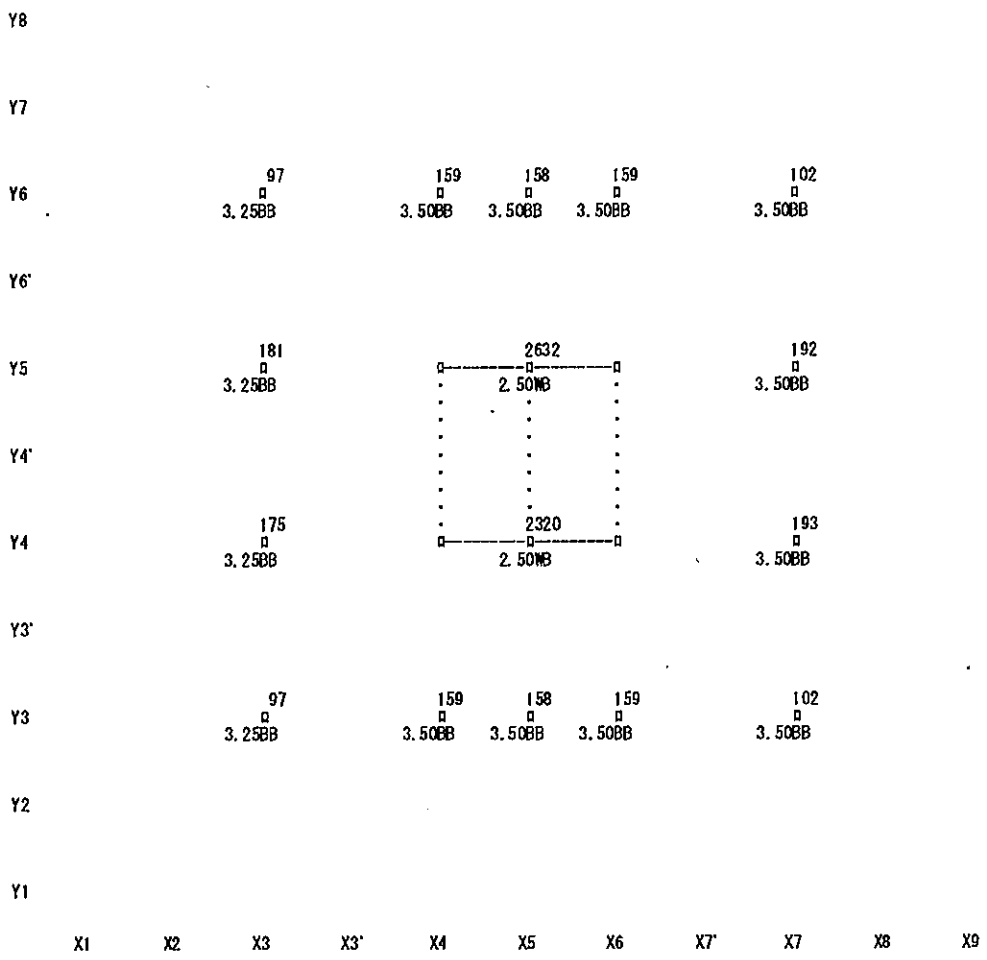
——：Ｘ方向の壁　　‥‥：Ｙ方向の壁
上段：保有せん断力　下段：Ｆ指標,破壊形式
鉛直部材の分類　Ｓ：せん断柱　Ｘ：(極)脆性柱　□：その他

破壊形式（せん断柱、極脆性柱で第２種構造要素の場合は後に'＊'を表示）
CB：曲げ柱　CS：せん断柱　CSS：(極)脆性柱
BB：曲げ梁支配型柱　BS：せん断梁支配型柱　CT：柱脚部支配型柱
CWB：曲げそで壁付柱　CWS：せん断そで壁付柱　CWSS：(極)脆性そで壁付柱
WB：曲げ壁　WS：せん断壁　WR：回転壁　WT：柱脚部支配型壁（極):RC部材

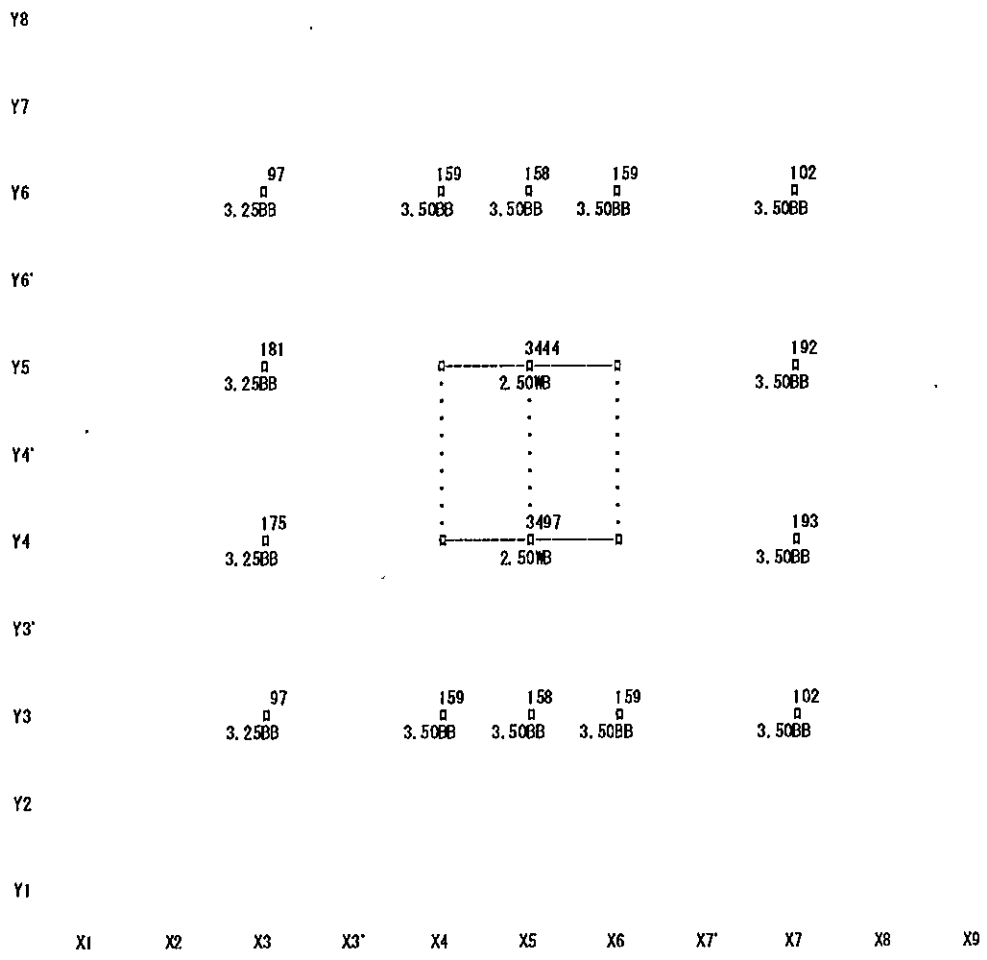
〈7　階〉　ＳＲＣ



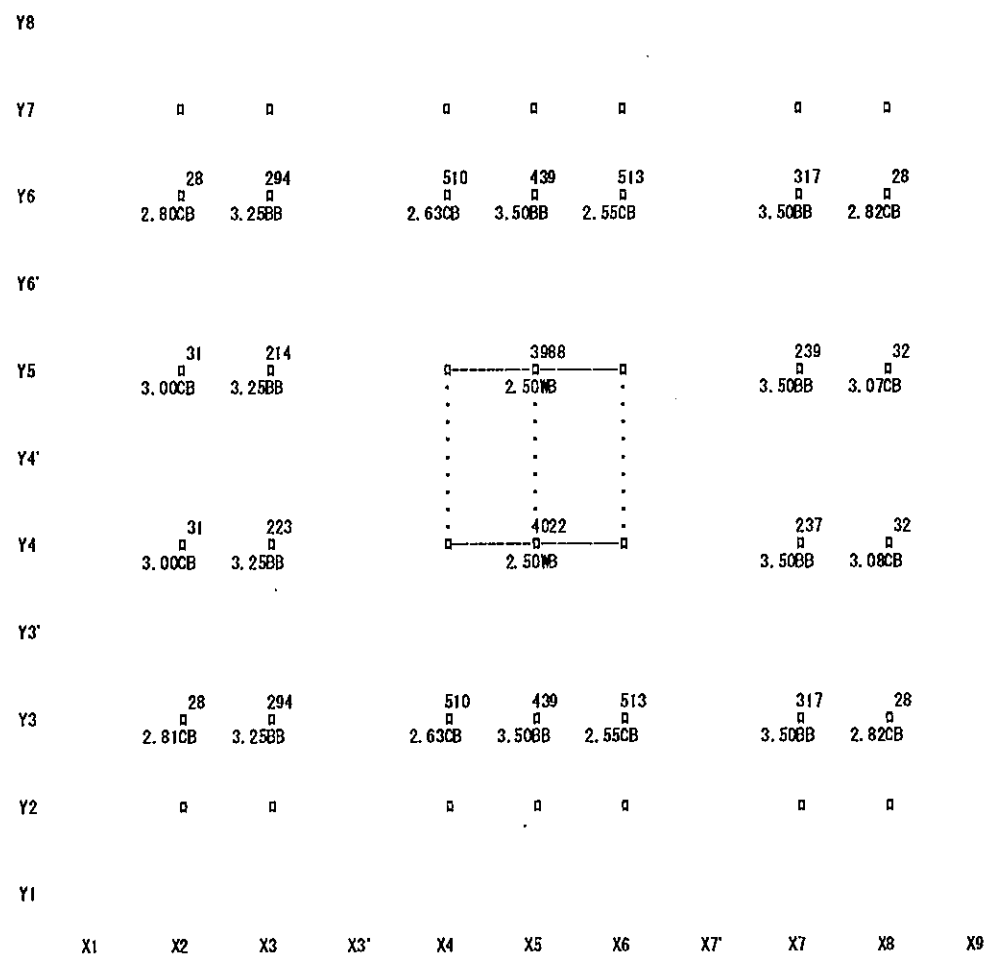
<6 階> ＳＲＣ


Y8
Y7
Y6
97
3.25BB
159
3.50BB
158
3.50BB
159
3.50BB
102
3.50BB
Y6'
Y5
181
3.25BB
2632
2.50WB
192
3.50BB
Y4'
Y4
175
3.25BB
2320
2.50WB
193
3.50BB
Y3'
Y3
97
3.25BB
159
3.50BB
158
3.50BB
159
3.50BB
102
3.50BB
Y2
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

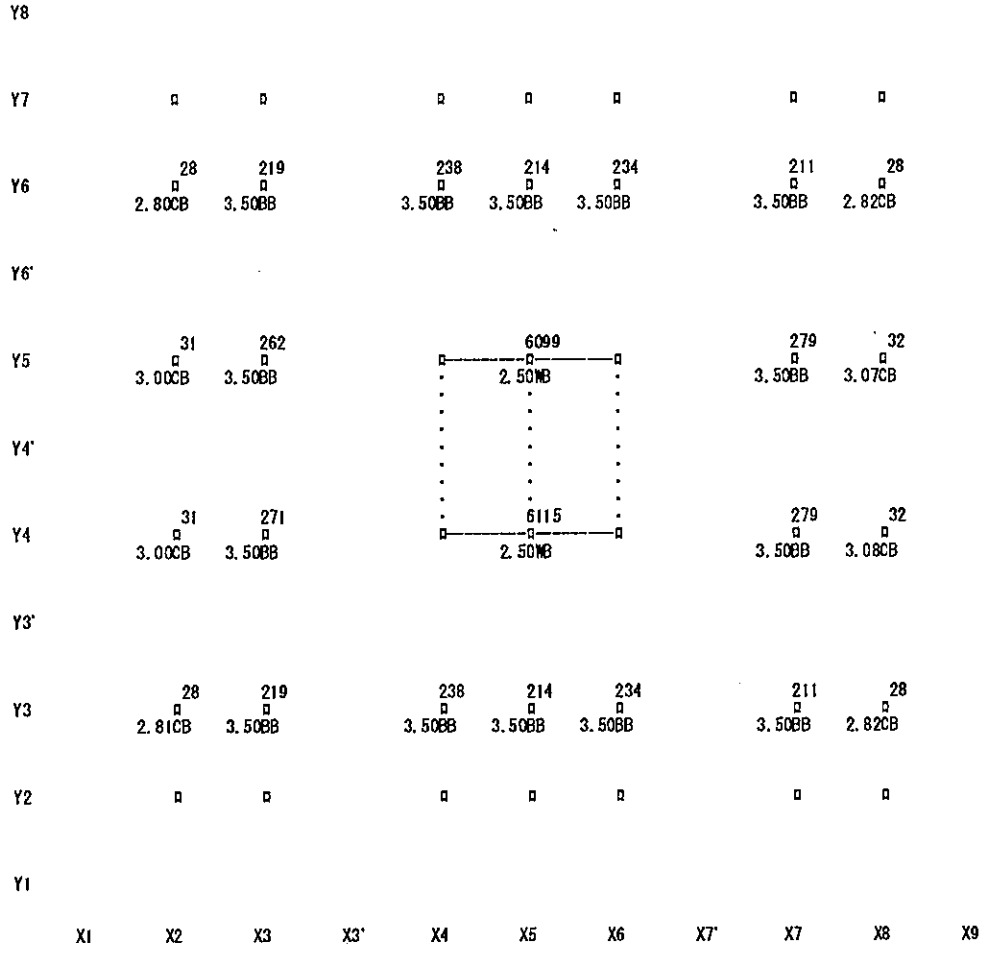
<5　階>　ＳＲＣ


Y8
Y7
Y6
97
3.25BB
159
3.50BB
158
3.50BB
159
3.50BB
102
3.50BB
Y6'
Y5
181
3.25BB
3444
2.50WB
192
3.50BB
Y4'
Y4
175
3.25BB
3497
2.50WB
193
3.50BB
Y3'
Y3
97
3.25BB
159
3.50BB
158
3.50BB
159
3.50BB
102
3.50BB
Y2
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

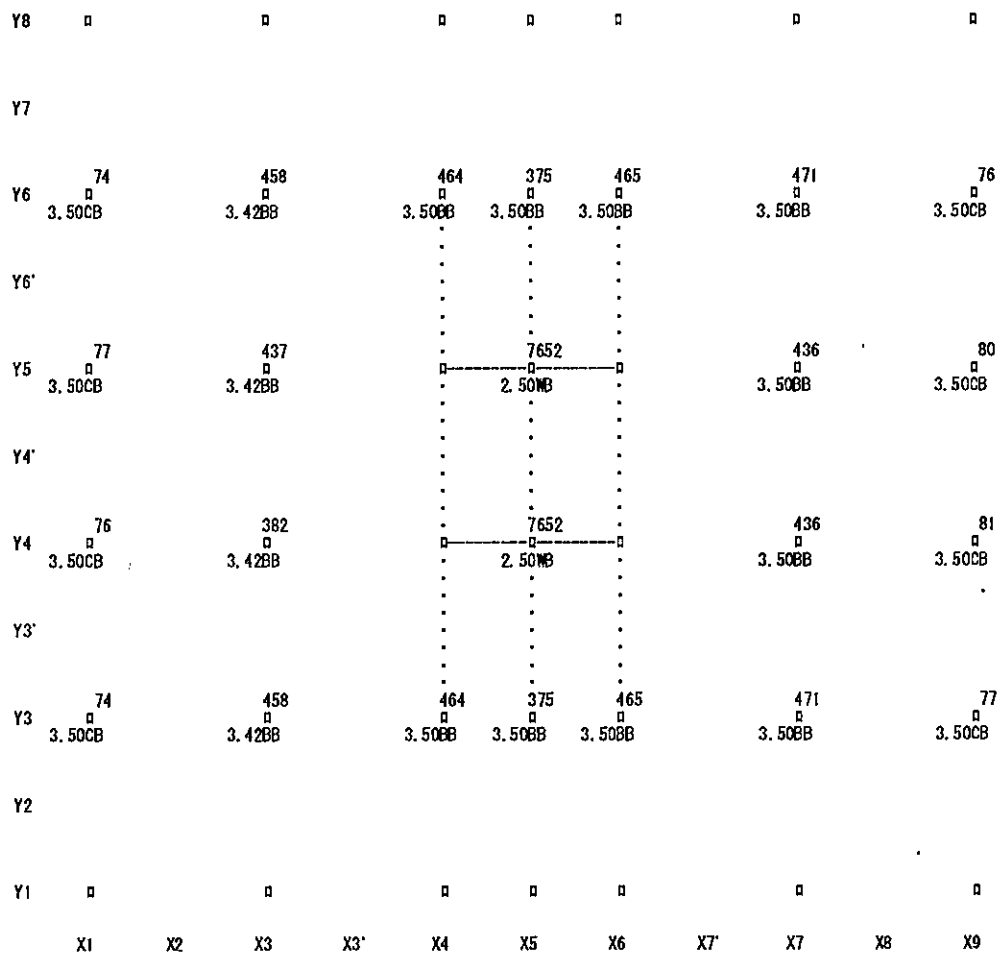
〈4　階〉　ＳＲＣ


Y8
Y7
Y6
28
294
510
439
513
317
28
2.80CB
3.25BB
2.63CB
3.50BB
2.55CB
3.50BB
2.82CB
Y6'
Y5
31
214
3968
239
32
3.00CB
3.25BB
2.50MB
3.50BB
3.07CB
Y4'
Y4
31
223
4022
237
32
3.00CB
3.25BB
2.50MB
3.50BB
3.08CB
Y3'
Y3
28
294
510
439
513
317
28
2.81CB
3.25BB
2.63CB
3.50BB
2.55CB
3.50BB
2.82CB
Y2
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

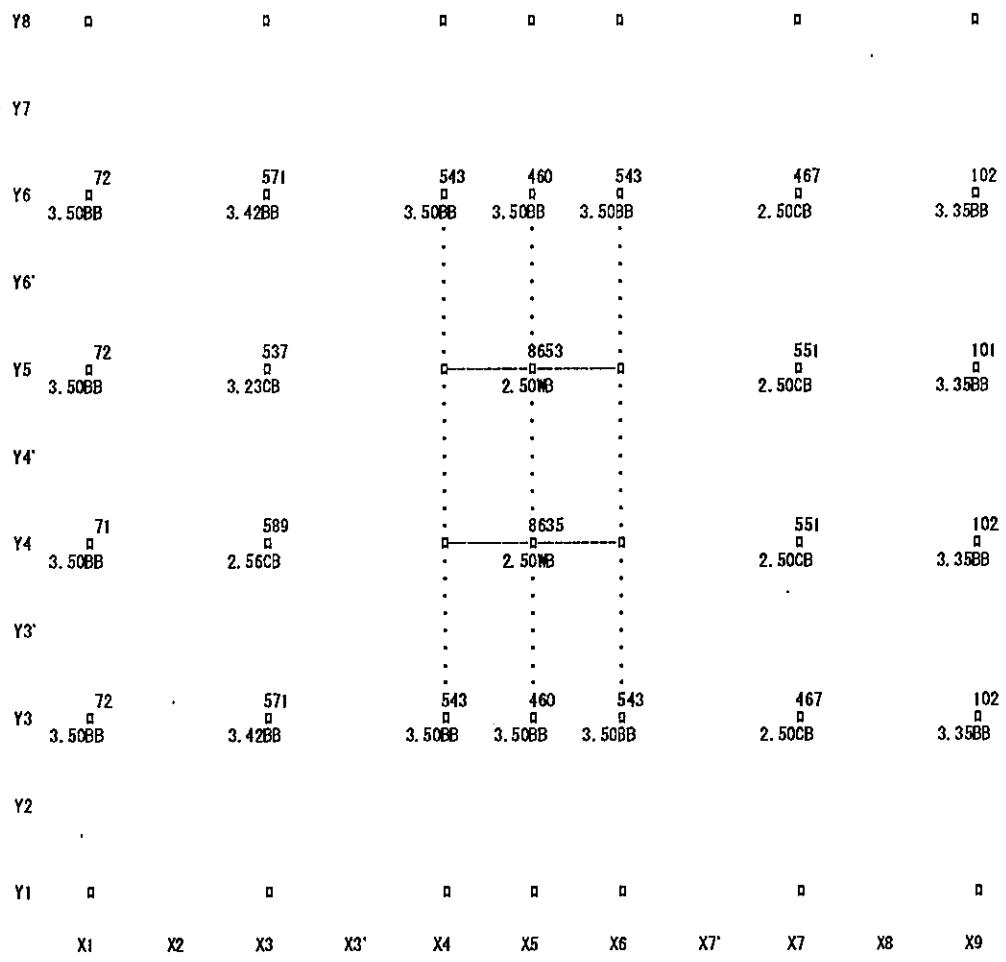
<3　階>　ＳＲＣ


Y8
Y7
Y6
28
219
238
214
234
211
28
2.80CB
3.50BB
3.50BB
3.50BB
3.50BB
3.50BB
2.82CB
Y6'
Y5
31
262
6099
279
32
3.00CB
3.50BB
2.50MB
3.50BB
3.07CB
Y4'
Y4
31
271
6115
279
32
3.00CB
3.50BB
2.50MB
3.50BB
3.08CB
Y3'
Y3
28
219
238
214
234
211
28
2.81CB
3.50BB
3.50BB
3.50BB
3.50BB
3.50BB
2.82CB
Y2
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

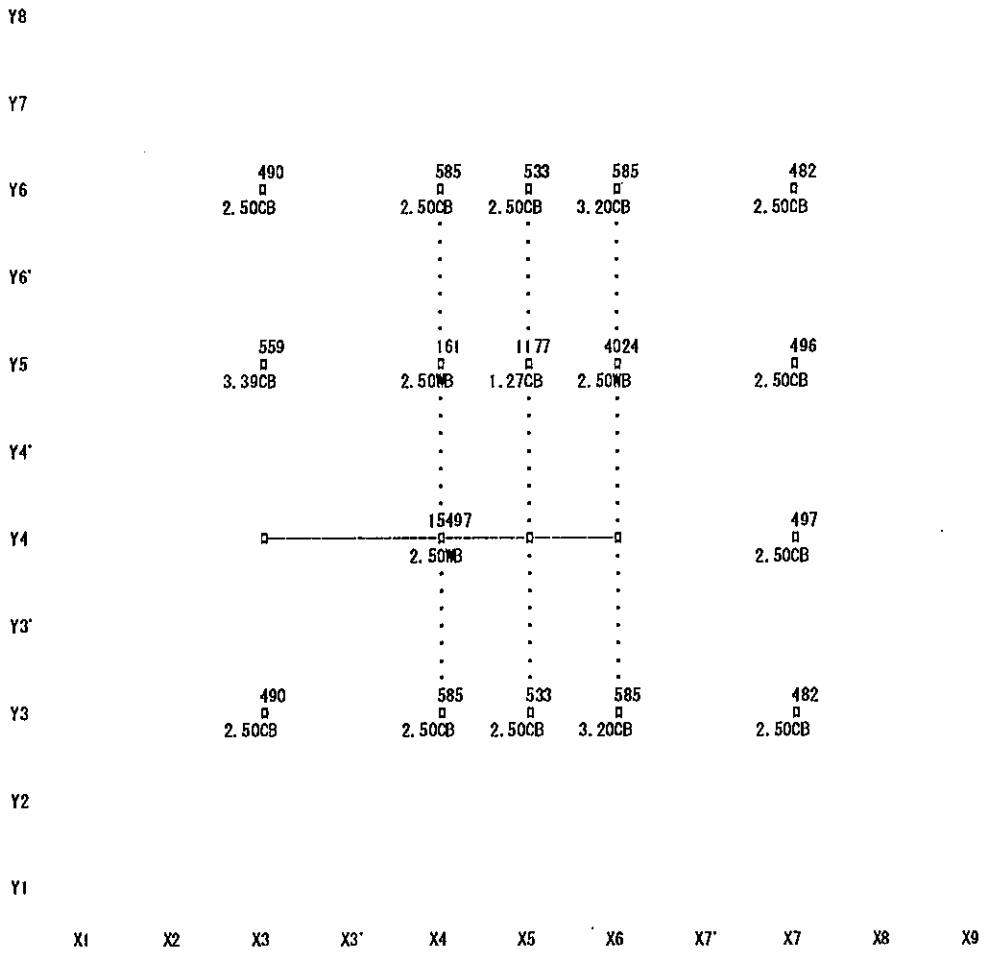
<2　階>　ＳＲＣ


Y8
Y7
Y6
74
3.50CB
458
3.42BB
464
3.50BB
375
3.50BB
465
3.50BB
471
3.50BB
76
3.50CB
Y6'
Y5
77
3.50CB
437
3.42BB
7652
2.50WB
436
3.50BB
80
3.50CB
Y4'
Y4
76
3.50CB
382
3.42BB
7652
2.50WB
436
3.50BB
81
3.50CB
Y3'
Y3
74
3.50CB
458
3.42BB
464
3.50BB
375
3.50BB
465
3.50BB
471
3.50BB
77
3.50CB
Y2
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

<I　階> ＳＲＣ


Y8
Y7
Y6
72
3.50BB
571
3.42BB
543
3.50BB
460
3.50BB
543
3.50BB
467
2.50CB
102
3.35BB
Y6'
Y5
72
3.50BB
537
3.23CB
8653
2.50WB
551
2.50CB
101
3.35BB
Y4'
Y4
71
3.50BB
589
2.56CB
8635
2.50WB
551
2.50CB
102
3.35BB
Y3'
Y3
72
3.50BB
571
3.42BB
543
3.50BB
460
3.50BB
543
3.50BB
467
2.50CB
102
3.35BB
Y2
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

<Bl 階>　ＳＲＣ

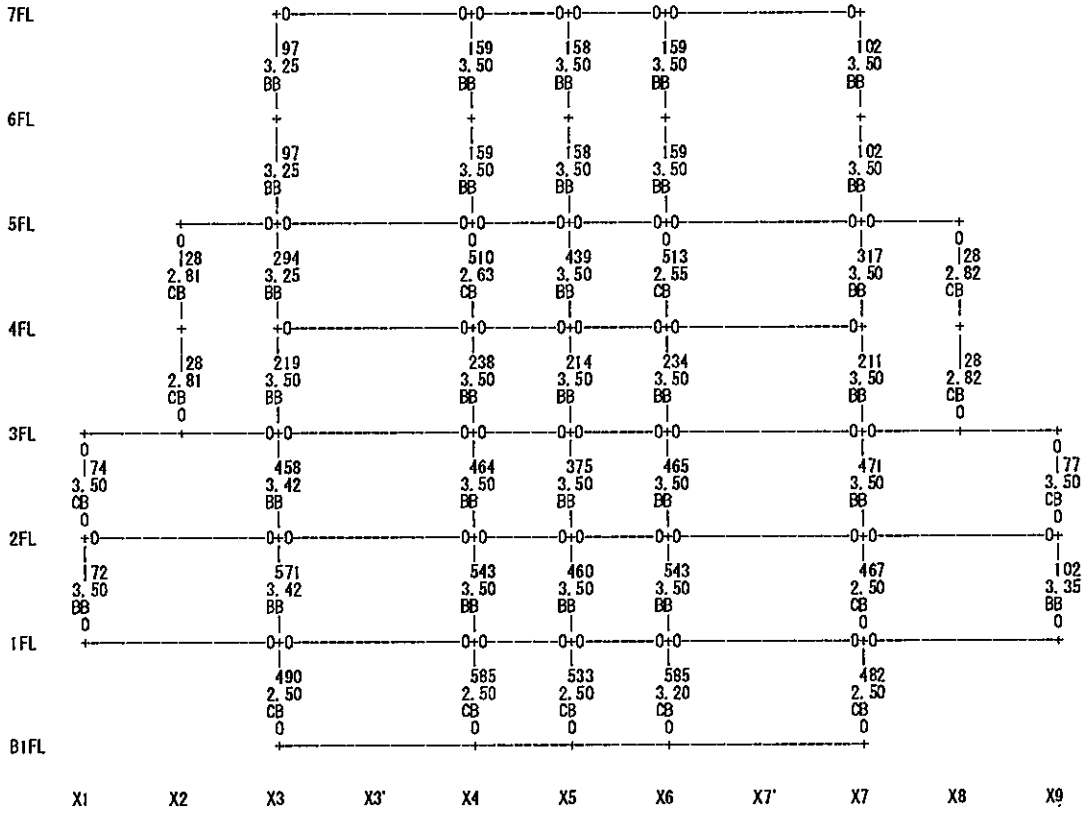

Y8
Y7
Y6
Y6'
Y5
Y4'
Y4
Y3'
Y3
Y2
Y1
490
2.50CB
585
2.50CB
533
2.50CB
585
3.20CB
482
2.50CB
559
3.39CB
161
2.50MB
1177
1.27CB
4024
2.50MB
496
2.50CB
15497
2.50MB
497
2.50CB
490
2.50CB
585
2.50CB
533
2.50CB
585
3.20CB
482
2.50CB
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

【鉛直部材の諸元：（軸組）】　Ｘ方向　正加力時　３次診断

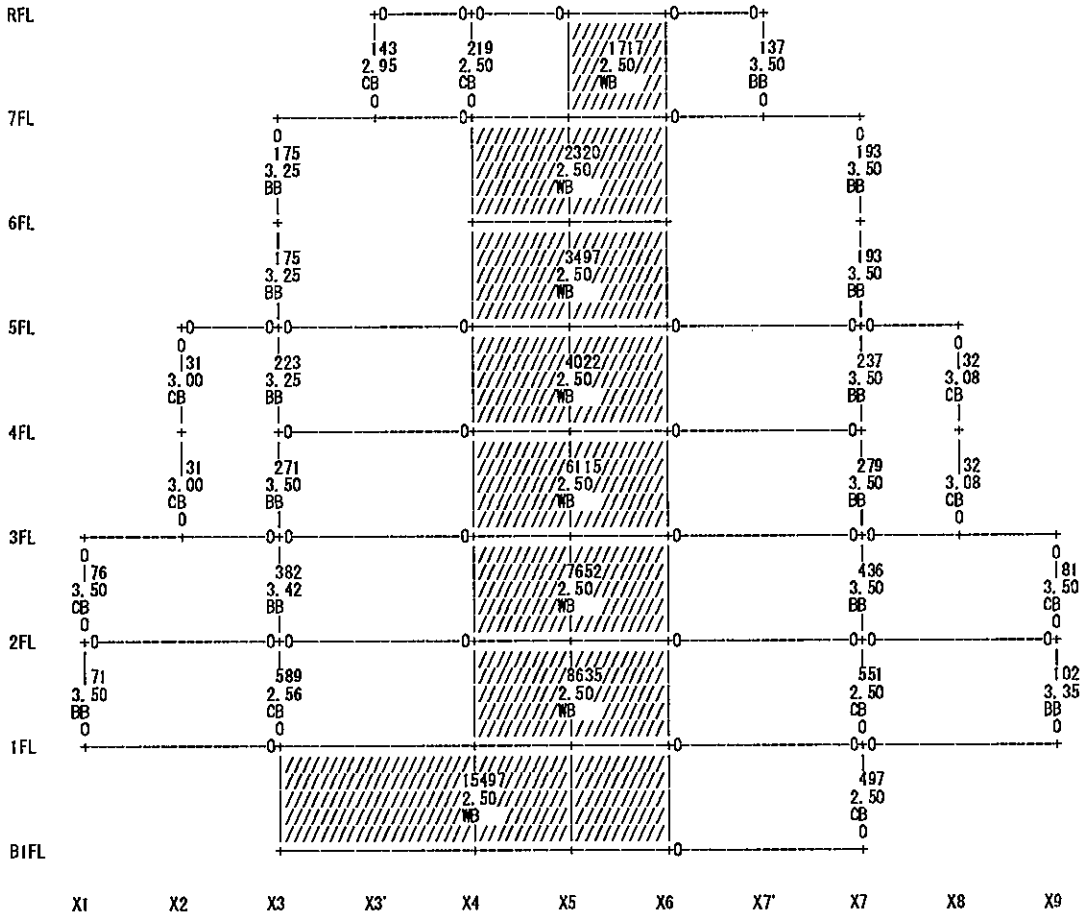
////：壁あり
上段：保有せん断力　中段：Ｆ指標　下段：破壊形式

破壊形式（せん断柱、極脆性柱で第２種構造要素の場合は後に'*'を表示）
CB：曲げ柱　CS：せん断柱　CSS：(極)脆性柱
BB：曲げ梁支配型柱　BS：せん断梁支配型柱　CT：柱脚部支配型柱
CWB：曲げそで壁付柱　CWS：せん断そで壁付柱　CWSS：(極)脆性そで壁付柱
WB：曲げ壁　WS：せん断壁　WR：回転壁　WT：柱脚部支配型壁（極）:RC部材

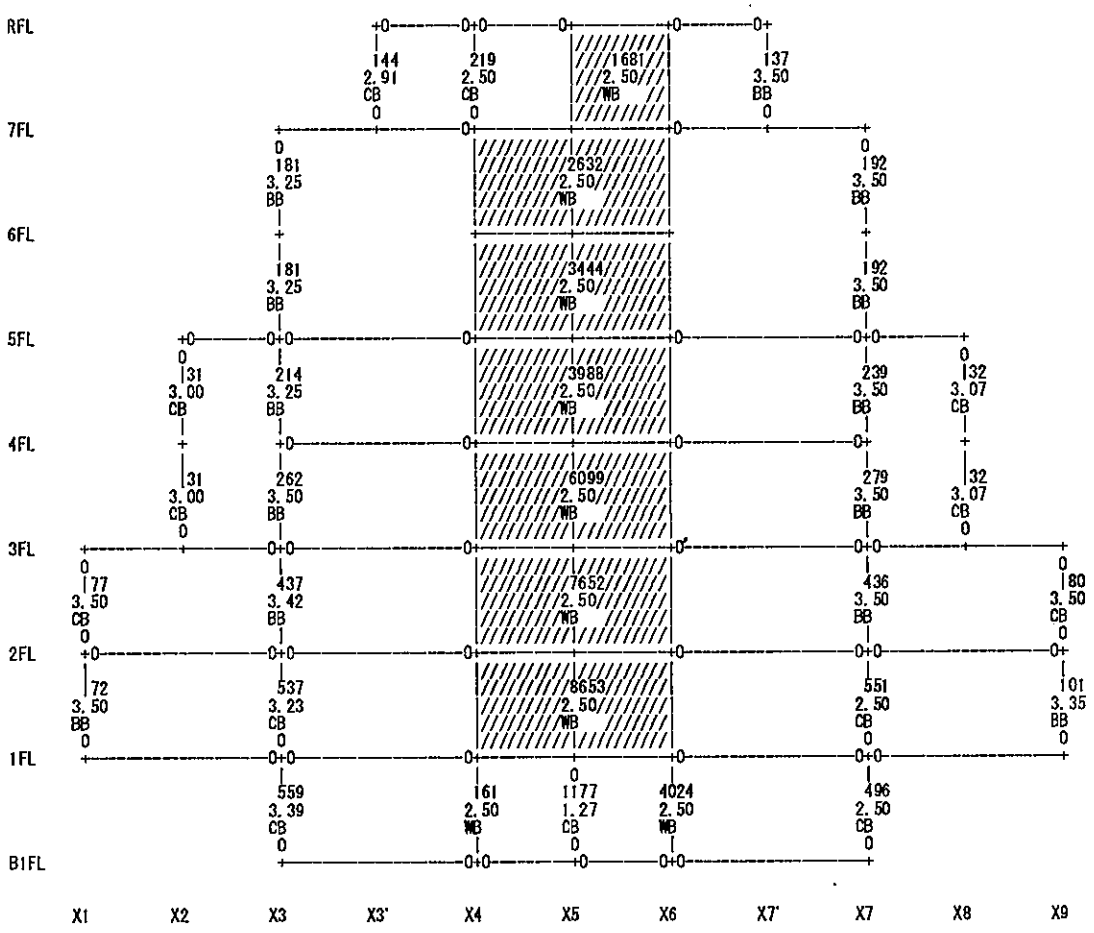
<Y3 フレーム>



<Y4 フレーム>


RFL
7FL
6FL
5FL
4FL
3FL
2FL
1FL
BIFL
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9
143 2.95 CB 0
219 2.50 CB 0
1717 2.50 WB
137 3.50 BB 0
0 175 3.25 BB
2320 2.50 WB
0 193 3.50 BB
175 3.25 BB
3497 2.50 WB
193 3.50 BB
0 31 3.00 CB
223 3.25 BB
4022 2.50 WB
237 3.50 BB
0 32 3.08 CB
31 3.00 CB 0
271 3.50 BB
6115 2.50 WB
279 3.50 BB
32 3.08 CB 0
0 76 3.50 CB 0
382 3.42 BB
7652 2.50 WB
436 3.50 BB
0 81 3.50 CB 0
71 3.50 BB 0
589 2.56 CB 0
8635 2.50 WB
551 2.50 CB 0
102 3.35 BB 0
15497 2.50 WB
497 2.50 CB 0

<Y5 フレーム>

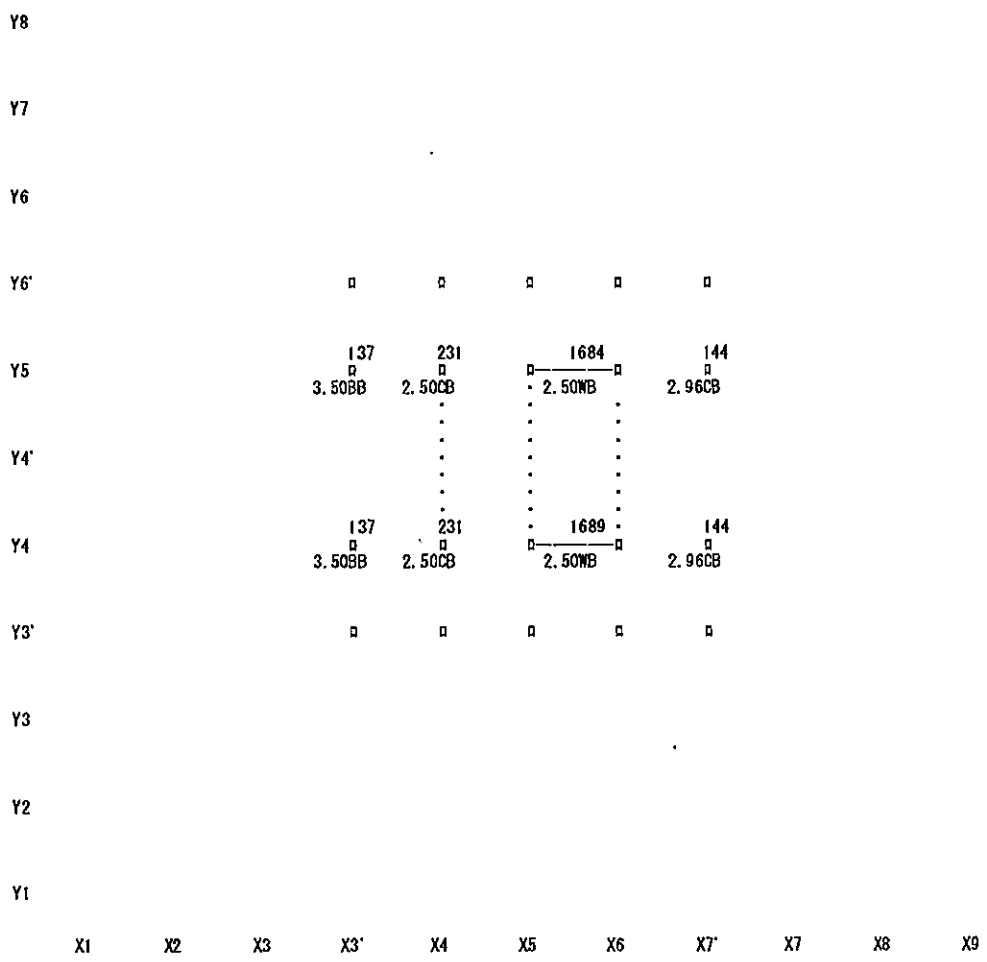

RFL
7FL
6FL
5FL
4FL
3FL
2FL
1FL
B1FL
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9
144 2.91 CB 0
219 2.50 CB 0
1681 2.50 WB
137 3.50 BB 0
0 181 3.25 BB
2632 2.50 WB
0 192 3.50 BB
181 3.25 BB
3444 2.50 WB
192 3.50 BB
0 31 3.00 CB
214 3.25 BB
3988 2.50 WB
239 3.50 BB
0 32 3.07 CB
31 3.00 CB 0
262 3.50 BB
6099 2.50 WB
279 3.50 BB
32 3.07 CB 0
0 77 3.50 CB 0
437 3.42 BB
7652 2.50 WB
436 3.50 BB
0 80 3.50 CB 0
72 3.50 BB 0
537 3.23 CB 0
8653 2.50 WB
551 2.50 CB 0
101 3.35 BB 0
559 3.39 CB 0
161 2.50 WB
0 1177 1.27 CB 0
4024 2.50 WB
496 2.50 CB 0

【鉛直部材の諸元：（伏図）】 Ｘ方向　負加力時　３次診断

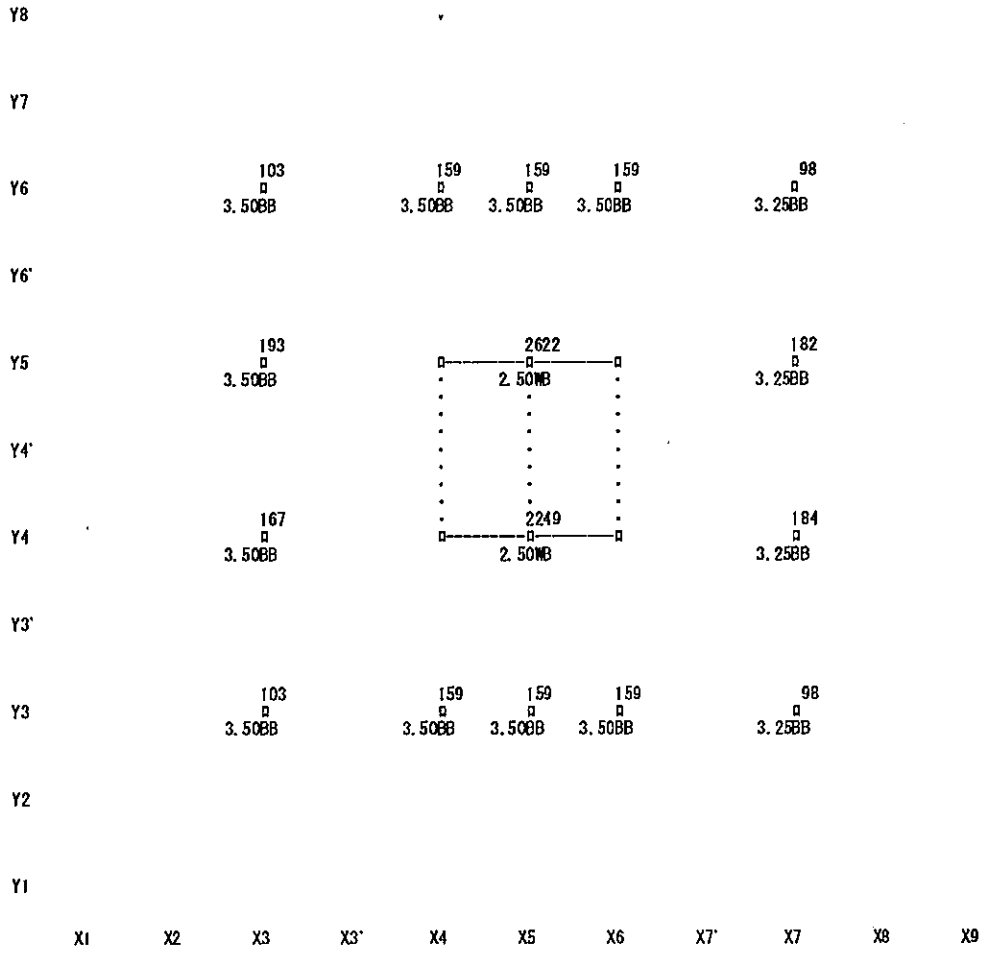
——：Ｘ方向の壁　　‥‥：Ｙ方向の壁
上段：保有せん断力　下段：Ｆ指標,破壊形式
鉛直部材の分類　Ｓ：せん断柱　Ｘ：(極)脆性柱　□：その他

破壊形式（せん断柱、極脆性柱で第２種構造要素の場合は後に`*'を表示）
ＣＢ：曲げ柱　　ＣＳ：せん断柱　　ＣＳＳ：(極)脆性柱
ＢＢ：曲げ梁支配型柱　ＢＳ：せん断梁支配型柱　ＣＴ：柱脚部支配型柱
ＣＷＢ：曲げそで壁付柱　ＣＷＳ：せん断そで壁付柱　ＣＷＳＳ：(極)脆性そで壁付柱
ＷＢ：曲げ壁　ＷＳ：せん断壁　ＷＲ：回転壁　ＷＴ：柱脚部支配型壁（極）:ＲＣ部材

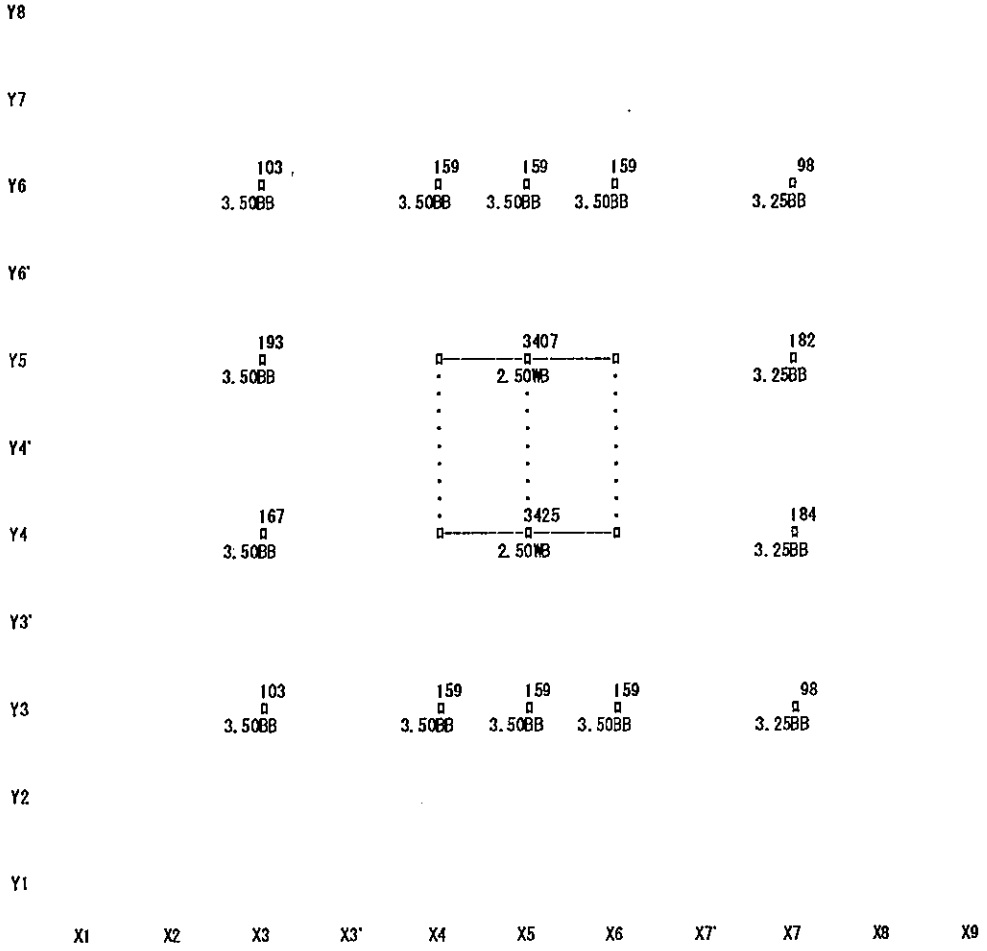
〈7　階〉 ＳＲＣ



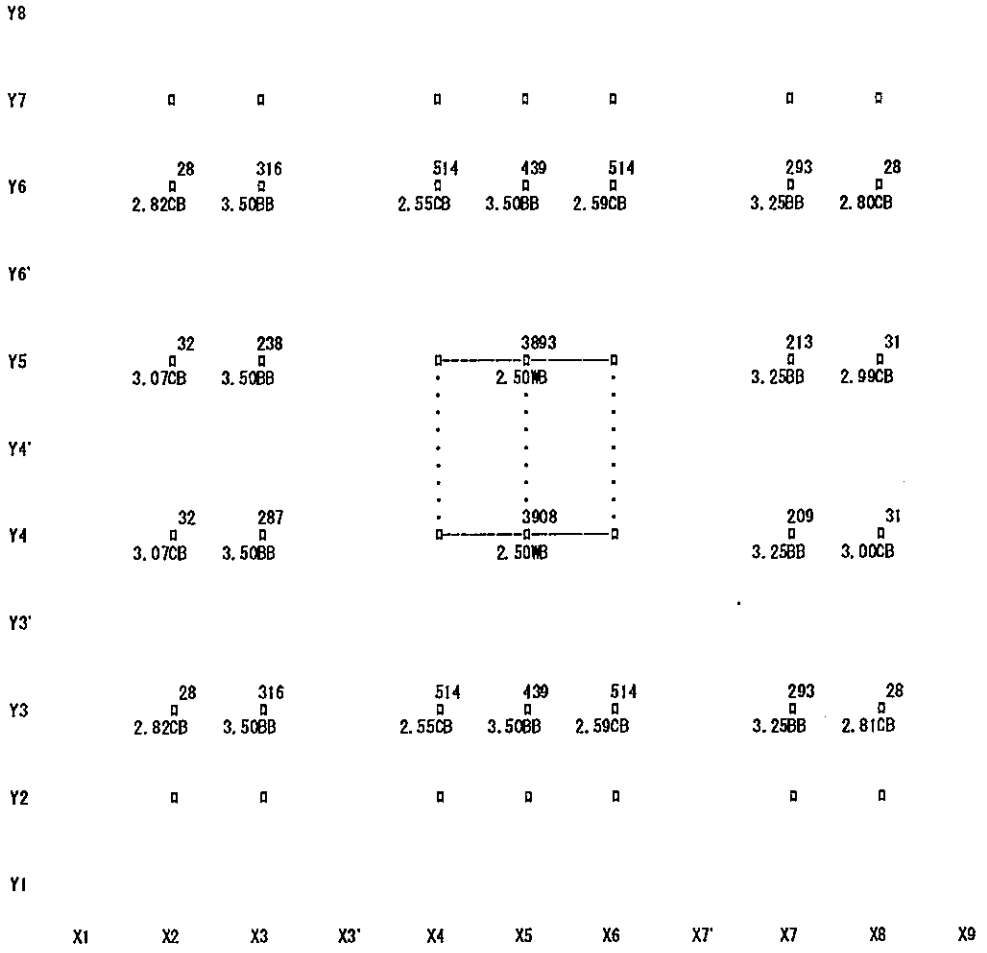
<6　階>　ＳＲＣ


Y8
Y7
Y6
103
3.50BB
159
3.50BB
159
3.50BB
159
3.50BB
98
3.25BB
Y6'
Y5
193
3.50BB
2622
2.50WB
182
3.25BB
Y4'
Y4
167
3.50BB
2249
2.50WB
184
3.25BB
Y3'
Y3
103
3.50BB
159
3.50BB
159
3.50BB
159
3.50BB
98
3.25BB
Y2
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

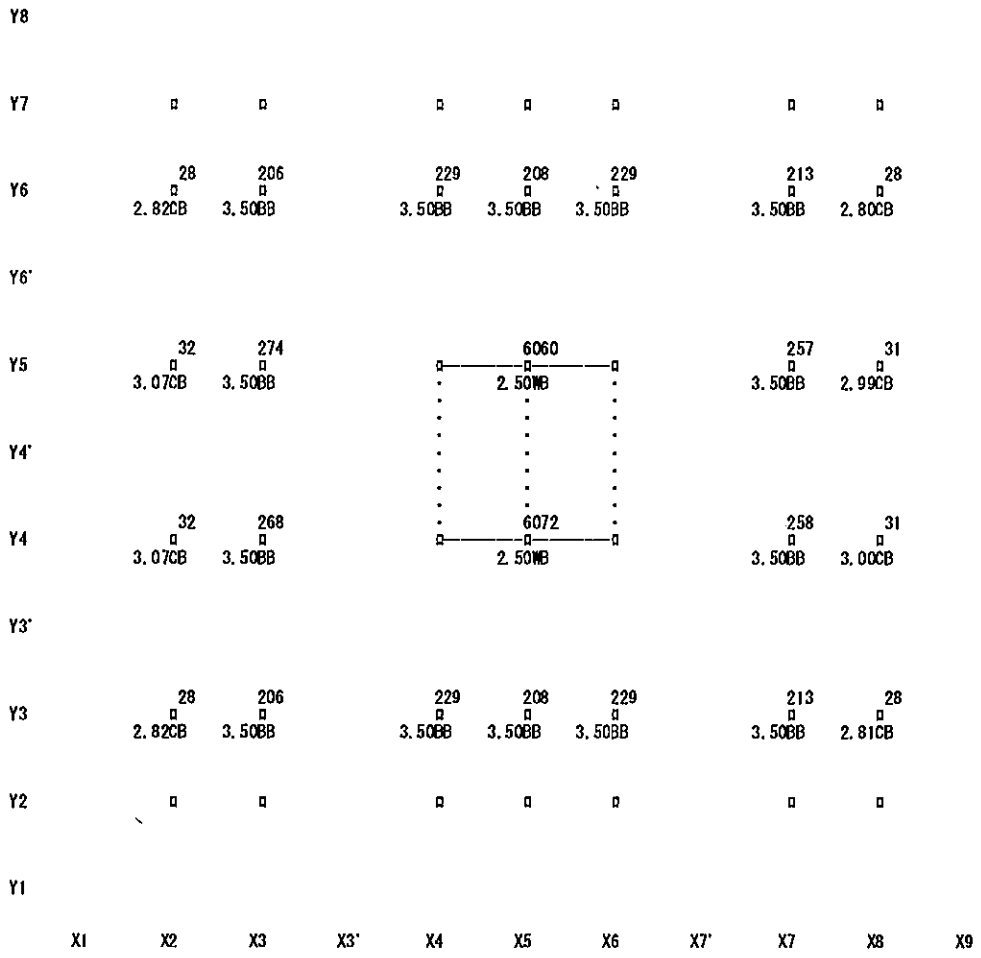
<5　階>　ＳＲＣ


Y8
Y7
Y6
103
3.50BB
159
3.50BB
159
3.50BB
159
3.50BB
98
3.25BB
Y6'
Y5
193
3.50BB
3407
2.50WB
182
3.25BB
Y4'
Y4
167
3.50BB
3425
2.50WB
184
3.25BB
Y3'
Y3
103
3.50BB
159
3.50BB
159
3.50BB
159
3.50BB
98
3.25BB
Y2
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

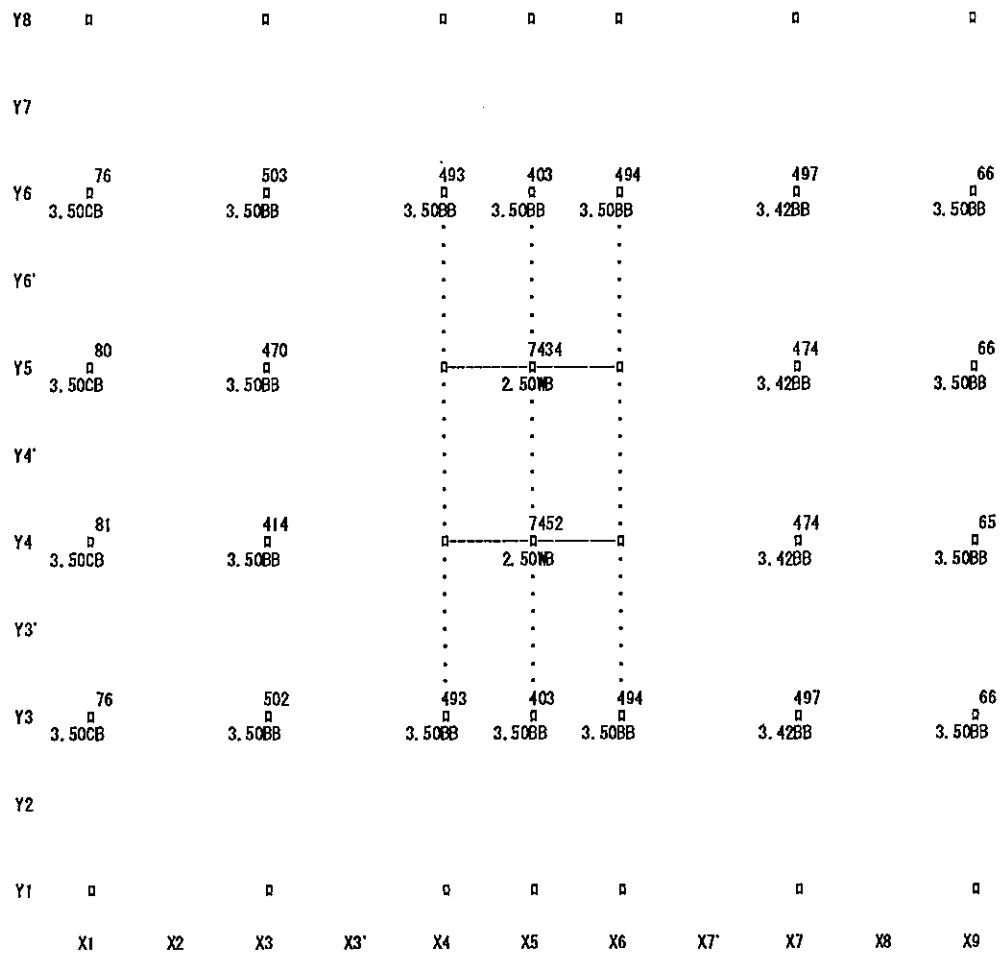
<4　階>　ＳＲＣ


Y8
Y7
Y6
28
316
514
439
514
293
28
2.82CB
3.50BB
2.55CB
3.50BB
2.59CB
3.25BB
2.80CB
Y6'
Y5
32
238
3893
213
31
3.07CB
3.50BB
2.50WB
3.25BB
2.99CB
Y4'
Y4
32
287
3908
209
31
3.07CB
3.50BB
2.50WB
3.25BB
3.00CB
Y3'
Y3
28
316
514
439
514
293
28
2.82CB
3.50BB
2.55CB
3.50BB
2.59CB
3.25BB
2.81CB
Y2
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

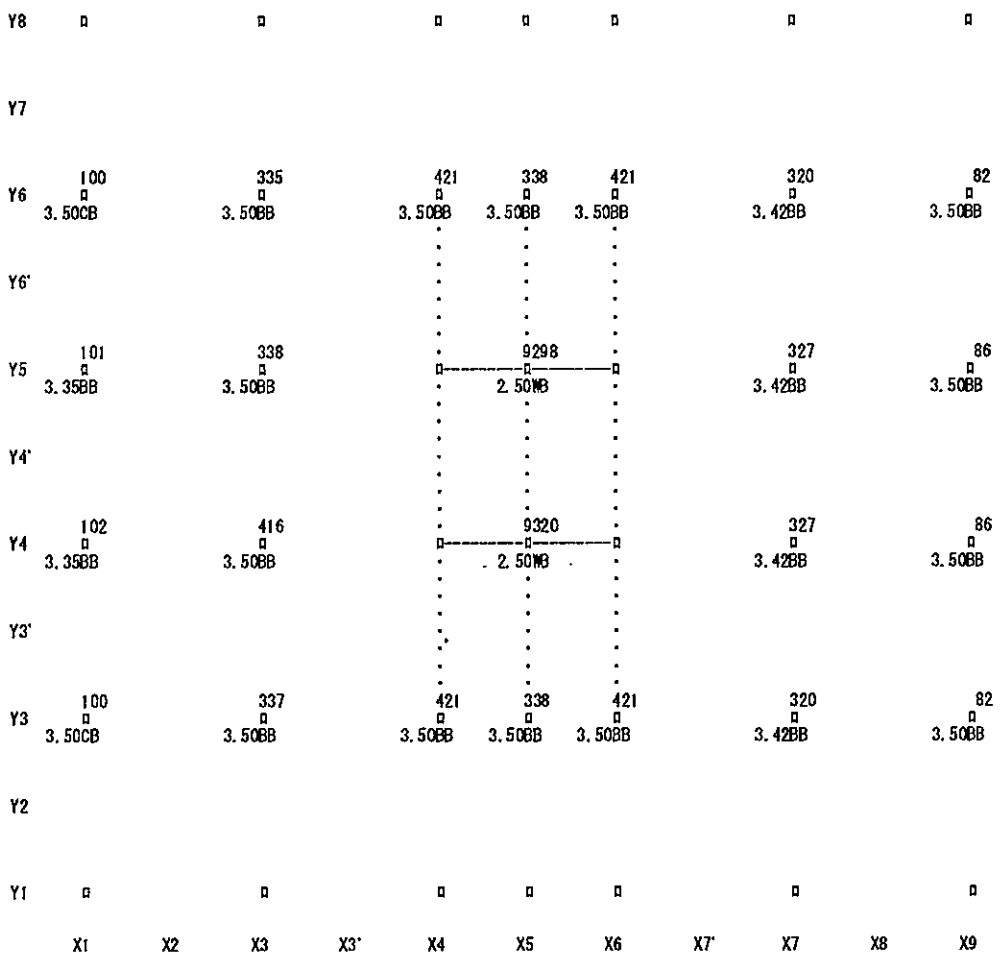
<3　階>　ＳＲＣ


Y8
Y7
Y6
28
206
229
208
229
213
28
2.82CB
3.50BB
3.50BB
3.50BB
3.50BB
3.50BB
2.80CB
Y6'
Y5
32
274
6060
257
31
3.07CB
3.50BB
2.50WB
3.50BB
2.99CB
Y4'
Y4
32
268
6072
258
31
3.07CB
3.50BB
2.50WB
3.50BB
3.00CB
Y3'
Y3
28
206
229
208
229
213
28
2.82CB
3.50BB
3.50BB
3.50BB
3.50BB
3.50BB
2.81CB
Y2
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

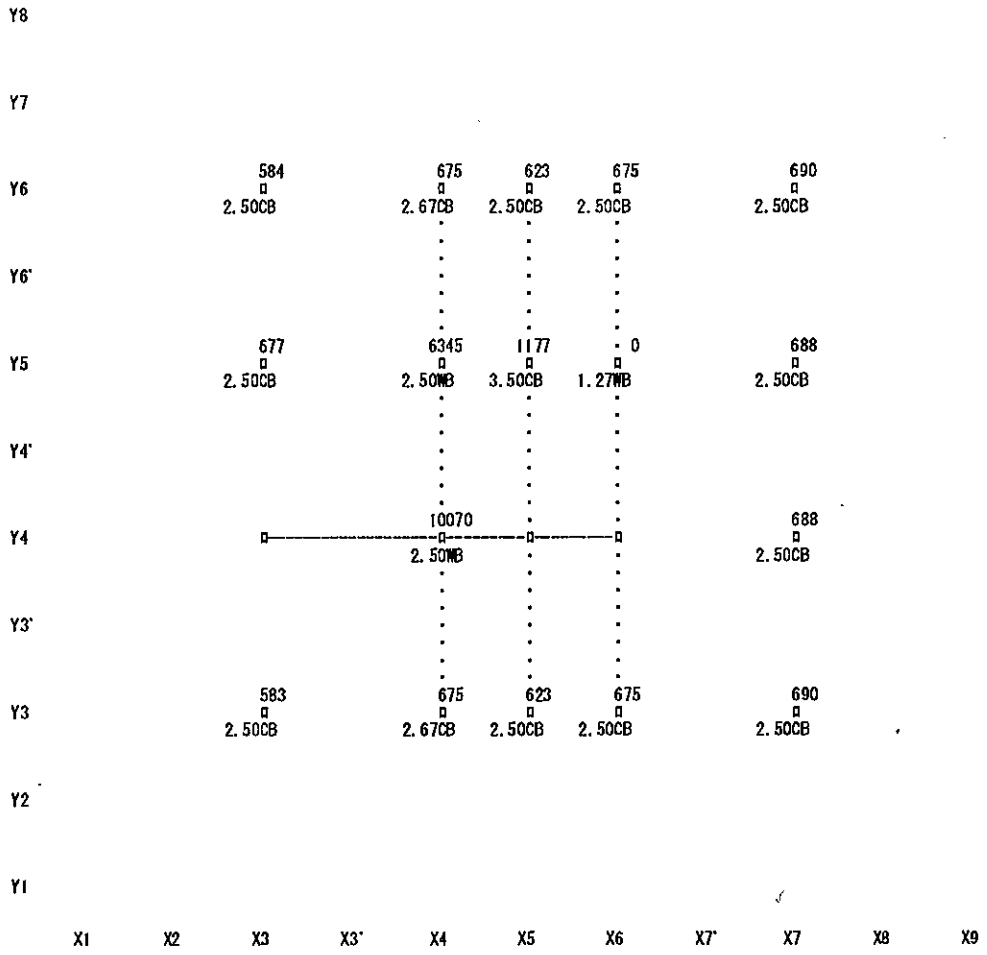
<2　階> ＳＲＣ


Y8
Y7
Y6
76
3.50CB
503
3.50BB
493
3.50BB
403
3.50BB
494
3.50BB
497
3.42BB
66
3.50BB
Y6'
Y5
80
3.50CB
470
3.50BB
7434
2.50WB
474
3.42BB
66
3.50BB
Y4'
Y4
81
3.50CB
414
3.50BB
7452
2.50WB
474
3.42BB
65
3.50BB
Y3'
Y3
76
3.50CB
502
3.50BB
493
3.50BB
403
3.50BB
494
3.50BB
497
3.42BB
66
3.50BB
Y2
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

〈1　階〉 ＳＲＣ


Y8
Y7
Y6
100
3.50CB
335
3.50BB
421
3.50BB
338
3.50BB
421
3.50BB
320
3.42BB
82
3.50BB
Y6'
Y5
101
3.35BB
338
3.50BB
9298
2.50WB
327
3.42BB
86
3.50BB
Y4'
Y4
102
3.35BB
416
3.50BB
9320
2.50WB
327
3.42BB
86
3.50BB
Y3'
Y3
100
3.50CB
337
3.50BB
421
3.50BB
338
3.50BB
421
3.50BB
320
3.42BB
82
3.50BB
Y2
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

<B1 階> ＳＲＣ

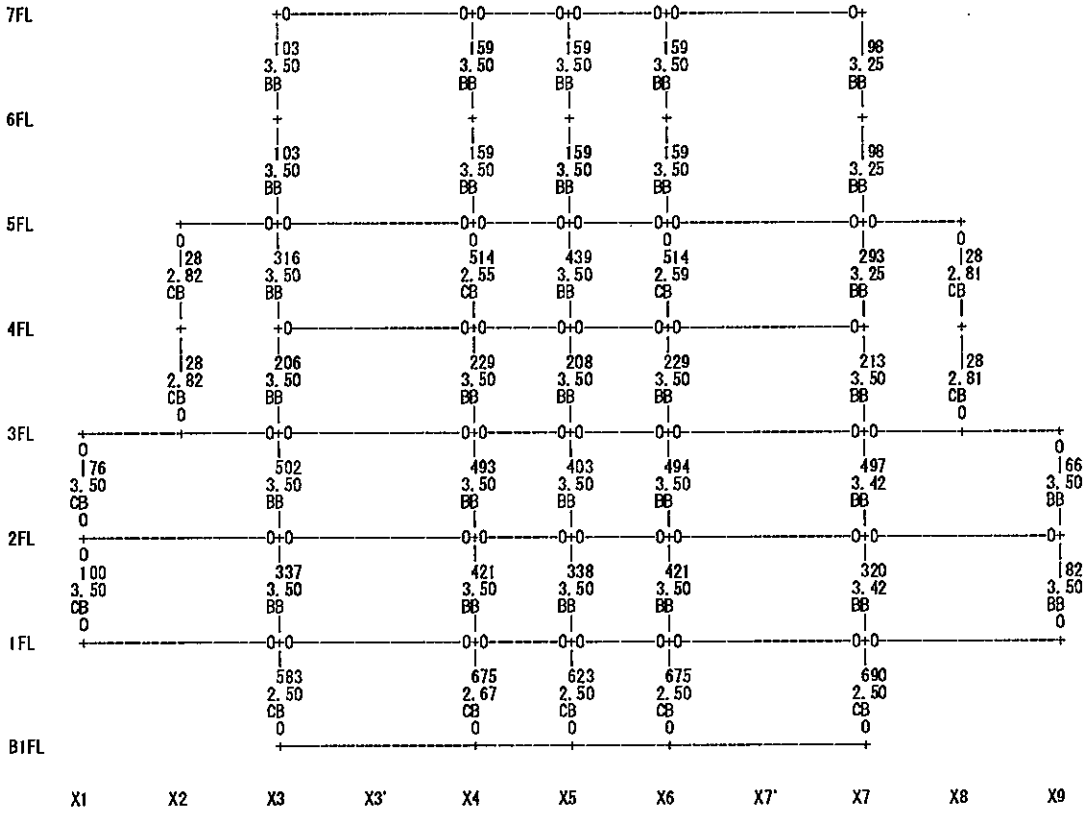

Y8
Y7
Y6
584
2.50CB
675
2.67CB
623
2.50CB
675
2.50CB
690
2.50CB
Y6'
Y5
677
2.50CB
6345
2.50MB
1177
3.50CB
0
1.27MB
688
2.50CB
Y4'
Y4
10070
2.50MB
688
2.50CB
Y3'
Y3
583
2.50CB
675
2.67CB
623
2.50CB
675
2.50CB
690
2.50CB
Y2
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

【鉛直部材の諸元：（軸組）】　Ｘ方向　負加力時　３次診断

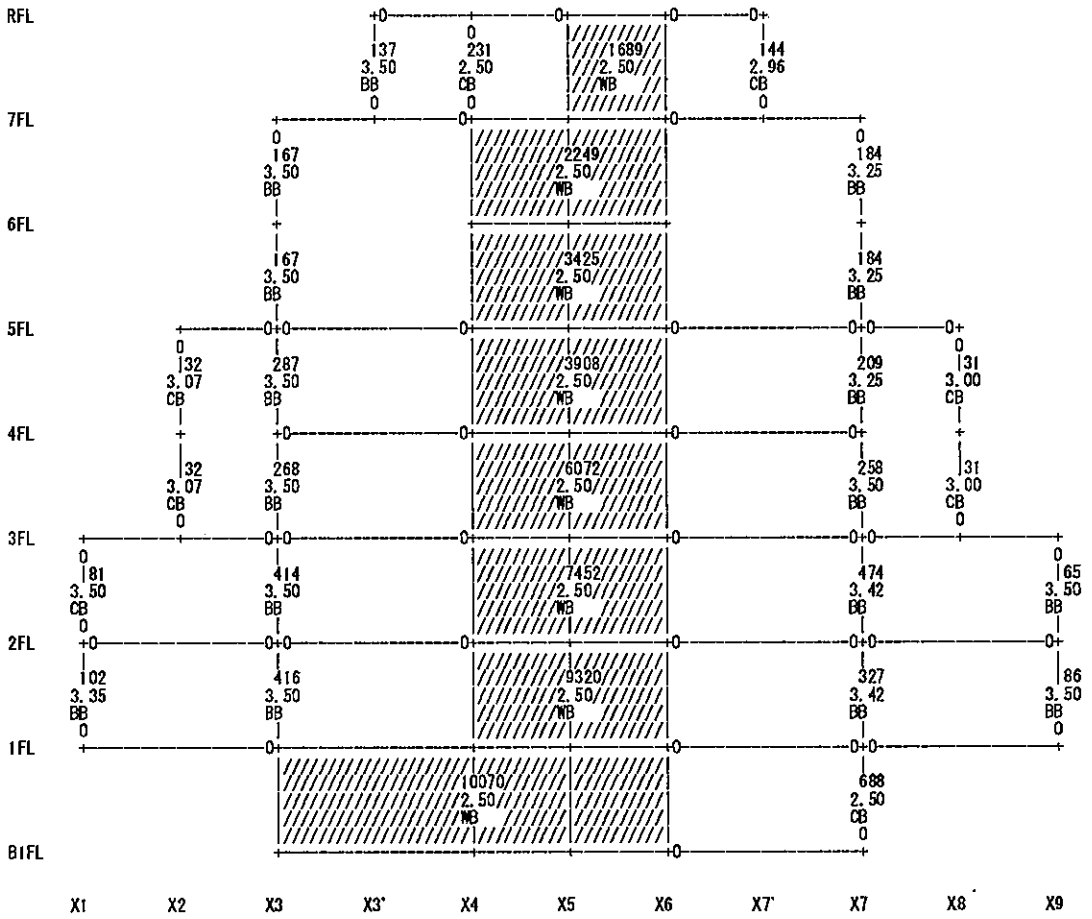
////：壁あり
上段：保有せん断力　中段：Ｆ指標　下段：破壊形式

破壊形式（せん断柱、極脆性柱で第２種構造要素の場合は後に'＊'を表示）
CB：曲げ柱　CS：せん断柱　CSS：(極)脆性柱
BB：曲げ梁支配型柱　BS：せん断梁支配型柱　CT：柱脚部支配型柱
CWB：曲げそで壁付柱　CWS：せん断そで壁付柱　CWSS：(極)脆性そで壁付柱
WB：曲げ壁　WS：せん断壁　WR：回転壁　WT：柱脚部支配型壁　(極):RC部材

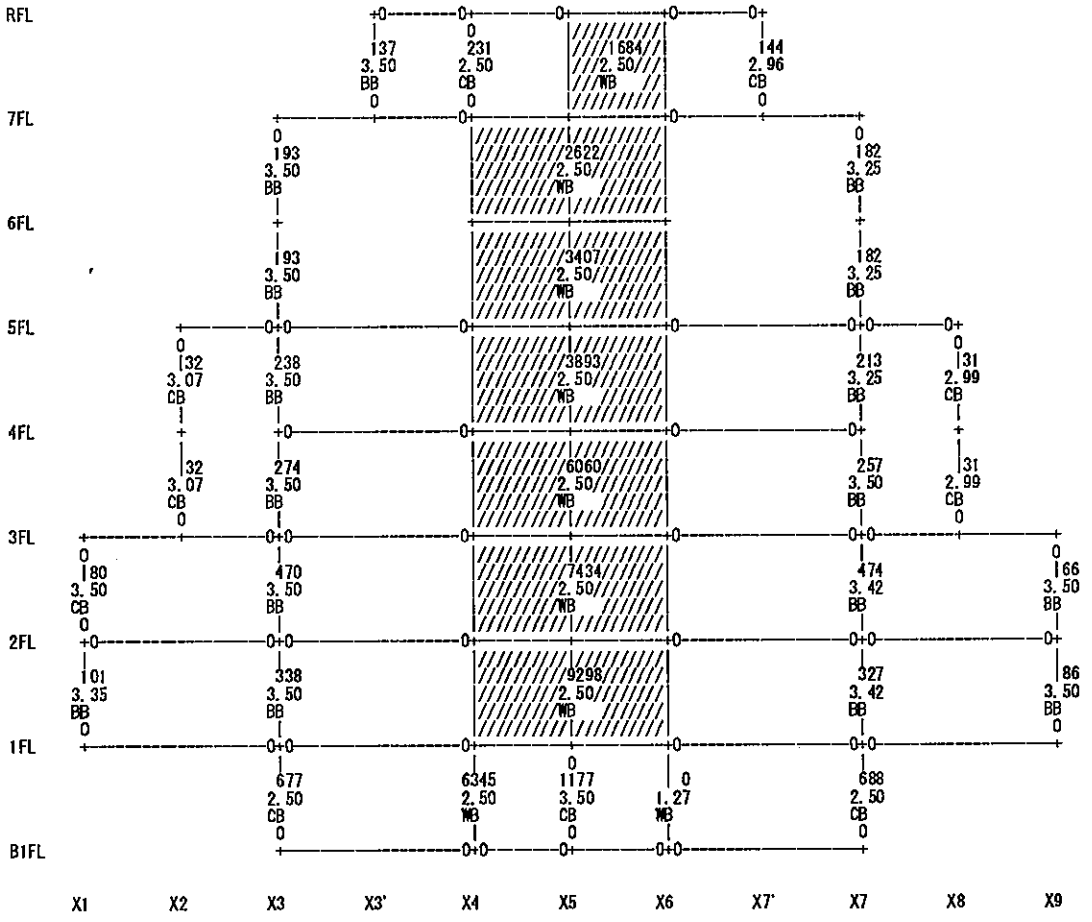
<Y3 ﾌﾚｰﾑ>



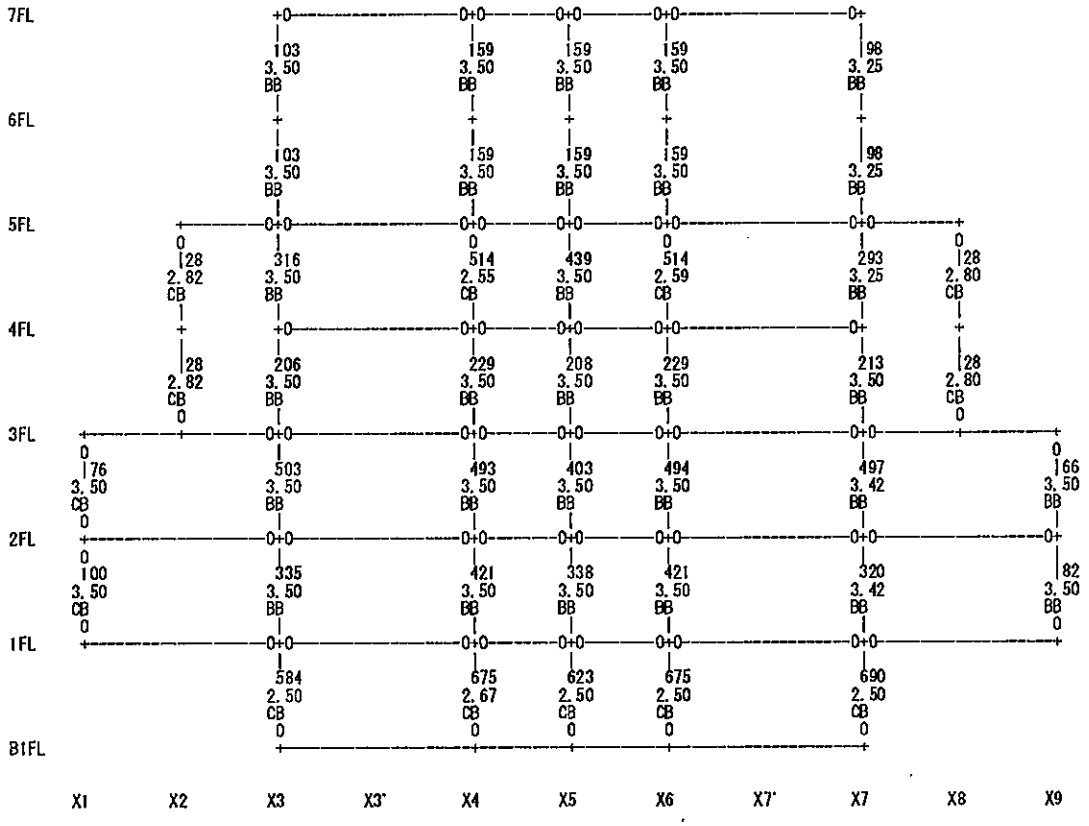
<Y4 フレーム>


RFL
7FL
6FL
5FL
4FL
3FL
2FL
1FL
B1FL
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9
137 3.50 BB 0
231 2.50 CB 0
1689 2.50 WB
144 2.96 CB 0
167 3.50 BB
2249 2.50 WB
184 3.25 BB
167 3.50 BB
3425 2.50 WB
184 3.25 BB
32 3.07 CB
287 3.50 BB
3908 2.50 WB
209 3.25 BB
31 3.00 CB
32 3.07 CB 0
268 3.50 BB
6072 2.50 WB
258 3.50 BB
31 3.00 CB 0
81 3.50 CB 0
414 3.50 BB
7452 2.50 WB
474 3.42 BB
65 3.50 BB
102 3.35 BB 0
416 3.50 BB
9320 2.50 WB
327 3.42 BB
86 3.50 BB 0
10070 2.50 WB
688 2.50 CB 0

<Y5 ﾌﾚｰﾑ>


RFL
7FL
6FL
5FL
4FL
3FL
2FL
1FL
B1FL
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9
137 3.50 BB 0
0 231 2.50 CB 0
1684 2.50 WB
144 2.96 CB 0
0 193 3.50 BB
2622 2.50 WB
0 182 3.25 BB
193 3.50 BB
3407 2.50 WB
182 3.25 BB
0 32 3.07 CB
238 3.50 BB
3893 2.50 WB
213 3.25 BB
0 31 2.99 CB
32 3.07 CB 0
274 3.50 BB
6060 2.50 WB
257 3.50 BB
31 2.99 CB 0
0 80 3.50 CB 0
470 3.50 BB
7434 2.50 WB
474 3.42 BB
0 166 3.50 BB
61 3.35 BB 0
338 3.50 BB
9298 2.50 WB
327 3.42 BB
86 3.50 BB 0
677 2.50 CB 0
6345 2.50 WB
0 1177 3.50 CB 0
0 1.27 WB
688 2.50 CB 0

<Y6 ﾌﾚｰﾑ>

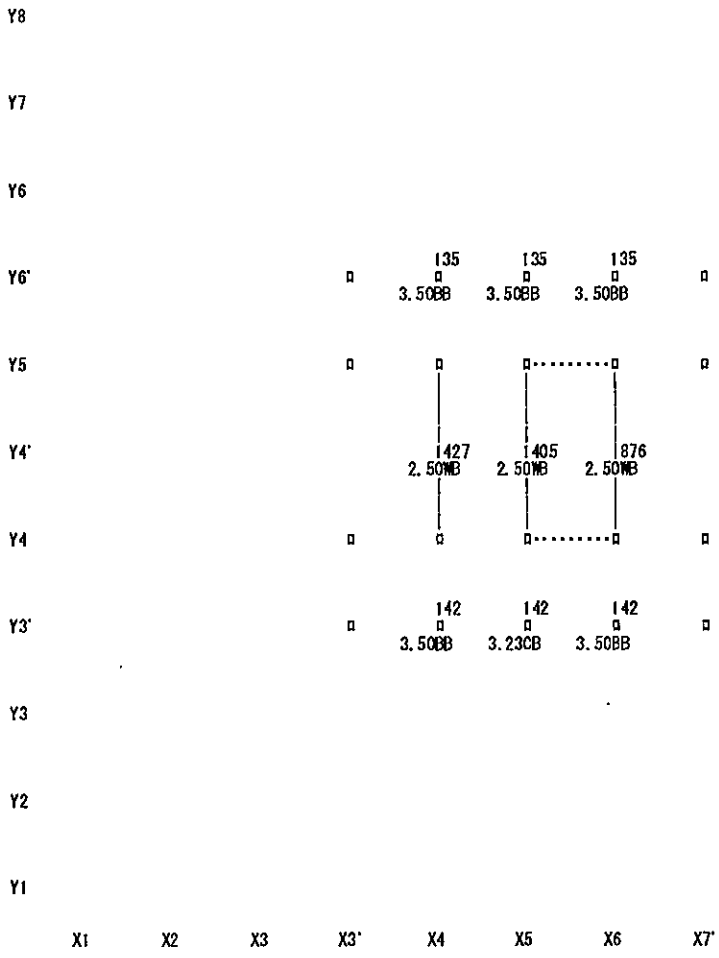

RFL
7FL
6FL
5FL
4FL
3FL
2FL
1FL
B1FL
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

【鉛直部材の諸元：（伏図）】　Ｙ方向　正加力時　３次診断

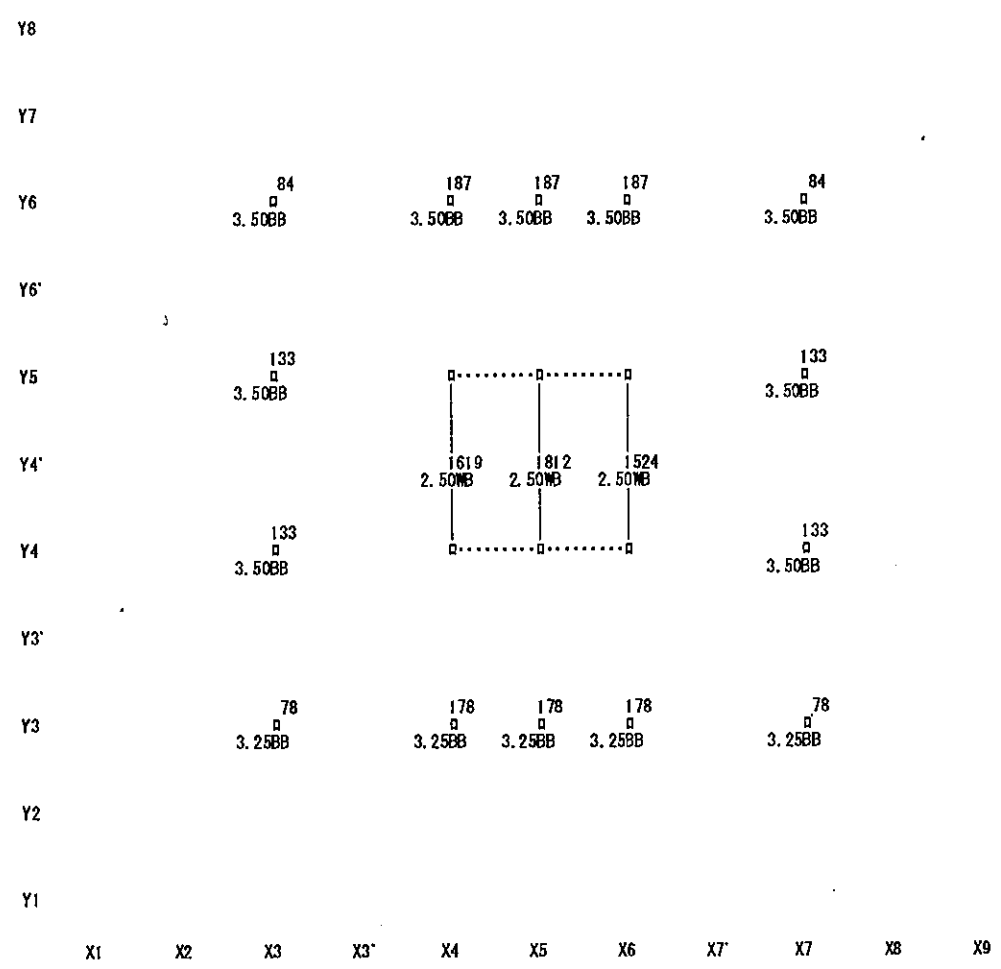
破壊形式（せん断柱、極脆性柱で第２種構造要素の場合は後に'*'を表示）
CB：曲げ柱　CS：せん断柱　CSS：(極)脆性柱
BB：曲げ梁支配型柱　BS：せん断梁支配型柱　CT：柱脚部支配型柱
CWB：曲げそで壁付柱　CWS：せん断そで壁付柱　CWSS：(極)脆性そで壁付柱
WB：曲げ壁　WS：せん断壁　WR：回転壁　WT：柱脚部支配型壁　(極):RC部材

・・・・：Ｘ方向の壁　　——：Ｙ方向の壁
上段：保有せん断力　下段：Ｆ指標,破壊形式
鉛直部材の分類　S：せん断柱　X：(極)脆性柱　□：その他

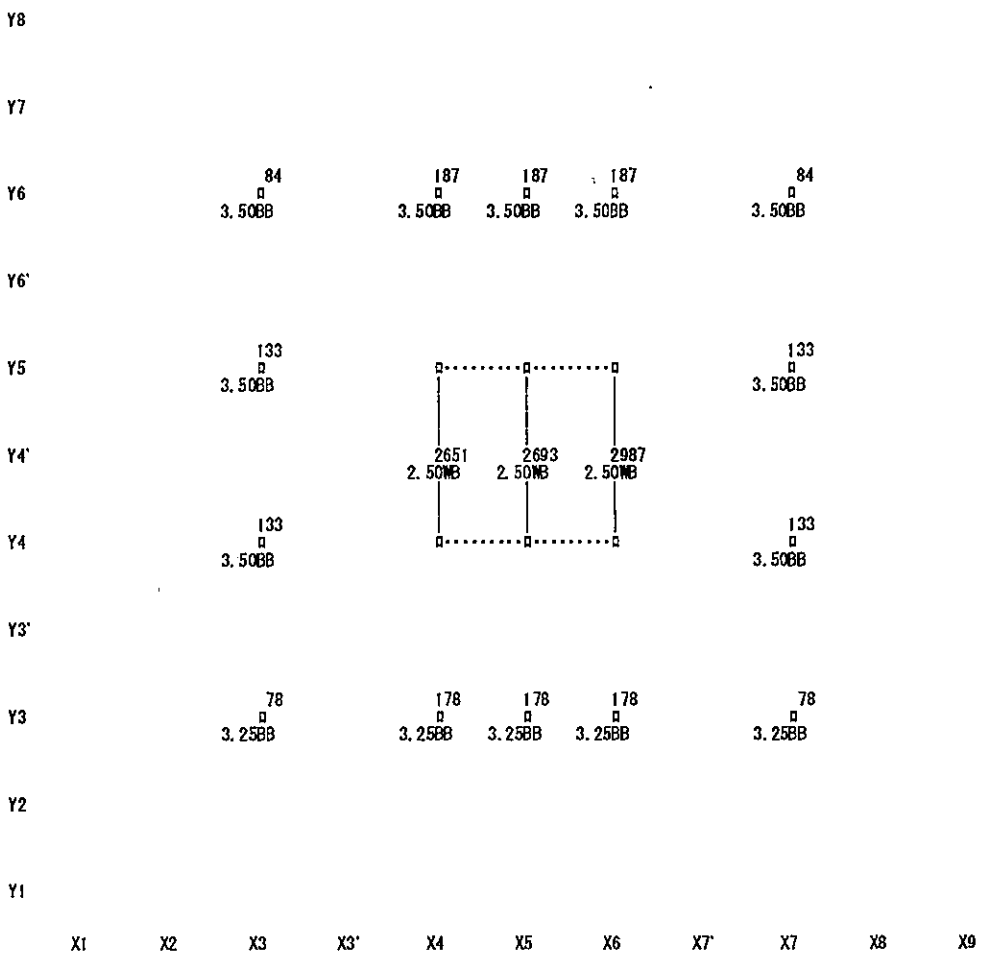
〈7　階〉　ＳＲＣ



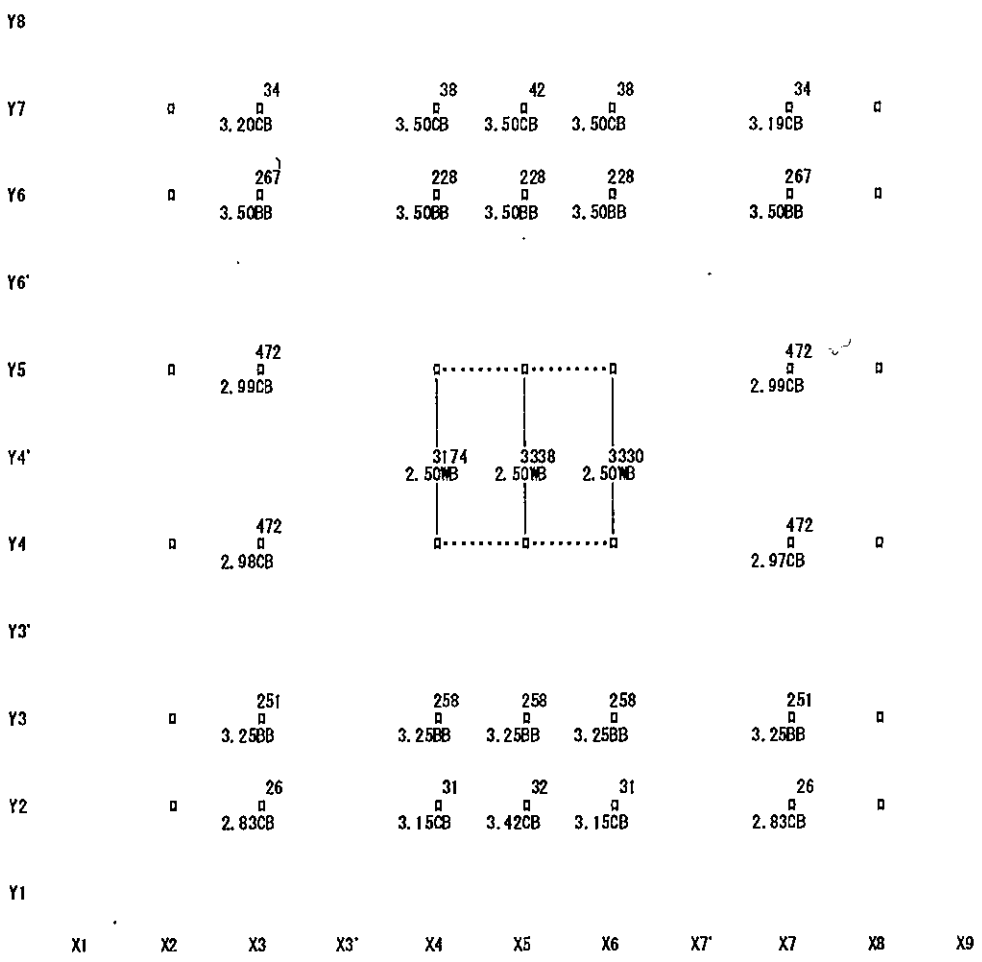
<6　階>　ＳＲＣ


Y8
Y7
Y6
Y6'
Y5
Y4'
Y4
Y3'
Y3
Y2
Y1
84
3.50BB
187
3.50BB
187
3.50BB
187
3.50BB
84
3.50BB
133
3.50BB
1619
2.50MB
1812
2.50MB
1524
2.50MB
133
3.50BB
133
3.50BB
78
3.25BB
178
3.25BB
178
3.25BB
178
3.25BB
78
3.25BB
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

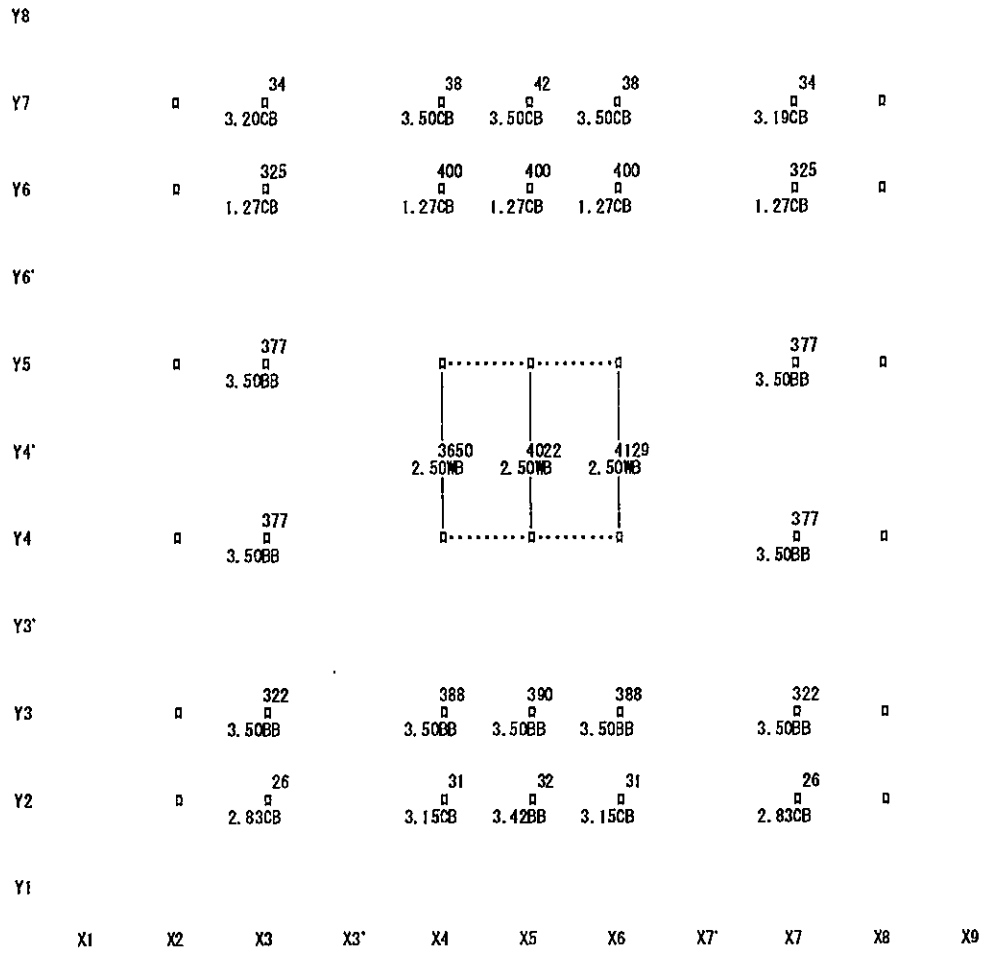
<5　階>　ＳＲＣ


Y8
Y7
Y6
84
3.50BB
187
3.50BB
187
3.50BB
187
3.50BB
84
3.50BB
Y6'
Y5
133
3.50BB
133
3.50BB
Y4'
2651
2.50WB
2693
2.50WB
2987
2.50WB
Y4
133
3.50BB
133
3.50BB
Y3'
Y3
78
3.25BB
178
3.25BB
178
3.25BB
178
3.25BB
78
3.25BB
Y2
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

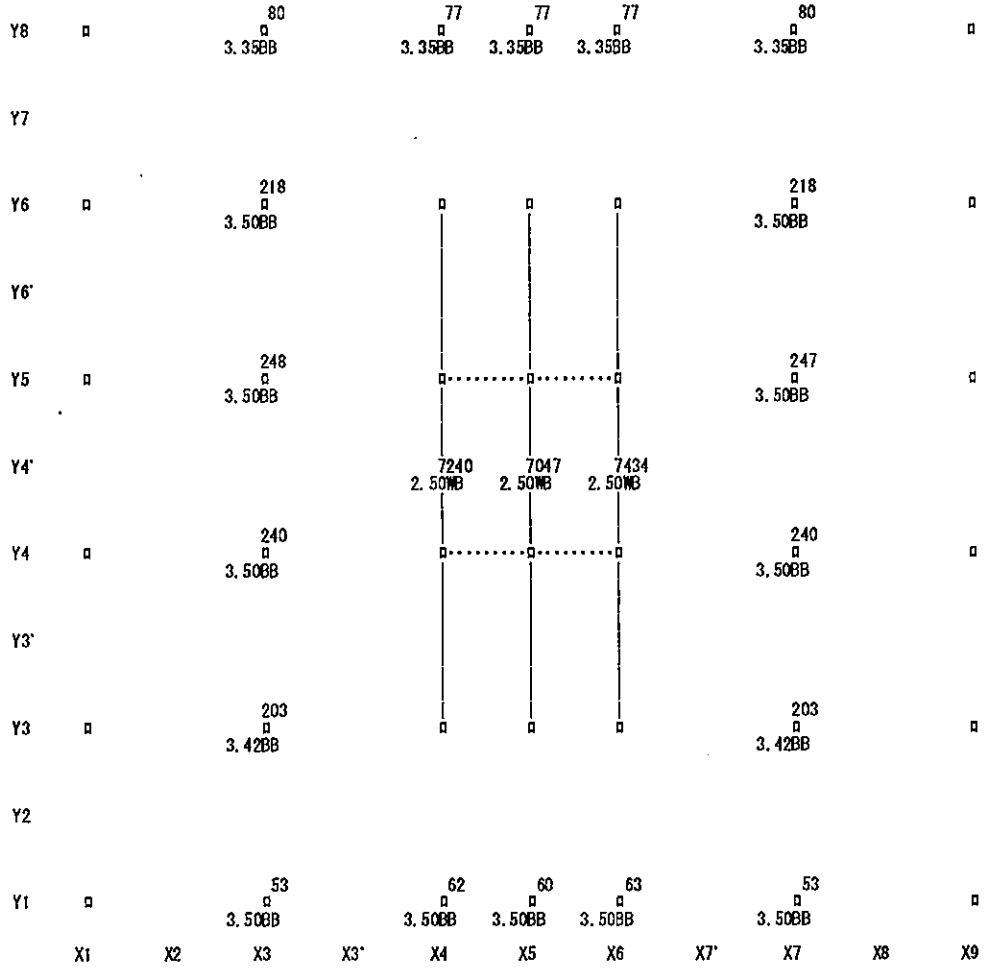
〈4 階〉 ＳＲＣ


Y8
Y7
34
3.20CB
38
3.50CB
42
3.50CB
38
3.50CB
34
3.19CB
Y6
267
3.50BB
228
3.50BB
228
3.50BB
228
3.50BB
267
3.50BB
Y6'
Y5
472
2.99CB
472
2.99CB
Y4'
3174
2.50WB
3338
2.50WB
3330
2.50WB
Y4
472
2.98CB
472
2.97CB
Y3'
Y3
251
3.25BB
258
3.25BB
258
3.25BB
258
3.25BB
251
3.25BB
Y2
26
2.83CB
31
3.15CB
32
3.42CB
31
3.15CB
26
2.83CB
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

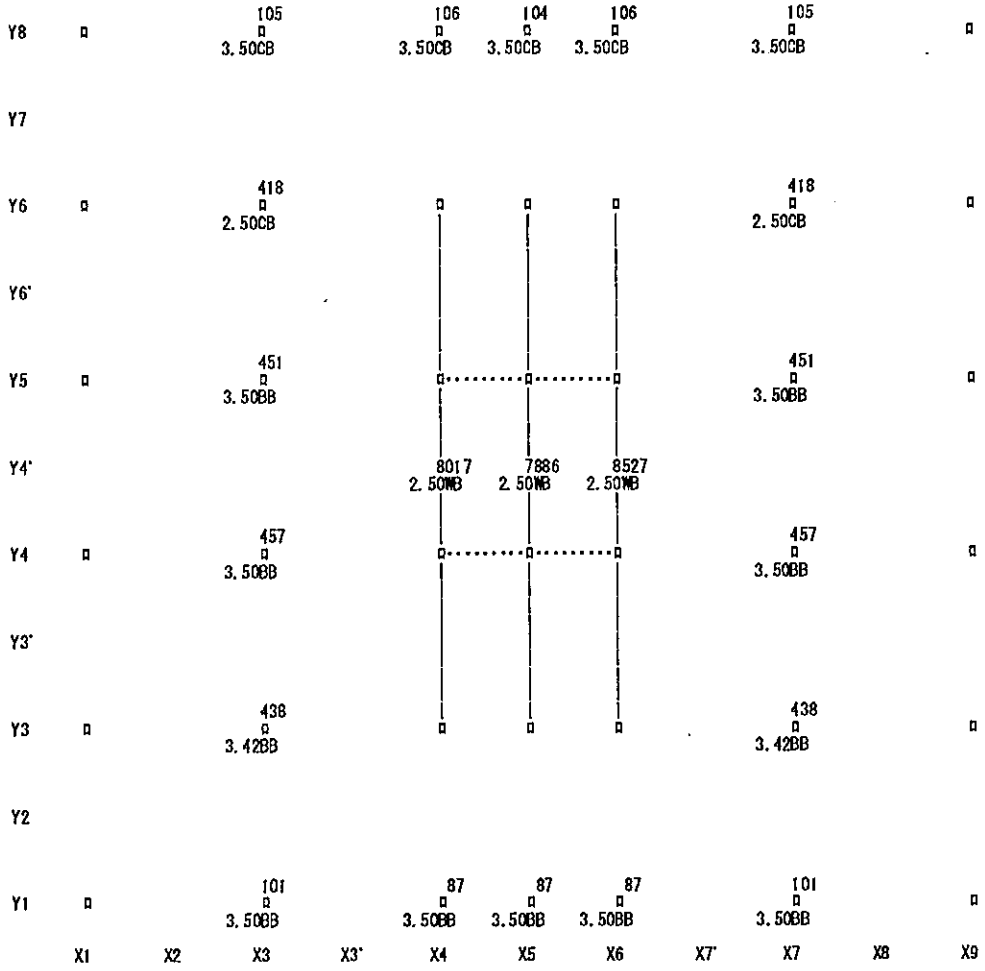
<3 階> ＳＲＣ


Y8
Y7
34
3.20CB
38
3.50CB
42
3.50CB
38
3.50CB
34
3.19CB
Y6
325
1.27CB
400
1.27CB
400
1.27CB
400
1.27CB
325
1.27CB
Y6'
Y5
377
3.50BB
377
3.50BB
Y4'
3650
2.50WB
4022
2.50WB
4129
2.50WB
Y4
377
3.50BB
377
3.50BB
Y3'
Y3
322
3.50BB
388
3.50BB
390
3.50BB
388
3.50BB
322
3.50BB
Y2
26
2.83CB
31
3.15CB
32
3.42BB
31
3.15CB
26
2.83CB
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

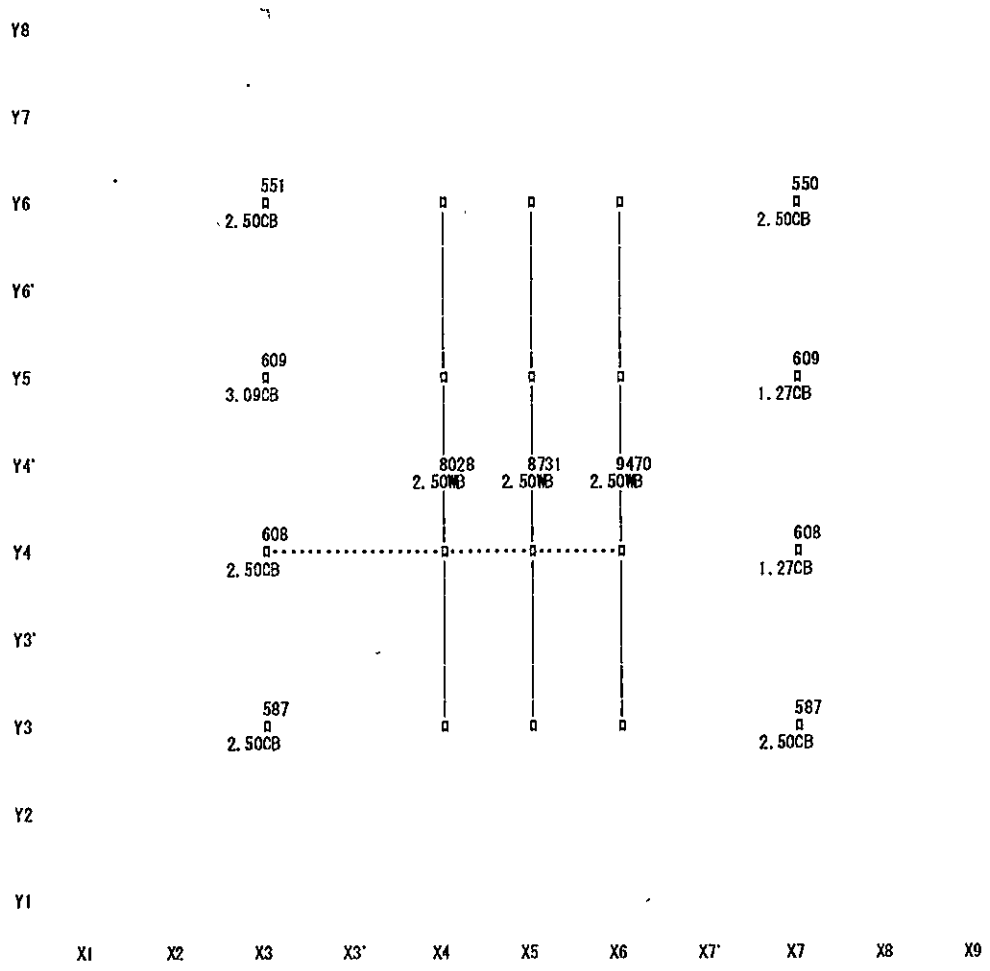
<2　階> ＳＲＣ


Y8
80
3.35BB
77
3.35BB
77
3.35BB
77
3.35BB
80
3.35BB
Y7
Y6
218
3.50BB
218
3.50BB
Y6'
Y5
248
3.50BB
247
3.50BB
Y4'
7240
2.50WB
7047
2.50WB
7434
2.50WB
Y4
240
3.50BB
240
3.50BB
Y3'
Y3
203
3.42BB
203
3.42BB
Y2
Y1
53
3.50BB
62
3.50BB
60
3.50BB
63
3.50BB
53
3.50BB
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

<1 階> ＳＲＣ


Y8
105
3.50CB
106
3.50CB
104
3.50CB
106
3.50CB
105
3.50CB
Y7
Y6
418
2.50CB
418
2.50CB
Y6'
Y5
451
3.50BB
451
3.50BB
Y4'
8017
2.50WB
7886
2.50WB
8527
2.50WB
Y4
457
3.50BB
457
3.50BB
Y3'
Y3
438
3.42BB
438
3.42BB
Y2
Y1
101
3.50BB
87
3.50BB
87
3.50BB
87
3.50BB
101
3.50BB
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

<B1 階> ＳＲＣ

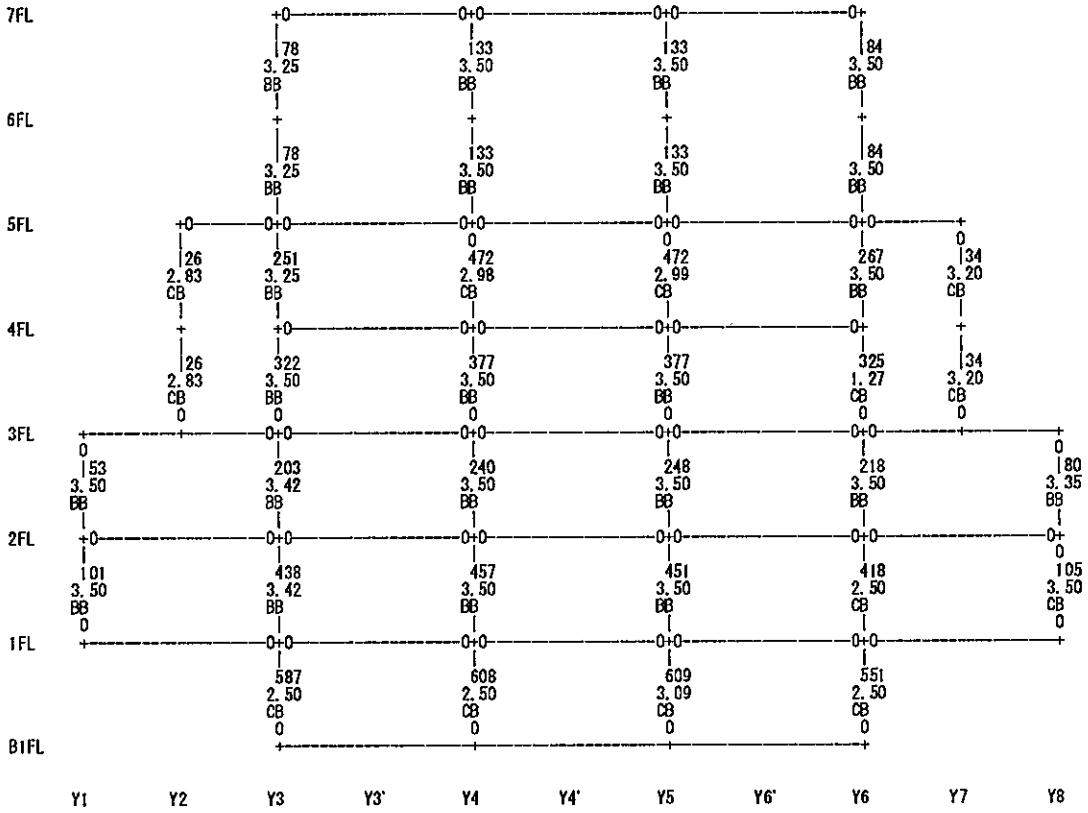

Y8
Y7
Y6
Y6'
Y5
Y4'
Y4
Y3'
Y3
Y2
Y1
551
2.50CB
550
2.50CB
609
3.09CB
609
1.27CB
8028
2.50MB
8731
2.50MB
9470
2.50MB
608
2.50CB
608
1.27CB
587
2.50CB
587
2.50CB
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

【鉛直部材の諸元：（軸組）】 Ｙ方向　正加力時　３次診断

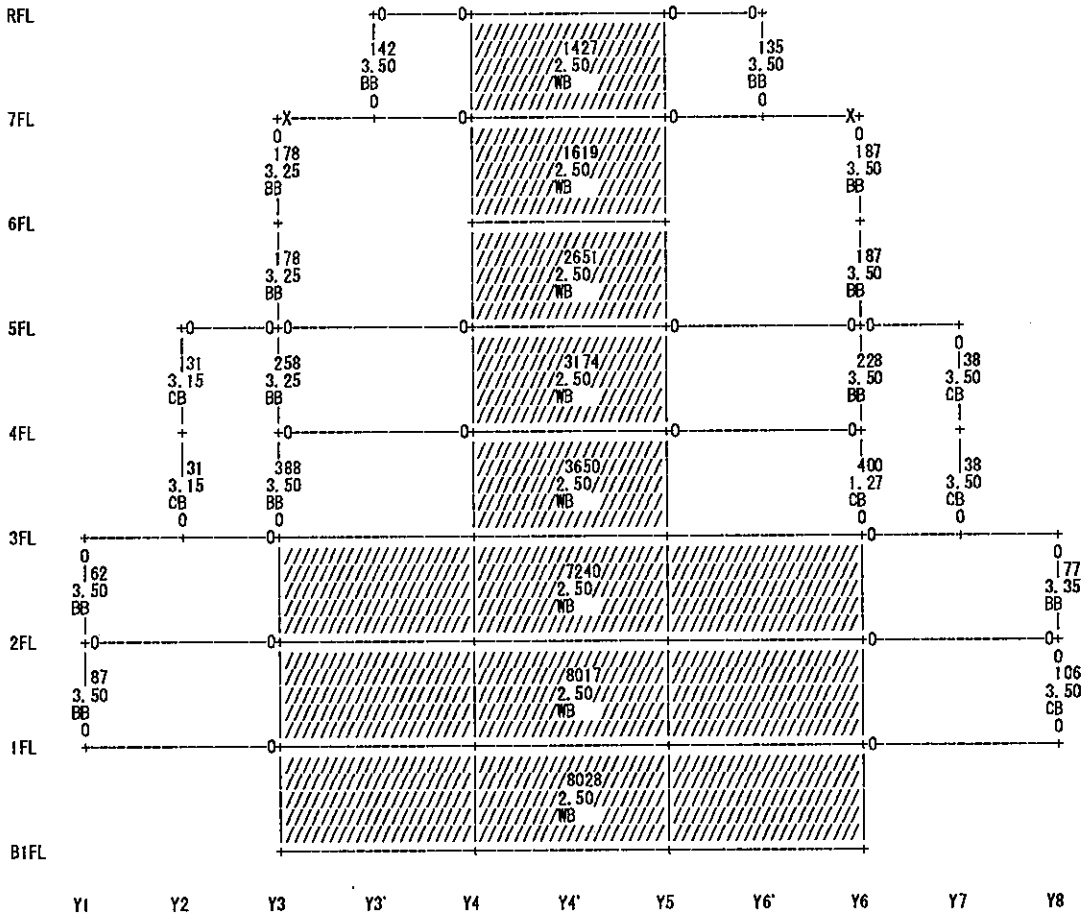
////：壁あり
上段：保有せん断力　中段：Ｆ指標　下段：破壊形式

破壊形式（せん断柱、極脆性柱で第２種構造要素の場合は後に'*'を表示）
CB：曲げ柱　CS：せん断柱　CSS：(極)脆性柱
BB：曲げ梁支配型柱　BS：せん断梁支配型柱　CT：柱脚部支配型柱
CWB：曲げそで壁付柱　CWS：せん断そで壁付柱　CWSS：(極)脆性そで壁付柱
WB：曲げ壁　WS：せん断壁　WR：回転壁　WT：柱脚部支配型壁　(極):RC部材

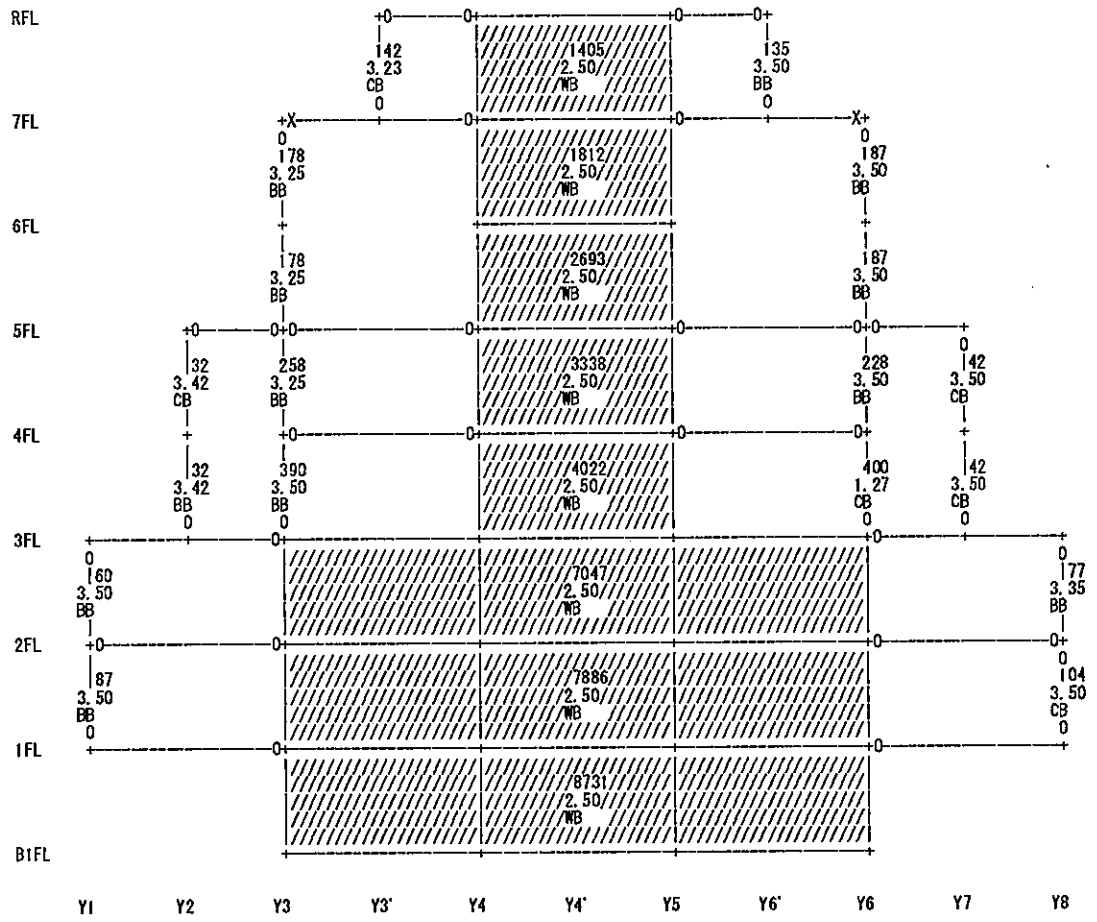
<X3 フレーム>



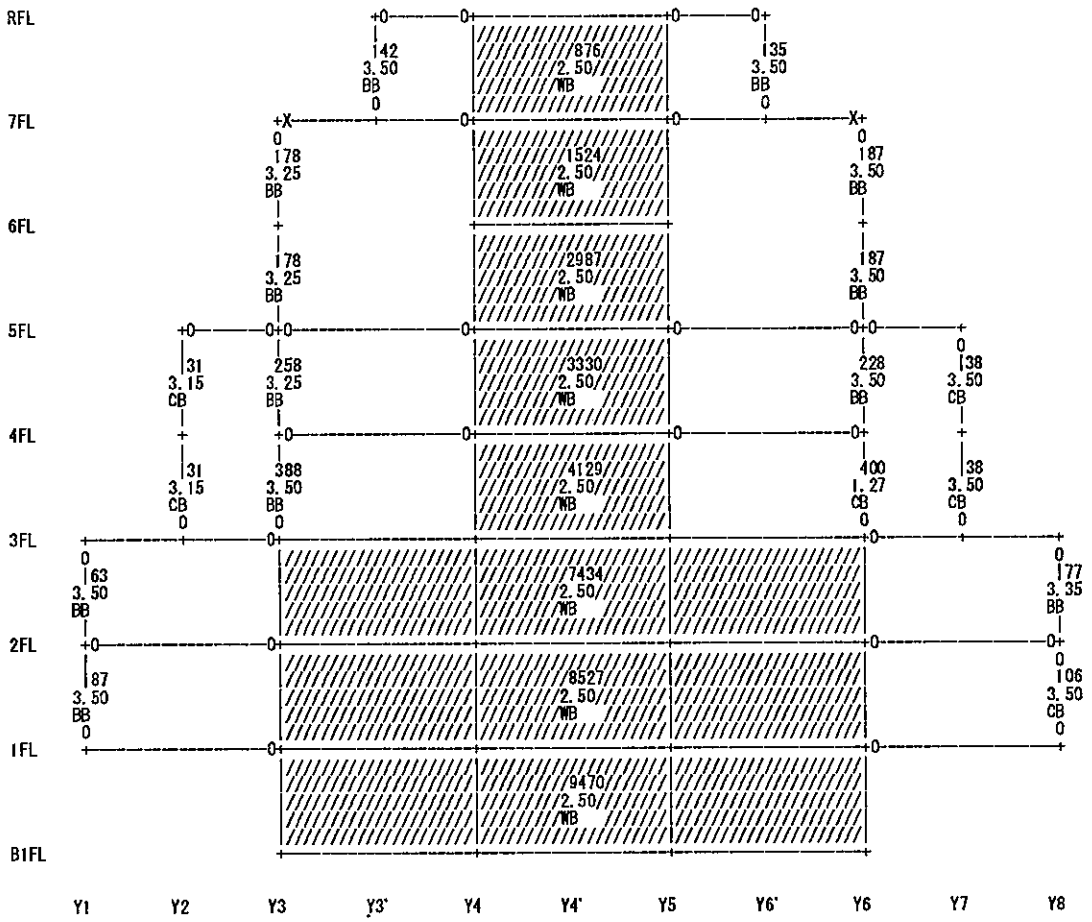
〈X4 フレーム〉


RFL
7FL
6FL
5FL
4FL
3FL
2FL
1FL
B1FL
Y1
Y2
Y3
Y3'
Y4
Y4'
Y5
Y6'
Y6
Y7
Y8
142 3.50 BB 0
1427 2.50 WB
135 3.50 BB 0
178 3.25 BB
1619 2.50 WB
187 3.50 BB
178 3.25 BB
2651 2.50 WB
187 3.50 BB
31 3.15 CB
258 3.25 BB
3174 2.50 WB
228 3.50 BB
38 3.50 CB
31 3.15 CB 0
388 3.50 BB 0
3650 2.50 WB
400 1.27 CB 0
38 3.50 CB 0
62 3.50 BB
7240 2.50 WB
77 3.35 BB
87 3.50 BB 0
8017 2.50 WB
106 3.50 CB 0
8028 2.50 WB

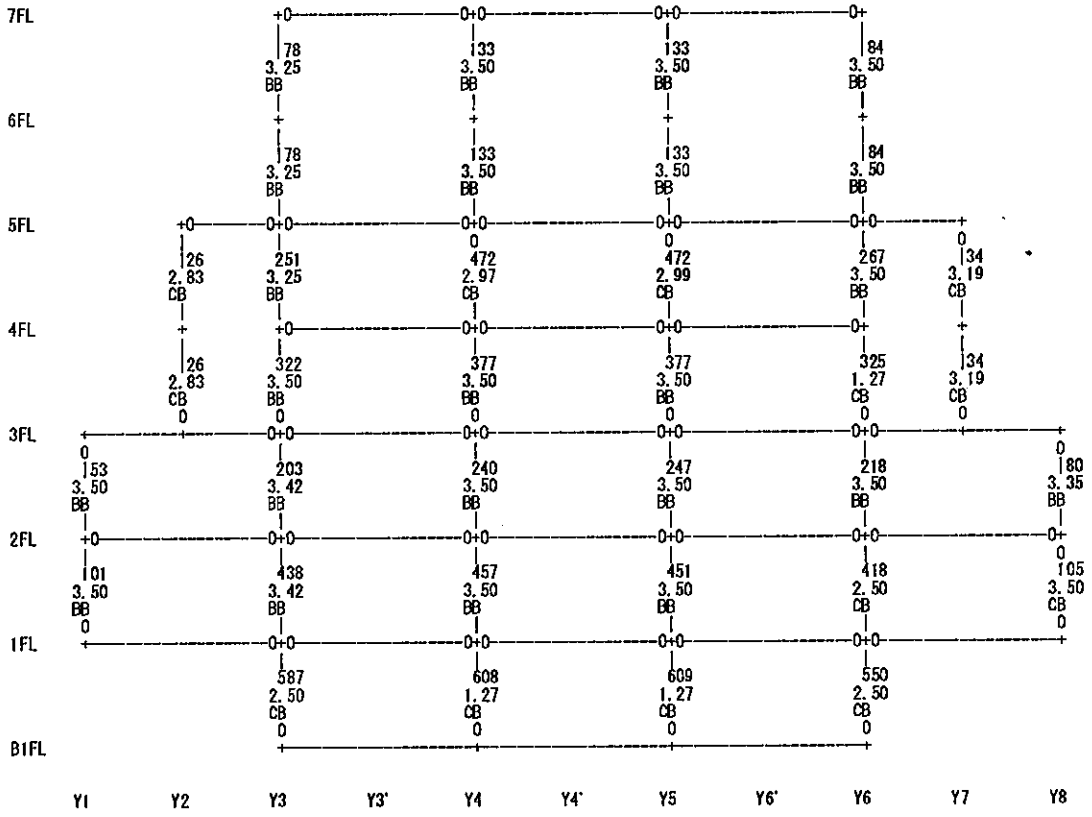
<X5 フレーム>


RFL
7FL
6FL
5FL
4FL
3FL
2FL
1FL
B1FL
Y1
Y2
Y3
Y3'
Y4
Y4'
Y5
Y6'
Y6
Y7
Y8
142 3.23 CB 0
1405 /2.50/ NB
135 3.50 BB 0
178 3.25 BB
1812 /2.50/ NB
187 3.50 BB
178 3.25 BB
2693 /2.50/ NB
187 3.50 BB
32 3.42 CB
258 3.25 BB
3338 /2.50/ NB
228 3.50 BB
142 3.50 CB
32 3.42 BB 0
390 3.50 BB 0
4022 /2.50/ NB
400 1.27 CB 0
142 3.50 CB 0
60 3.50 BB
7041 /2.50/ NB
77 3.35 BB
87 3.50 BB 0
7886 /2.50/ NB
104 3.50 CB 0
8731 /2.50/ NB

〈X6 フレーム〉


RFL
7FL
6FL
5FL
4FL
3FL
2FL
1FL
B1FL
Y1
Y2
Y3
Y3'
Y4
Y4'
Y5
Y6'
Y6
Y7
Y8
142 3.50 BB 0
876 2.50 WB
135 3.50 BB 0
178 3.25 BB
1524 2.50 WB
187 3.50 BB
178 3.25 BB
2987 2.50 WB
187 3.50 BB
31 3.15 CB
258 3.25 BB
3330 2.50 WB
228 3.50 BB
138 3.50 CB
31 3.15 CB 0
388 3.50 BB 0
4129 2.50 WB
400 1.27 CB 0
138 3.50 CB 0
63 3.50 BB
7434 2.50 WB
177 3.35 BB
87 3.50 BB 0
8527 2.50 WB
106 3.50 CB 0
9470 2.50 WB

〈X7 フレーム〉

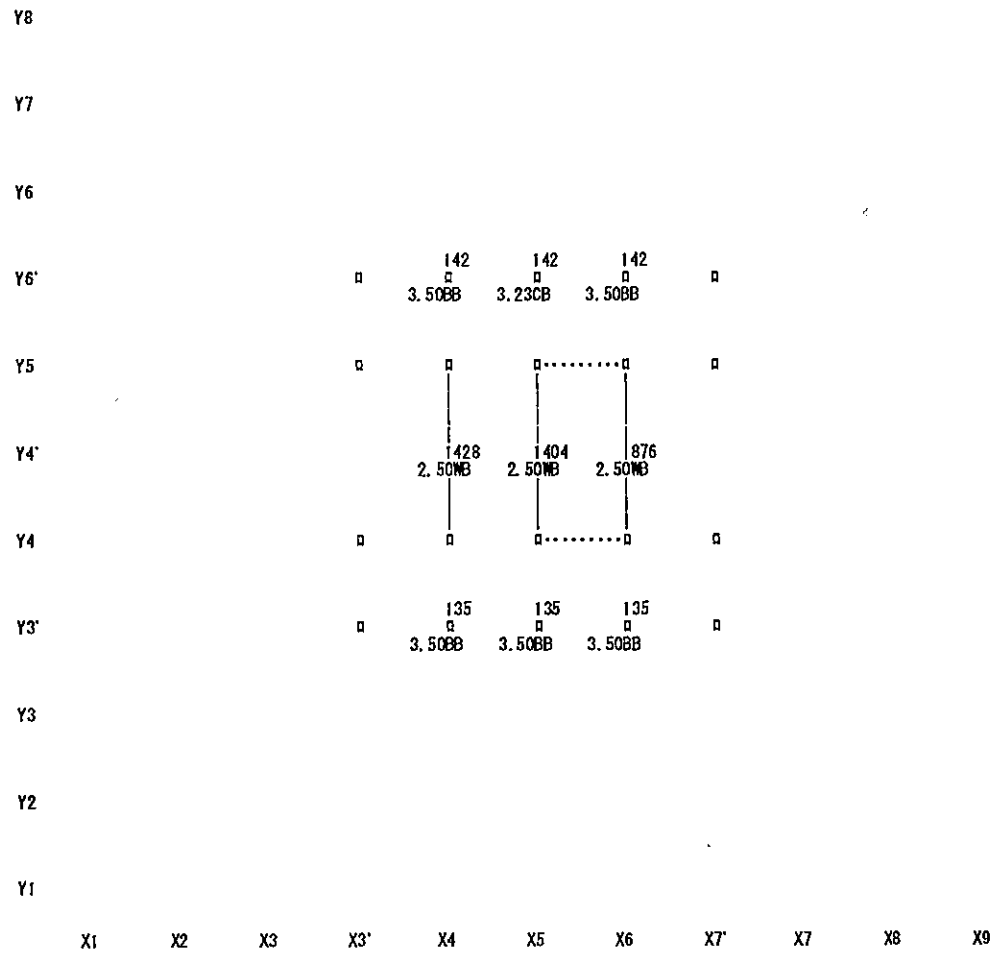

RFL
7FL
6FL
5FL
4FL
3FL
2FL
1FL
B1FL
Y1
Y2
Y3
Y3'
Y4
Y4'
Y5
Y6'
Y6
Y7
Y8

【鉛直部材の諸元：（伏図）】　Ｙ方向　負加力時　３次診断

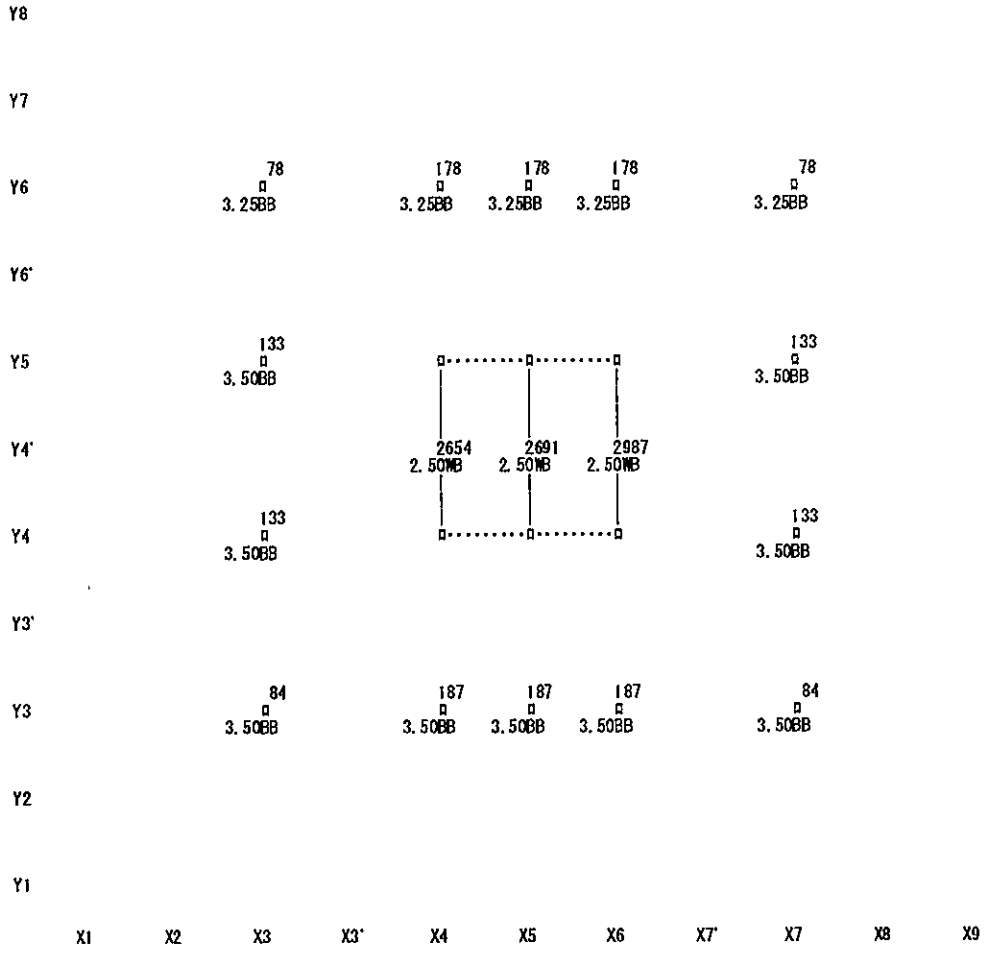
破壊形式（せん断柱、極脆性柱で第２種構造要素の場合は後に'*'を表示）
CB：曲げ柱　CS：せん断柱　CSS：(極)脆性柱
BB：曲げ梁支配型柱　BS：せん断梁支配型柱　CT：柱脚部支配型柱
CWB：曲げそで壁付柱　CWS：せん断そで壁付柱　CWSS：(極)脆性そで壁付柱
WB：曲げ壁　WS：せん断壁　WR：回転壁　WT：柱脚部支配型壁（極）:RC部材

・・・・：Ｘ方向の壁　――：Ｙ方向の壁
上段：保有せん断力　下段：Ｆ指標,破壊形式
鉛直部材の分類　S：せん断柱　X：(極)脆性柱　□：その他

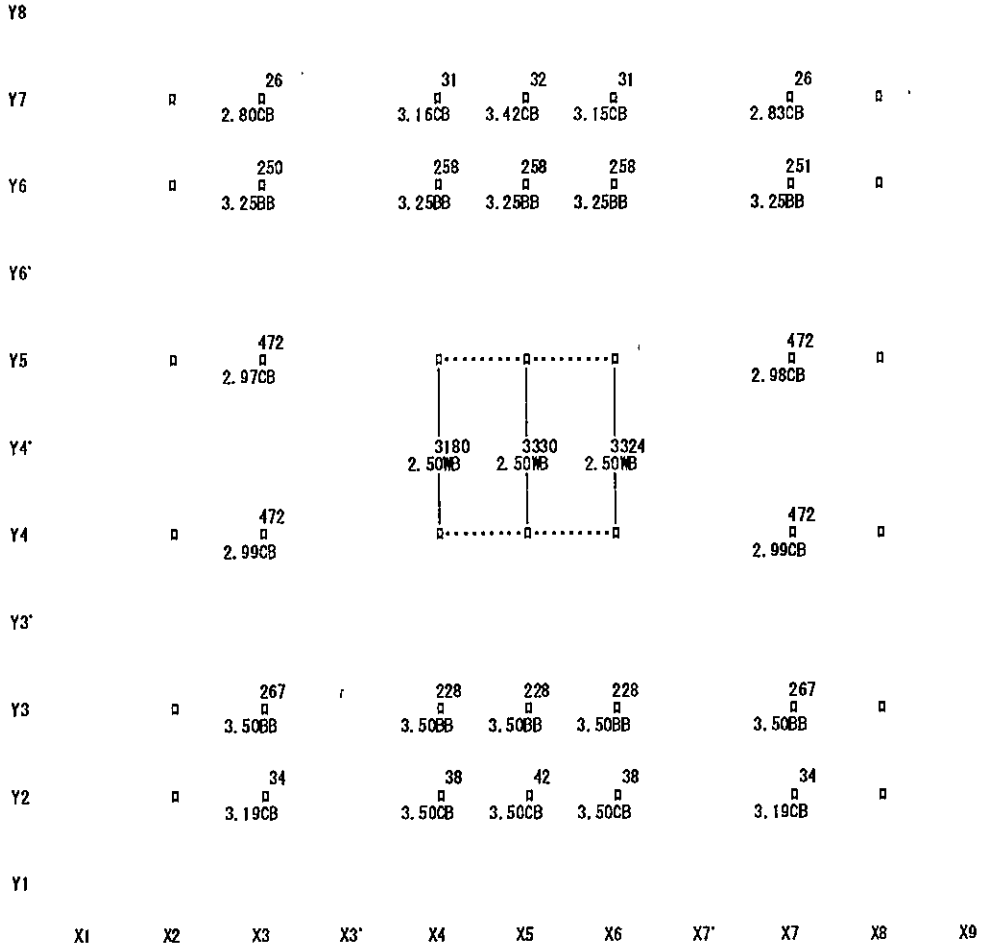
<7　階>　ＳＲＣ



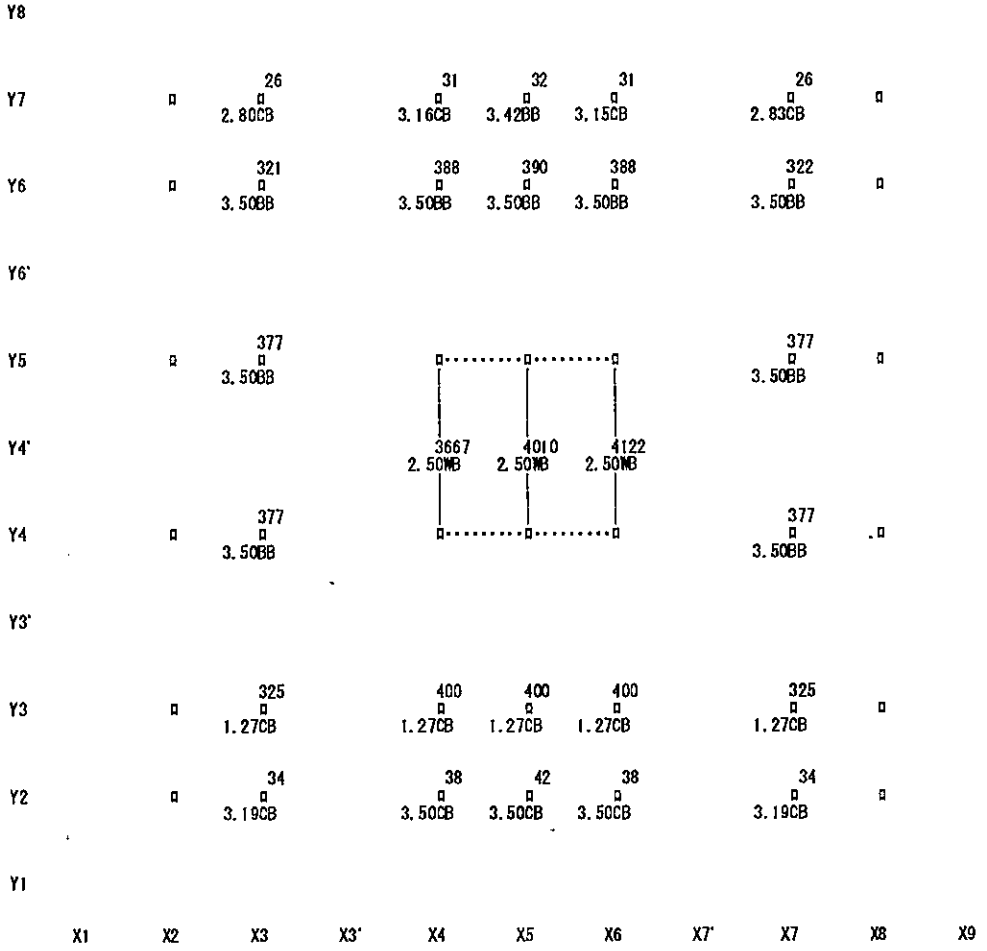
<5　階>　ＳＲＣ


Y8
Y7
Y6
78
3.25BB
178
3.25BB
178
3.25BB
178
3.25BB
78
3.25BB
Y6'
Y5
133
3.50BB
133
3.50BB
Y4'
2654
2.50MB
2691
2.50MB
2987
2.50MB
Y4
133
3.50BB
133
3.50BB
Y3'
Y3
84
3.50BB
187
3.50BB
187
3.50BB
187
3.50BB
84
3.50BB
Y2
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

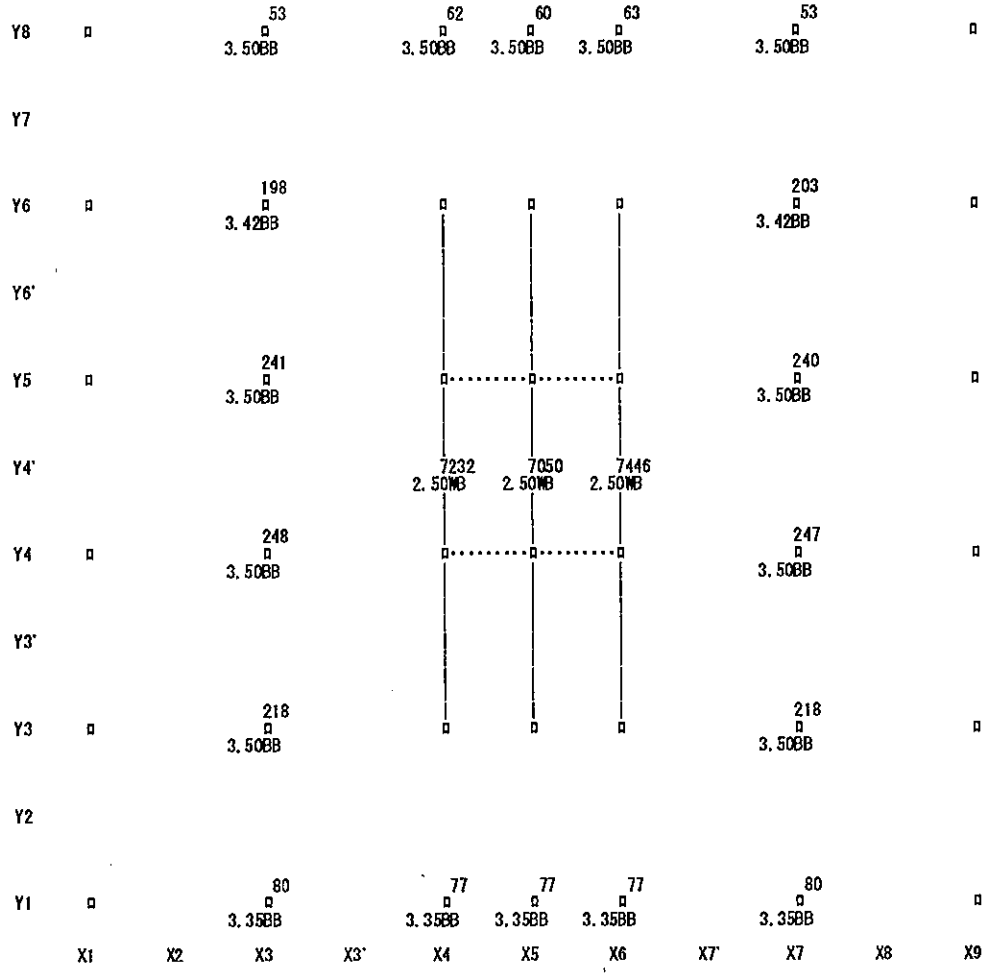
〈4 階〉 ＳＲＣ


Y8
Y7
Y6
Y6'
Y5
Y4'
Y4
Y3'
Y3
Y2
Y1
X1 X2 X3 X3' X4 X5 X6 X7' X7 X8 X9
26 2.80CB
31 3.16CB
32 3.42CB
31 3.15CB
26 2.83CB
250 3.25BB
258 3.25BB
258 3.25BB
258 3.25BB
251 3.25BB
472 2.97CB
472 2.98CB
3180 2.50MB
3330 2.50MB
3324 2.50MB
472 2.99CB
472 2.99CB
267 3.50BB
228 3.50BB
228 3.50BB
228 3.50BB
267 3.50BB
34 3.19CB
38 3.50CB
42 3.50CB
38 3.50CB
34 3.19CB

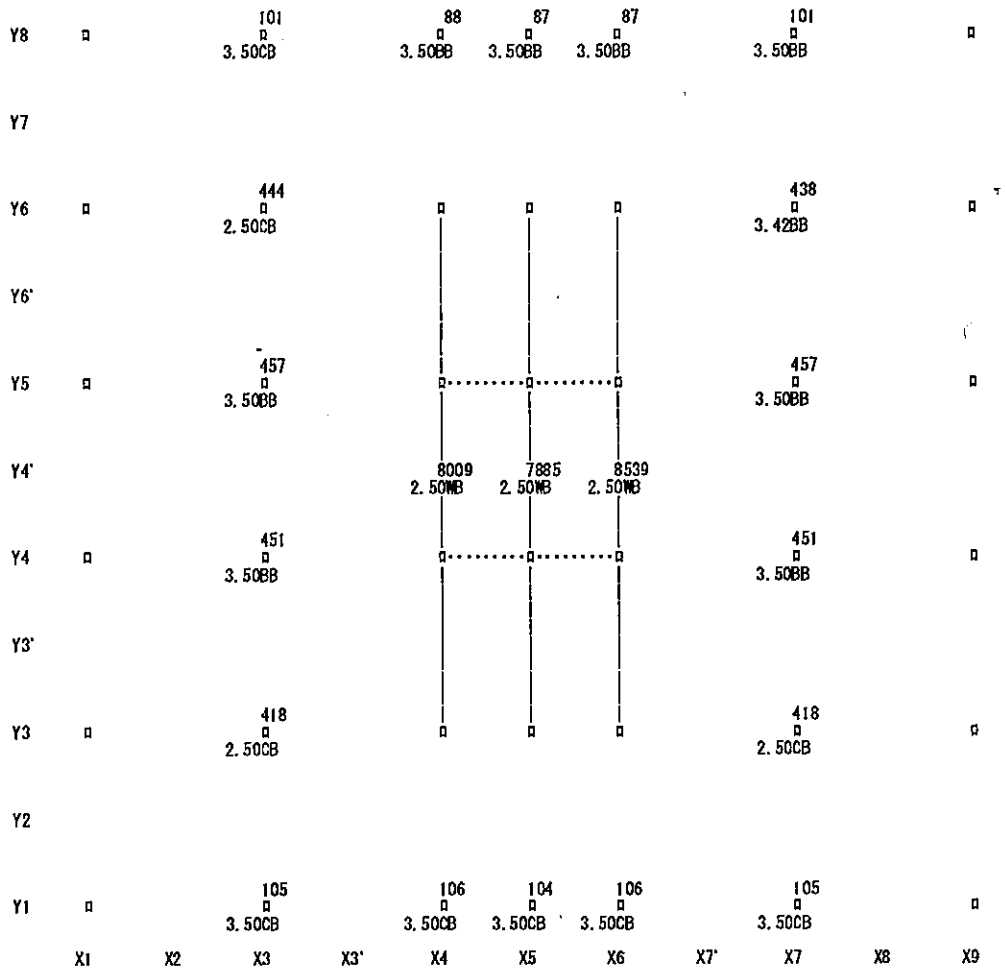
<3 階> ＳＲＣ


Y8
Y7
26
2.80CB
31
3.16CB
32
3.42BB
31
3.15CB
26
2.83CB
Y6
321
3.50BB
388
3.50BB
390
3.50BB
388
3.50BB
322
3.50BB
Y6'
Y5
377
3.50BB
377
3.50BB
Y4'
3667
2.50MB
4010
2.50MB
4122
2.50MB
Y4
377
3.50BB
377
3.50BB
Y3'
Y3
325
1.27CB
400
1.27CB
400
1.27CB
400
1.27CB
325
1.27CB
Y2
34
3.19CB
38
3.50CB
42
3.50CB
38
3.50CB
34
3.19CB
Y1
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

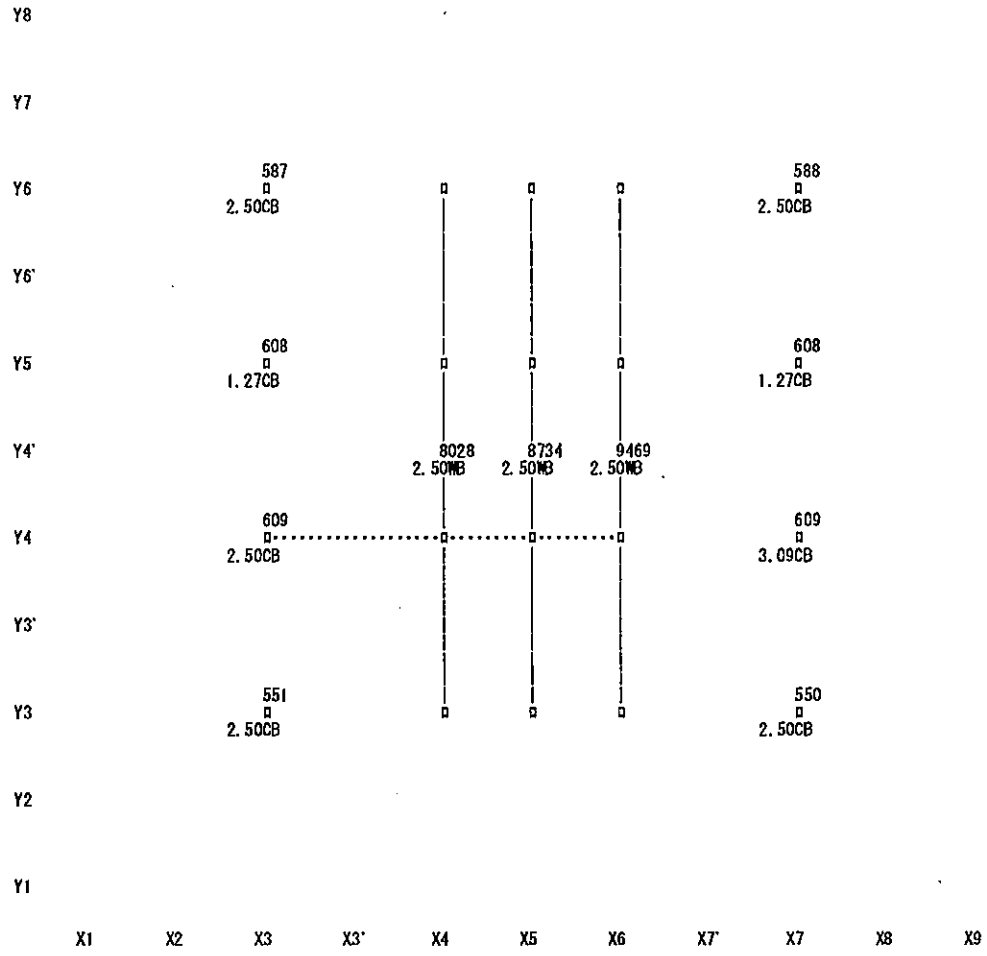
<2　階>　ＳＲＣ


Y8
53
3.50BB
62
3.50BB
60
3.50BB
63
3.50BB
53
3.50BB
Y7
Y6
198
3.42BB
203
3.42BB
Y6'
Y5
241
3.50BB
240
3.50BB
Y4'
7232
2.50MB
7050
2.50MB
7446
2.50MB
Y4
248
3.50BB
247
3.50BB
Y3'
Y3
218
3.50BB
218
3.50BB
Y2
Y1
80
3.35BB
77
3.35BB
77
3.35BB
77
3.35BB
80
3.35BB
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

<1 階> ＳＲＣ


Y8
101
3.50CB
88
3.50BB
87
3.50BB
87
3.50BB
101
3.50BB
Y7
Y6
444
2.50CB
438
3.42BB
Y6'
Y5
457
3.50BB
457
3.50BB
Y4'
8009
2.50WB
7885
2.50WB
8539
2.50WB
Y4
451
3.50BB
451
3.50BB
Y3'
Y3
418
2.50CB
418
2.50CB
Y2
Y1
105
3.50CB
106
3.50CB
104
3.50CB
106
3.50CB
105
3.50CB
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

<BI 階> ＳＲＣ

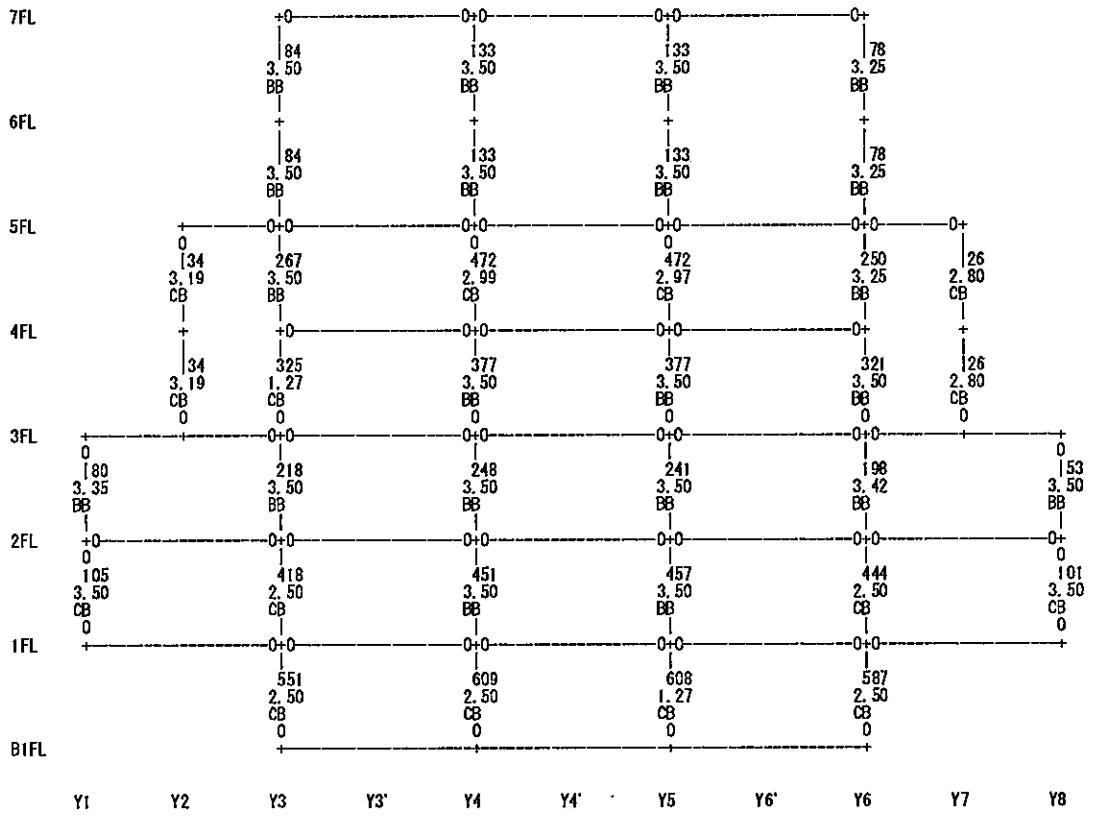

Y8
Y7
Y6
Y6'
Y5
Y4'
Y4
Y3'
Y3
Y2
Y1
587
2.50CB
588
2.50CB
608
1.27CB
608
1.27CB
8028
2.50WB
8734
2.50WB
9469
2.50WB
609
2.50CB
609
3.09CB
551
2.50CB
550
2.50CB
X1
X2
X3
X3'
X4
X5
X6
X7'
X7
X8
X9

【鉛直部材の諸元：（軸組）】　Ｙ方向　負加力時　３次診断

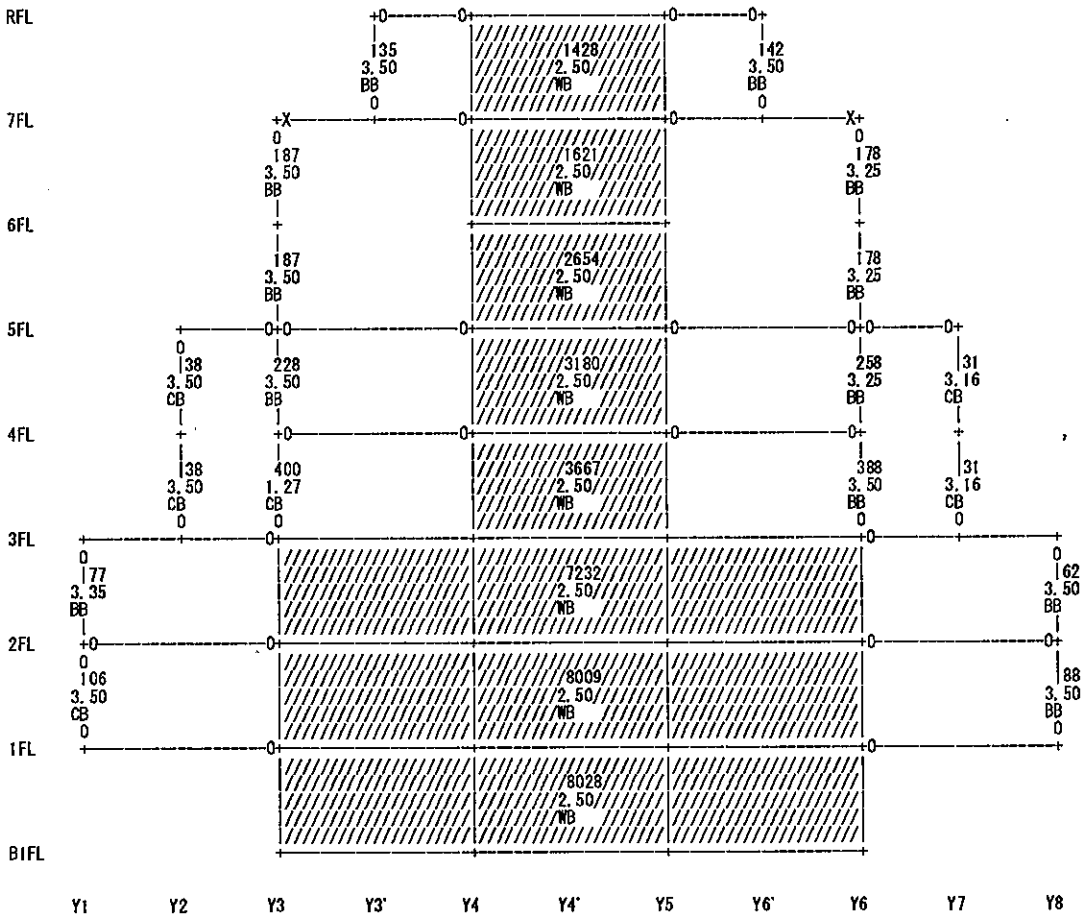
////：壁あり
上段：保有せん断力　中段：Ｆ指標　下段：破壊形式

破壊形式（せん断柱、極脆性柱で第２種構造要素の場合は後に'*'を表示）
CB：曲げ柱　CS：せん断柱　CSS：(極)脆性柱
BB：曲げ梁支配型柱　BS：せん断梁支配型柱　CT：柱脚部支配型柱
CWB：曲げそで壁付柱　CWS：せん断そで壁付柱　CWSS：(極)脆性そで壁付柱
WB：曲げ壁　WS：せん断壁　WR：回転壁　WT：柱脚部支配型壁（極）:RC部材

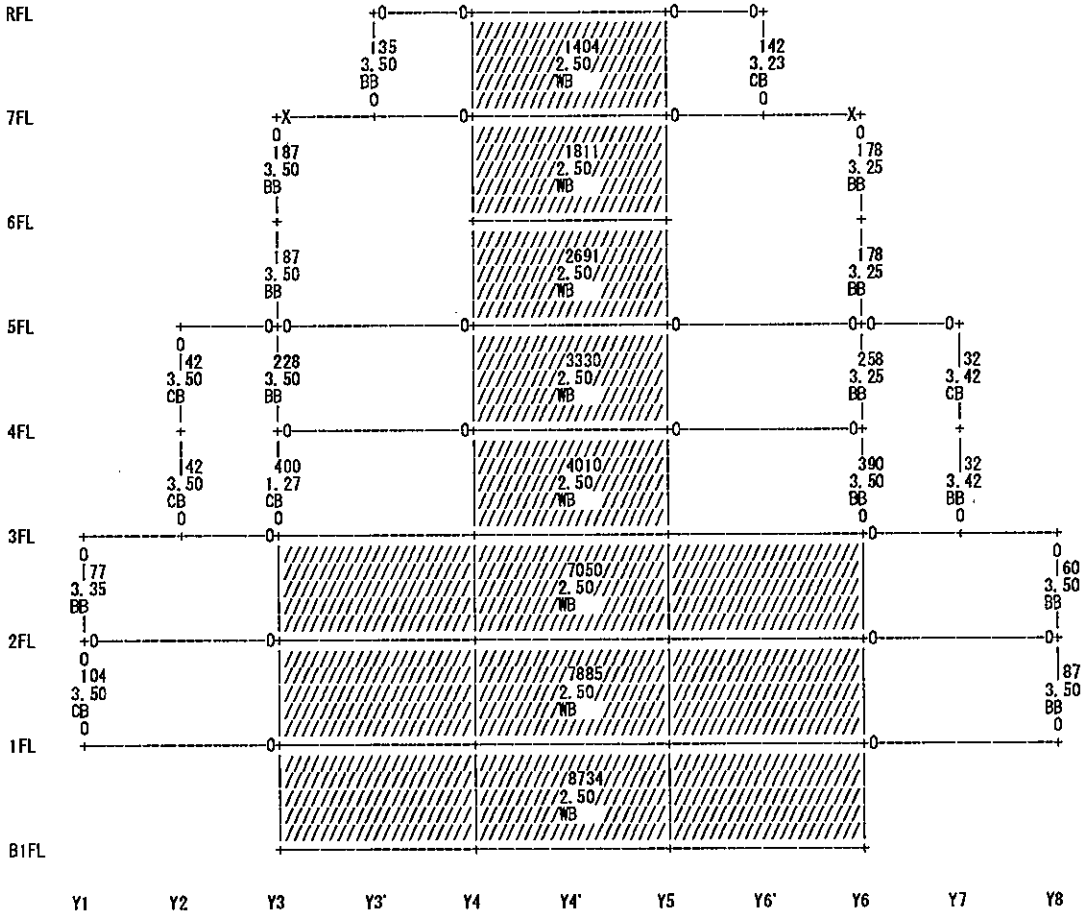
<X3 フレーム>



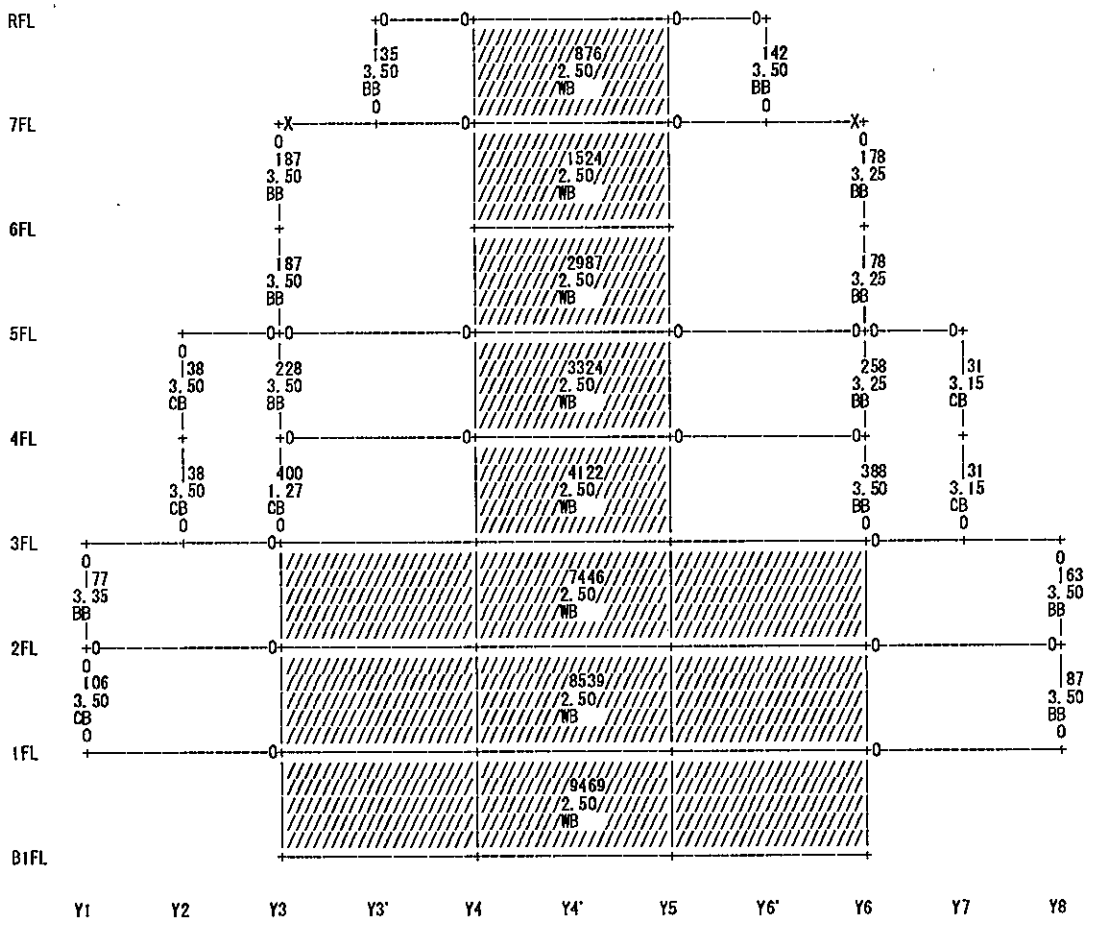
<X4 フレーム>


RFL
7FL
6FL
5FL
4FL
3FL
2FL
1FL
BIFL
Y1
Y2
Y3
Y3'
Y4
Y4'
Y5
Y6'
Y6
Y7
Y8
135 3.50 BB 0
1428 /2.50/ WB
142 3.50 BB 0
0 187 3.50 BB
1621 /2.50/ WB
0 178 3.25 BB
187 3.50 BB
2654 /2.50/ WB
178 3.25 BB
0 38 3.50 CB
228 3.50 BB
3180 /2.50/ WB
258 3.25 BB
31 3.16 CB
38 3.50 CB 0
400 1.27 CB 0
3667 /2.50/ WB
388 3.50 BB 0
31 3.16 CB 0
0 77 3.35 BB
7232 /2.50/ WB
0 62 3.50 BB
0 106 3.50 CB 0
8009 /2.50/ WB
88 3.50 BB 0
8028 /2.50/ WB

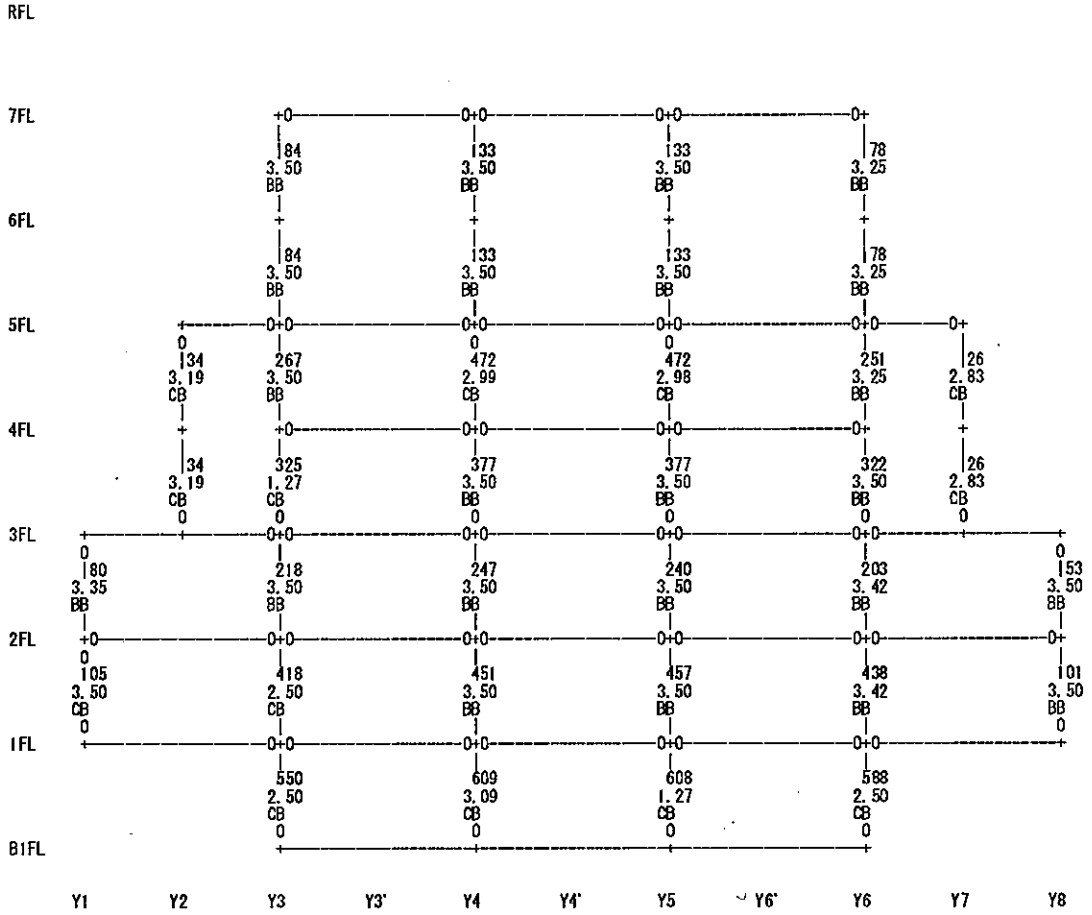
<X5 フレーム>


RFL
7FL
6FL
5FL
4FL
3FL
2FL
1FL
B1FL
Y1
Y2
Y3
Y3'
Y4
Y4'
Y5
Y6'
Y6
Y7
Y8
135 3.50 BB 0
1404 2.50 WB
142 3.23 CB 0
187 3.50 BB
1811 2.50 WB
178 3.25 BB
187 3.50 BB
2691 2.50 WB
178 3.25 BB
142 3.50 CB
228 3.50 BB
3330 2.50 WB
258 3.25 BB
32 3.42 CB
142 3.50 CB 0
400 1.27 CB 0
4010 2.50 WB
390 3.50 BB 0
32 3.42 BB 0
77 3.35 BB
7050 2.50 WB
60 3.50 BB
104 3.50 CB 0
7885 2.50 WB
87 3.50 BB 0
8734 2.50 WB

<X6 フレーム>


RFL
7FL
6FL
5FL
4FL
3FL
2FL
1FL
B1FL
135 3.50 BB 0
142 3.50 BB 0
876 2.50 WB
187 3.50 BB
1524 2.50 WB
178 3.25 BB
2987 3.50 BB
3324 2.50 WB
38 3.50 CB
228 3.50 BB
258 3.25 BB
31 3.15 CB
400 1.27 CB 0
4122 2.50 WB
388 3.50 BB 0
77 3.35 BB
7446 2.50 WB
63 3.50 BB
106 3.50 CB 0
8539 2.50 WB
87 3.50 BB 0
9469 2.50 WB
Y1 Y2 Y3 Y3' Y4 Y4' Y5 Y6' Y6 Y7 Y8

<X7 フレーム>


RFL
7FL
6FL
5FL
4FL
3FL
2FL
1FL
B1FL
Y1
Y2
Y3
Y3'
Y4
Y4'
Y5
Y6'
Y6
Y7
Y8